

摂津市

子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

摂津市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学

目次

はじめに	2
I 調査概要	2
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査内容	3
4. 調査対象者	3
5. 調査実施日	3
6. 調査配布・回収率(数)	3
7. 調査実施主体	5
8. 研究者一覧	5
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い	5
II 調査結果	7
1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕	7
2. 単純集計結果〔保護者〕	79
3. クロス集計および分析結果	163
3-1. 基本情報	163
(1) 経済状況	163
(2) 家庭状況（制度等）	181
3-2. 雇用	225
3-3. 健康	233
3-4. 家庭生活、学習	275
3-5. 対人関係	334
III 総合考察	400
1) 大阪府共同調査の意義	400
2) 単純集計	400
3) クロス集計	403
まとめ	408
IV 資料編	417

はじめに

2014年1月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り上げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年4月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪府では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府が、大阪府内の大半を占める大阪市も含めて牽引した役割は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group（CPAG）が示している、①所得や資産など経済的資本（capital）の欠如、②健康や教育など人的資本（human capital）の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本（social capital）の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

I 調査概要

1. 調査の目的

子どもたちの生活状況や学習環境、保護者の生活状況などを把握し、得られた結果を分析することによって、今後、効果的な子どもの貧困対策を検証するとともに、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検討することを目的とする。

2. 調査方法

摂津市内の調査対象の世帯に、学校を通じて調査票を配付し、回収を得たもの。

3. 調査内容

巻末の調査票参照

4. 調査対象者

小学校5年生・その保護者（650世帯） 中学校2年生・その保護者（694世帯）

5. 調査実施日

摂津市：令和5年7月7日～令和5年7月31日

大阪府内全自治体：令和5年6月27日～令和5年9月30日

6. 調査配布・回収率(数)

表1. 調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
摂津市	小学5年生	32.6	212	650
	小学5年生の保護者	32.3	210	650
	中学2年生	22.2	154	694
	中学2年生の保護者	21.2	147	694
	小学5年生・中学2年生合計	27.2	366	1,344
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	26.6	357	1,344
	計	26.9	723	2,688
大阪府全自治体	小学5年生	56.2	23,289	41,458
	小学5年生の保護者	55.0	22,819	41,458
	中学2年生	51.4	19,990	38,911
	中学2年生の保護者	49.8	19,390	38,911
	小学5年生・中学2年生合計	54.0	43,370	80,369
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
	計	54.0	86,728	160,738

※大阪府内全自治体の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布・学校回収	小学5年生	61.6	15,927	25,852
	小学5年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学2年生	58.3	13,712	23,539
	中学2年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学5年生・中学2年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布・郵送回収	小学5年生	22.6	1,401	6,191
	小学5年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学2年生	15.3	936	6,099
	中学2年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学5年生・中学2年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布・郵送回収	小学5年生	21.3	2,003	9,415
	小学5年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学2年生	17.8	1,646	9,273
	中学2年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376
学校配布・WEB回答	小学5年生	23.0	3,007	13,068
	小学5年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学2年生	21.3	2,714	12,718
	中学2年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学5年生・中学2年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,672	51,572
郵送配布・WEB回答	小学5年生	10.1	951	9,415
	小学5年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学2年生	10.6	982	9,273
	中学2年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の3自治体において実施した。さらに1自治体では、小5・中2以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は14,626件、回収率は75.0%であった。

7. 調査実施主体

摂津市

調査研究業務受託者

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

8. 研究者一覧

担当者	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
	教授 山野 則子（業務責任者）
	特任講師 橋本 麿和
	シニア研究員 永田 麻衣 佐伯 厘咲 李 孟
協力者	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
	准教授 嵯峨 嘉子
研究補助者	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科
	准教授 牛 冰
	武庫川女子大学 社会情報学部 社会情報学科 助教 駒田 安紀
	大阪商業大学 公共学部 公共学科 助教 林 萍萍
	奈良佐保短期大学 地域こども学科 講師 河村 信子
	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
	研究員 黄 健育 渡邊 陽亮
	大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野 林 慎吾
	松浦 孝範 久地井 寿哉 渡邊 祐作

9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、摂津市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。摂津市のデータについては既に「Ⅰ 調査概要 2～8」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府25市町村のデータに共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30%の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは70%を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の2種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体についてデータの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その

場合、どのような基準で選択するのが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「摂津市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ 調査結果

1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕

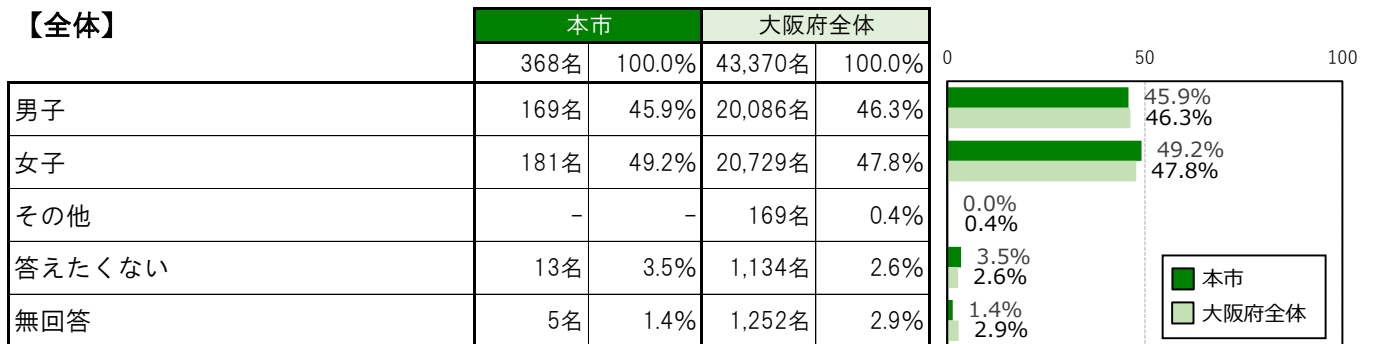
摂津市

回答者の属性

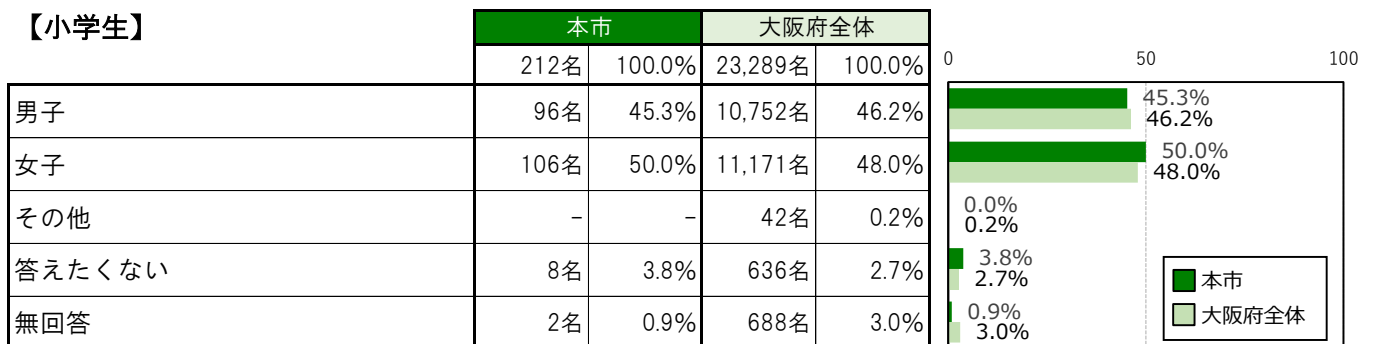
問27 性別

全体は、「女子」が49.2%で最も多く、次いで「男子」が45.9%となっている。
小学生は、「女子」が50.0%で最も多く、次いで「男子」が45.3%となっている。
中学生は、「女子」が48.1%で最も多く、次いで「男子」が46.8%となっている。

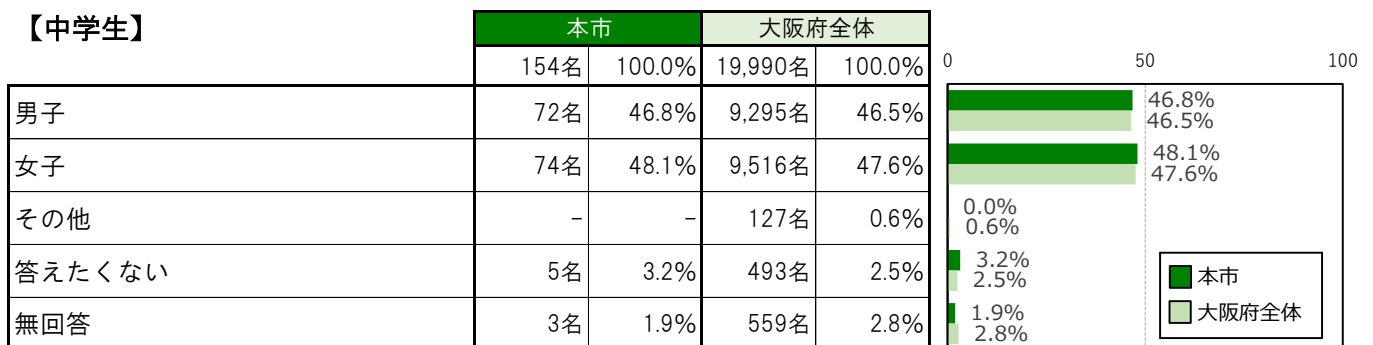
【全体】



【小学生】



【中学生】



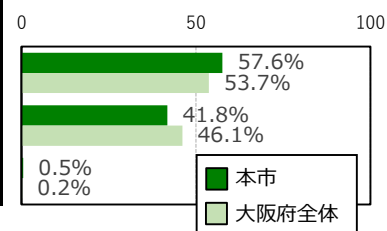
回答者の属性

問1 学年

子どもの学年は、「小学生」が212名・57.6%、「中学生」が154名・41.8%となっている。

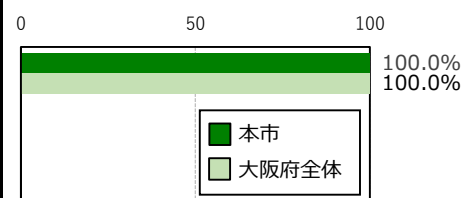
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
小学生	212名	57.6%	23,289名	53.7%
中学生	154名	41.8%	19,990名	46.1%
無回答	2名	0.5%	91名	0.2%



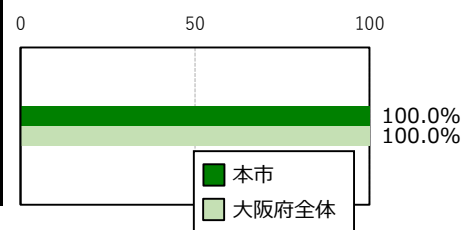
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
小学生	212名	100.0%	23,289名	100.0%
中学生	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
小学生	-	-	-	-
中学生	154名	100.0%	19,990名	100.0%
無回答	-	-	-	-



ふだんの生活のことについて

問2 起床時間の規則性

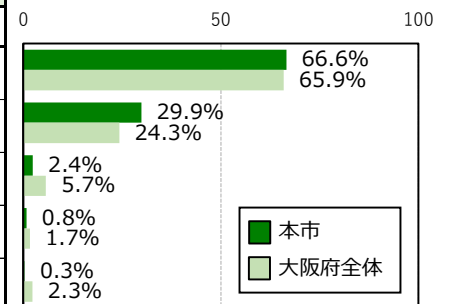
全体は、「起きている」が66.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が29.9%、「あまり、起きていない」が2.4%となっている。

小学生は、「起きている」が67.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が29.7%、「あまり、起きていない」が2.4%となっている。

中学生は、「起きている」が66.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が29.9%、「あまり、起きていない」が2.6%、「起きていない」が1.3%となっている。

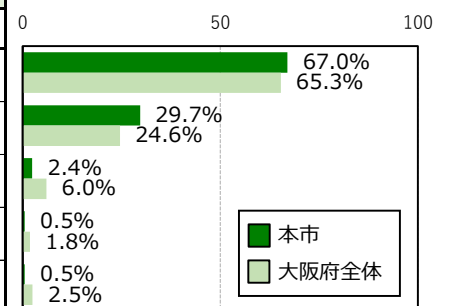
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
起きている	245名	66.6%	28,594名	65.9%
どちらかといえば、起きている	110名	29.9%	10,539名	24.3%
あまり、起きていない	9名	2.4%	2,478名	5.7%
起きていない	3名	0.8%	741名	1.7%
無回答	1名	0.3%	1,018名	2.3%



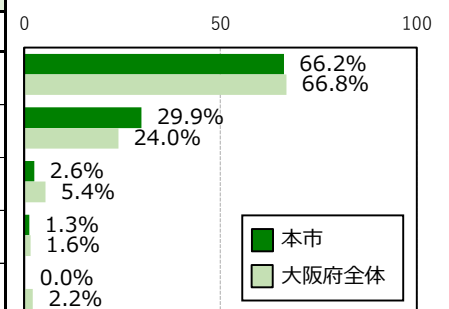
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
起きている	142名	67.0%	15,198名	65.3%
どちらかといえば、起きている	63名	29.7%	5,722名	24.6%
あまり、起きていない	5名	2.4%	1,386名	6.0%
起きていない	1名	0.5%	410名	1.8%
無回答	1名	0.5%	573名	2.5%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
起きている	102名	66.2%	13,344名	66.8%
どちらかといえば、起きている	46名	29.9%	4,791名	24.0%
あまり、起きていない	4名	2.6%	1,088名	5.4%
起きていない	2名	1.3%	328名	1.6%
無回答	-	-	439名	2.2%



ふだんの生活のことについて

問3 就寝時間

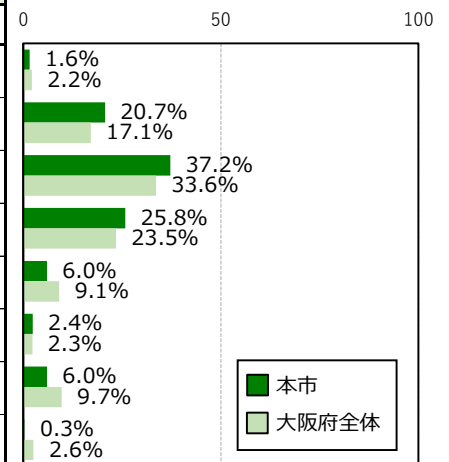
全体は、「午後10時台」が37.2%で最も多く、次いで「午後11時台」が25.8%、「午後9時台」が20.7%、「午前0時台」、「きまっていない」がそれぞれ6.0%となっている。

小学生は、「午後10時台」が46.2%で最も多く、次いで「午後9時台」が30.7%、「午後11時台」が11.8%、「きまっていない」が5.7%となっている。

中学生は、「午後11時台」が44.8%で最も多く、次いで「午後10時台」が25.3%、「午前0時台」が11.0%、「午後9時台」が7.1%となっている。

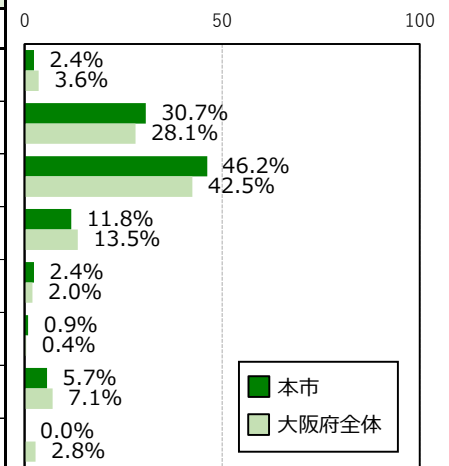
【全体】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
午後9時より前	6名	1.6%	963名	2.2%
午後9時台	76名	20.7%	7,400名	17.1%
午後10時台	137名	37.2%	14,573名	33.6%
午後11時台	95名	25.8%	10,204名	23.5%
午前0時台	22名	6.0%	3,927名	9.1%
午前1時より後	9名	2.4%	979名	2.3%
きまっていない	22名	6.0%	4,213名	9.7%
無回答	1名	0.3%	1,111名	2.6%



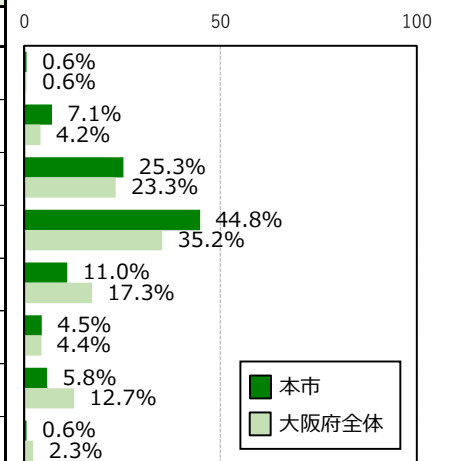
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
午後9時より前	5名	2.4%	845名	3.6%
午後9時台	65名	30.7%	6,553名	28.1%
午後10時台	98名	46.2%	9,894名	42.5%
午後11時台	25名	11.8%	3,139名	13.5%
午前0時台	5名	2.4%	455名	2.0%
午前1時より後	2名	0.9%	95名	0.4%
きまっていない	12名	5.7%	1,660名	7.1%
無回答	-	-	648名	2.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
午後9時より前	1名	0.6%	113名	0.6%
午後9時台	11名	7.1%	830名	4.2%
午後10時台	39名	25.3%	4,655名	23.3%
午後11時台	69名	44.8%	7,043名	35.2%
午前0時台	17名	11.0%	3,464名	17.3%
午前1時より後	7名	4.5%	883名	4.4%
きまっていない	9名	5.8%	2,544名	12.7%
無回答	1名	0.6%	458名	2.3%



ふだんの生活のことについて

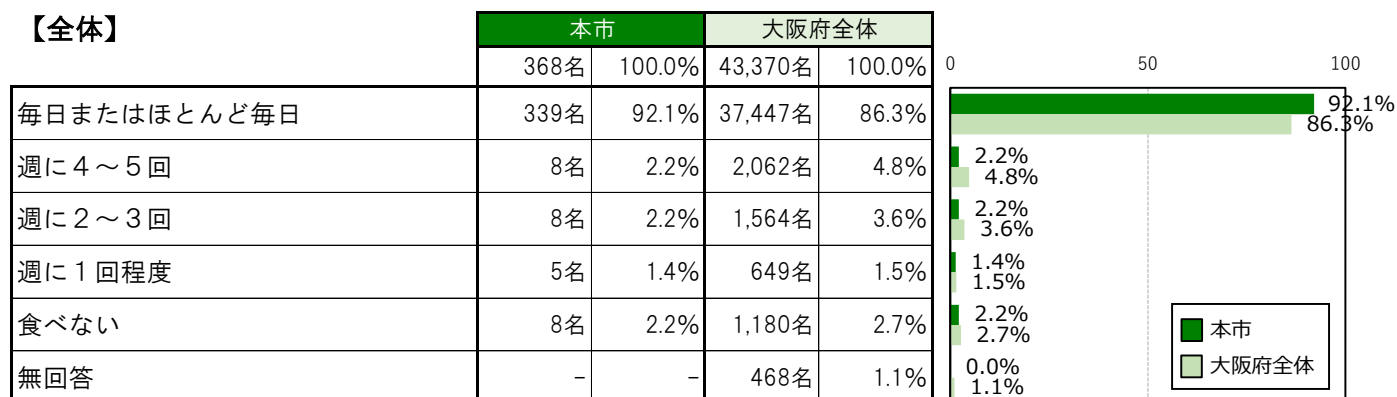
問4（1）朝食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が92.1%で最も多く、次いで「週に4～5回」、「週に2～3回」、「食べない」がそれぞれ2.2%、「週に1回程度」が1.4%となっている。

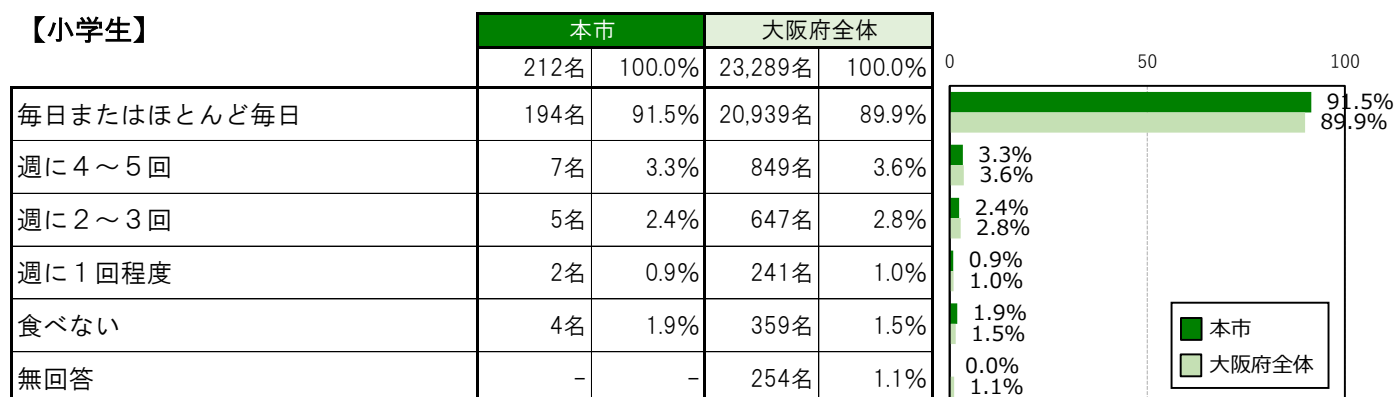
小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が91.5%で最も多く、次いで「週に4～5回」が3.3%、「週に2～3回」が2.4%、「食べない」が1.9%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が92.9%で最も多く、次いで「食べない」が2.6%、「週に2～3回」、「週に1回程度」がそれぞれ1.9%となっている。

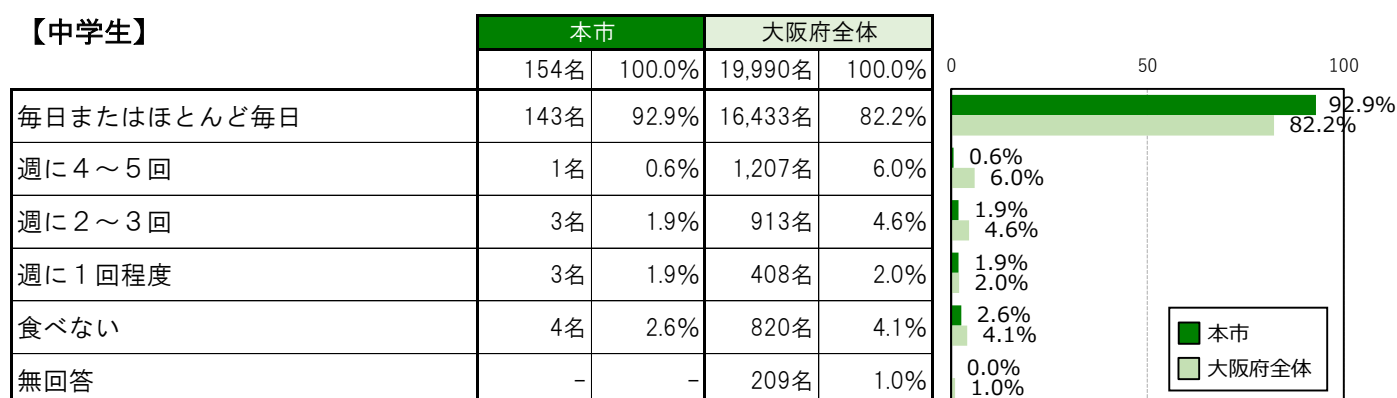
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問4（2）朝食を食べない理由

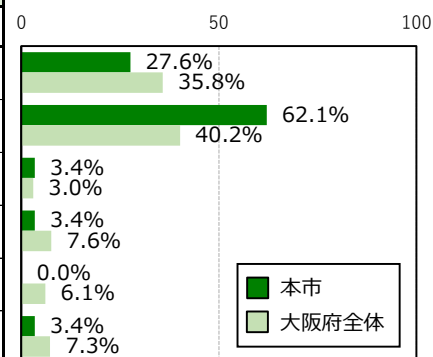
全体は、「おなかがすいていない」が62.1%で最も多く、次いで「時間がない」が27.6%、「用意されていない」、「食べる習慣がない」がそれぞれ3.4%となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が61.1%で最も多く、次いで「時間がない」が27.8%、「用意されていない」が5.6%となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が63.6%で最も多く、次いで「時間がない」が27.3%、「食べる習慣がない」が9.1%となっている。

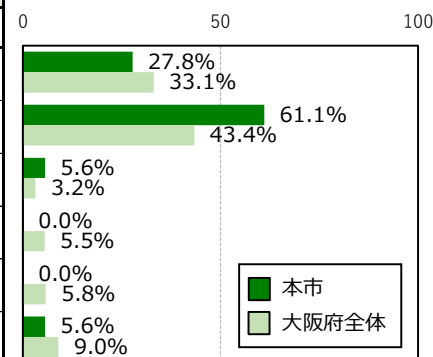
【全体】

	本市		大阪府全体	
	29名	100.0%	5,455名	100.0%
時間がない	8名	27.6%	1,954名	35.8%
おなかがすいていない	18名	62.1%	2,194名	40.2%
用意されていない	1名	3.4%	162名	3.0%
食べる習慣がない	1名	3.4%	414名	7.6%
わからない	-	-	334名	6.1%
無回答	1名	3.4%	397名	7.3%



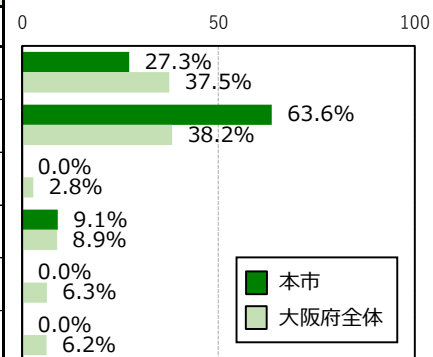
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	18名	100.0%	2,096名	100.0%
時間がない	5名	27.8%	694名	33.1%
おなかがすいていない	11名	61.1%	909名	43.4%
用意されていない	1名	5.6%	68名	3.2%
食べる習慣がない	-	-	116名	5.5%
わからない	-	-	121名	5.8%
無回答	1名	5.6%	188名	9.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	11名	100.0%	3,348名	100.0%
時間がない	3名	27.3%	1,257名	37.5%
おなかがすいていない	7名	63.6%	1,280名	38.2%
用意されていない	-	-	94名	2.8%
食べる習慣がない	1名	9.1%	298名	8.9%
わからない	-	-	212名	6.3%
無回答	-	-	207名	6.2%

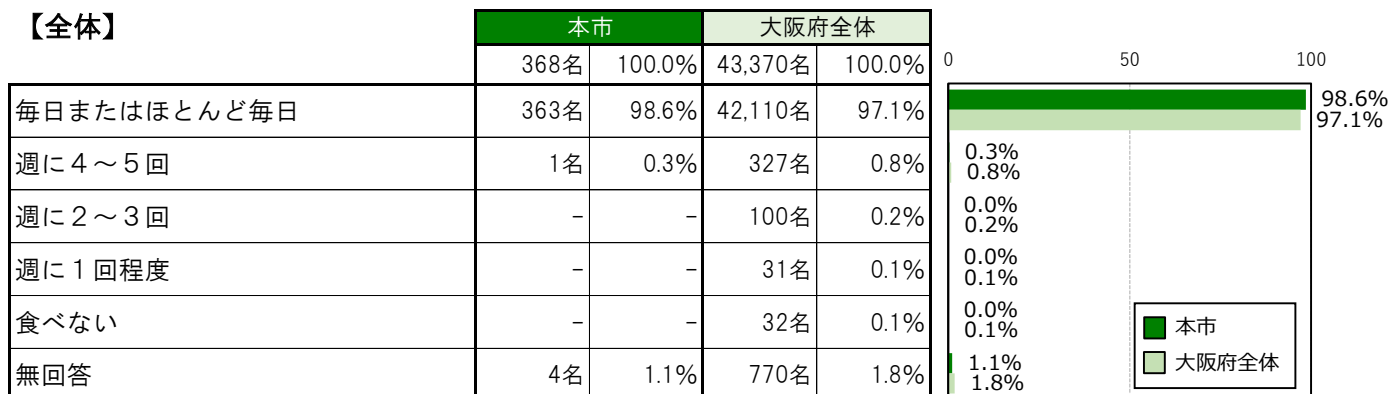


ふだんの生活のことについて

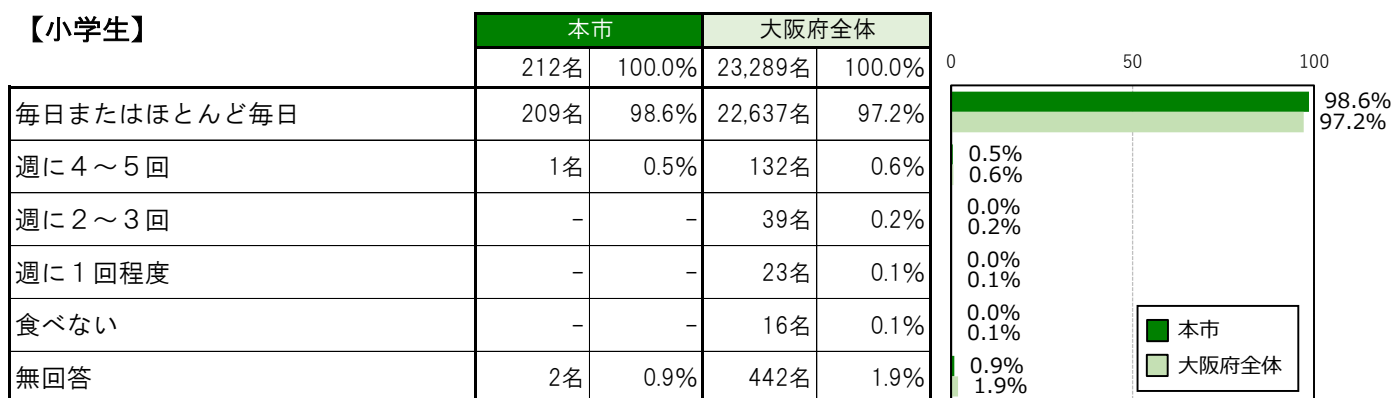
問5（1）夕食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が98.6%で最も多くなっている。
 小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が98.6%で最も多くなっている。
 中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が98.7%と最も多くなっている。

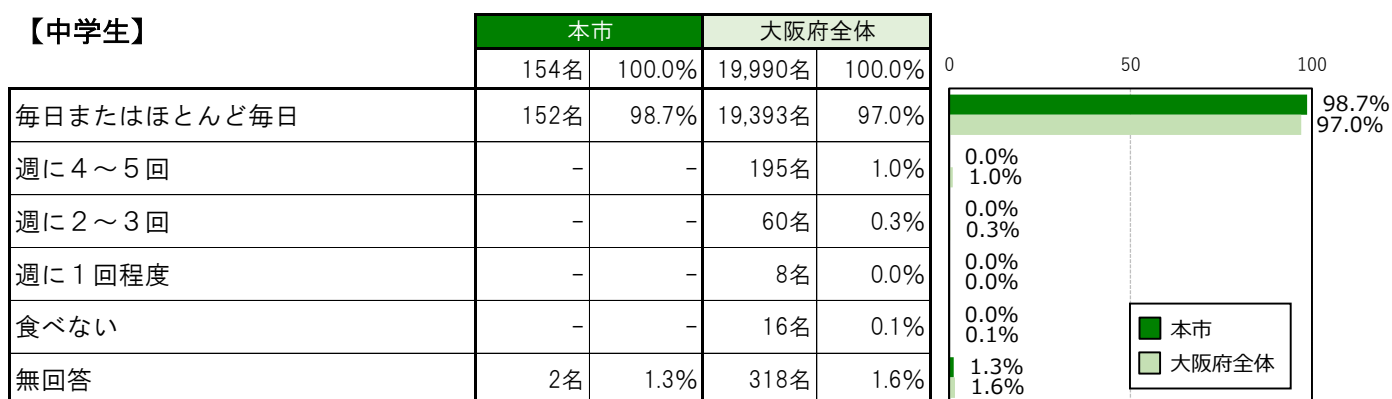
【全体】



【小学生】



【中学生】



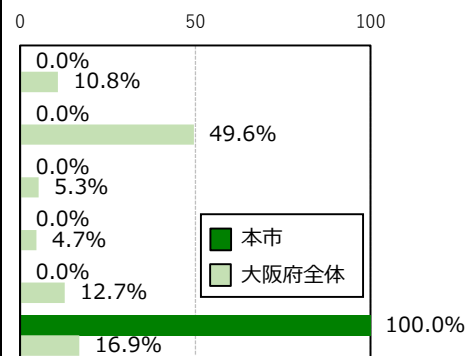
ふだんの生活のことについて

問5（2）夕食を食べない理由

全体・小学生・中学生は、いずれも回答者がいなかった。

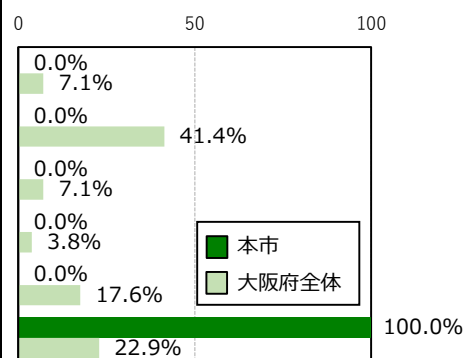
【全体】

	本市		大阪府全体	
	1名	100.0%	490名	100.0%
時間がない	-	-	53名	10.8%
おなかがすいていない	-	-	243名	49.6%
用意されていない	-	-	26名	5.3%
食べる習慣がない	-	-	23名	4.7%
わからない	-	-	62名	12.7%
無回答	1名	100.0%	83名	16.9%



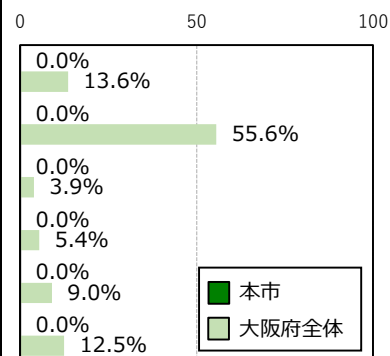
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	1名	100.0%	210名	100.0%
時間がない	-	-	15名	7.1%
おなかがすいていない	-	-	87名	41.4%
用意されていない	-	-	15名	7.1%
食べる習慣がない	-	-	8名	3.8%
わからない	-	-	37名	17.6%
無回答	1名	100.0%	48名	22.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	-	-	279名	100.0%
時間がない	-	-	38名	13.6%
おなかがすいていない	-	-	155名	55.6%
用意されていない	-	-	11名	3.9%
食べる習慣がない	-	-	15名	5.4%
わからない	-	-	25名	9.0%
無回答	-	-	35名	12.5%



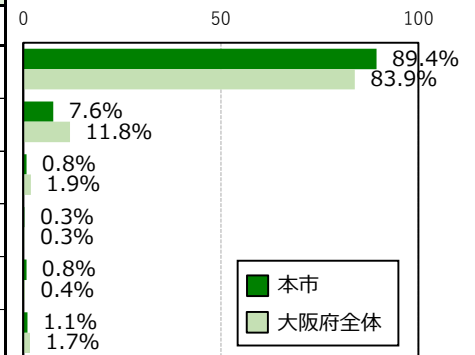
ふだんの生活のことについて

問6（１）休日の昼食の頻度

全体は、「必ず食べる」が89.4%で最も多く、次いで「食べることが多い」が7.6%となっている。
 小学生は、「必ず食べる」が87.7%で最も多く、次いで「食べることが多い」が9.9%となっている。
 中学生は、「必ず食べる」が91.6%で最も多く、次いで「食べることが多い」が4.5%となっている。

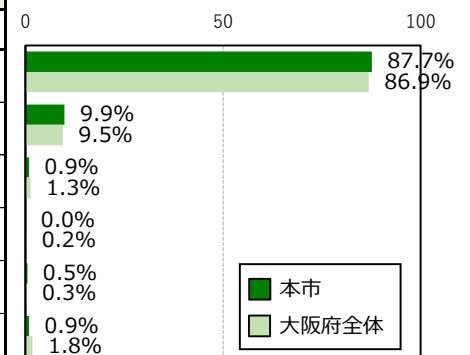
【全体】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
必ず食べる	329名	89.4%	36,388名	83.9%
食べることが多い	28名	7.6%	5,118名	11.8%
食べないことが多い	3名	0.8%	830名	1.9%
食べない	1名	0.3%	117名	0.3%
わからない	3名	0.8%	180名	0.4%
無回答	4名	1.1%	737名	1.7%



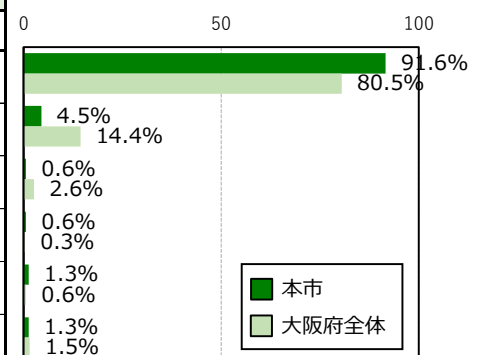
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
必ず食べる	186名	87.7%	20,227名	86.9%
食べるが多い	21名	9.9%	2,221名	9.5%
食べないことが多い	2名	0.9%	306名	1.3%
食べない	-	-	51名	0.2%
わからない	1名	0.5%	62名	0.3%
無回答	2名	0.9%	422名	1.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
必ず食べる	141名	91.6%	16,090名	80.5%
食べるが多い	7名	4.5%	2,886名	14.4%
食べないことが多い	1名	0.6%	524名	2.6%
食べない	1名	0.6%	66名	0.3%
わからない	2名	1.3%	117名	0.6%
無回答	2名	1.3%	307名	1.5%



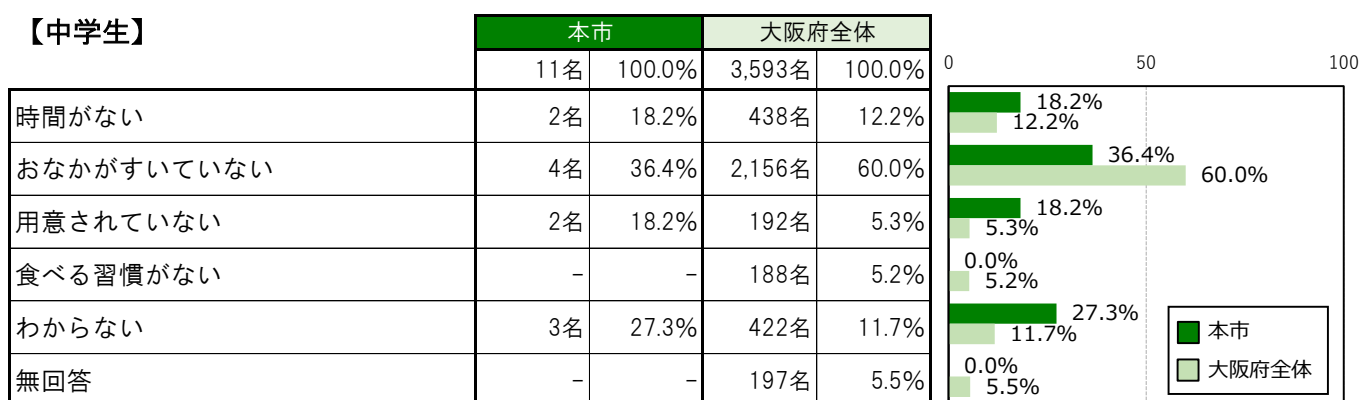
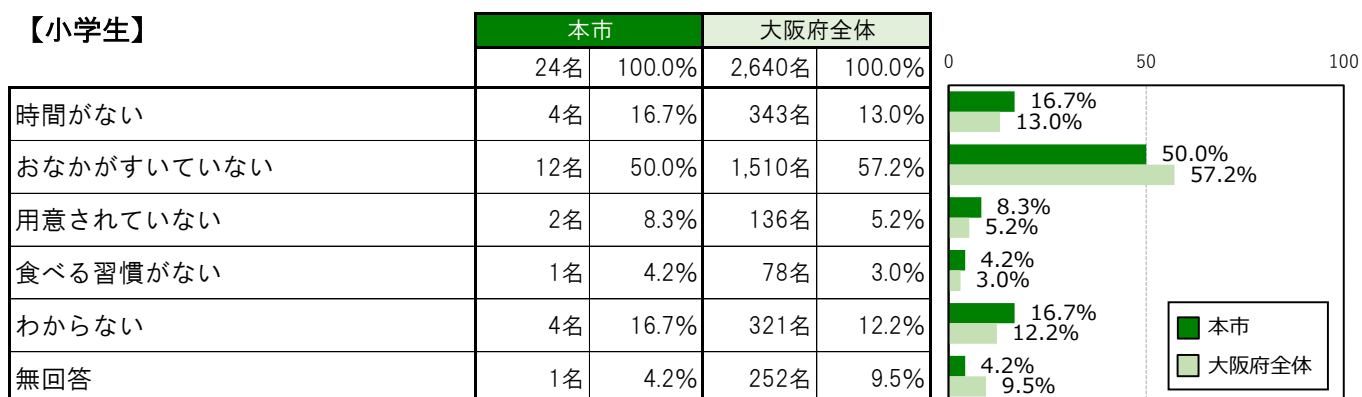
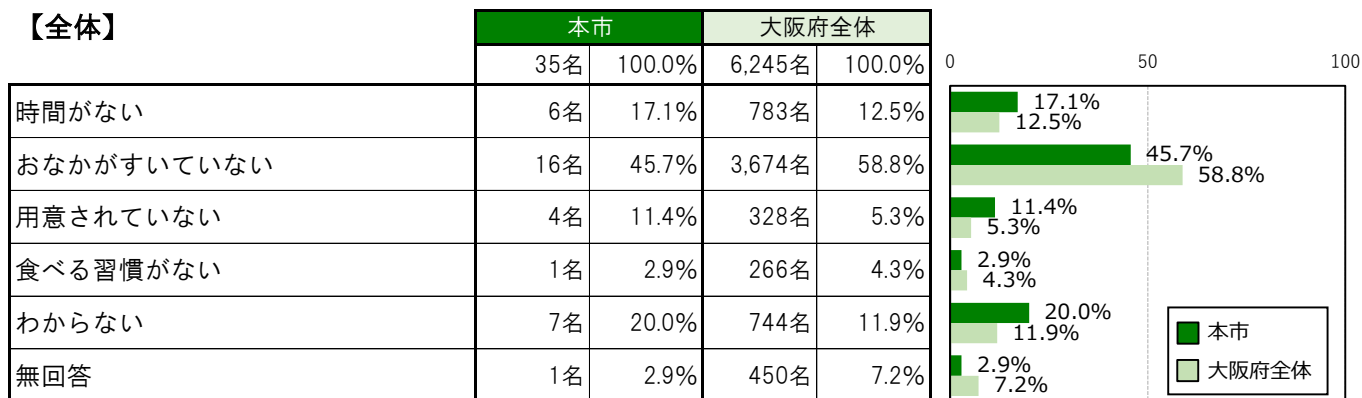
ふだんの生活のことについて

問6（2）休日に昼食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が45.7%で最も多く、次いで「時間がない」が17.1%、「用意されていない」が11.4%、「食べる習慣がない」が2.9%となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が50.0%で最も多く、次いで「時間がない」が16.7%、「用意されていない」が8.3%、「食べる習慣がない」が4.2%となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が36.4%で最も多く、次いで「時間がない」、「用意されていない」がそれぞれ18.2%となっている。



ふだんの生活のことについて

問7 学校への遅刻

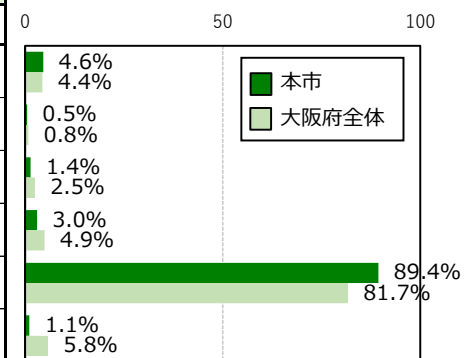
全体は、「遅刻はしない」が89.4%で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.6%、「週に1回程度」が3.0%、「週に2～3回」が1.4%となっている。

小学生は、「遅刻はしない」が88.7%で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.7%、「週に1回程度」が3.8%となっている。

中学生は、「遅刻はしない」が90.3%で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.5%、「週に2～3回」が1.9%となっている。

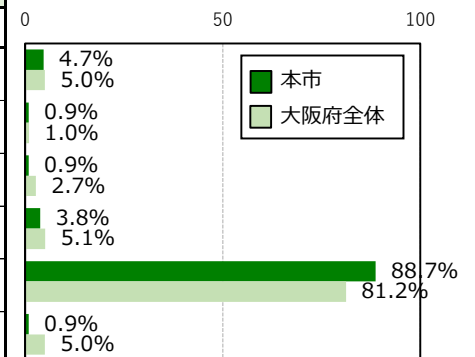
【全体】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	17名	4.6%	1,906名	4.4%
週に4～5回	2名	0.5%	333名	0.8%
週に2～3回	5名	1.4%	1,063名	2.5%
週に1回程度	11名	3.0%	2,132名	4.9%
遅刻はしない	329名	89.4%	35,435名	81.7%
無回答	4名	1.1%	2,501名	5.8%



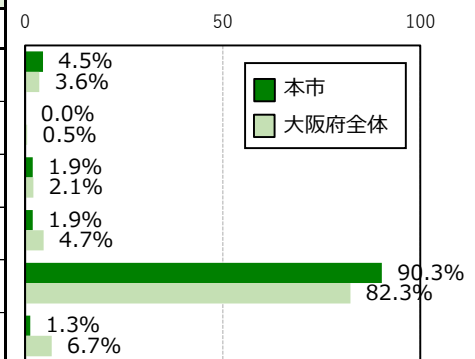
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	10名	4.7%	1,168名	5.0%
週に4～5回	2名	0.9%	223名	1.0%
週に2～3回	2名	0.9%	639名	2.7%
週に1回程度	8名	3.8%	1,194名	5.1%
遅刻はしない	188名	88.7%	18,907名	81.2%
無回答	2名	0.9%	1,158名	5.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	7名	4.5%	729名	3.6%
週に4～5回	-	-	109名	0.5%
週に2～3回	3名	1.9%	423名	2.1%
週に1回程度	3名	1.9%	935名	4.7%
遅刻はしない	139名	90.3%	16,459名	82.3%
無回答	2名	1.3%	1,335名	6.7%



ふだんの生活のことについて

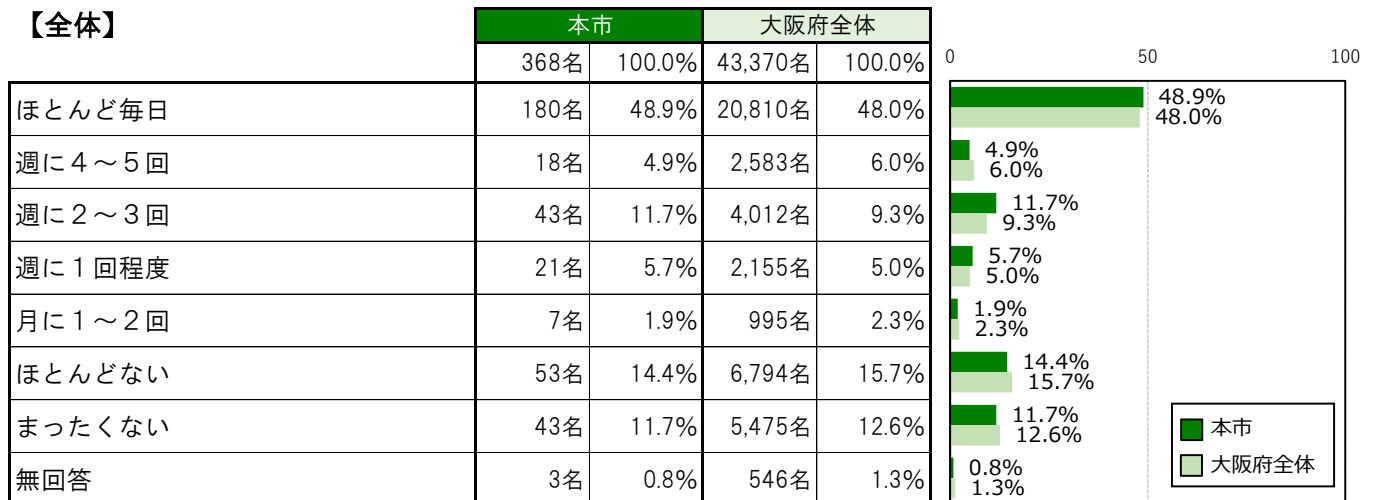
問8 保護者との関係性 ①おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が48.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」が14.4%、「週に2～3回」、「まったくない」がそれぞれ11.7%、「週に1回程度」が5.7%となっている。

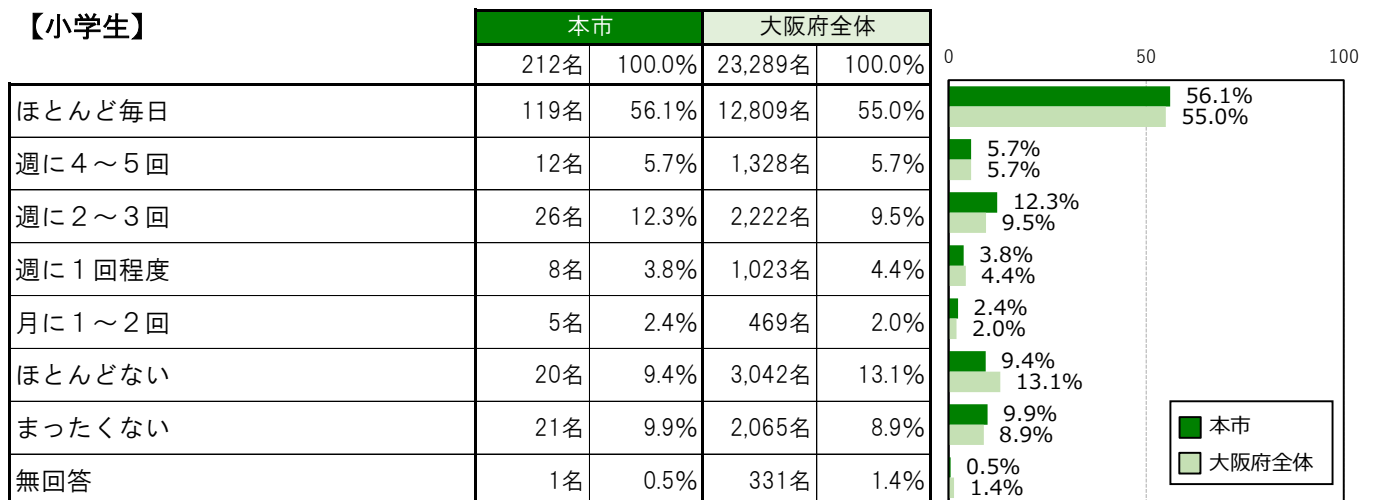
小学生は、「ほとんど毎日」が56.1%で最も多く、次いで「週に2～3回」が12.3%、「まったくない」が9.9%、「ほとんどない」が9.4%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が39.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が20.8%、「まったくない」が14.3%、「週に2～3回」が11.0%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

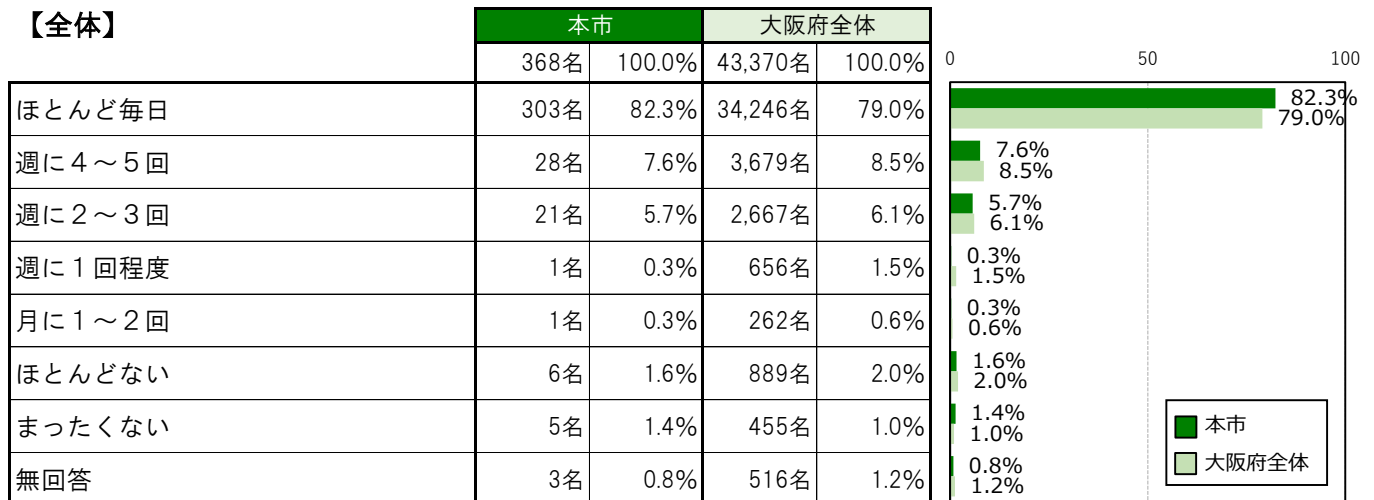
問8 保護者との関係性 ②おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が82.3%で最も多く、次いで「週に4～5回」が7.6%、「週に2～3回」が5.7%、「ほとんどない」が1.6%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が90.6%で最も多く、次いで「週に4～5回」が4.7%、「週に2～3回」が2.4%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が70.8%で最も多く、次いで「週に4～5回」が11.7%、「週に2～3回」が10.4%、「ほとんどない」、「まったくない」がそれぞれ2.6%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ③おうちの大人の人に朝、起こしてもらうか

全体は、「ほとんど毎日」が45.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.3%、「週に2～3回」が11.7%、「まったくない」が10.9%となっている。

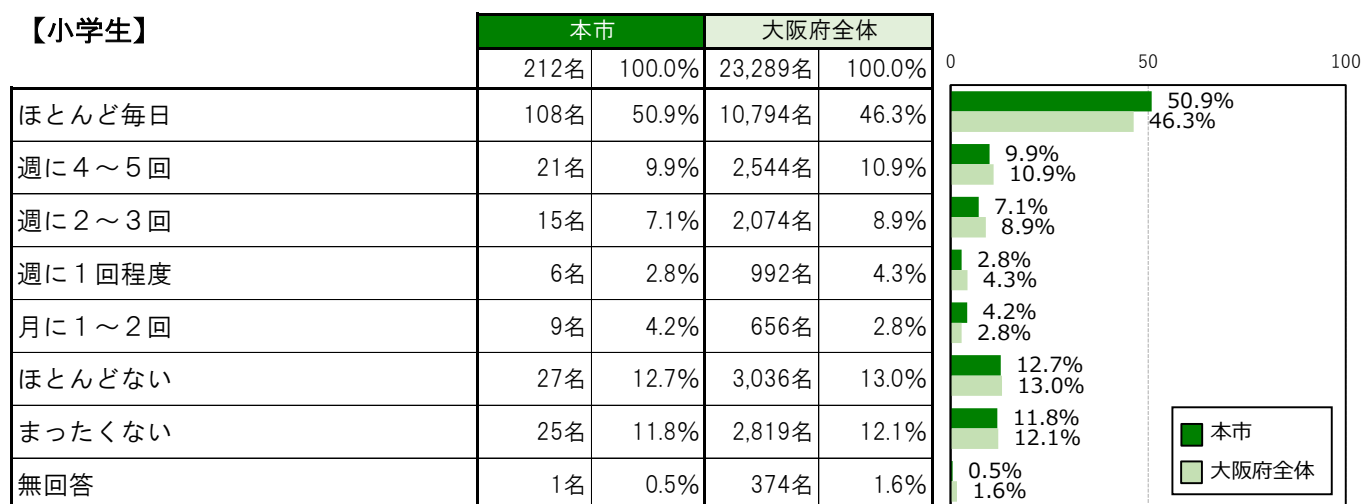
小学生は、「ほとんど毎日」が50.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」が12.7%、「まったくない」が11.8%、「週に4～5回」が9.9%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が37.7%で最も多く、次いで「週に2～3回」が18.2%、「ほとんどない」が14.3%、「週に4～5回」が11.7%となっている。

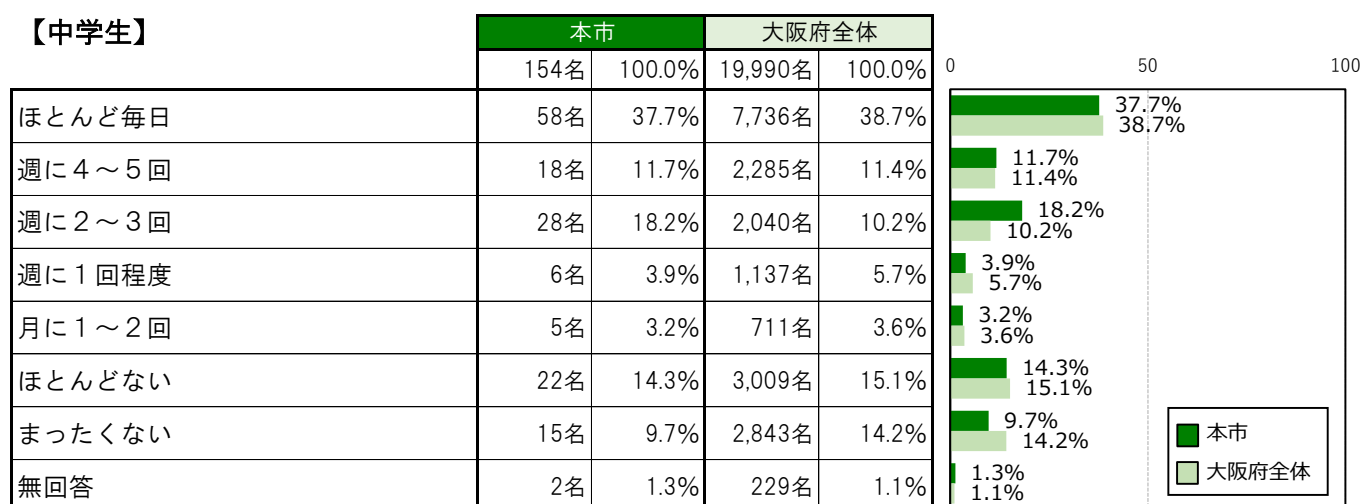
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ④おうちの手伝いをしているか

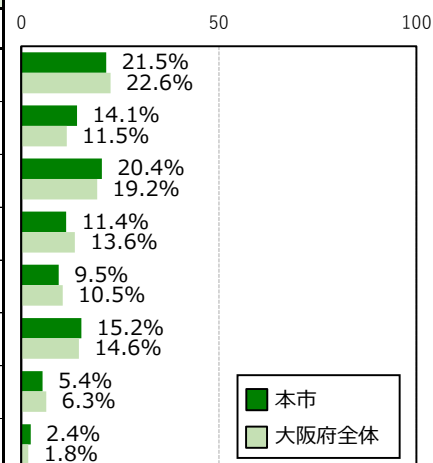
全体は、「ほとんど毎日」が21.5%で最も多く、次いで「週に2～3回」が20.4%、「ほとんどない」が15.2%、「週に4～5回」が14.1%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が24.1%で最も多く、次いで「週に2～3回」が19.8%、「週に4～5回」が16.0%、「月に1～2回」が12.3%となっている。

中学生は、「週に2～3回」が21.4%で最も多く、次いで「ほとんどない」が20.8%、「ほとんど毎日」が18.2%、「週に1回程度」が11.7%となっている。

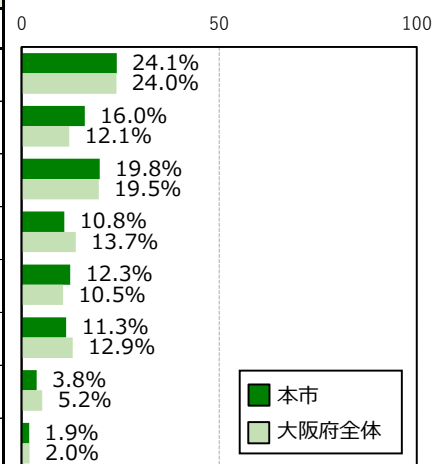
【全体】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	79名	21.5%	9,795名	22.6%
週に4～5回	52名	14.1%	5,006名	11.5%
週に2～3回	75名	20.4%	8,307名	19.2%
週に1回程度	42名	11.4%	5,879名	13.6%
月に1～2回	35名	9.5%	4,561名	10.5%
ほとんどない	56名	15.2%	6,329名	14.6%
まったくない	20名	5.4%	2,722名	6.3%
無回答	9名	2.4%	771名	1.8%



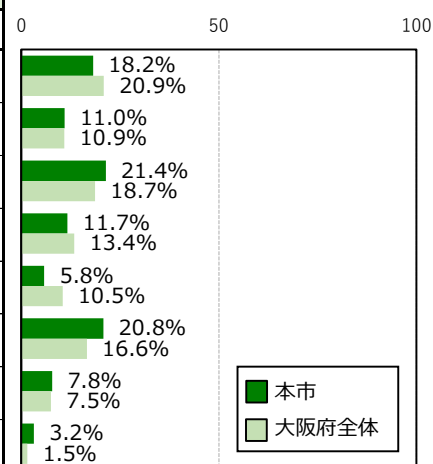
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	51名	24.1%	5,601名	24.0%
週に4～5回	34名	16.0%	2,812名	12.1%
週に2～3回	42名	19.8%	4,552名	19.5%
週に1回程度	23名	10.8%	3,186名	13.7%
月に1～2回	26名	12.3%	2,448名	10.5%
ほとんどない	24名	11.3%	3,000名	12.9%
まったくない	8名	3.8%	1,219名	5.2%
無回答	4名	1.9%	471名	2.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	28名	18.2%	4,171名	20.9%
週に4～5回	17名	11.0%	2,187名	10.9%
週に2～3回	33名	21.4%	3,741名	18.7%
週に1回程度	18名	11.7%	2,684名	13.4%
月に1～2回	9名	5.8%	2,103名	10.5%
ほとんどない	32名	20.8%	3,319名	16.6%
まったくない	12名	7.8%	1,494名	7.5%
無回答	5名	3.2%	291名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

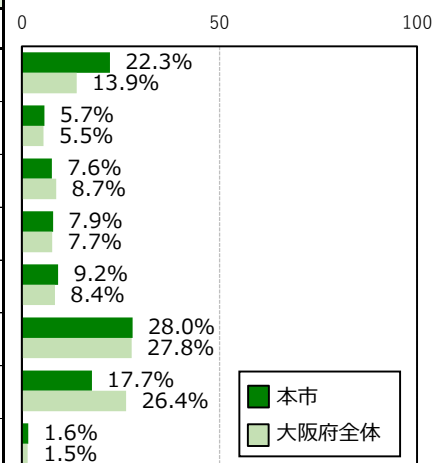
全体は、「ほとんどない」が28.0%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が22.3%、「まったくない」が17.7%、「月に1～2回」が9.2%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が34.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が16.0%、「週に1回程度」が12.3%、「週に4～5回」が9.9%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が44.2%で最も多く、次いで「まったくない」が29.2%、「月に1～2回」が9.7%、「ほとんど毎日」、「週に2～3回」がそれぞれ6.5%となっている。

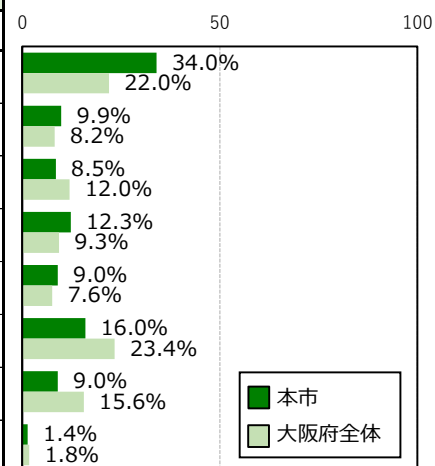
【全体】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	82名	22.3%	6,031名	13.9%
週に4～5回	21名	5.7%	2,392名	5.5%
週に2～3回	28名	7.6%	3,792名	8.7%
週に1回程度	29名	7.9%	3,336名	7.7%
月に1～2回	34名	9.2%	3,640名	8.4%
ほとんどない	103名	28.0%	12,077名	27.8%
まったくない	65名	17.7%	11,452名	26.4%
無回答	6名	1.6%	650名	1.5%



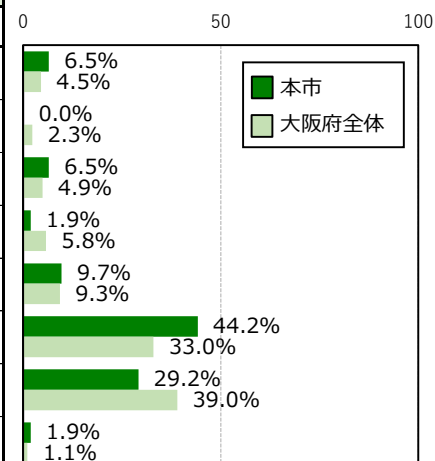
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	72名	34.0%	5,112名	22.0%
週に4～5回	21名	9.9%	1,921名	8.2%
週に2～3回	18名	8.5%	2,804名	12.0%
週に1回程度	26名	12.3%	2,176名	9.3%
月に1～2回	19名	9.0%	1,777名	7.6%
ほとんどない	34名	16.0%	5,454名	23.4%
まったくない	19名	9.0%	3,626名	15.6%
無回答	3名	1.4%	419名	1.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	10名	6.5%	905名	4.5%
週に4～5回	-	-	465名	2.3%
週に2～3回	10名	6.5%	983名	4.9%
週に1回程度	3名	1.9%	1,151名	5.8%
月に1～2回	15名	9.7%	1,857名	9.3%
ほとんどない	68名	44.2%	6,601名	33.0%
まったくない	45名	29.2%	7,803名	39.0%
無回答	3名	1.9%	225名	1.1%



ふだんの生活のことについて

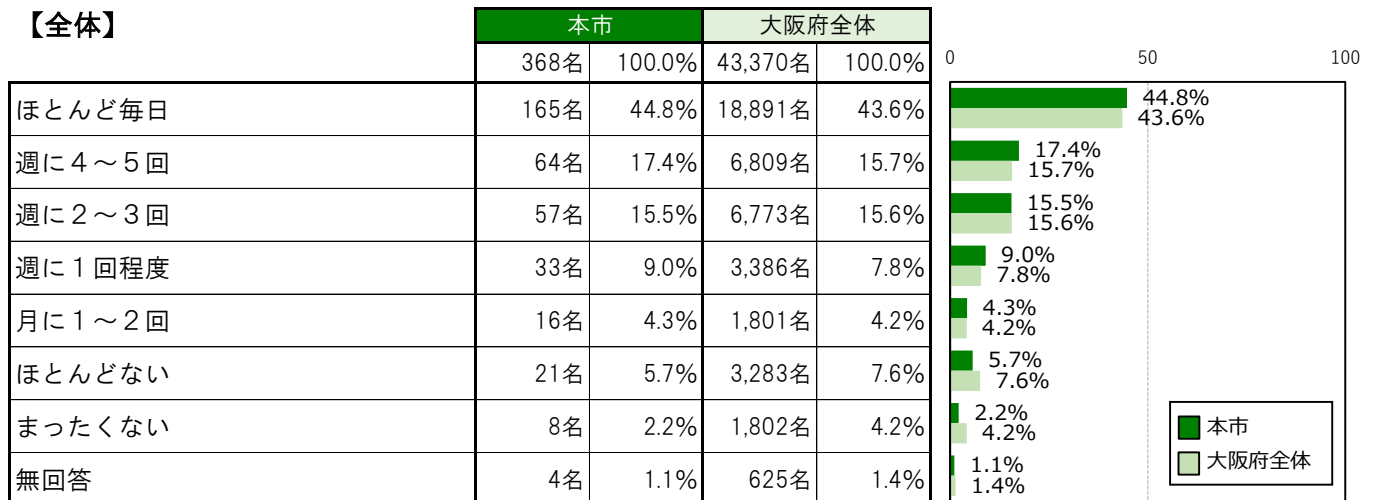
問8 保護者との関係性 ⑥おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

全体は、「ほとんど毎日」が44.8%で最も多く、次いで「週に4～5回」が17.4%、「週に2～3回」が15.5%、「週に1回程度」が9.0%となっている。

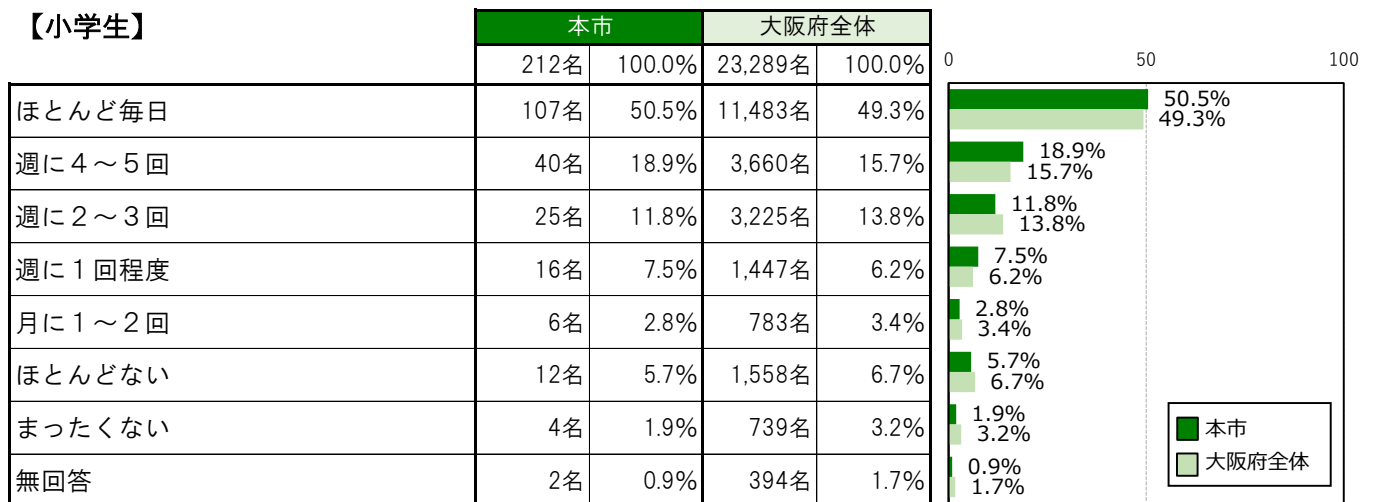
小学生は、「ほとんど毎日」が50.5%で最も多く、次いで「週に4～5回」が18.9%、「週に2～3回」が11.8%、「週に1回程度」が7.5%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が37.0%で最も多く、次いで「週に2～3回」が20.8%、「週に4～5回」が15.6%、「週に1回程度」が11.0%となっている。

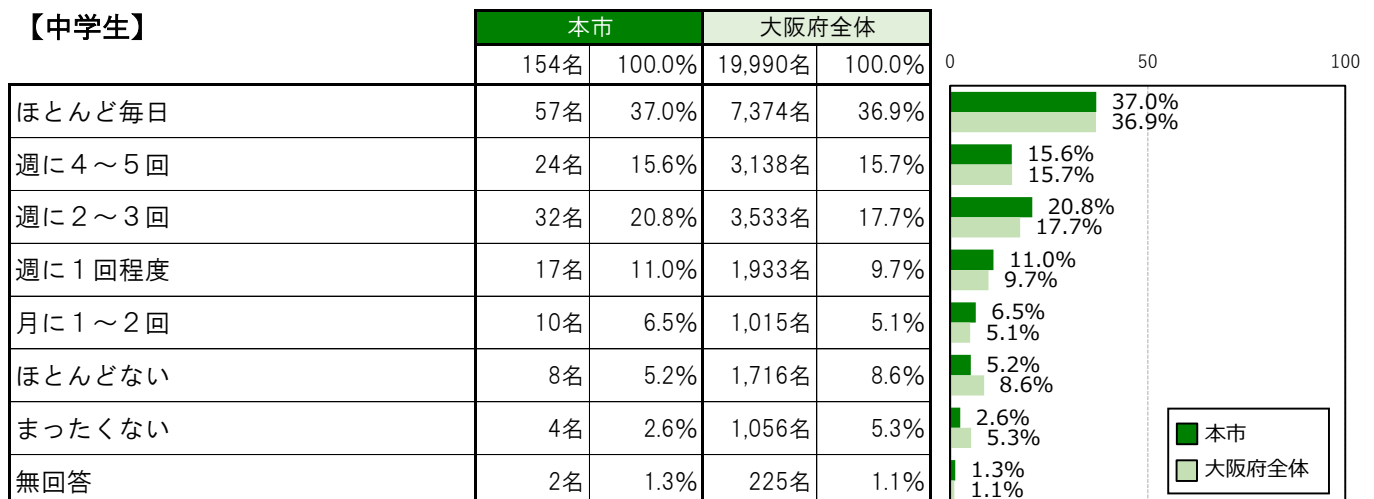
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

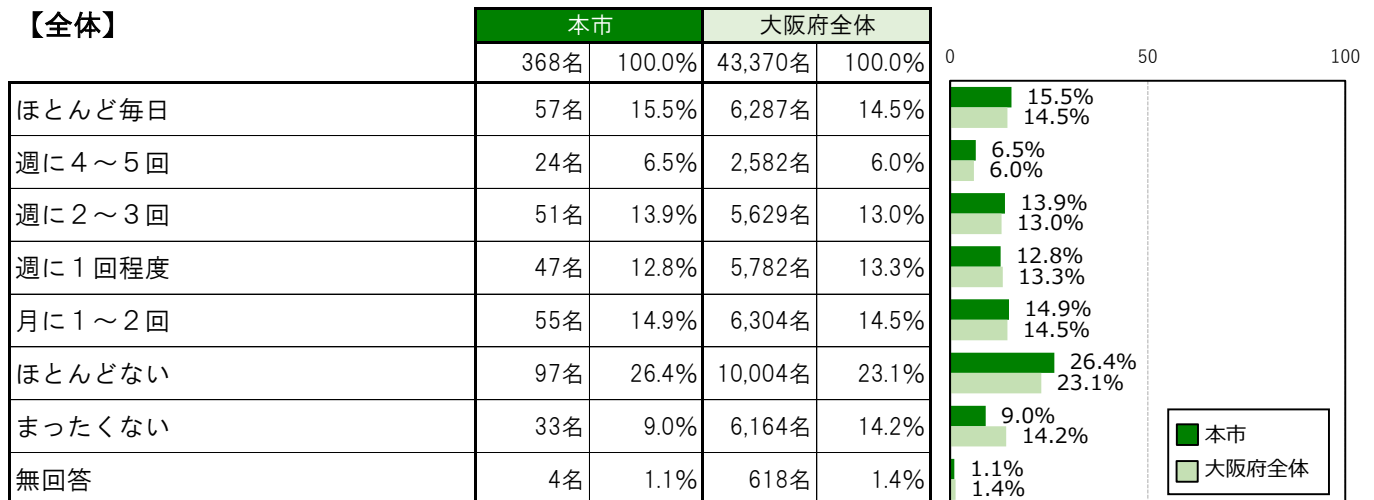
問 8 保護者との関係性 ⑦おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか

全体は、「ほとんどない」が26.4%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が15.5%、「月に1～2回」が14.9%、「週に2～3回」が13.9%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」、「ほとんどない」がそれぞれ20.8%で最も多く、次いで「週に2～3回」が15.6%、「週に1回程度」が15.1%、「月に1～2回」が14.2%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が34.4%で最も多く、次いで「月に1～2回」が16.2%、「まったくない」が14.3%、「週に2～3回」が11.0%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

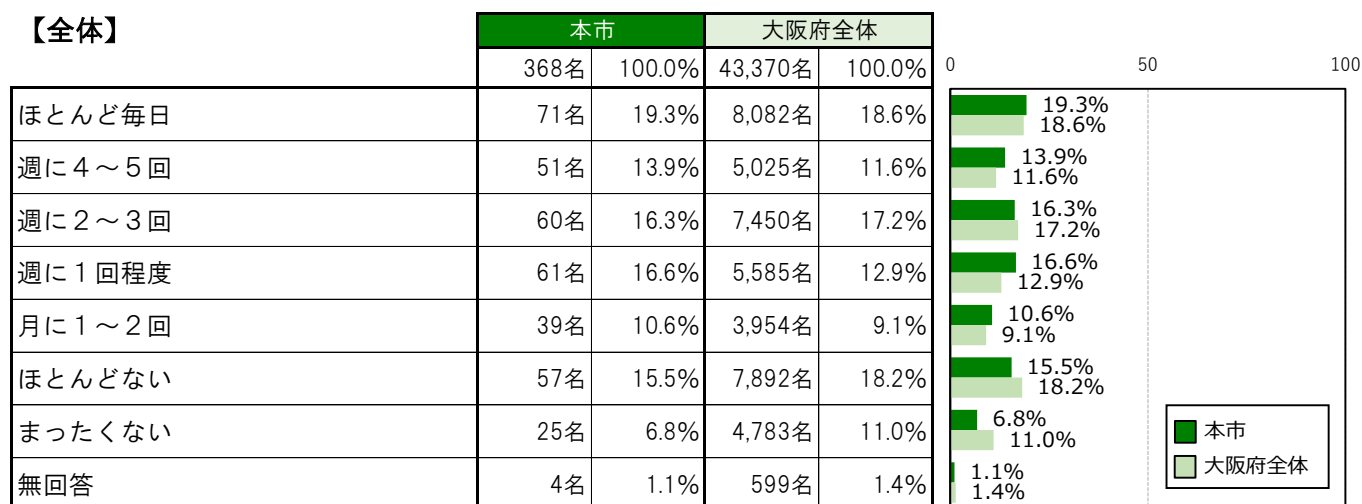
問8 保護者との関係性 ⑧おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか

全体は、「ほとんど毎日」が19.3%で最も多く、次いで「週に1回程度」が16.6%、「週に2～3回」が16.3%、「ほとんどない」が15.5%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が22.6%で最も多く、次いで「週に2～3回」、「週に1回程度」がそれぞれ18.4%、「週に4～5回」、「ほとんどない」がそれぞれ11.3%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が20.8%で最も多く、次いで「週に4～5回」が17.5%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑨おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするか

全体は、「ほとんどない」が43.5%で最も多く、次いで「まったくない」が23.1%、「月に1～2回」が21.2%、「週に1回程度」が4.1%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が42.9%で最も多く、次いで「月に1～2回」が26.9%、「まったくない」が16.5%、「週に1回程度」が4.7%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が44.2%で最も多く、次いで「まったくない」が32.5%、「月に1～2回」が13.0%、「週に2～3回」が3.9%となっている。

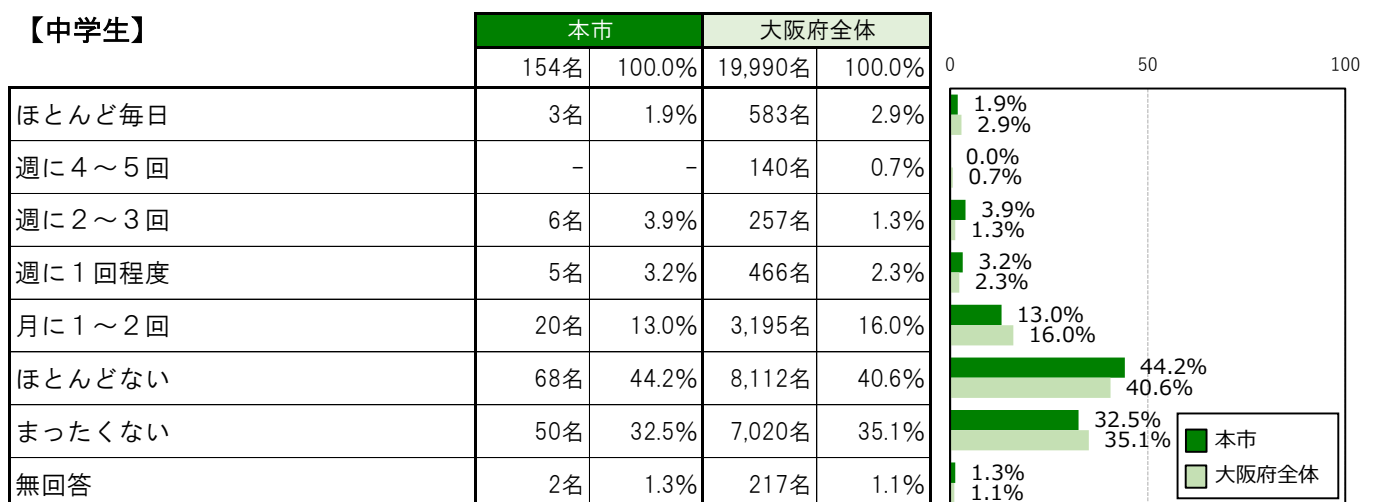
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ⑩おうちの大人の人と一緒に外出するか（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）

全体は、「週に 1 回程度」が31.0%で最も多く、次いで「週に 2～3 回」が26.1%、「月に 1～2 回」が22.8%、「ほとんど毎日」が9.2%、「週に 4～5 回」が5.4%となっている。

小学生は、「週に 2～3 回」が34.0%で最も多く、次いで「週に 1 回程度」が30.2%、「月に 1～2 回」が15.1%、「ほとんど毎日」が11.8%、「週に 4～5 回」が5.2%となっている。

中学生は、「月に 1～2 回」が33.8%で最も多く、次いで「週に 1 回程度」が32.5%、「週に 2～3 回」が15.6%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問9 毎日の生活で楽しいこと

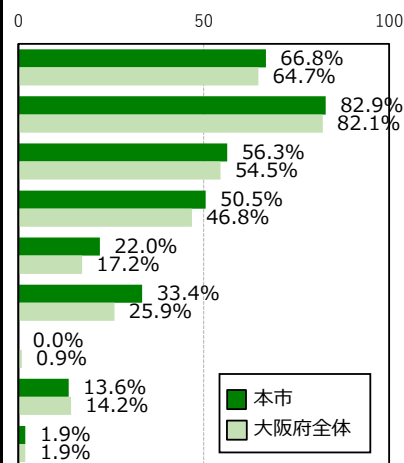
全体は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が82.9%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が66.8%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が56.3%、「ひとりで過ごしているとき」が50.5%となっている。

小学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が85.4%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が75.5%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が55.7%、「ひとりで過ごしているとき」が45.3%となっている。

中学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が79.2%で最も多く、次いで「ひとりで過ごしているとき」が58.4%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が57.1%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が55.2%となっている。

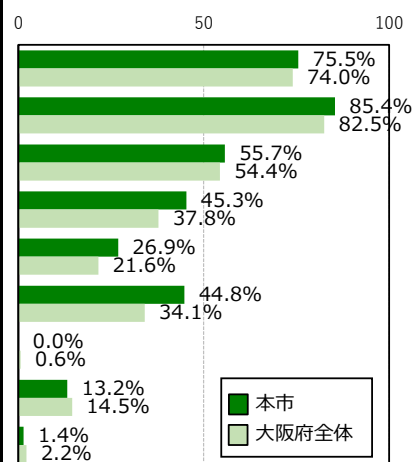
【全体】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	246名	66.8%	28,070名	64.7%
ともだちと一緒に過ごしているとき	305名	82.9%	35,599名	82.1%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	207名	56.3%	23,630名	54.5%
ひとりで過ごしているとき	186名	50.5%	20,290名	46.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	81名	22.0%	7,469名	17.2%
塾や習いごとで過ごしているとき	123名	33.4%	11,215名	25.9%
特に楽しいと思うときはない	-	-	407名	0.9%
その他	50名	13.6%	6,162名	14.2%
無回答	7名	1.9%	829名	1.9%



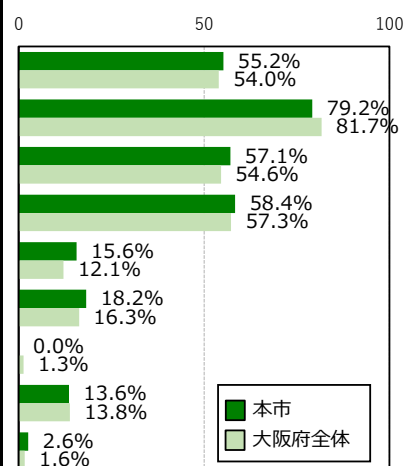
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	160名	75.5%	17,231名	74.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	181名	85.4%	19,212名	82.5%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	118名	55.7%	12,660名	54.4%
ひとりで過ごしているとき	96名	45.3%	8,805名	37.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	57名	26.9%	5,032名	21.6%
塾や習いごとで過ごしているとき	95名	44.8%	7,944名	34.1%
特に楽しいと思うときはない	-	-	143名	0.6%
その他	28名	13.2%	3,380名	14.5%
無回答	3名	1.4%	501名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	85名	55.2%	10,789名	54.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	122名	79.2%	16,324名	81.7%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	88名	57.1%	10,924名	54.6%
ひとりで過ごしているとき	90名	58.4%	11,451名	57.3%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	24名	15.6%	2,426名	12.1%
塾や習いごとで過ごしているとき	28名	18.2%	3,256名	16.3%
特に楽しいと思うときはない	-	-	264名	1.3%
その他	21名	13.6%	2,768名	13.8%
無回答	4名	2.6%	319名	1.6%



ふだんの生活のことについて

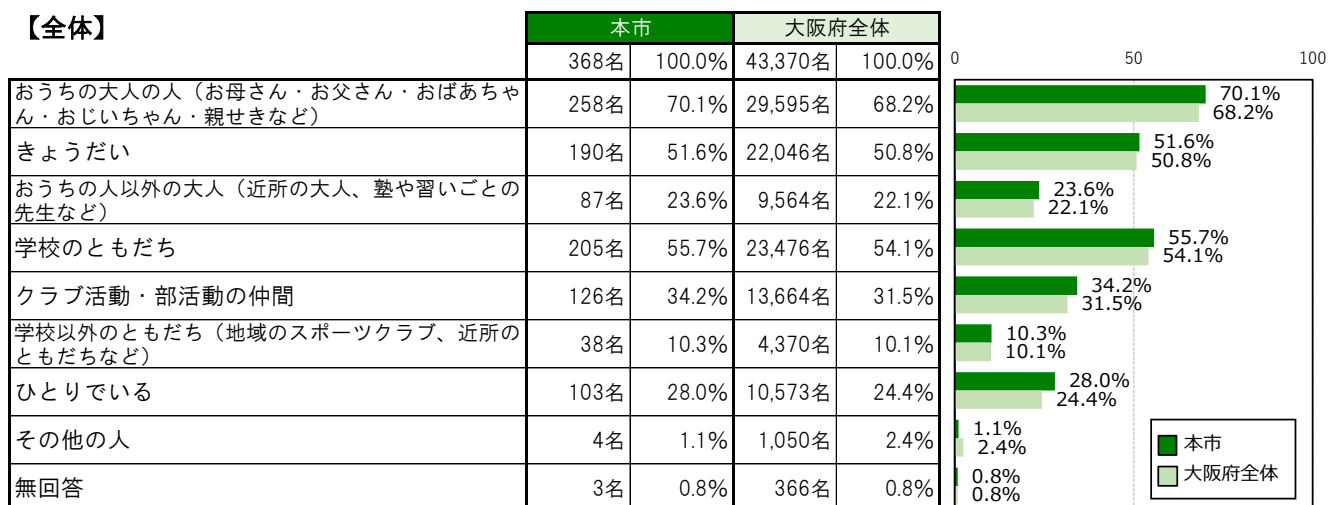
問10 放課後を一緒に過ごす人

全体は、「おうちの大人の人」が70.1%で最も多く、次いで「学校のともだち」が55.7%、「きょうだい」が51.6%、「クラブ活動・部活動の仲間」が34.2%となっている。

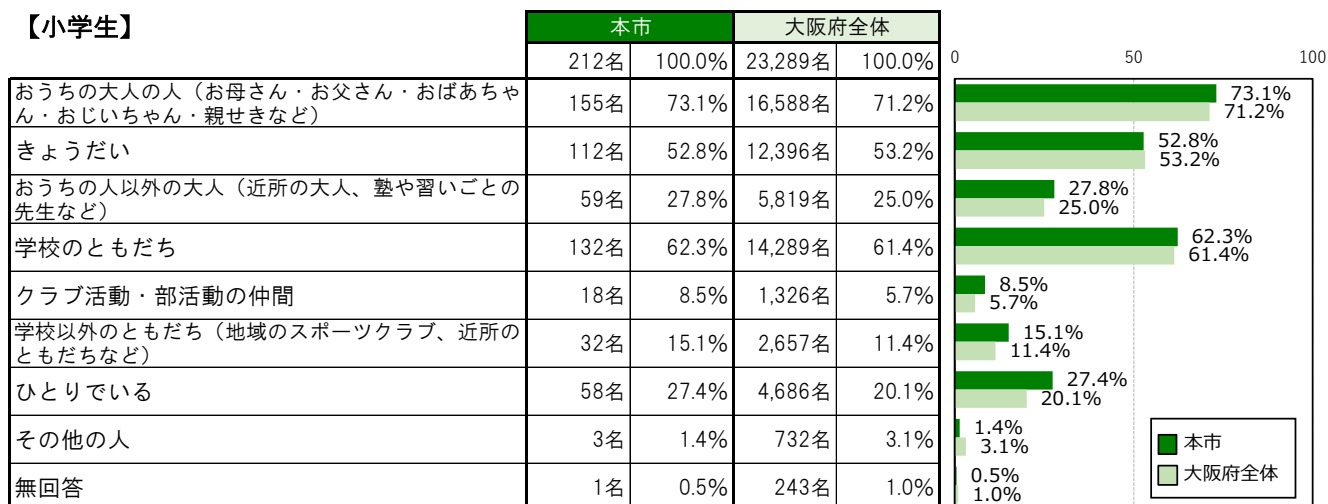
小学生は、「おうちの大人の人」が73.1%で最も多く、次いで「学校のともだち」が62.3%、「きょうだい」が52.8%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が27.8%となっている。

中学生は、「クラブ活動・部活動の仲間」が69.5%で最も多く、次いで「おうちの大人の人」が65.6%、「きょうだい」が50.0%、「学校のともだち」が46.8%となっている。

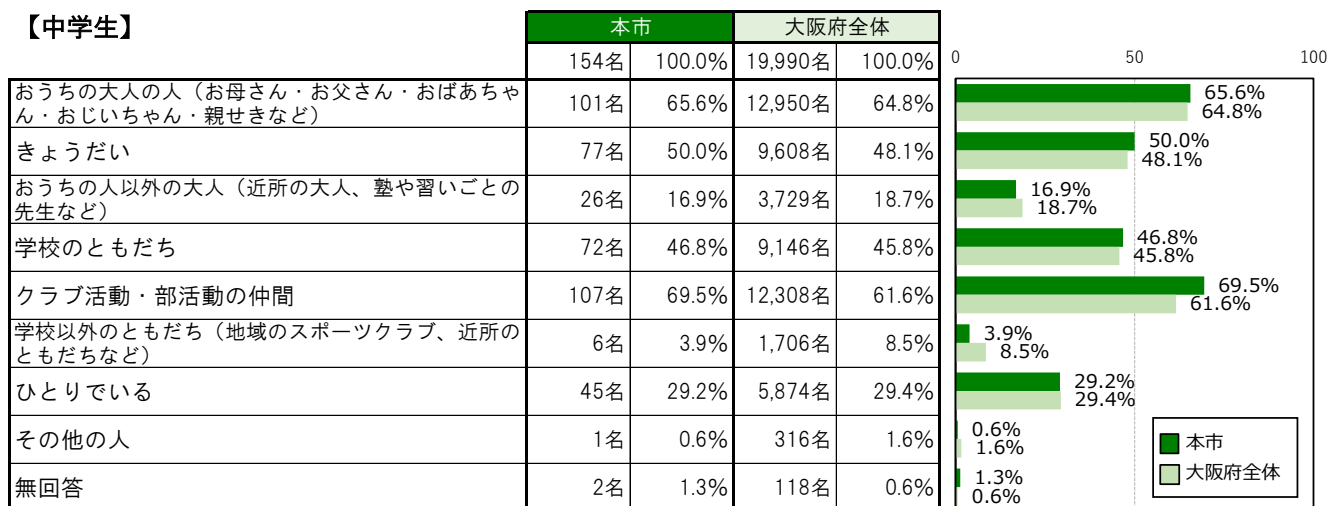
【全体】



【小学生】



【中学生】



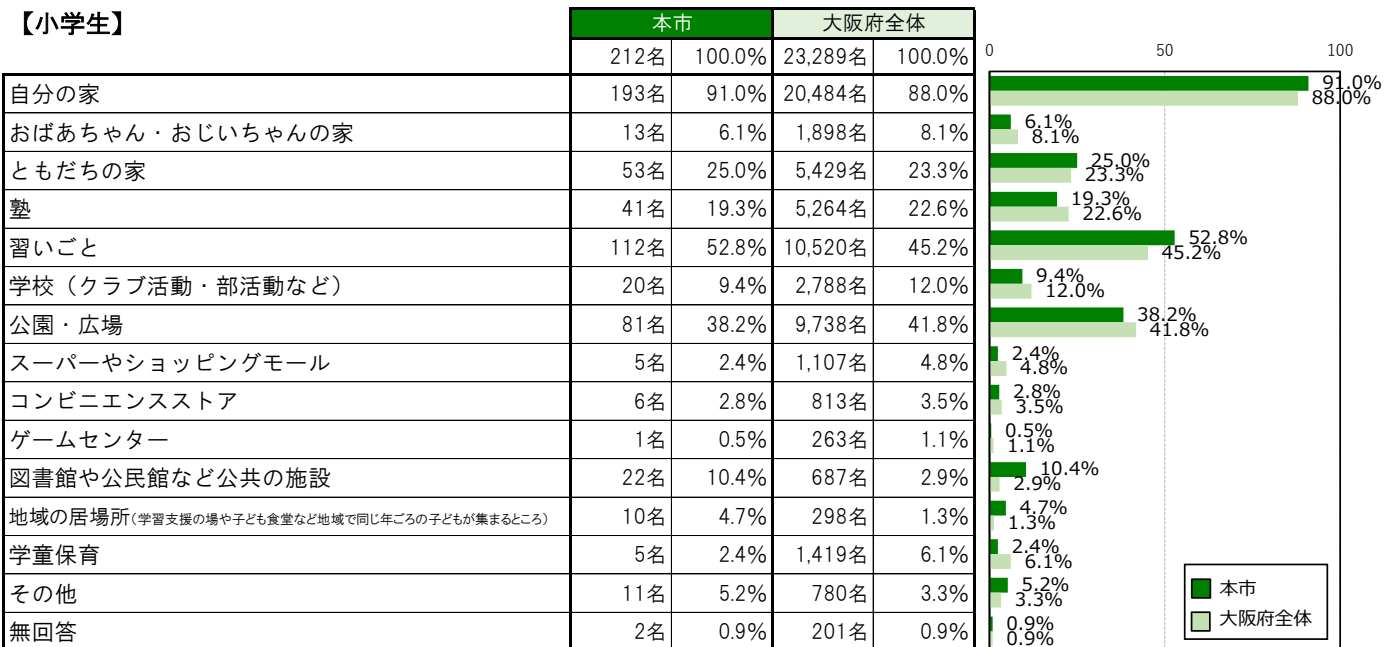
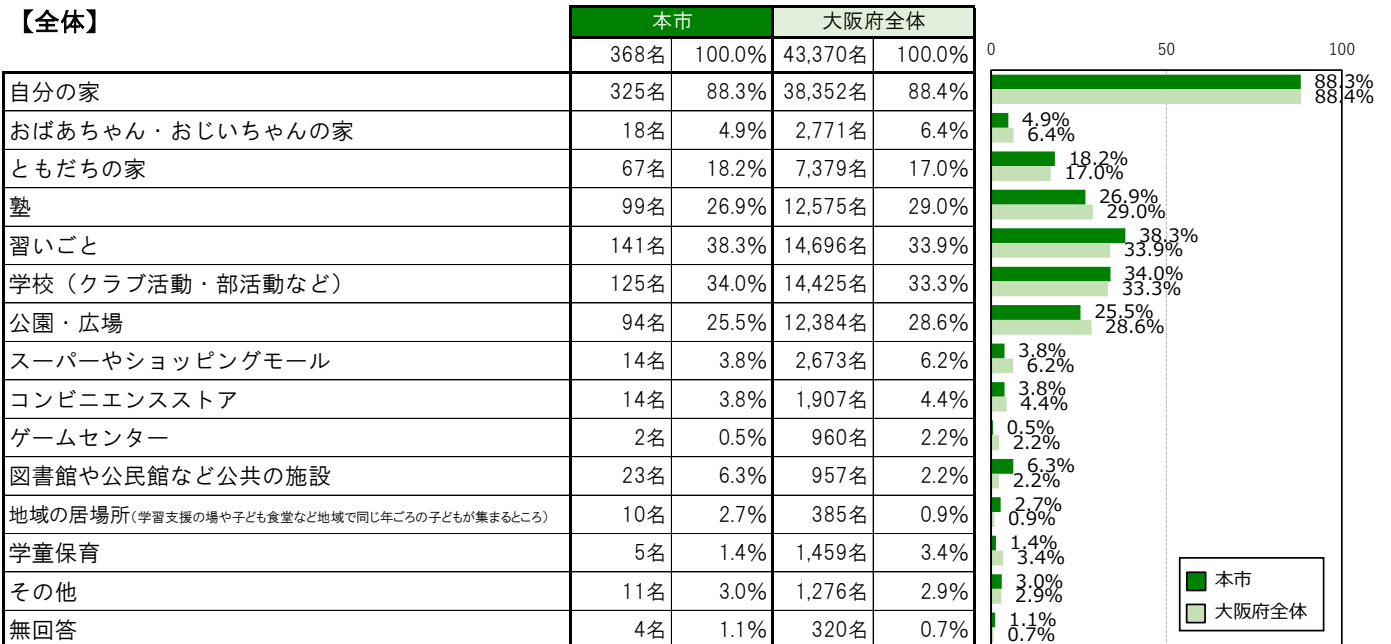
ふだんの生活のことについて

問11 放課後を過ごす場所

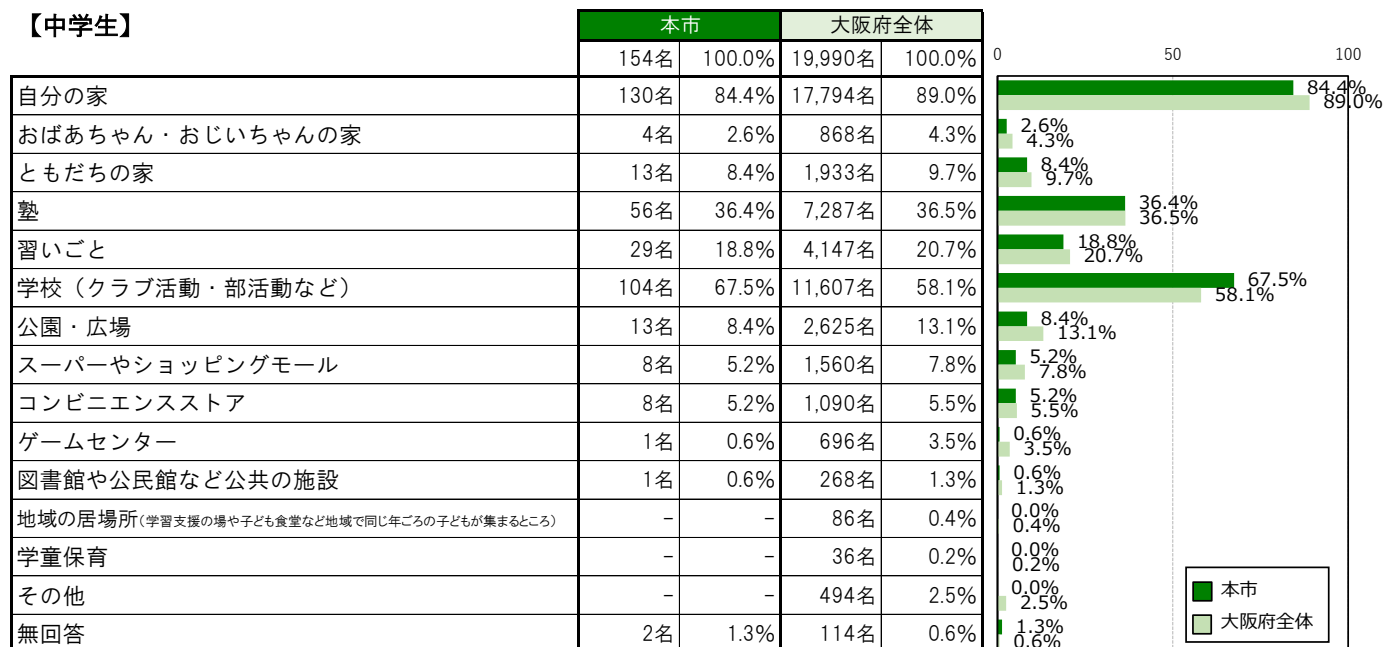
全体は、「自分の家」が88.3%で最も多く、次いで「習いごと」が38.3%、「学校（クラブ活動・部活動など）」が34.0%、「塾」が26.9%となっている。

小学生は、「自分の家」が91.0%で最も多く、次いで「習いごと」が52.8%、「公園・広場」が38.2%、「ともだちの家」が25.0%となっている。

中学生は、「自分の家」が84.4%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が67.5%、「塾」が36.4%、「習いごと」が18.8%となっている。



【中学生】



ふだんの生活のことについて

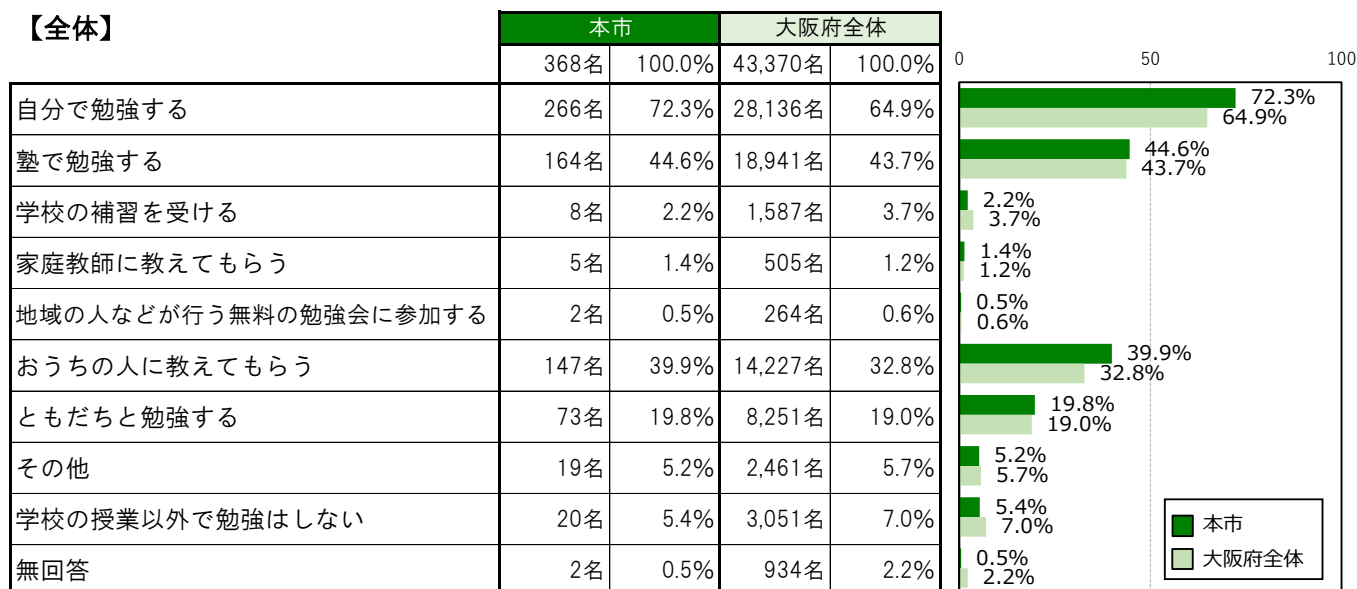
問12 授業以外の勉強状況

全体は、「自分で勉強する」が72.3%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が44.6%、「おうちの人に教えてもらう」が39.9%、「ともだちと勉強する」が19.8%となっている。

小学生は、「自分で勉強する」が74.5%で最も多く、次いで「おうちの人に教えてもらう」が50.5%、「塾で勉強する」が30.7%、「ともだちと勉強する」が23.6%となっている。

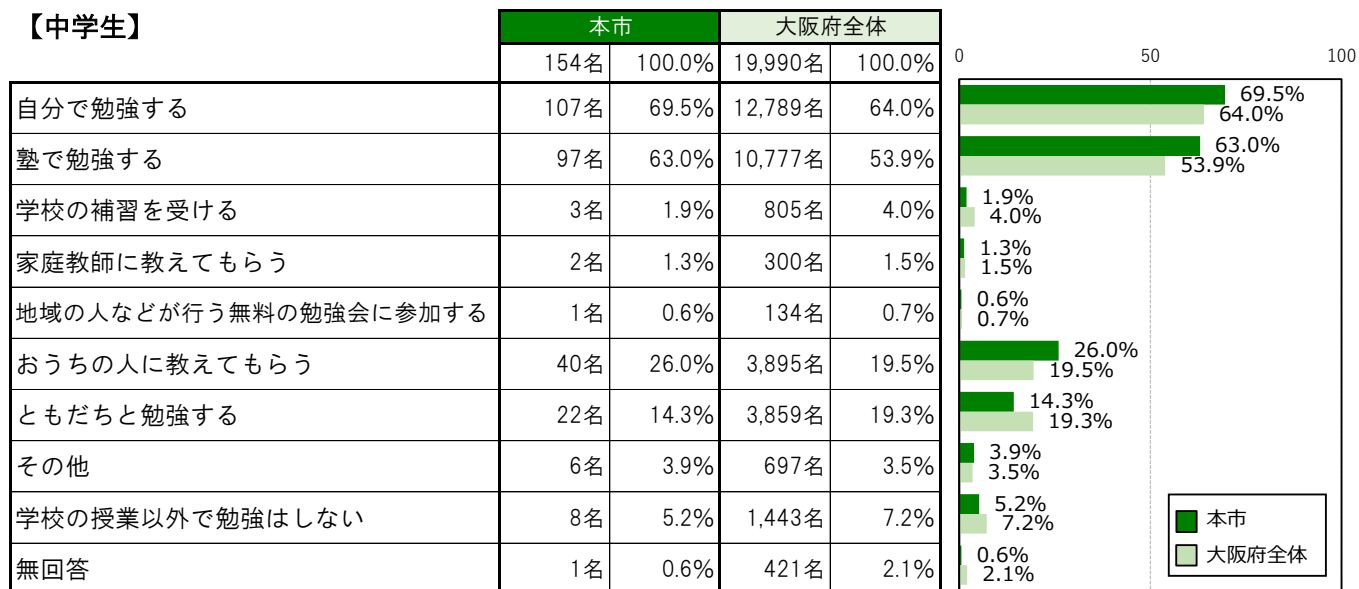
中学生は、「自分で勉強する」が69.5%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が63.0%、「おうちの人に教えてもらう」が26.0%、「ともだちと勉強する」が14.3%となっている。

【全体】



【小学生】





ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）

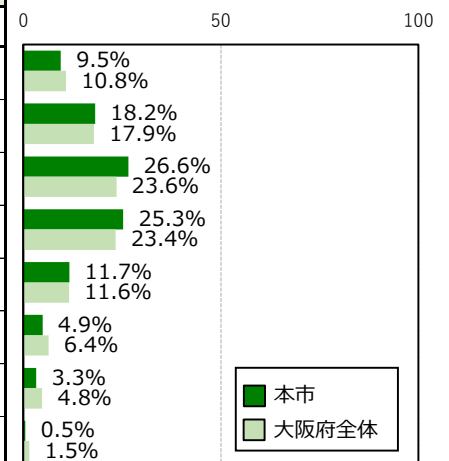
全体は、「30分以上、1時間より少ない」が26.6%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が25.3%、「30分より少ない」が18.2%となっている。

小学生は、「30分以上、1時間より少ない」が32.1%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が24.5%、「30分より少ない」が18.9%となっている。

中学生は、「1時間以上、2時間より少ない」が26.6%で最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が19.5%、「2時間以上、3時間より少ない」が18.8%となっている。

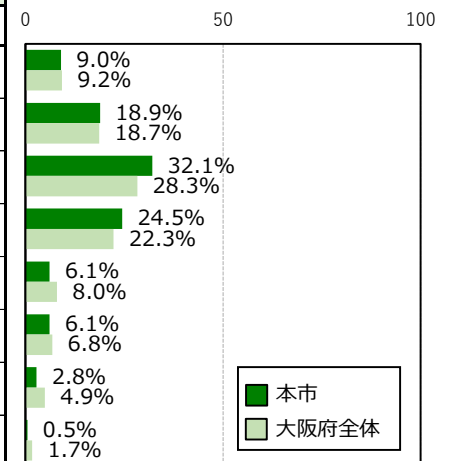
【全体】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	35名	9.5%	4,696名	10.8%
30分より少ない	67名	18.2%	7,745名	17.9%
30分以上、1時間より少ない	98名	26.6%	10,239名	23.6%
1時間以上、2時間より少ない	93名	25.3%	10,157名	23.4%
2時間以上、3時間より少ない	43名	11.7%	5,024名	11.6%
3時間以上	18名	4.9%	2,762名	6.4%
わからない	12名	3.3%	2,098名	4.8%
無回答	2名	0.5%	649名	1.5%



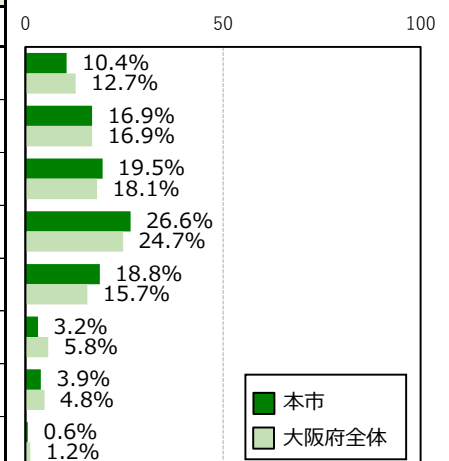
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	212名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	19名	9.0%	2,154名	9.2%
30分より少ない	40名	18.9%	4,360名	18.7%
30分以上、1時間より少ない	68名	32.1%	6,598名	28.3%
1時間以上、2時間より少ない	52名	24.5%	5,196名	22.3%
2時間以上、3時間より少ない	13名	6.1%	1,865名	8.0%
3時間以上	13名	6.1%	1,589名	6.8%
わからない	6名	2.8%	1,131名	4.9%
無回答	1名	0.5%	396名	1.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	16名	10.4%	2,534名	12.7%
30分より少ない	26名	16.9%	3,373名	16.9%
30分以上、1時間より少ない	30名	19.5%	3,617名	18.1%
1時間以上、2時間より少ない	41名	26.6%	4,943名	24.7%
2時間以上、3時間より少ない	29名	18.8%	3,147名	15.7%
3時間以上	5名	3.2%	1,168名	5.8%
わからない	6名	3.9%	959名	4.8%
無回答	1名	0.6%	249名	1.2%



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）

全体は、「まったくしない」が23.4%で最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が22.6%、「30分より少ない」が22.0%、「1時間以上、2時間より少ない」が13.3%となっている。

小学生は、「30分以上、1時間より少ない」が23.6%で最も多く、次いで「30分より少ない」が22.6%、「まったくしない」が22.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が12.7%となっている。

中学生は、「まったくしない」が25.3%で最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が21.4%、「30分より少ない」が20.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が14.3%となっている。

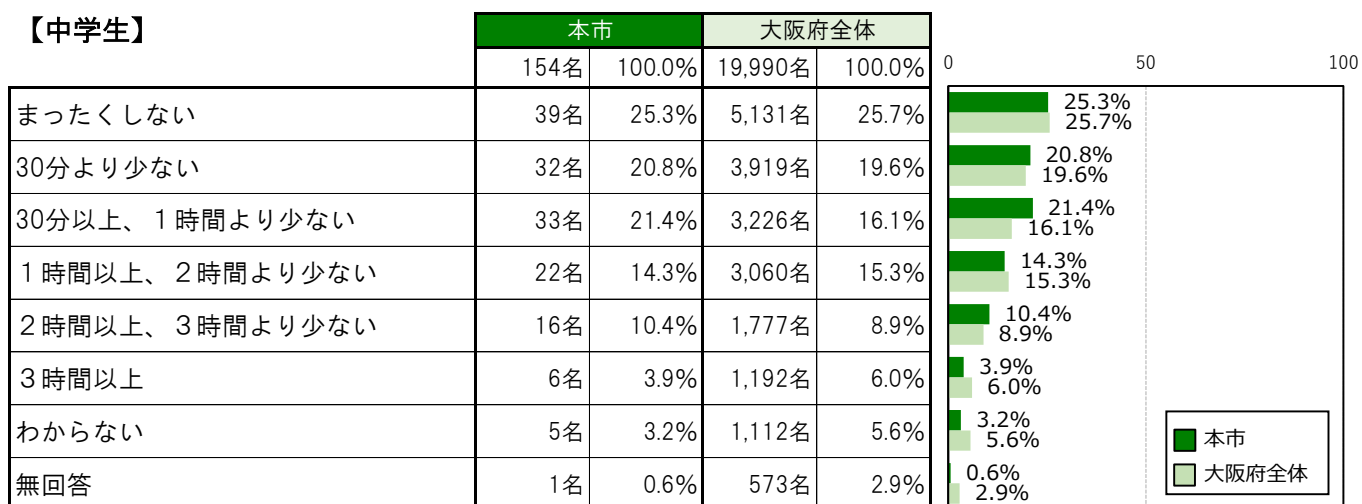
【全体】



【小学生】



【中学生】



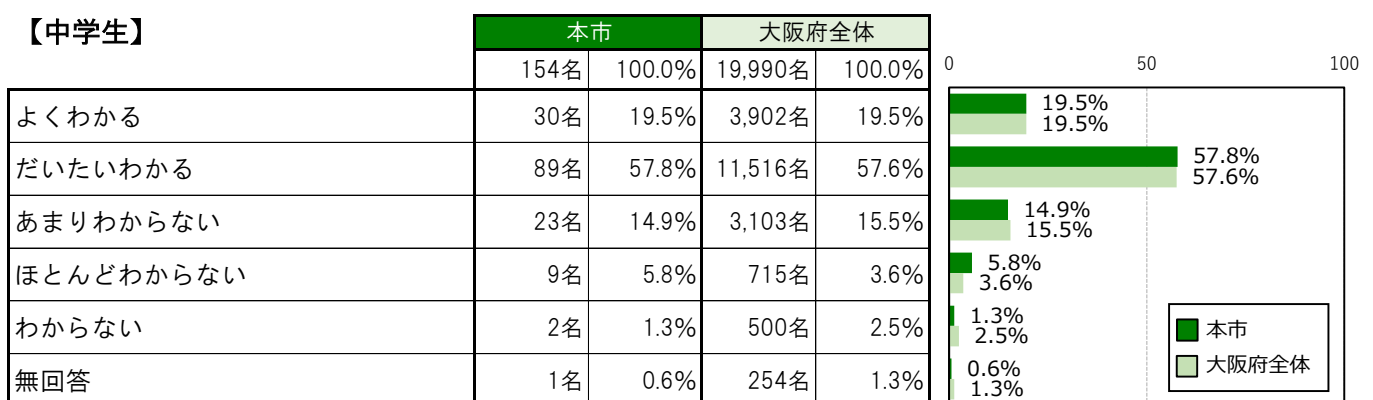
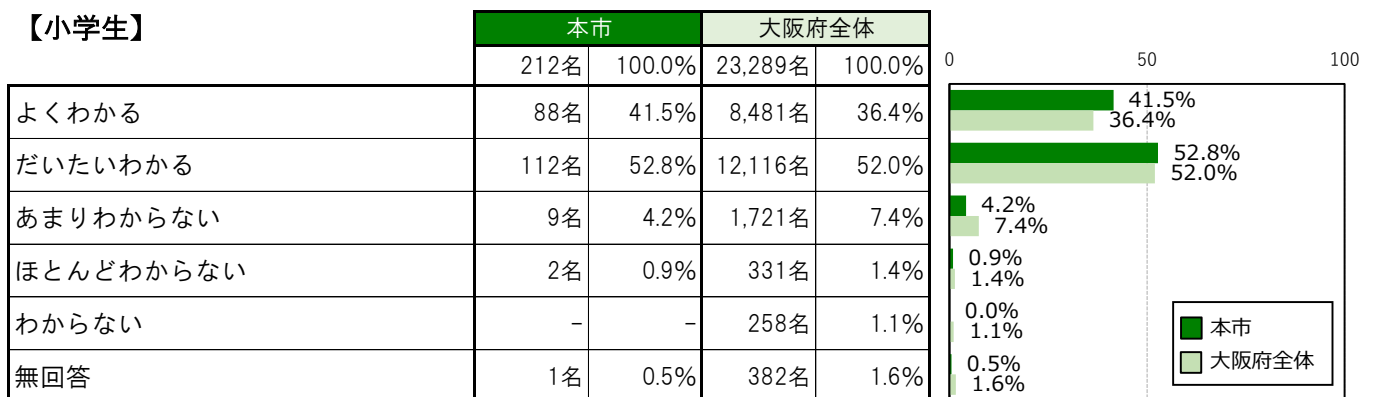
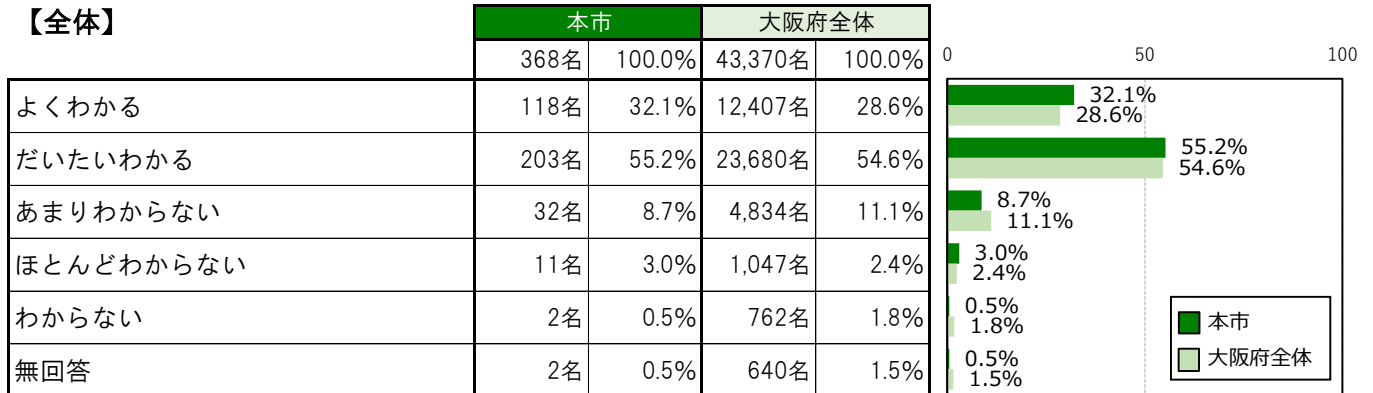
ふだんの生活のことについて

問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

全体は、「だいたいわかる」が55.2%で最も多く、次いで「よくわかる」が32.1%、「あまりわからない」が8.7%、「ほとんどわからない」が3.0%となっている。

小学生は、「だいたいわかる」が52.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が41.5%、「あまりわからない」が4.2%となっている。

中学生は、「だいたいわかる」が57.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が19.5%、「あまりわからない」が14.9%、「ほとんどわからない」が5.8%となっている。



ふだんの生活のことについて

問14（２）授業がわからなくなった時期

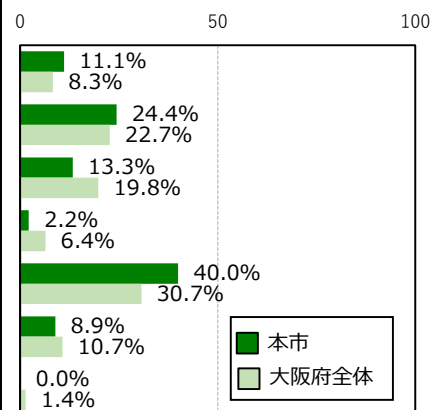
全体は、「中学１年生のころ」が40.0%で最も多く、次いで「小学３・４年生のころ」が24.4%、「小学５年生になってから」が13.3%、「小学１・２年生のころ」が11.1%となっている。

小学生は、「小学３・４年生のころ」が54.5%で最も多く、次いで「小学５年生になってから」が27.3%、「小学１・２年生のころ」が18.2%となっている。

中学生は、「中学１年生のころ」が52.9%で最も多く、次いで「小学３・４年生のころ」が14.7%、「中学２年生になってから」が11.8%、「小学１・２年生のころ」、「小学５年生になってから」がそれぞれ8.8%となっている。

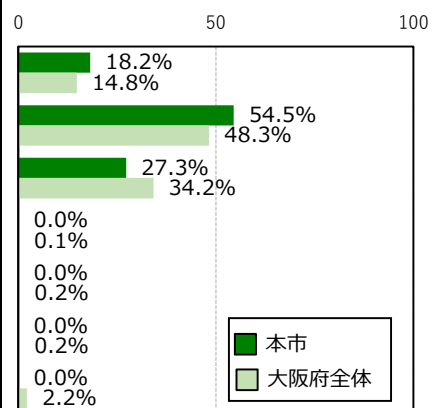
【全体】

	本市		大阪府全体	
	45名	100.0%	6,577名	100.0%
小学１・２年生のころ	5名	11.1%	547名	8.3%
小学３・４年生のころ	11名	24.4%	1,494名	22.7%
小学５年生になってから	6名	13.3%	1,301名	19.8%
小学６年生のころ	1名	2.2%	420名	6.4%
中学１年生のころ	18名	40.0%	2,022名	30.7%
中学２年生になってから	4名	8.9%	701名	10.7%
無回答	-	-	92名	1.4%



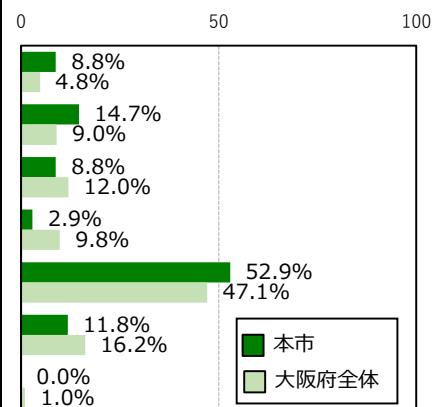
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	11名	100.0%	2,291名	100.0%
小学１・２年生のころ	2名	18.2%	339名	14.8%
小学３・４年生のころ	6名	54.5%	1,106名	48.3%
小学５年生になってから	3名	27.3%	784名	34.2%
小学６年生のころ	-	-	3名	0.1%
中学１年生のころ	-	-	5名	0.2%
中学２年生になってから	-	-	4名	0.2%
無回答	-	-	50名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	34名	100.0%	4,272名	100.0%
小学１・２年生のころ	3名	8.8%	206名	4.8%
小学３・４年生のころ	5名	14.7%	386名	9.0%
小学５年生になってから	3名	8.8%	513名	12.0%
小学６年生のころ	1名	2.9%	417名	9.8%
中学１年生のころ	18名	52.9%	2,014名	47.1%
中学２年生になってから	4名	11.8%	694名	16.2%
無回答	-	-	42名	1.0%



ふだんの生活のことについて

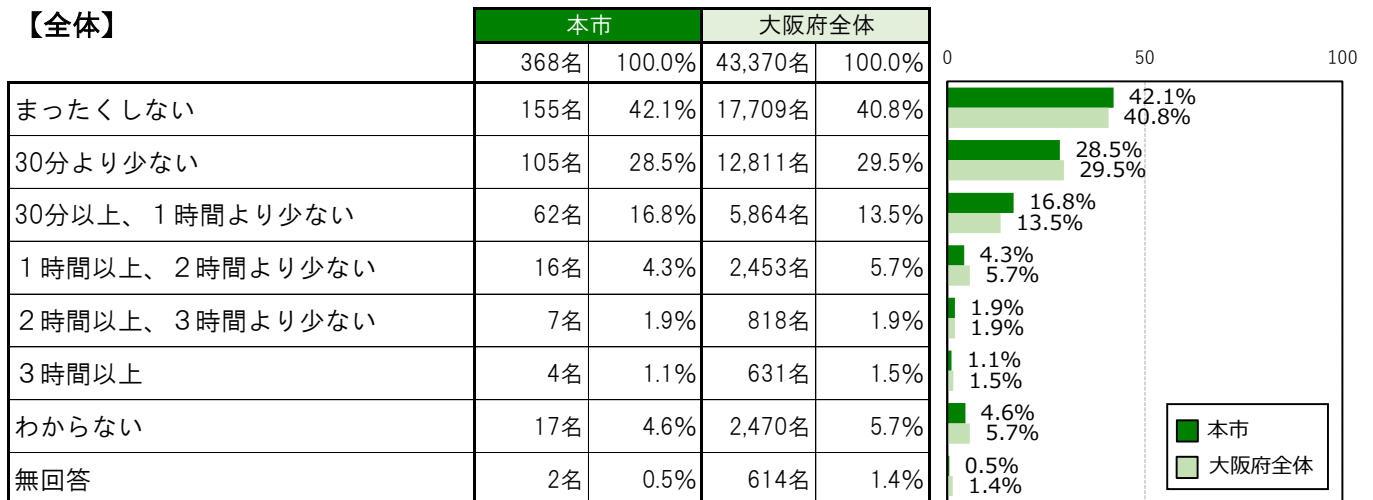
問15 授業以外の読書時間

全体は、「まったくしない」が42.1%で最も多く、次いで「30分より少ない」が28.5%、「30分以上、1時間より少ない」が16.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が4.3%となっている。

小学生は、「まったくしない」が35.4%で最も多く、次いで「30分より少ない」が34.4%、「30分以上、1時間より少ない」が17.9%、「1時間以上、2時間より少ない」が4.7%となっている。

中学生は、「まったくしない」が51.9%で最も多く、次いで「30分より少ない」が20.1%、「30分以上、1時間より少ない」が14.9%、「1時間以上、2時間より少ない」が3.9%となっている。

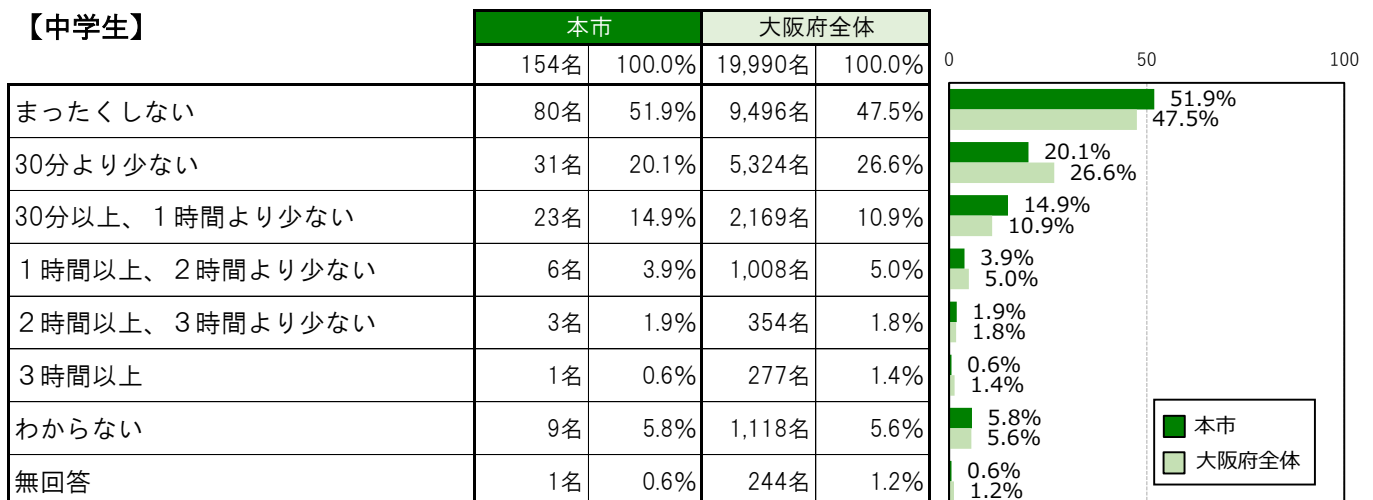
【全体】



【小学生】



【中学生】



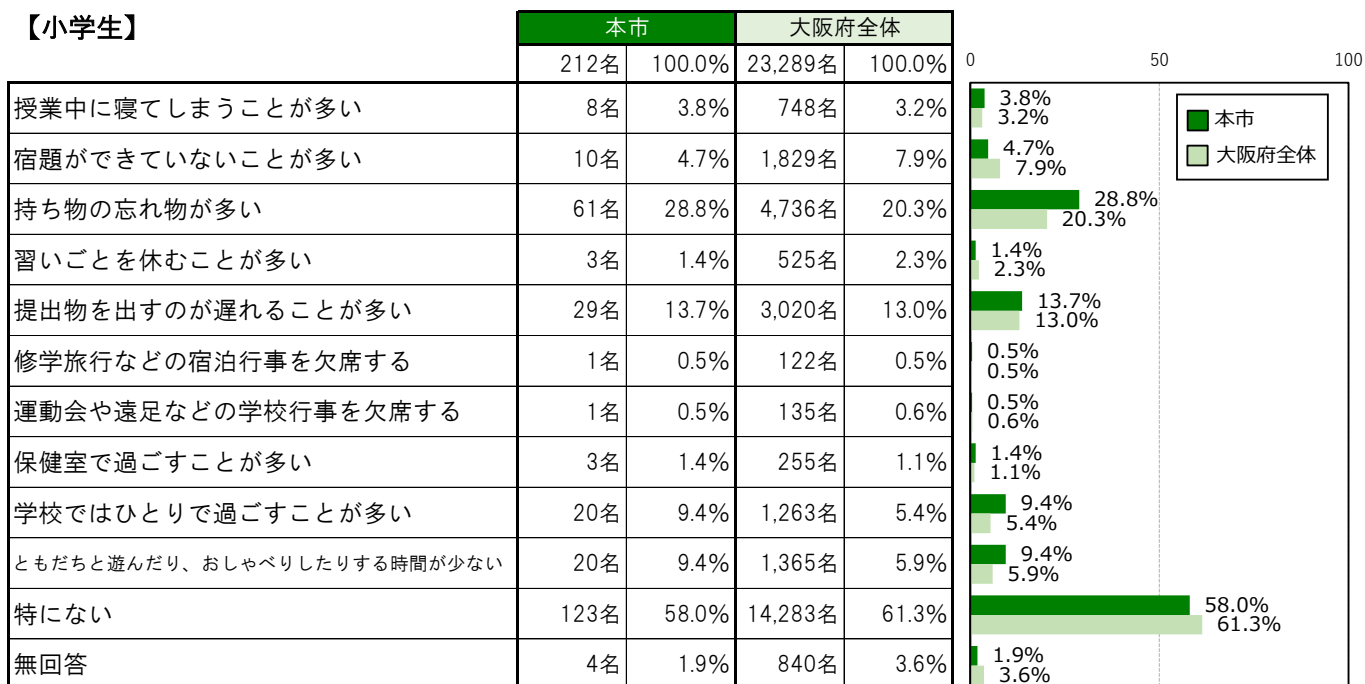
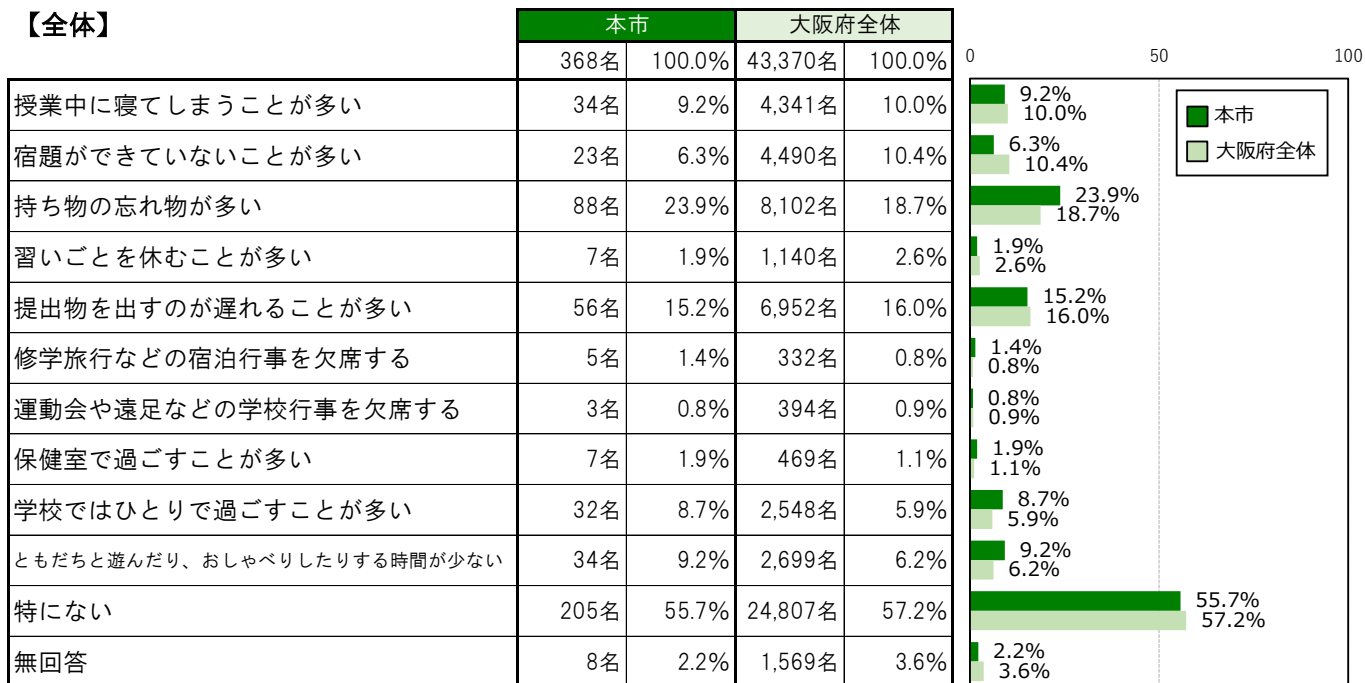
ふだんの生活のことについて

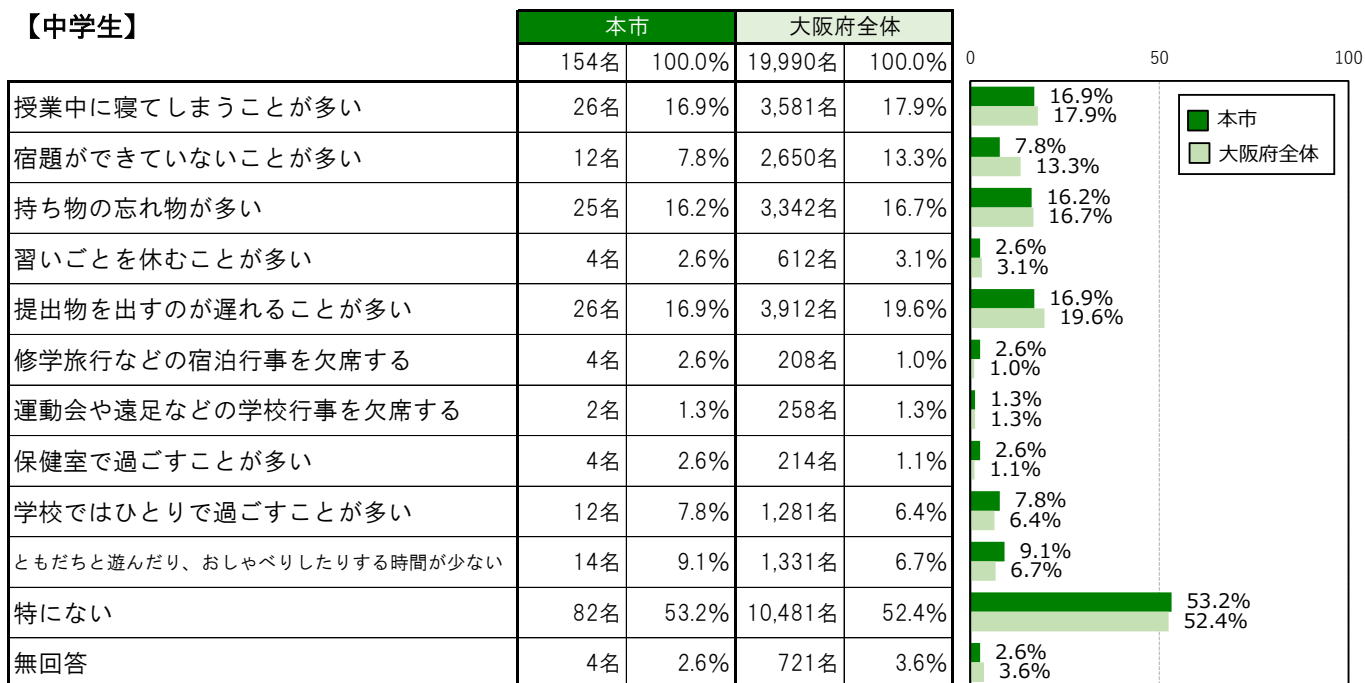
問16 学校や学校の行事等の状況

全体は、「持ち物の忘れ物が多い」が23.9%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が15.2%、「授業中に寝てしまうことが多い」、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」がそれぞれ9.2%、「学校ではひとりで過ごすことが多い」が8.7%となっている。

小学生は、「持ち物の忘れ物が多い」が28.8%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が13.7%、「学校ではひとりで過ごすことが多い」、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」がそれぞれ9.4%、「宿題ができていないことが多い」が4.7%となっている。

中学生は、「授業中に寝てしまうことが多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」がそれぞれ16.9%で最も多く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が16.2%、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が9.1%となっている。





ふだんの生活のことについて

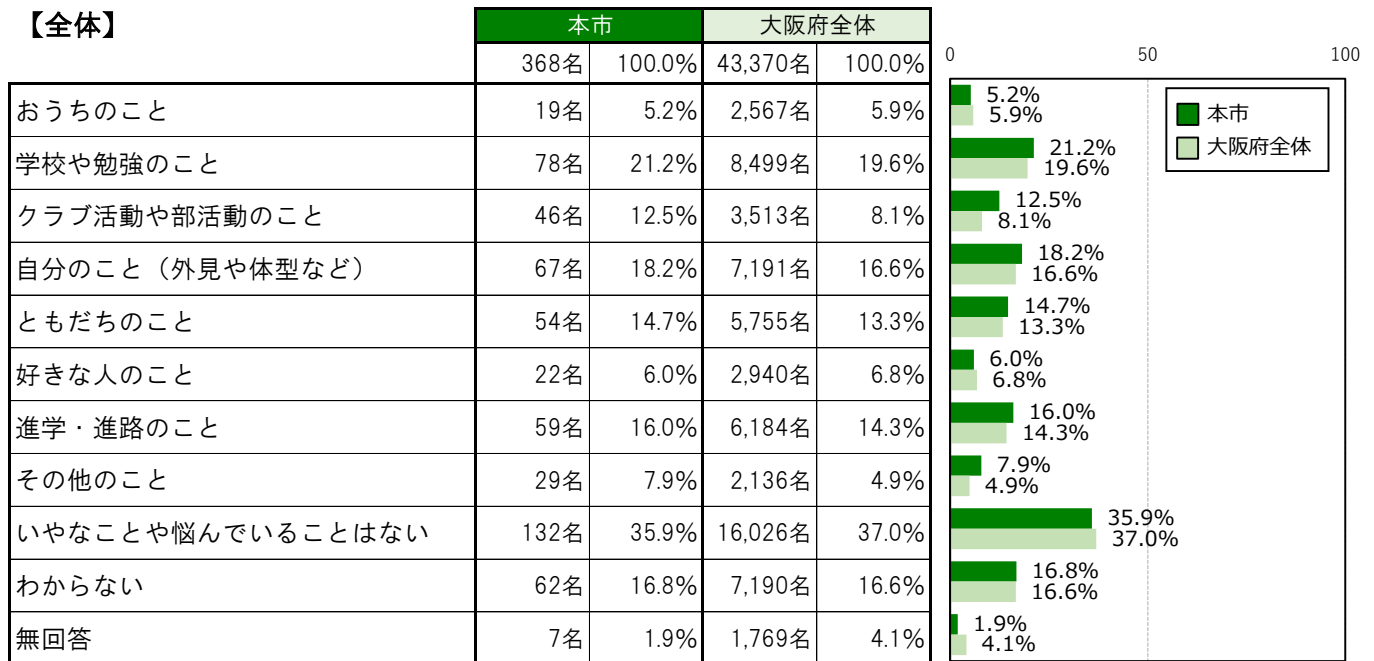
問17 嫌なことや悩んでいること

全体は、「いやなことや悩んでいることはない」が35.9%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が21.2%、「自分のこと（外見や体型など）」が18.2%、「進学・進路のこと」が16.0%となっている。

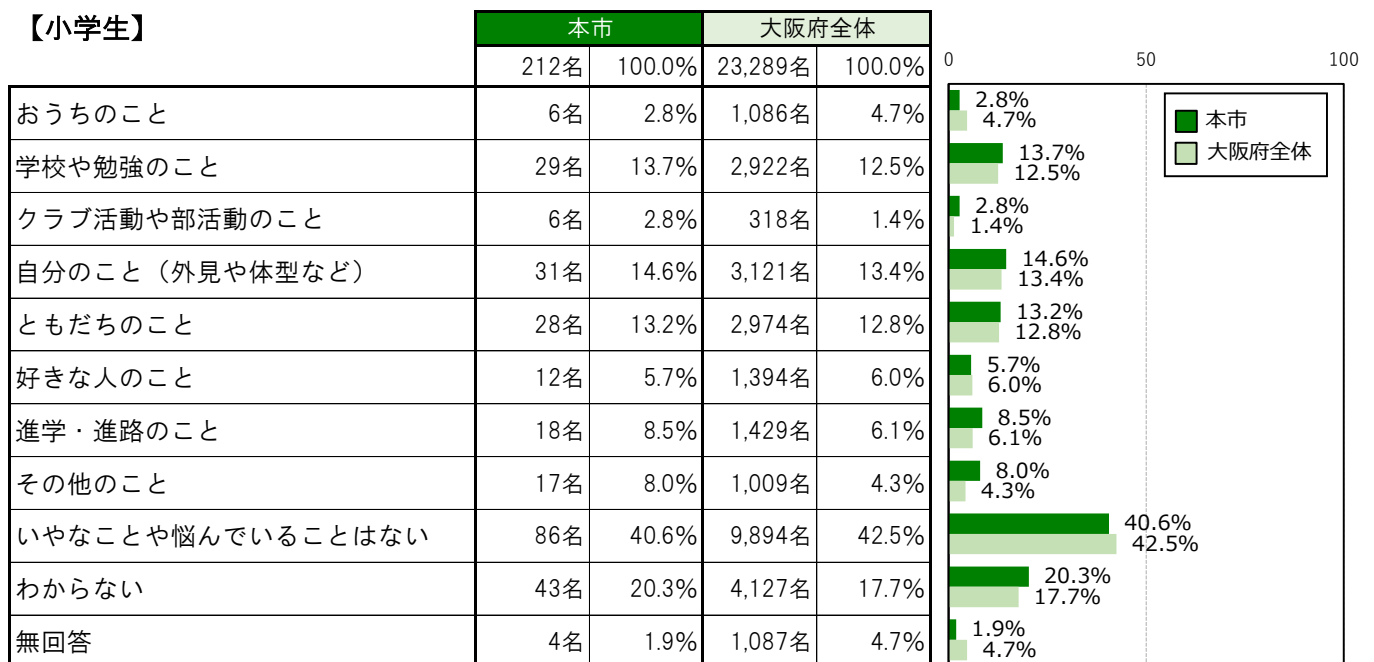
小学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が40.6%で最も多く、次いで「自分のこと（外見や体型など）」が14.6%、「学校や勉強のこと」が13.7%、「ともだちのこと」が13.2%となっている。

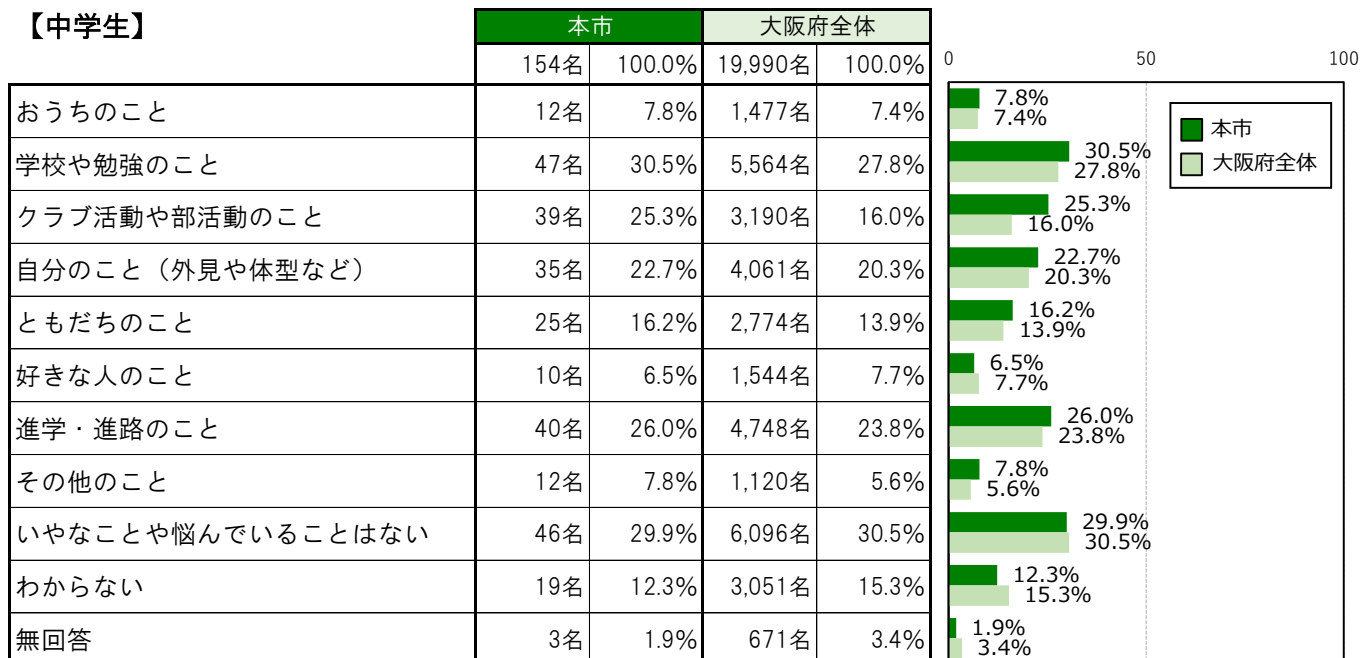
中学生は、「学校や勉強のこと」が30.5%で最も多く、次いで「いやなことや悩んでいることはない」が29.9%、「進学・進路のこと」が26.0%、「クラブ活動や部活動のこと」が25.3%となっている。

【全体】



【小学生】





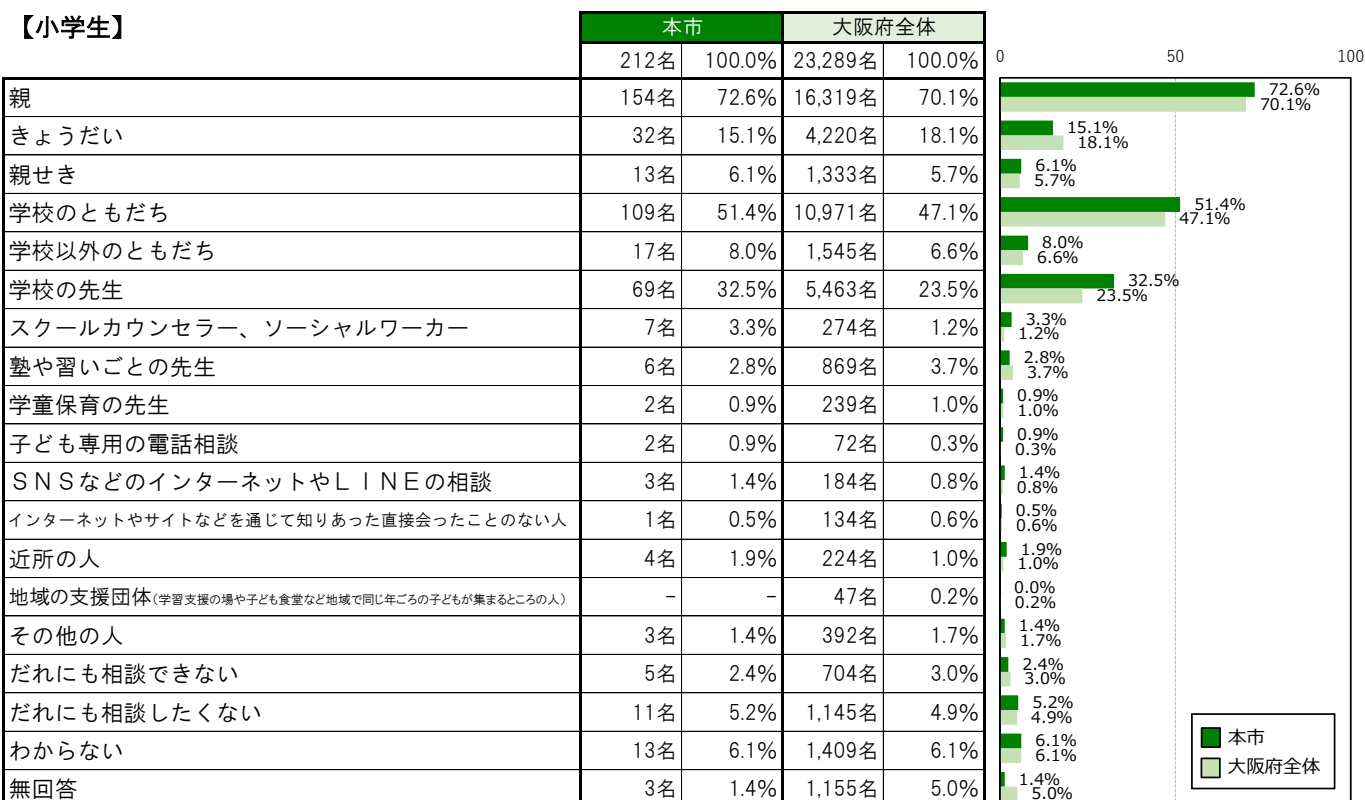
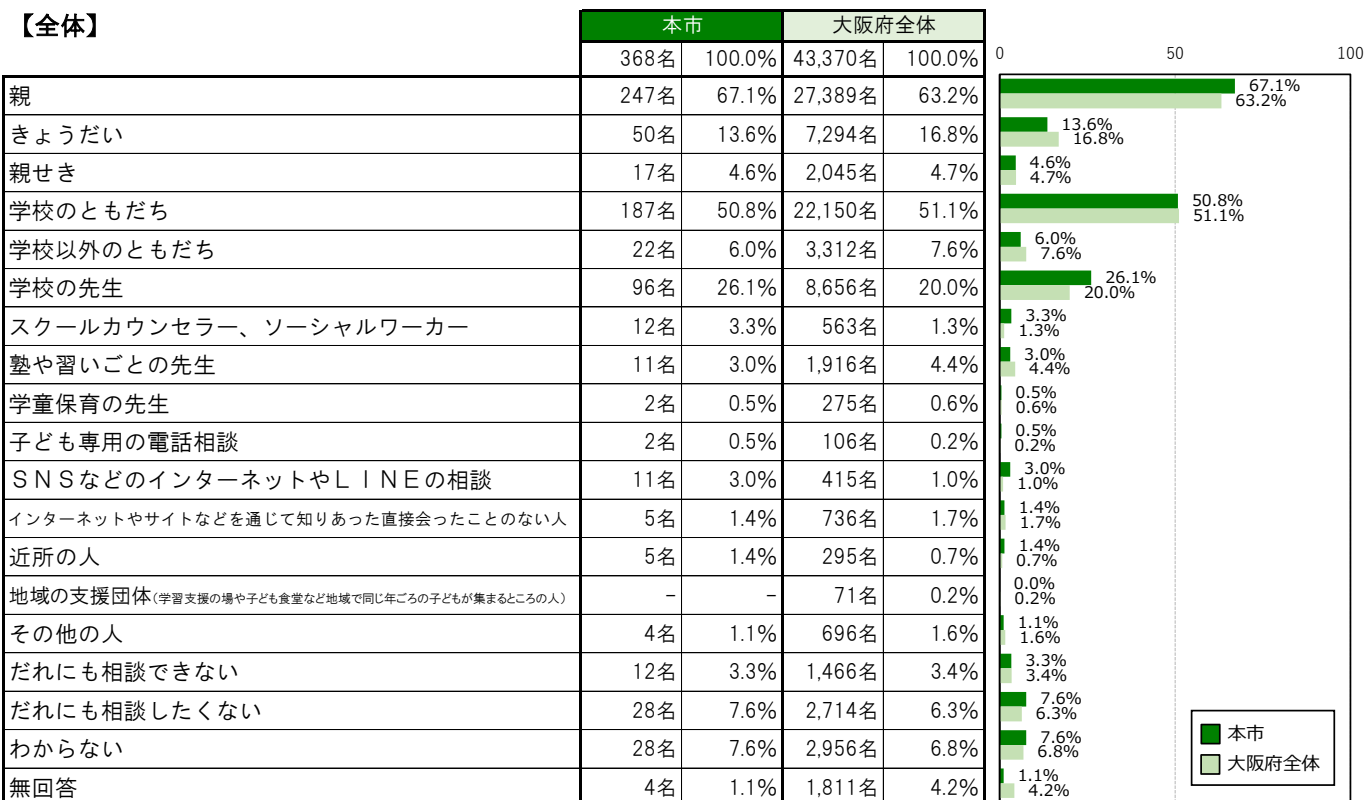
ふだんの生活のことについて

問18 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

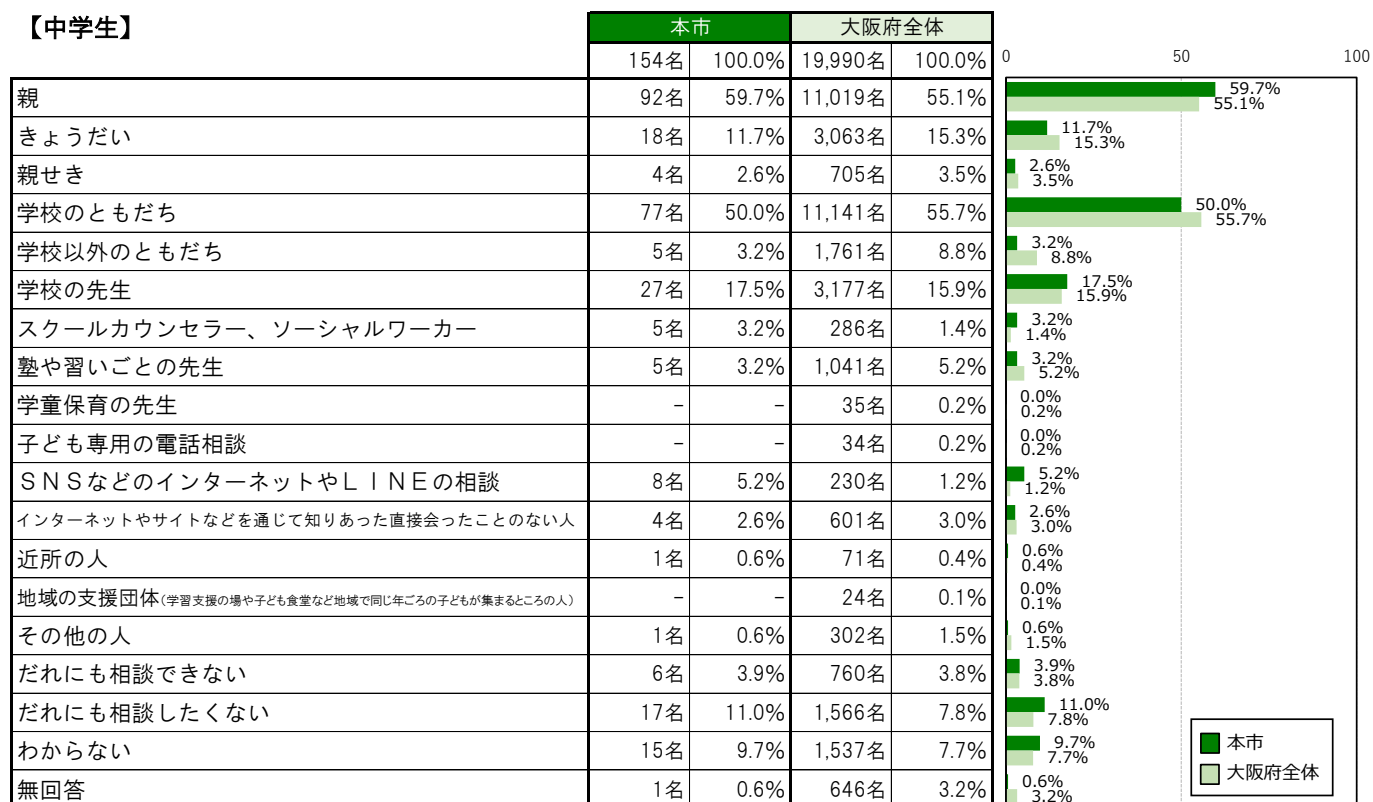
全体は、「親」が67.1%で最も多く、次いで「学校のともだち」が50.8%、「学校の先生」が26.1%、「きょうだい」が13.6%となっている。

小学生は、「親」が72.6%で最も多く、次いで「学校のともだち」が51.4%、「学校の先生」が32.5%、「きょうだい」が15.1%となっている。

中学生は、「親」が59.7%で最も多く、次いで「学校のともだち」が50.0%、「学校の先生」が17.5%、「きょうだい」が11.7%となっている。



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

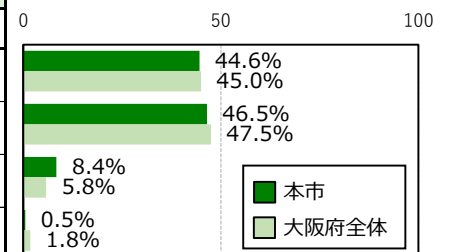
全体は、「ときどきそうだ」が46.5%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が44.6%、「そんなことはない」が8.4%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が52.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が40.6%、「そんなことはない」が6.6%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が53.9%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が33.8%、「そんなことはない」が11.0%となっている。

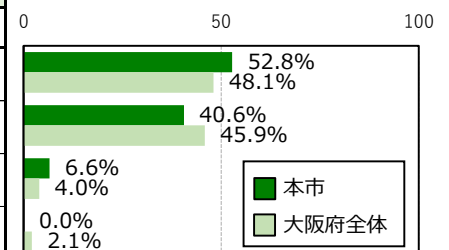
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	164名	44.6%	19,505名	45.0%
ときどきそうだ	171名	46.5%	20,583名	47.5%
そんなことはない	31名	8.4%	2,517名	5.8%
無回答	2名	0.5%	765名	1.8%



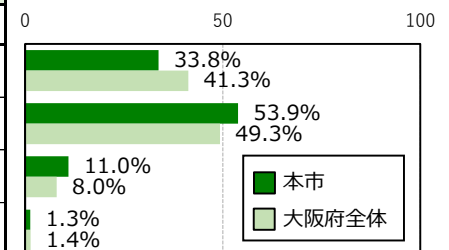
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	112名	52.8%	11,206名	48.1%
ときどきそうだ	86名	40.6%	10,683名	45.9%
そんなことはない	14名	6.6%	922名	4.0%
無回答	-	-	478名	2.1%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	52名	33.8%	8,256名	41.3%
ときどきそうだ	83名	53.9%	9,858名	49.3%
そんなことはない	17名	11.0%	1,595名	8.0%
無回答	2名	1.3%	281名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

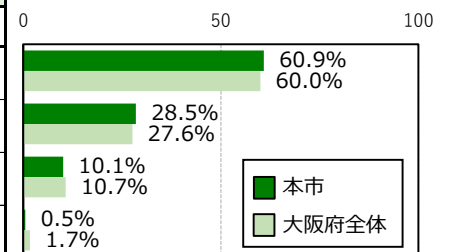
全体は、「いつもそうだ」が60.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が28.5%、「そんなことはない」が10.1%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が66.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.0%、「そんなことはない」が8.5%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が53.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が32.5%、「そんなことはない」が12.3%となっている。

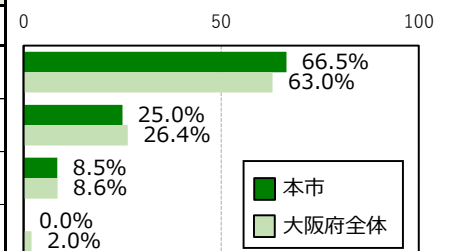
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	224名	60.9%	26,039名	60.0%
ときどきそうだ	105名	28.5%	11,956名	27.6%
そんなことはない	37名	10.1%	4,638名	10.7%
無回答	2名	0.5%	737名	1.7%



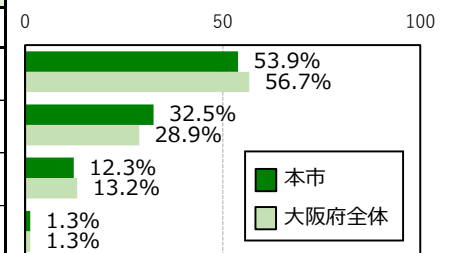
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	141名	66.5%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	53名	25.0%	6,154名	26.4%
そんなことはない	18名	8.5%	1,996名	8.6%
無回答	-	-	473名	2.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	83名	53.9%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	50名	32.5%	5,773名	28.9%
そんなことはない	19名	12.3%	2,634名	13.2%
無回答	2名	1.3%	258名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

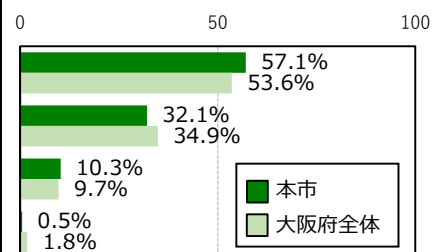
全体は、「いつもそうだ」が57.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が32.1%、「そんなことはない」が10.3%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が67.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.9%、「そんなことはない」が6.1%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が43.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が39.6%、「そんなことはない」が16.2%となっている。

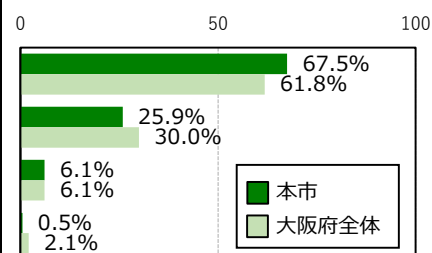
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	210名	57.1%	23,234名	53.6%
ときどきそうだ	118名	32.1%	15,146名	34.9%
そんなことはない	38名	10.3%	4,217名	9.7%
無回答	2名	0.5%	773名	1.8%



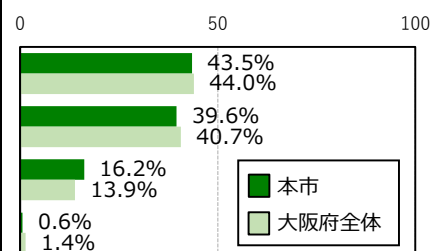
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	143名	67.5%	14,397名	61.8%
ときどきそうだ	55名	25.9%	6,978名	30.0%
そんなことはない	13名	6.1%	1,431名	6.1%
無回答	1名	0.5%	483名	2.1%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	67名	43.5%	8,796名	44.0%
ときどきそうだ	61名	39.6%	8,128名	40.7%
そんなことはない	25名	16.2%	2,782名	13.9%
無回答	1名	0.6%	284名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

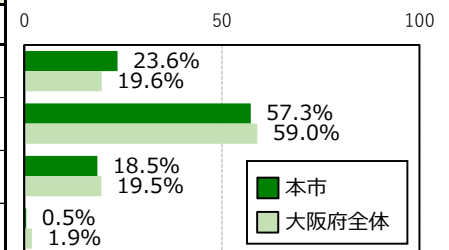
全体は、「ときどきそうだ」が57.3%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が23.6%、「そんなことはない」が18.5%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が59.0%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が27.8%、「そんなことはない」が13.2%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が55.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が25.3%、「いつもそうだ」が18.2%となっている。

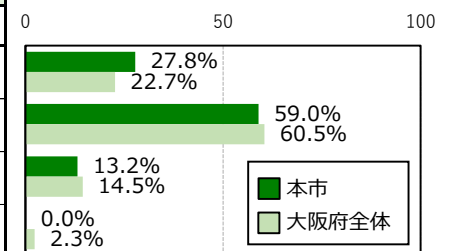
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	87名	23.6%	8,503名	19.6%
ときどきそうだ	211名	57.3%	25,567名	59.0%
そんなことはない	68名	18.5%	8,460名	19.5%
無回答	2名	0.5%	840名	1.9%



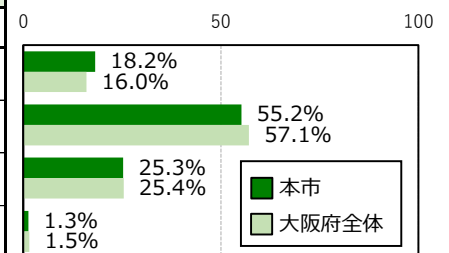
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	59名	27.8%	5,283名	22.7%
ときどきそうだ	125名	59.0%	14,099名	60.5%
そんなことはない	28名	13.2%	3,367名	14.5%
無回答	-	-	540名	2.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	28名	18.2%	3,199名	16.0%
ときどきそうだ	85名	55.2%	11,416名	57.1%
そんなことはない	39名	25.3%	5,081名	25.4%
無回答	2名	1.3%	294名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

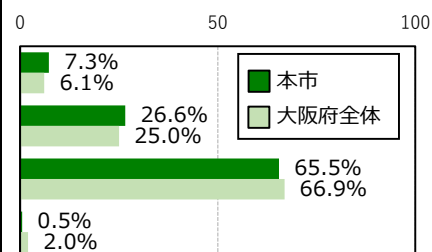
全体は、「そんなことはない」が65.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が26.6%、「いつもそうだ」が7.3%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が74.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が20.8%、「いつもそうだ」が4.7%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が54.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.4%、「いつもそうだ」が10.4%となっている。

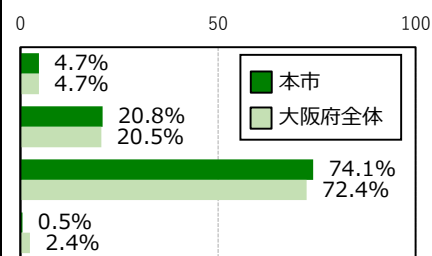
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	27名	7.3%	2,628名	6.1%
ときどきそうだ	98名	26.6%	10,860名	25.0%
そんなことはない	241名	65.5%	29,021名	66.9%
無回答	2名	0.5%	861名	2.0%



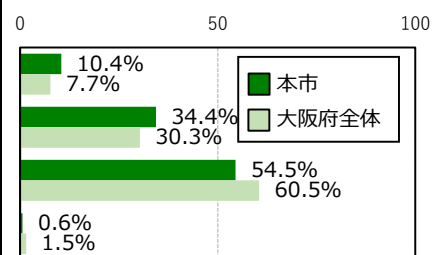
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	10名	4.7%	1,091名	4.7%
ときどきそうだ	44名	20.8%	4,776名	20.5%
そんなことはない	157名	74.1%	16,872名	72.4%
無回答	1名	0.5%	550名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	16名	10.4%	1,534名	7.7%
ときどきそうだ	53名	34.4%	6,057名	30.3%
そんなことはない	84名	54.5%	12,095名	60.5%
無回答	1名	0.6%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

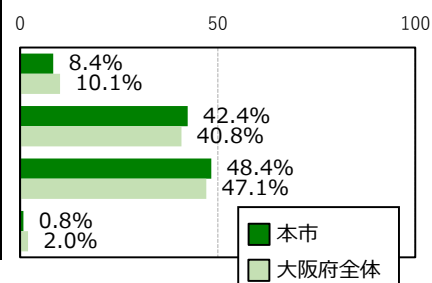
全体は、「そんなことはない」が48.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が42.4%、「いつもそうだ」が8.4%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が51.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が42.0%、「いつもそうだ」が5.7%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が44.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が42.9%、「いつもそうだ」が12.3%となっている。

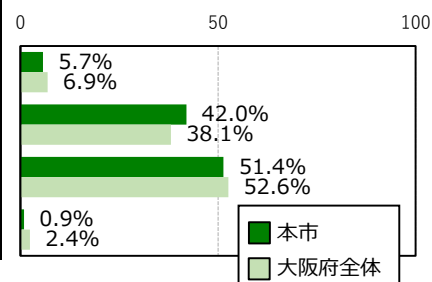
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	31名	8.4%	4,369名	10.1%
ときどきそうだ	156名	42.4%	17,713名	40.8%
そんなことはない	178名	48.4%	20,421名	47.1%
無回答	3名	0.8%	867名	2.0%



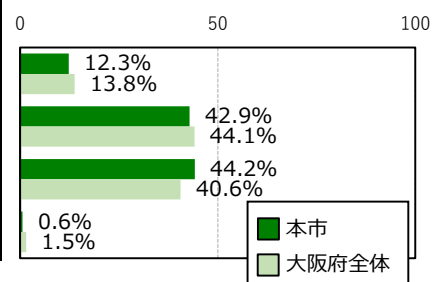
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	12名	5.7%	1,616名	6.9%
ときどきそうだ	89名	42.0%	8,865名	38.1%
そんなことはない	109名	51.4%	12,251名	52.6%
無回答	2名	0.9%	557名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	19名	12.3%	2,750名	13.8%
ときどきそうだ	66名	42.9%	8,814名	44.1%
そんなことはない	68名	44.2%	8,122名	40.6%
無回答	1名	0.6%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

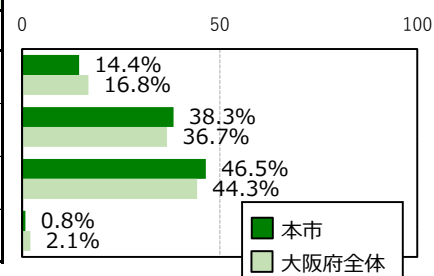
全体は、「そんなことはない」が46.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が38.3%、「いつもそうだ」が14.4%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が53.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が33.5%、「いつもそうだ」が11.8%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が44.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.0%、「いつもそうだ」が17.5%となっている。

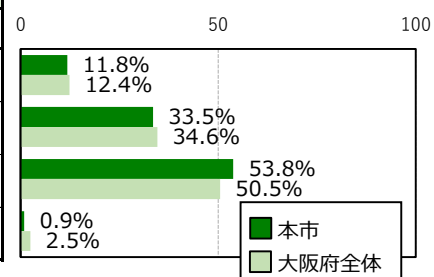
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	53名	14.4%	7,300名	16.8%
ときどきそうだ	141名	38.3%	15,932名	36.7%
そんなことはない	171名	46.5%	19,222名	44.3%
無回答	3名	0.8%	916名	2.1%



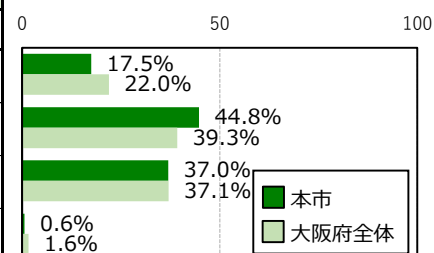
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	25名	11.8%	2,893名	12.4%
ときどきそうだ	71名	33.5%	8,049名	34.6%
そんなことはない	114名	53.8%	11,759名	50.5%
無回答	2名	0.9%	588名	2.5%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	27名	17.5%	4,399名	22.0%
ときどきそうだ	69名	44.8%	7,848名	39.3%
そんなことはない	57名	37.0%	7,422名	37.1%
無回答	1名	0.6%	321名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

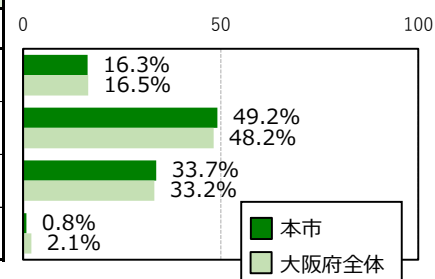
全体は、「ときどきそうだ」が49.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が33.7%、「いつもそうだ」が16.3%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が47.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が41.5%、「いつもそうだ」が9.9%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が50.6%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が25.3%、「そんなことはない」が23.4%となっている。

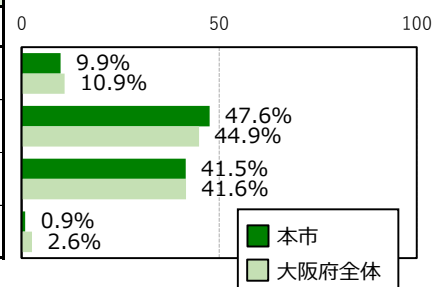
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	60名	16.3%	7,152名	16.5%
ときどきそうだ	181名	49.2%	20,902名	48.2%
そんなことはない	124名	33.7%	14,387名	33.2%
無回答	3名	0.8%	929名	2.1%



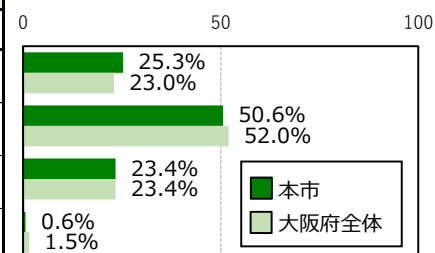
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	21名	9.9%	2,541名	10.9%
ときどきそうだ	101名	47.6%	10,454名	44.9%
そんなことはない	88名	41.5%	9,677名	41.6%
無回答	2名	0.9%	617名	2.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	39名	25.3%	4,606名	23.0%
ときどきそうだ	78名	50.6%	10,396名	52.0%
そんなことはない	36名	23.4%	4,682名	23.4%
無回答	1名	0.6%	306名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

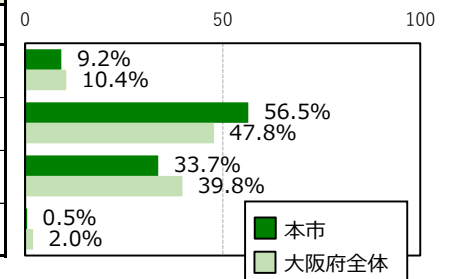
全体は、「ときどきそうだ」が56.5%で最も多く、次いで「そんなことはない」が33.7%、「いつもそうだ」が9.2%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が53.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が36.8%、「いつもそうだ」が9.0%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が60.4%で最も多く、次いで「そんなことはない」が29.2%、「いつもそうだ」が9.7%となっている。

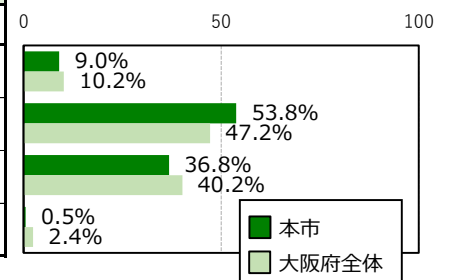
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	34名	9.2%	4,525名	10.4%
ときどきそうだ	208名	56.5%	20,712名	47.8%
そんなことはない	124名	33.7%	17,270名	39.8%
無回答	2名	0.5%	863名	2.0%



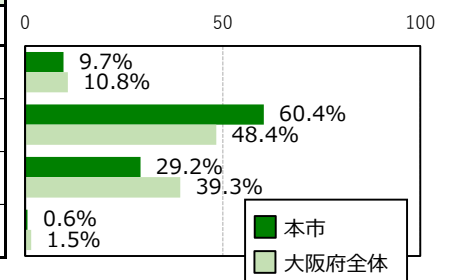
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	19名	9.0%	2,364名	10.2%
ときどきそうだ	114名	53.8%	10,997名	47.2%
そんなことはない	78名	36.8%	9,370名	40.2%
無回答	1名	0.5%	558名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	15名	9.7%	2,152名	10.8%
ときどきそうだ	93名	60.4%	9,674名	48.4%
そんなことはない	45名	29.2%	7,865名	39.3%
無回答	1名	0.6%	299名	1.5%



ふだんの生活のことについて

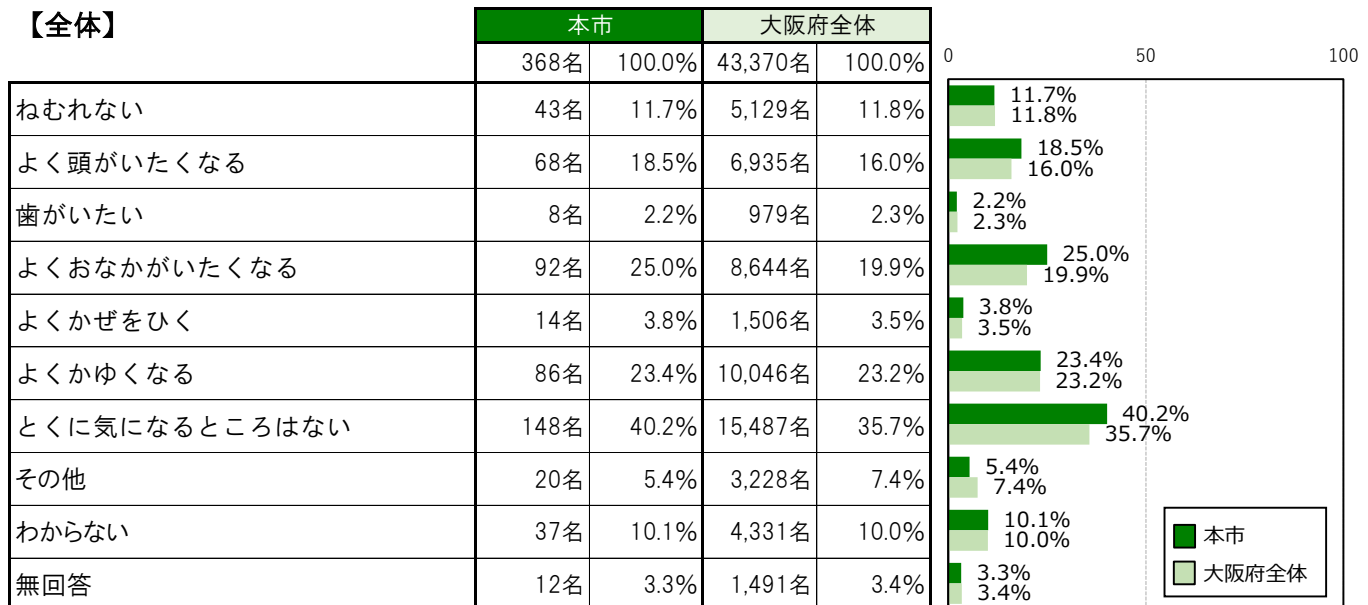
問20 自分の体の状態で気になること

全体は、「とくに気になるところはない」が40.2%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が25.0%、「よくかゆくなる」が23.4%、「よく頭がいたくなる」が18.5%となっている。

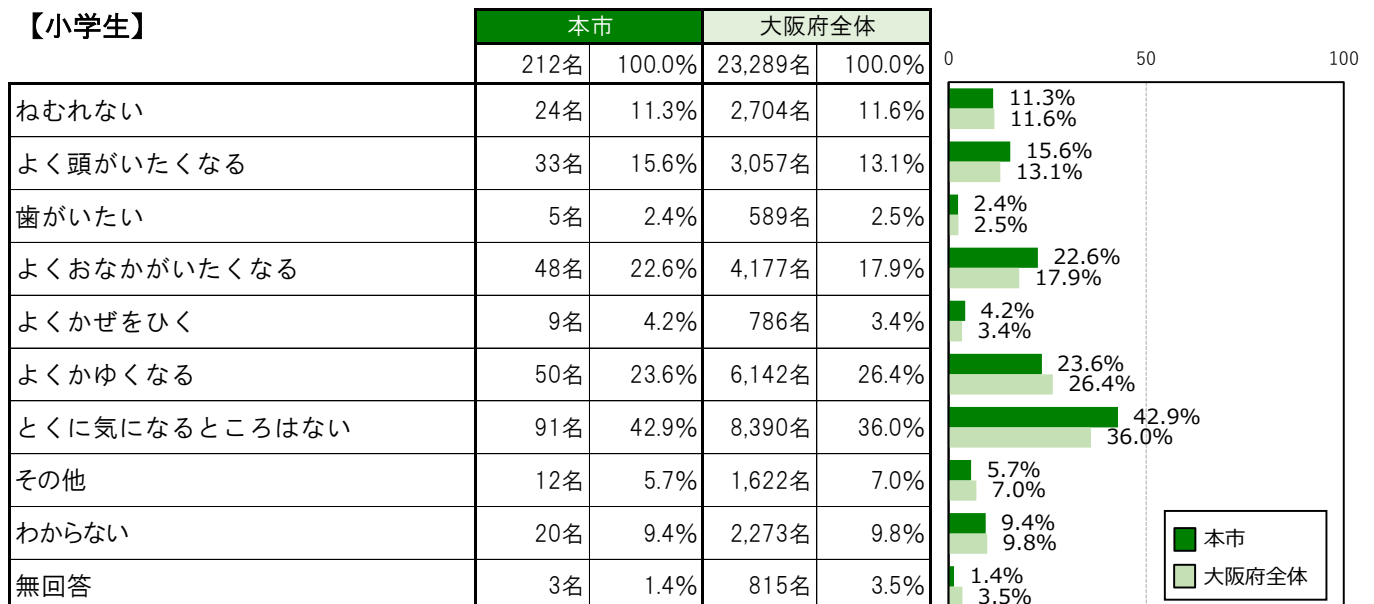
小学生は、「とくに気になるところはない」が42.9%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が23.6%、「よくおなかがいたくなる」が22.6%、「よく頭がいたくなる」が15.6%となっている。

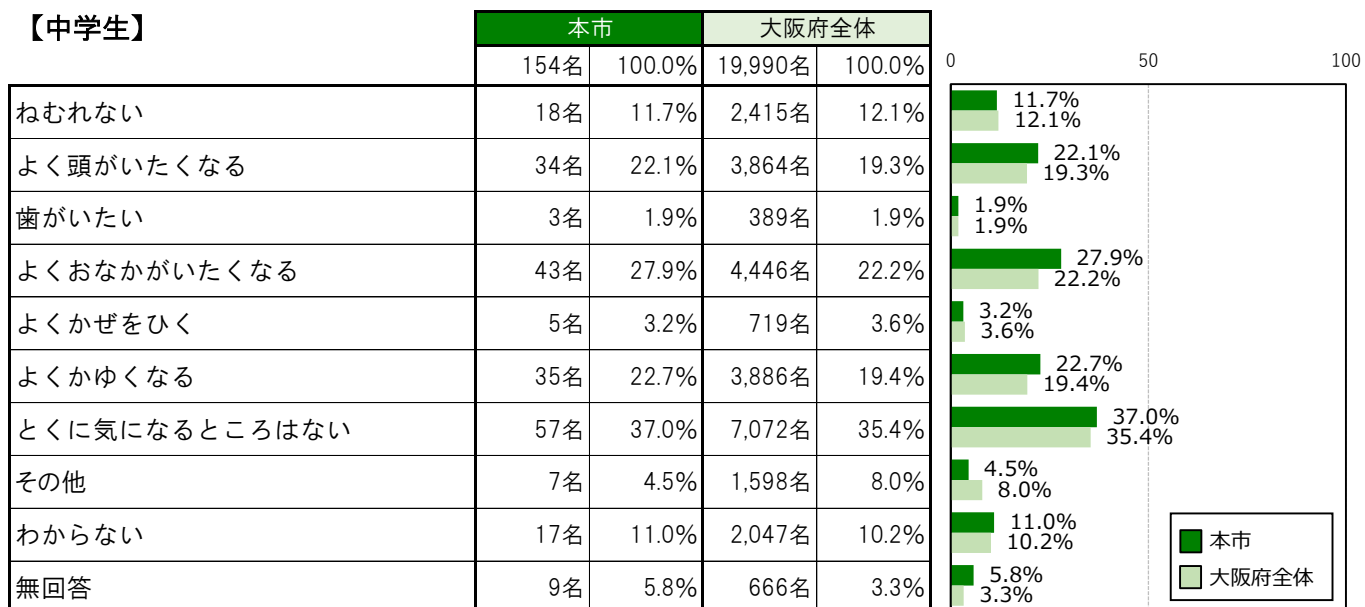
中学生は、「とくに気になるところはない」が37.0%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が27.9%、「よくかゆくなる」が22.7%、「よく頭がいたくなる」が22.1%となっている。

【全体】



【小学生】





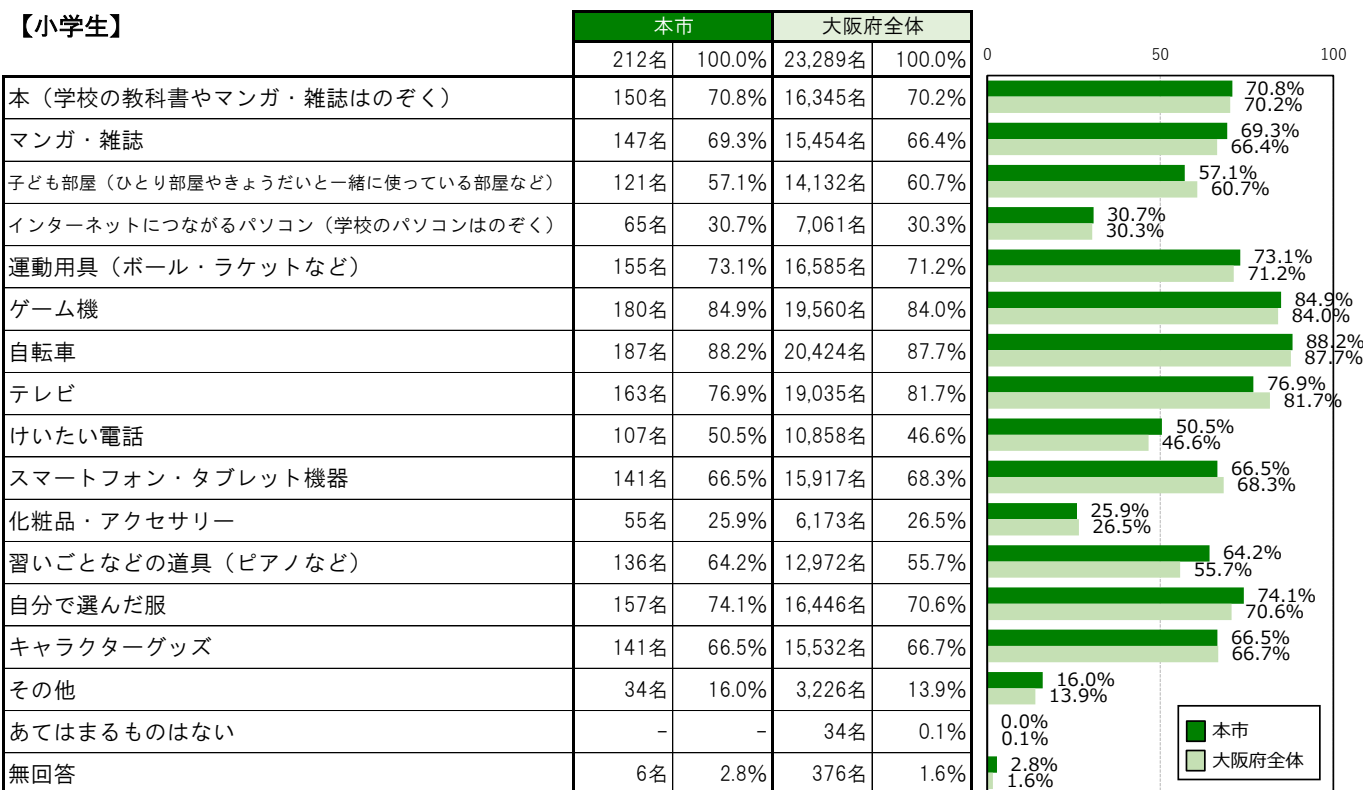
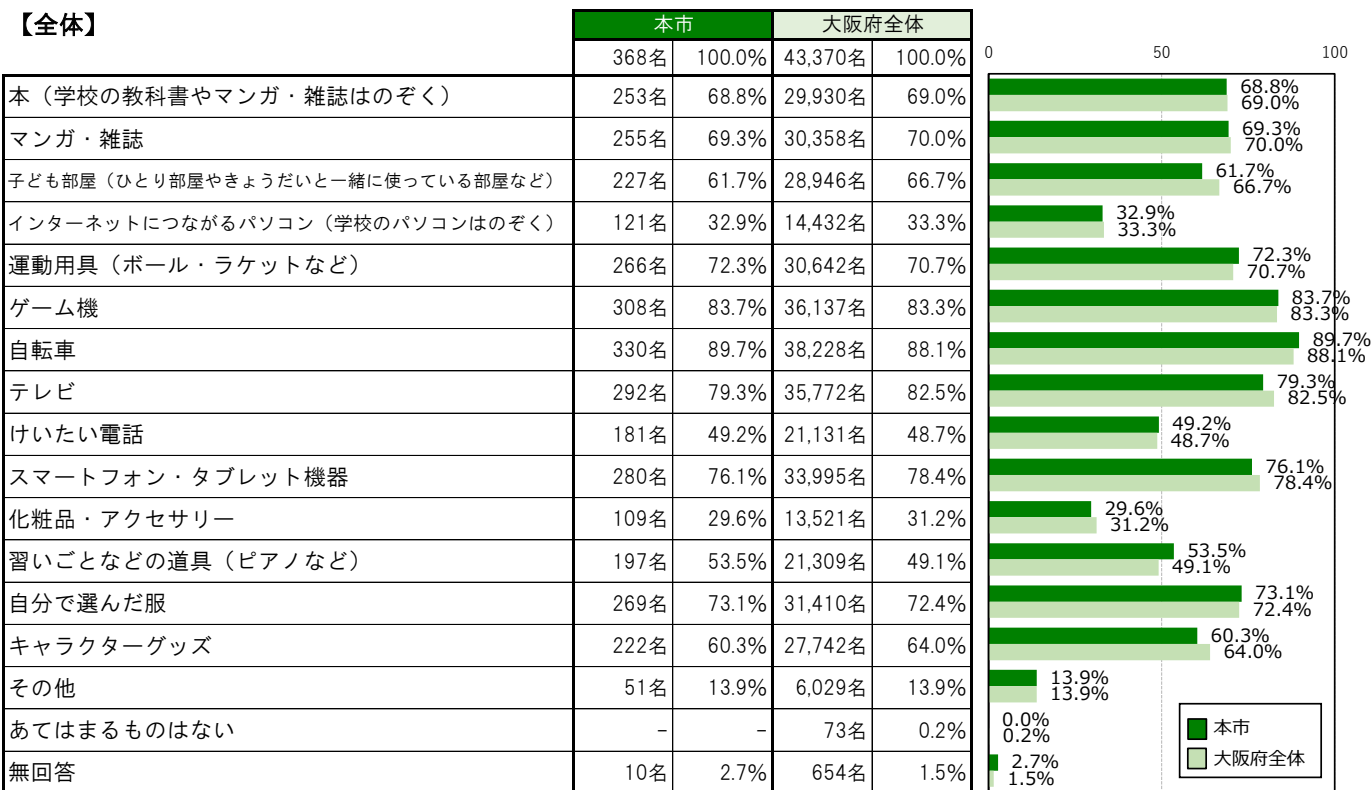
ふだんの生活のことについて

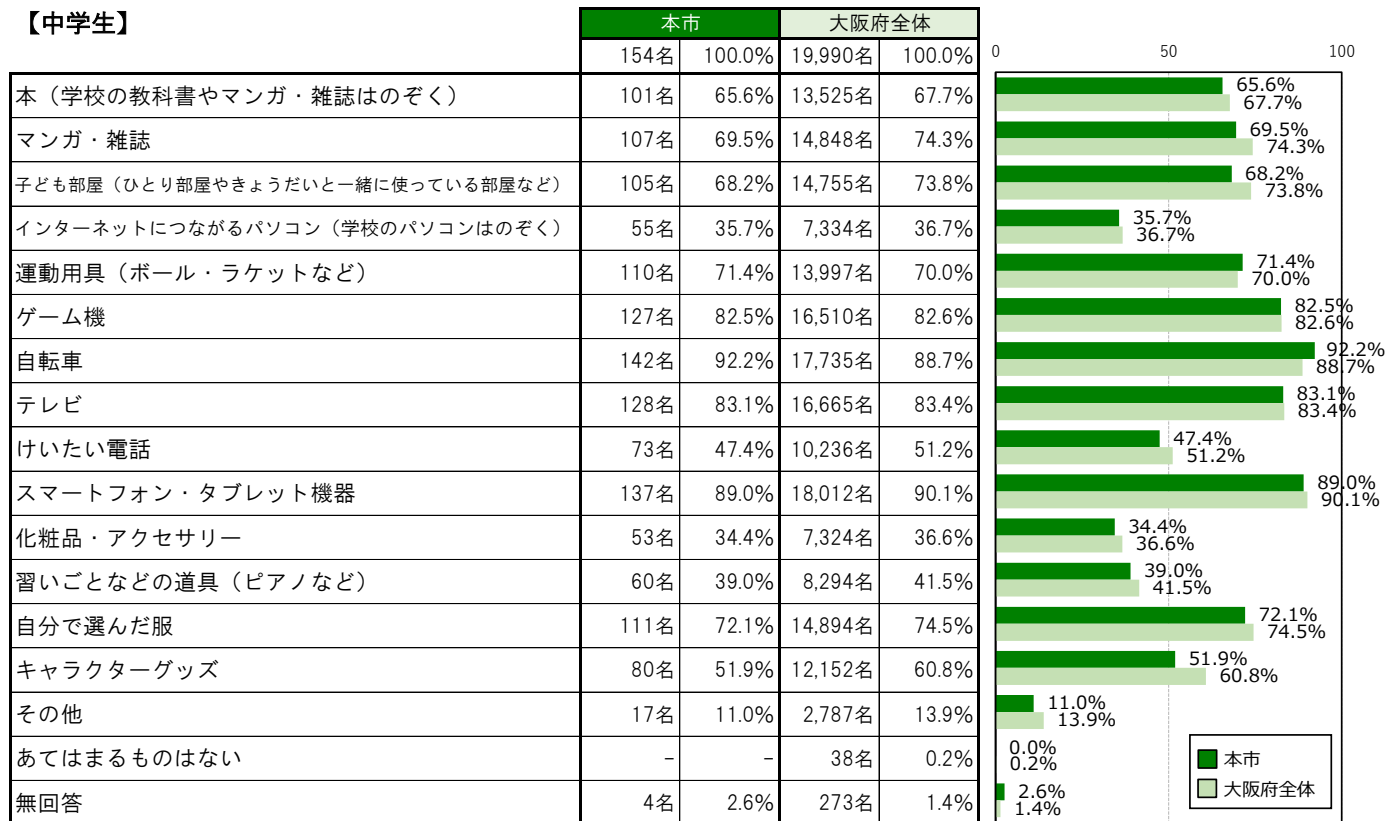
問21 持っているもの、使うことができるもの

全体は、「自転車」が89.7%で最も多く、次いで「ゲーム機」が83.7%、「テレビ」が79.3%、「スマートフォン・タブレット機器」が76.1%となっている。

小学生は、「自転車」が88.2%で最も多く、次いで「ゲーム機」が84.9%、「テレビ」が76.9%、「自分で選んだ服」が74.1%となっている。

中学生は、「自転車」が92.2%で最も多く、次いで「スマートフォン・タブレット機器」が89.0%、「テレビ」が83.1%、「ゲーム機」が82.5%となっている。





ふだん考えていることについて

問22 すぐに立ち直ることができる

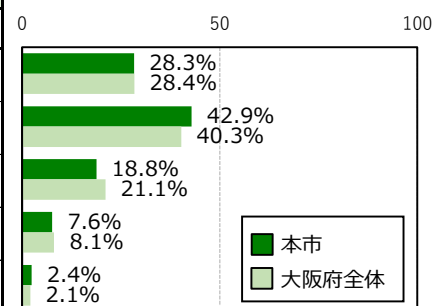
全体は、「どちらかというと思う」が42.9%で最も多く、次いで「そう思う」が28.3%、「どちらかというと思わない」が18.8%、「そう思わない」が7.6%となっている。

小学生は、「どちらかというと思う」が40.1%で最も多く、次いで「そう思う」が34.0%、「どちらかというと思わない」が17.9%、「そう思わない」が5.2%となっている。

中学生は、「どちらかというと思う」が46.8%で最も多く、次いで「そう思う」が20.8%、「どちらかというと思わない」が20.1%、「そう思わない」が10.4%となっている。

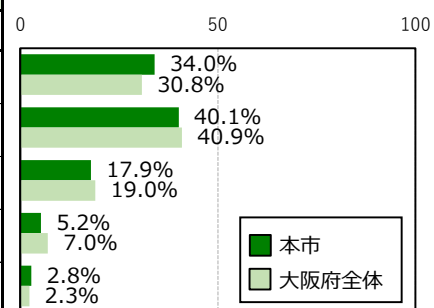
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	104名	28.3%	12,318名	28.4%
どちらかというと思う	158名	42.9%	17,480名	40.3%
どちらかというと思わない	69名	18.8%	9,144名	21.1%
そう思わない	28名	7.6%	3,521名	8.1%
無回答	9名	2.4%	907名	2.1%



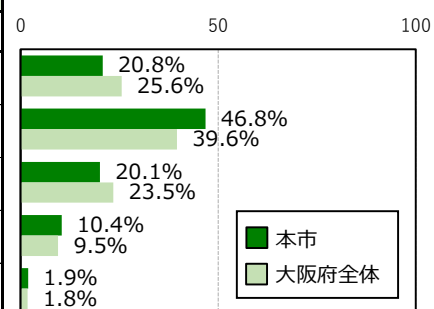
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	72名	34.0%	7,172名	30.8%
どちらかというと思う	85名	40.1%	9,521名	40.9%
どちらかというと思わない	38名	17.9%	4,431名	19.0%
そう思わない	11名	5.2%	1,625名	7.0%
無回答	6名	2.8%	540名	2.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	32名	20.8%	5,119名	25.6%
どちらかというと思う	72名	46.8%	7,917名	39.6%
どちらかというと思わない	31名	20.1%	4,703名	23.5%
そう思わない	16名	10.4%	1,891名	9.5%
無回答	3名	1.9%	360名	1.8%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（１）自分に自信がある

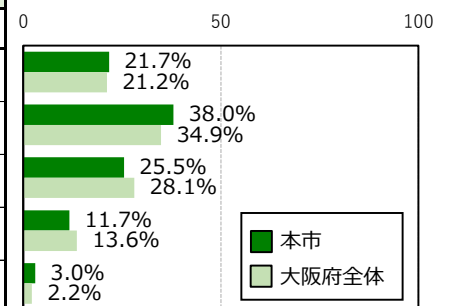
全体は、「どちらかというところある」が38.0%で最も多く、次いで「どちらかというところない」が25.5%、「ある」が21.7%、「ない」が11.7%となっている。

小学生は、「どちらかというところある」が38.7%で最も多く、次いで「ある」が29.2%、「どちらかというところない」が23.1%、「ない」が5.7%となっている。

中学生は、「どちらかというところある」が37.0%で最も多く、次いで「どちらかというところない」が29.2%、「ない」が19.5%、「ある」が11.7%となっている。

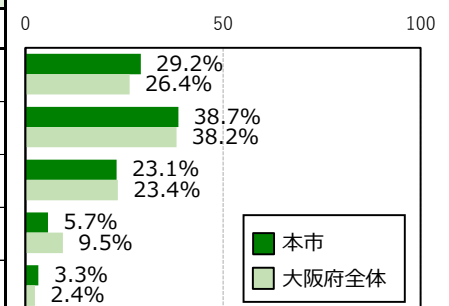
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	80名	21.7%	9,192名	21.2%
どちらかというところある	140名	38.0%	15,132名	34.9%
どちらかというところない	94名	25.5%	12,192名	28.1%
ない	43名	11.7%	5,898名	13.6%
無回答	11名	3.0%	956名	2.2%



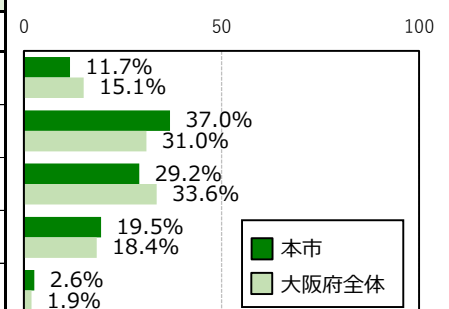
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	62名	29.2%	6,157名	26.4%
どちらかというところある	82名	38.7%	8,904名	38.2%
どちらかというところない	49名	23.1%	5,450名	23.4%
ない	12名	5.7%	2,211名	9.5%
無回答	7名	3.3%	567名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	18名	11.7%	3,011名	15.1%
どちらかというところある	57名	37.0%	6,202名	31.0%
どちらかというところない	45名	29.2%	6,716名	33.6%
ない	30名	19.5%	3,679名	18.4%
無回答	4名	2.6%	382名	1.9%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（2）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

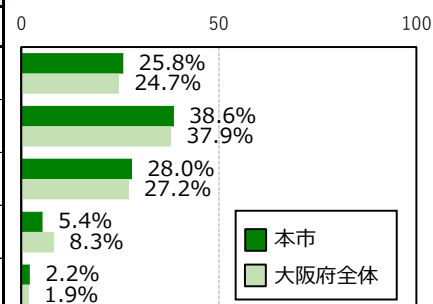
全体は、「どちらかというとできる」が38.6%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が28.0%、「できる」が25.8%、「できない」が5.4%となっている。

小学生は、「どちらかというとできる」が36.8%で最も多く、次いで「できる」が29.7%、「どちらかというとできない」が25.5%、「できない」が5.7%となっている。

中学生は、「どちらかというとできる」が40.9%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が31.8%、「できる」が20.8%、「できない」が4.5%となっている。

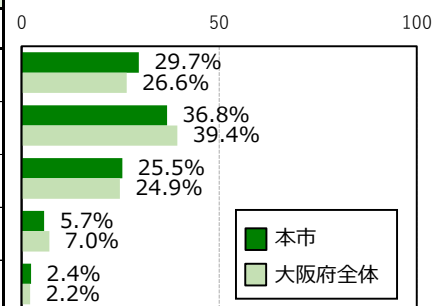
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
できる	95名	25.8%	10,725名	24.7%
どちらかというとできる	142名	38.6%	16,421名	37.9%
どちらかというとできない	103名	28.0%	11,801名	27.2%
できない	20名	5.4%	3,582名	8.3%
無回答	8名	2.2%	841名	1.9%



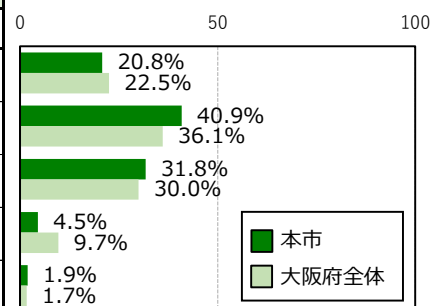
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
できる	63名	29.7%	6,187名	26.6%
どちらかというとできる	78名	36.8%	9,180名	39.4%
どちらかというとできない	54名	25.5%	5,791名	24.9%
できない	12名	5.7%	1,629名	7.0%
無回答	5名	2.4%	502名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
できる	32名	20.8%	4,507名	22.5%
どちらかというとできる	63名	40.9%	7,209名	36.1%
どちらかというとできない	49名	31.8%	5,993名	30.0%
できない	7名	4.5%	1,947名	9.7%
無回答	3名	1.9%	334名	1.7%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（3）自分の将来の夢や目標を持っている

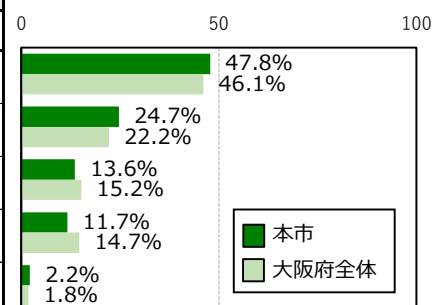
全体は、「持っている」が47.8%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が24.7%、「どちらかというを持っていない」が13.6%、「持っていない」が11.7%となっている。

小学生は、「持っている」が66.0%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が21.2%、「持っていない」が6.6%、「どちらかというを持っていない」が3.8%となっている。

中学生は、「どちらかというを持っている」が29.9%で最も多く、次いで「どちらかというを持っていない」が27.3%、「持っている」が22.1%、「持っていない」が18.8%となっている。

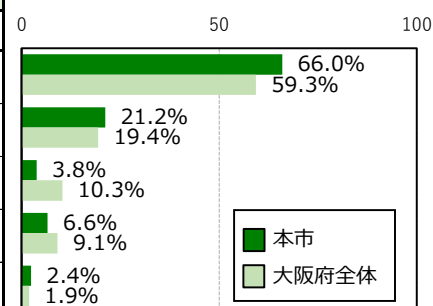
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	176名	47.8%	19,990名	46.1%
どちらかというを持っている	91名	24.7%	9,645名	22.2%
どちらかというを持っていない	50名	13.6%	6,609名	15.2%
持っていない	43名	11.7%	6,354名	14.7%
無回答	8名	2.2%	772名	1.8%



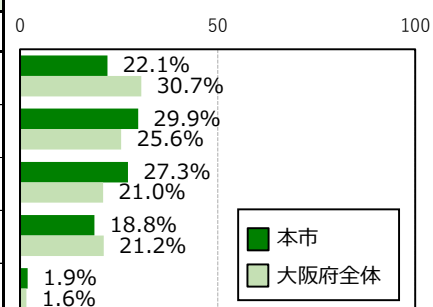
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	140名	66.0%	13,811名	59.3%
どちらかというを持っている	45名	21.2%	4,518名	19.4%
どちらかというを持っていない	8名	3.8%	2,398名	10.3%
持っていない	14名	6.6%	2,108名	9.1%
無回答	5名	2.4%	454名	1.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	34名	22.1%	6,139名	30.7%
どちらかというを持っている	46名	29.9%	5,108名	25.6%
どちらかというを持っていない	42名	27.3%	4,195名	21.0%
持っていない	29名	18.8%	4,235名	21.2%
無回答	3名	1.9%	313名	1.6%



ふだん考えていることについて

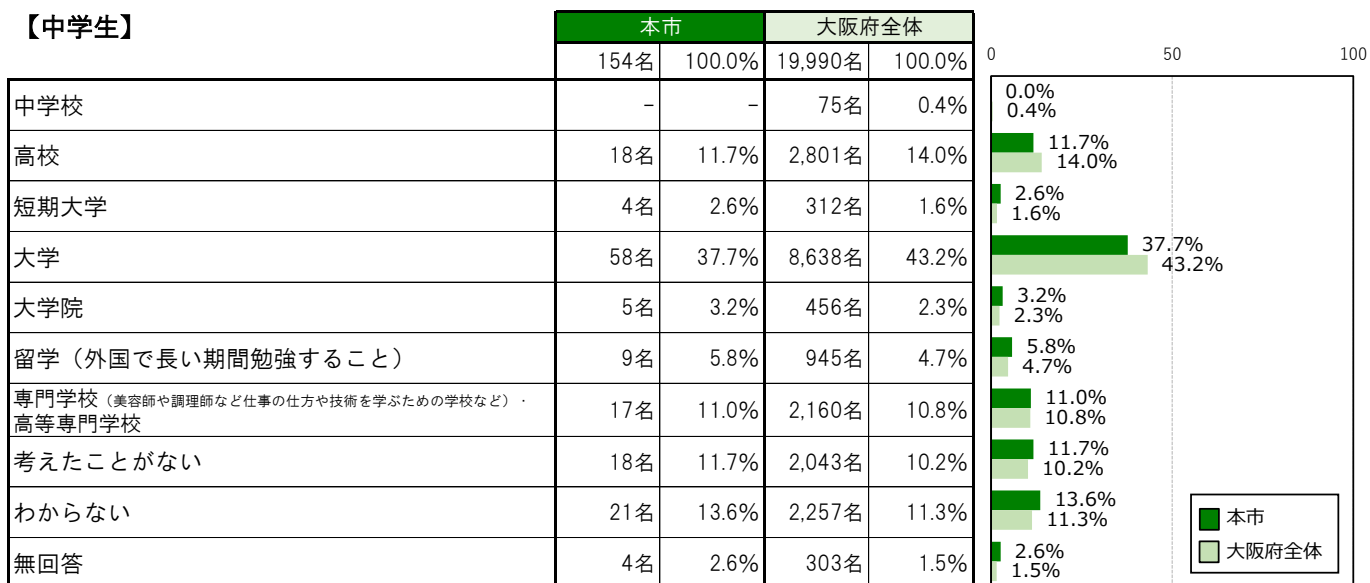
問24 希望する進学先

全体は、「大学」が38.0%で最も多く、次いで「考えたことがない」が13.3%、「専門学校・高等専門学校」が11.7%、「高校」が10.3%となっている。

小学生は、「大学」が38.2%で最も多く、次いで「考えたことがない」が14.6%、「専門学校・高等専門学校」が11.8%、「高校」が9.4%となっている。

中学生は、「大学」が37.7%で最も多く、次いで「高校」、「考えたことがない」がそれぞれ11.7%、「専門学校・高等専門学校」が11.0%、「留学」が5.8%となっている。





あなたのことについて

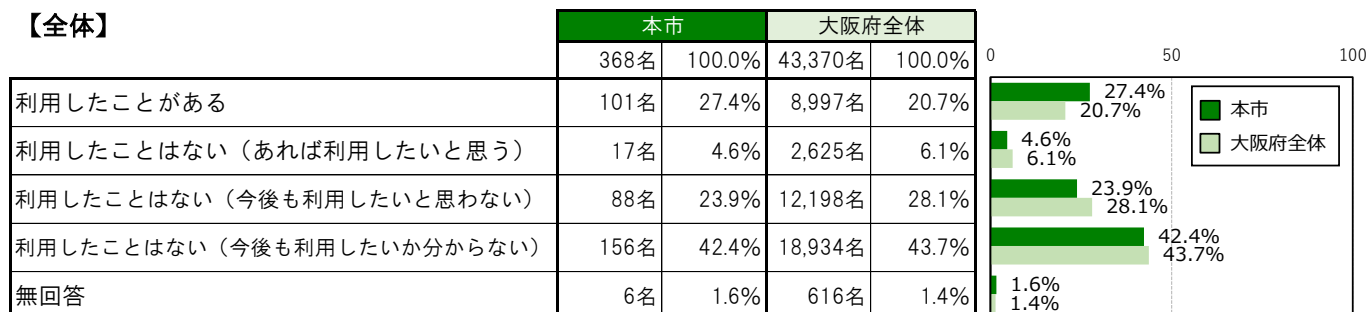
問25（１）子どもの居場所の利用状況 ①平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.4%で最も多く、次いで「利用したことがある」が27.4%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.9%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.0%で最も多く、次いで「利用したことがある」が32.1%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が20.8%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.6%、「利用したことがある」が20.8%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.4%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が16.3%、「利用したことがある」が8.4%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が53.3%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が19.8%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.0%、「利用したことがある」が9.0%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が46.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.9%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

③勉強を無料か安い料金をみしてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.3%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.3%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が15.8%、「利用したことがある」が7.3%となっている。

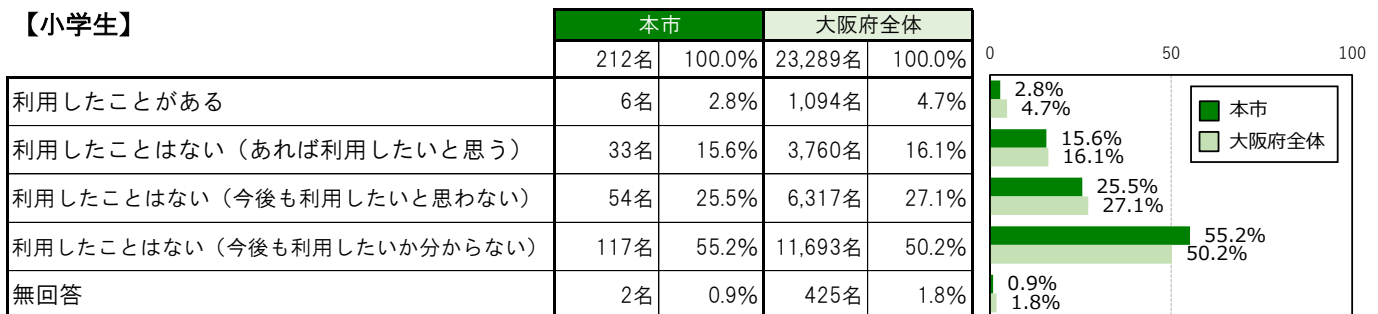
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が55.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が15.6%、「利用したことがある」が2.8%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が44.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が24.7%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が16.2%となっている。

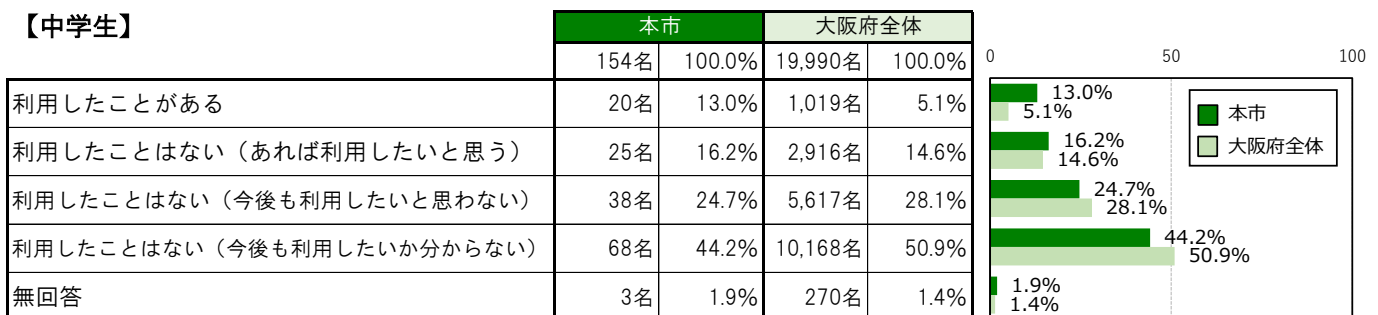
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

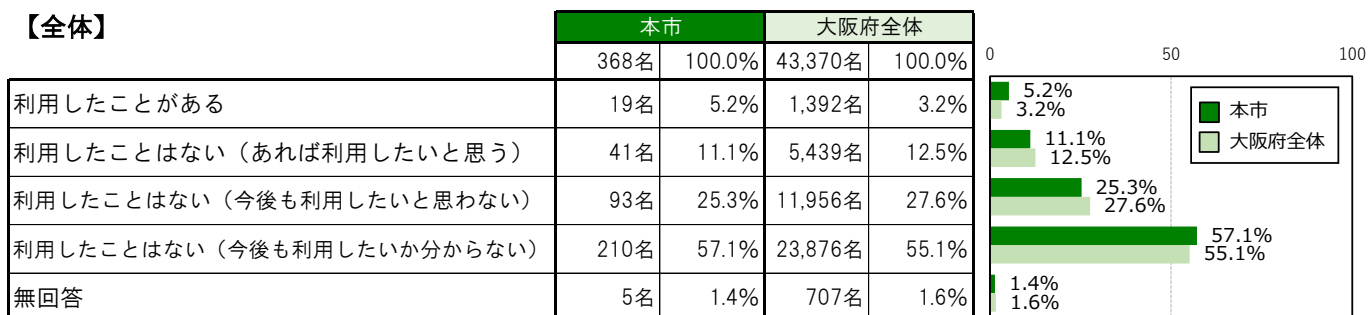
問25（１）子どもの居場所の利用状況 ④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が57.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.3%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が11.1%、「利用したことがある」が5.2%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が60.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が24.1%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が9.9%、「利用したことがある」が4.2%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が51.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が27.3%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が13.0%となっている。

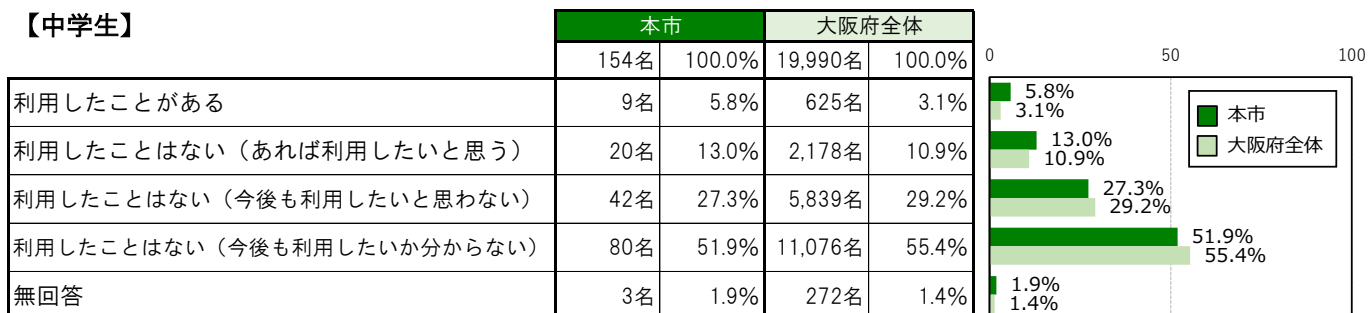
【全体】



【小学生】



【中学生】



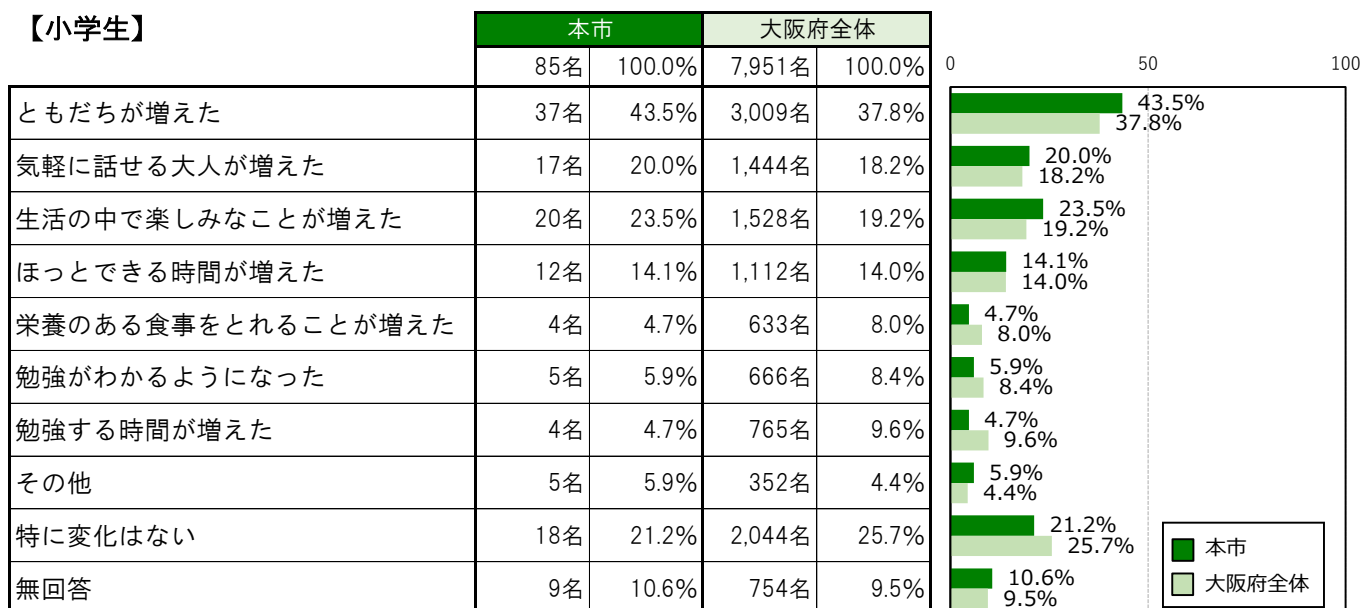
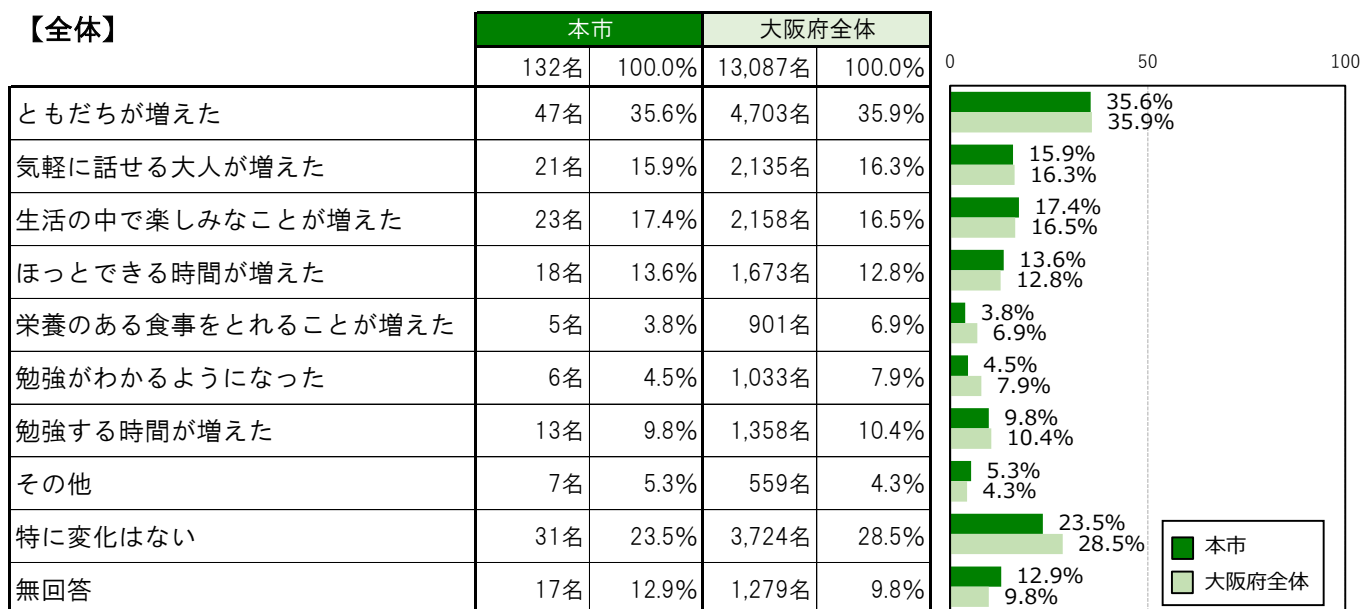
あなたのことについて

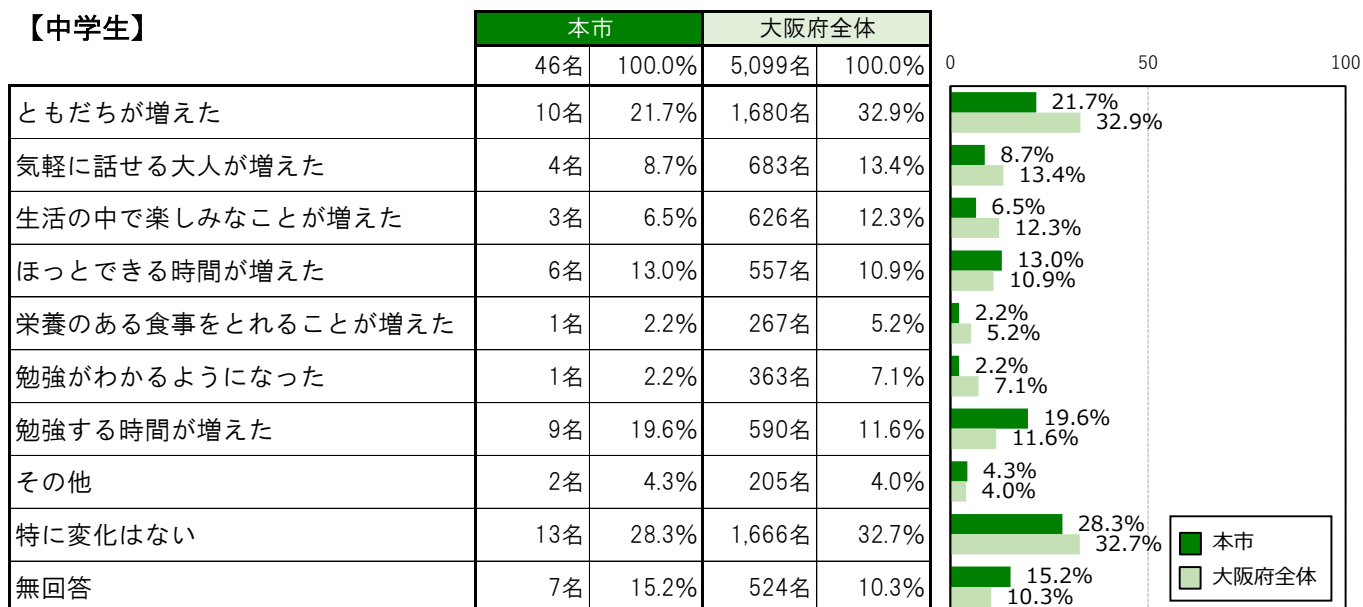
問25（2）子どもの居場所を利用したときの変化

全体は、「ともだちが増えた」が35.6%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が17.4%、「気軽に話せる大人が増えた」が15.9%、「ほっとできる時間が増えた」が13.6%となっている。

小学生は、「ともだちが増えた」が43.5%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が23.5%、「気軽に話せる大人が増えた」が20.0%、「ほっとできる時間が増えた」が14.1%となっている。

中学生は、「ともだちが増えた」が21.7%で最も多く、次いで「勉強する時間が増えた」が19.6%、「ほっとできる時間が増えた」が13.0%、「気軽に話せる大人が増えた」が8.7%となっている。





あなたのことについて

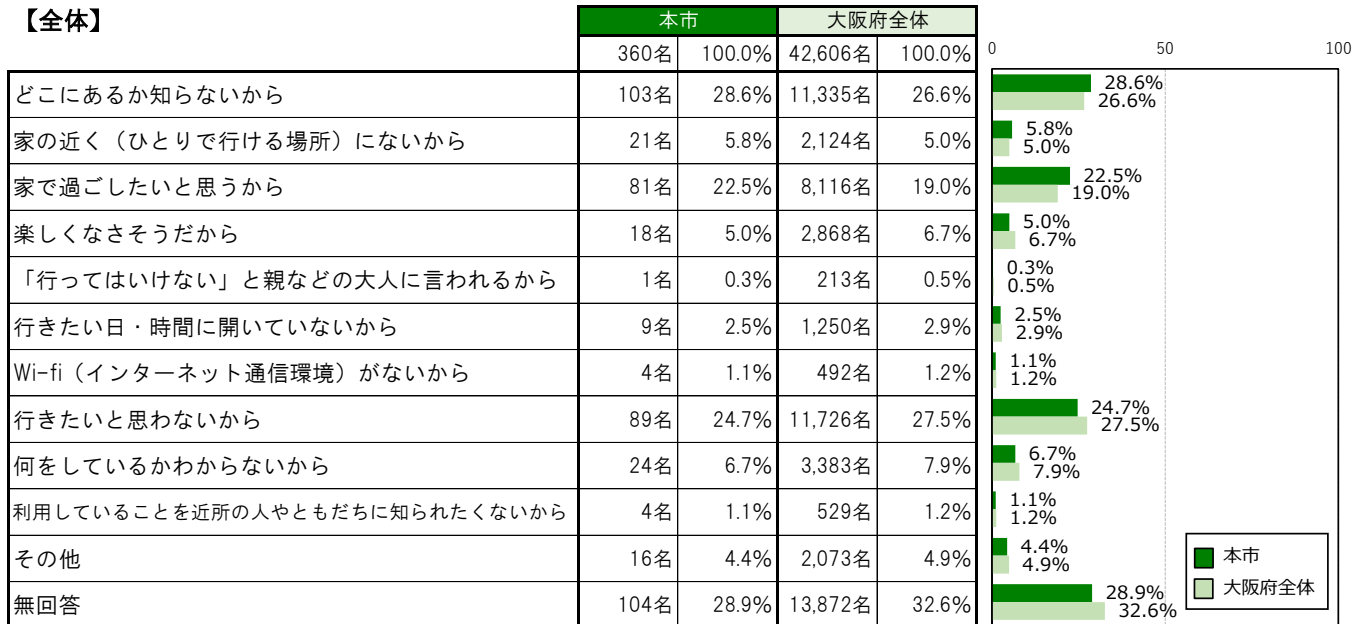
問25（3）子どもの居場所を利用したことがない理由

全体は、「どこにあるか知らないから」が28.6%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が24.7%、「家で過ごしたいと思うから」が22.5%、「何をしているかわからないから」が6.7%となっている。

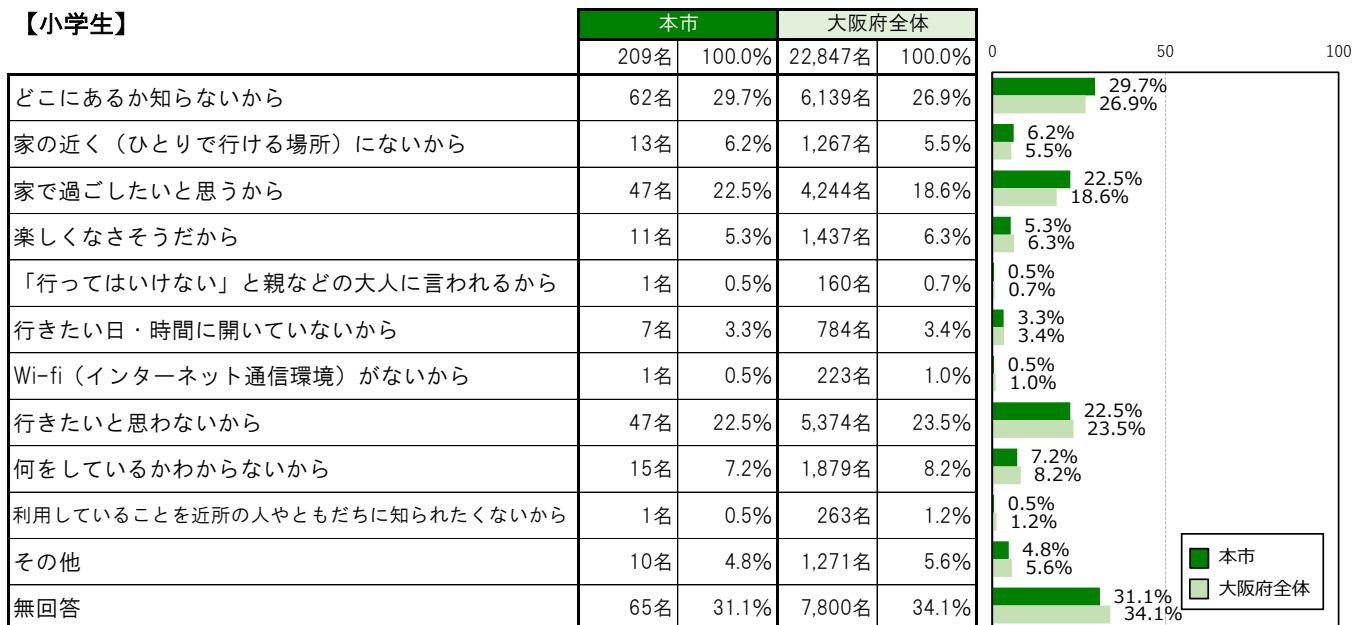
小学生は、「どこにあるか知らないから」が29.7%で最も多く、次いで「家で過ごしたいと思うから」、「行きたいと思わないから」がそれぞれ22.5%、「何をしているかわからないから」が7.2%、「家の近く（ひとりで居られる場所）にないから」が6.2%となっている。

中学生は、「どこにあるか知らないから」、「行きたいと思わないから」がそれぞれ27.5%で最も多く、次いで「家で過ごしたいと思うから」が22.8%、「何をしているかわからないから」が6.0%、「家の近く（ひとりで居られる場所）にないから」が5.4%となっている。

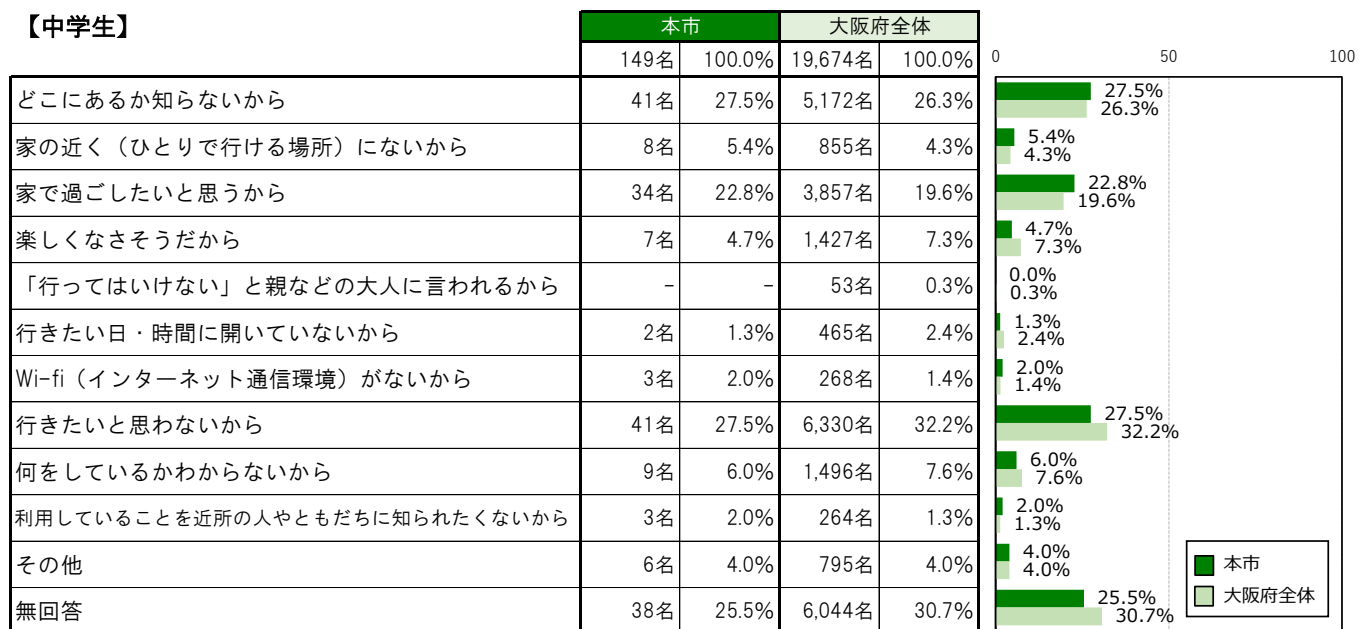
【全体】



【小学生】



【中学生】



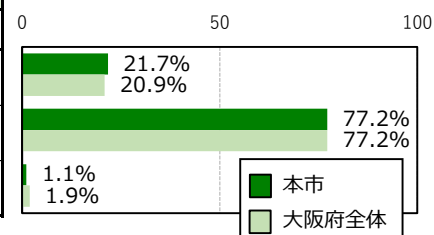
あなたのことについて

問26（１）自分が世話をしている人の有無

全体は、「いる」が21.7%、「いない」が77.2%となっている。
 小学生は、「いる」が25.0%、「いない」が74.1%となっている。
 中学生は、「いる」が17.5%、「いない」が81.2%となっている。

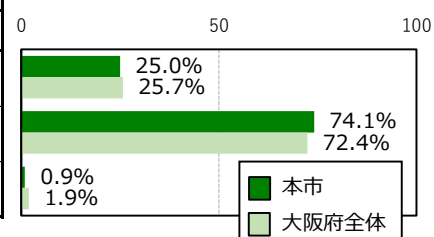
【全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	80名	21.7%	9,054名	20.9%
いない	284名	77.2%	33,476名	77.2%
無回答	4名	1.1%	840名	1.9%



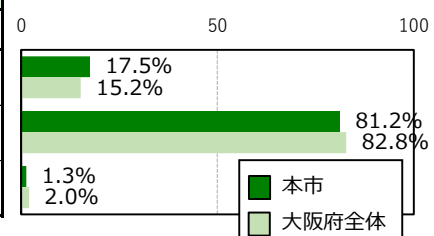
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	53名	25.0%	5,988名	25.7%
いない	157名	74.1%	16,856名	72.4%
無回答	2名	0.9%	445名	1.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	27名	17.5%	3,045名	15.2%
いない	125名	81.2%	16,553名	82.8%
無回答	2名	1.3%	392名	2.0%



あなたのことについて

問26（2）世話をしている相手

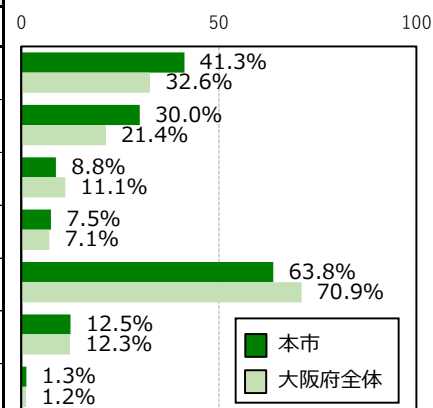
全体は、「お母さん」が41.3%、「お父さん」が30.0%、「おばあちゃん」が8.8%、「おじいちゃん」が7.5%、「きょうだい」が63.8%となっている。

小学生は、「お母さん」が41.5%、「お父さん」が30.2%、「おばあちゃん」が5.7%、「おじいちゃん」が3.8%、「きょうだい」が69.8%となっている。

中学生は、「お母さん」が40.7%、「お父さん」が29.6%、「おばあちゃん」が14.8%、「おじいちゃん」が14.8%、「きょうだい」が51.9%となっている。

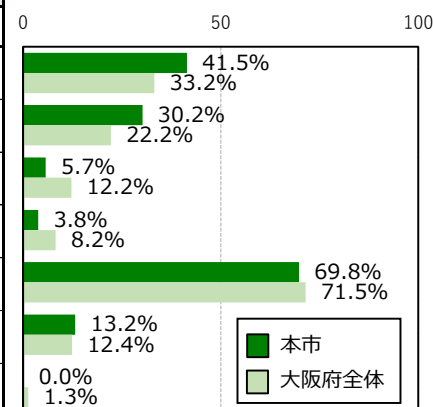
【全体】

	本市		大阪府全体	
	80名	100.0%	9,054名	100.0%
お母さん	33名	41.3%	2,954名	32.6%
お父さん	24名	30.0%	1,939名	21.4%
おばあちゃん	7名	8.8%	1,009名	11.1%
おじいちゃん	6名	7.5%	647名	7.1%
きょうだい	51名	63.8%	6,419名	70.9%
その他	10名	12.5%	1,117名	12.3%
無回答	1名	1.3%	112名	1.2%



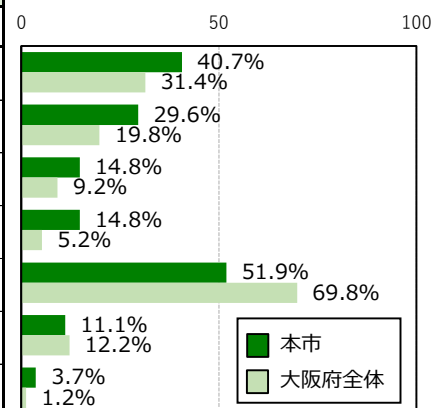
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	53名	100.0%	5,988名	100.0%
お母さん	22名	41.5%	1,990名	33.2%
お父さん	16名	30.2%	1,332名	22.2%
おばあちゃん	3名	5.7%	728名	12.2%
おじいちゃん	2名	3.8%	489名	8.2%
きょうだい	37名	69.8%	4,280名	71.5%
その他	7名	13.2%	741名	12.4%
無回答	-	-	75名	1.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	27名	100.0%	3,045名	100.0%
お母さん	11名	40.7%	957名	31.4%
お父さん	8名	29.6%	604名	19.8%
おばあちゃん	4名	14.8%	280名	9.2%
おじいちゃん	4名	14.8%	157名	5.2%
きょうだい	14名	51.9%	2,125名	69.8%
その他	3名	11.1%	370名	12.2%
無回答	1名	3.7%	37名	1.2%



あなたのことについて

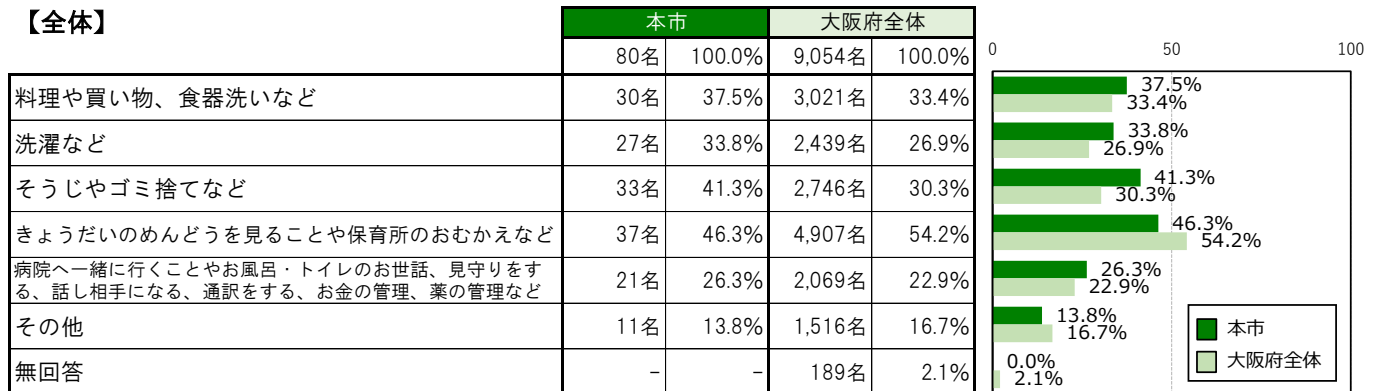
問26（3）世話をしている内容

全体は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が46.3%で最も多く、次いで「そうじやゴミ捨てなど」が41.3%、「料理や買い物、食器洗いなど」が37.5%、「洗濯など」が33.8%となっている。

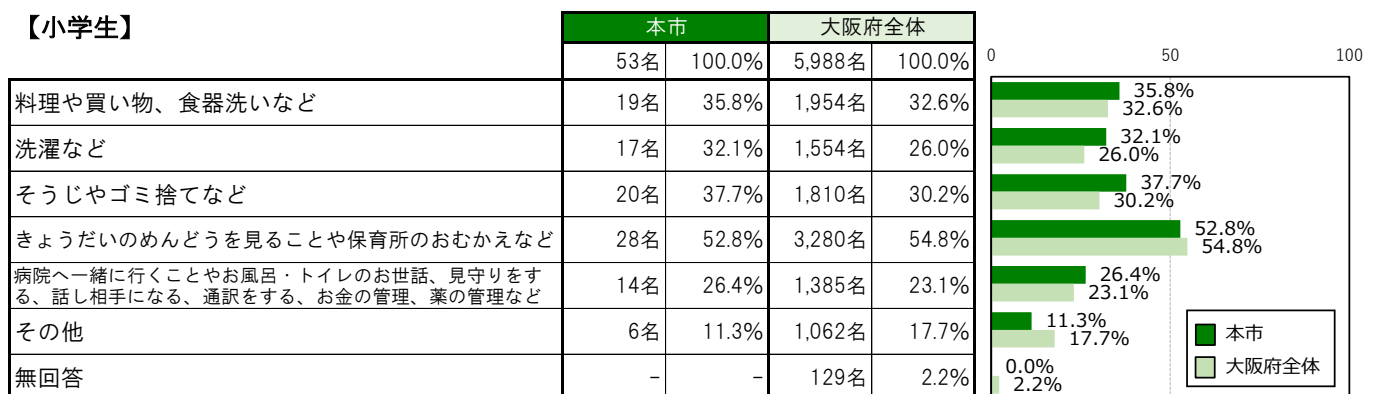
小学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が52.8%で最も多く、次いで「そうじやゴミ捨てなど」が37.7%、「料理や買い物、食器洗いなど」が35.8%、「洗濯など」が32.1%となっている。

中学生は、「そうじやゴミ捨てなど」が48.1%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が40.7%、「洗濯など」が37.0%、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が33.3%となっている。

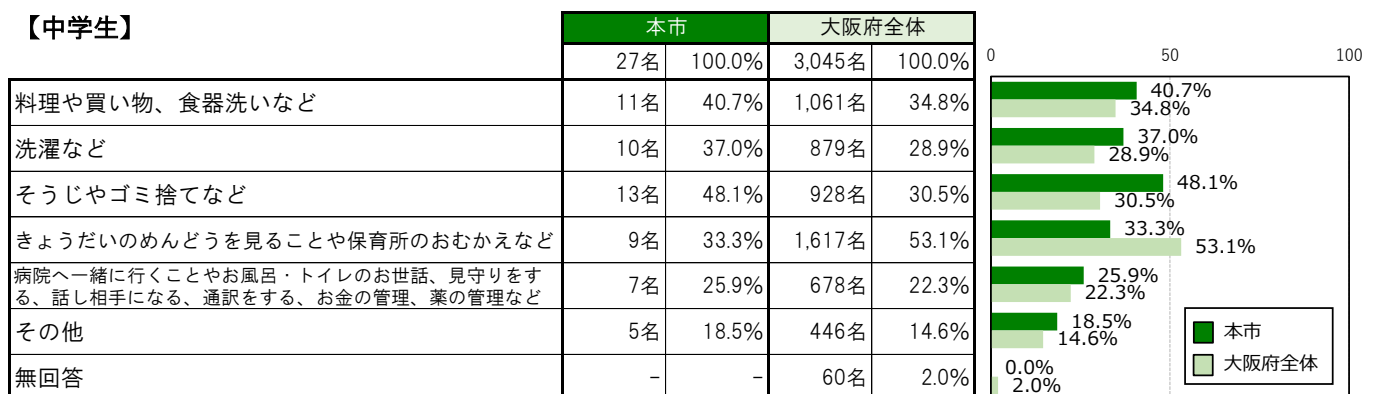
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問26（５）世話をする頻度

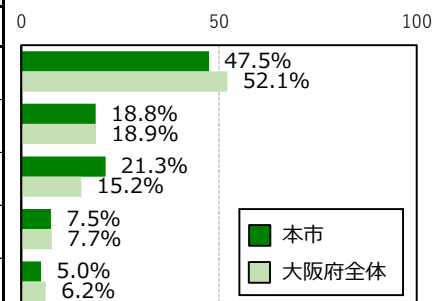
全体は、「ほぼ毎日」が47.5%で最も多く、次いで「週に1日または2日」が21.3%、「週に3日～5日」が18.8%、「1か月に数日」が7.5%となっている。

小学生は、「ほぼ毎日」が45.3%で最も多く、次いで「週に1日または2日」が22.6%、「週に3日～5日」が18.9%、「1か月に数日」が5.7%となっている。

中学生は、「ほぼ毎日」が51.9%で最も多く、次いで「週に3日～5日」、「週に1日または2日」がそれぞれ18.5%、「1か月に数日」が11.1%となっている。

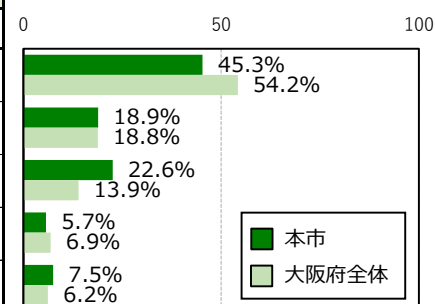
【全体】

	本市		大阪府全体	
	80名	100.0%	9,054名	100.0%
ほぼ毎日	38名	47.5%	4,716名	52.1%
週に3日～5日	15名	18.8%	1,708名	18.9%
週に1日または2日	17名	21.3%	1,375名	15.2%
1か月に数日	6名	7.5%	694名	7.7%
無回答	4名	5.0%	561名	6.2%



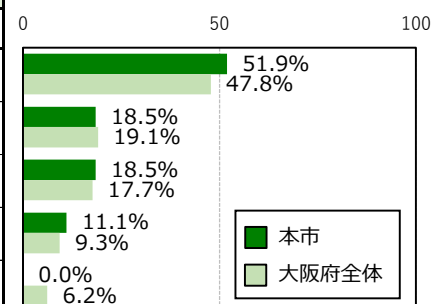
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	53名	100.0%	5,988名	100.0%
ほぼ毎日	24名	45.3%	3,246名	54.2%
週に3日～5日	10名	18.9%	1,125名	18.8%
週に1日または2日	12名	22.6%	832名	13.9%
1か月に数日	3名	5.7%	412名	6.9%
無回答	4名	7.5%	373名	6.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	27名	100.0%	3,045名	100.0%
ほぼ毎日	14名	51.9%	1,455名	47.8%
週に3日～5日	5名	18.5%	582名	19.1%
週に1日または2日	5名	18.5%	538名	17.7%
1か月に数日	3名	11.1%	282名	9.3%
無回答	-	-	188名	6.2%



あなたのことについて

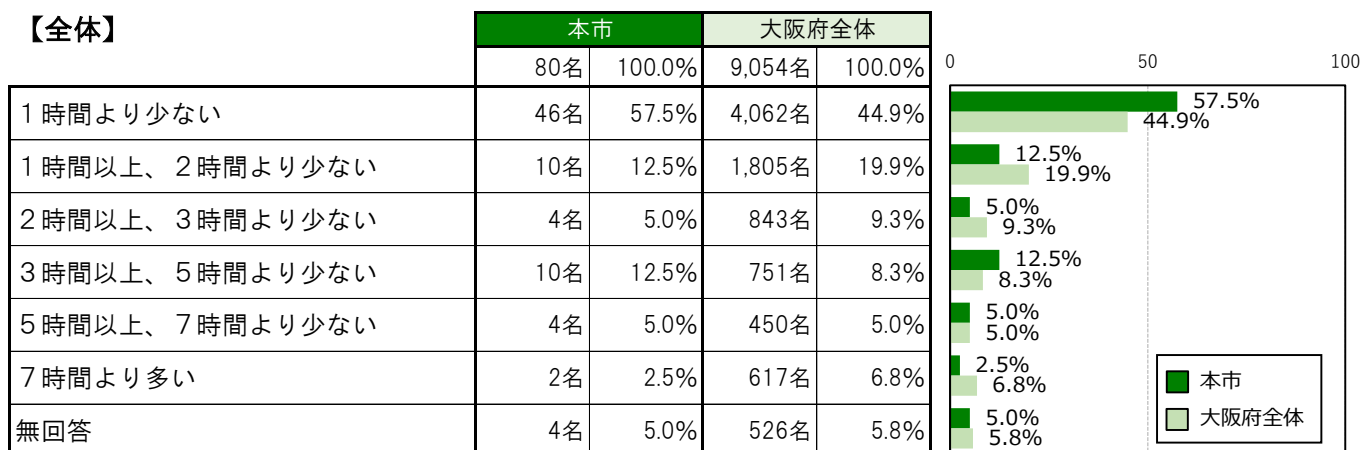
問26（6）学校がある日に世話をする1日の時間

全体は、「1時間より少ない」が57.5%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」、「3時間以上、5時間より少ない」がそれぞれ12.5%、「2時間以上、3時間より少ない」、「5時間以上、7時間より少ない」がそれぞれ5.0%、「7時間より多い」が2.5%となっている。

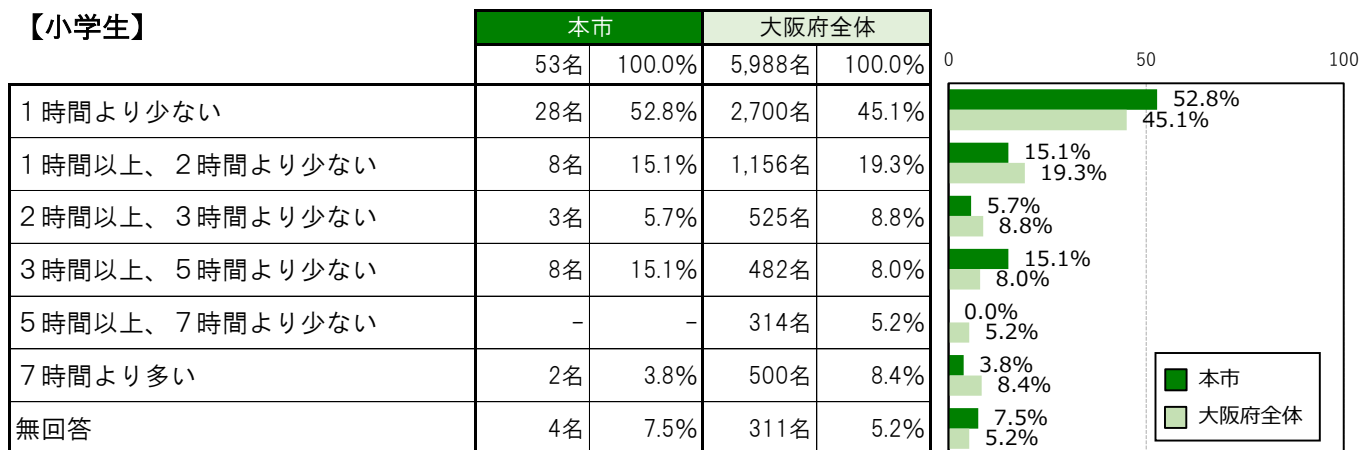
小学生は、「1時間より少ない」が52.8%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」、「3時間以上、5時間より少ない」がそれぞれ15.1%、「2時間以上、3時間より少ない」が5.7%、「7時間より多い」が3.8%となっている。

中学生は、「1時間より少ない」が66.7%で最も多く、次いで「5時間以上、7時間より少ない」が14.8%、「1時間以上、2時間より少ない」、「3時間以上、5時間より少ない」がそれぞれ7.4%、「2時間以上、3時間より少ない」が3.7%となっている。

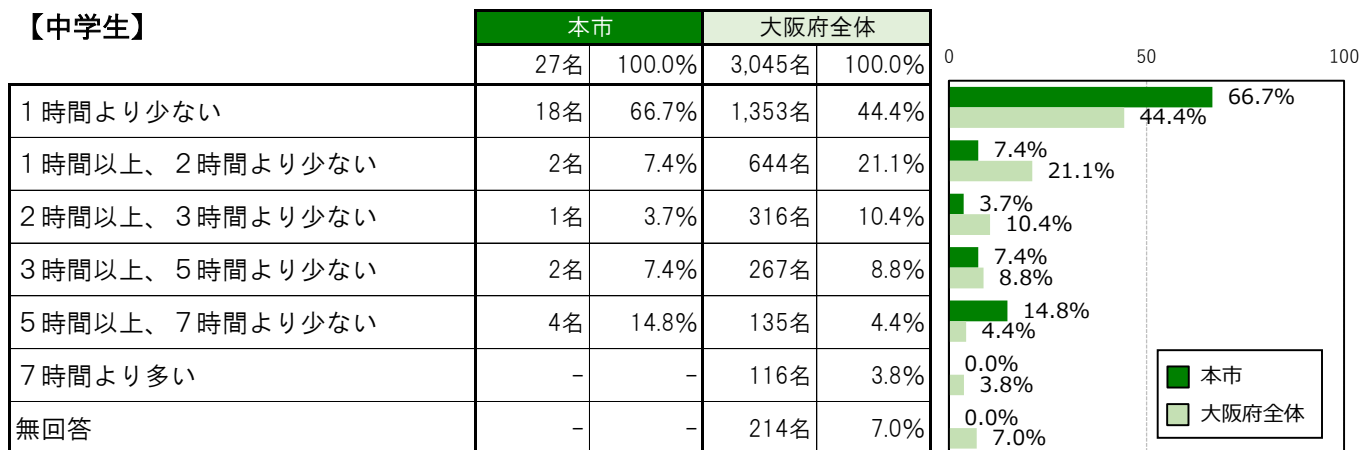
【全体】



【小学生】



【中学生】



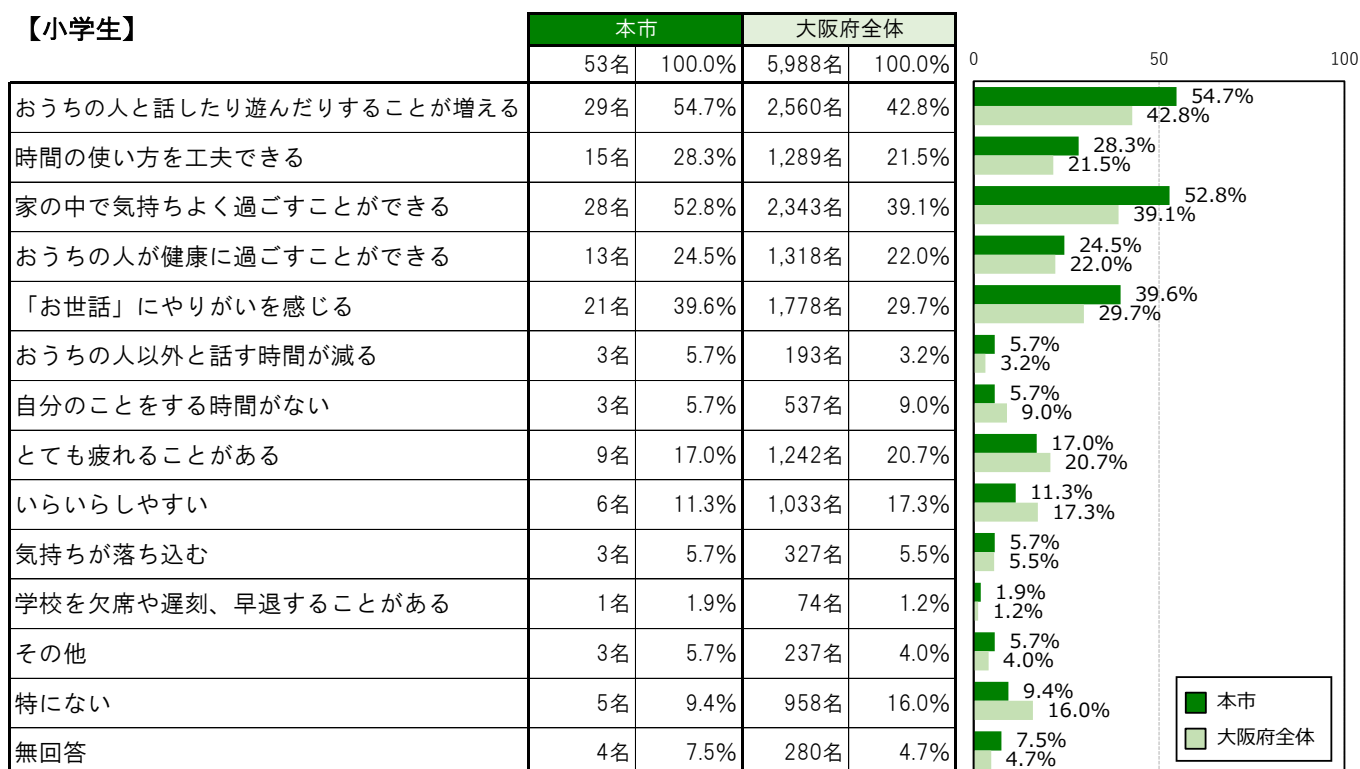
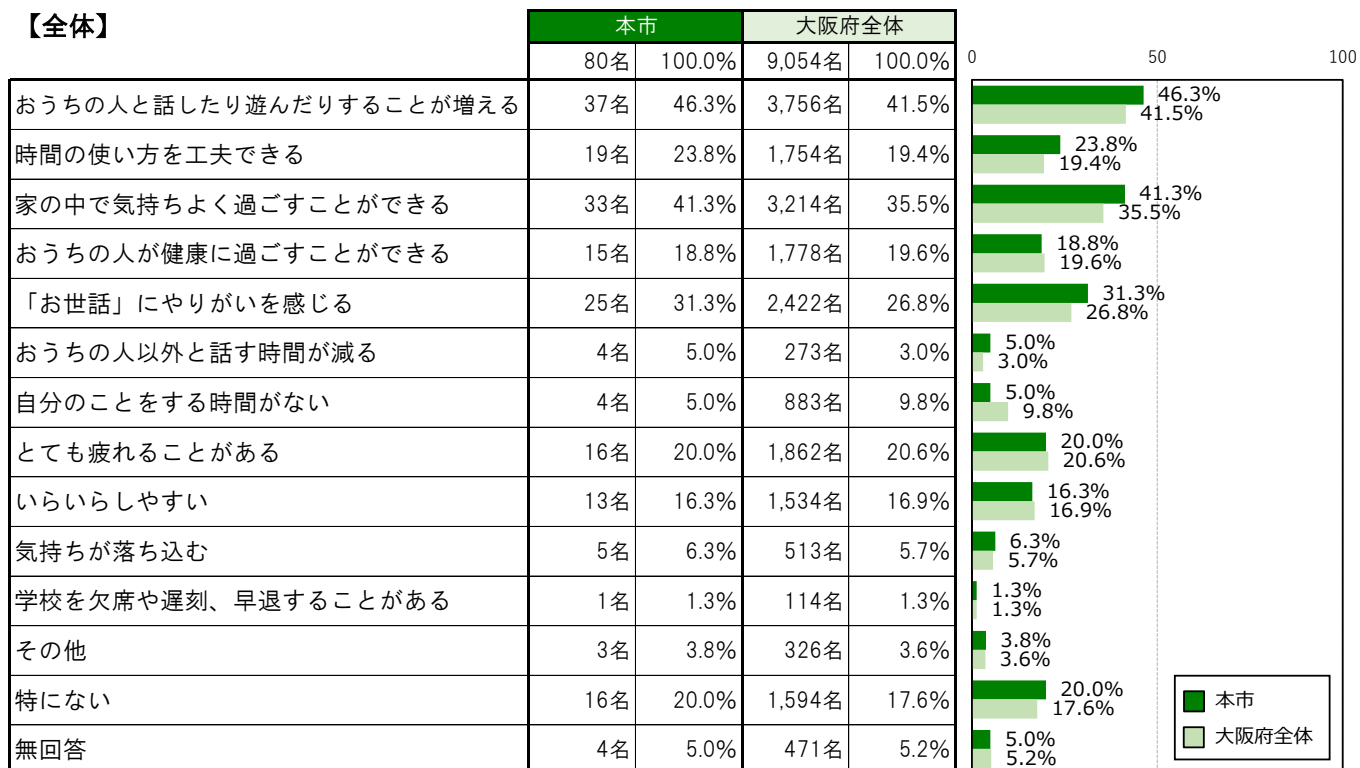
あなたのことについて

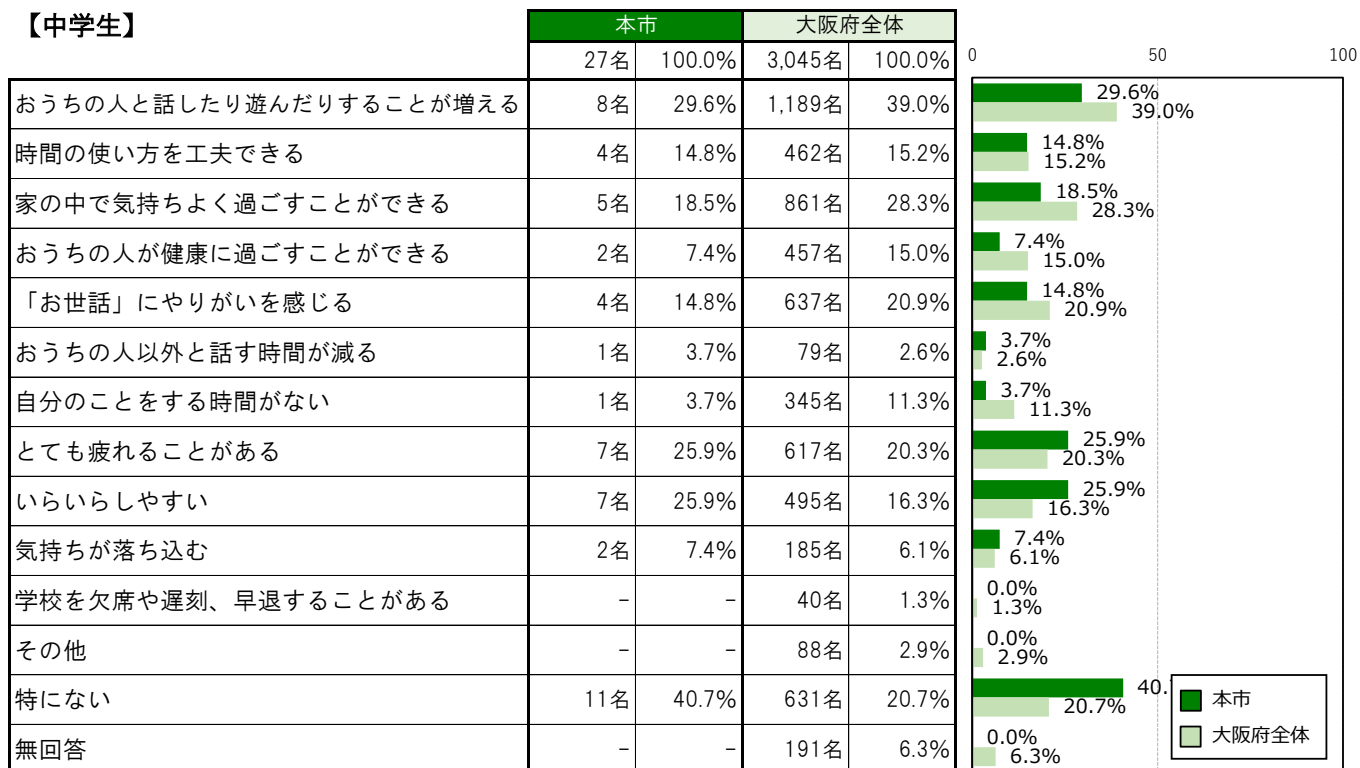
問26（7）世話をしていることの影響

全体は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が46.3%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が41.3%、「「お世話」にやりがいを感じる」が31.3%、「時間の使い方を工夫できる」が23.8%となっている。

小学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が54.7%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が52.8%、「「お世話」にやりがいを感じる」が39.6%、「時間の使い方を工夫できる」が28.3%となっている。

中学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が29.6%で最も多く、次いで「とても疲れることがある」が20.0%、「いらいらしやすい」がそれぞれ25.9%、「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が18.5%となっている。





2. 単純集計結果〔保護者〕

摂津市

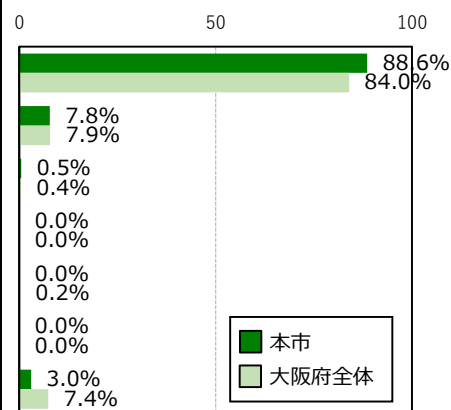
子どもとの関係について

問1 子どもとの続柄

保護者全体は、「お母さん」が88.6%で最も多く、次いで「お父さん」が7.8%となっている。
 小学生の保護者は、「お母さん」が90.5%で最も多く、次いで「お父さん」が6.7%となっている。
 中学生の保護者は、「お母さん」が89.8%で最も多く、次いで「お父さん」が5.4%、「おじいさん・おばあさん」が1.4%となっている。

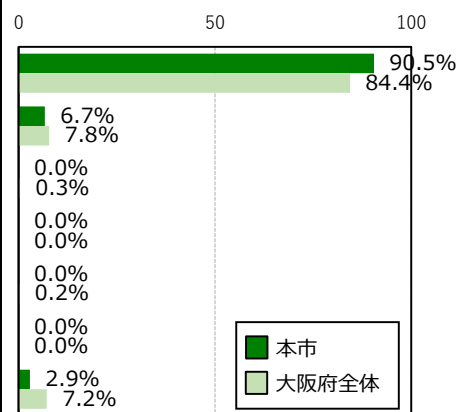
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,358名	100.0%
お母さん	351名	88.6%	36,436名	84.0%
お父さん	31名	7.8%	3,426名	7.9%
おじいさん・おばあさん	2名	0.5%	154名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	15名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	91名	0.2%
その他の人	-	-	14名	0.0%
無回答	12名	3.0%	3,222名	7.4%



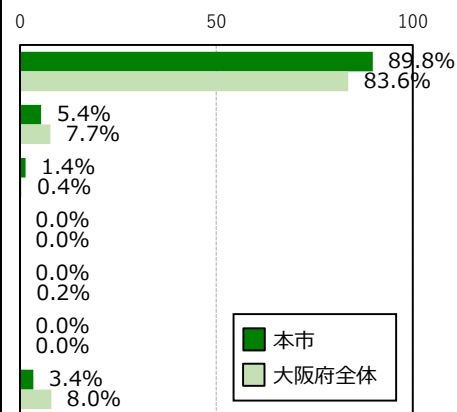
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,819名	100.0%
お母さん	190名	90.5%	19,261名	84.4%
お父さん	14名	6.7%	1,776名	7.8%
おじいさん・おばあさん	-	-	75名	0.3%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	47名	0.2%
その他の人	-	-	3名	0.0%
無回答	6名	2.9%	1,650名	7.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,390名	100.0%
お母さん	132名	89.8%	16,208名	83.6%
お父さん	8名	5.4%	1,488名	7.7%
おじいさん・おばあさん	2名	1.4%	77名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	44名	0.2%
その他の人	-	-	8名	0.0%
無回答	5名	3.4%	1,558名	8.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ①おばあさん

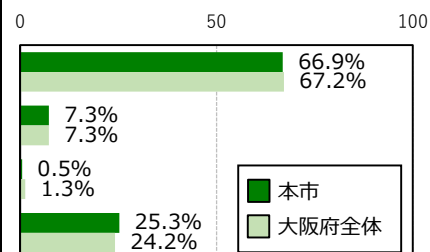
保護者全体は、「いない」が66.9%で最も多く、次いで「1人」が7.3%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が69.0%で最も多く、次いで「1人」が6.2%、「2人」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が64.6%で最も多く、次いで「1人」が8.8%となっている。

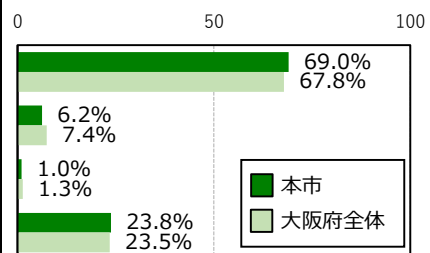
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	265名	66.9%	29,081名	67.2%
1人	29名	7.3%	3,181名	7.3%
2人	2名	0.5%	555名	1.3%
無回答	100名	25.3%	10,483名	24.2%



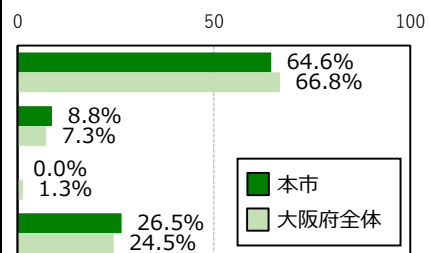
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	145名	69.0%	15,456名	67.8%
1人	13名	6.2%	1,681名	7.4%
2人	2名	1.0%	286名	1.3%
無回答	50名	23.8%	5,363名	23.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	95名	64.6%	12,942名	66.8%
1人	13名	8.8%	1,422名	7.3%
2人	-	-	257名	1.3%
無回答	39名	26.5%	4,744名	24.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ②おじいさん

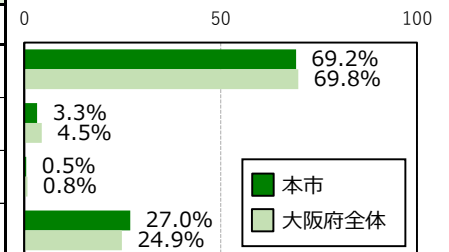
保護者全体は、「いない」が69.2%で最も多く、次いで「1人」が3.3%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が70.0%で最も多く、次いで「1人」が4.3%、「2人」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が69.4%で最も多く、次いで「1人」が2.0%となっている。

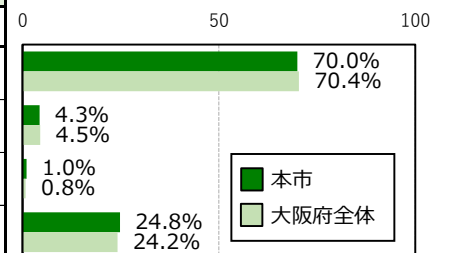
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	274名	69.2%	30,230名	69.8%
1人	13名	3.3%	1,932名	4.5%
2人	2名	0.5%	340名	0.8%
無回答	107名	27.0%	10,798名	24.9%



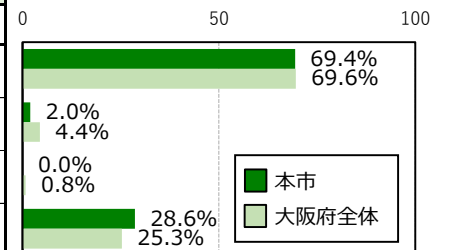
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	147名	70.0%	16,050名	70.4%
1人	9名	4.3%	1,031名	4.5%
2人	2名	1.0%	186名	0.8%
無回答	52名	24.8%	5,519名	24.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	102名	69.4%	13,474名	69.6%
1人	3名	2.0%	853名	4.4%
2人	-	-	148名	0.8%
無回答	42名	28.6%	4,890名	25.3%

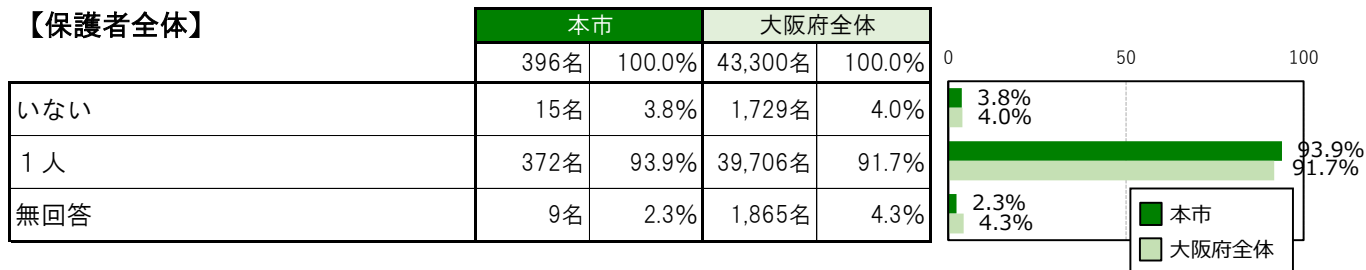


世帯の状況について

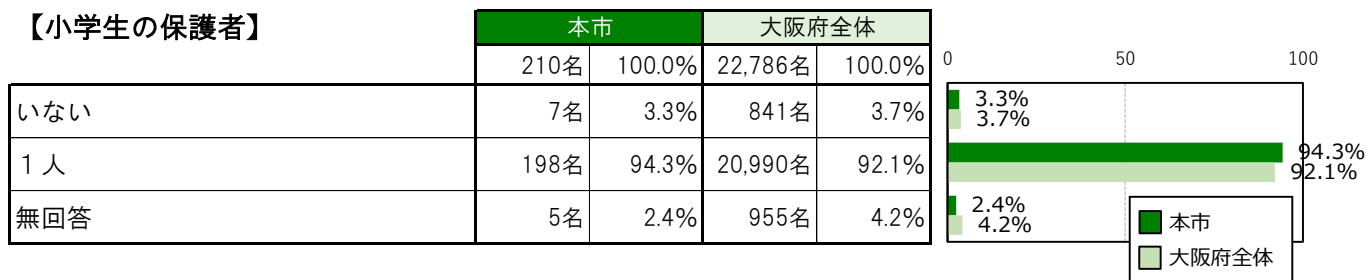
問2 世帯構成 ③お母さん

保護者全体は、「いない」が3.8%、「1人」が93.9%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が3.3%、「1人」が94.3%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が5.4%、「1人」が91.8%となっている。

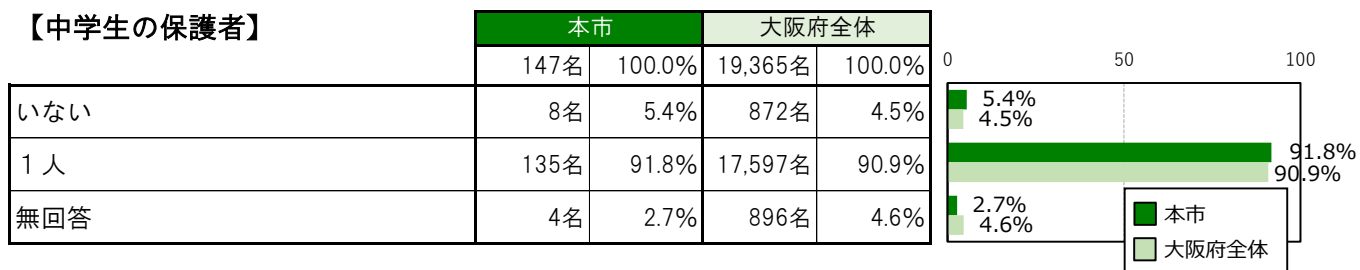
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



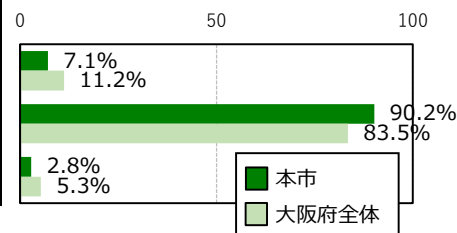
世帯の状況について

問2 世帯構成 ④お父さん

保護者全体は、「いない」が7.1%、「1人」が90.2%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が7.6%、「1人」が89.5%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が6.8%、「1人」が89.8%となっている。

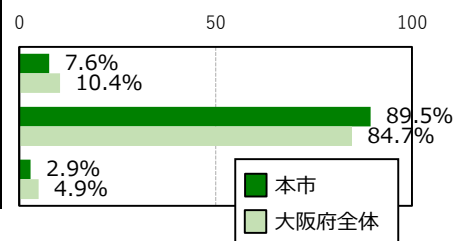
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	28名	7.1%	4,852名	11.2%
1人	357名	90.2%	36,166名	83.5%
無回答	11名	2.8%	2,282名	5.3%



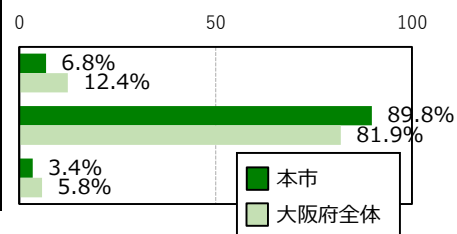
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	16名	7.6%	2,372名	10.4%
1人	188名	89.5%	19,301名	84.7%
無回答	6名	2.9%	1,113名	4.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	10名	6.8%	2,394名	12.4%
1人	132名	89.8%	15,852名	81.9%
無回答	5名	3.4%	1,119名	5.8%



世帯の状況について

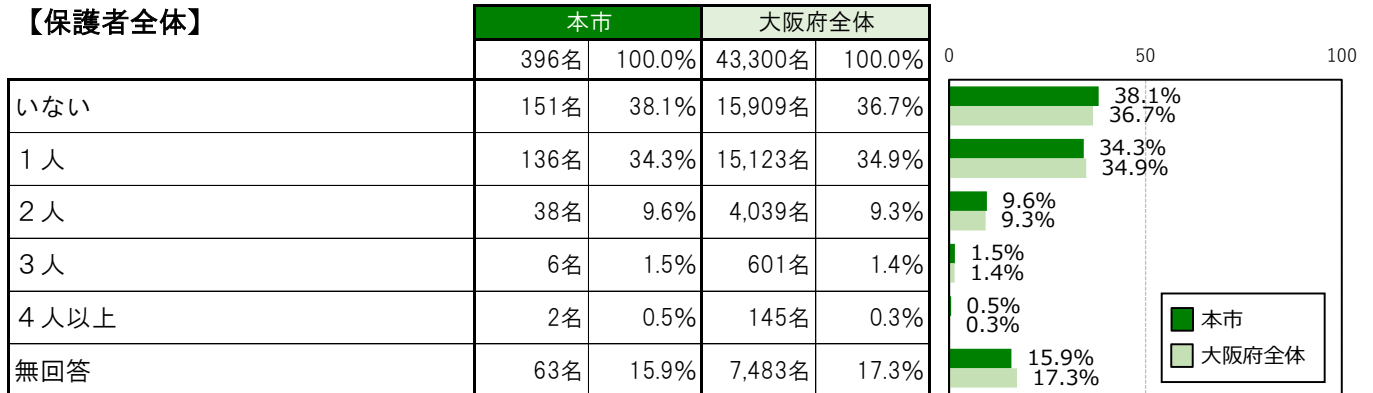
問2 世帯構成 ⑤姉・兄

保護者全体は、「いない」が38.1%で最も多く、次いで「1人」が34.3%、「2人」が9.6%、「3人」が1.5%となっている。

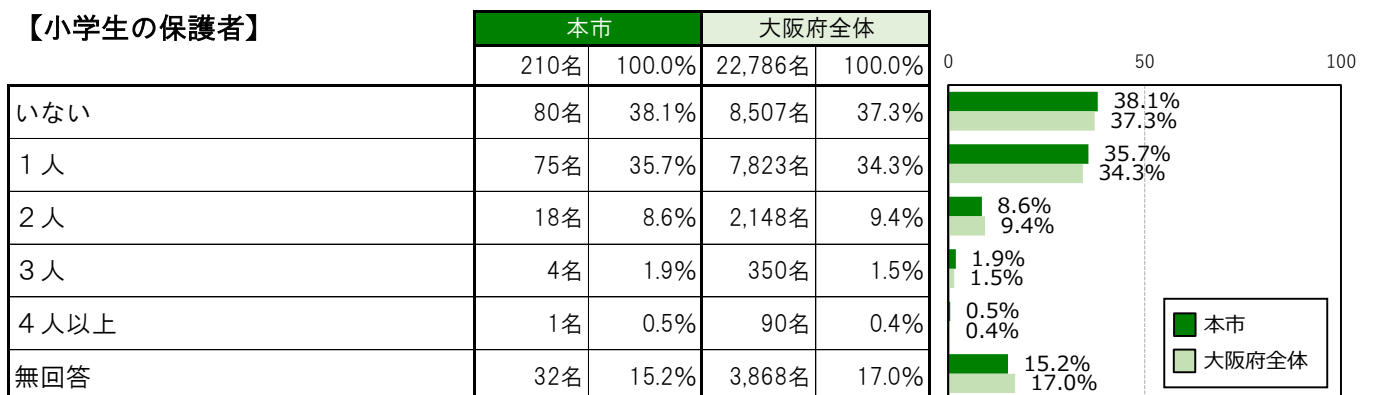
小学生の保護者は、「いない」が38.1%で最も多く、次いで「1人」が35.7%、「2人」が8.6%、「3人」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が37.4%で最も多く、次いで「1人」が31.3%、「2人」が12.2%となっている。

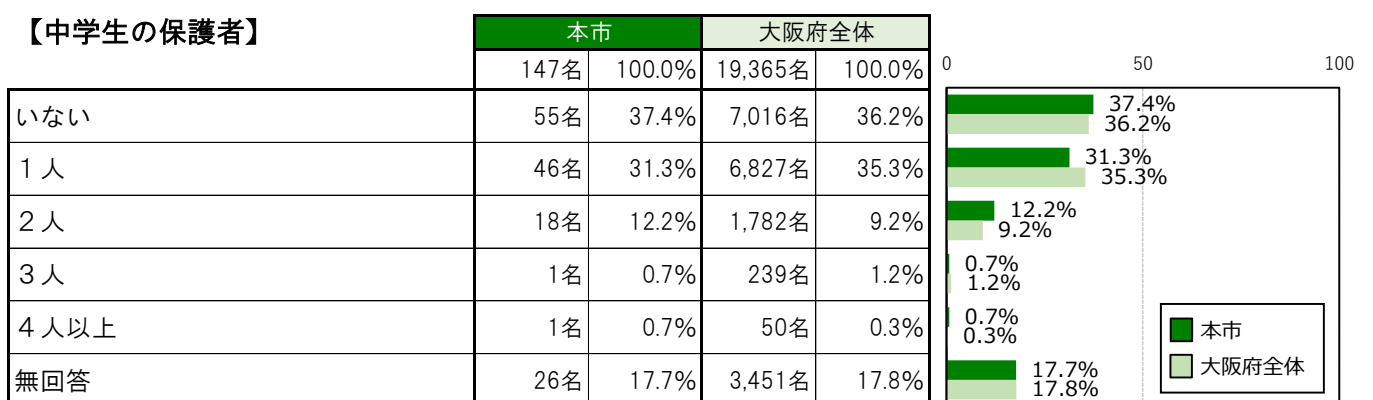
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

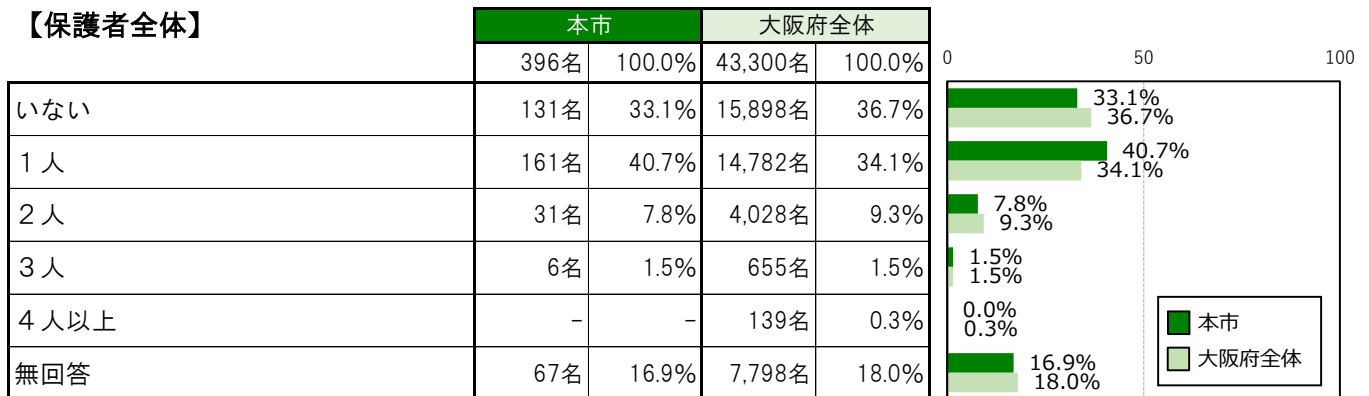
問2 世帯構成 ⑥妹・弟

保護者全体は、「1人」が40.7%で最も多く、次いで「いない」が33.1%、「2人」が7.8%、「3人」が1.5%となっている。

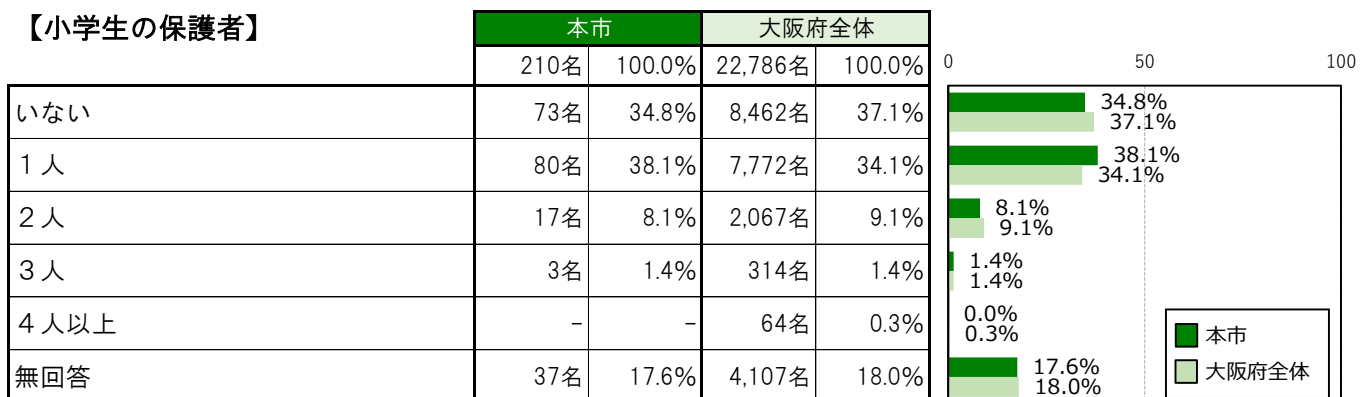
小学生の保護者は、「1人」が38.1%で最も多く、次いで「いない」が34.8%、「2人」が8.1%、「3人」が1.4%となっている。

中学生の保護者は、「1人」が44.9%で最も多く、次いで「いない」が29.9%、「2人」が7.5%、「3人」が2.0%となっている。

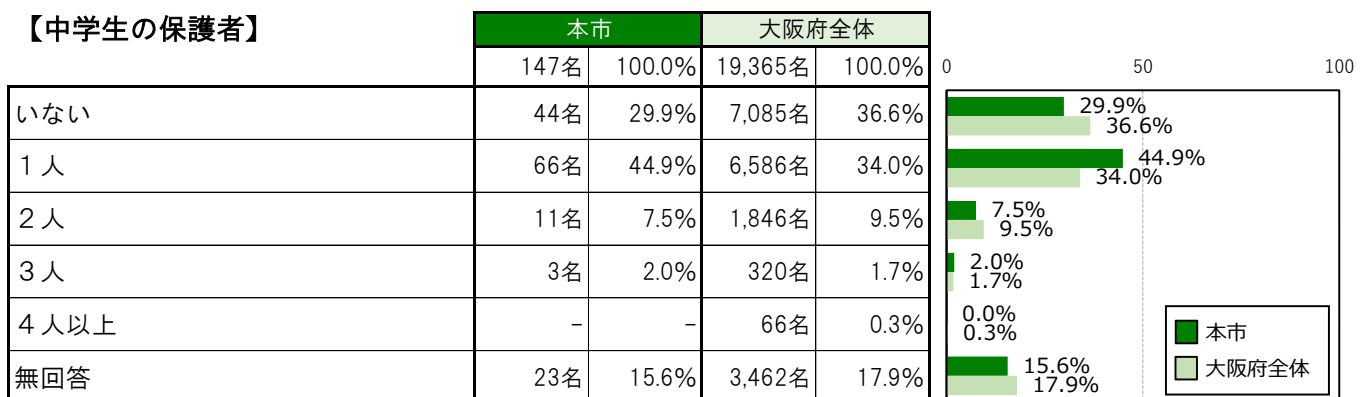
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑦その他

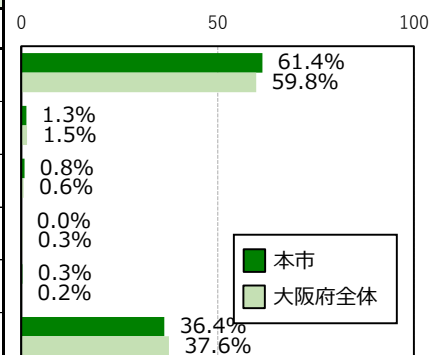
保護者全体は、「いない」が61.4%で最も多く、次いで「1人」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が61.9%で最も多くなっている。

中学生の保護者は、「いない」が59.9%で最も多く、次いで「1人」が2.7%、「2人」が1.4%となっている。

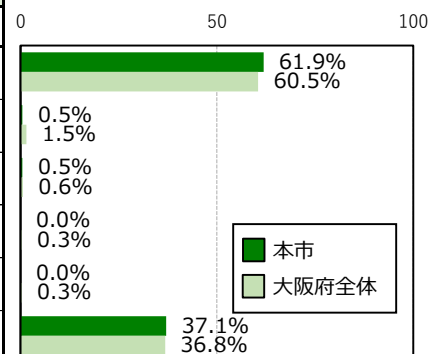
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	243名	61.4%	25,890名	59.8%
1人	5名	1.3%	628名	1.5%
2人	3名	0.8%	261名	0.6%
3人	-	-	133名	0.3%
4人以上	1名	0.3%	98名	0.2%
無回答	144名	36.4%	16,290名	37.6%



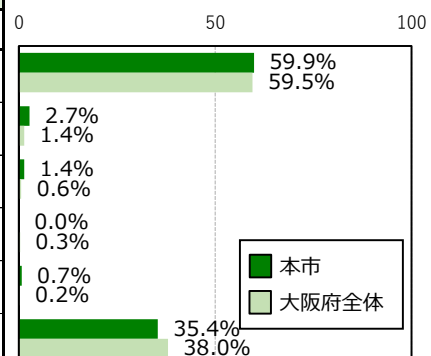
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	130名	61.9%	13,780名	60.5%
1人	1名	0.5%	347名	1.5%
2人	1名	0.5%	139名	0.6%
3人	-	-	73名	0.3%
4人以上	-	-	59名	0.3%
無回答	78名	37.1%	8,388名	36.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	88名	59.9%	11,529名	59.5%
1人	4名	2.7%	275名	1.4%
2人	2名	1.4%	119名	0.6%
3人	-	-	55名	0.3%
4人以上	1名	0.7%	36名	0.2%
無回答	52名	35.4%	7,351名	38.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ＜世帯員の続柄＞

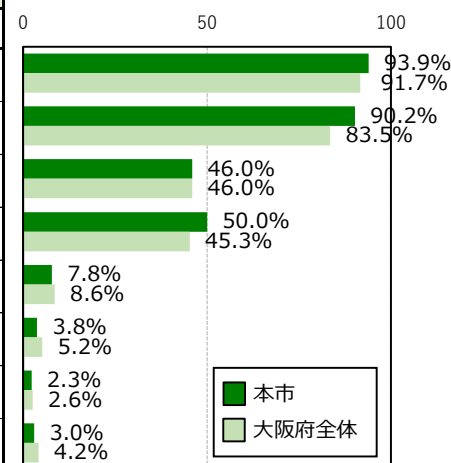
保護者全体は、「お母さん」が93.9%で最も多く、次いで「お父さん」が90.2%、「妹・弟」が50.0%、「姉・兄」が46.0%となっている。

小学生の保護者は、「お母さん」が94.3%で最も多く、次いで「お父さん」が89.5%、「妹・弟」が47.6%、「姉・兄」が46.7%となっている。

中学生の保護者は、「お母さん」が91.8%で最も多く、次いで「お父さん」が89.8%、「妹・弟」が54.4%、「姉・兄」が44.9%となっている。

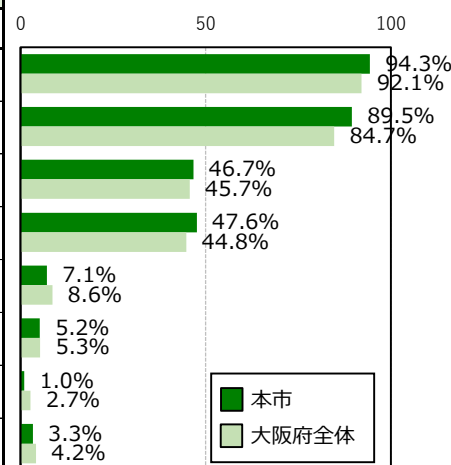
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	396名	100.0%	43,300名	100.0%
お父さん	372名	93.9%	39,706名	91.7%
姉・兄	182名	46.0%	19,908名	46.0%
妹・弟	198名	50.0%	19,604名	45.3%
おばあさん	31名	7.8%	3,736名	8.6%
おじいさん	15名	3.8%	2,272名	5.2%
その他	9名	2.3%	1,120名	2.6%
無回答	12名	3.0%	1,839名	4.2%



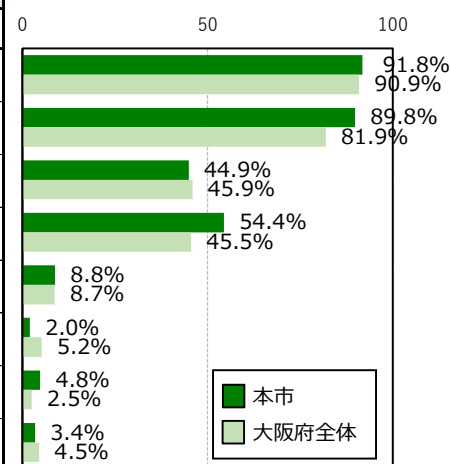
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	210名	100.0%	22,786名	100.0%
お父さん	198名	94.3%	20,990名	92.1%
姉・兄	98名	46.7%	10,411名	45.7%
妹・弟	100名	47.6%	10,217名	44.8%
おばあさん	15名	7.1%	1,967名	8.6%
おじいさん	11名	5.2%	1,217名	5.3%
その他	2名	1.0%	618名	2.7%
無回答	7名	3.3%	953名	4.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	147名	100.0%	19,365名	100.0%
お父さん	135名	91.8%	17,597名	90.9%
姉・兄	132名	89.8%	15,852名	81.9%
妹・弟	66名	44.9%	8,898名	45.9%
妹・弟	80名	54.4%	8,818名	45.5%
おばあさん	13名	8.8%	1,679名	8.7%
おじいさん	3名	2.0%	1,001名	5.2%
その他	7名	4.8%	485名	2.5%
無回答	5名	3.4%	876名	4.5%



世帯の状況について

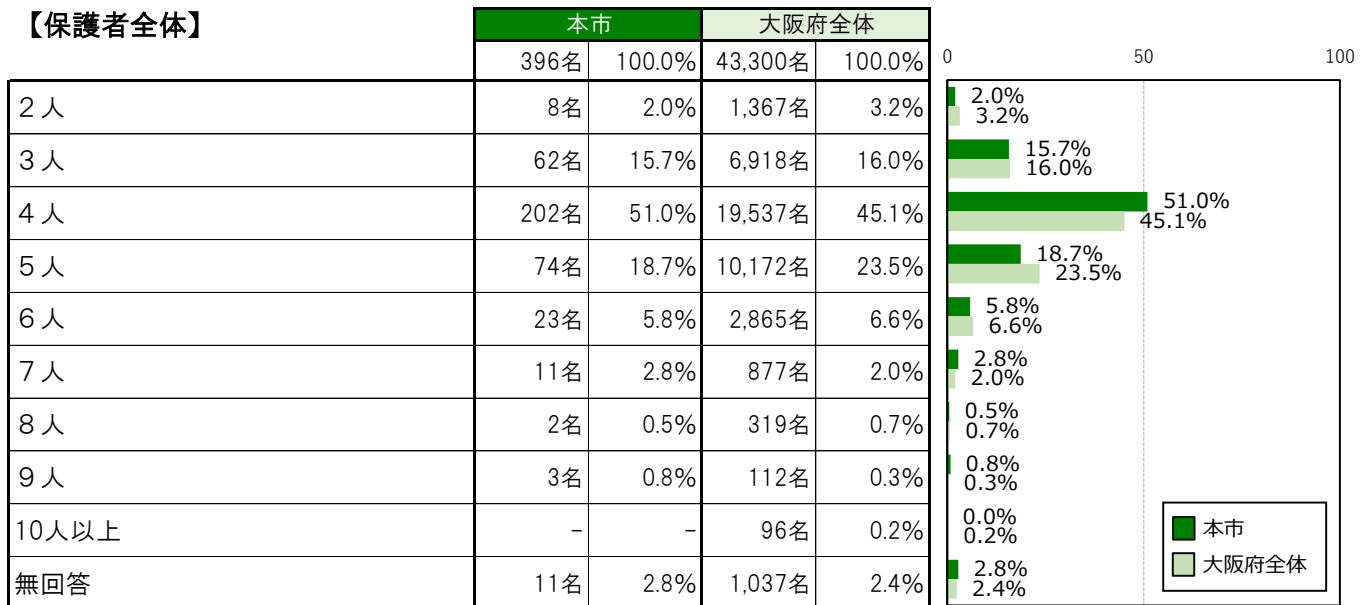
問2 世帯構成 ⑧世帯人数

保護者全体は、「4人」が51.0%で最も多く、次いで「5人」が18.7%、「3人」が15.7%、「6人」が5.8%となっている。

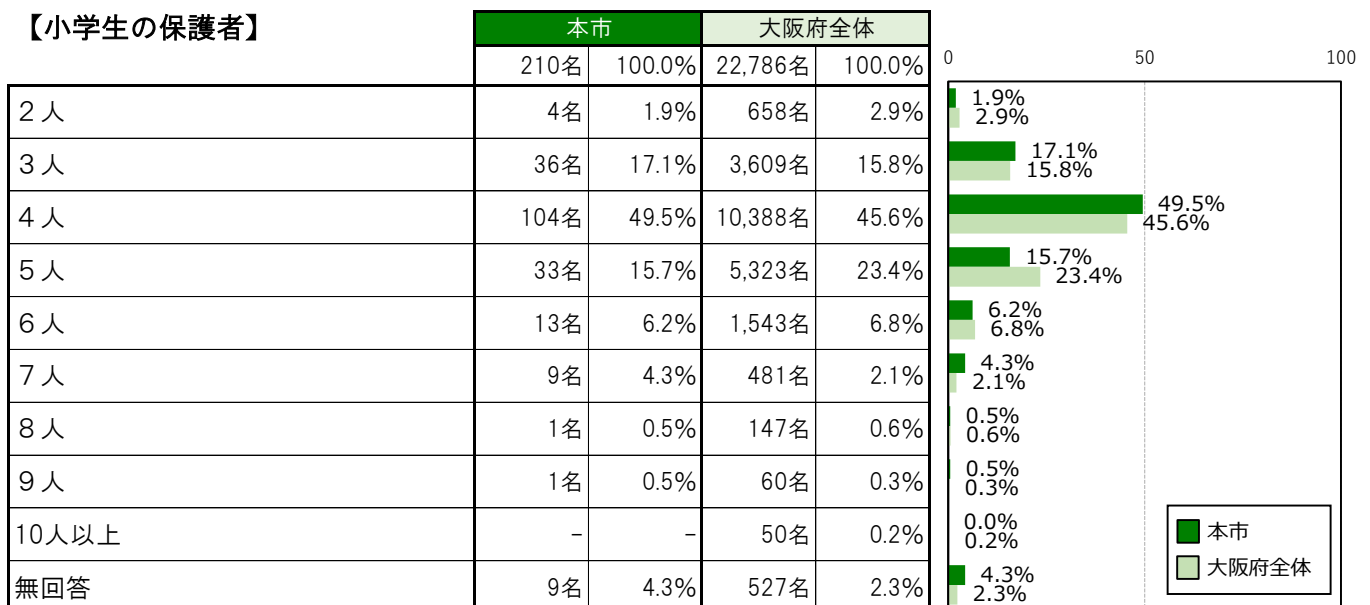
小学生の保護者は、「4人」が49.5%で最も多く、次いで「3人」が17.1%、「5人」が15.7%、「6人」が6.2%となっている。

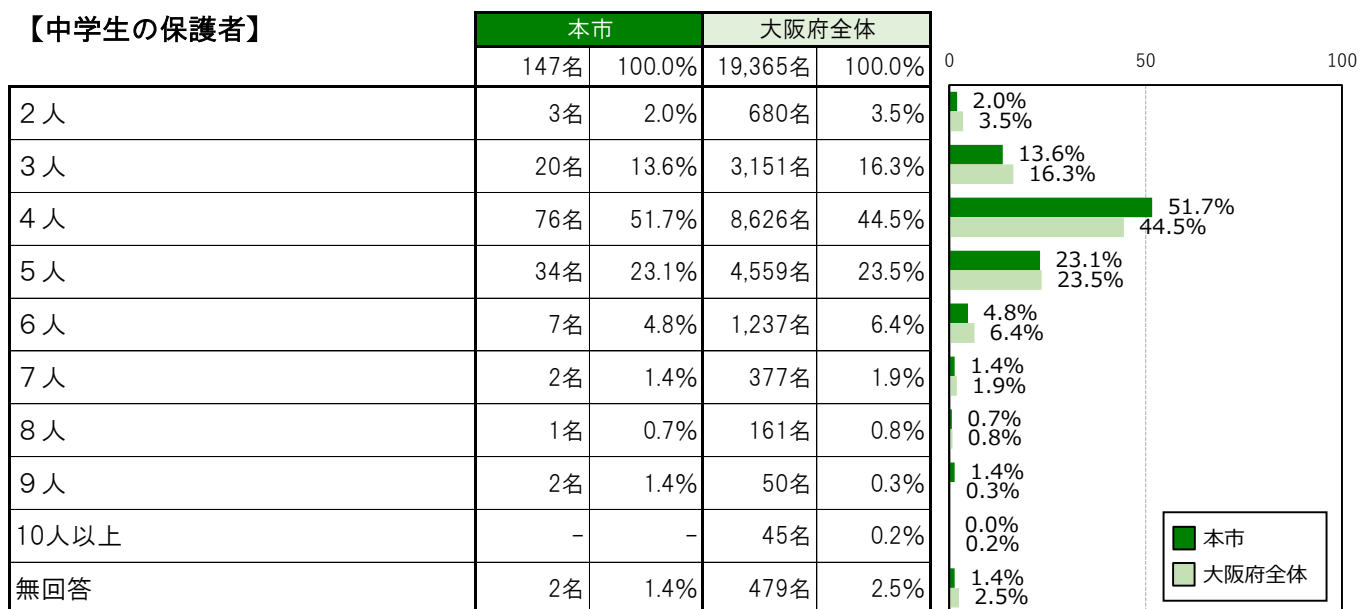
中学生の保護者は、「4人」が51.7%で最も多く、次いで「5人」が23.1%、「3人」が13.6%、「6人」が4.8%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





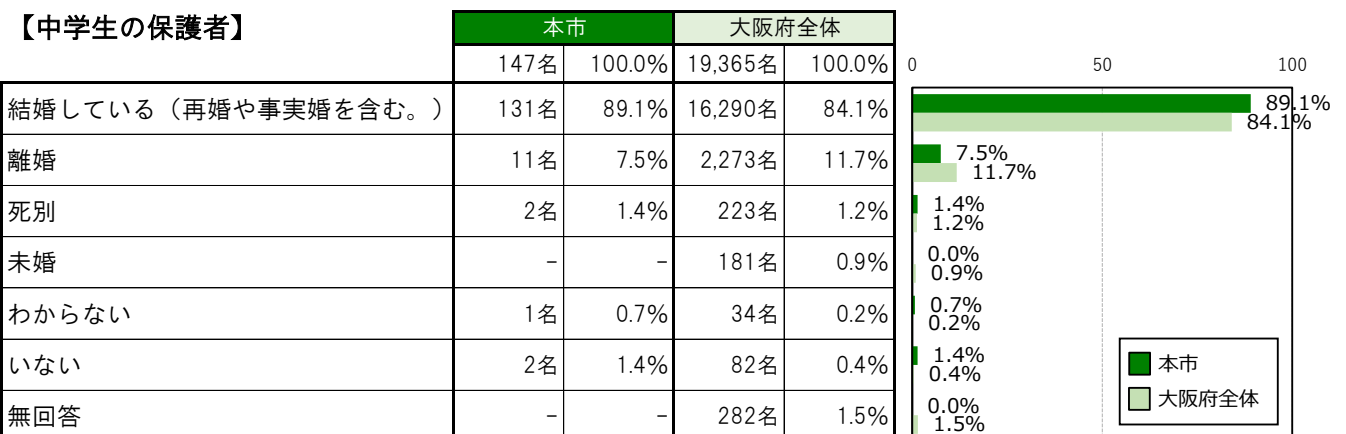
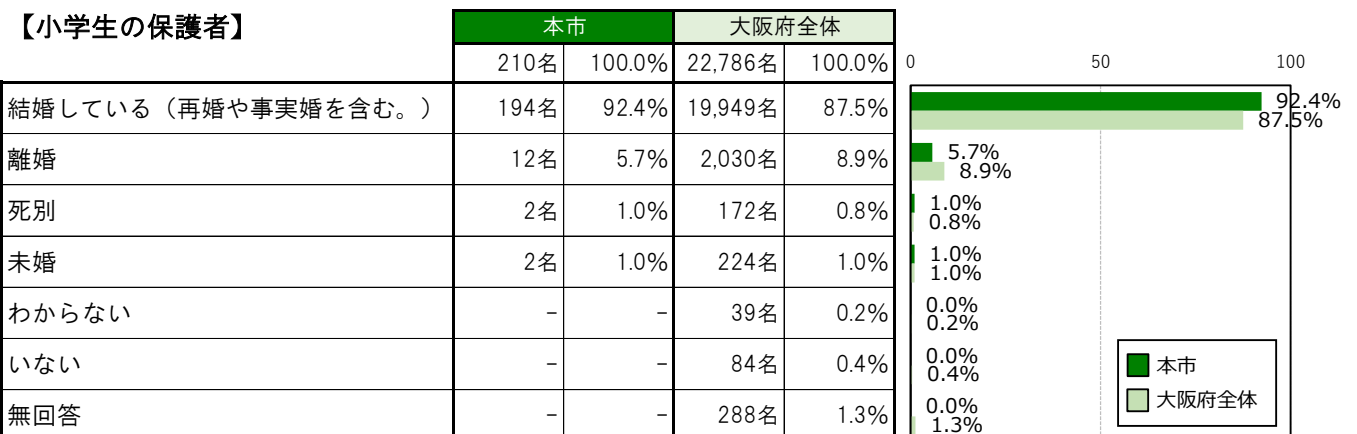
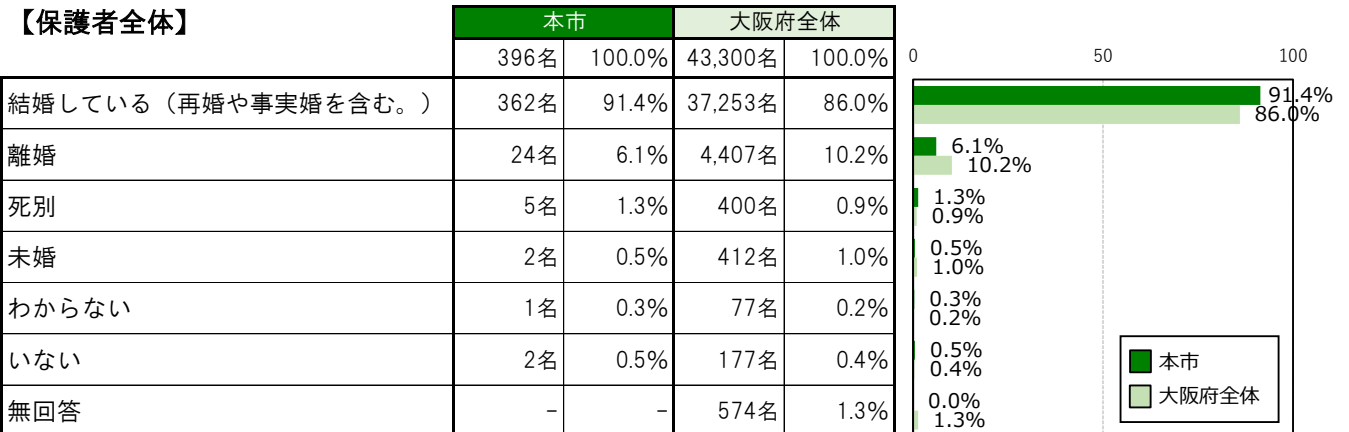
世帯の状況について

問3 親の婚姻状況

保護者全体は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が91.4%で最も多く、次いで「離婚」が6.1%、「死別」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が92.4%で最も多く、次いで「離婚」が5.7%、「死別」、「未婚」がそれぞれ1.0%となっている。

中学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が89.1%で最も多く、次いで「離婚」が7.5%、「死別」が1.4%となっている。



世帯の状況について

問4 離婚相手との養育費の取り決めや受け取り

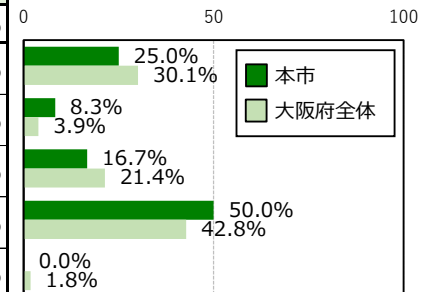
保護者全体は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が50.0%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が25.0%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が16.7%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が8.3%となっている。

小学生の保護者は、「取り決めをしているが、受け取っていない」、「取り決めをしておらず、受け取っていない」がそれぞれ33.3%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が25.0%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が8.3%となっている。

中学生の保護者は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が63.6%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が27.3%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が9.1%となっている。

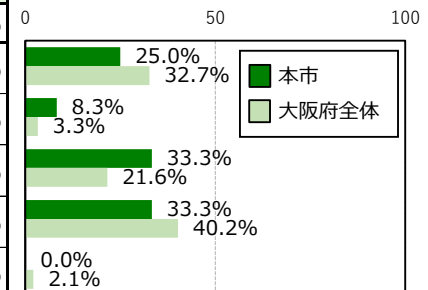
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	24名	100.0%	4,407名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	6名	25.0%	1,325名	30.1%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	2名	8.3%	174名	3.9%
取り決めをしているが、受け取っていない	4名	16.7%	941名	21.4%
取り決めをしておらず、受け取っていない	12名	50.0%	1,888名	42.8%
無回答	-	-	79名	1.8%



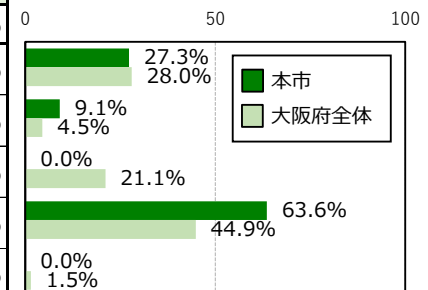
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	12名	100.0%	2,030名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	3名	25.0%	664名	32.7%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	1名	8.3%	68名	3.3%
取り決めをしているが、受け取っていない	4名	33.3%	438名	21.6%
取り決めをしておらず、受け取っていない	4名	33.3%	817名	40.2%
無回答	-	-	43名	2.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	11名	100.0%	2,273名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	3名	27.3%	636名	28.0%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	1名	9.1%	103名	4.5%
取り決めをしているが、受け取っていない	-	-	479名	21.1%
取り決めをしておらず、受け取っていない	7名	63.6%	1,020名	44.9%
無回答	-	-	35名	1.5%



世帯の状況について

問5 住居形態

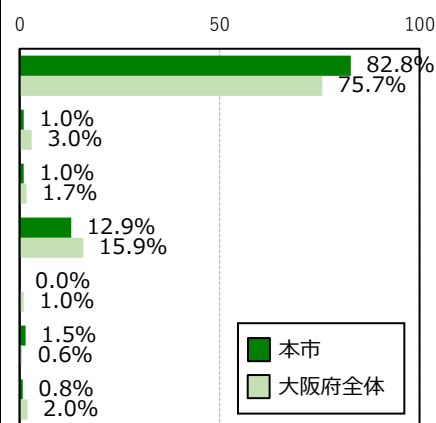
保護者全体は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が82.8%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が12.9%、「府営・市営の住宅」、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」がそれぞれ1.0%となっている。

小学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が81.4%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が14.8%、「府営・市営の住宅」、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」がそれぞれ1.0%となっている。

中学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が83.0%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が11.6%、「府営・市営の住宅」、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」がそれぞれ1.4%となっている。

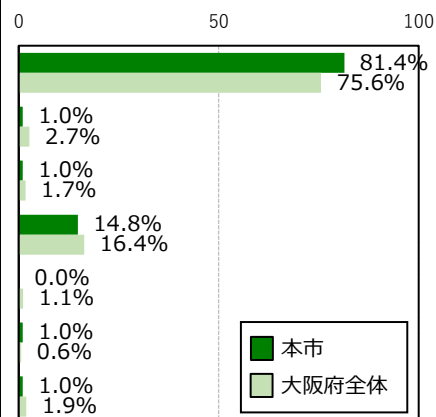
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	328名	82.8%	32,784名	75.7%
府営・市営の住宅	4名	1.0%	1,316名	3.0%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	4名	1.0%	752名	1.7%
民間の賃貸住宅	51名	12.9%	6,890名	15.9%
官舎・社宅	-	-	438名	1.0%
その他	6名	1.5%	257名	0.6%
無回答	3名	0.8%	863名	2.0%



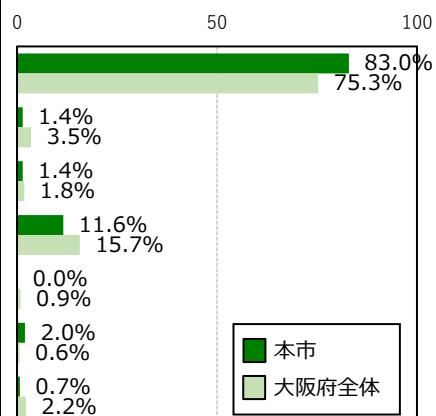
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	171名	81.4%	17,221名	75.6%
府営・市営の住宅	2名	1.0%	620名	2.7%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	2名	1.0%	386名	1.7%
民間の賃貸住宅	31名	14.8%	3,738名	16.4%
官舎・社宅	-	-	255名	1.1%
その他	2名	1.0%	129名	0.6%
無回答	2名	1.0%	437名	1.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	122名	83.0%	14,585名	75.3%
府営・市営の住宅	2名	1.4%	676名	3.5%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	2名	1.4%	356名	1.8%
民間の賃貸住宅	17名	11.6%	3,036名	15.7%
官舎・社宅	-	-	171名	0.9%
その他	3名	2.0%	121名	0.6%
無回答	1名	0.7%	420名	2.2%



世帯の状況について

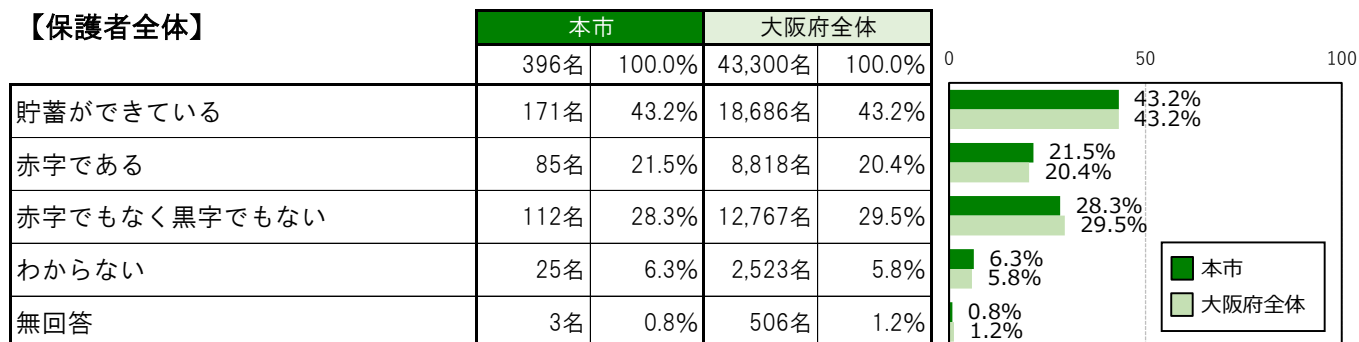
問6（1）家計の状況

保護者全体は、「貯蓄ができています」が43.2%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が28.3%、「赤字である」が21.5%となっている。

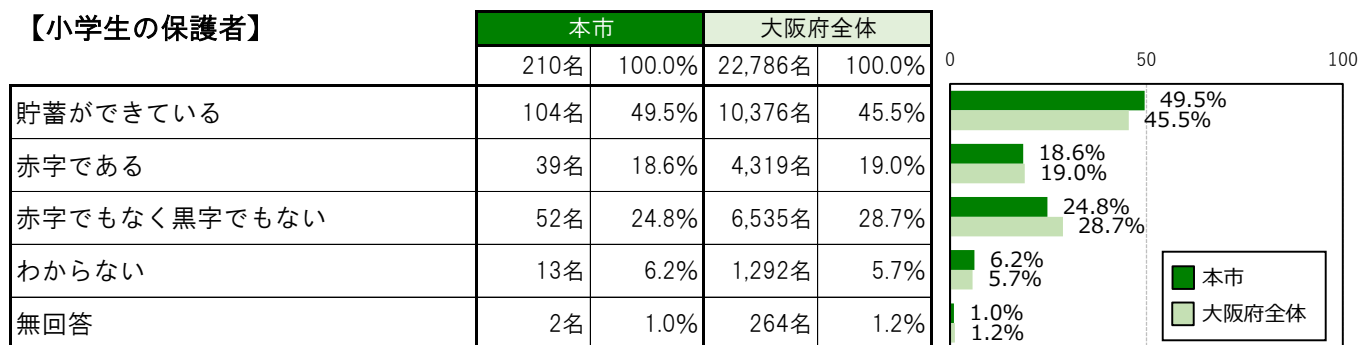
小学生の保護者は、「貯蓄ができています」が49.5%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が24.8%、「赤字である」が18.6%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄ができています」が34.0%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が33.3%、「赤字である」が24.5%となっている。

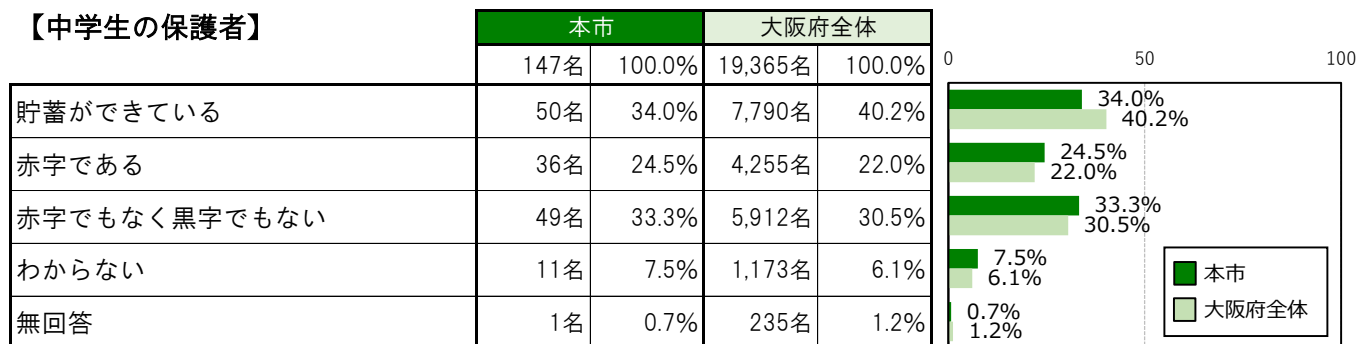
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

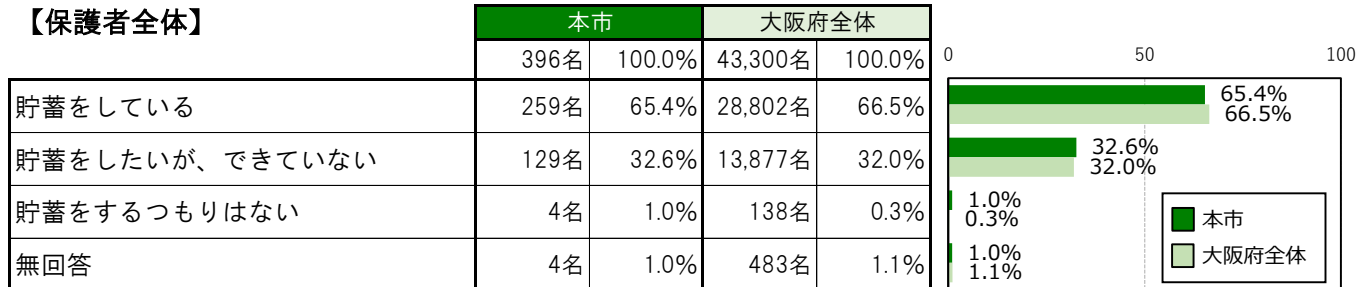
問6（2）子どもの将来のための貯蓄状況

保護者全体は、「貯蓄をしている」が65.4%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が32.6%、「貯蓄をするつもりはない」が1.0%となっている。

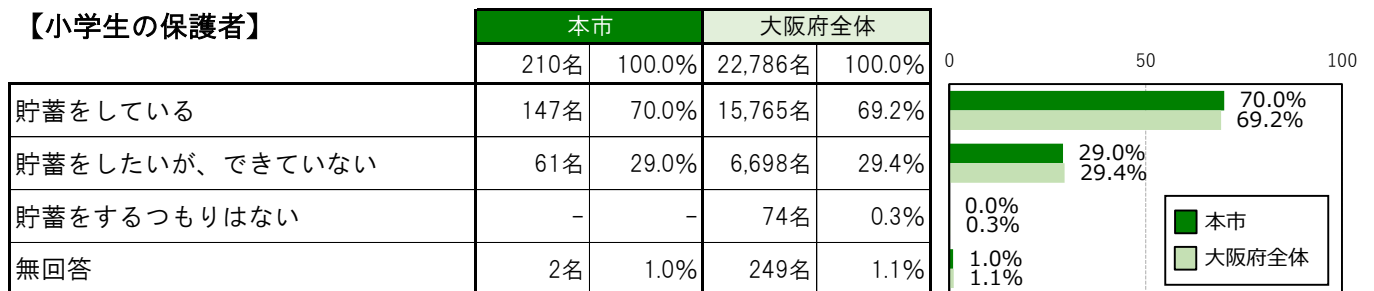
小学生の保護者は、「貯蓄をしている」が70.0%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が29.0%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄をしている」が60.5%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が35.4%、「貯蓄をするつもりはない」が2.7%となっている。

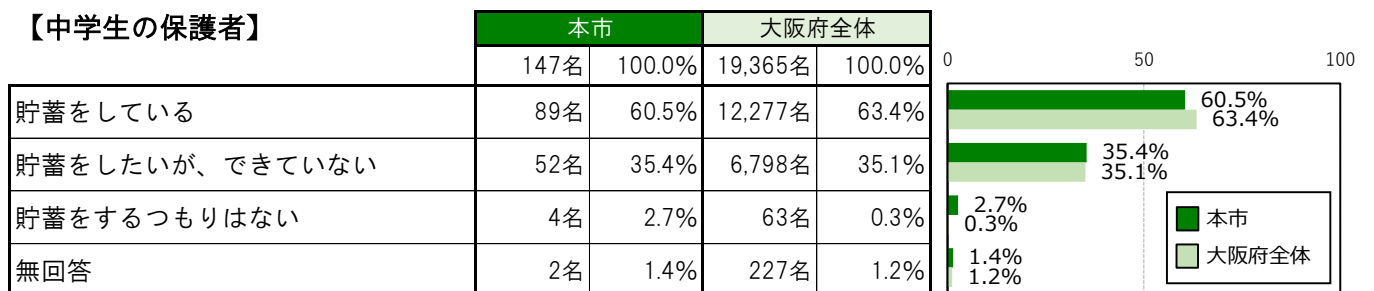
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

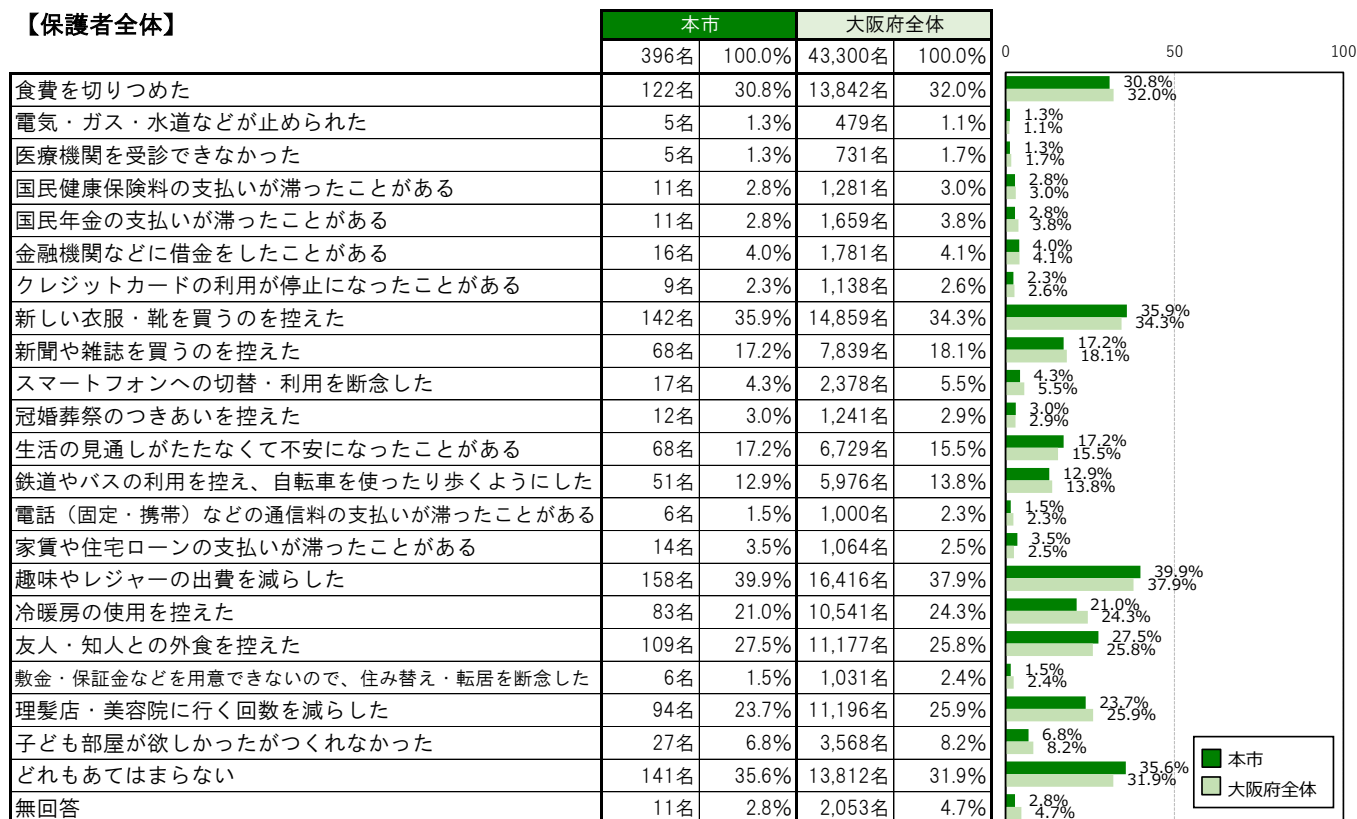
問7 経済的な理由による経験

保護者全体は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が39.9%で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が35.9%、「どれもあてはまらない」が35.6%、「食費を切りつめた」が30.8%となっている。

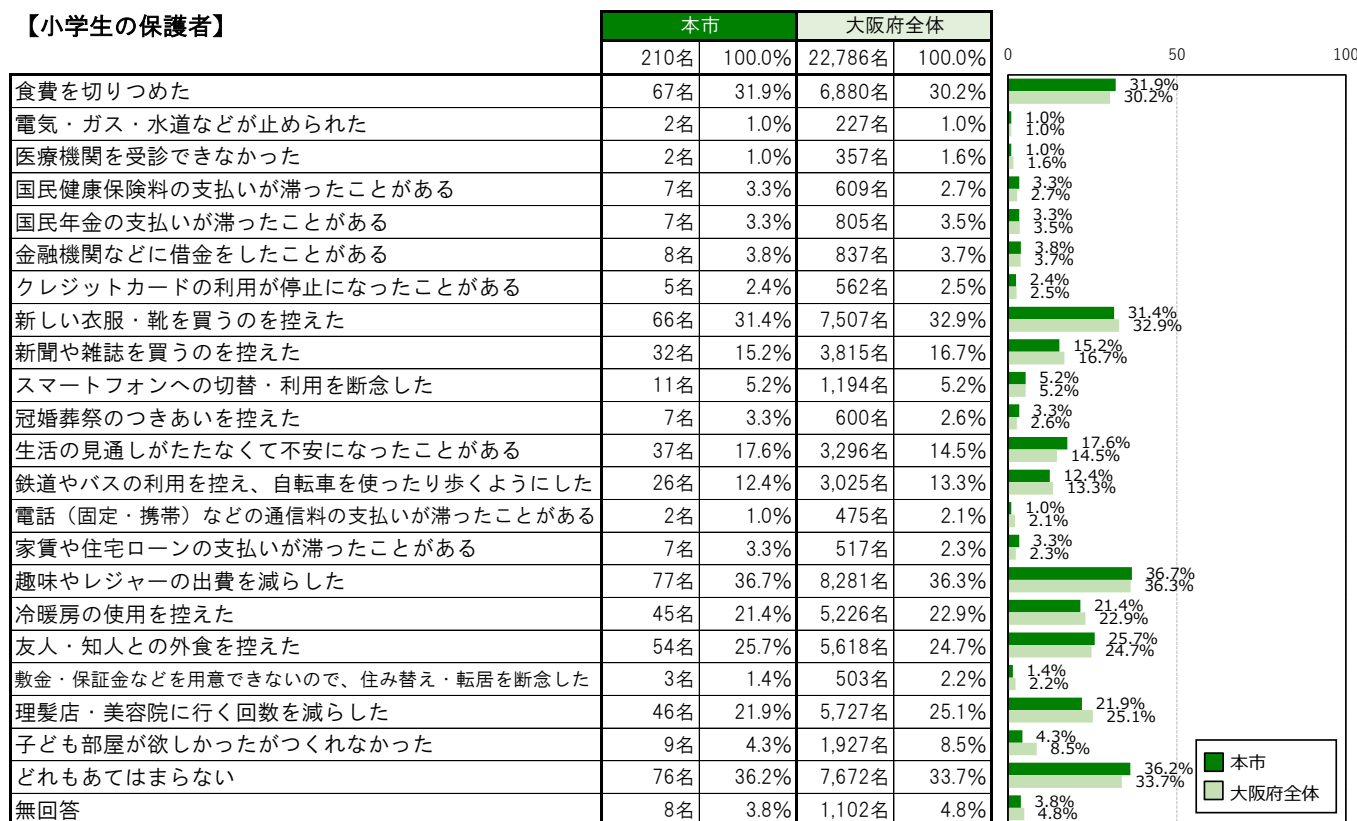
小学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が36.7%で最も多く、次いで「どれもあてはまらない」が36.2%、「食費を切りつめた」が31.9%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が31.4%となっている。

中学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が41.5%で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が39.5%、「どれもあてはまらない」が35.4%、「食費を切りつめた」が29.9%となっている。

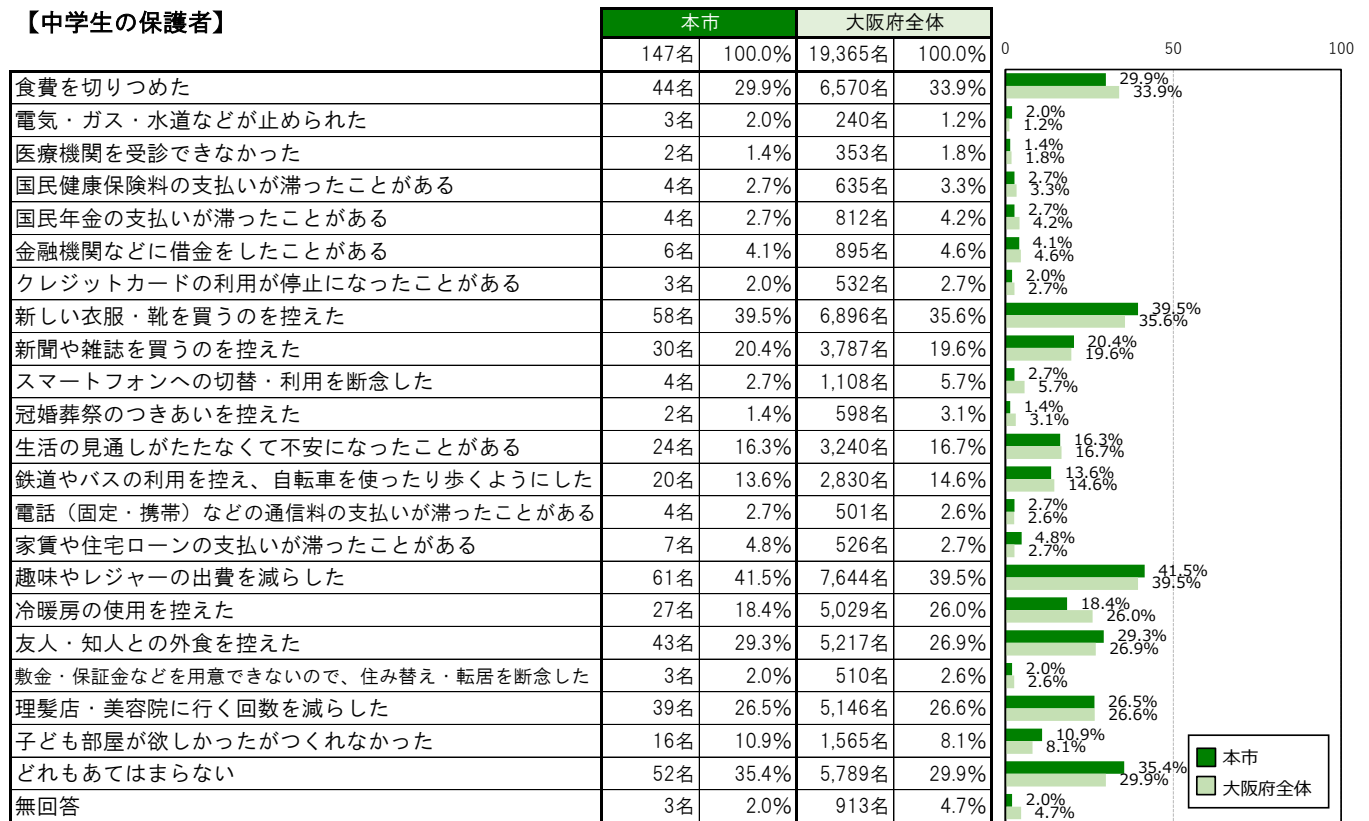
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問7 経済的な理由による経験（はく奪指標）

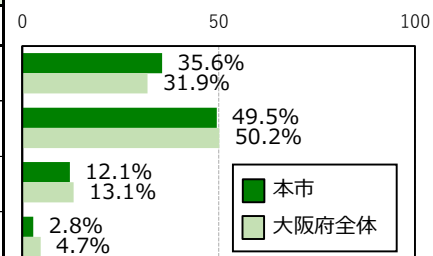
保護者全体は、「1～6個に該当」が49.5%で最も多く、次いで「該当なし」が35.6%、「7個以上に該当」が12.1%となっている。

小学生の保護者は、「1～6個に該当」が49.0%で最も多く、次いで「該当なし」が36.2%、「7個以上に該当」が11.0%となっている。

中学生の保護者は、「1～6個に該当」が49.0%で最も多く、次いで「該当なし」が35.4%、「7個以上に該当」が13.6%となっている。

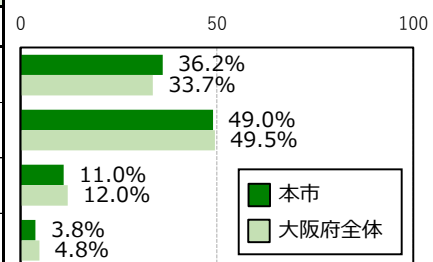
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
該当なし	141名	35.6%	13,812名	31.9%
1～6個に該当	196名	49.5%	21,747名	50.2%
7個以上に該当	48名	12.1%	5,688名	13.1%
無回答	11名	2.8%	2,053名	4.7%



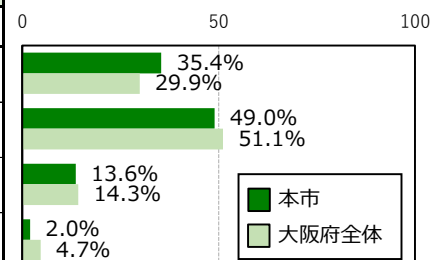
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
該当なし	76名	36.2%	7,672名	33.7%
1～6個に該当	103名	49.0%	11,270名	49.5%
7個以上に該当	23名	11.0%	2,742名	12.0%
無回答	8名	3.8%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
該当なし	52名	35.4%	5,789名	29.9%
1～6個に該当	72名	49.0%	9,888名	51.1%
7個以上に該当	20名	13.6%	2,775名	14.3%
無回答	3名	2.0%	913名	4.7%



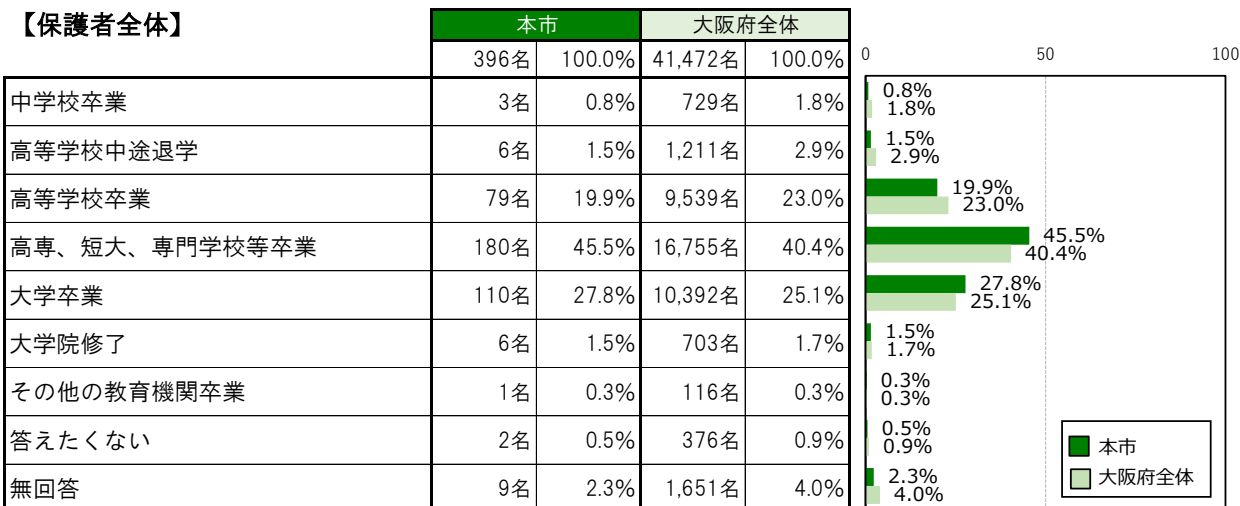
世帯の状況について

問8 お母さんの最終学歴

保護者全体は、「高専、短大、専門学校等卒業」が45.5%で最も多く、次いで「大学卒業」が27.8%、「高等学校卒業」が19.9%、「高等学校中途退学」、「大学院修了」がそれぞれ1.5%となっている。

小学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が43.8%で最も多く、次いで「大学卒業」が31.9%、「高等学校卒業」が15.7%、「高等学校中途退学」、「大学院修了」がそれぞれ2.9%となっている。

中学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が48.3%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が25.2%、「大学卒業」が21.1%、「中学校卒業」が1.4%となっている。



世帯の状況について

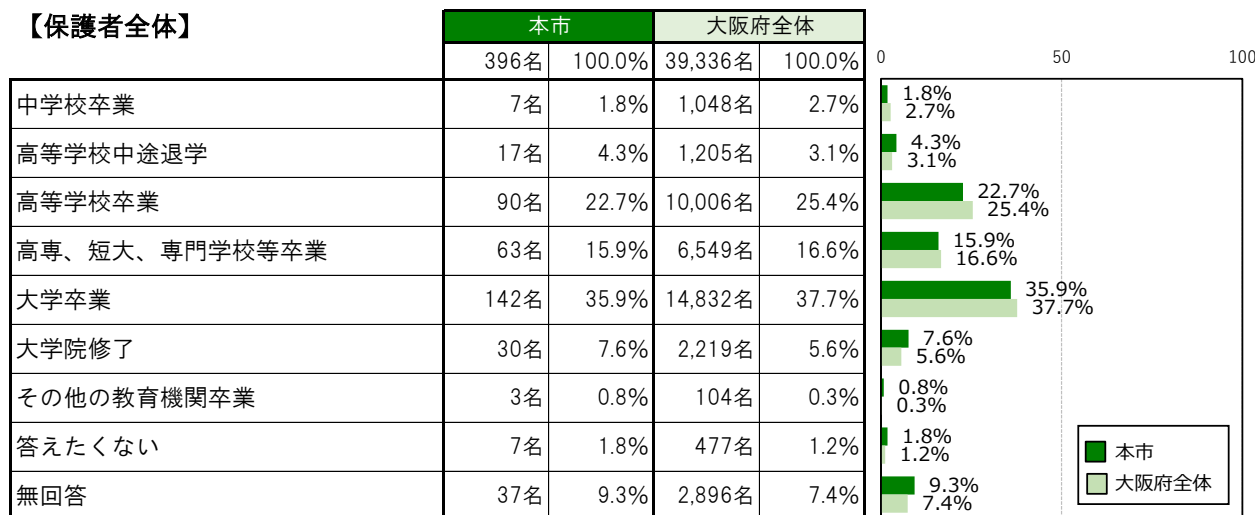
問 8 お父さんの最終学歴

保護者全体は、「大学卒業」が35.9%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が22.7%、「高専、短大、専門学校等卒業」が15.9%、「大学院修了」が7.6%となっている。

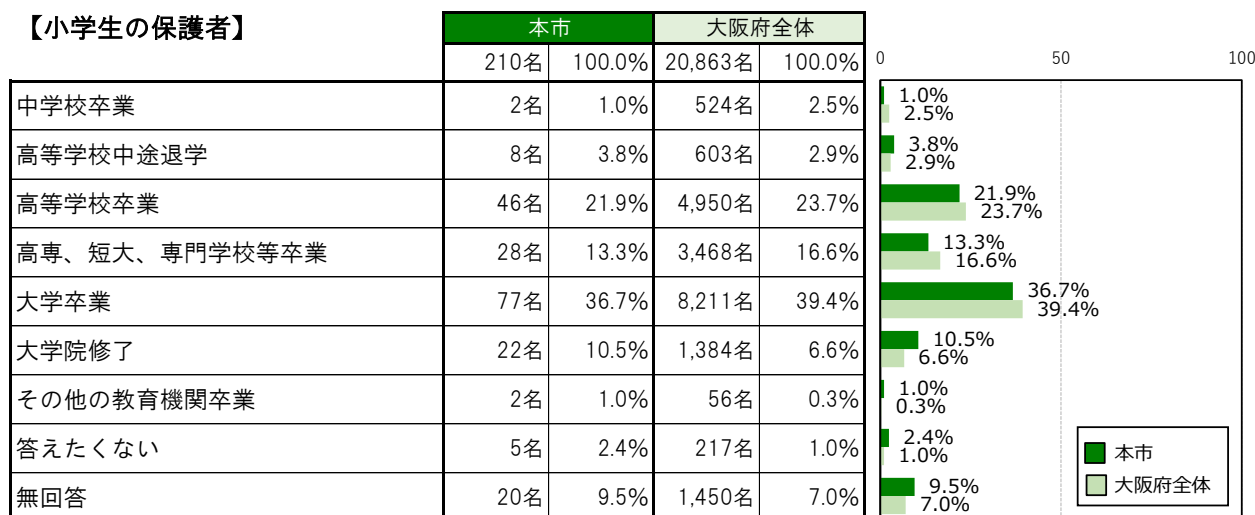
小学生の保護者は、「大学卒業」が36.7%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が21.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」が13.3%、「大学院修了」が10.5%となっている。

中学生の保護者は、「大学卒業」が34.0%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が23.1%、「高専、短大、専門学校等卒業」が20.4%、「高等学校中途退学」が4.8%となっている。

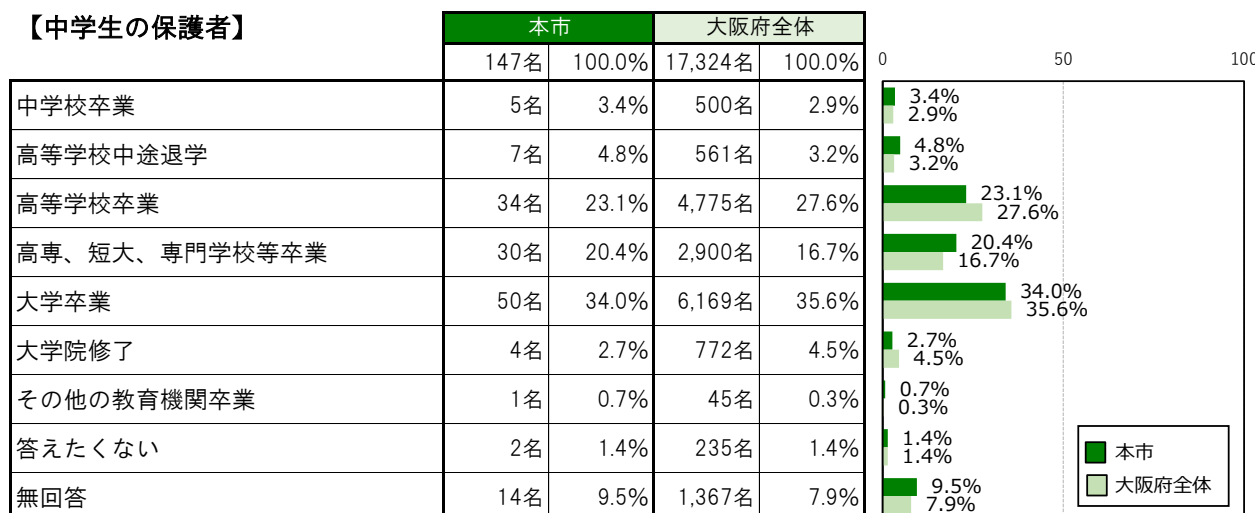
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



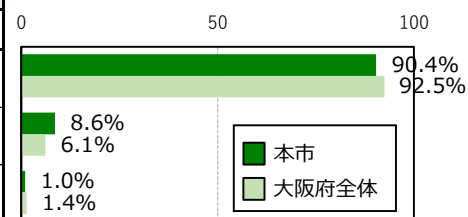
世帯の状況について

問9 お母さんの有無

保護者全体は、「いる」が90.4%、「いない」が8.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が92.9%、「いない」が6.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が87.8%、「いない」が10.9%となっている。

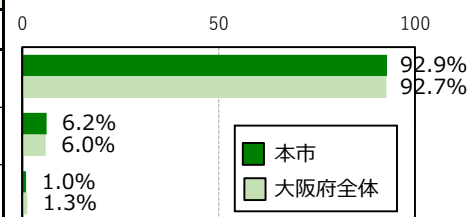
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	358名	90.4%	40,053名	92.5%
いない	34名	8.6%	2,634名	6.1%
無回答	4名	1.0%	613名	1.4%



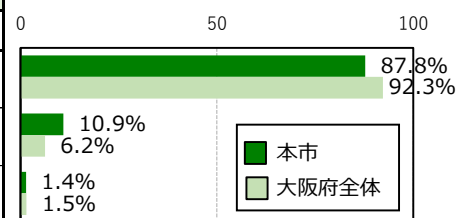
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	195名	92.9%	21,115名	92.7%
いない	13名	6.2%	1,368名	6.0%
無回答	2名	1.0%	303名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	129名	87.8%	17,877名	92.3%
いない	16名	10.9%	1,192名	6.2%
無回答	2名	1.4%	296名	1.5%



世帯の状況について

問9 お母さんの就業状況

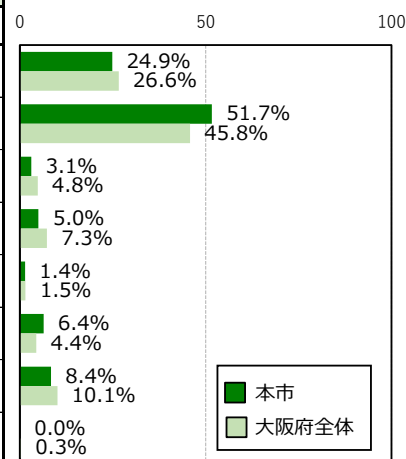
保護者全体は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が51.7%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が24.9%、「仕事を探していない」が8.4%、「仕事を探している」が6.4%となっている。

小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が46.7%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が27.7%、「仕事を探していない」が8.7%、「自営業・家業」、「仕事を探している」がそれぞれ6.7%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が55.8%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が21.7%、「仕事を探している」、「仕事を探していない」がそれぞれ7.8%、「自営業・家業」が3.1%となっている。

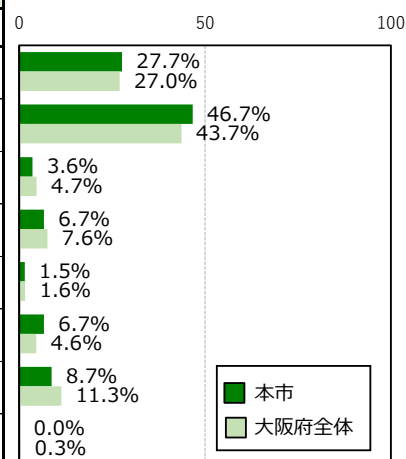
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	358名	100.0%	40,053名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	89名	24.9%	10,673名	26.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	185名	51.7%	18,336名	45.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	11名	3.1%	1,932名	4.8%
自営業・家業	18名	5.0%	2,943名	7.3%
その他の就業形態	5名	1.4%	592名	1.5%
仕事を探している	23名	6.4%	1,761名	4.4%
仕事を探していない	30名	8.4%	4,027名	10.1%
無回答	-	-	111名	0.3%



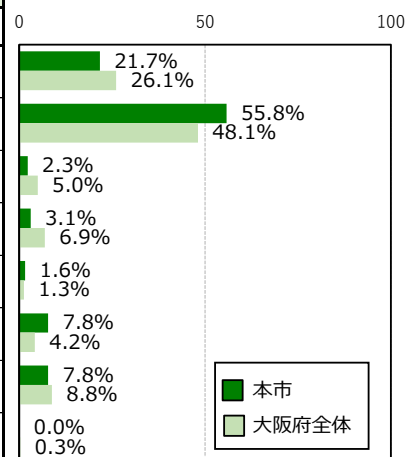
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	195名	100.0%	21,115名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	54名	27.7%	5,704名	27.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	91名	46.7%	9,234名	43.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	7名	3.6%	999名	4.7%
自営業・家業	13名	6.7%	1,615名	7.6%
その他の就業形態	3名	1.5%	339名	1.6%
仕事を探している	13名	6.7%	971名	4.6%
仕事を探していない	17名	8.7%	2,381名	11.3%
無回答	-	-	54名	0.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	129名	100.0%	17,877名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	28名	21.7%	4,670名	26.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	72名	55.8%	8,596名	48.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	3名	2.3%	895名	5.0%
自営業・家業	4名	3.1%	1,237名	6.9%
その他の就業形態	2名	1.6%	235名	1.3%
仕事を探している	10名	7.8%	744名	4.2%
仕事を探していない	10名	7.8%	1,570名	8.8%
無回答	-	-	51名	0.3%



世帯の状況について

問9 お母さんが仕事を探していない理由

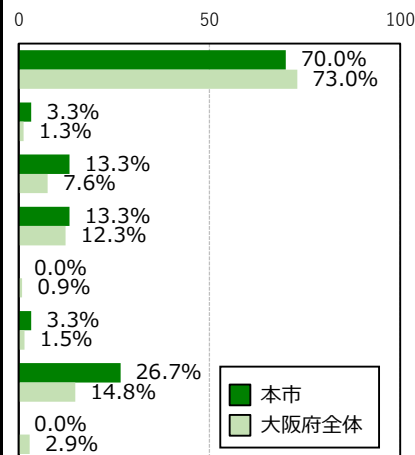
保護者全体は、「家事や育児に専念したいため」が70.0%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」、「病気療養のため」がそれぞれ13.3%となっている。

小学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が70.6%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が17.6%、「病気療養のため」が11.8%となっている。

中学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が70.0%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」、「病気療養のため」がそれぞれ10.0%となっている。

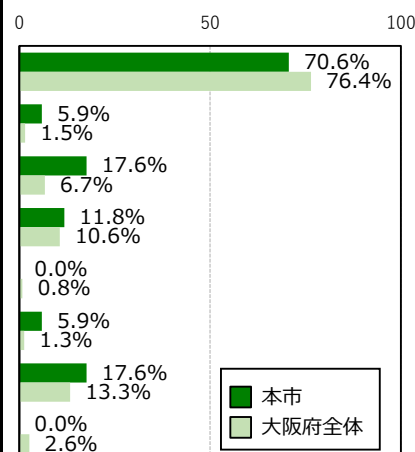
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	30名	100.0%	4,027名	100.0%
家事や育児に専念したいため	21名	70.0%	2,939名	73.0%
学生のため	1名	3.3%	51名	1.3%
おうちの人の介護や介助のため	4名	13.3%	307名	7.6%
病気療養のため	4名	13.3%	496名	12.3%
年金収入があるため	-	-	35名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	1名	3.3%	62名	1.5%
その他	8名	26.7%	595名	14.8%
無回答	-	-	115名	2.9%



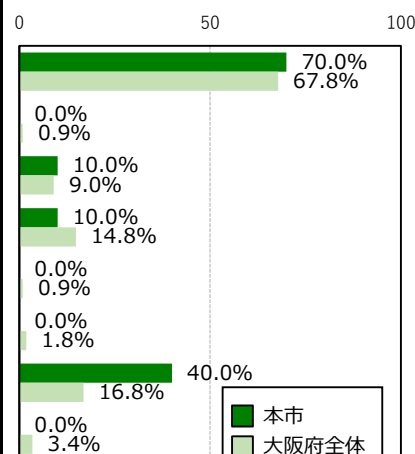
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	17名	100.0%	2,381名	100.0%
家事や育児に専念したいため	12名	70.6%	1,820名	76.4%
学生のため	1名	5.9%	36名	1.5%
おうちの人の介護や介助のため	3名	17.6%	160名	6.7%
病気療養のため	2名	11.8%	252名	10.6%
年金収入があるため	-	-	20名	0.8%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	1名	5.9%	32名	1.3%
その他	3名	17.6%	317名	13.3%
無回答	-	-	61名	2.6%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	10名	100.0%	1,570名	100.0%
家事や育児に専念したいため	7名	70.0%	1,064名	67.8%
学生のため	-	-	14名	0.9%
おうちの人の介護や介助のため	1名	10.0%	141名	9.0%
病気療養のため	1名	10.0%	232名	14.8%
年金収入があるため	-	-	14名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	29名	1.8%
その他	4名	40.0%	263名	16.8%
無回答	-	-	54名	3.4%



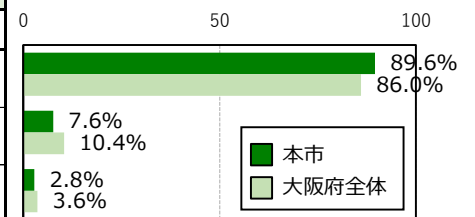
世帯の状況について

問9 お父さんの有無

保護者全体は、「いる」が89.6%、「いない」が7.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が90.5%、「いない」が6.7%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が87.8%、「いない」が9.5%となっている。

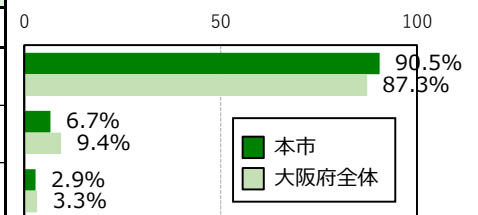
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	355名	89.6%	37,256名	86.0%
いない	30名	7.6%	4,504名	10.4%
無回答	11名	2.8%	1,540名	3.6%



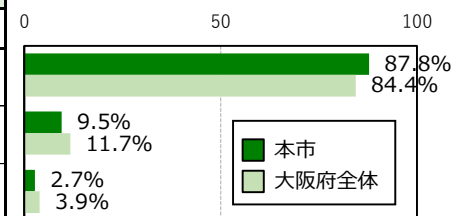
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	190名	90.5%	19,882名	87.3%
いない	14名	6.7%	2,149名	9.4%
無回答	6名	2.9%	755名	3.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	129名	87.8%	16,352名	84.4%
いない	14名	9.5%	2,261名	11.7%
無回答	4名	2.7%	752名	3.9%



世帯の状況について

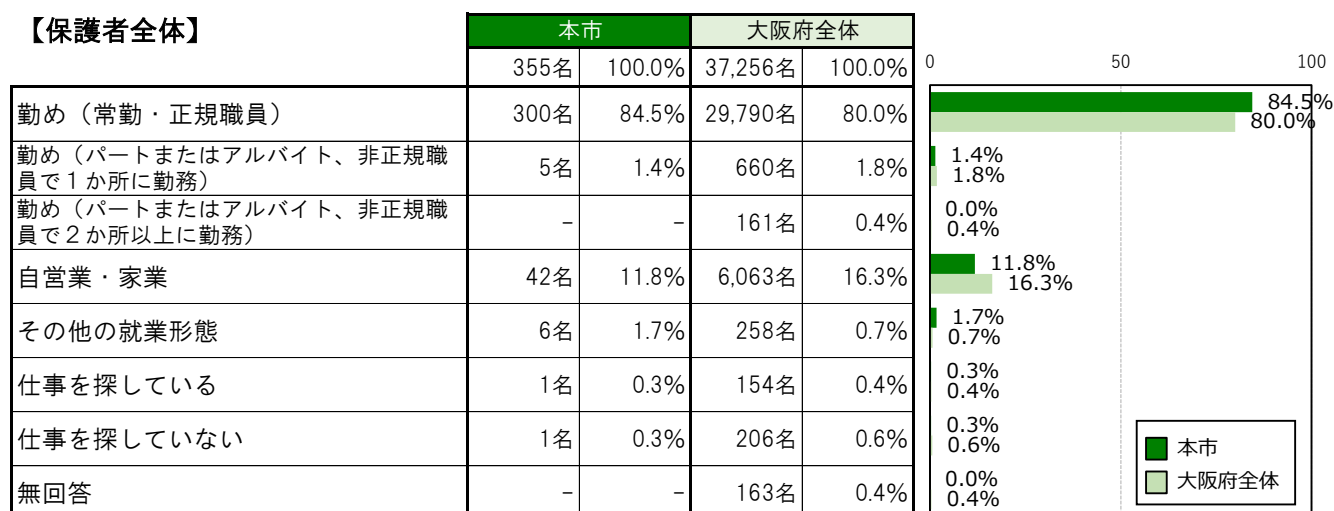
問9 お父さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が84.5%で最も多く、次いで「自営業・家業」が11.8%、「その他の就業形態」が1.7%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が1.4%となっている。

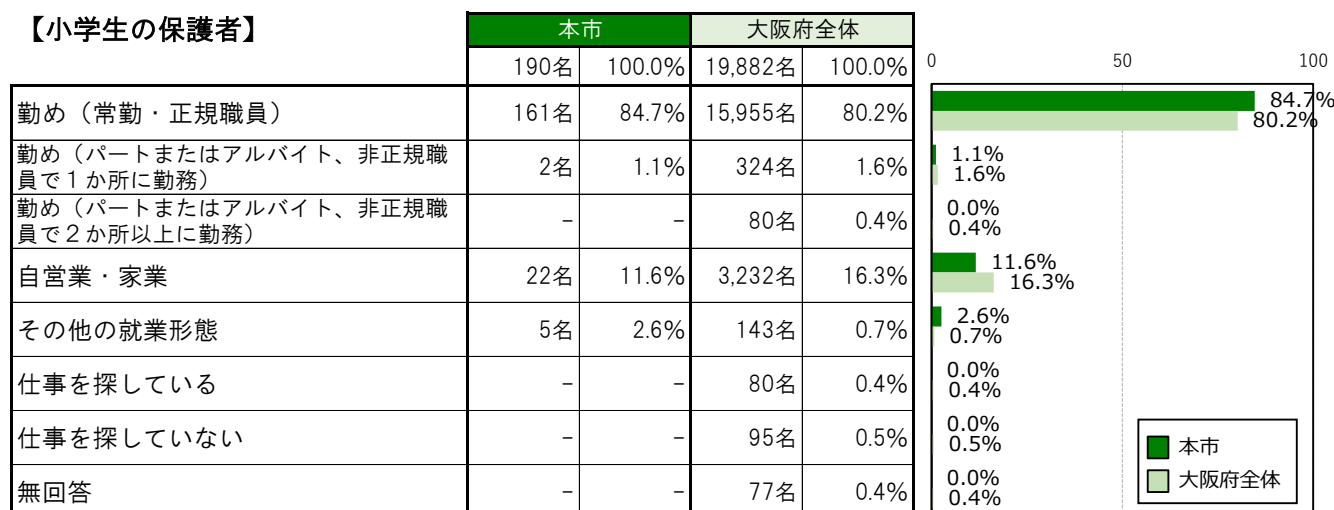
小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が84.7%で最も多く、次いで「自営業・家業」が11.6%、「その他の就業形態」が2.6%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が1.1%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が82.9%で最も多く、次いで「自営業・家業」が12.4%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が2.3%となっている。

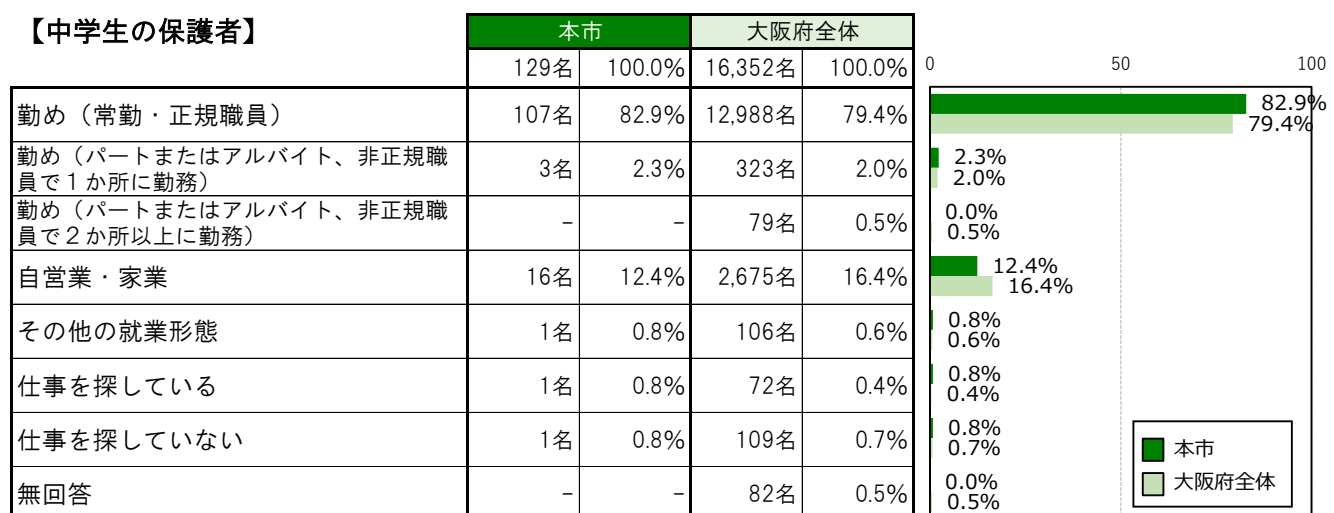
【保護者全体】



【小学生の保護者】



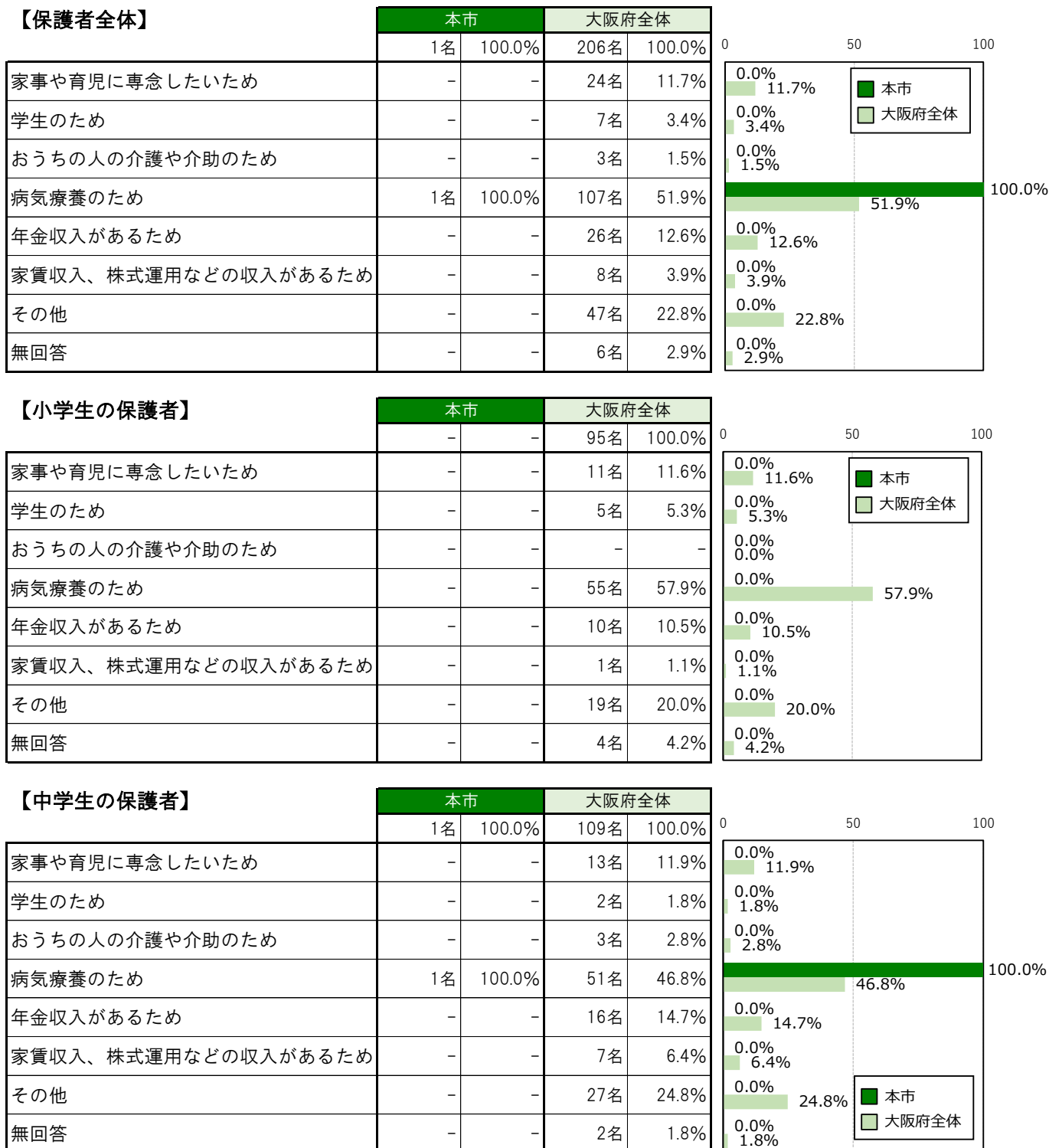
【中学生の保護者】



世帯の状況について

問9 お父さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「病気療養のため」が100.0%と最も多くなっている。
小学生の保護者は、いなかった。
中学生の保護者は、「病気療養のため」が100.0%と最も多くなっている。



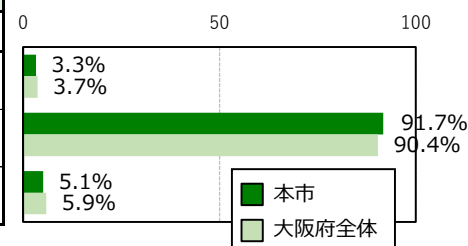
世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人の有無

保護者全体は、「いる」が3.3%、「いない」が91.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が3.3%、「いない」が90.0%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が4.1%、「いない」が92.5%となっている。

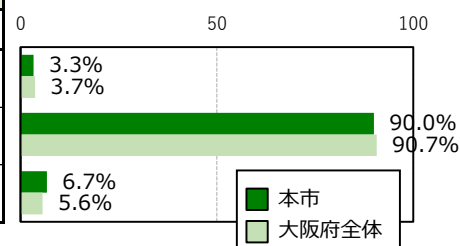
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	13名	3.3%	1,611名	3.7%
いない	363名	91.7%	39,140名	90.4%
無回答	20名	5.1%	2,549名	5.9%



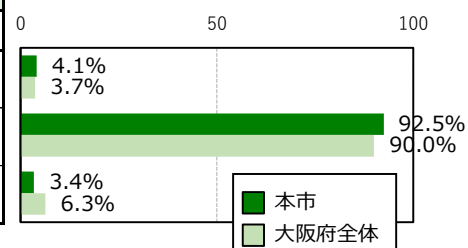
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	7名	3.3%	854名	3.7%
いない	189名	90.0%	20,666名	90.7%
無回答	14名	6.7%	1,266名	5.6%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	6名	4.1%	718名	3.7%
いない	136名	92.5%	17,432名	90.0%
無回答	5名	3.4%	1,215名	6.3%



世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人の就業状況

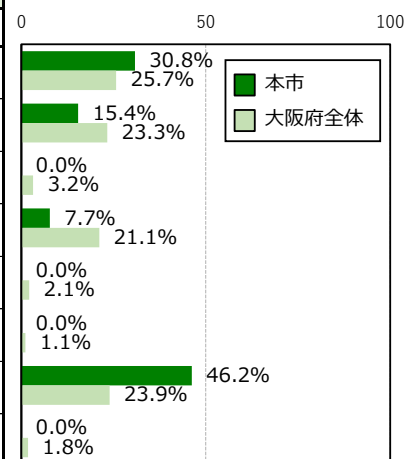
保護者全体は、「仕事を探していない」が46.2%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が30.8%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が15.4%、「自営業・家業」が7.7%となっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が42.9%で最も多く、次いで「仕事を探していない」が28.6%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」、「自営業・家業」がそれぞれ14.3%となっている。

中学生の保護者は、「仕事を探していない」が66.7%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」がそれぞれ16.7%となっている。

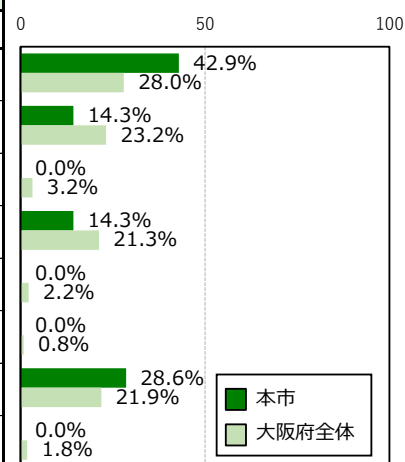
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	13名	100.0%	1,611名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	4名	30.8%	414名	25.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	2名	15.4%	375名	23.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	-	-	51名	3.2%
自営業・家業	1名	7.7%	340名	21.1%
その他の就業形態	-	-	34名	2.1%
仕事を探している	-	-	18名	1.1%
仕事を探していない	6名	46.2%	385名	23.9%
無回答	-	-	29名	1.8%



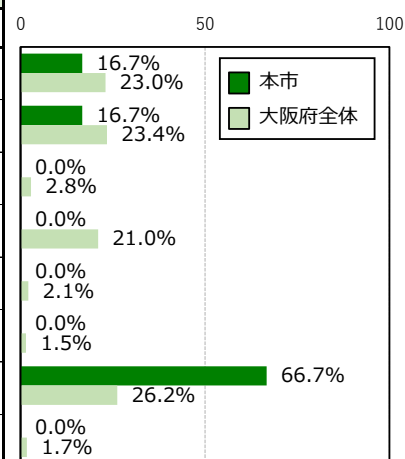
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	7名	100.0%	854名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	3名	42.9%	239名	28.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	1名	14.3%	198名	23.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	-	-	27名	3.2%
自営業・家業	1名	14.3%	182名	21.3%
その他の就業形態	-	-	19名	2.2%
仕事を探している	-	-	7名	0.8%
仕事を探していない	2名	28.6%	187名	21.9%
無回答	-	-	15名	1.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	6名	100.0%	718名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	1名	16.7%	165名	23.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	1名	16.7%	168名	23.4%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	-	-	20名	2.8%
自営業・家業	-	-	151名	21.0%
その他の就業形態	-	-	15名	2.1%
仕事を探している	-	-	11名	1.5%
仕事を探していない	4名	66.7%	188名	26.2%
無回答	-	-	12名	1.7%



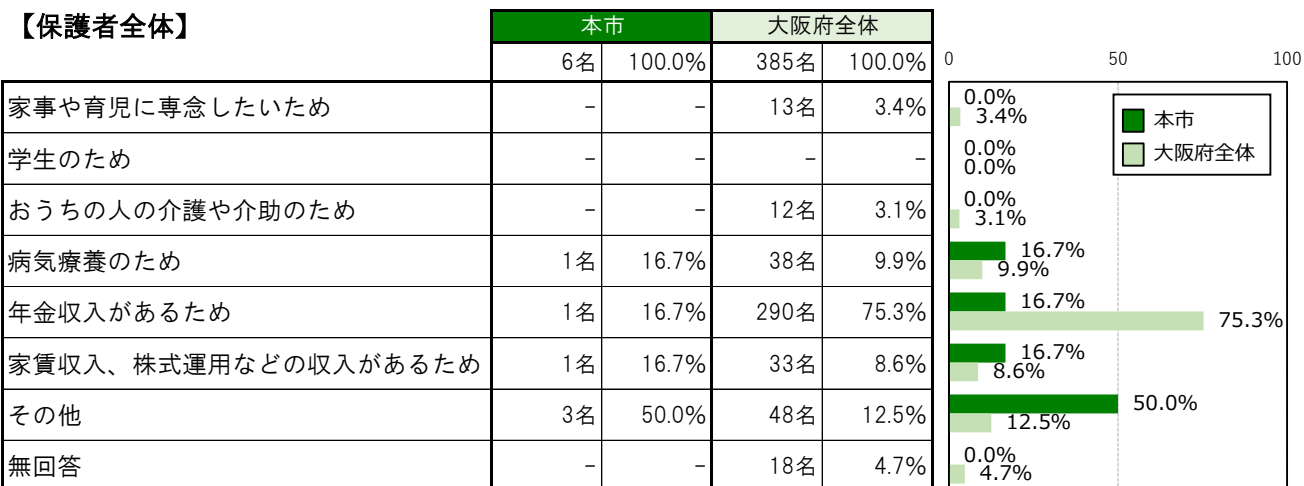
世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人が仕事を探していない理由

保護者全体は、「病気療養のため」、「年金収入があるため」、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」がそれぞれ16.7%（1名）と最も多くなっている。

小学生の保護者は、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が50.0%（1名）と最も多くなっている。

中学生の保護者は、「病気療養のため」、「年金収入があるため」がそれぞれ25.0%（1名）と最も多くなっている。



世帯の状況について

問10 保護者が家にいる時間帯

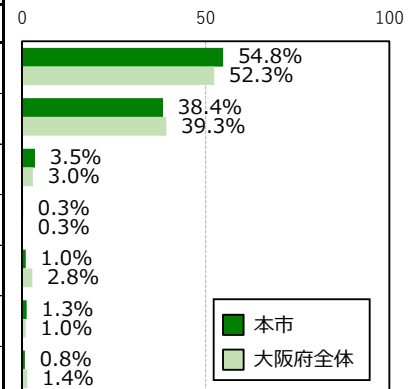
保護者全体は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が54.8%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が38.4%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.5%、「帰宅時間が決まっていない」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が49.0%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が42.4%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が4.8%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が60.5%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が33.3%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が2.7%となっている。

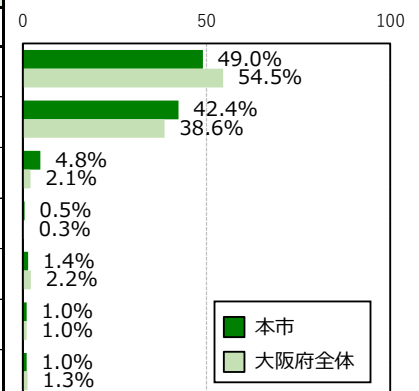
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	217名	54.8%	22,638名	52.3%
お子さんの夕食時間には家にいる	152名	38.4%	17,029名	39.3%
お子さんの寝る時間には家にいる	14名	3.5%	1,283名	3.0%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.3%	129名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	4名	1.0%	1,212名	2.8%
その他	5名	1.3%	416名	1.0%
無回答	3名	0.8%	593名	1.4%



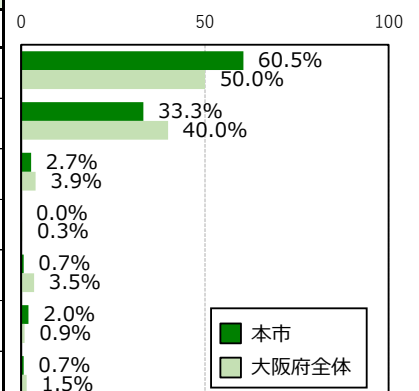
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	103名	49.0%	12,408名	54.5%
お子さんの夕食時間には家にいる	89名	42.4%	8,796名	38.6%
お子さんの寝る時間には家にいる	10名	4.8%	489名	2.1%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.5%	66名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	3名	1.4%	505名	2.2%
その他	2名	1.0%	222名	1.0%
無回答	2名	1.0%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	89名	60.5%	9,674名	50.0%
お子さんの夕食時間には家にいる	49名	33.3%	7,739名	40.0%
お子さんの寝る時間には家にいる	4名	2.7%	747名	3.9%
お子さんが寝た後に帰ってくる	-	-	61名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	1名	0.7%	676名	3.5%
その他	3名	2.0%	182名	0.9%
無回答	1名	0.7%	286名	1.5%



世帯の状況について

問11 日本語以外の言語の使用状況

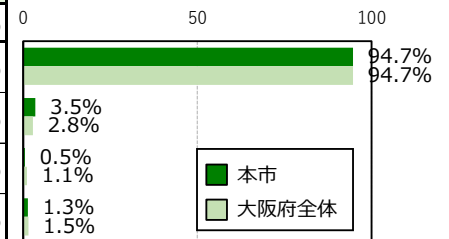
保護者全体は、「日本語のみを使用している」が94.7%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.5%となっている。

小学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が92.9%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が5.2%となっている。

中学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が97.3%で最も多く、次いで「日本語以外の言語を使うことが多い」が1.4%となっている。

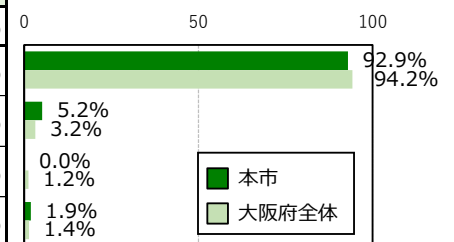
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
日本語のみを使用している	375名	94.7%	40,991名	94.7%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	14名	3.5%	1,201名	2.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	2名	0.5%	476名	1.1%
無回答	5名	1.3%	632名	1.5%



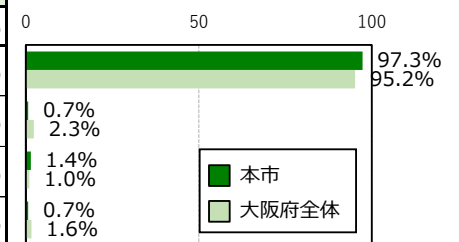
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
日本語のみを使用している	195名	92.9%	21,457名	94.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	11名	5.2%	729名	3.2%
日本語以外の言語を使うことが多い	-	-	280名	1.2%
無回答	4名	1.9%	320名	1.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
日本語のみを使用している	143名	97.3%	18,426名	95.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	1名	0.7%	446名	2.3%
日本語以外の言語を使うことが多い	2名	1.4%	188名	1.0%
無回答	1名	0.7%	305名	1.6%



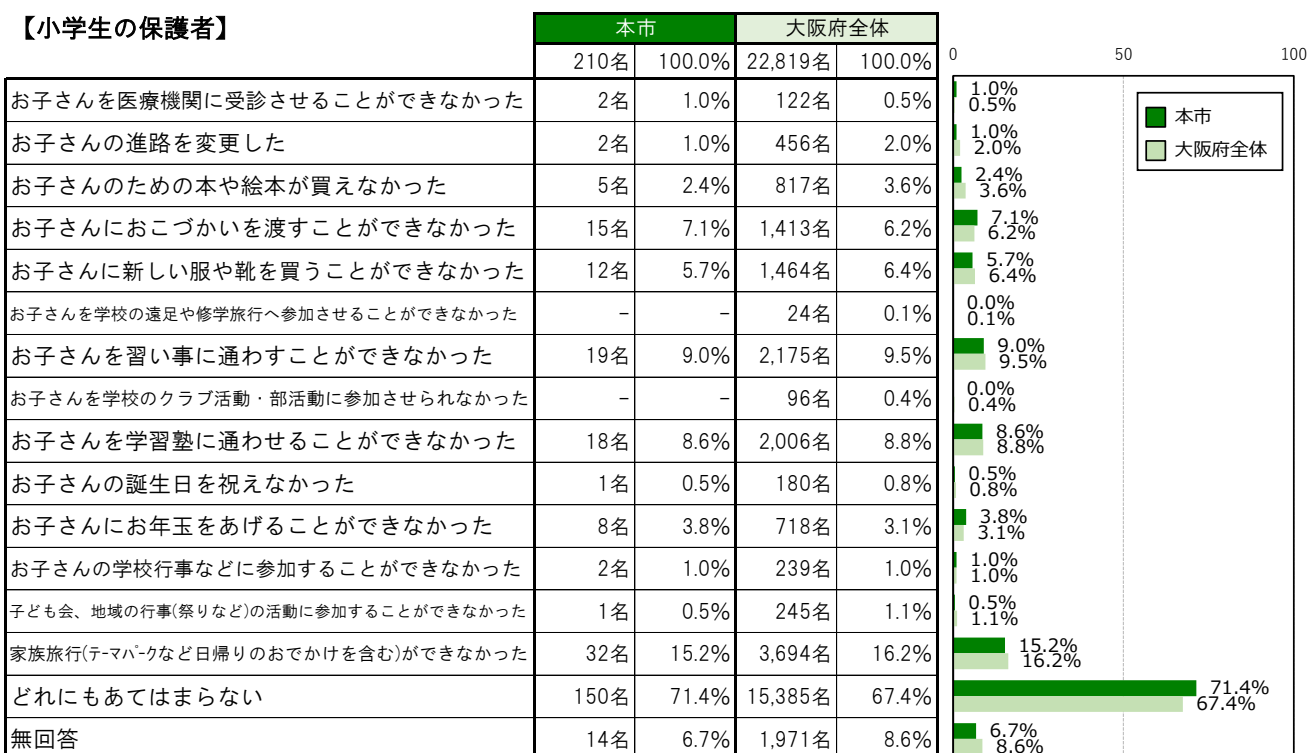
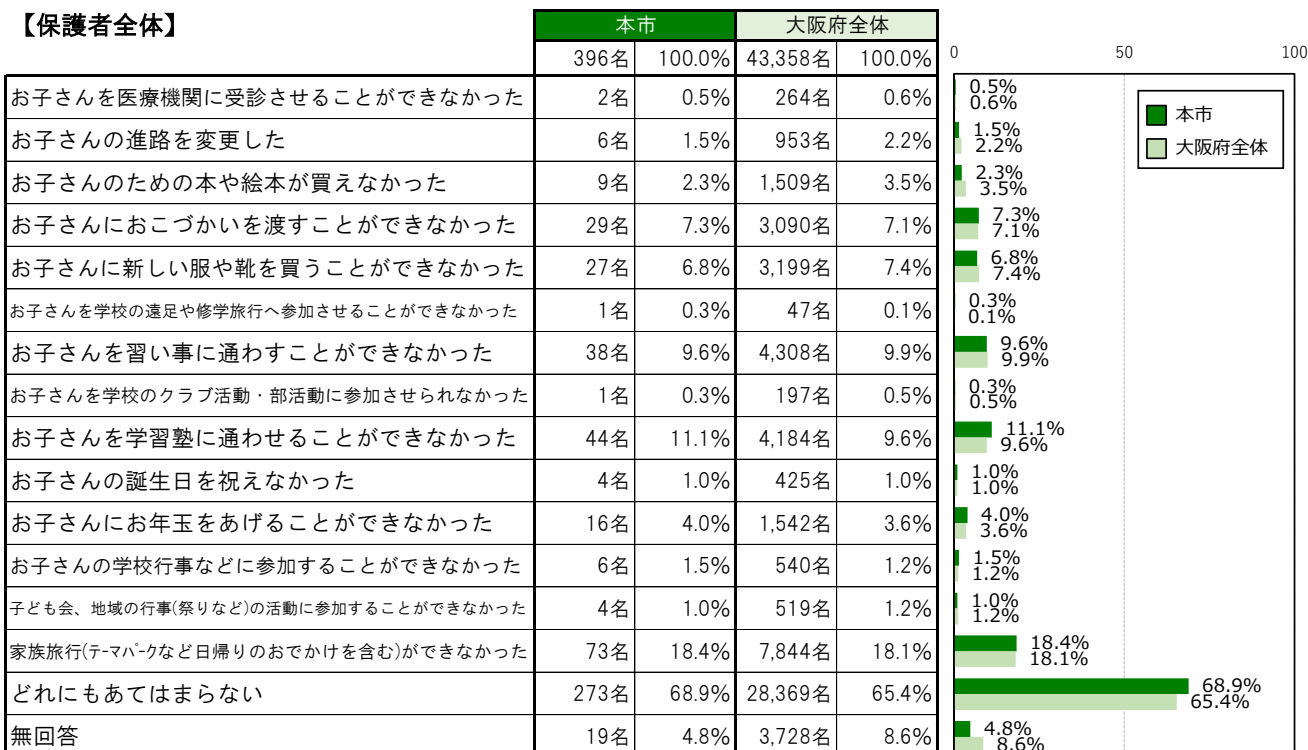
子どもに関することについて

問12 経済的な理由による子どもに関する経験

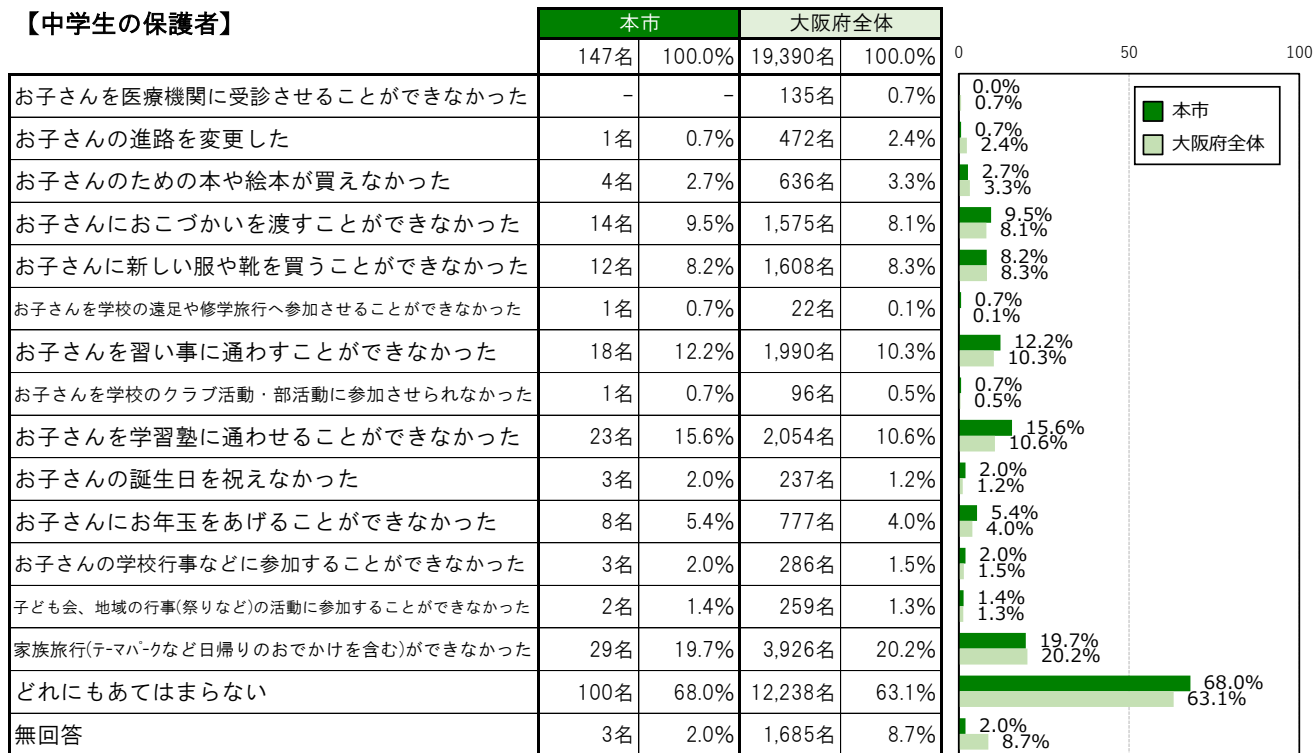
保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が68.9%で最も多く、次いで「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が18.4%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が11.1%、「お子さんを習い事に通わせることができなかった」が9.6%となっている。

小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が71.4%で最も多く、次いで「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が15.2%、「お子さんを習い事に通わせることができなかった」が9.0%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が8.6%となっている。

中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が68.0%で最も多く、次いで「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が19.7%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が15.6%、「お子さんを習い事に通わせることができなかった」が12.2%となっている。



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問13（１）子どもへの信頼度

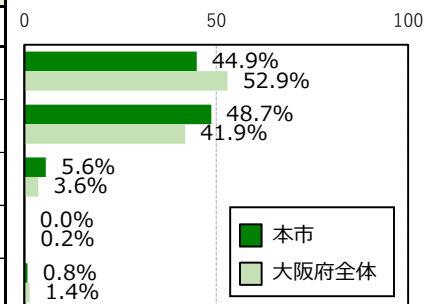
保護者全体は、「信頼している」が48.7%で最も多く、次いで「とても信頼している」が44.9%、「あまり信頼していない」が5.6%となっている。

小学生の保護者は、「とても信頼している」が50.0%で最も多く、次いで「信頼している」が43.3%、「あまり信頼していない」が6.2%となっている。

中学生の保護者は、「信頼している」が52.4%で最も多く、次いで「とても信頼している」が40.8%、「あまり信頼していない」が5.4%となっている。

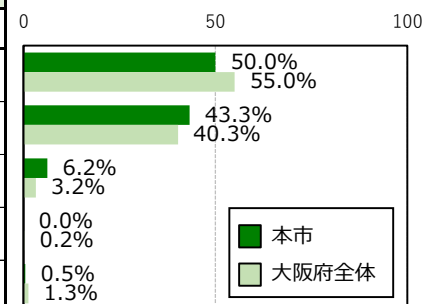
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても信頼している	178名	44.9%	22,948名	52.9%
信頼している	193名	48.7%	18,151名	41.9%
あまり信頼していない	22名	5.6%	1,566名	3.6%
信頼していない	-	-	101名	0.2%
無回答	3名	0.8%	592名	1.4%



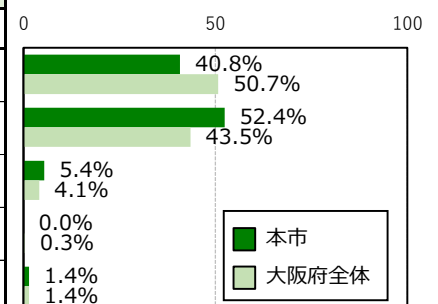
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても信頼している	105名	50.0%	12,553名	55.0%
信頼している	91名	43.3%	9,191名	40.3%
あまり信頼していない	13名	6.2%	720名	3.2%
信頼していない	-	-	48名	0.2%
無回答	1名	0.5%	307名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても信頼している	60名	40.8%	9,835名	50.7%
信頼している	77名	52.4%	8,429名	43.5%
あまり信頼していない	8名	5.4%	796名	4.1%
信頼していない	-	-	50名	0.3%
無回答	2名	1.4%	280名	1.4%



子どもに関することについて

問13（２）子どもとの会話頻度

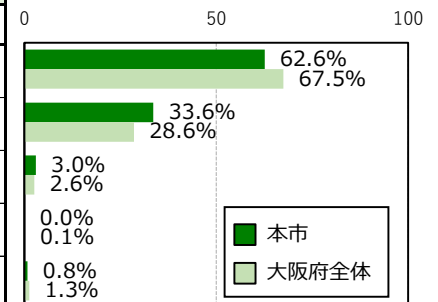
保護者全体は、「よくする」が62.6%で最も多く、次いで「する」が33.6%、「あまりしない」が3.0%となっている。

小学生の保護者は、「よくする」が65.7%で最も多く、次いで「する」が31.4%、「あまりしない」が2.4%となっている。

中学生の保護者は、「よくする」が62.6%で最も多く、次いで「する」が32.7%、「あまりしない」が3.4%となっている。

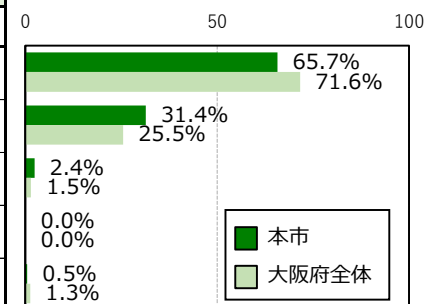
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よくする	248名	62.6%	29,262名	67.5%
する	133名	33.6%	12,391名	28.6%
あまりしない	12名	3.0%	1,110名	2.6%
しない	-	-	30名	0.1%
無回答	3名	0.8%	565名	1.3%



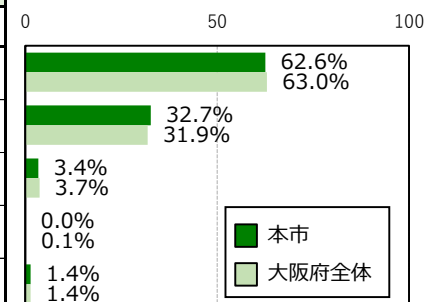
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よくする	138名	65.7%	16,345名	71.6%
する	66名	31.4%	5,827名	25.5%
あまりしない	5名	2.4%	337名	1.5%
しない	-	-	10名	0.0%
無回答	1名	0.5%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よくする	92名	62.6%	12,214名	63.0%
する	48名	32.7%	6,176名	31.9%
あまりしない	5名	3.4%	719名	3.7%
しない	-	-	19名	0.1%
無回答	2名	1.4%	262名	1.4%



子どもに関することについて

問13（３）平日での子どもとの関わり時間

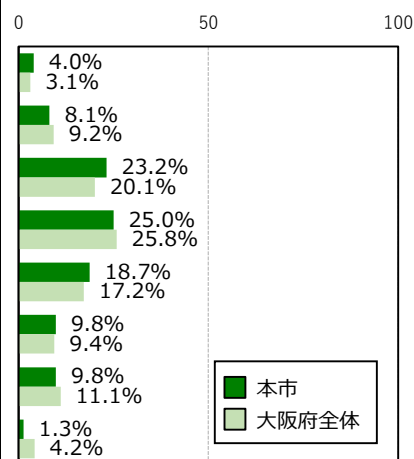
保護者全体は、「１時間～２時間未満」が25.0%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が23.2%、「２時間～３時間未満」が18.7%、「３時間～４時間未満」、「４時間以上」がそれぞれ9.8%となっている。

小学生の保護者は、「30分～１時間未満」が23.3%で最も多く、次いで「１時間～２時間未満」が22.9%、「２時間～３時間未満」が20.5%、「３時間～４時間未満」が14.3%となっている。

中学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が28.6%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が21.1%、「２時間～３時間未満」が17.0%、「15分～30分未満」が10.9%となっている。

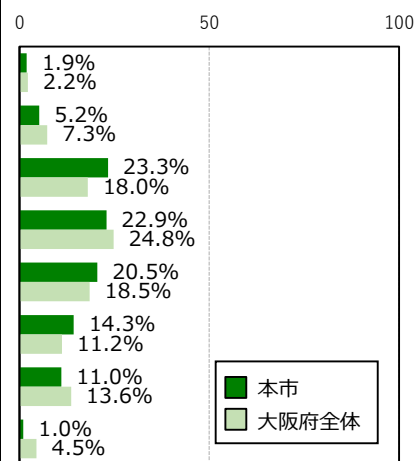
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,358名	100.0%
0～15分未満	16名	4.0%	1,323名	3.1%
15分～30分未満	32名	8.1%	3,978名	9.2%
30分～１時間未満	92名	23.2%	8,701名	20.1%
１時間～２時間未満	99名	25.0%	11,171名	25.8%
２時間～３時間未満	74名	18.7%	7,479名	17.2%
３時間～４時間未満	39名	9.8%	4,091名	9.4%
４時間以上	39名	9.8%	4,813名	11.1%
無回答	5名	1.3%	1,802名	4.2%



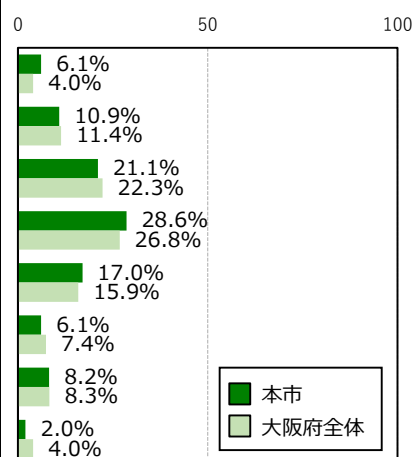
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,819名	100.0%
0～15分未満	4名	1.9%	494名	2.2%
15分～30分未満	11名	5.2%	1,662名	7.3%
30分～１時間未満	49名	23.3%	4,099名	18.0%
１時間～２時間未満	48名	22.9%	5,657名	24.8%
２時間～３時間未満	43名	20.5%	4,224名	18.5%
３時間～４時間未満	30名	14.3%	2,561名	11.2%
４時間以上	23名	11.0%	3,100名	13.6%
無回答	2名	1.0%	1,022名	4.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,390名	100.0%
0～15分未満	9名	6.1%	771名	4.0%
15分～30分未満	16名	10.9%	2,205名	11.4%
30分～１時間未満	31名	21.1%	4,316名	22.3%
１時間～２時間未満	42名	28.6%	5,203名	26.8%
２時間～３時間未満	25名	17.0%	3,075名	15.9%
３時間～４時間未満	9名	6.1%	1,435名	7.4%
４時間以上	12名	8.2%	1,617名	8.3%
無回答	3名	2.0%	768名	4.0%



子どもに関することについて

問13（３）休日での子どもとの関わり時間

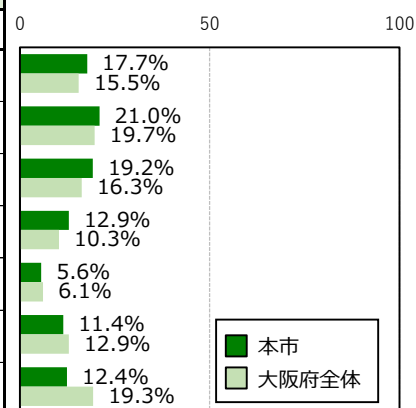
保護者全体は、「２時間～４時間未満」が21.0%で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が19.2%、「２時間未満」が17.7%、「６時間～８時間未満」が12.9%となっている。

小学生の保護者は、「４時間～６時間未満」が21.9%で最も多く、次いで「２時間～４時間未満」が18.6%、「10時間以上」が14.8%、「６時間～８時間未満」が13.8%となっている。

中学生の保護者は、「２時間未満」が23.8%で最も多く、次いで「２時間～４時間未満」が21.8%、「４時間～６時間未満」が18.4%、「６時間～８時間未満」が12.2%となっている。

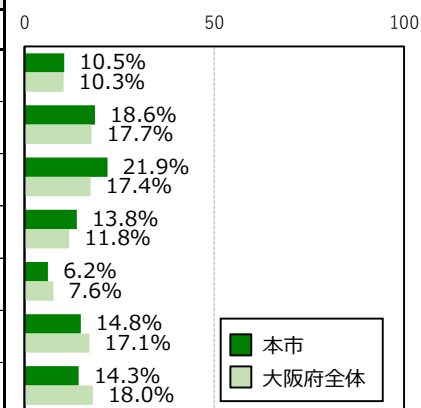
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,358名	100.0%
２時間未満	70名	17.7%	6,723名	15.5%
２時間～４時間未満	83名	21.0%	8,521名	19.7%
４時間～６時間未満	76名	19.2%	7,050名	16.3%
６時間～８時間未満	51名	12.9%	4,454名	10.3%
８時間～10時間未満	22名	5.6%	2,659名	6.1%
10時間以上	45名	11.4%	5,577名	12.9%
無回答	49名	12.4%	8,374名	19.3%



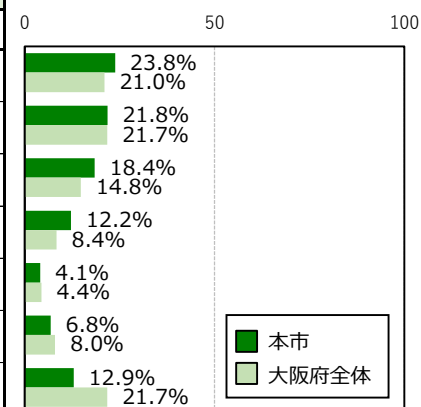
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,819名	100.0%
２時間未満	22名	10.5%	2,357名	10.3%
２時間～４時間未満	39名	18.6%	4,031名	17.7%
４時間～６時間未満	46名	21.9%	3,977名	17.4%
６時間～８時間未満	29名	13.8%	2,700名	11.8%
８時間～10時間未満	13名	6.2%	1,740名	7.6%
10時間以上	31名	14.8%	3,896名	17.1%
無回答	30名	14.3%	4,118名	18.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,390名	100.0%
２時間未満	35名	23.8%	4,070名	21.0%
２時間～４時間未満	32名	21.8%	4,216名	21.7%
４時間～６時間未満	27名	18.4%	2,876名	14.8%
６時間～８時間未満	18名	12.2%	1,632名	8.4%
８時間～10時間未満	6名	4.1%	845名	4.4%
10時間以上	10名	6.8%	1,542名	8.0%
無回答	19名	12.9%	4,209名	21.7%



子どもに関することについて

問13（４）子どもの将来への期待度

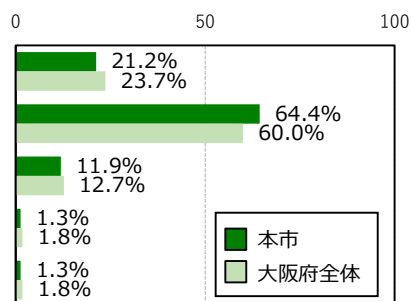
保護者全体は、「期待している」が64.4%で最も多く、次いで「とても期待している」が21.2%、「あまり期待していない」が11.9%、「期待していない」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「期待している」が64.3%で最も多く、次いで「とても期待している」が24.8%、「あまり期待していない」が10.0%となっている。

中学生の保護者は、「期待している」が59.9%で最も多く、次いで「とても期待している」が19.7%、「あまり期待していない」が15.6%、「期待していない」が2.7%となっている。

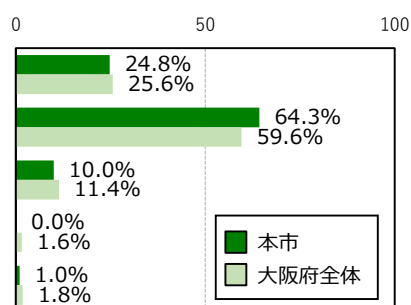
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても期待している	84名	21.2%	10,264名	23.7%
期待している	255名	64.4%	26,035名	60.0%
あまり期待していない	47名	11.9%	5,485名	12.7%
期待していない	5名	1.3%	779名	1.8%
無回答	5名	1.3%	795名	1.8%



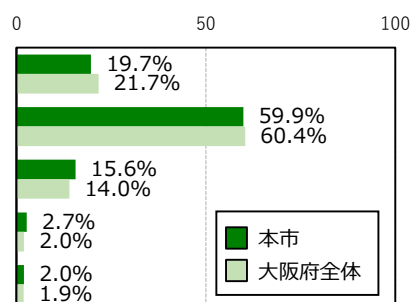
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても期待している	52名	24.8%	5,831名	25.6%
期待している	135名	64.3%	13,610名	59.6%
あまり期待していない	21名	10.0%	2,603名	11.4%
期待していない	-	-	363名	1.6%
無回答	2名	1.0%	412名	1.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても期待している	29名	19.7%	4,207名	21.7%
期待している	88名	59.9%	11,704名	60.4%
あまり期待していない	23名	15.6%	2,717名	14.0%
期待していない	4名	2.7%	388名	2.0%
無回答	3名	2.0%	374名	1.9%



子どもに関することについて

問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況

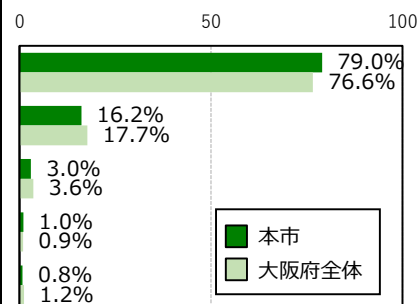
保護者全体は、「よく参加している」が79.0%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が16.2%、「あまり参加していない」が3.0%、「まったく参加していない」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「よく参加している」が86.2%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が11.0%、「あまり参加していない」が2.4%となっている。

中学生の保護者は、「よく参加している」が70.1%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が22.4%、「あまり参加していない」が3.4%、「まったく参加していない」が2.7%となっている。

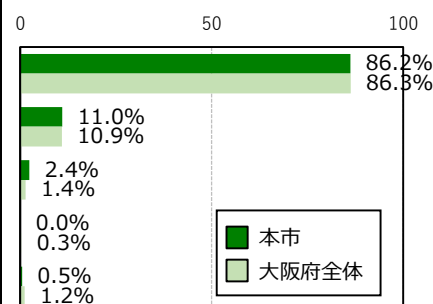
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よく参加している	313名	79.0%	33,215名	76.6%
ときどき参加している	64名	16.2%	7,691名	17.7%
あまり参加していない	12名	3.0%	1,550名	3.6%
まったく参加していない	4名	1.0%	376名	0.9%
無回答	3名	0.8%	526名	1.2%



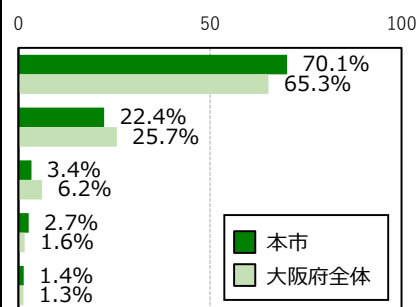
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よく参加している	181名	86.2%	19,697名	86.3%
ときどき参加している	23名	11.0%	2,477名	10.9%
あまり参加していない	5名	2.4%	309名	1.4%
まったく参加していない	-	-	58名	0.3%
無回答	1名	0.5%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よく参加している	103名	70.1%	12,665名	65.3%
ときどき参加している	33名	22.4%	4,975名	25.7%
あまり参加していない	5名	3.4%	1,202名	6.2%
まったく参加していない	4名	2.7%	304名	1.6%
無回答	2名	1.4%	244名	1.3%



子どもに関することについて

問14 子どもに希望する進学

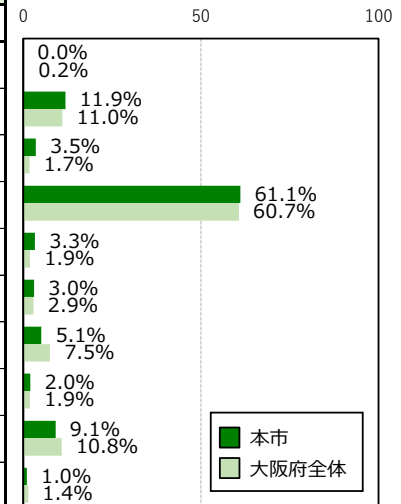
保護者全体は、「大学」が61.1%で最も多く、次いで「高校」が11.9%、「専門学校・高等専門学校」が5.1%、「短期大学」が3.5%となっている。

小学生の保護者は、「大学」が61.0%で最も多く、次いで「高校」が10.5%、「専門学校・高等専門学校」が6.2%、「大学院」が4.8%となっている。

中学生の保護者は、「大学」が61.9%で最も多く、次いで「高校」が12.9%、「専門学校・高等専門学校」が4.8%、「短期大学」が4.1%となっている。

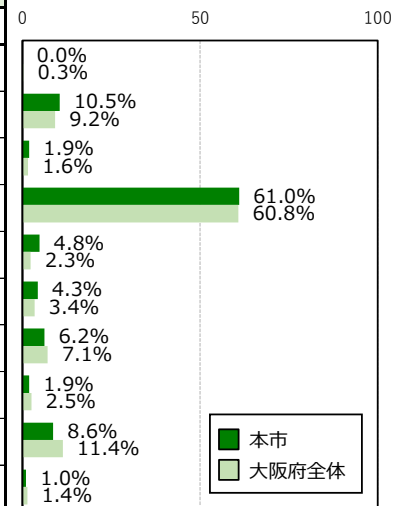
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,358名	100.0%
中学校	-	-	106名	0.2%
高校	47名	11.9%	4,765名	11.0%
短期大学	14名	3.5%	716名	1.7%
大学	242名	61.1%	26,334名	60.7%
大学院	13名	3.3%	827名	1.9%
留学	12名	3.0%	1,261名	2.9%
専門学校・高等専門学校	20名	5.1%	3,262名	7.5%
考えたことがない	8名	2.0%	818名	1.9%
わからない	36名	9.1%	4,674名	10.8%
無回答	4名	1.0%	595名	1.4%



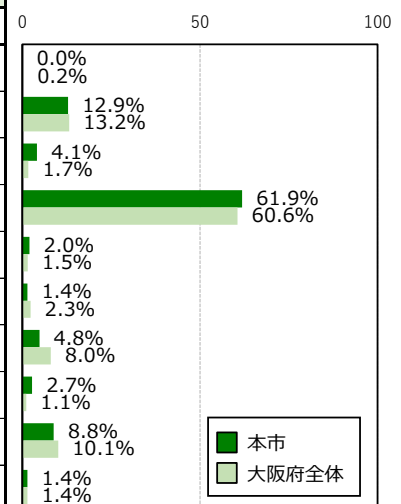
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,819名	100.0%
中学校	-	-	72名	0.3%
高校	22名	10.5%	2,090名	9.2%
短期大学	4名	1.9%	366名	1.6%
大学	128名	61.0%	13,868名	60.8%
大学院	10名	4.8%	519名	2.3%
留学	9名	4.3%	786名	3.4%
専門学校・高等専門学校	13名	6.2%	1,631名	7.1%
考えたことがない	4名	1.9%	579名	2.5%
わからない	18名	8.6%	2,592名	11.4%
無回答	2名	1.0%	316名	1.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,390名	100.0%
中学校	-	-	31名	0.2%
高校	19名	12.9%	2,557名	13.2%
短期大学	6名	4.1%	322名	1.7%
大学	91名	61.9%	11,753名	60.6%
大学院	3名	2.0%	285名	1.5%
留学	2名	1.4%	451名	2.3%
専門学校・高等専門学校	7名	4.8%	1,548名	8.0%
考えたことがない	4名	2.7%	219名	1.1%
わからない	13名	8.8%	1,951名	10.1%
無回答	2名	1.4%	273名	1.4%



子どもに関することについて

問15 子どもの通学状況

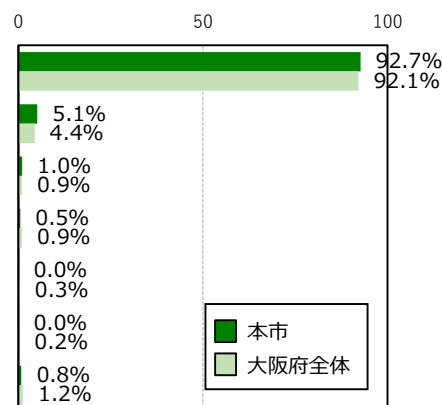
保護者全体は、「ほぼ毎日通っている」が92.7%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が5.1%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が93.3%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.8%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が91.8%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.8%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が1.4%となっている。

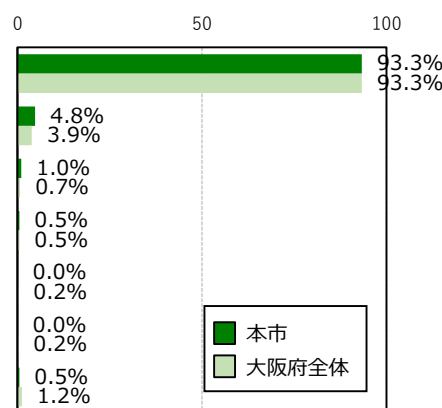
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,358名	100.0%
ほぼ毎日通っている	367名	92.7%	39,916名	92.1%
欠席は年間30日未満である	20名	5.1%	1,900名	4.4%
欠席が年間30日以上、60日未満である	4名	1.0%	406名	0.9%
欠席が年間60日以上、1年未満である	2名	0.5%	379名	0.9%
欠席が1年以上続いている	-	-	127名	0.3%
わからない	-	-	108名	0.2%
無回答	3名	0.8%	522名	1.2%



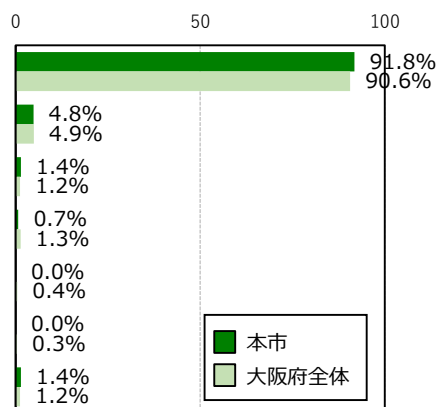
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,819名	100.0%
ほぼ毎日通っている	196名	93.3%	21,301名	93.3%
欠席は年間30日未満である	10名	4.8%	895名	3.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	2名	1.0%	158名	0.7%
欠席が年間60日以上、1年未満である	1名	0.5%	107名	0.5%
欠席が1年以上続いている	-	-	36名	0.2%
わからない	-	-	44名	0.2%
無回答	1名	0.5%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,390名	100.0%
ほぼ毎日通っている	135名	91.8%	17,568名	90.6%
欠席は年間30日未満である	7名	4.8%	945名	4.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	2名	1.4%	232名	1.2%
欠席が年間60日以上、1年未満である	1名	0.7%	257名	1.3%
欠席が1年以上続いている	-	-	86名	0.4%
わからない	-	-	62名	0.3%
無回答	2名	1.4%	240名	1.2%



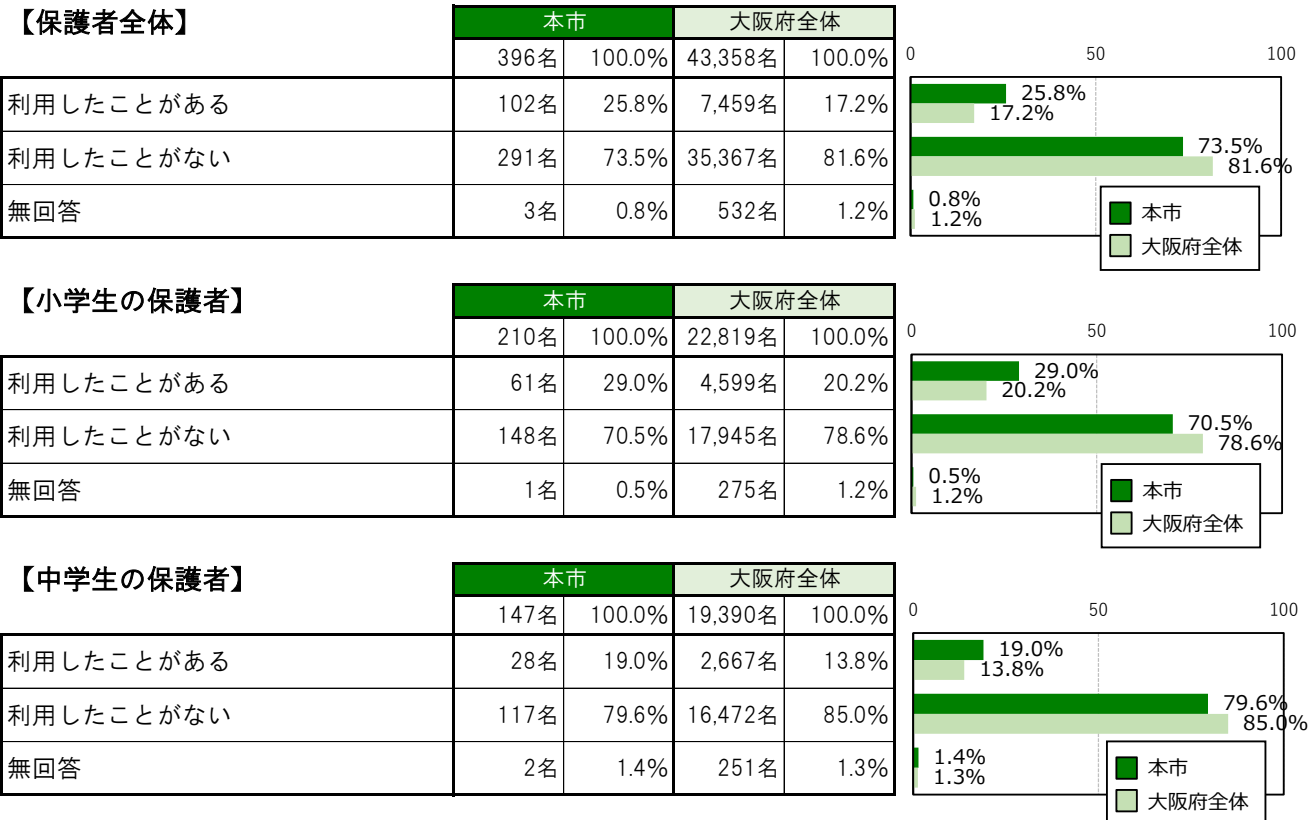
子どもに関することについて

問16（１）子どもの居場所の利用経験

保護者全体は、「利用したことがない」が73.5%で最も多く、次いで「利用したことがある」が25.8%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が70.5%で最も多く、次いで「利用したことがある」が29.0%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が79.6%で最も多く、次いで「利用したことがある」が19.0%となっている。



子どもに関することについて

問16（2）子どもの居場所を利用することで良いと思うこと

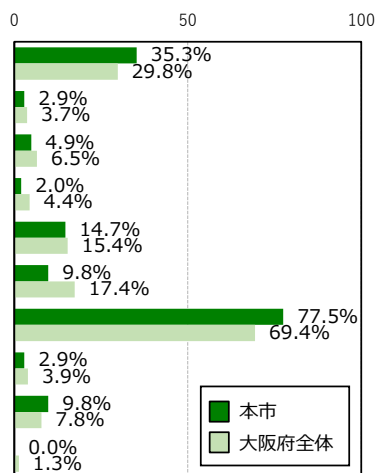
保護者全体は、「お子さんが楽しんでいるから」が77.5%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が35.3%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が14.7%、「宿題など勉強を見てくれるから」が9.8%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が85.2%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が32.8%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が14.8%、「宿題など勉強を見てくれるから」が6.6%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が64.3%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が32.1%、「宿題など勉強を見てくれるから」が21.4%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が17.9%となっている。

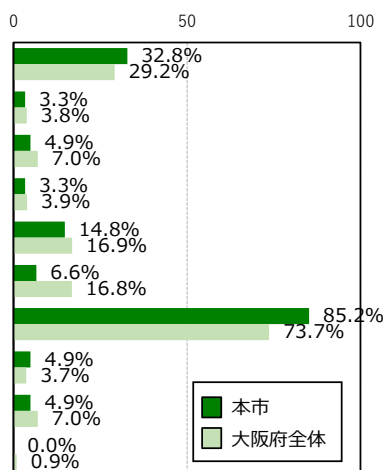
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	102名	100.0%	7,459名	100.0%
地域の人とつながれるから	36名	35.3%	2,226名	29.8%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	3名	2.9%	275名	3.7%
栄養バランスのとれた食事がとれるから	5名	4.9%	484名	6.5%
運営者が相談に乗ってくれるから	2名	2.0%	329名	4.4%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	15名	14.7%	1,152名	15.4%
宿題など勉強を見てくれるから	10名	9.8%	1,301名	17.4%
お子さんが楽しんでいるから	79名	77.5%	5,178名	69.4%
特になし	3名	2.9%	291名	3.9%
その他	10名	9.8%	579名	7.8%
無回答	-	-	95名	1.3%



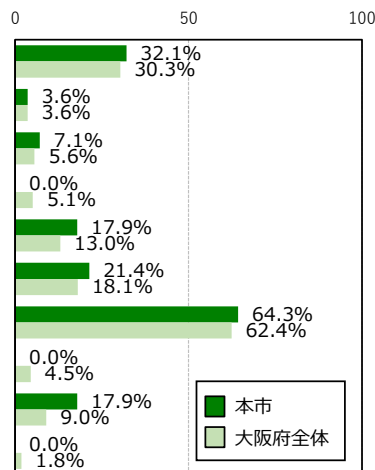
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	61名	100.0%	4,599名	100.0%
地域の人とつながれるから	20名	32.8%	1,344名	29.2%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	2名	3.3%	173名	3.8%
栄養バランスのとれた食事がとれるから	3名	4.9%	322名	7.0%
運営者が相談に乗ってくれるから	2名	3.3%	180名	3.9%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	9名	14.8%	778名	16.9%
宿題など勉強を見てくれるから	4名	6.6%	773名	16.8%
お子さんが楽しんでいるから	52名	85.2%	3,388名	73.7%
特になし	3名	4.9%	168名	3.7%
その他	3名	4.9%	324名	7.0%
無回答	-	-	43名	0.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	28名	100.0%	2,667名	100.0%
地域の人とつながれるから	9名	32.1%	808名	30.3%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	1名	3.6%	97名	3.6%
栄養バランスのとれた食事がとれるから	2名	7.1%	150名	5.6%
運営者が相談に乗ってくれるから	-	-	136名	5.1%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	5名	17.9%	348名	13.0%
宿題など勉強を見てくれるから	6名	21.4%	482名	18.1%
お子さんが楽しんでいるから	18名	64.3%	1,664名	62.4%
特になし	-	-	120名	4.5%
その他	5名	17.9%	241名	9.0%
無回答	-	-	47名	1.8%



子どもに関することについて

問16（3）子どもの居場所を利用しない理由

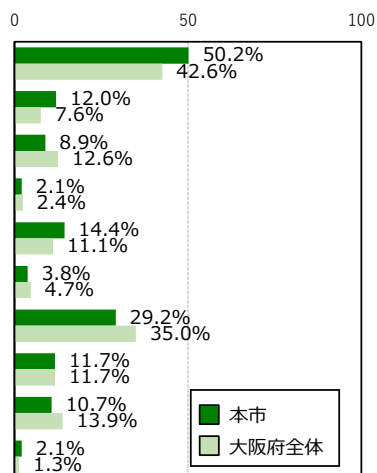
保護者全体は、「どこにあるか知らないから」が50.2%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が29.2%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が14.4%、「家の近く（小学校区内）にないから」が12.0%となっている。

小学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が50.0%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が24.3%、「家の近く（小学校区内）にないから」が13.5%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が12.2%となっている。

中学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が45.3%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が37.6%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が17.9%、「何をしているかわからないから」が12.0%となっている。

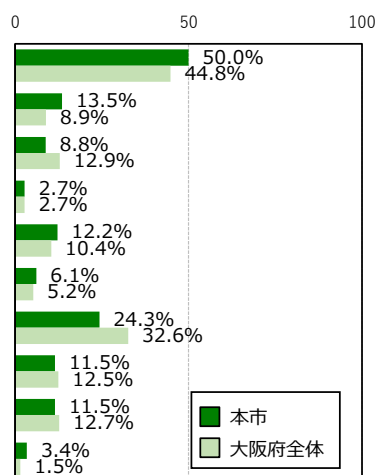
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	291名	100.0%	35,367名	100.0%
どこにあるか知らないから	146名	50.2%	15,060名	42.6%
家の近く（小学校区内）にないから	35名	12.0%	2,697名	7.6%
家で過ごしてほしいと思うから	26名	8.9%	4,452名	12.6%
居場所のイメージがよくないから	6名	2.1%	862名	2.4%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	42名	14.4%	3,936名	11.1%
行きたい日・時間に開いていないから	11名	3.8%	1,647名	4.7%
利用したいと思わないから	85名	29.2%	12,386名	35.0%
何をしているかわからないから	34名	11.7%	4,149名	11.7%
その他	31名	10.7%	4,908名	13.9%
無回答	6名	2.1%	473名	1.3%



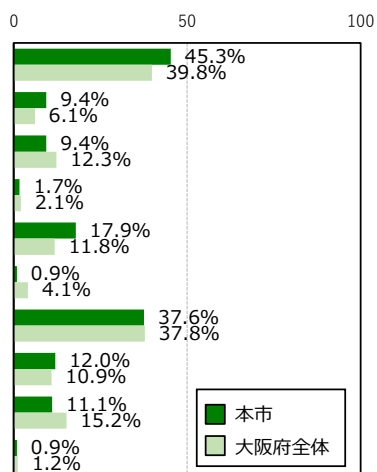
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	148名	100.0%	17,945名	100.0%
どこにあるか知らないから	74名	50.0%	8,048名	44.8%
家の近く（小学校区内）にないから	20名	13.5%	1,594名	8.9%
家で過ごしてほしいと思うから	13名	8.8%	2,318名	12.9%
居場所のイメージがよくないから	4名	2.7%	476名	2.7%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	18名	12.2%	1,873名	10.4%
行きたい日・時間に開いていないから	9名	6.1%	936名	5.2%
利用したいと思わないから	36名	24.3%	5,849名	32.6%
何をしているかわからないから	17名	11.5%	2,243名	12.5%
その他	17名	11.5%	2,278名	12.7%
無回答	5名	3.4%	261名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	117名	100.0%	16,472名	100.0%
どこにあるか知らないから	53名	45.3%	6,563名	39.8%
家の近く（小学校区内）にないから	11名	9.4%	1,006名	6.1%
家で過ごしてほしいと思うから	11名	9.4%	2,030名	12.3%
居場所のイメージがよくないから	2名	1.7%	347名	2.1%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	21名	17.9%	1,950名	11.8%
行きたい日・時間に開いていないから	1名	0.9%	673名	4.1%
利用したいと思わないから	44名	37.6%	6,227名	37.8%
何をしているかわからないから	14名	12.0%	1,797名	10.9%
その他	13名	11.1%	2,509名	15.2%
無回答	1名	0.9%	195名	1.2%



保護者のことについて

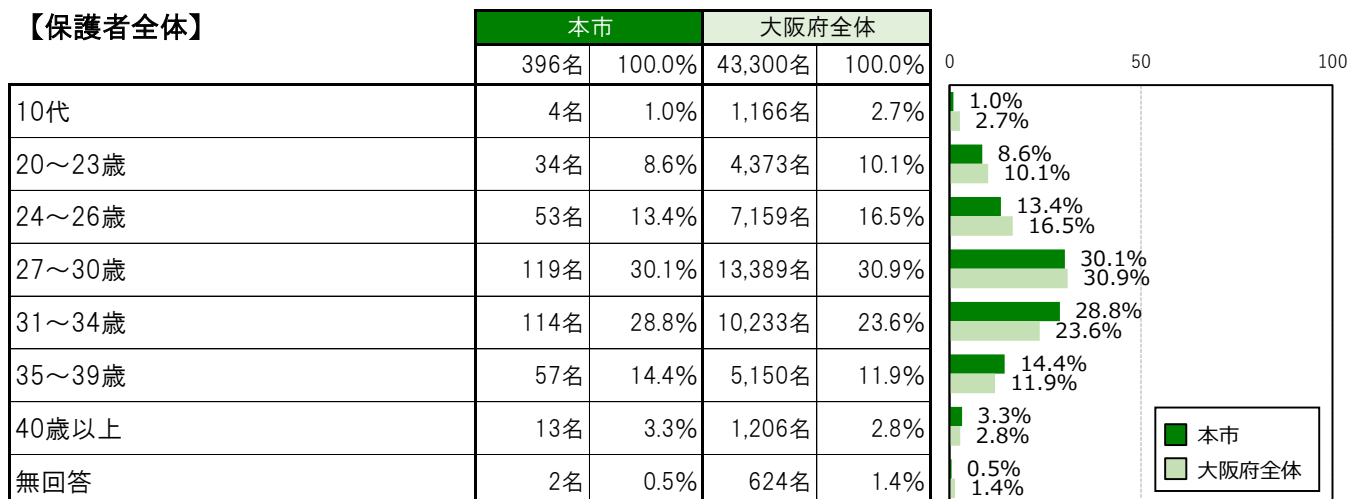
問17 初めて親となった年齢

保護者全体は、「27～30歳」が30.1%で最も多く、次いで「31～34歳」が28.8%、「35～39歳」が14.4%、「24～26歳」が13.4%となっている。

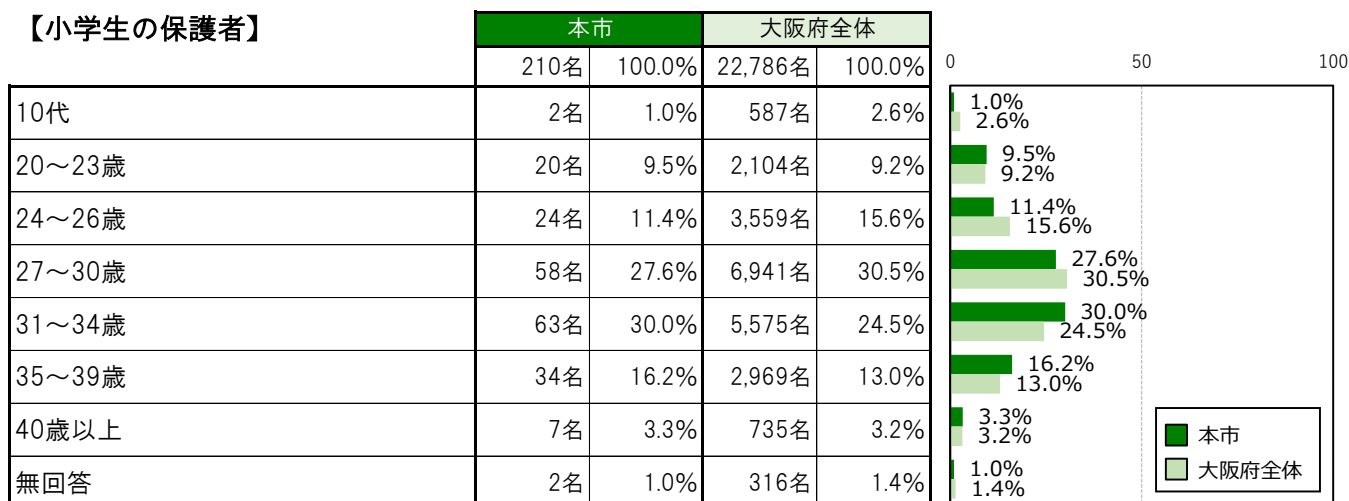
小学生の保護者は、「31～34歳」が30.0%で最も多く、次いで「27～30歳」が27.6%、「35～39歳」が16.2%、「24～26歳」が11.4%となっている。

中学生の保護者は、「27～30歳」が31.3%で最も多く、次いで「31～34歳」が27.9%、「24～26歳」が16.3%、「35～39歳」が11.6%となっている。

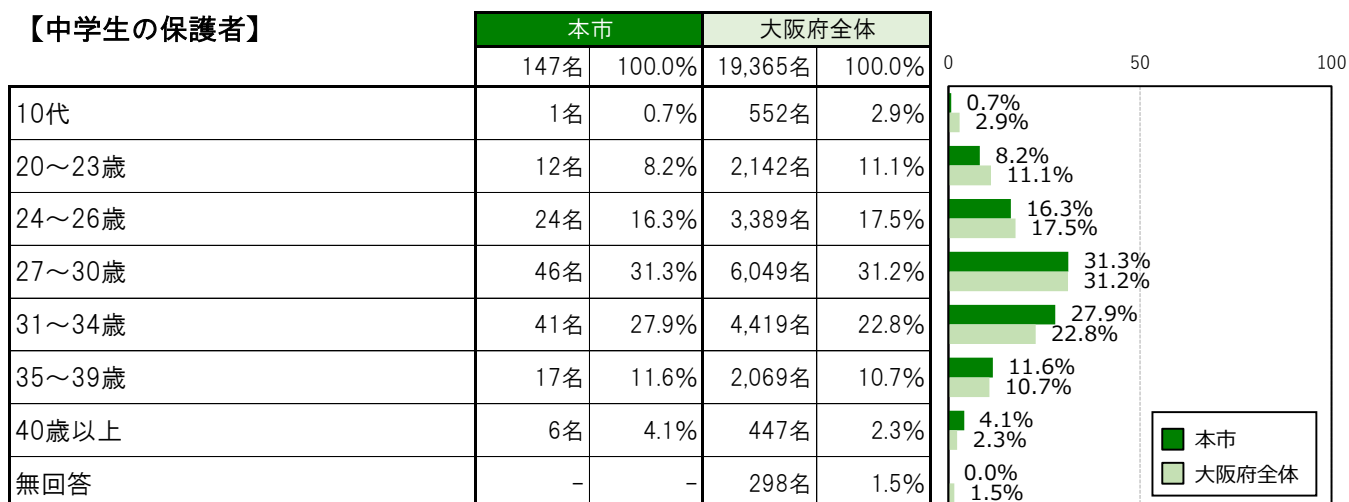
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

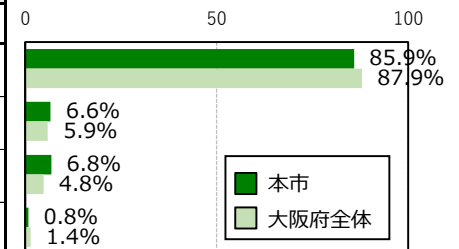
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

①心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者全体は、「いる」が85.9%、「いない」が6.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が89.5%、「いない」が4.3%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が83.7%、「いない」が6.8%となっている。

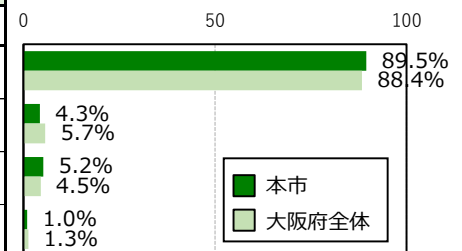
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	340名	85.9%	38,049名	87.9%
いない	26名	6.6%	2,548名	5.9%
わからない	27名	6.8%	2,099名	4.8%
無回答	3名	0.8%	604名	1.4%



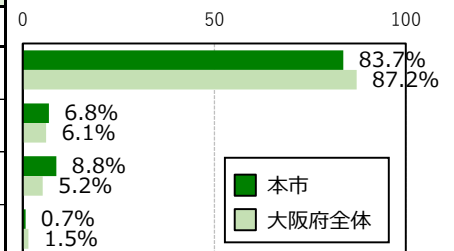
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	188名	89.5%	20,150名	88.4%
いない	9名	4.3%	1,304名	5.7%
わからない	11名	5.2%	1,026名	4.5%
無回答	2名	1.0%	306名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	123名	83.7%	16,885名	87.2%
いない	10名	6.8%	1,173名	6.1%
わからない	13名	8.8%	1,016名	5.2%
無回答	1名	0.7%	291名	1.5%



保護者のことについて

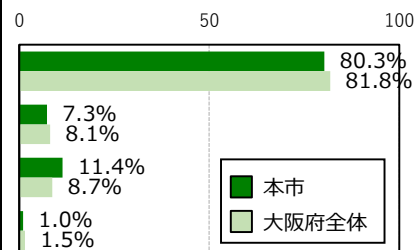
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

②気持ちを察して思いやってくれる人

保護者全体は、「いる」が80.3%、「いない」が7.3%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が85.2%、「いない」が5.7%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が76.2%、「いない」が8.2%となっている。

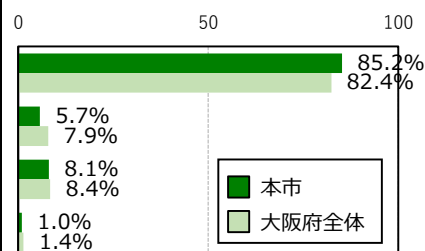
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	318名	80.3%	35,406名	81.8%
いない	29名	7.3%	3,491名	8.1%
わからない	45名	11.4%	3,748名	8.7%
無回答	4名	1.0%	655名	1.5%



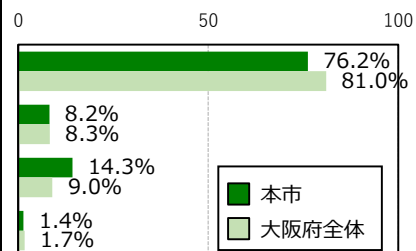
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	179名	85.2%	18,767名	82.4%
いない	12名	5.7%	1,791名	7.9%
わからない	17名	8.1%	1,904名	8.4%
無回答	2名	1.0%	324名	1.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	112名	76.2%	15,691名	81.0%
いない	12名	8.2%	1,610名	8.3%
わからない	21名	14.3%	1,741名	9.0%
無回答	2名	1.4%	323名	1.7%



保護者のことについて

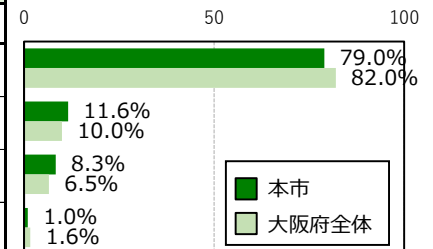
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者全体は、「いる」が79.0%、「いない」が11.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が81.9%、「いない」が7.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が76.9%、「いない」が13.6%となっている。

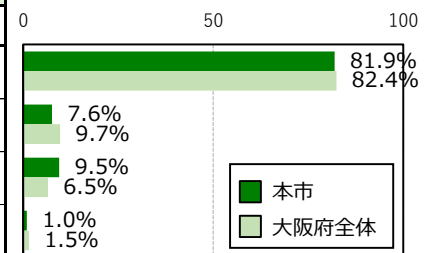
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	313名	79.0%	35,496名	82.0%
いない	46名	11.6%	4,317名	10.0%
わからない	33名	8.3%	2,806名	6.5%
無回答	4名	1.0%	681名	1.6%



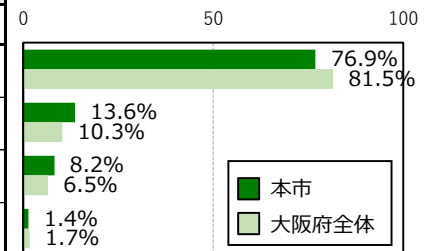
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	172名	81.9%	18,771名	82.4%
いない	16名	7.6%	2,201名	9.7%
わからない	20名	9.5%	1,474名	6.5%
無回答	2名	1.0%	340名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	113名	76.9%	15,782名	81.5%
いない	20名	13.6%	1,990名	10.3%
わからない	12名	8.2%	1,259名	6.5%
無回答	2名	1.4%	334名	1.7%



保護者のことについて

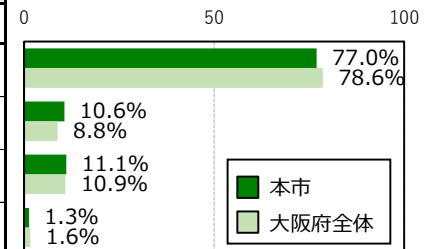
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者全体は、「いる」が77.0%、「いない」が10.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が82.9%、「いない」が7.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が72.1%、「いない」が12.9%となっている。

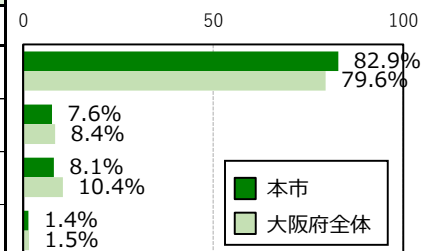
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	305名	77.0%	34,034名	78.6%
いない	42名	10.6%	3,824名	8.8%
わからない	44名	11.1%	4,731名	10.9%
無回答	5名	1.3%	711名	1.6%



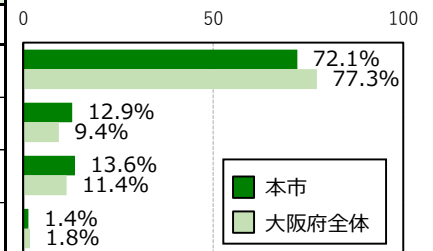
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	174名	82.9%	18,149名	79.6%
いない	16名	7.6%	1,912名	8.4%
わからない	17名	8.1%	2,381名	10.4%
無回答	3名	1.4%	344名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	106名	72.1%	14,966名	77.3%
いない	19名	12.9%	1,826名	9.4%
わからない	20名	13.6%	2,217名	11.4%
無回答	2名	1.4%	356名	1.8%



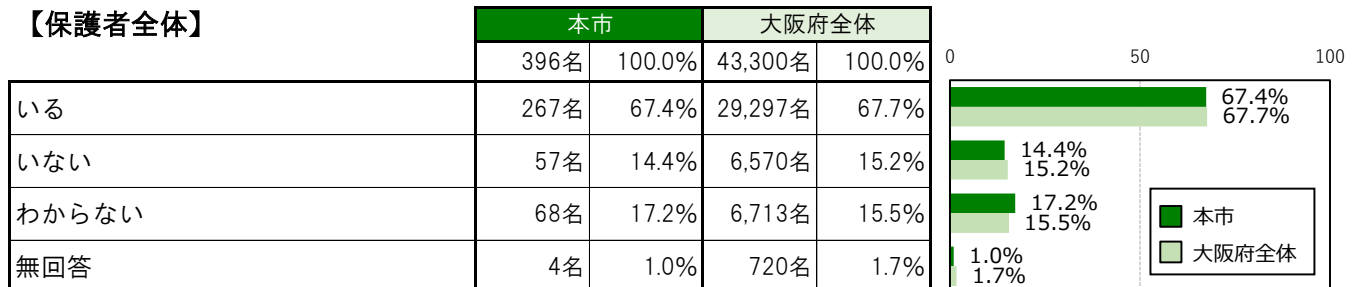
保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

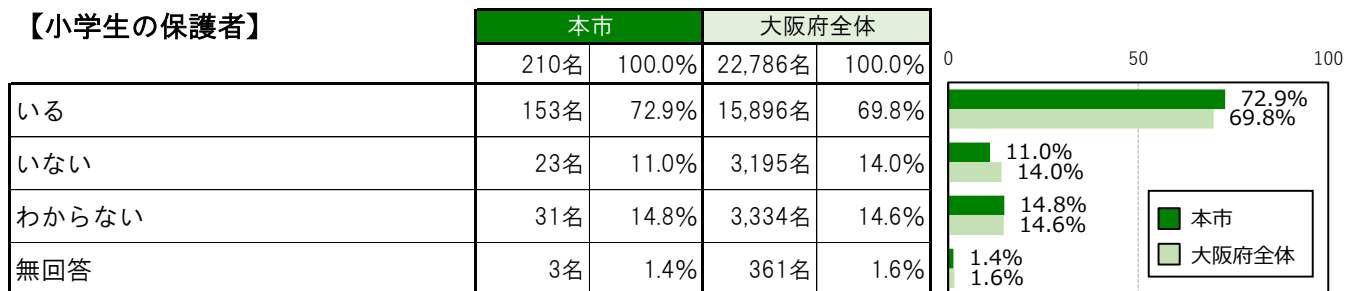
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者全体は、「いる」が67.4%、「いない」が14.4%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が72.9%、「いない」が11.0%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が63.3%、「いない」が17.0%となっている。

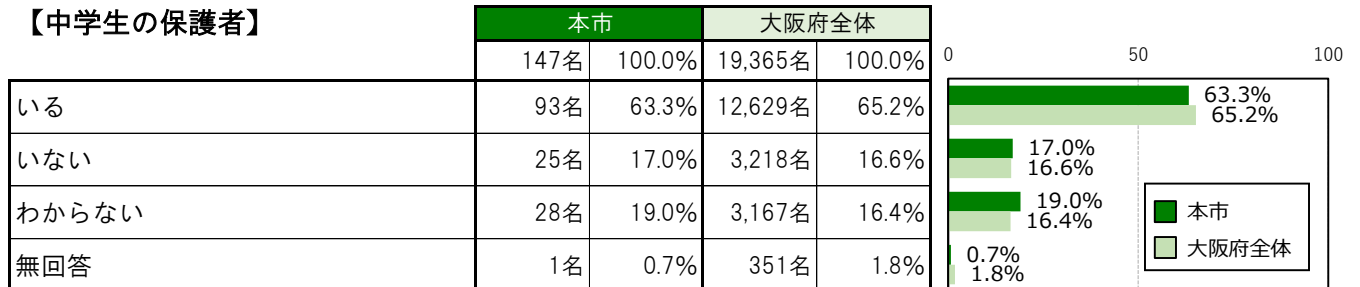
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

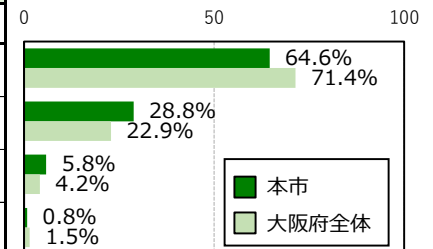
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者全体は、「いる」が64.6%、「いない」が28.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が67.1%、「いない」が26.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が59.2%、「いない」が32.7%となっている。

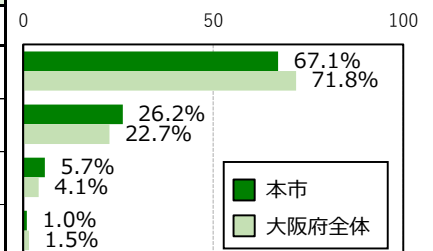
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	256名	64.6%	30,902名	71.4%
いない	114名	28.8%	9,922名	22.9%
わからない	23名	5.8%	1,822名	4.2%
無回答	3名	0.8%	654名	1.5%



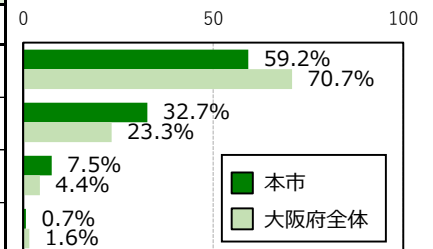
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	141名	67.1%	16,360名	71.8%
いない	55名	26.2%	5,164名	22.7%
わからない	12名	5.7%	930名	4.1%
無回答	2名	1.0%	332名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	87名	59.2%	13,687名	70.7%
いない	48名	32.7%	4,519名	23.3%
わからない	11名	7.5%	850名	4.4%
無回答	1名	0.7%	309名	1.6%



保護者のことについて

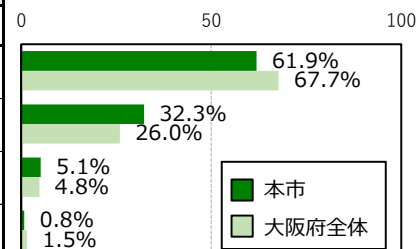
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑦留守を頼める人

保護者全体は、「いる」が61.9%、「いない」が32.3%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が65.2%、「いない」が28.1%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が60.5%、「いない」が33.3%となっている。

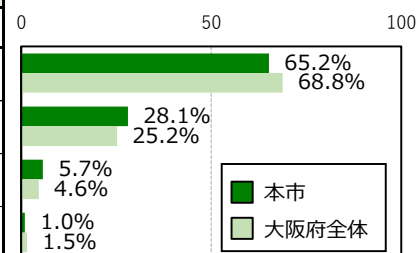
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	245名	61.9%	29,312名	67.7%
いない	128名	32.3%	11,256名	26.0%
わからない	20名	5.1%	2,066名	4.8%
無回答	3名	0.8%	666名	1.5%



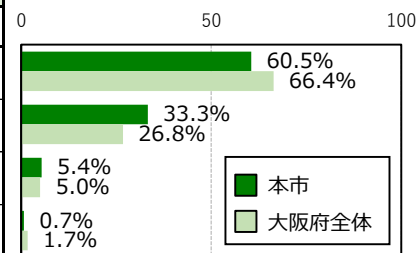
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	137名	65.2%	15,668名	68.8%
いない	59名	28.1%	5,746名	25.2%
わからない	12名	5.7%	1,037名	4.6%
無回答	2名	1.0%	335名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	89名	60.5%	12,868名	66.4%
いない	49名	33.3%	5,198名	26.8%
わからない	8名	5.4%	977名	5.0%
無回答	1名	0.7%	322名	1.7%



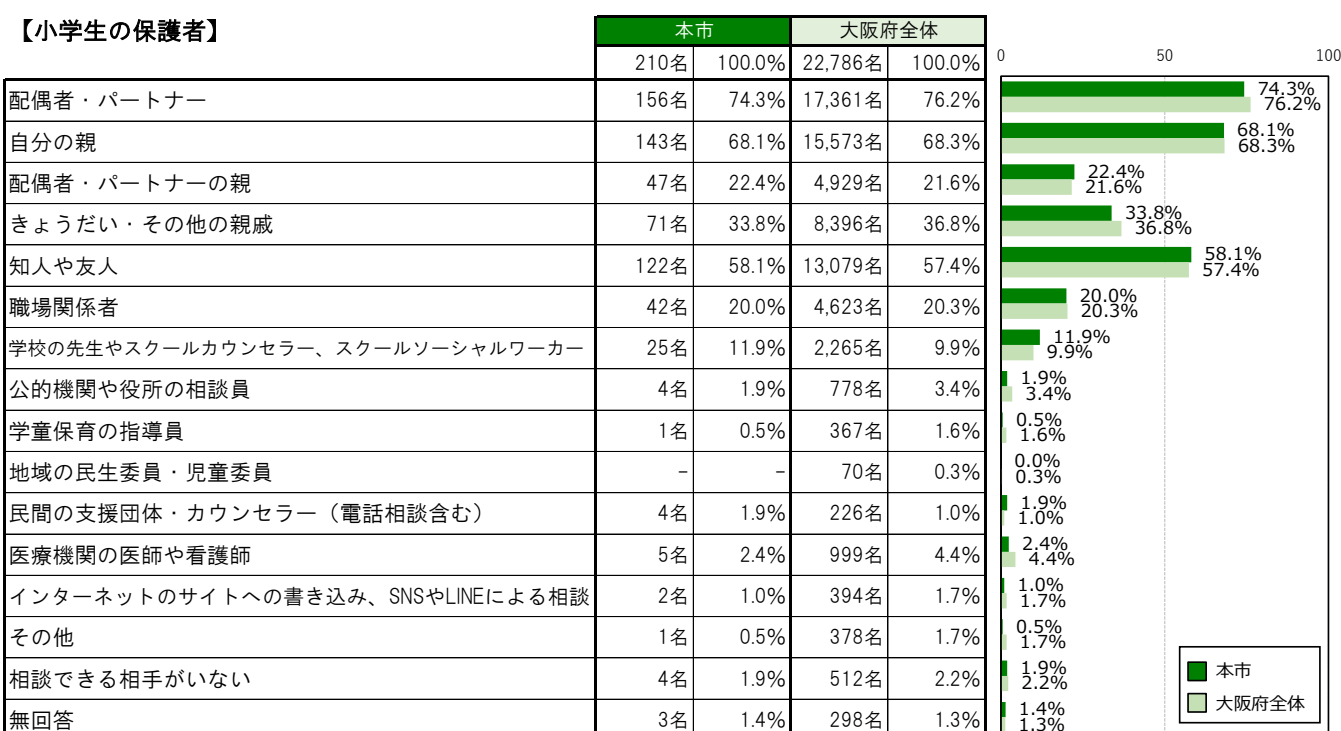
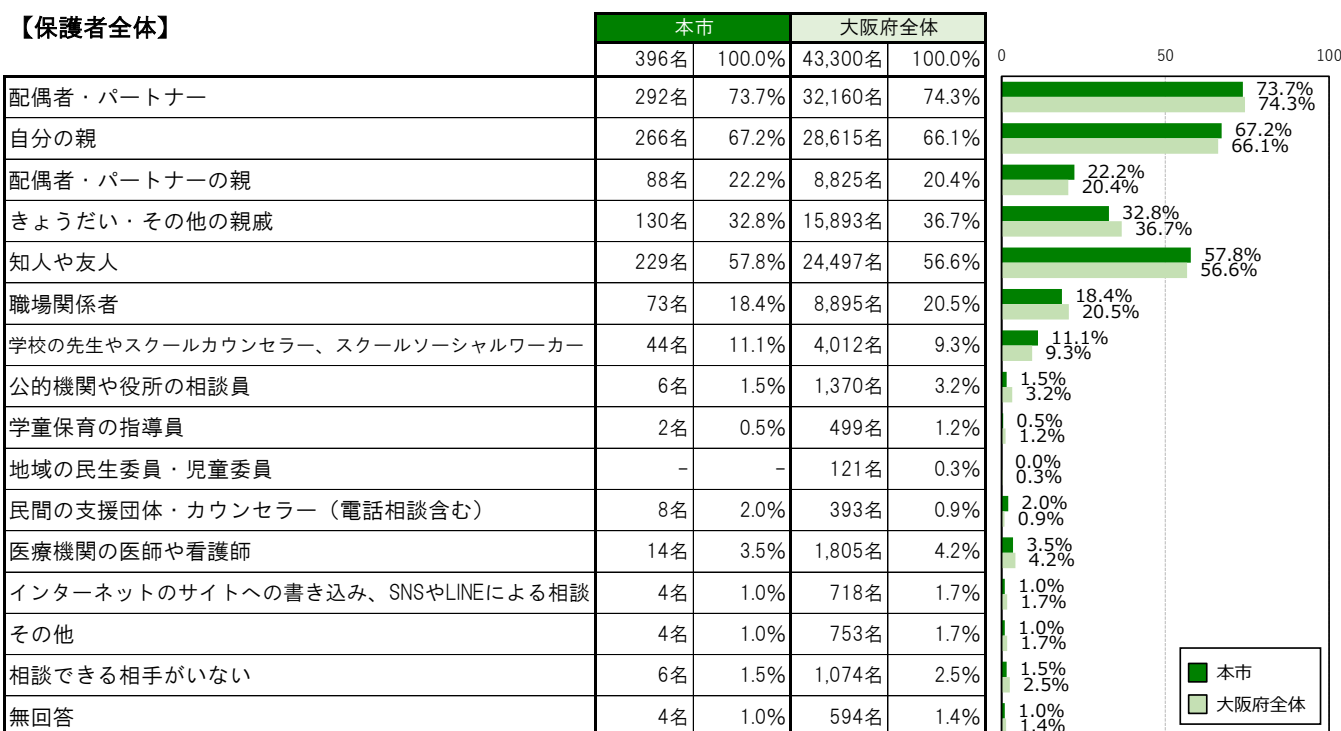
保護者のことについて

問19 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

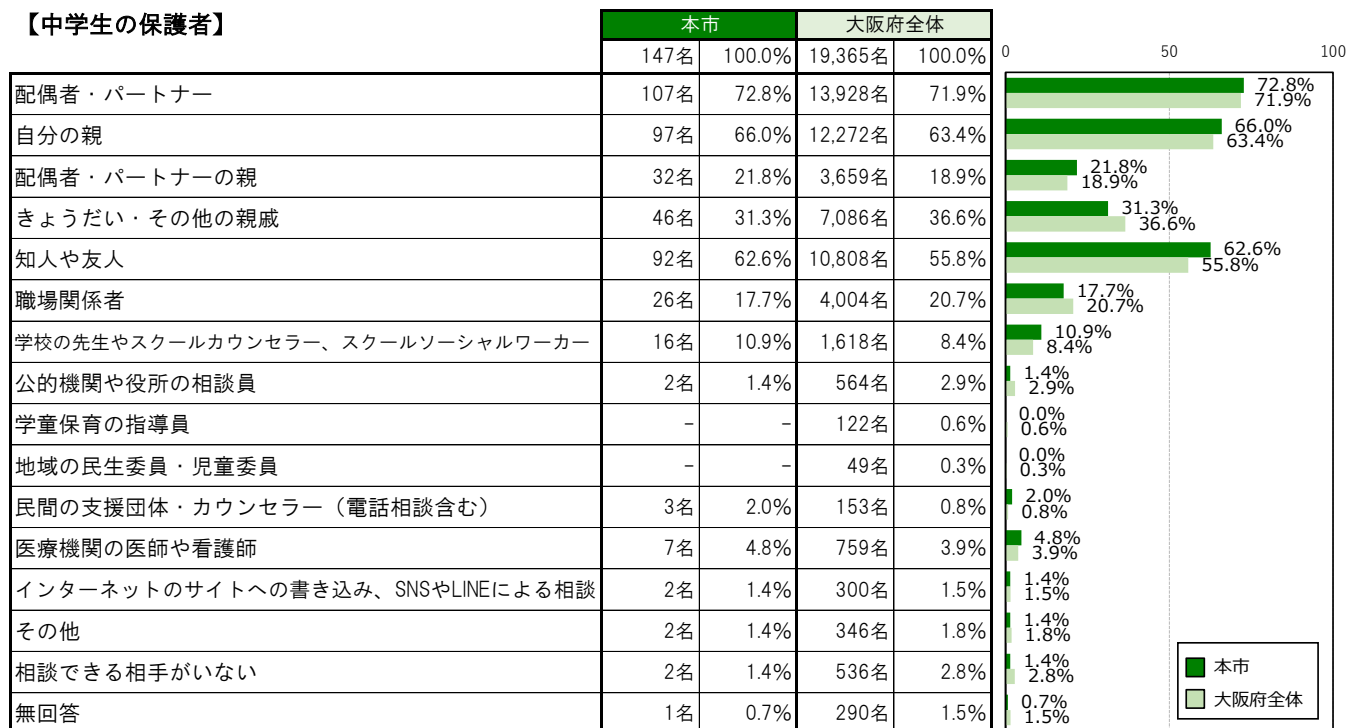
保護者全体は、「配偶者・パートナー」が73.7%で最も多く、次いで「自分の親」が67.2%、「知人や友人」が57.8%、「きょうだい・その他の親戚」が32.8%となっている。

小学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が74.3%で最も多く、次いで「自分の親」が68.1%、「知人や友人」が58.1%、「きょうだい・その他の親戚」が33.8%となっている。

中学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が72.8%で最も多く、次いで「自分の親」が66.0%、「知人や友人」が62.6%、「きょうだい・その他の親戚」が31.3%となっている。



【中学生の保護者】



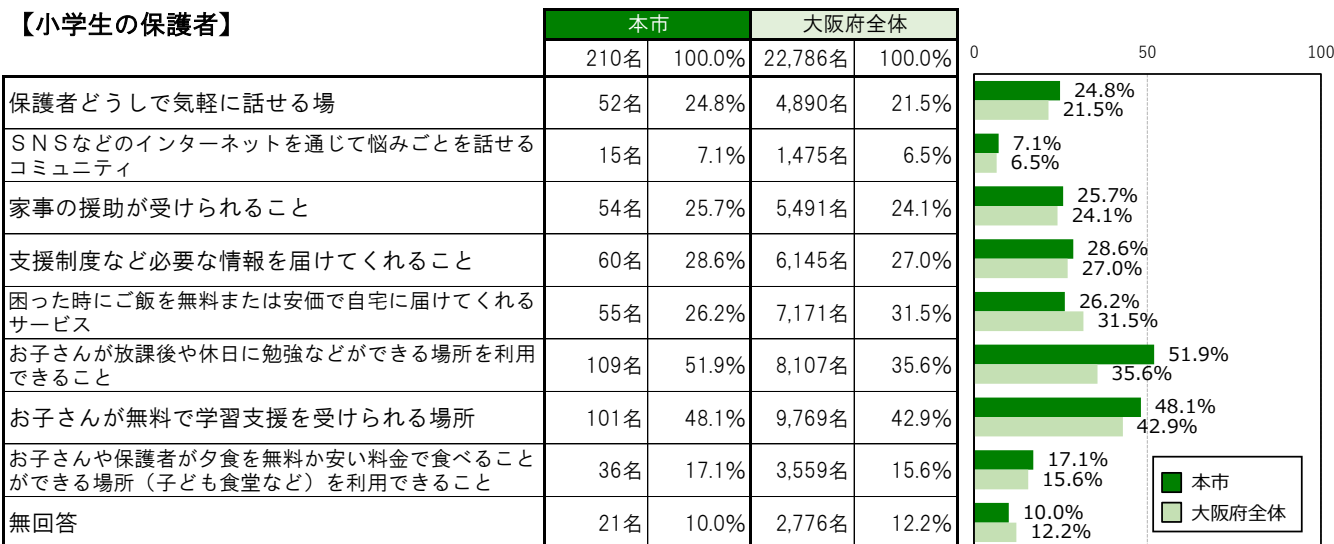
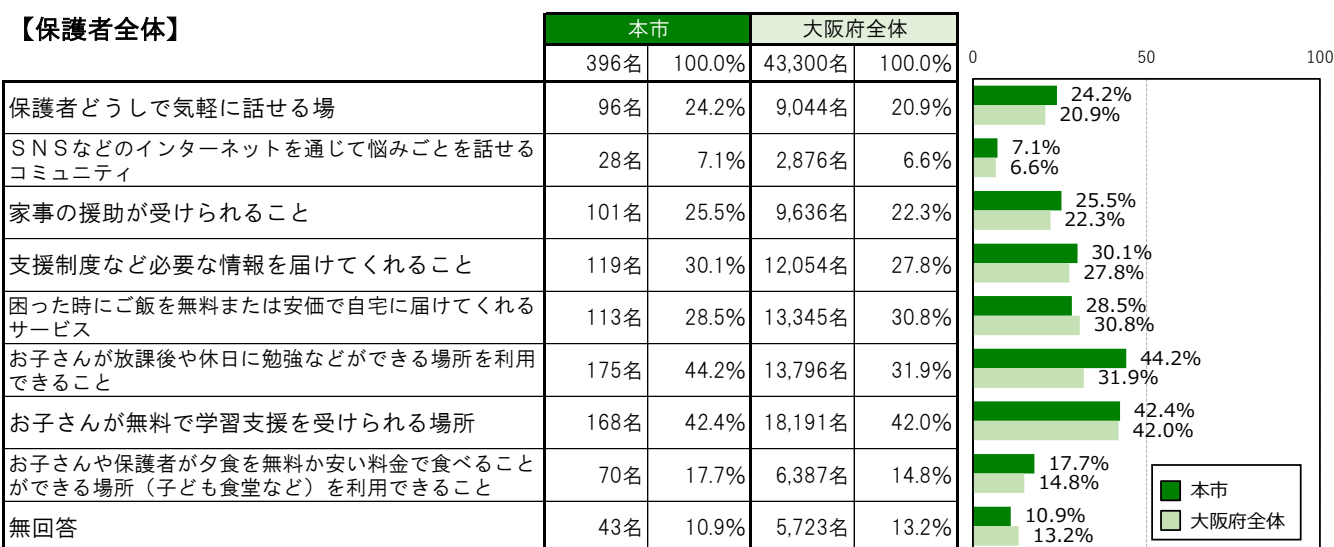
保護者のことについて

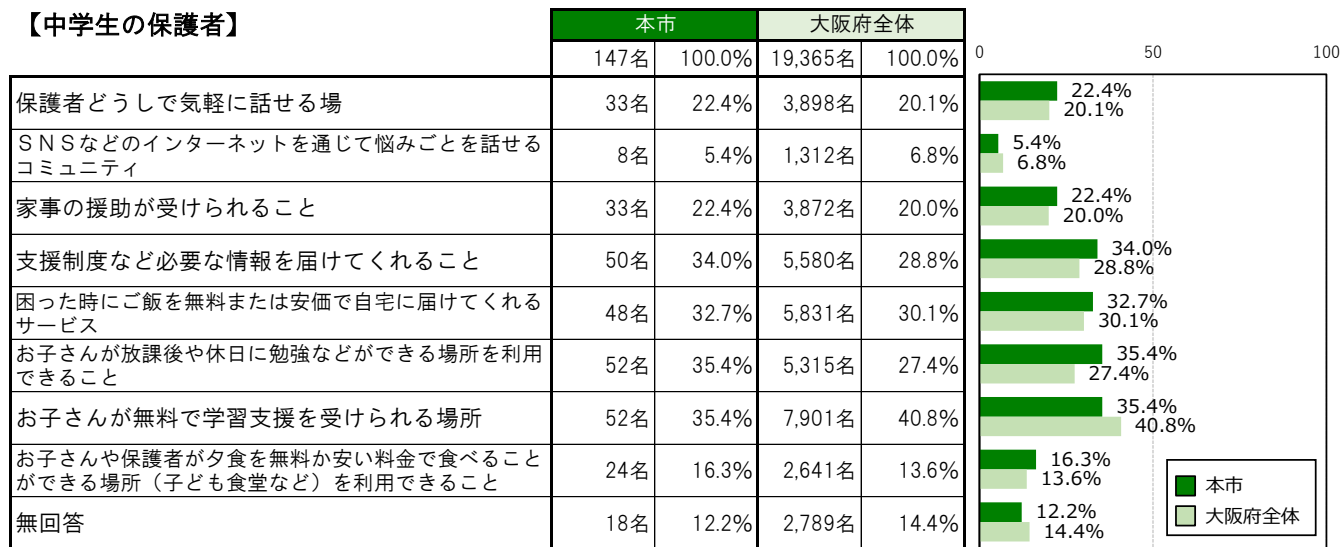
問20 身近にあると思うこと

保護者全体は、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が44.2%で最も多く、次いで「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が42.4%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が30.1%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が28.5%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が51.9%で最も多く、次いで「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が48.1%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が28.6%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が26.2%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」がそれぞれ35.4%で最も多く、次いで「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が34.0%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が32.7%となっている。





保護者のことについて

問21（１）生活を楽しんでいるか

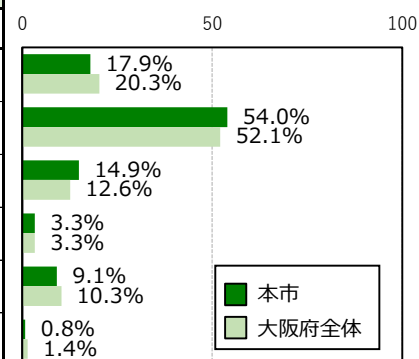
保護者全体は、「楽しんでいる」が54.0%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が17.9%、「あまり楽しんでいない」が14.9%、「楽しんでいない」が3.3%となっている。

小学生の保護者は、「楽しんでいる」が57.1%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が19.0%、「あまり楽しんでいない」が11.9%、「楽しんでいない」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「楽しんでいる」が50.3%で最も多く、次いで「あまり楽しんでいない」が18.4%、「とても楽しんでいる」が15.6%、「楽しんでいない」が4.8%となっている。

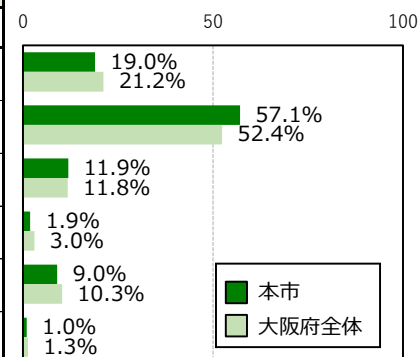
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
とても楽しんでいる	71名	17.9%	8,791名	20.3%
楽しんでいる	214名	54.0%	22,555名	52.1%
あまり楽しんでいない	59名	14.9%	5,466名	12.6%
楽しんでいない	13名	3.3%	1,411名	3.3%
わからない	36名	9.1%	4,473名	10.3%
無回答	3名	0.8%	604名	1.4%



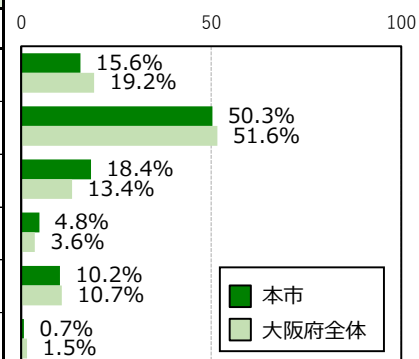
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
とても楽しんでいる	40名	19.0%	4,835名	21.2%
楽しんでいる	120名	57.1%	11,934名	52.4%
あまり楽しんでいない	25名	11.9%	2,699名	11.8%
楽しんでいない	4名	1.9%	680名	3.0%
わからない	19名	9.0%	2,340名	10.3%
無回答	2名	1.0%	298名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
とても楽しんでいる	23名	15.6%	3,719名	19.2%
楽しんでいる	74名	50.3%	9,994名	51.6%
あまり楽しんでいない	27名	18.4%	2,592名	13.4%
楽しんでいない	7名	4.8%	690名	3.6%
わからない	15名	10.2%	2,070名	10.7%
無回答	1名	0.7%	300名	1.5%



保護者のことについて

問21（2）将来に対して希望を持っているか

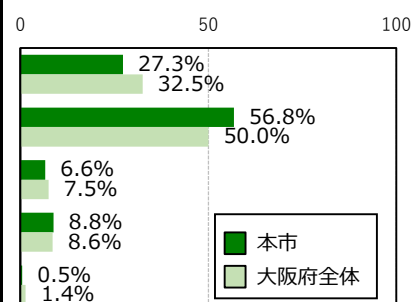
保護者全体は、「希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある」が56.8%で最も多く、次いで「希望が持てる」が27.3%、「希望が持てない」が6.6%となっている。

小学生の保護者は、「希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある」が54.3%で最も多く、次いで「希望が持てる」が31.9%、「希望が持てない」が5.7%となっている。

中学生の保護者は、「希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある」が57.8%で最も多く、次いで「希望が持てる」が21.8%、「希望が持てない」が8.2%となっている。

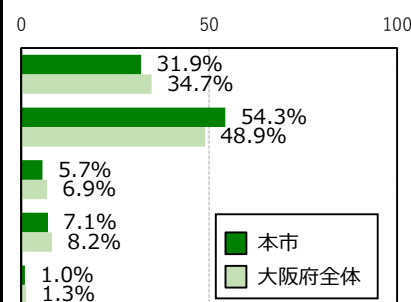
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
希望が持てる	108名	27.3%	14,080名	32.5%
希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある	225名	56.8%	21,662名	50.0%
希望が持てない	26名	6.6%	3,239名	7.5%
わからない	35名	8.8%	3,718名	8.6%
無回答	2名	0.5%	601名	1.4%



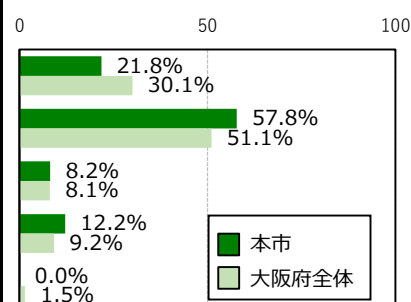
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
希望が持てる	67名	31.9%	7,896名	34.7%
希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある	114名	54.3%	11,142名	48.9%
希望が持てない	12名	5.7%	1,575名	6.9%
わからない	15名	7.1%	1,874名	8.2%
無回答	2名	1.0%	299名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
希望が持てる	32名	21.8%	5,831名	30.1%
希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある	85名	57.8%	9,890名	51.1%
希望が持てない	12名	8.2%	1,574名	8.1%
わからない	18名	12.2%	1,774名	9.2%
無回答	-	-	296名	1.5%



保護者のことについて

問21（3）ストレスを発散できるものがあるか

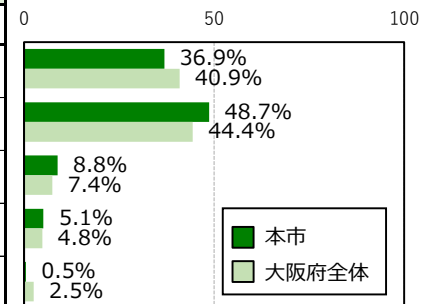
保護者全体は、「あるときもあれば、ないときもある」が48.7%で最も多く、次いで「ある」が36.9%、「ない」が8.8%となっている。

小学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が48.1%で最も多く、次いで「ある」が39.0%、「ない」が6.7%となっている。

中学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が46.9%で最も多く、次いで「ある」が36.1%、「ない」が11.6%となっている。

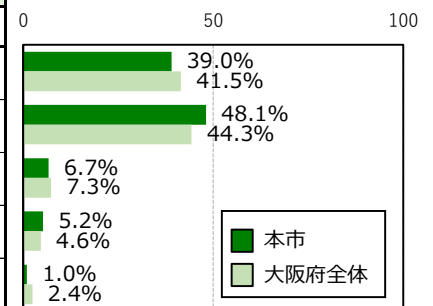
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	146名	36.9%	17,707名	40.9%
あるときもあれば、ないときもある	193名	48.7%	19,240名	44.4%
ない	35名	8.8%	3,221名	7.4%
わからない	20名	5.1%	2,061名	4.8%
無回答	2名	0.5%	1,071名	2.5%



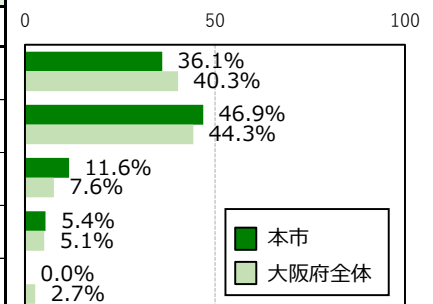
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	82名	39.0%	9,455名	41.5%
あるときもあれば、ないときもある	101名	48.1%	10,090名	44.3%
ない	14名	6.7%	1,668名	7.3%
わからない	11名	5.2%	1,037名	4.6%
無回答	2名	1.0%	536名	2.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	53名	36.1%	7,803名	40.3%
あるときもあれば、ないときもある	69名	46.9%	8,576名	44.3%
ない	17名	11.6%	1,467名	7.6%
わからない	8名	5.4%	990名	5.1%
無回答	-	-	529名	2.7%



保護者のことについて

問21（４）自分が幸せだと思うか

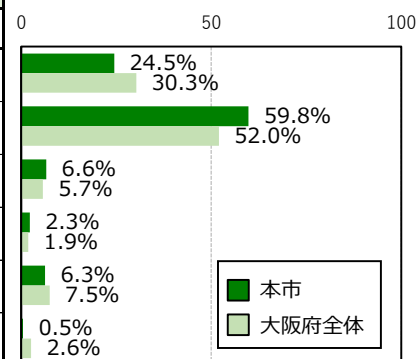
保護者全体は、「幸せだと思う」が59.8%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が24.5%、「あまり幸せだと思わない」が6.6%、「幸せだと思わない」が2.3%となっている。

小学生の保護者は、「幸せだと思う」が59.5%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が27.6%、「あまり幸せだと思わない」が4.8%、「幸せだと思わない」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「幸せだと思う」が59.2%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が21.1%、「あまり幸せだと思わない」が8.8%、「幸せだと思わない」が2.0%となっている。

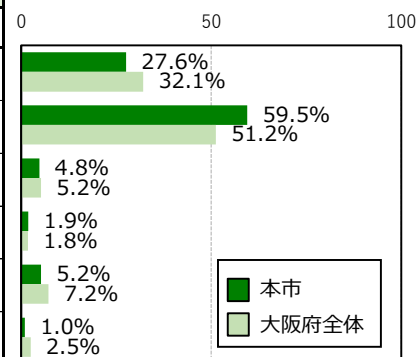
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
とても幸せだと思う	97名	24.5%	13,119名	30.3%
幸せだと思う	237名	59.8%	22,517名	52.0%
あまり幸せだと思わない	26名	6.6%	2,464名	5.7%
幸せだと思わない	9名	2.3%	819名	1.9%
わからない	25名	6.3%	3,246名	7.5%
無回答	2名	0.5%	1,135名	2.6%



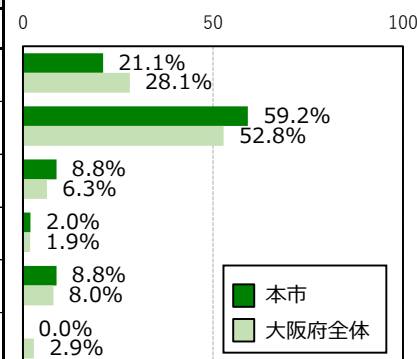
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
とても幸せだと思う	58名	27.6%	7,323名	32.1%
幸せだと思う	125名	59.5%	11,664名	51.2%
あまり幸せだと思わない	10名	4.8%	1,176名	5.2%
幸せだと思わない	4名	1.9%	413名	1.8%
わからない	11名	5.2%	1,640名	7.2%
無回答	2名	1.0%	570名	2.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
とても幸せだと思う	31名	21.1%	5,439名	28.1%
幸せだと思う	87名	59.2%	10,225名	52.8%
あまり幸せだと思わない	13名	8.8%	1,211名	6.3%
幸せだと思わない	3名	2.0%	376名	1.9%
わからない	13名	8.8%	1,555名	8.0%
無回答	-	-	559名	2.9%



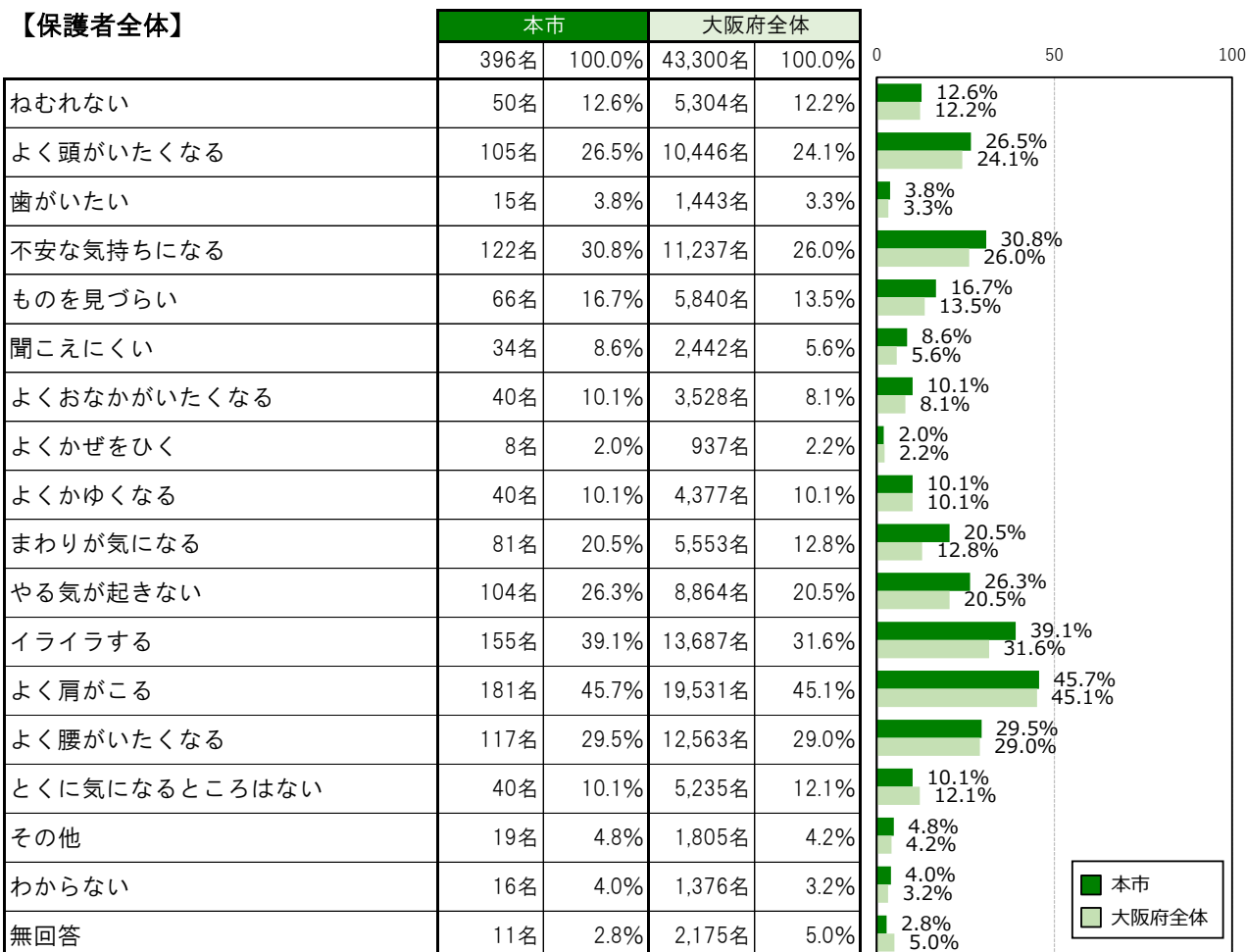
保護者のことについて

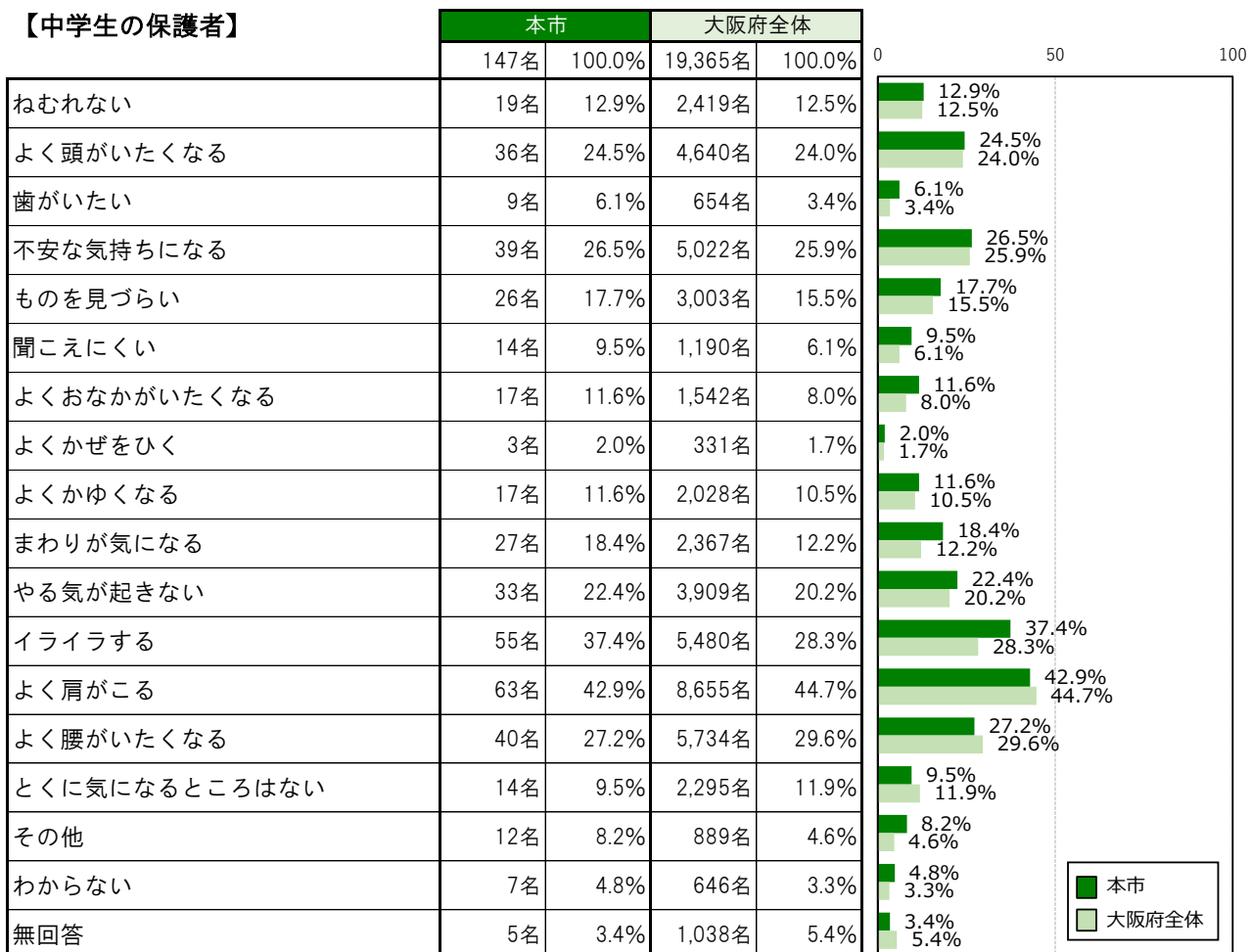
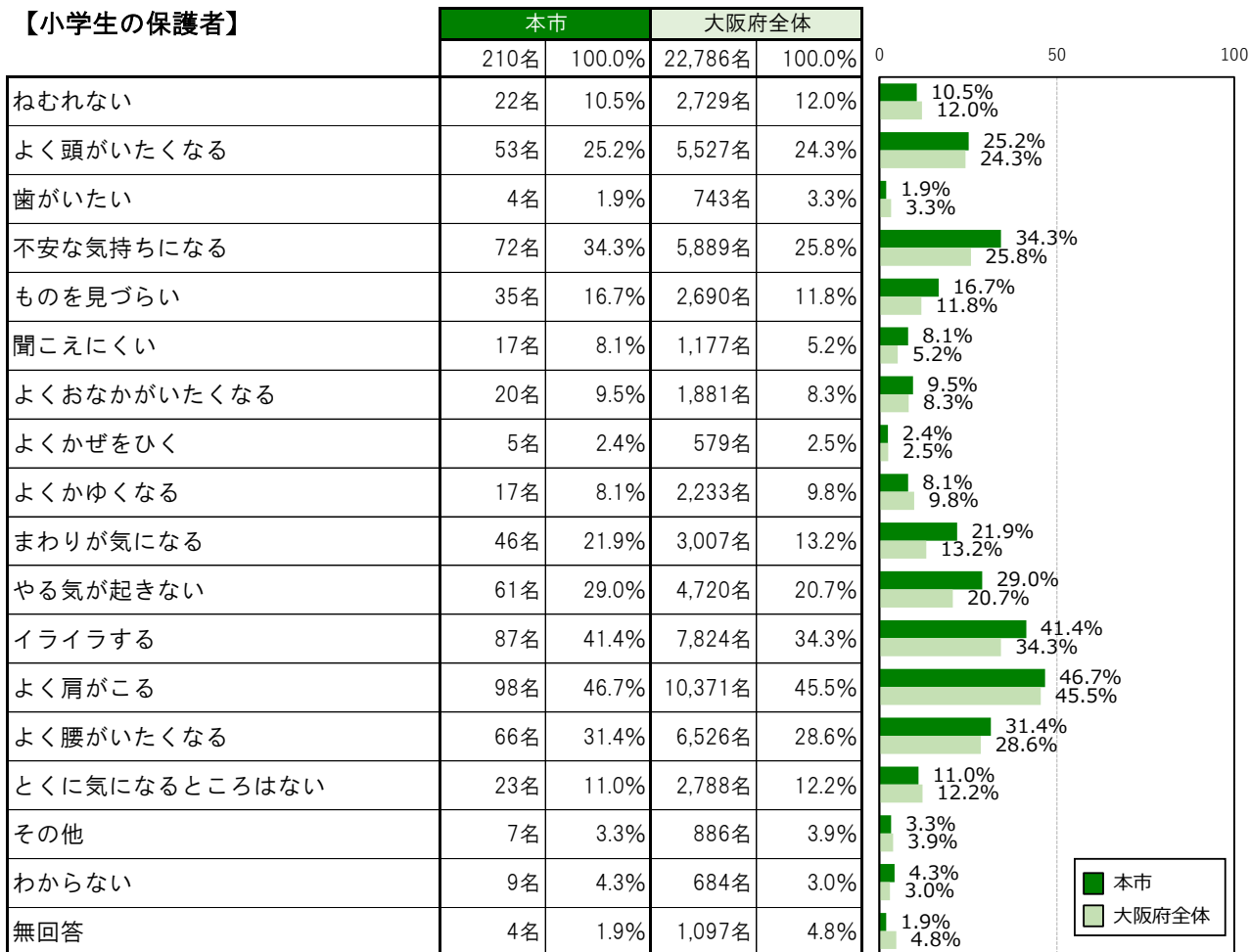
問22 自分の体や気持ちで気になること

保護者全体は、「よく肩がこる」が45.7%で最も多く、次いで「イライラする」が39.1%、「不安な気持ちになる」が30.8%、「よく腰がいたくなる」が29.5%となっている。

小学生の保護者は、「よく肩がこる」が46.7%で最も多く、次いで「イライラする」が41.4%、「不安な気持ちになる」が34.3%、「よく腰がいたくなる」が31.4%となっている。

中学生の保護者は、「よく肩がこる」が42.9%で最も多く、次いで「イライラする」が37.4%、「よく腰がいたくなる」が27.2%、「不安な気持ちになる」が26.5%となっている。





保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助

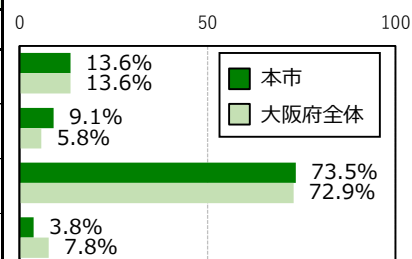
保護者全体は、「利用したことがない」が73.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が13.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が9.1%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が75.2%で最も多く、次いで「現在利用している」が11.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が8.1%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が69.4%で最も多く、次いで「現在利用している」が17.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が10.2%となっている。

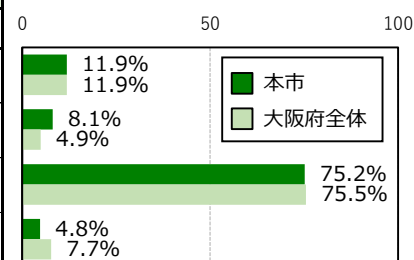
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
現在利用している	54名	13.6%	5,869名	13.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	36名	9.1%	2,503名	5.8%
利用したことがない	291名	73.5%	31,557名	72.9%
無回答	15名	3.8%	3,371名	7.8%



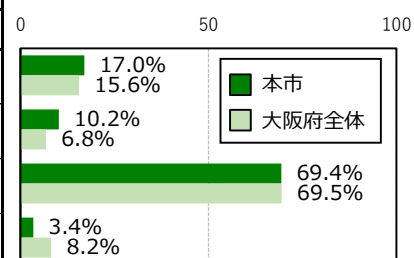
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
現在利用している	25名	11.9%	2,714名	11.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	17名	8.1%	1,110名	4.9%
利用したことがない	158名	75.2%	17,198名	75.5%
無回答	10名	4.8%	1,764名	7.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
現在利用している	25名	17.0%	3,020名	15.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	15名	10.2%	1,308名	6.8%
利用したことがない	102名	69.4%	13,453名	69.5%
無回答	5名	3.4%	1,584名	8.2%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助 <利用したことがない理由>

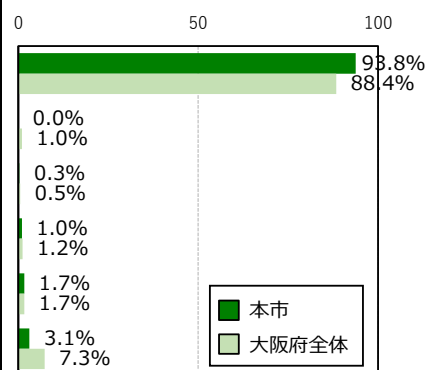
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が93.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.7%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が95.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.2%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が2.9%、「それ以外の理由」が2.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.0%となっている。

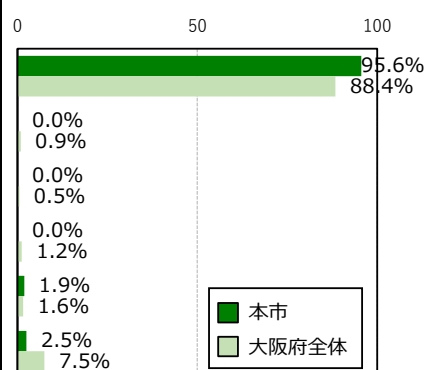
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	291名	100.0%	31,557名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	273名	93.8%	27,883名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	315名	1.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.3%	161名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	1.0%	382名	1.2%
それ以外の理由	5名	1.7%	524名	1.7%
無回答	9名	3.1%	2,292名	7.3%



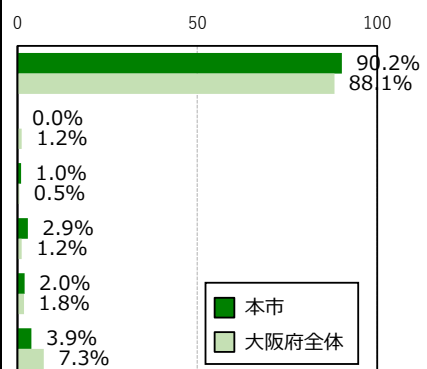
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	158名	100.0%	17,198名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	151名	95.6%	15,195名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	153名	0.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	87名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	209名	1.2%
それ以外の理由	3名	1.9%	270名	1.6%
無回答	4名	2.5%	1,284名	7.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	102名	100.0%	13,453名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	92名	90.2%	11,847名	88.1%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	157名	1.2%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	1.0%	69名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	2.9%	156名	1.2%
それ以外の理由	2名	2.0%	236名	1.8%
無回答	4名	3.9%	988名	7.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護

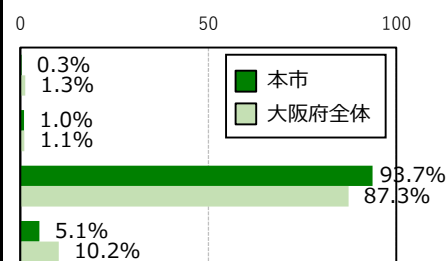
保護者全体は、「利用したことがない」が93.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が92.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.4%となっている。

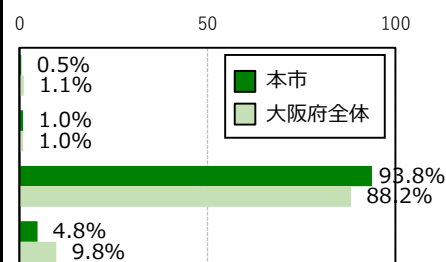
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.3%	580名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	1.0%	497名	1.1%
利用したことがない	371名	93.7%	37,793名	87.3%
無回答	20名	5.1%	4,430名	10.2%



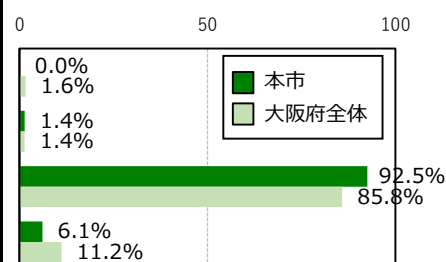
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.5%	254名	1.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	1.0%	218名	1.0%
利用したことがない	197名	93.8%	20,090名	88.2%
無回答	10名	4.8%	2,224名	9.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	-	-	316名	1.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	1.4%	267名	1.4%
利用したことがない	136名	92.5%	16,608名	85.8%
無回答	9名	6.1%	2,174名	11.2%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護 <利用したことがない理由>

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が93.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.9%となっている。

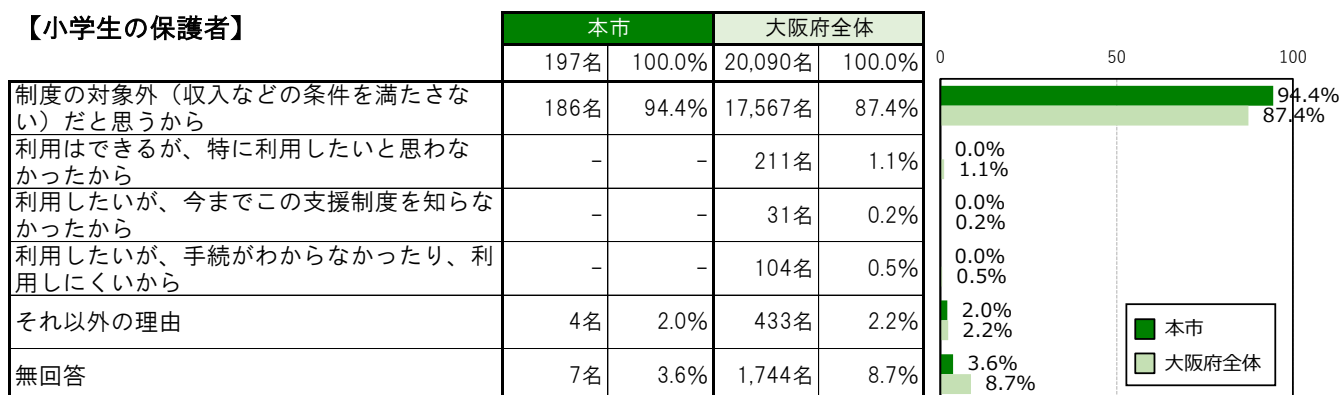
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が94.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.0%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.2%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.5%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



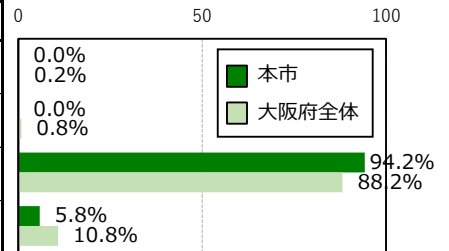
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口

保護者全体は、「利用したことがない」が94.2%と最も多くなっている。
 小学生の保護者は、「利用したことがない」が94.8%と最も多くなっている。
 中学生の保護者は、「利用したことがない」が92.5%と最も多くなっている。

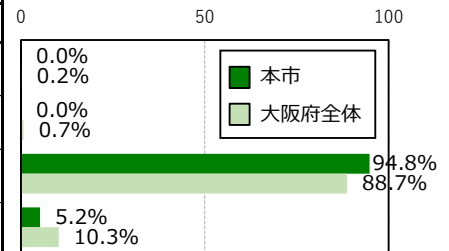
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	-	-	101名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	-	-	338名	0.8%
利用したことがない	373名	94.2%	38,173名	88.2%
無回答	23名	5.8%	4,688名	10.8%



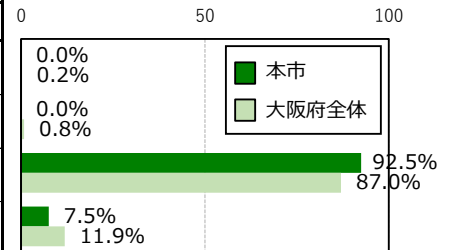
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	-	-	55名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	-	-	163名	0.7%
利用したことがない	199名	94.8%	20,220名	88.7%
無回答	11名	5.2%	2,348名	10.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	-	-	44名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	-	-	162名	0.8%
利用したことがない	136名	92.5%	16,851名	87.0%
無回答	11名	7.5%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口 <利用したことがない理由>

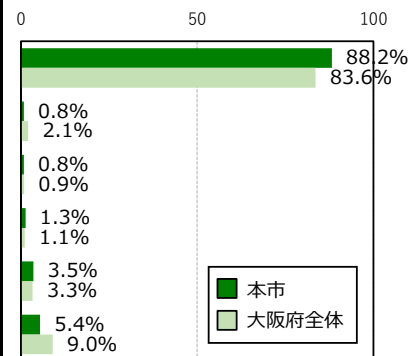
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」がそれぞれ1.0%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.0%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」、「それ以外の理由」がそれぞれ3.7%となっている。

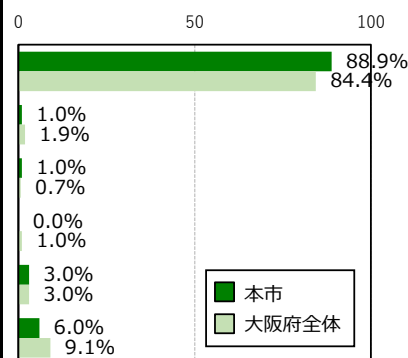
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	373名	100.0%	38,173名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	329名	88.2%	31,919名	83.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	0.8%	790名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.8%	332名	0.9%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	5名	1.3%	410名	1.1%
それ以外の理由	13名	3.5%	1,275名	3.3%
無回答	20名	5.4%	3,447名	9.0%



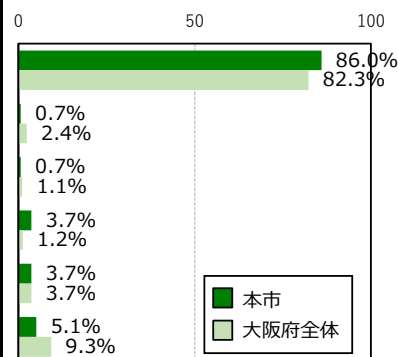
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	199名	100.0%	20,220名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	177名	88.9%	17,059名	84.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	1.0%	382名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	1.0%	134名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	193名	1.0%
それ以外の理由	6名	3.0%	609名	3.0%
無回答	12名	6.0%	1,843名	9.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	136名	100.0%	16,851名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	117名	86.0%	13,863名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1名	0.7%	397名	2.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.7%	192名	1.1%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	5名	3.7%	204名	1.2%
それ以外の理由	5名	3.7%	625名	3.7%
無回答	7名	5.1%	1,570名	9.3%



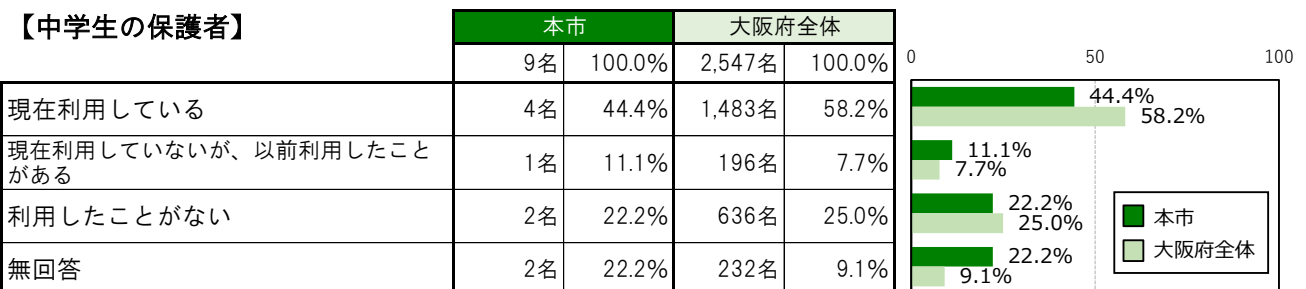
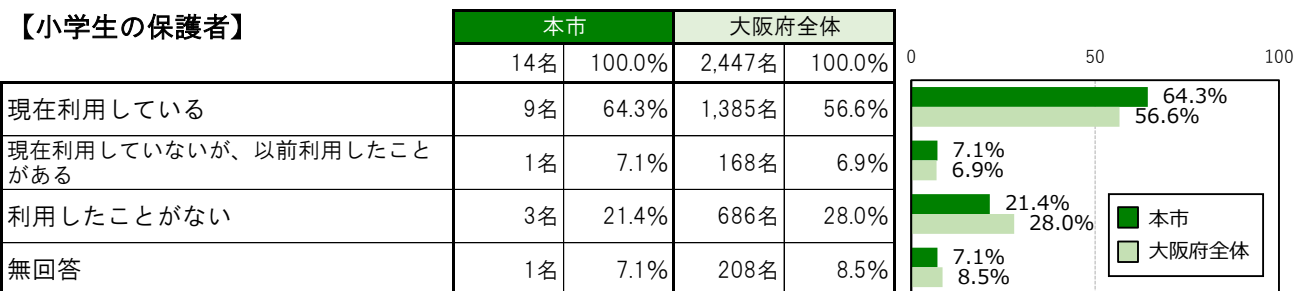
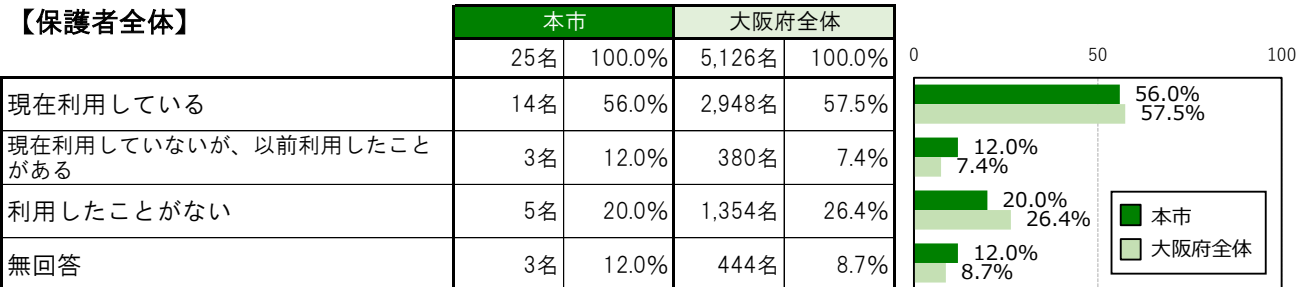
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当（ひとり親世帯のみ）

保護者全体は、「現在利用している」が56.0%（14名）で最も多く、次いで「利用したことがない」が20.0%（5名）、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が12.0%（3名）となっている。

小学生の保護者は、「現在利用している」が64.3%（9名）で最も多く、次いで「利用したことがない」が21.4%（3名）、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.1%（1名）となっている。

中学生の保護者は、「現在利用している」が44.4%（4名）で最も多く、次いで「利用したことがない」が22.2%（2名）、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が11.1%（1名）となっている。



※ ひとり親世帯のみで集計。

保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当 <利用したことがない理由> (ひとり親世帯のみ)

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が100.0%（5名）と最も多くなっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が100.0%（3名）と最も多くなっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が100.0%（2名）と最も多くなっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



※ ひとり親世帯のみで集計。

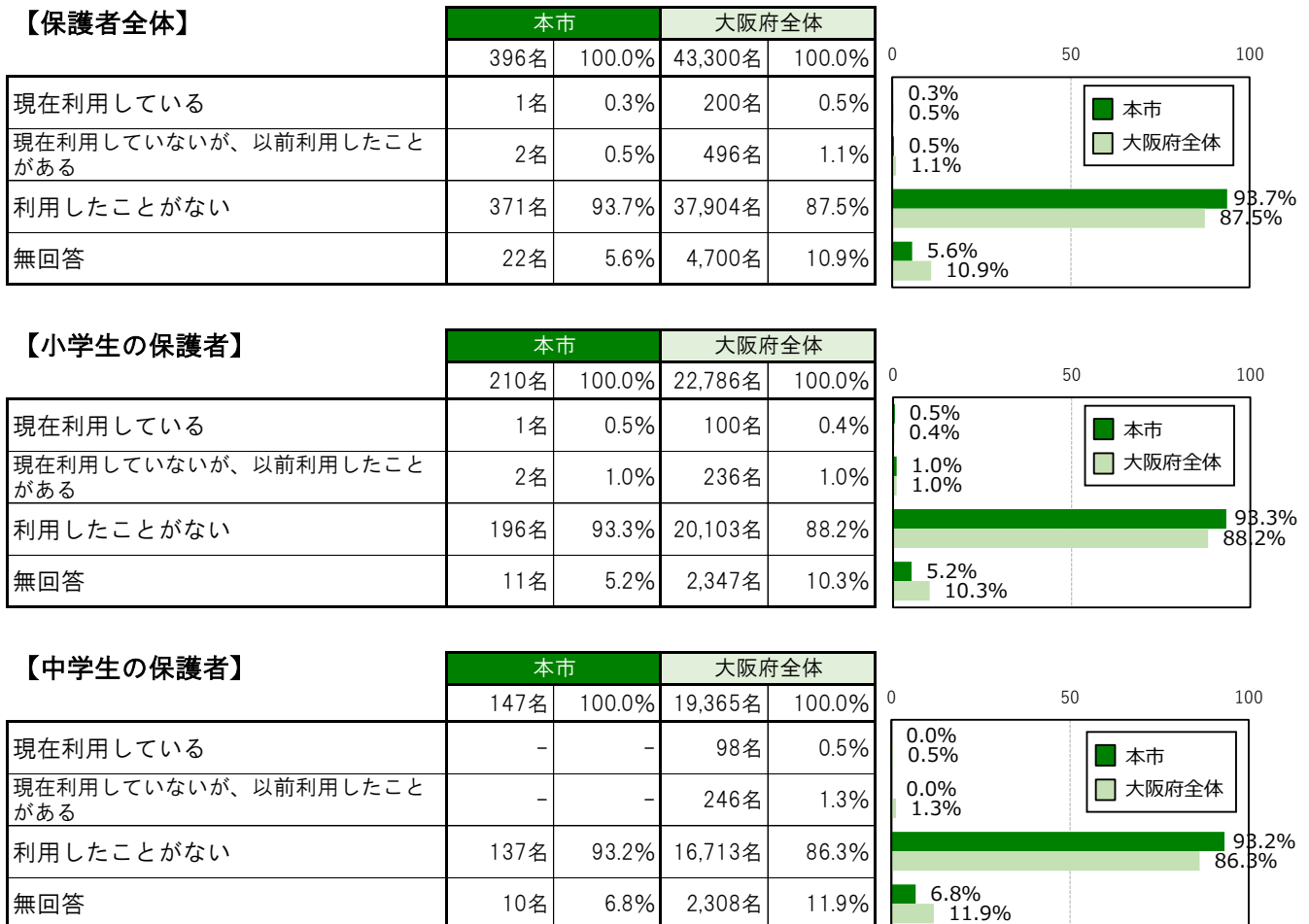
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター

保護者全体は、「利用したことがない」が93.7%で最も多くなっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.3%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が93.2%と最も多くなっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター <利用したことがない理由>

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ1.1%となっている。

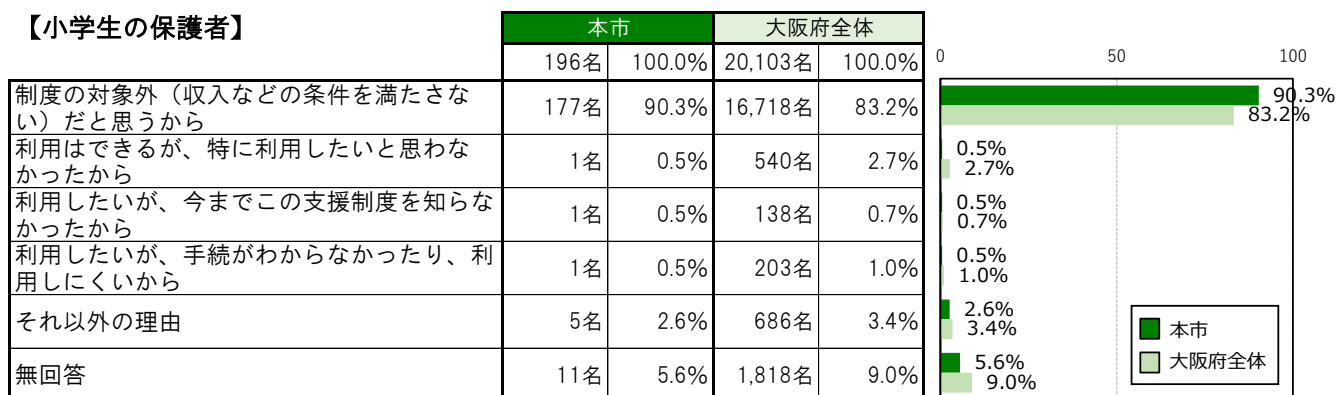
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.6%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.1%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ2.2%となっている。

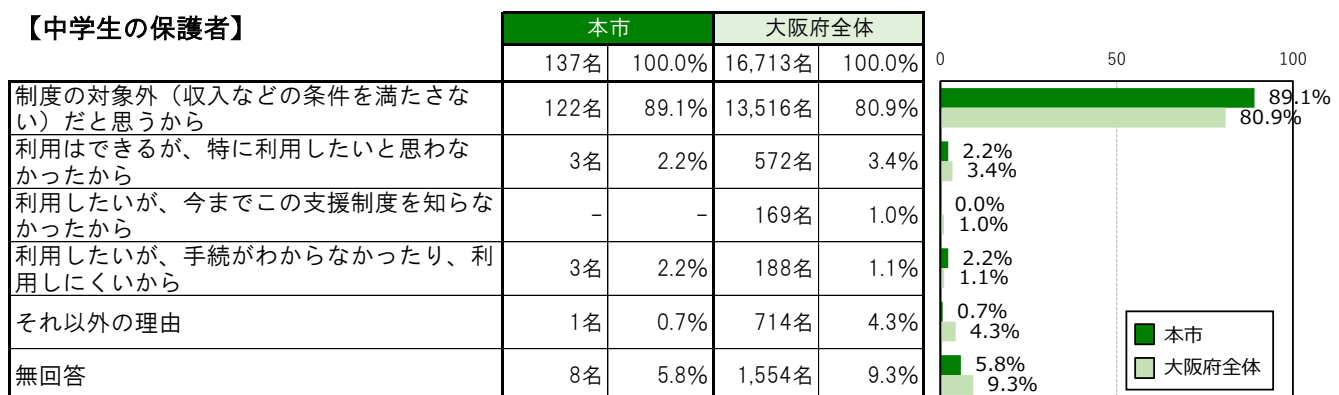
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



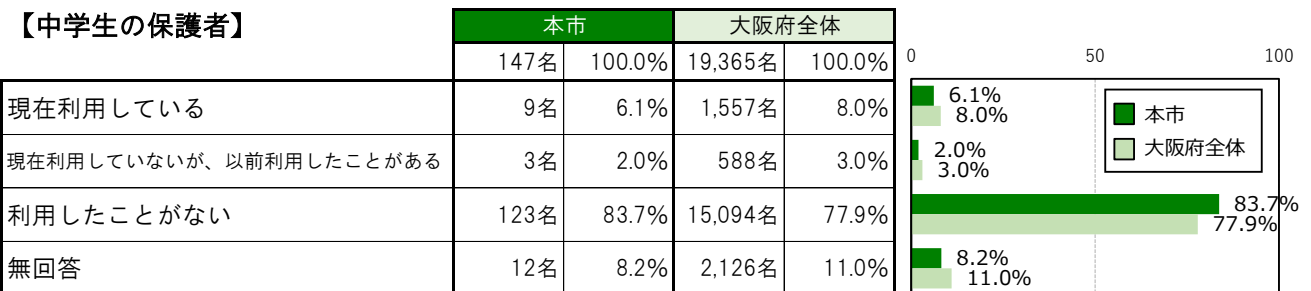
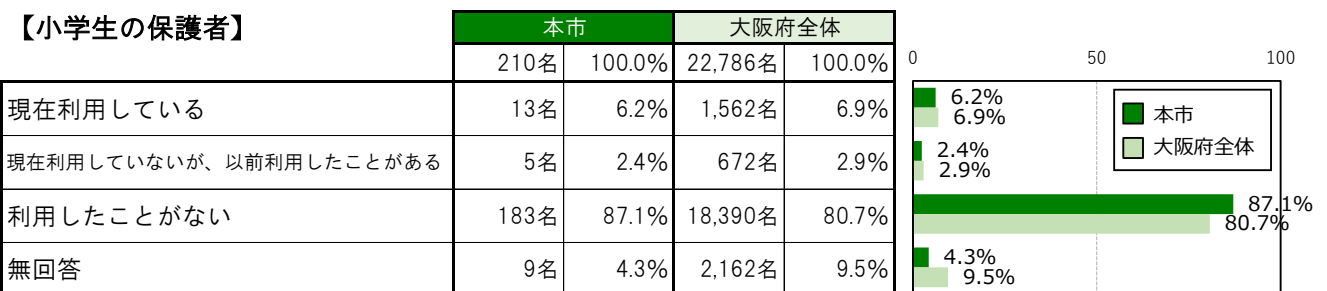
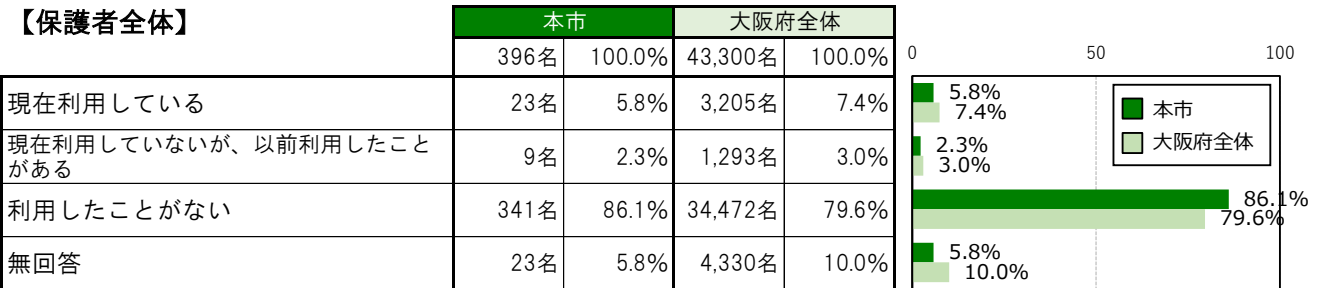
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

保護者全体は、「利用したことがない」が86.1%で最も多く、次いで「現在利用している」が5.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.3%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が87.1%で最も多く、次いで「現在利用している」が6.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.4%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が83.7%で最も多く、次いで「現在利用している」が6.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.0%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 ＜利用したことがない理由＞

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が94.1%で最も多くなっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が94.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.7%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が2.4%となっている。

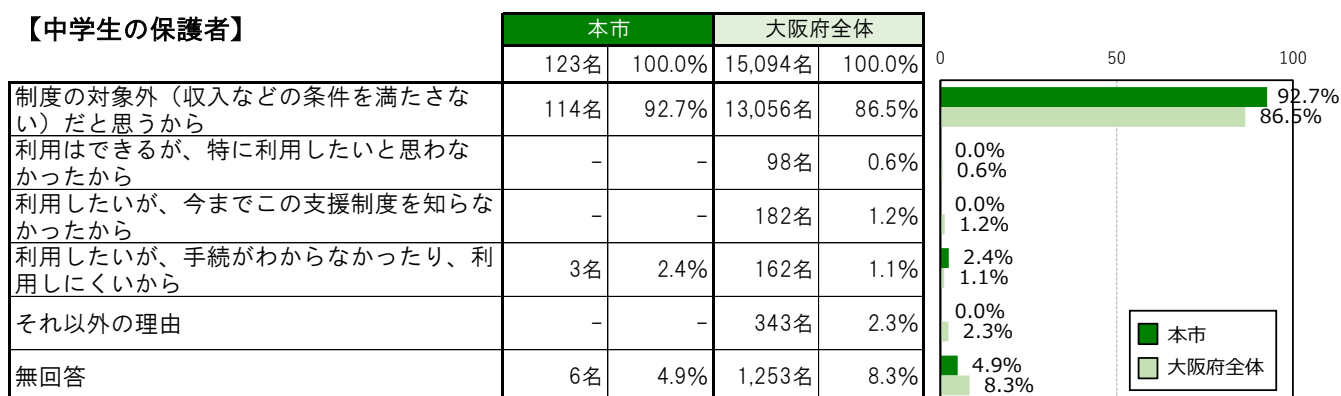
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）

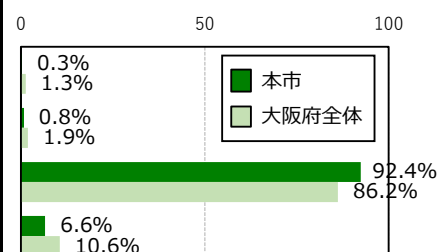
保護者全体は、「利用したことがない」が92.4%で最も多くなっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.3%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が91.2%と最も多くなっている。

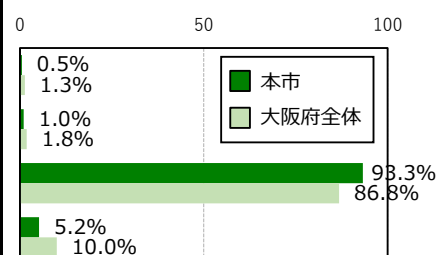
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.3%	569名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	0.8%	814名	1.9%
利用したことがない	366名	92.4%	37,313名	86.2%
無回答	26名	6.6%	4,604名	10.6%



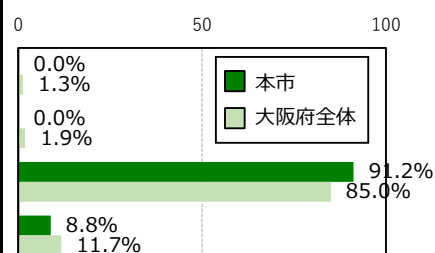
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.5%	298名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	1.0%	419名	1.8%
利用したことがない	196名	93.3%	19,782名	86.8%
無回答	11名	5.2%	2,287名	10.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	-	-	258名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	-	-	372名	1.9%
利用したことがない	134名	91.2%	16,467名	85.0%
無回答	13名	8.8%	2,268名	11.7%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金） ＜利用したことがない理由＞

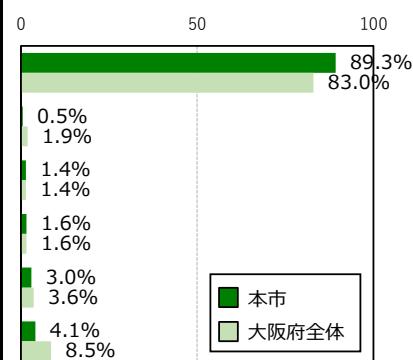
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.6%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.4%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.6%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.5%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.1%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」、「それ以外の理由」がそれぞれ3.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.5%となっている。

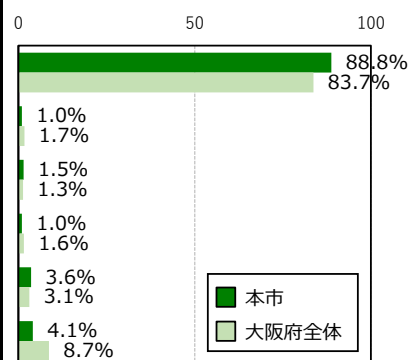
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	366名	100.0%	37,313名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	327名	89.3%	30,971名	83.0%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.5%	708名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	1.4%	529名	1.4%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	6名	1.6%	611名	1.6%
それ以外の理由	11名	3.0%	1,331名	3.6%
無回答	15名	4.1%	3,163名	8.5%



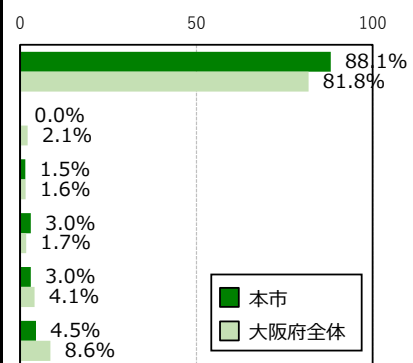
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,782名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	174名	88.8%	16,548名	83.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	1.0%	343名	1.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	1.5%	258名	1.3%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	2名	1.0%	308名	1.6%
それ以外の理由	7名	3.6%	613名	3.1%
無回答	8名	4.1%	1,712名	8.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	134名	100.0%	16,467名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	118名	88.1%	13,474名	81.8%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	350名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	1.5%	263名	1.6%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	4名	3.0%	284名	1.7%
それ以外の理由	4名	3.0%	675名	4.1%
無回答	6名	4.5%	1,421名	8.6%



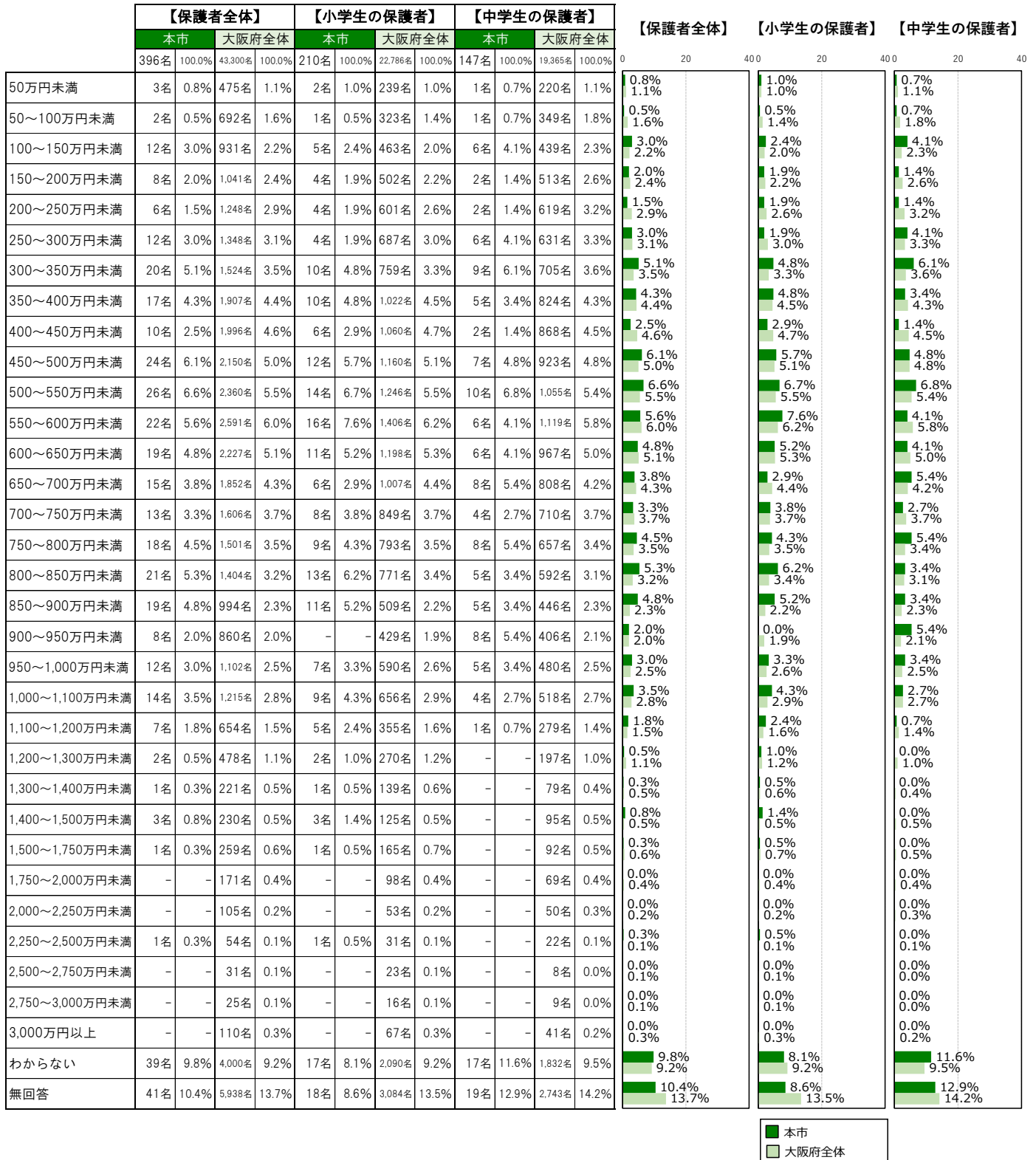
保護者のことについて

問24 世帯収入

保護者全体は、「500～550万円未満」が6.6%で最も多く、次いで「450～500万円未満」が6.1%、「550～600万円未満」が5.6%、「800～850万円未満」が5.3%となっている。

小学生の保護者は、「550～600万円未満」が7.6%で最も多く、次いで「500～550万円未満」が6.7%、「800～850万円未満」が6.2%、「450～500万円未満」が5.7%となっている。

中学生の保護者は、「500～550万円未満」が6.8%で最も多く、次いで「300～350万円未満」が6.1%、「650～700万円未満」、「750～800万円未満」、「900～950万円未満」がそれぞれ5.4%、「450～500万円未満」が4.8%となっている。



世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要がある、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

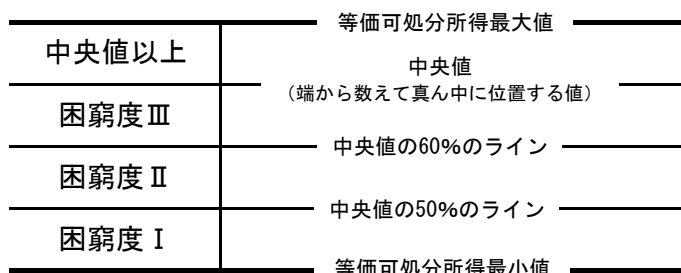
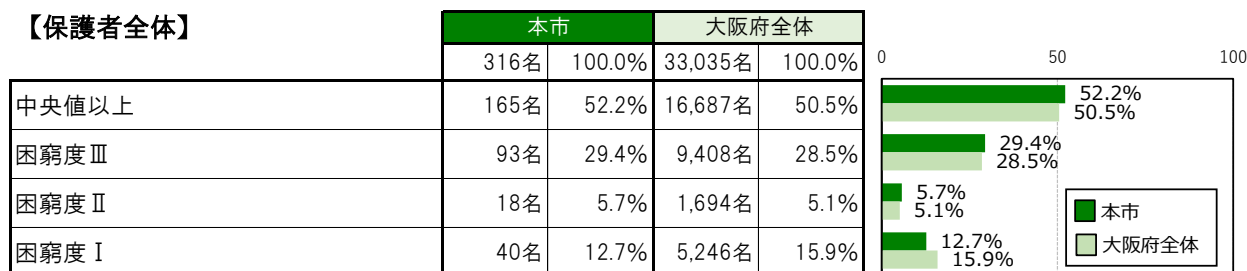


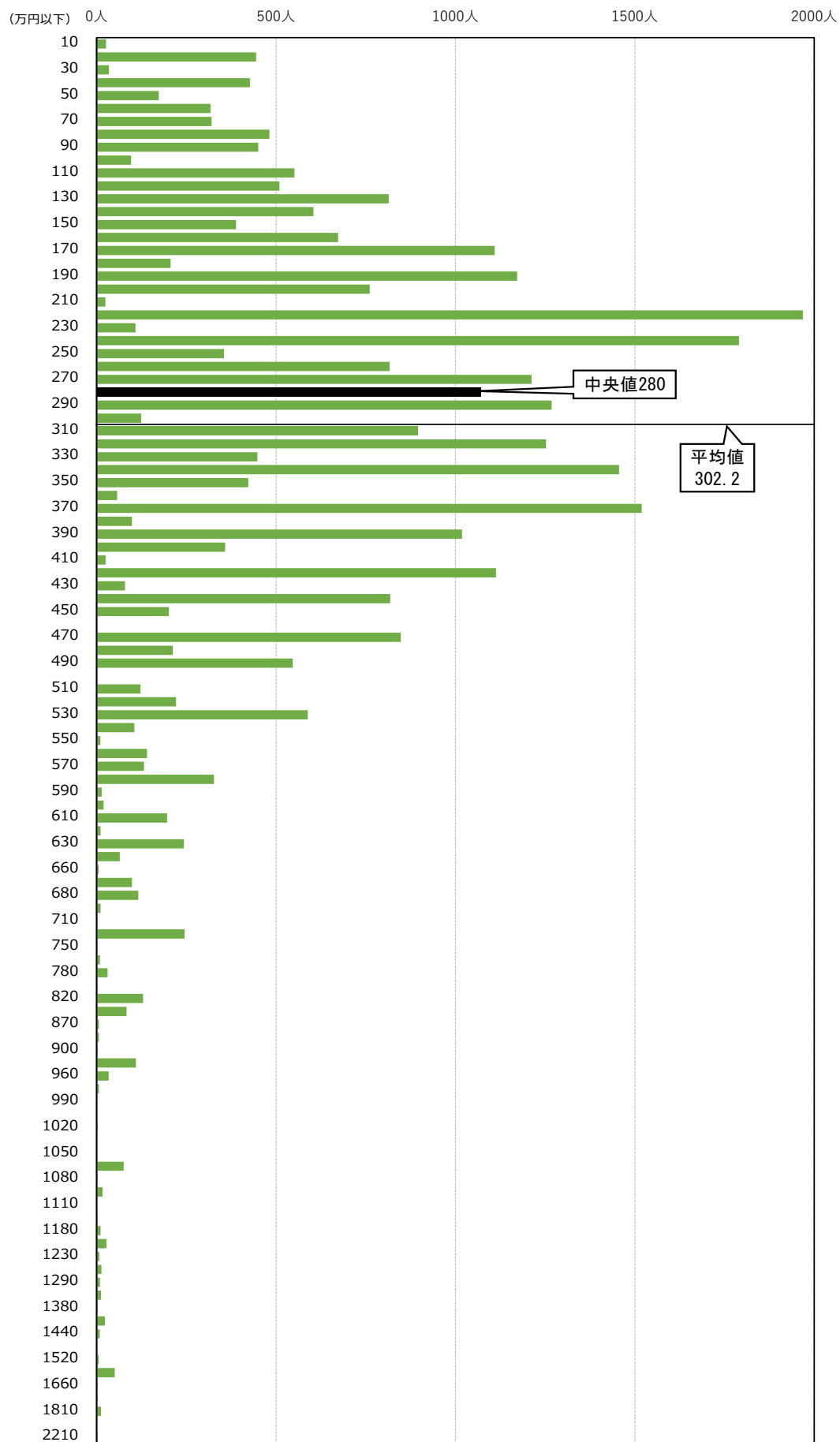
図 困窮度の分類と基準

中央値は288万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は12.7%であった。
なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。

【保護者全体】



保護者全体は、「中央値以上」が52.2%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が29.4%、「困窮度Ⅰ」が12.7%、「困窮度Ⅱ」が5.7%となっている。



※ 2016年度調査では、中央値255万円、平均値272.7万円であった。
注) 2023年度調査ではグラフ作成方法を改訂している。

図 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者のことについて

問25 同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数

保護者全体は、「いない」が29.0%で最も多く、次いで「3回」が17.4%、「1回」が15.9%、「4回」が13.6%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が33.3%で最も多く、次いで「1回」、「4回」がそれぞれ14.8%、「3回」が14.3%、「2回」が10.5%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が23.8%で最も多く、次いで「3回」が20.4%、「1回」が18.4%、「2回」が15.0%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問26（１）住居の間取り

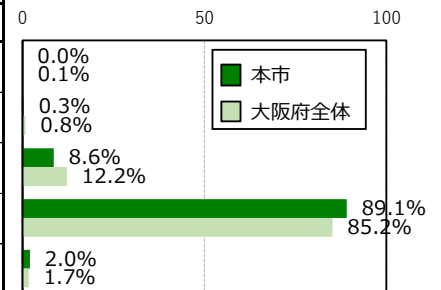
保護者全体は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.1%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が8.6%となっている。

小学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.0%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が8.6%となっている。

中学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が88.4%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が10.2%となっている。

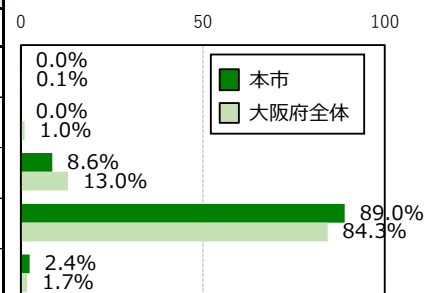
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	396名	100.0%	43,300名	100.0%
ワンルーム	-	-	43名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	1名	0.3%	358名	0.8%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	34名	8.6%	5,272名	12.2%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	353名	89.1%	36,876名	85.2%
無回答	8名	2.0%	751名	1.7%



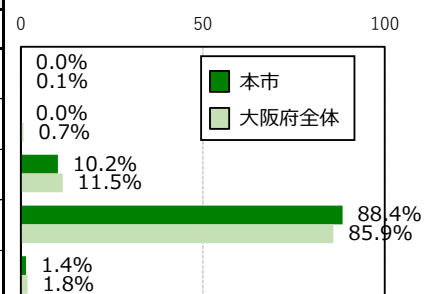
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	210名	100.0%	22,786名	100.0%
ワンルーム	-	-	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	-	-	217名	1.0%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	18名	8.6%	2,951名	13.0%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	187名	89.0%	19,206名	84.3%
無回答	5名	2.4%	391名	1.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	147名	100.0%	19,365名	100.0%
ワンルーム	-	-	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	-	-	134名	0.7%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	15名	10.2%	2,233名	11.5%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	130名	88.4%	16,638名	85.9%
無回答	2名	1.4%	339名	1.8%



保護者のことについて

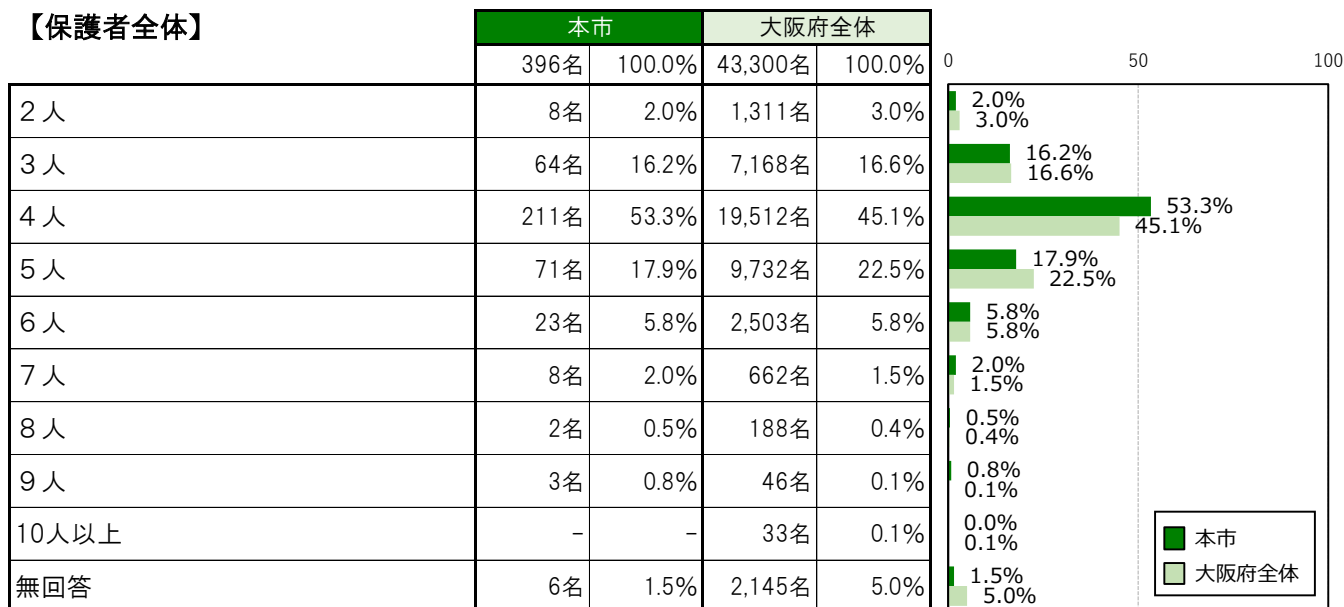
問26（2）同居人数

保護者全体は、「4人」が53.3%で最も多く、次いで「5人」が17.9%、「3人」が16.2%、「6人」が5.8%となっている。

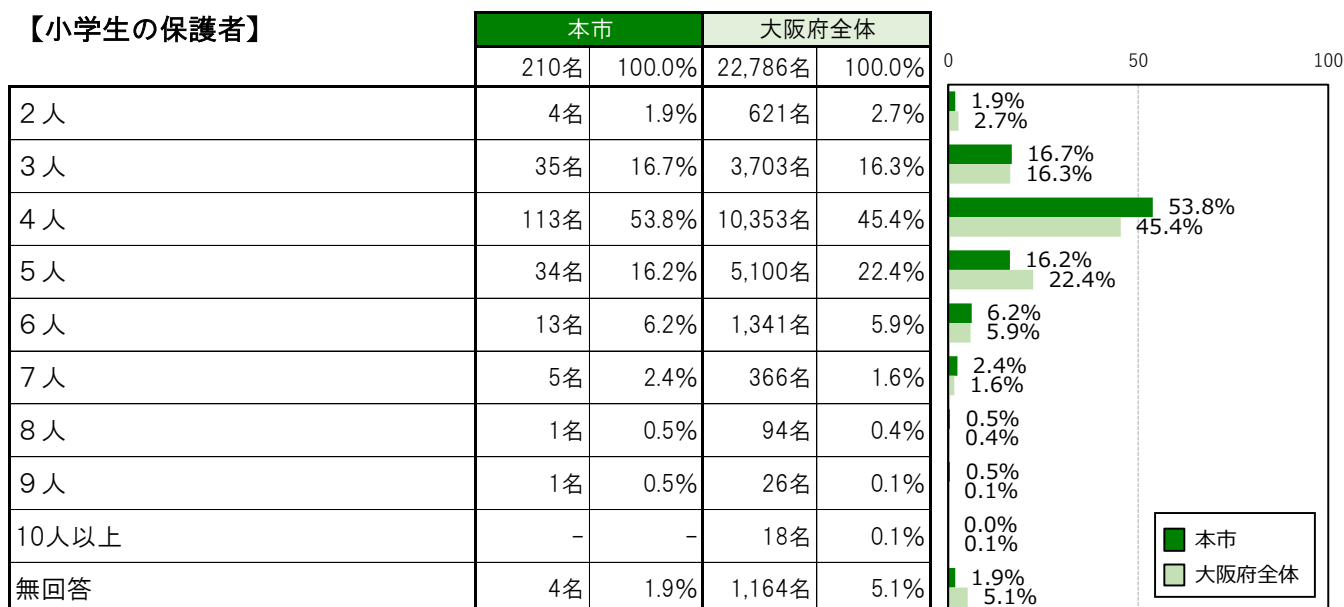
小学生の保護者は、「4人」が53.8%で最も多く、次いで「3人」が16.7%、「5人」が16.2%、「6人」が6.2%となっている。

中学生の保護者は、「4人」が52.4%で最も多く、次いで「5人」が21.8%、「3人」が15.0%、「6人」が4.8%となっている。

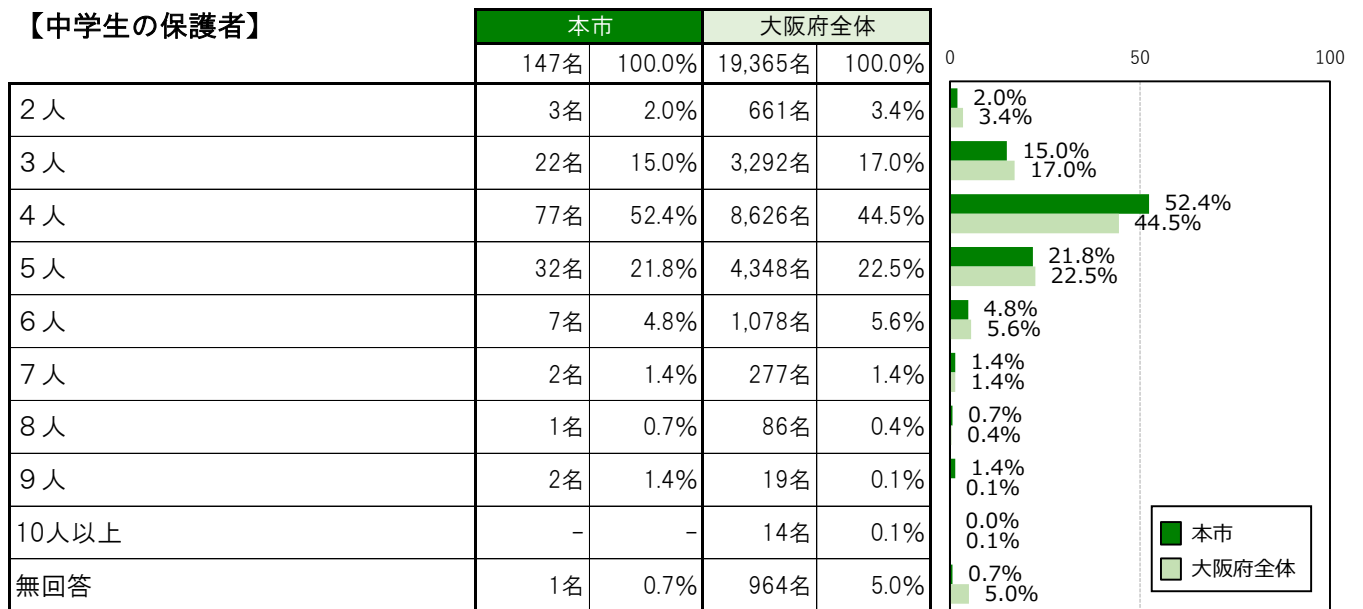
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



3. クロス集計および分析結果

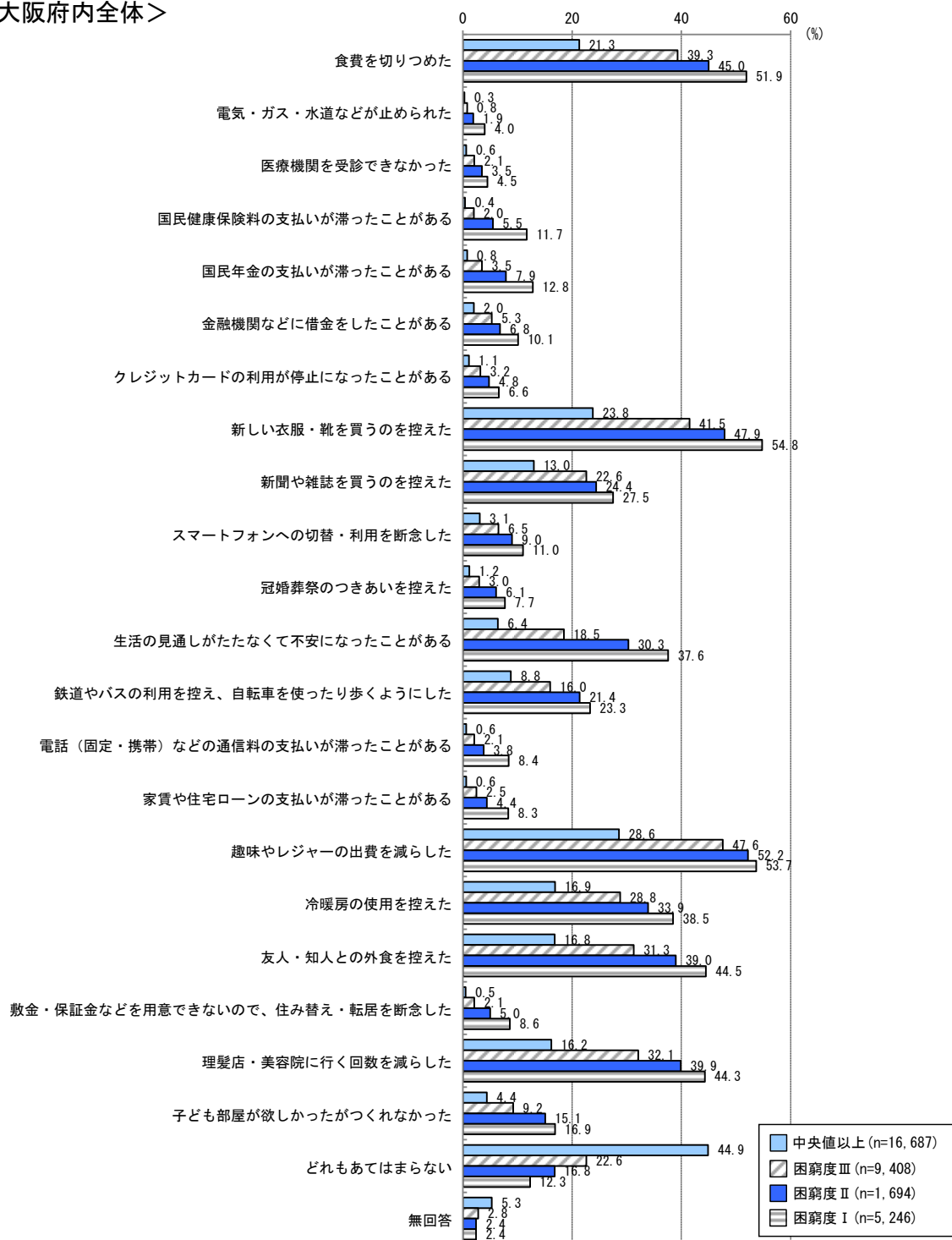
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<摂津市>

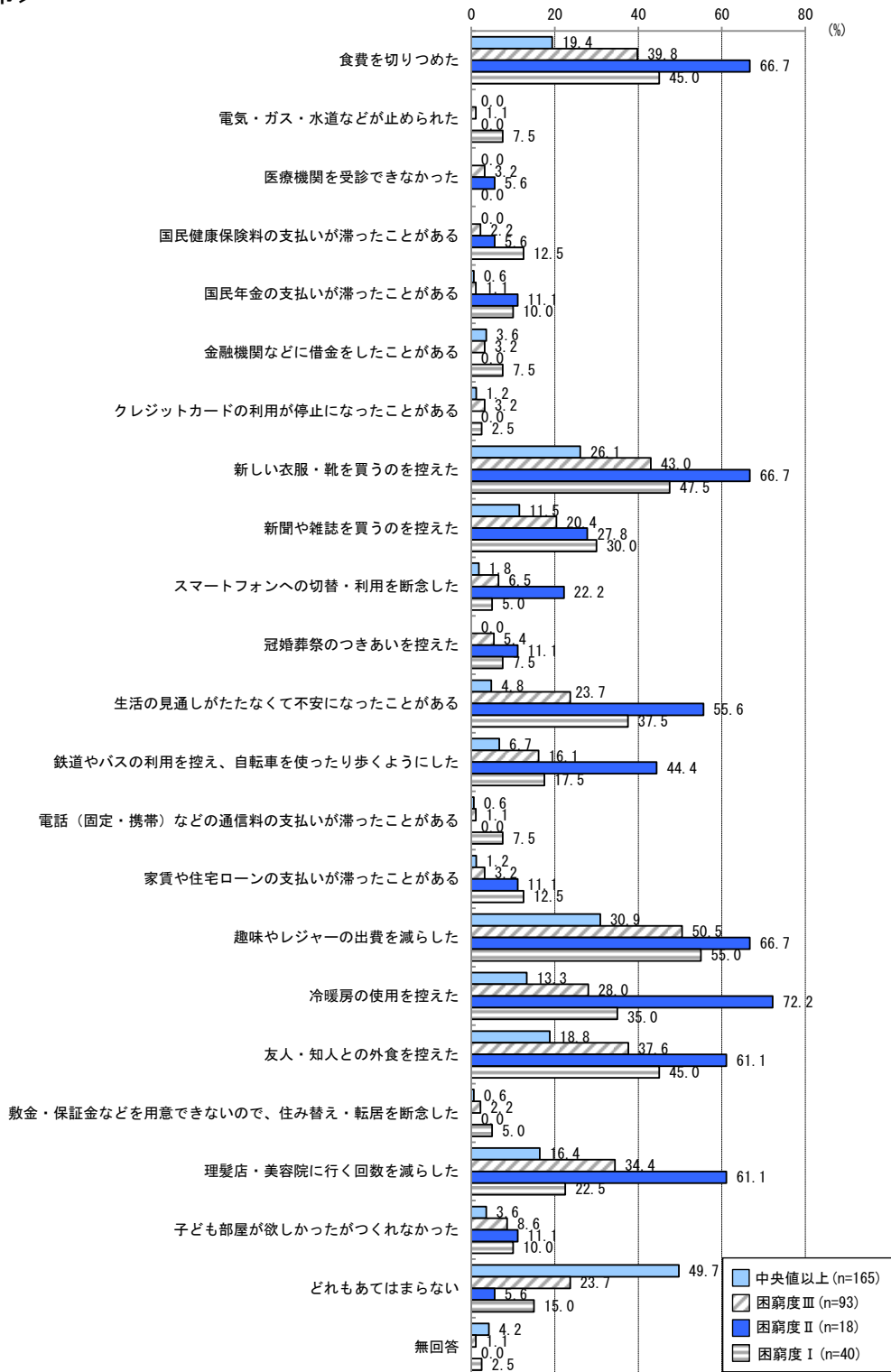
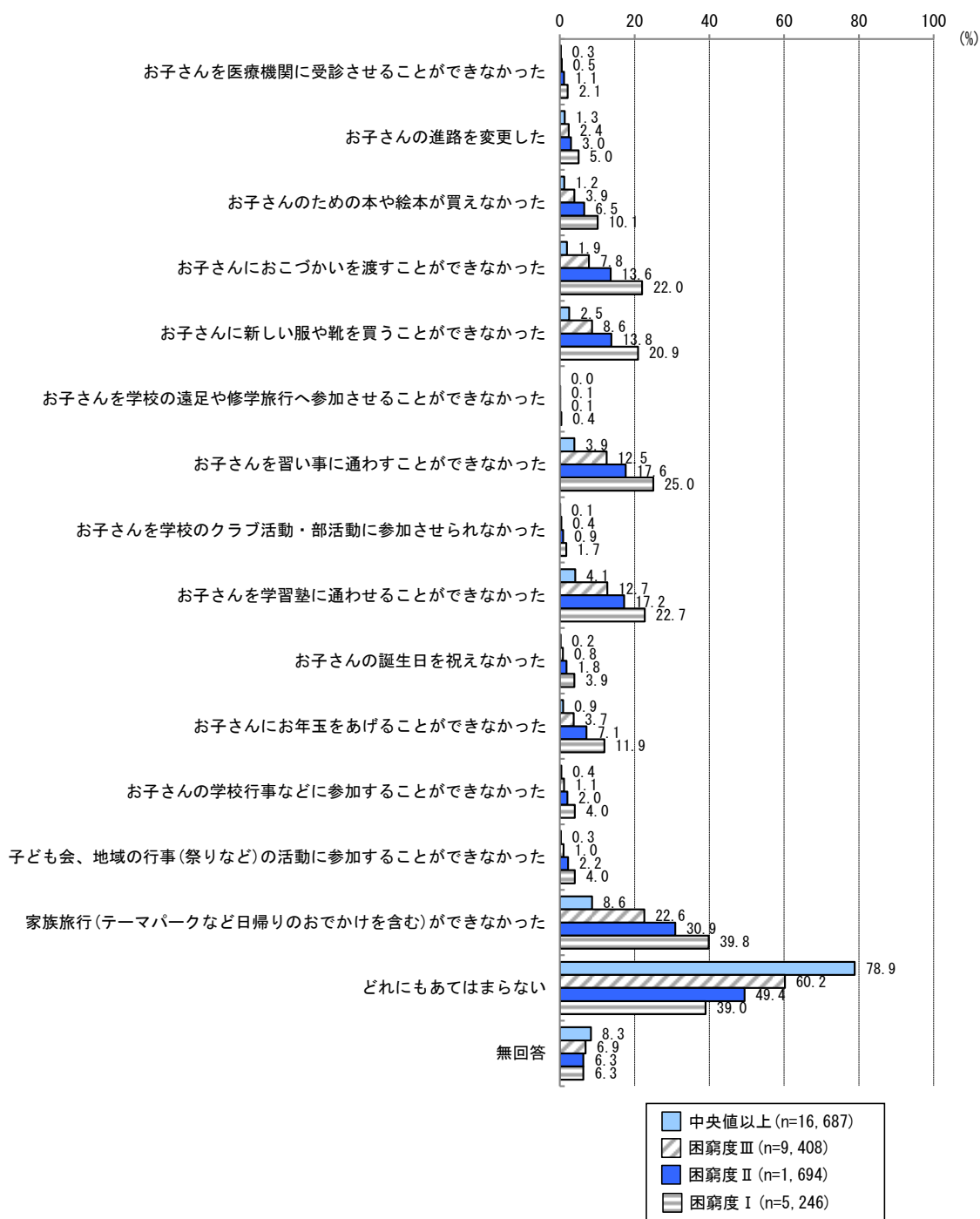


図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「国民年金の支払いが滞ったことがある」が10.0%（中央値以上群に対して16.7倍）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある」が7.5%（同じく12.5倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」が12.5%（同じく10.4倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また「どれもあてはまらない」は中央値以上群で49.7%に対して、困窮度Ⅰ群において15.0%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

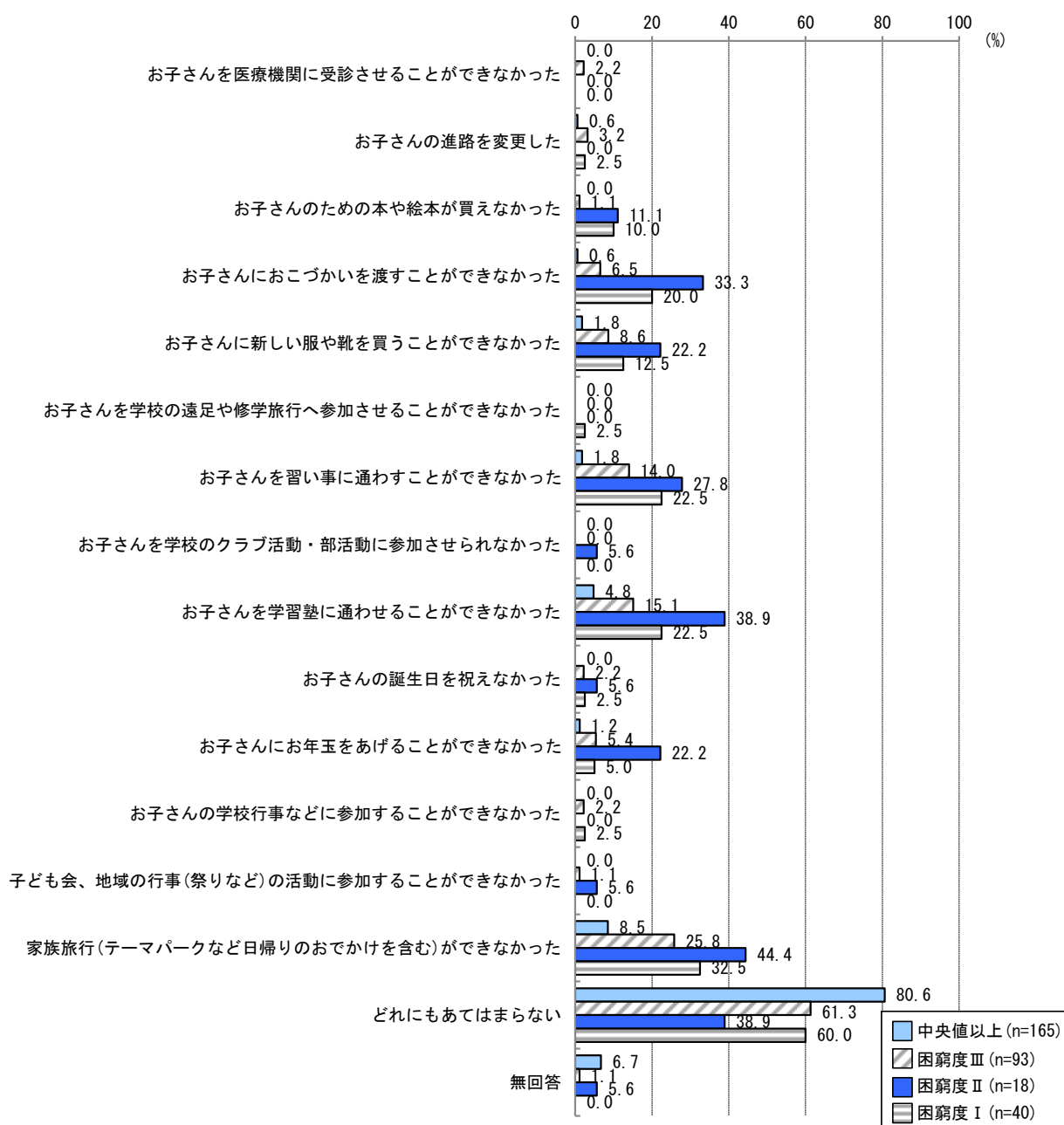


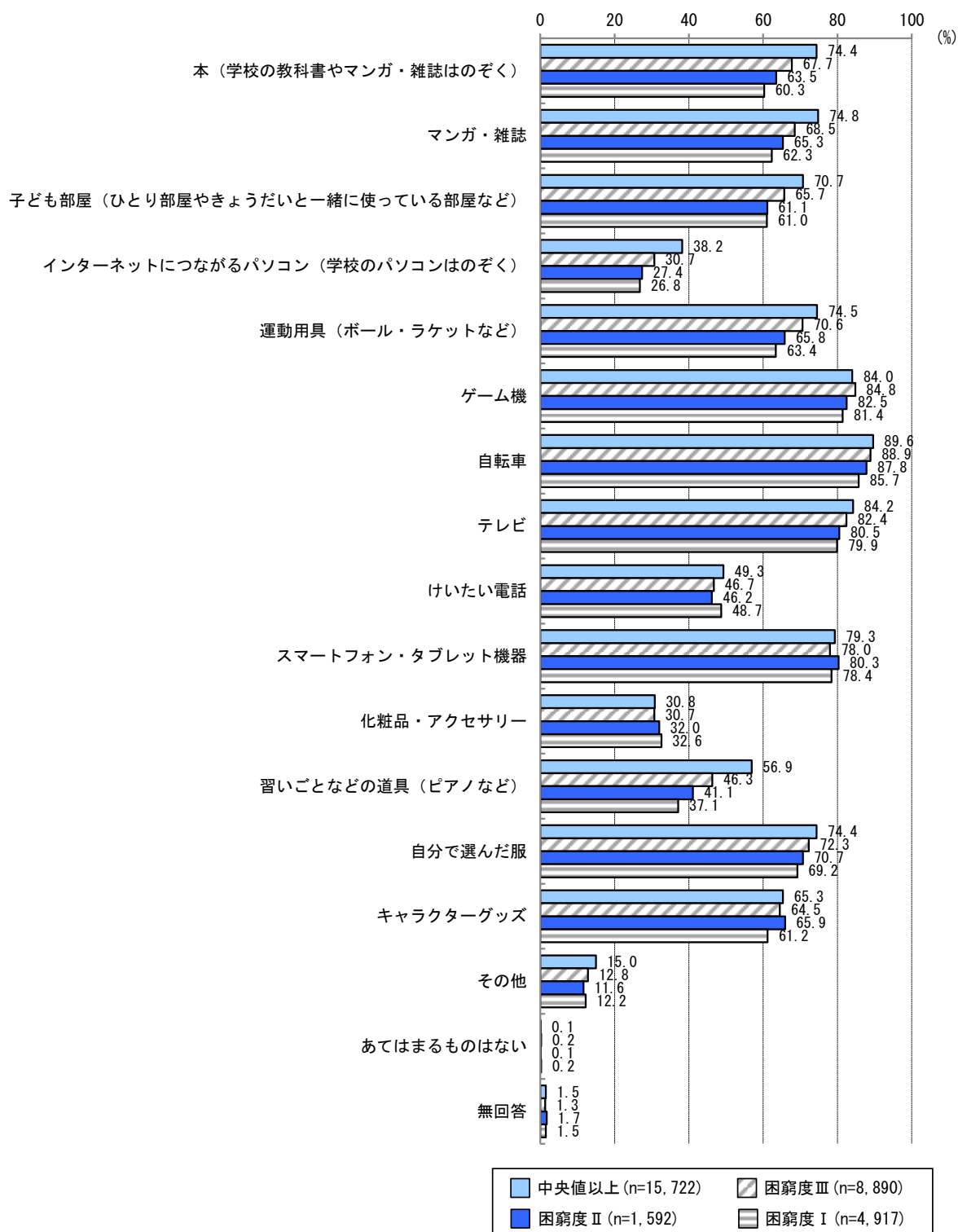
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「お子さんにおこづかいを渡すことができなかった」が20.0%（中央値以上群に対して33.3倍）、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が22.5%（同じく12.5倍）となっている。

また、「どれにもあてはまらない」は中央値以上群で80.6%に対して、困窮度Ⅰ群において60.0%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<摂津市>

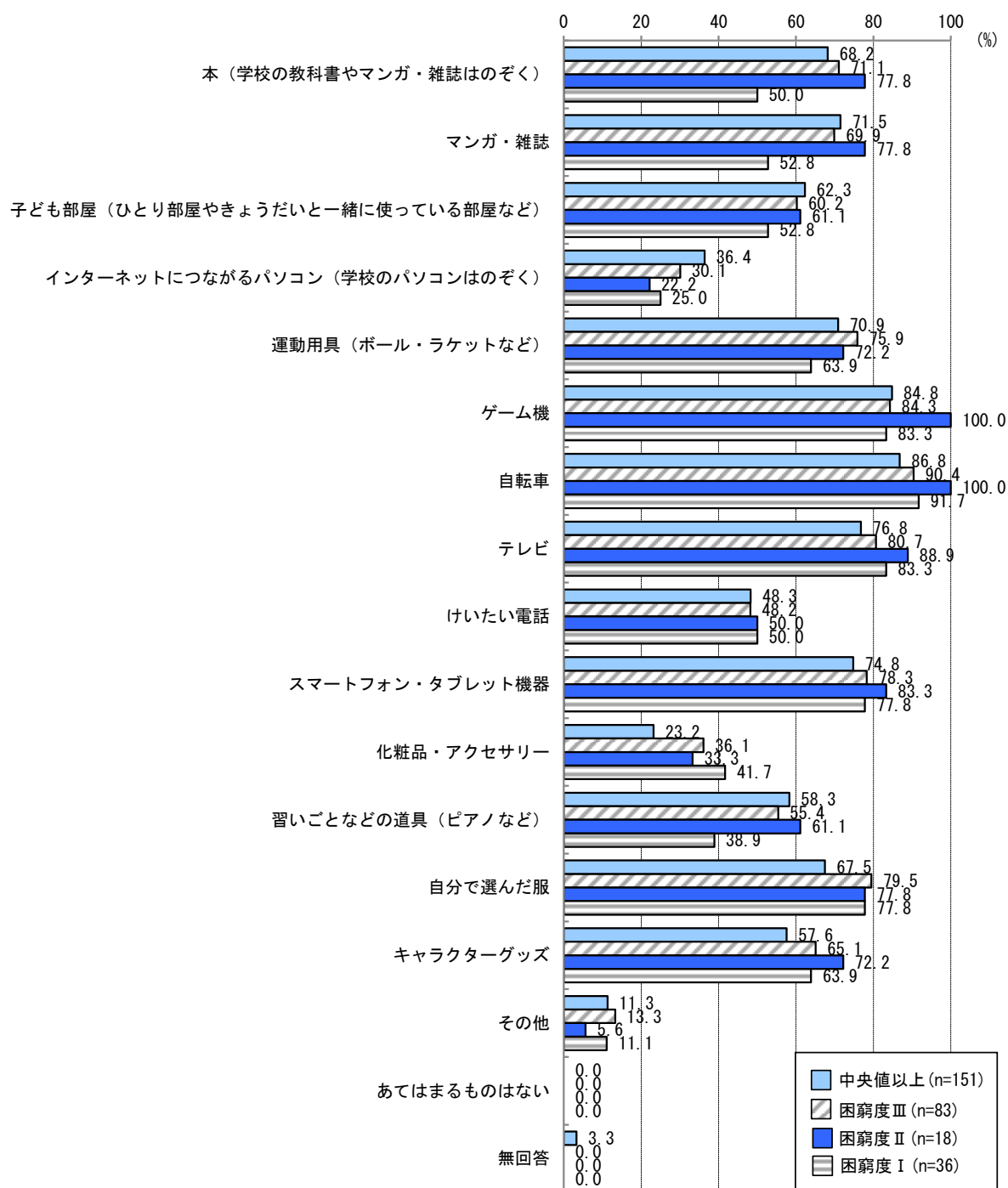
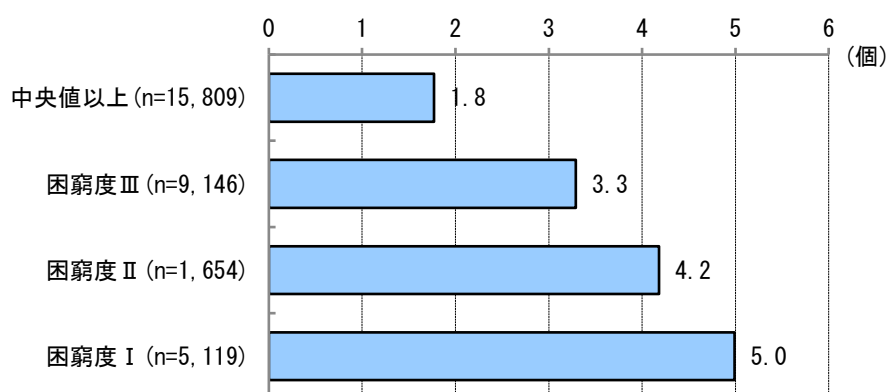


図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群を見ると、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」が58.3%（困窮度Ⅰ群に対して1.5倍）、「インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）」が36.4%（同じく1.5倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<摂津市>

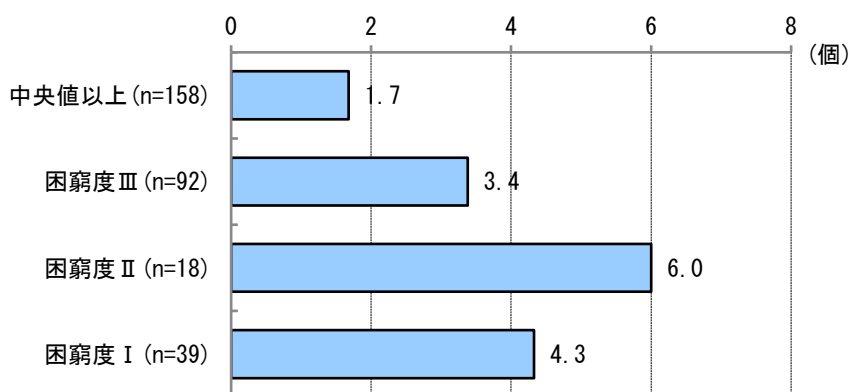


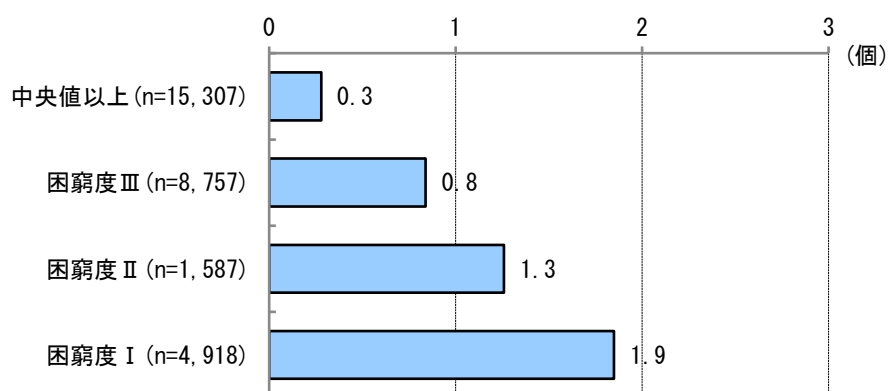
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなり、困窮度Ⅱ群が6.0個で最も多いが、困窮度Ⅰ群は4.3個と少なくなっている。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<摂津市>

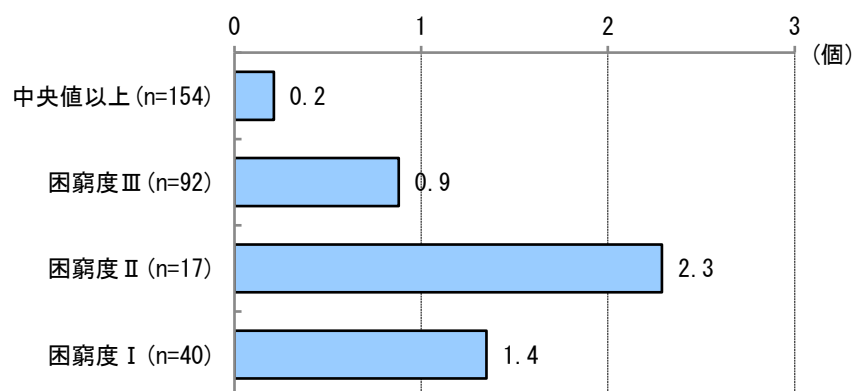


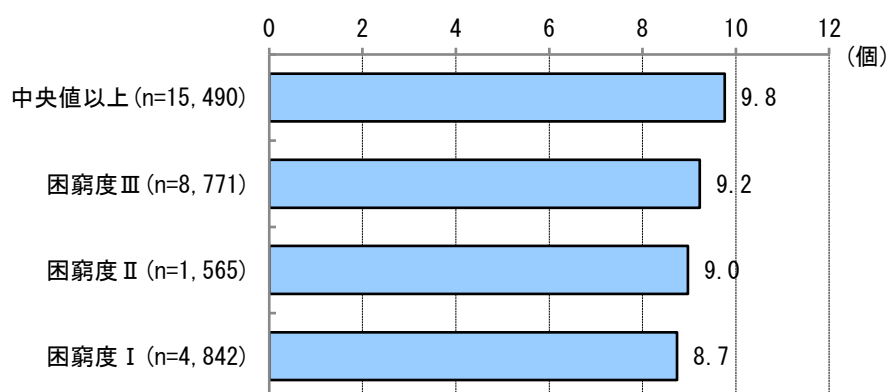
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなり、困窮度Ⅱ群が2.3個で最も多いが、困窮度Ⅰ群は1.4個と少なくなっている。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<摂津市>

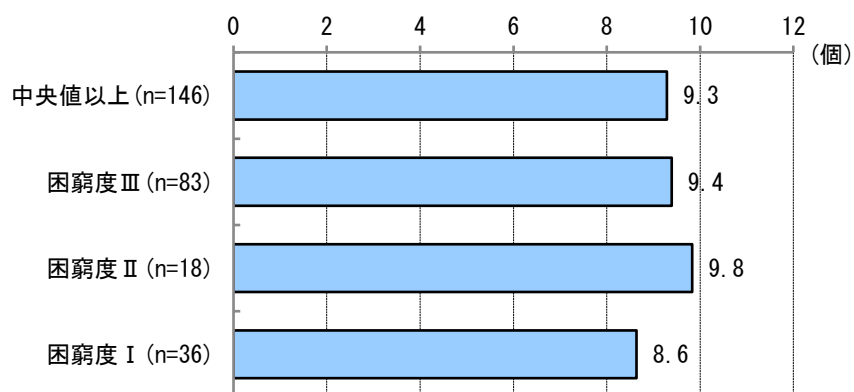


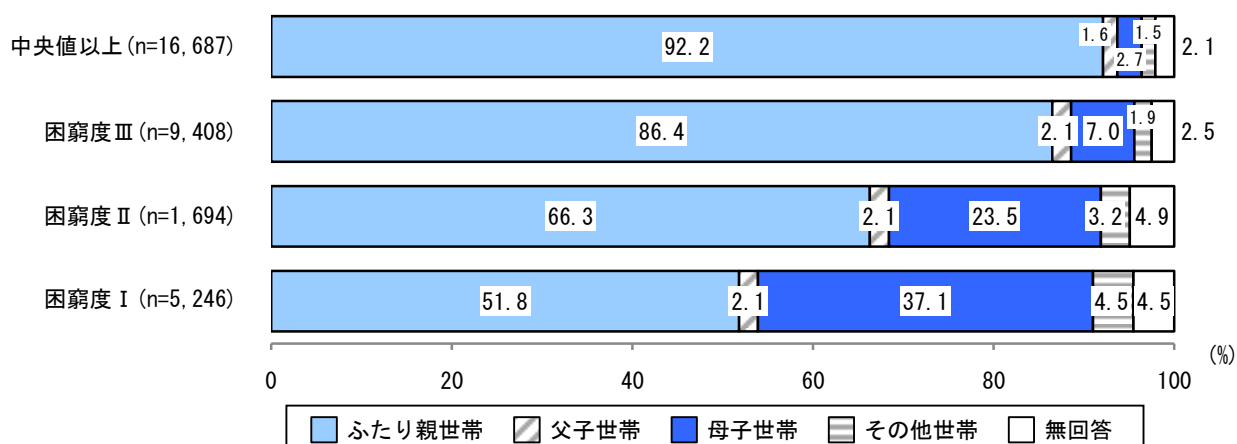
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度によって子どもの持ちもの、使えるものの該当数に大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<摂津市>

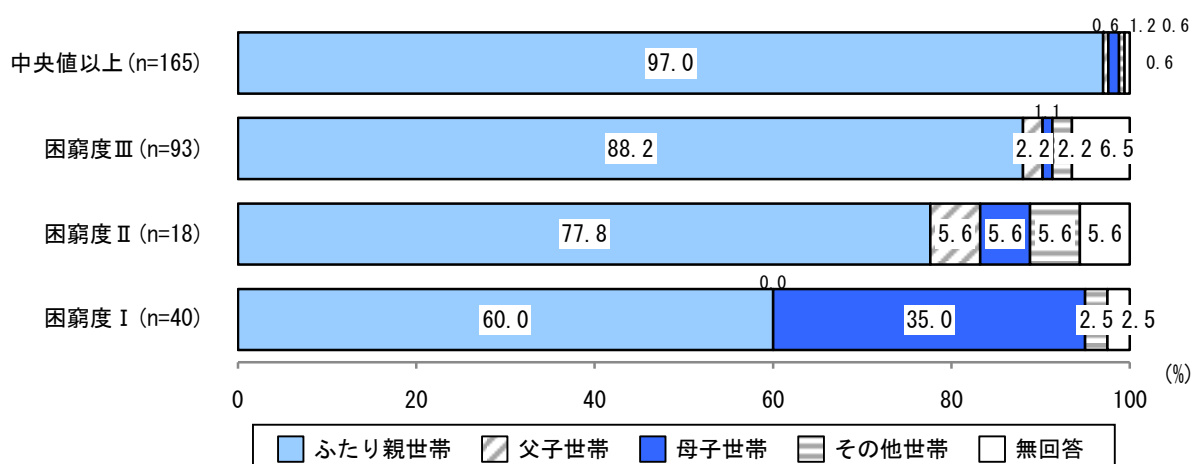
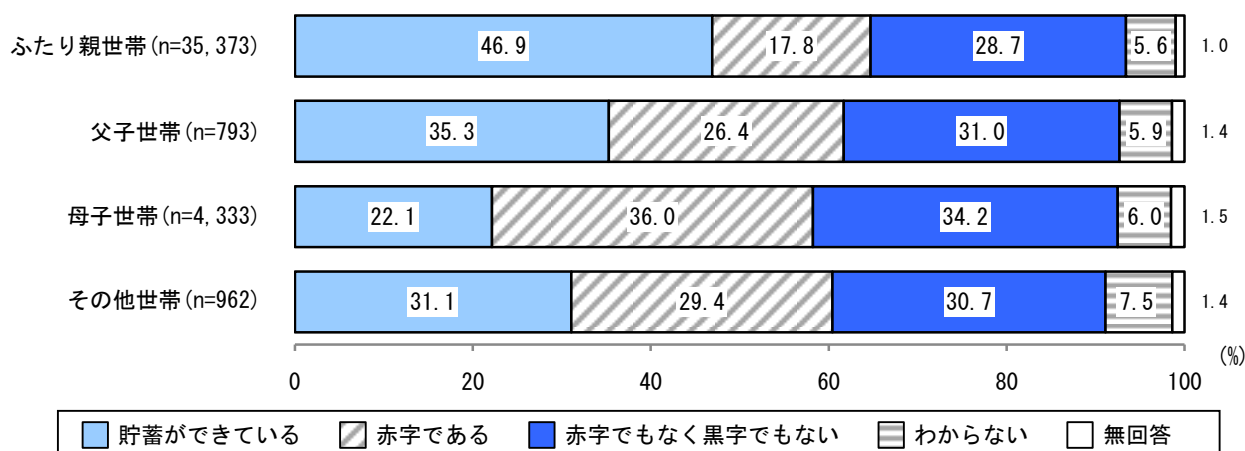


図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が97.0%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は60.0%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が1.2%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は35.0%だった。

世帯構成別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

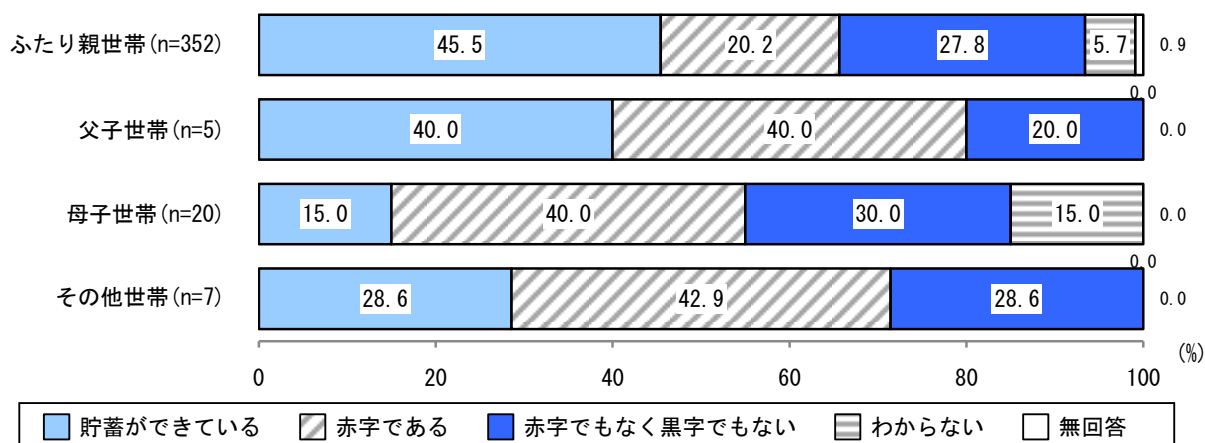
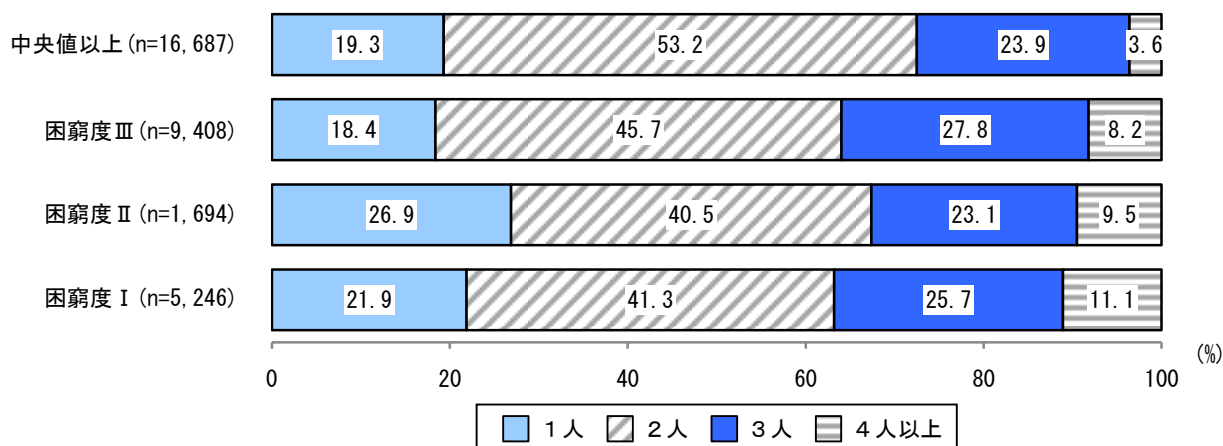


図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況

世帯構成別に家計の状況を見ると、「貯蓄ができていない」と回答した割合は、ふたり親世帯が45.5%なのに対して、母子世帯は15.0%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が20.2%なのに対して、母子世帯、父子世帯ともに40.0%だった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<摂津市>

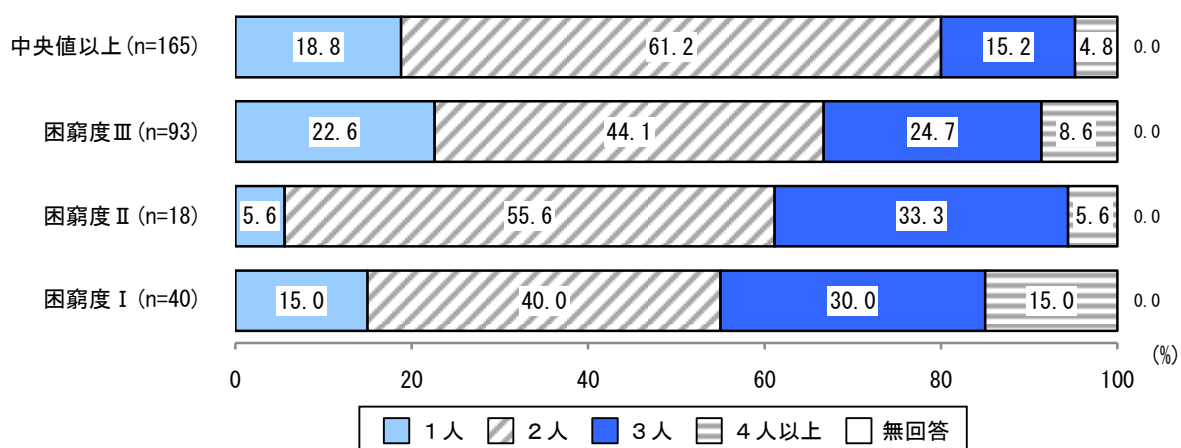
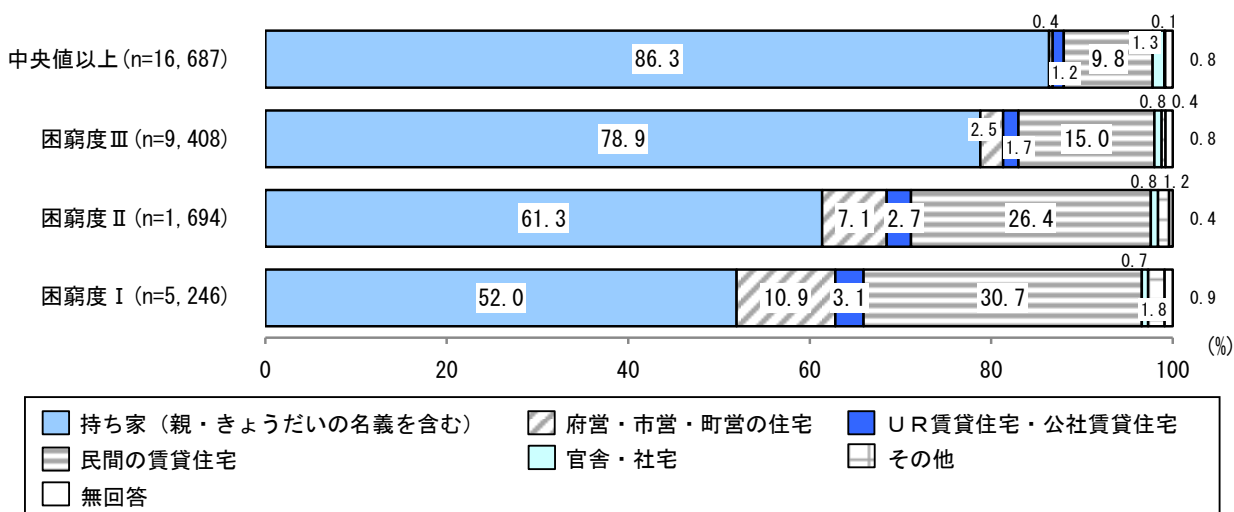


図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が20.0%（3人15.2%、4人以上4.8%）であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、3人以上が45.0%（3人30.0%、4人以上15.0%）と高くなっている。

困窮度別に見た、住居形態（保護者票問5）

<大阪府内全体>



<摂津市>

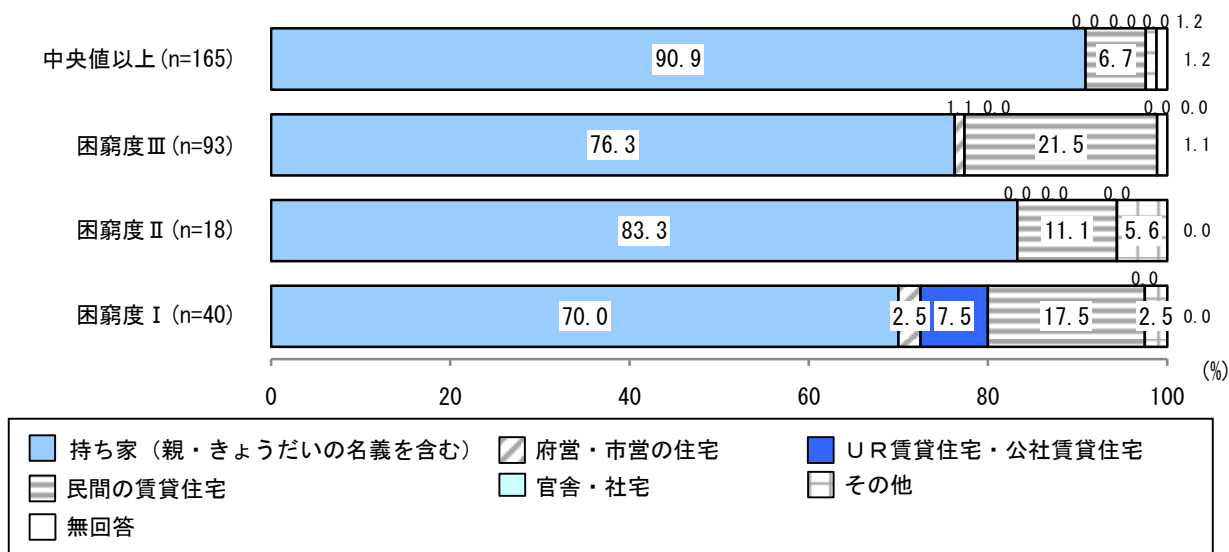
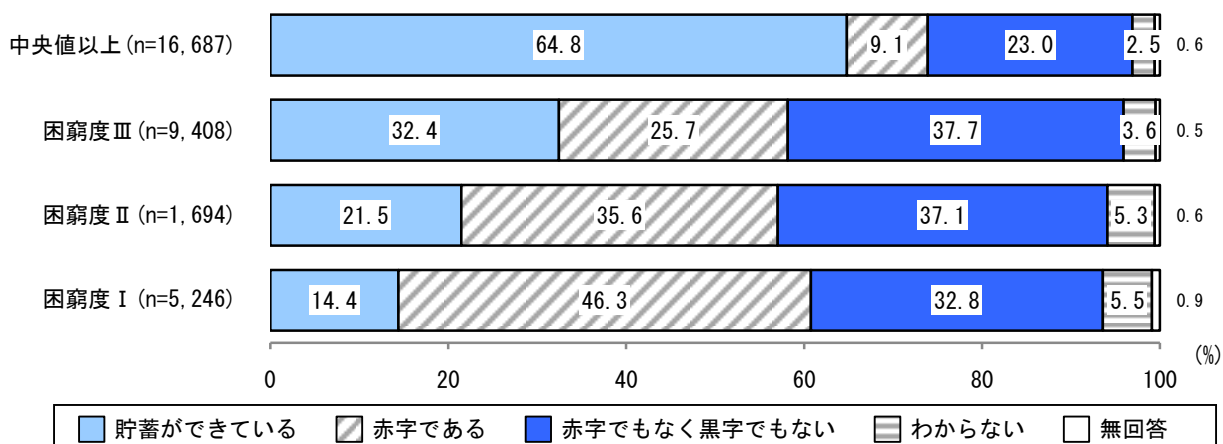


図 10. 困窮度別に見た、住居形態

困窮度別に住居形態を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は90.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、70.0%にとどまっている。

困窮度別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

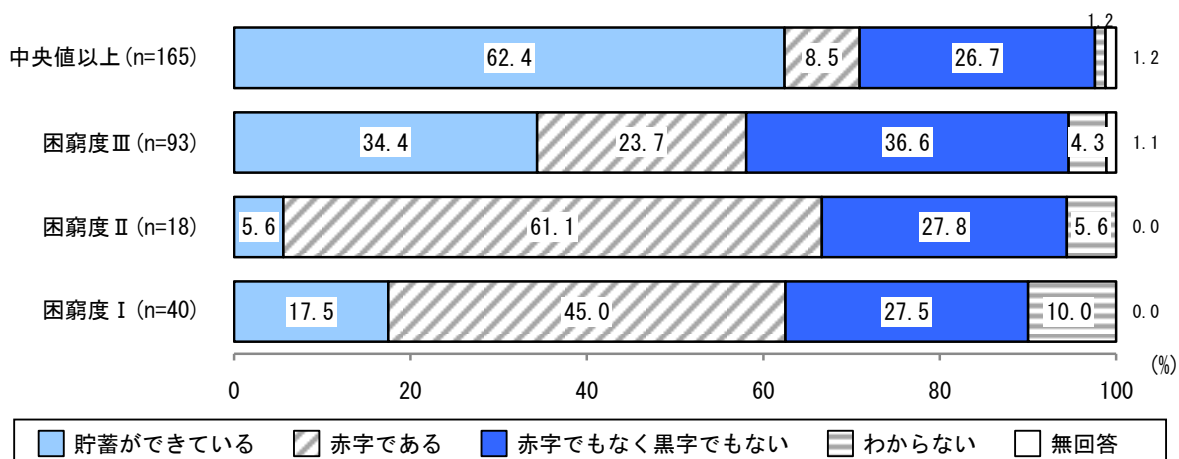
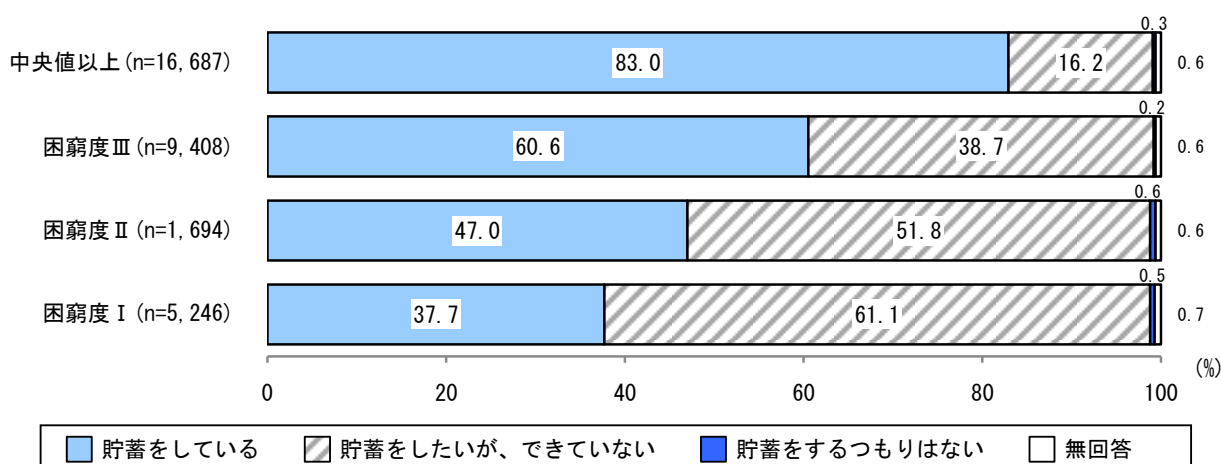


図 11. 困窮度別に見た、家計の状況

困窮度別に家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができています」と回答する割合が低くなり、逆に、「赤字である」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、8.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、45.0%となり、4割を超えている。

困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問 6(2)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

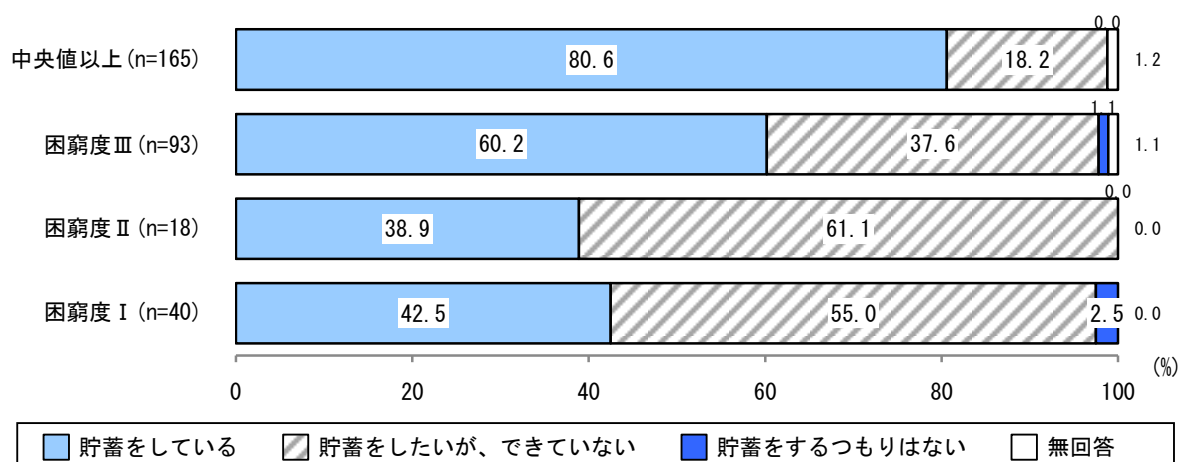
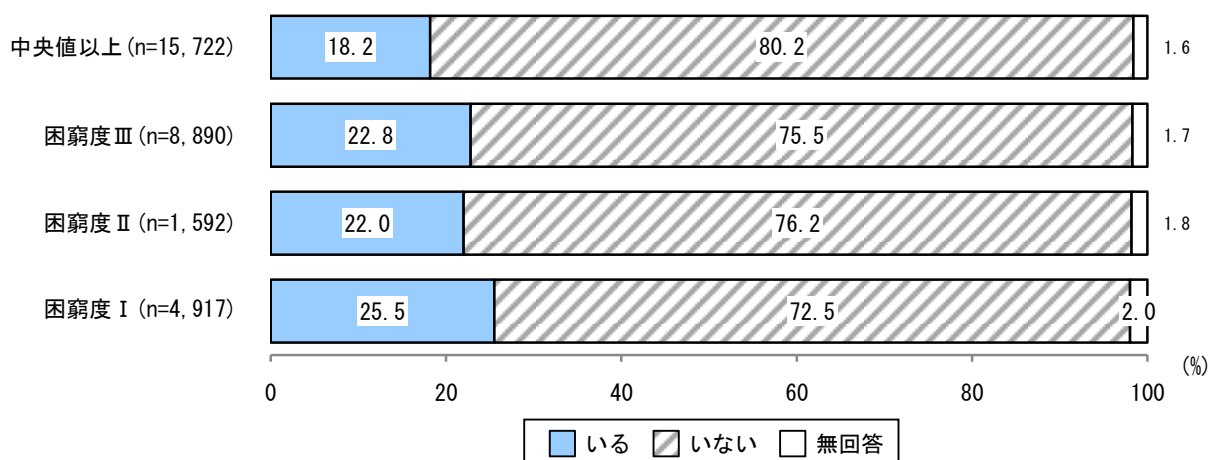


図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

困窮度別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が80.6%を占めたが、困窮度Ⅰ群では42.5%にとどまり、「貯蓄をしたいが、できていない」が55.0%となっている。

困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無（子ども票問 26(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

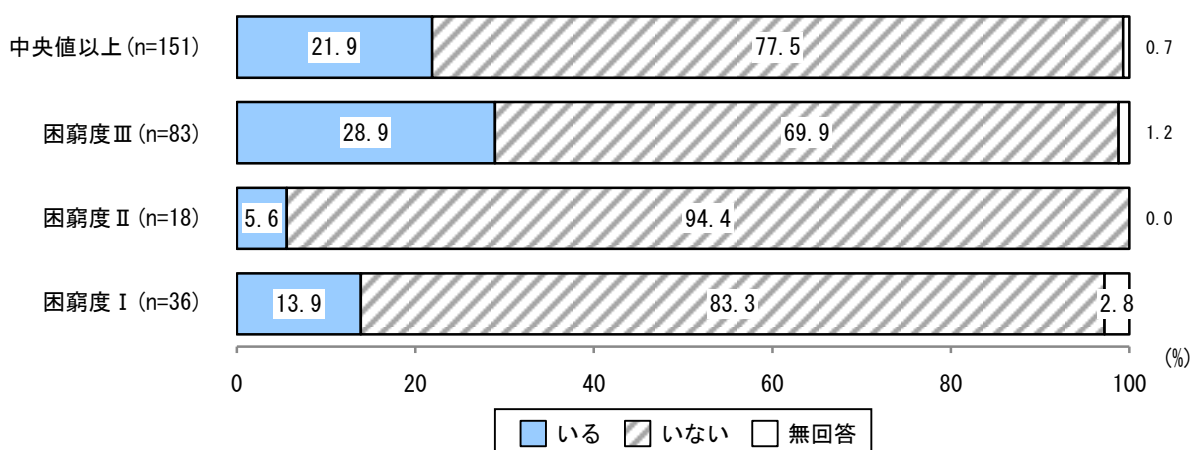


図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無

困窮度別に自分が世話をしている人の有無を見ると、自分が世話をしている人が「いる」と回答した割合は困窮度Ⅲ群で28.9%と最も高くなっている。

＜経済状況に関する考察＞

経済的理由で生じた生活上の困難な経験についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上群で49.7%に対して、困窮度Ⅰ群では15.0%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「電気・ガス・水道などが止められた」（7.5%対該当なし）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」（12.5%対1.2%）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある」（7.5%対0.6%）と回答した割合が高くなっており、生活面で大きな格差が存在する。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「国民年金の支払いが滞ったことがある」（10.0%対0.6%）と回答した割合が高くなっており、子どもの親（保護者）の将来（老後）の生活困窮を示唆するデータであると言える。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」（37.5%対4.8%）と回答した割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、生活インフラへの支払いの滞りや年金支払いの義務が果たせなくなることに加え、将来への不安感が多いことが示唆される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「お子さんの進路を変更した」（2.5%対0.6%）、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」（22.5%対1.8%）、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」（22.5%対4.8%）と回答した割合が高くなっており、子どもに与える教育の格差が示されている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境、家族以外の社会的交流を行う機会が制限されることが示唆される。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」（32.5%対8.5%）といった経験に大きな差がある。その一方、「どれにもあてはまらない」が、中央値以上群では80.6%であり、困窮度Ⅰ群でも60.0%ある。所得階群によって体験の機会に差が見られるが、どの階群においても子どもに対して様々な体験や勉強の機会が提供できている世帯も多数いるという点がデータから読み取れる。

また、「子どもの将来のための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「貯蓄をしている」と回答した割合が高くなっている（80.6%対42.5%）。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており（55.0%対18.2%）、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的困難な家庭では、貯蓄不足により、将来子どもに起こり得るリスク（病気や進路選択など）に備えることや、子どもに対しての投資が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%（令和3年度実施）、中学2年生で5.7%（令和2年度実施）と報告されている（『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月17日）』）。全国調査の結果より、回答した小学6年生の15人に1人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をしていることが明らかになった。

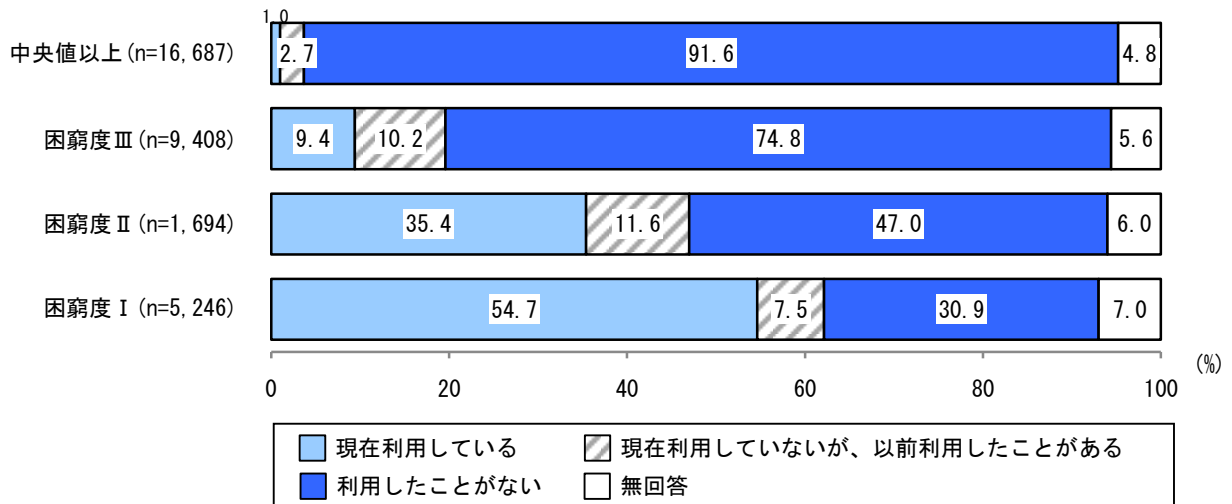
全国の状況を踏まえて、摂津市が令和5年に実施した、小学5年生、中学2年生を対象とする本調査では、「自分が世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、全

体において21.4%である。これらの結果から、摂津市ではヤングケアラーと思われる子どもの割合が高いことが読み取れる。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、就学援助の利用状況（保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<摂津市>

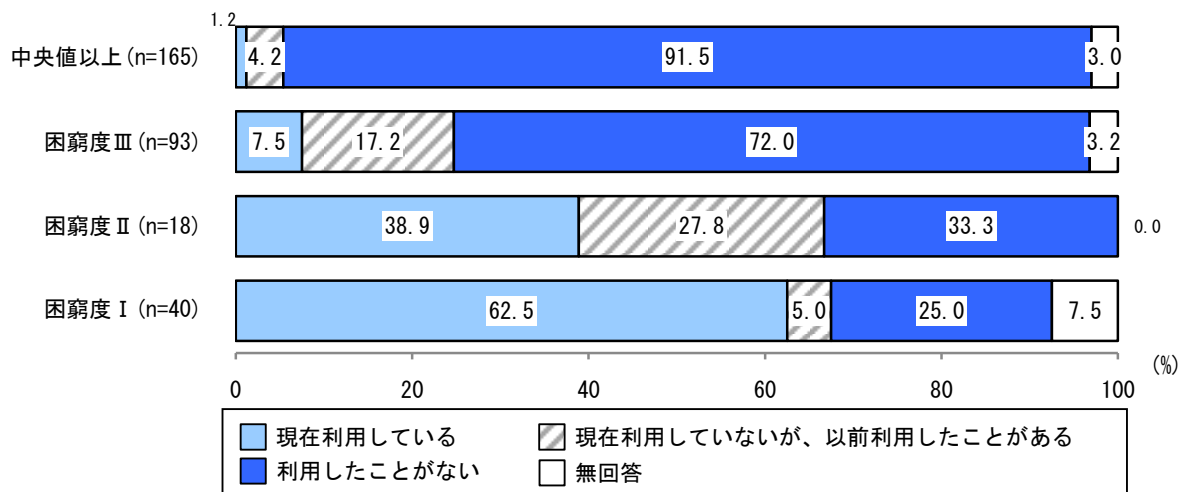
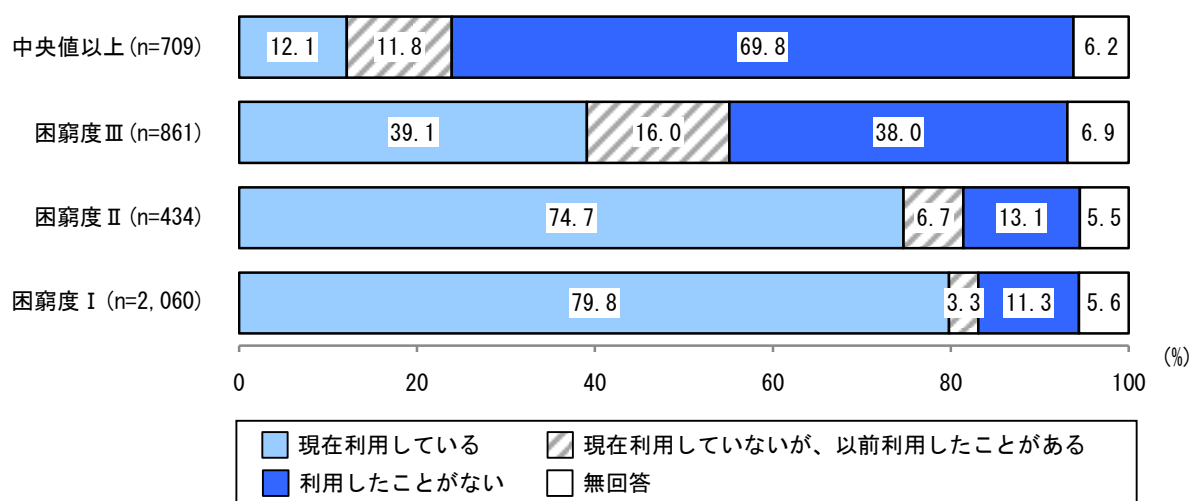


図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況

困窮度別に就学援助の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（保護者票問 23-d）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<摂津市>

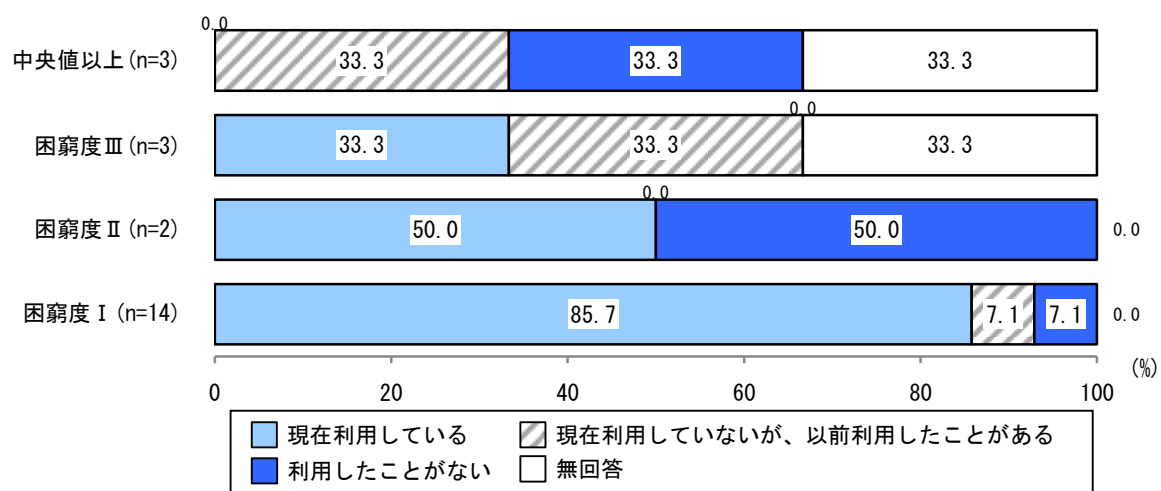
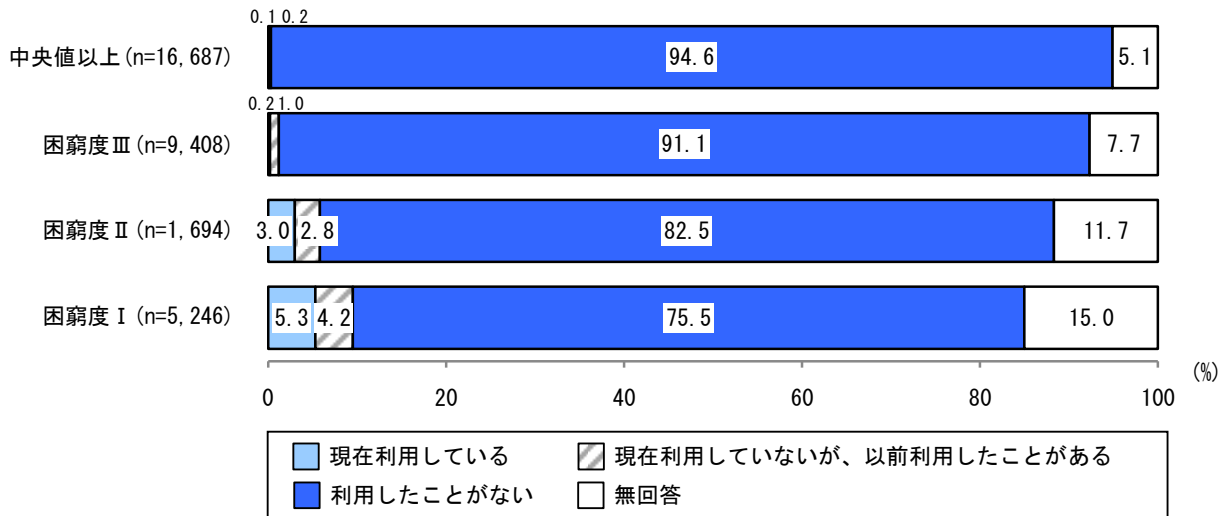


図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に児童扶養手当の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、生活保護の利用状況（保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<摂津市>

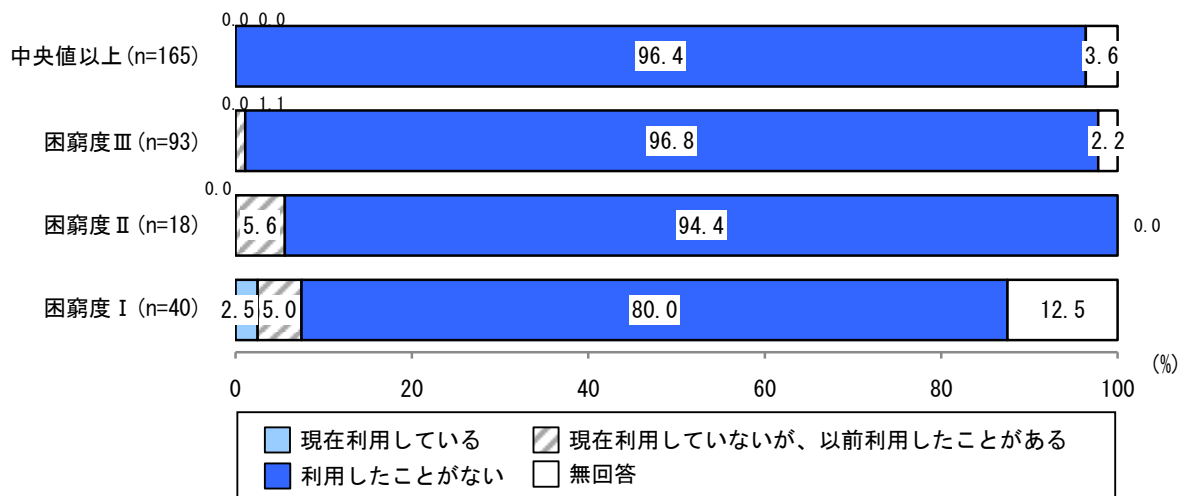
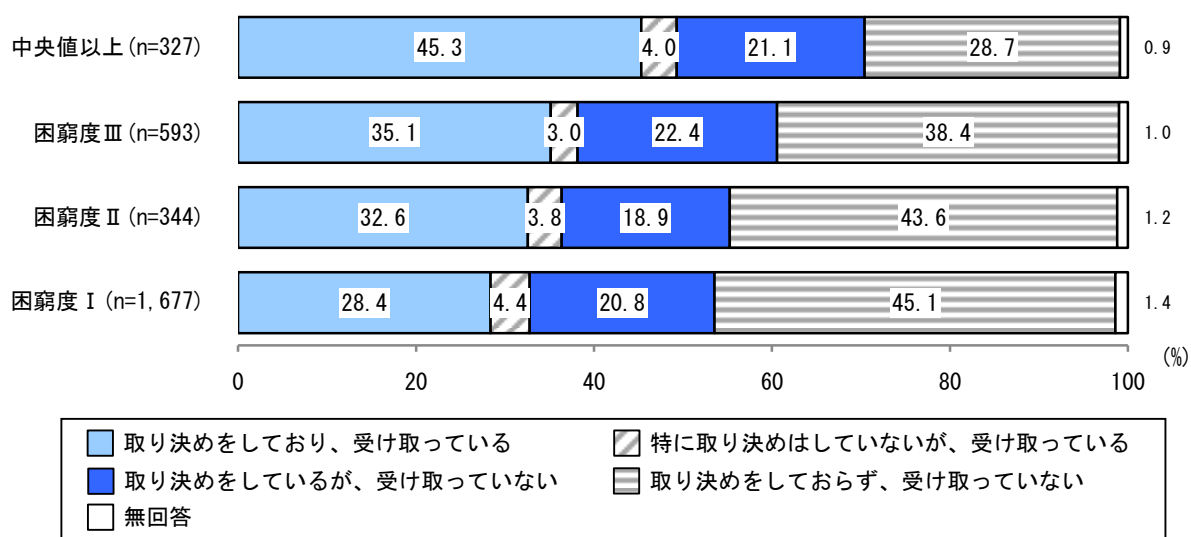


図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、困窮度Ⅰ群においては「現在利用している」と回答した割合は2.5%であった。

困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（保護者票問4）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<摂津市>

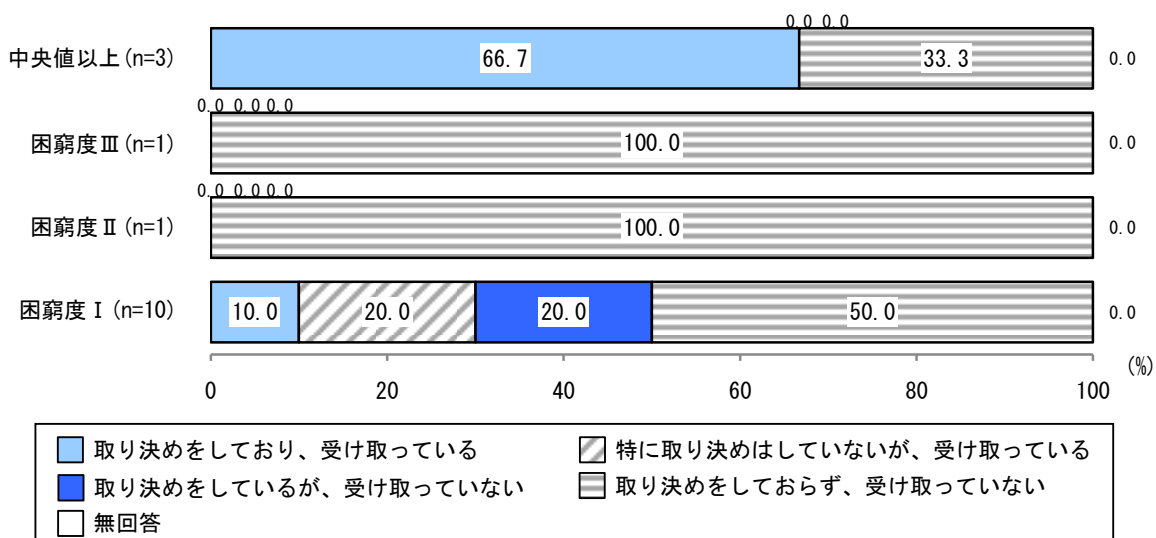
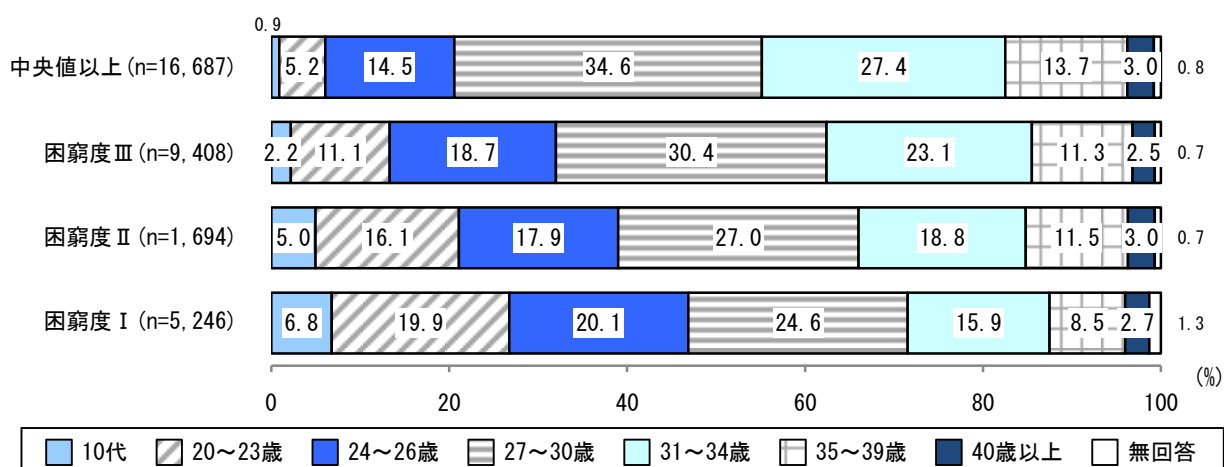


図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に離婚相手との養育費の取り決めや受け取りを見ると、困窮度Ⅰ群においては「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合は10.0%であり、「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」をあわせた養育費を受け取っていない人が70.0%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）

<大阪府内全体>



<摂津市>

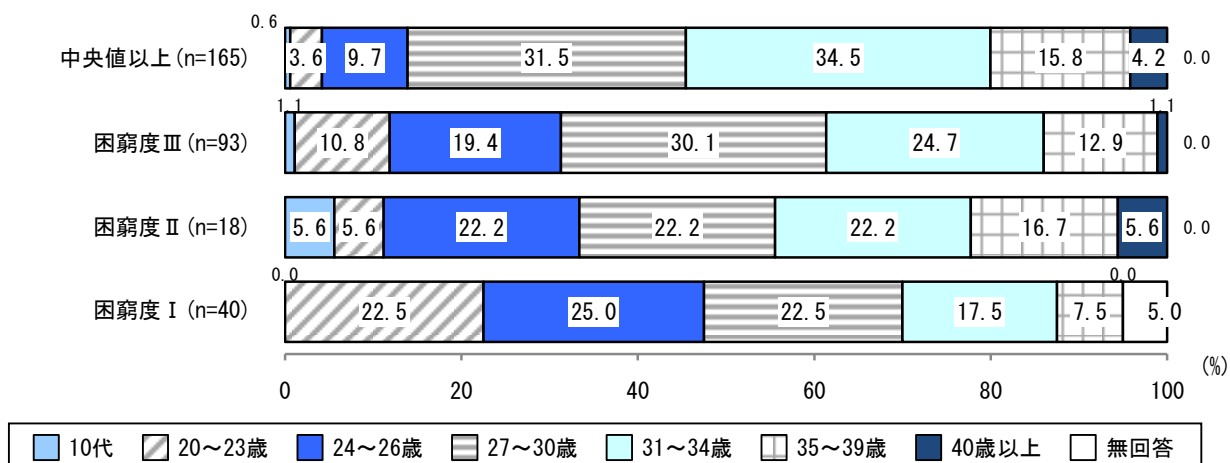
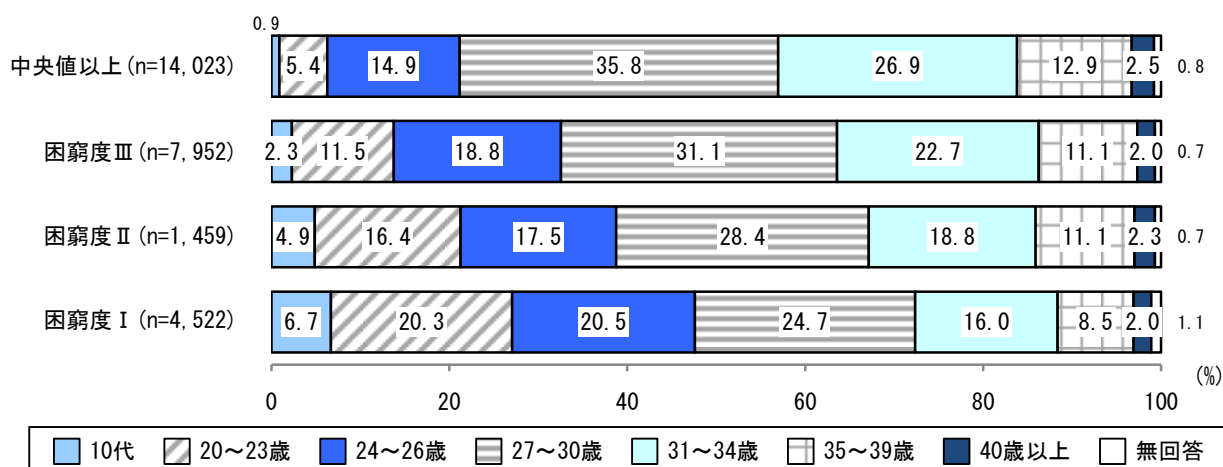


図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、「10代」は困窮度Ⅱが5.6%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）・母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<摂津市>

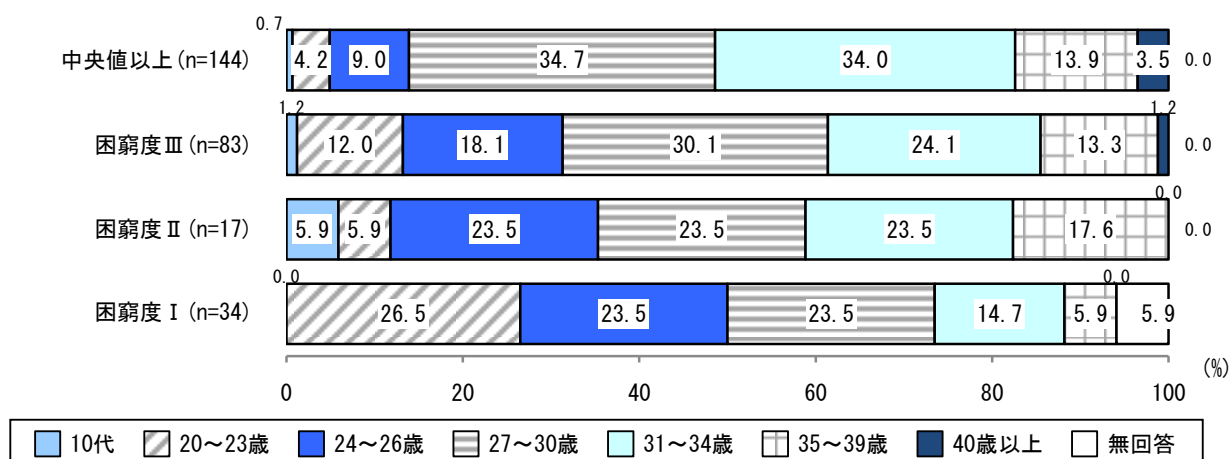
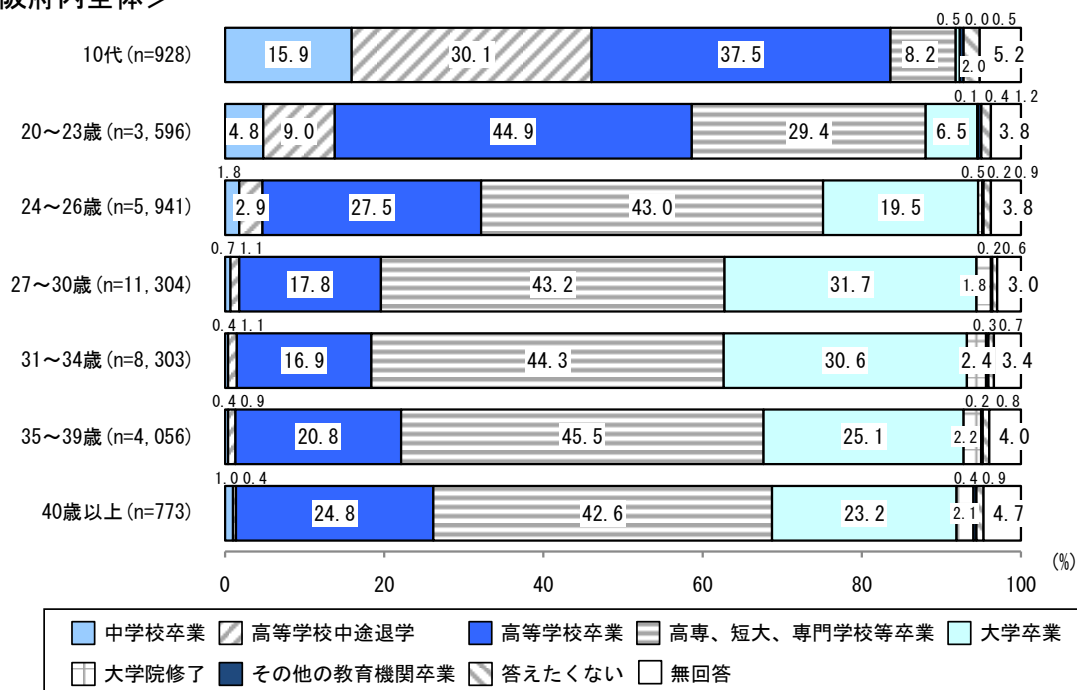


図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、23歳までに初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<摂津市>

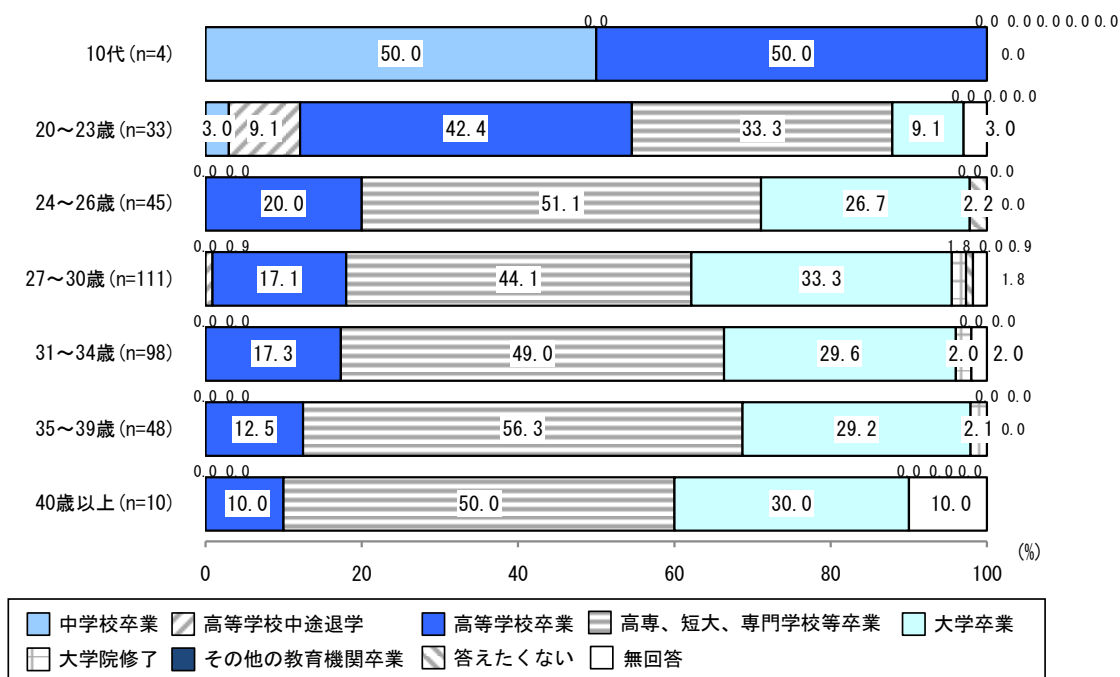
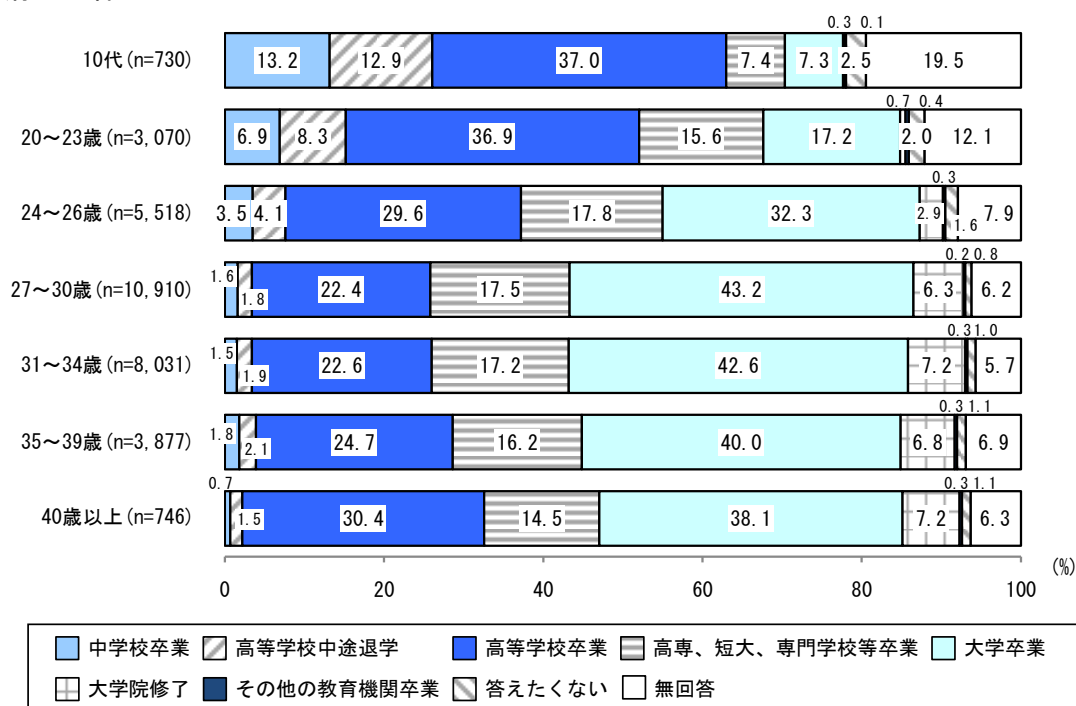


図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に母親自身の最終学歴を見ると、20～23歳において「高等学校中途退学」（9.1%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<摂津市>

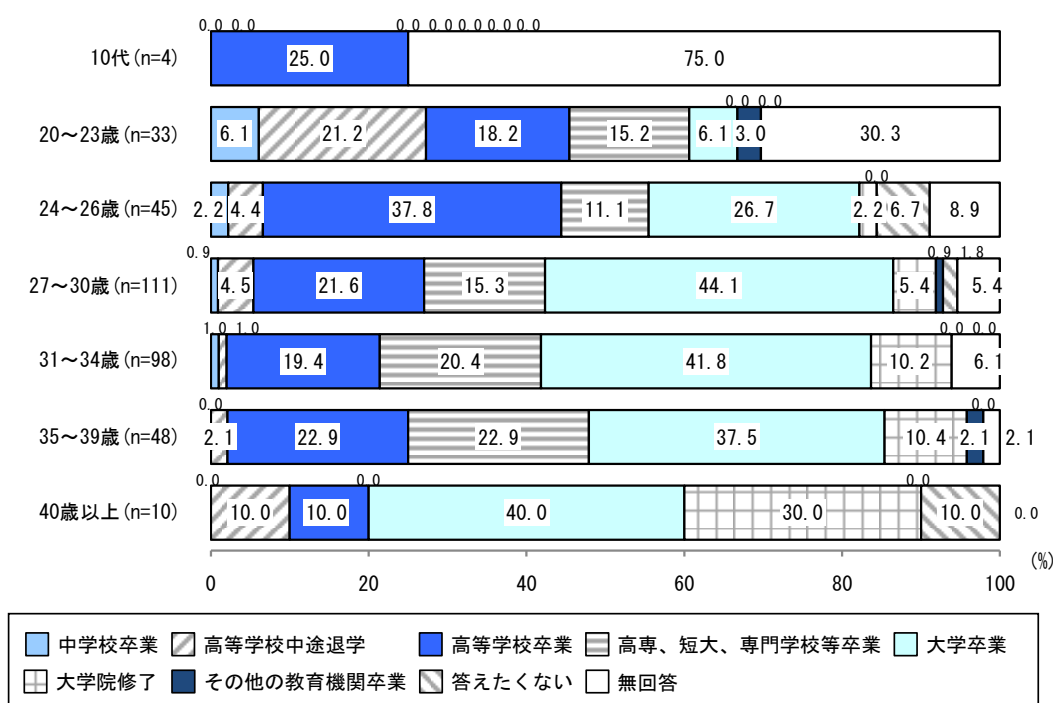
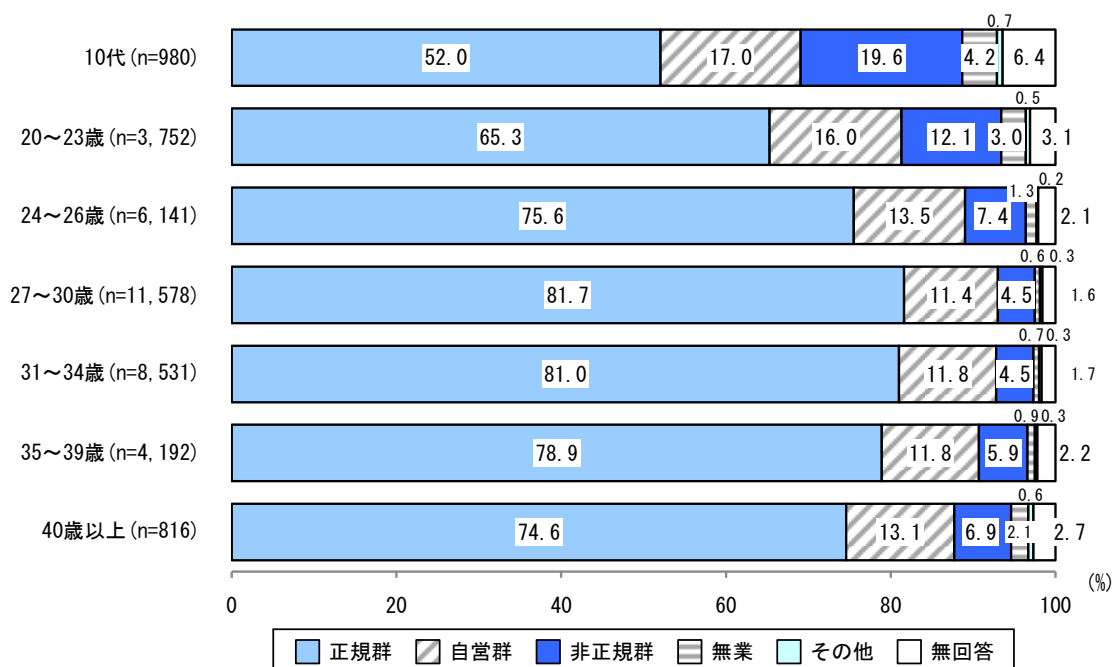


図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に父親の最終学歴を見ると、20～23歳において「高等学校中途退学」（21.2％）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（保護者票問 17×保護者票問 9）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<摂津市>

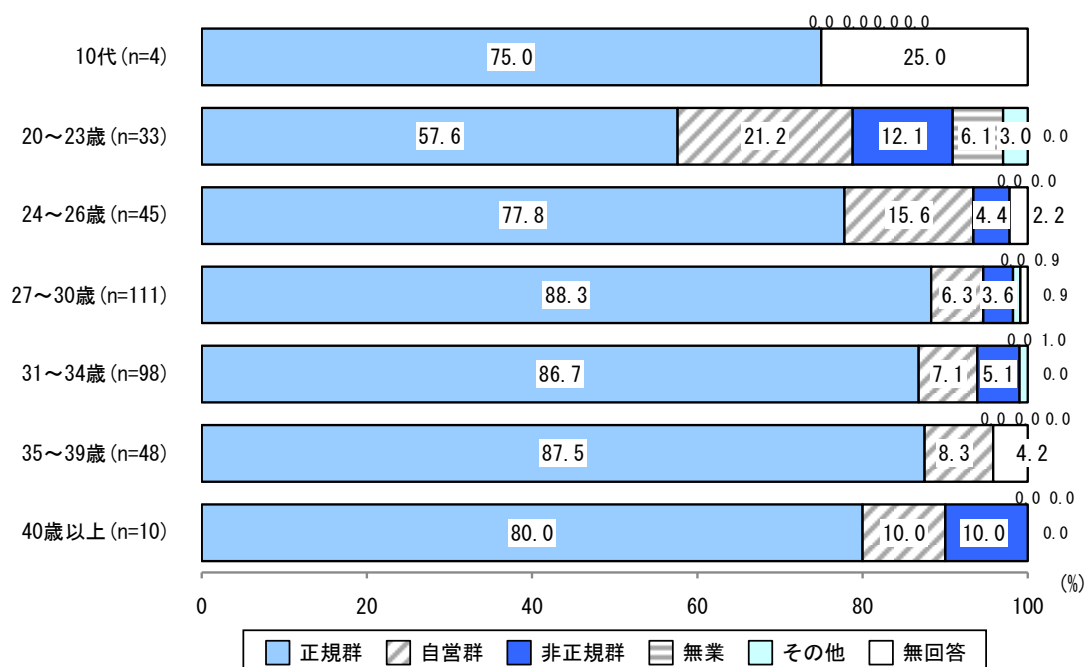
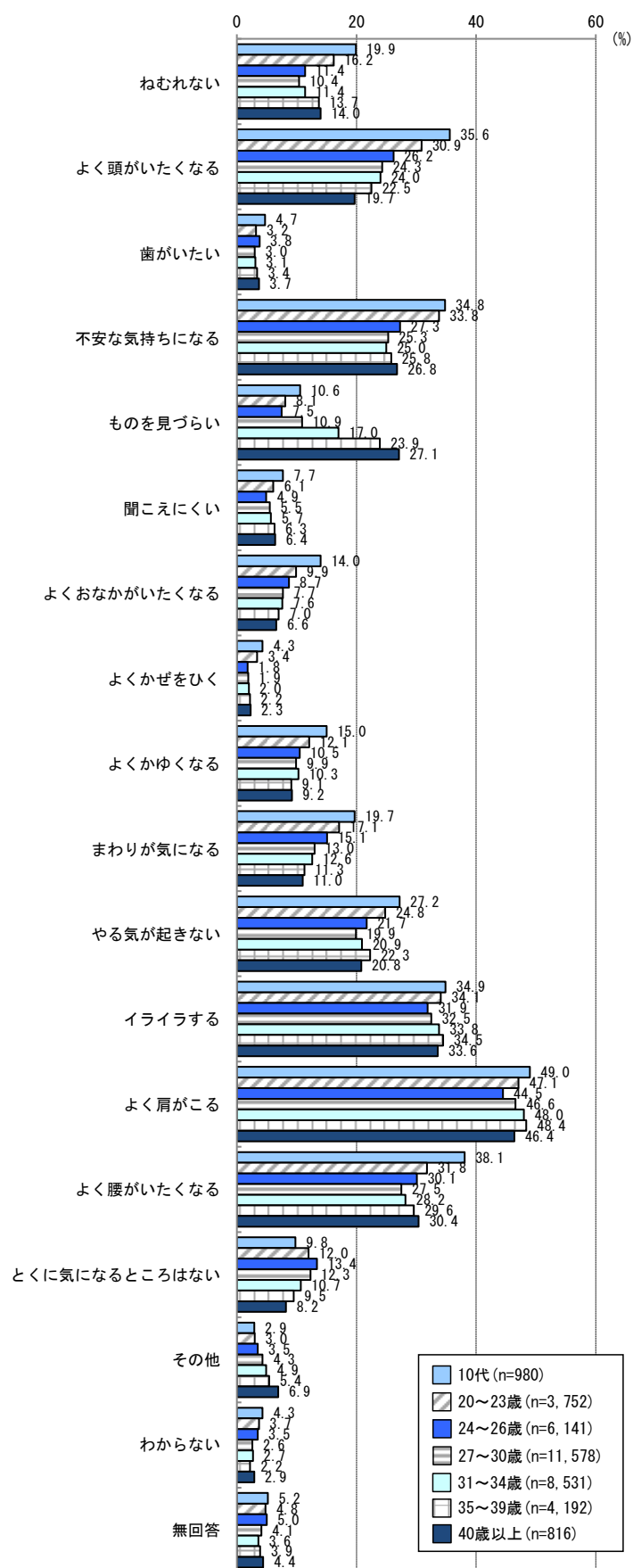


図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）

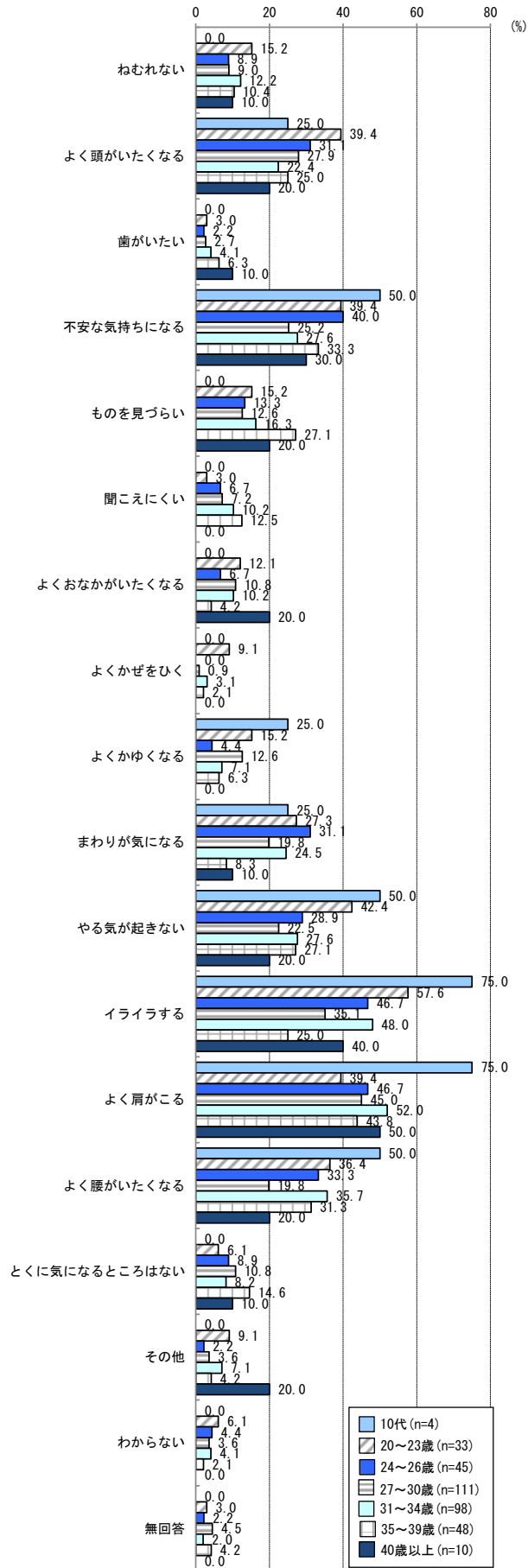
母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に就労状況を見ると、20～23歳は他の群と比較して「正規群」の割合が低く、「無業」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 17×保護者票問 22) ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<摂津市>

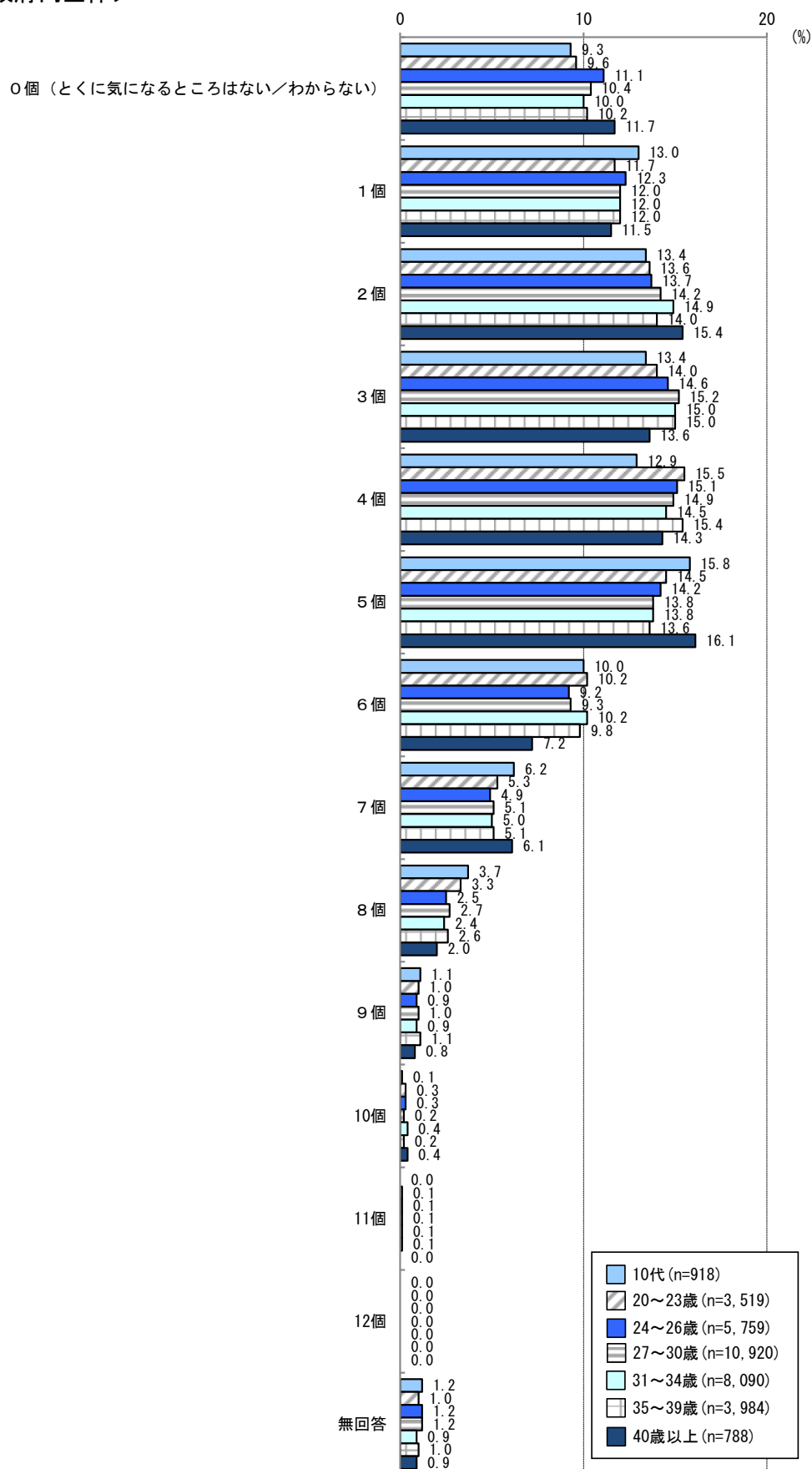


母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、10代は他の年代と比較して「イライラする」や「よく肩がこる」の割合が高かった。

図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 17
× 子ども票問 19・20） ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

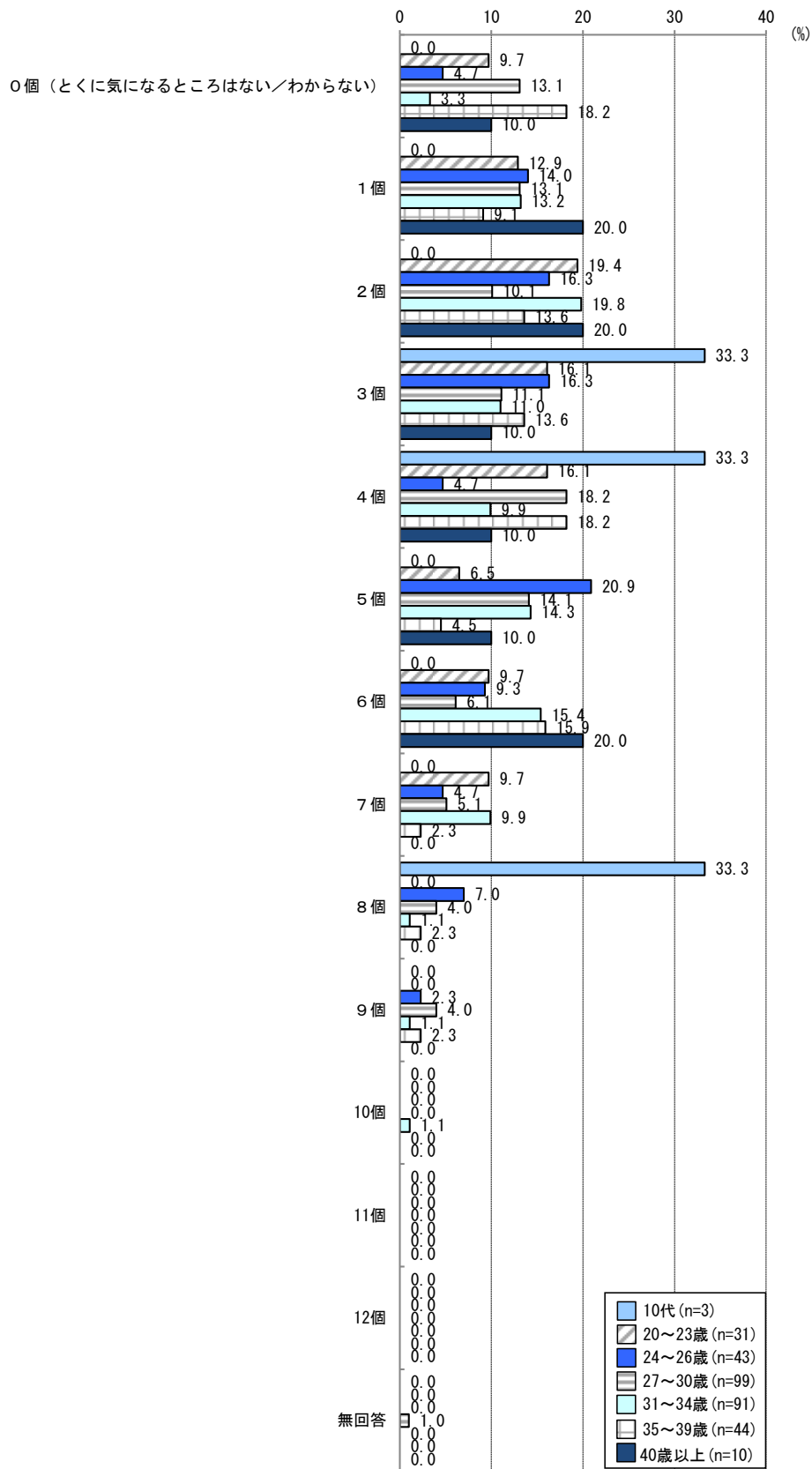
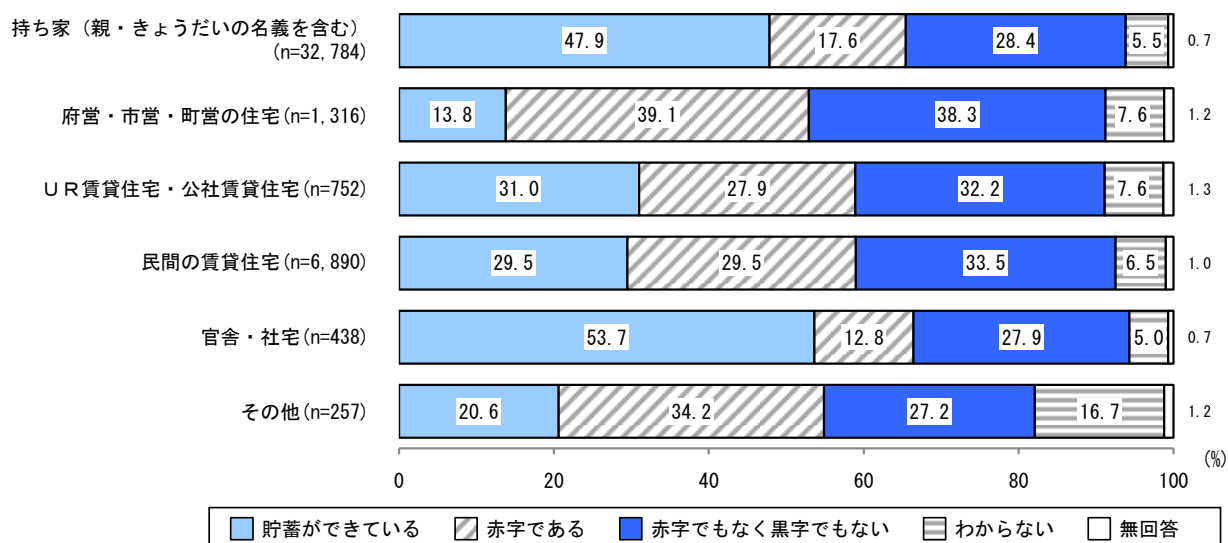


図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、24～26歳は、他の年齢と比較して「5 個」（20.9％）の割合が最も高かった。

住居形態別に見た、家計の状況（保護者票問5×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

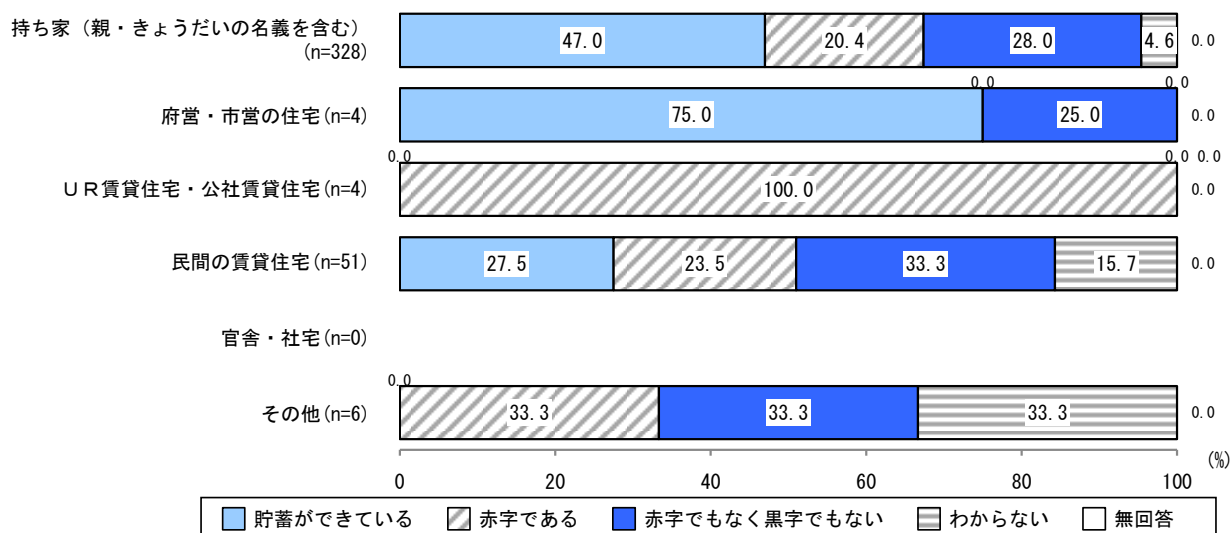
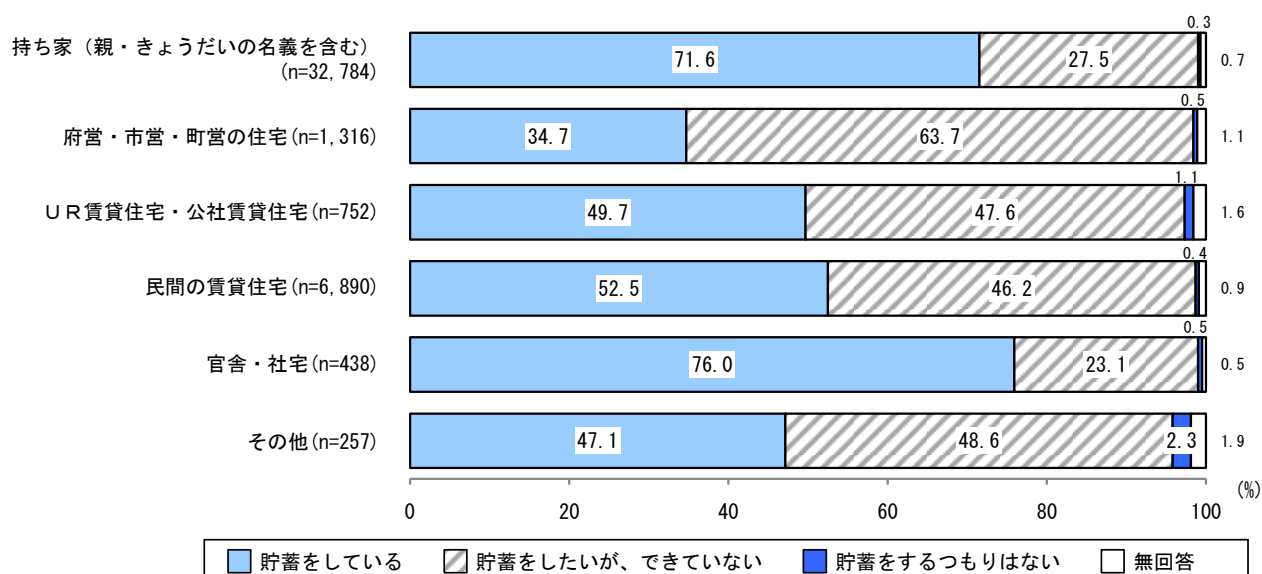


図 25. 住居形態別に見た、家計の状況

住居別到家計状況を見ると、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」（100.0%）に住む人で、「赤字である」と回答した割合が高かった。

住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問5×保護者票問6(2)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

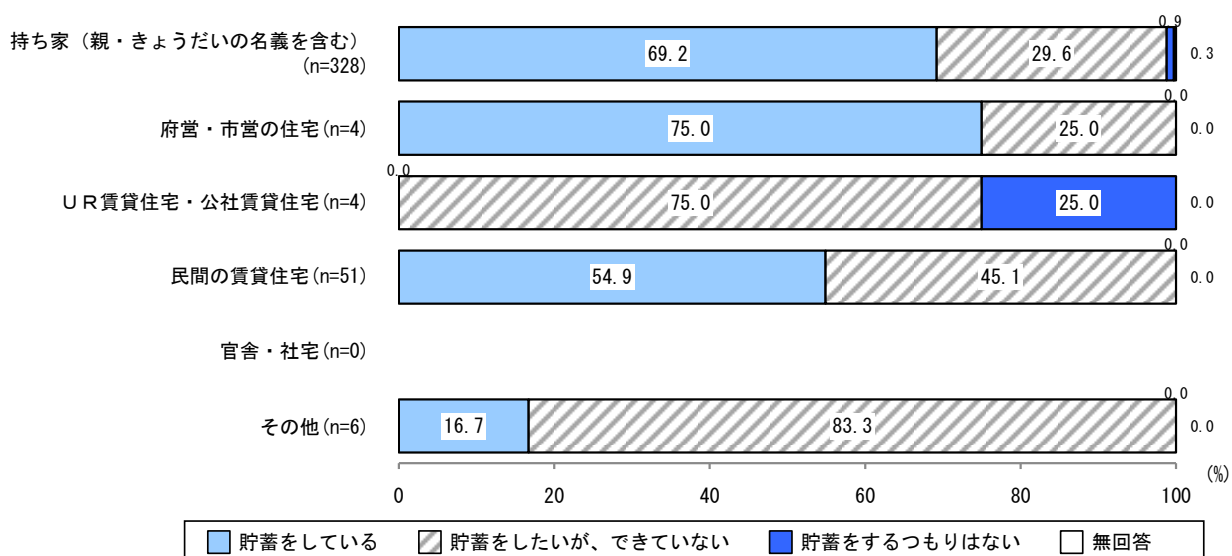
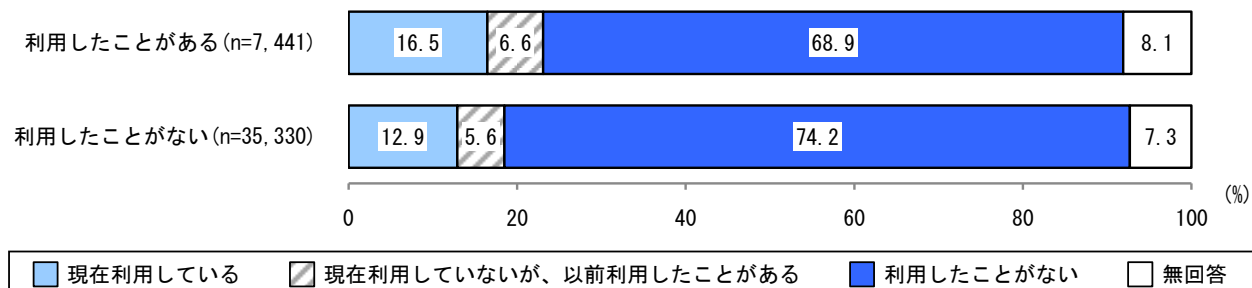


図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

住居形態別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」（75.0％）に住む人で、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高かった。

子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<摂津市>

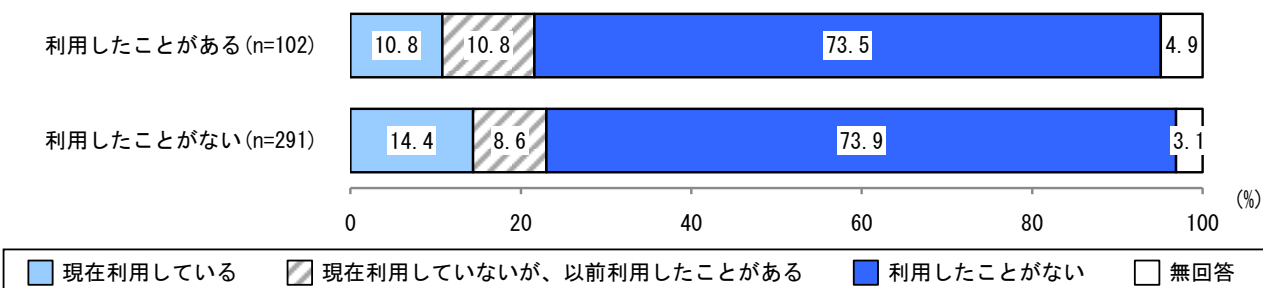
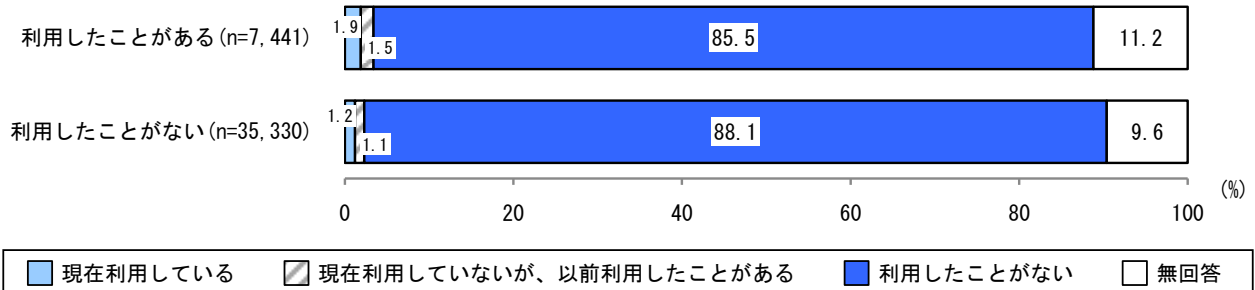


図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に就学援助の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<摂津市>

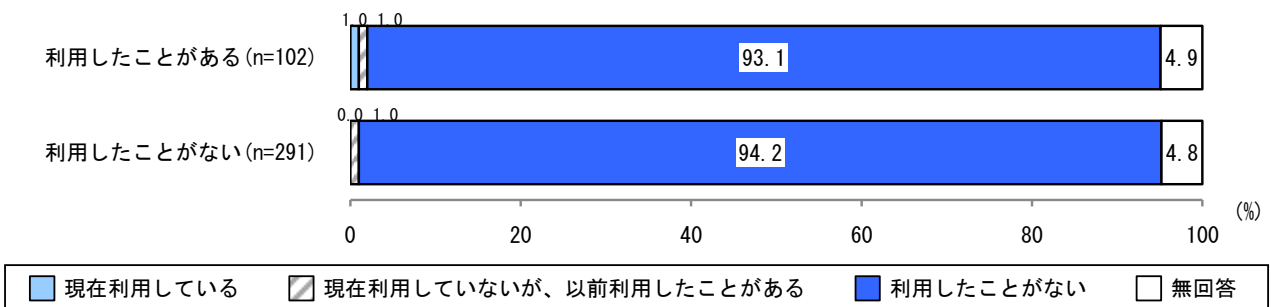
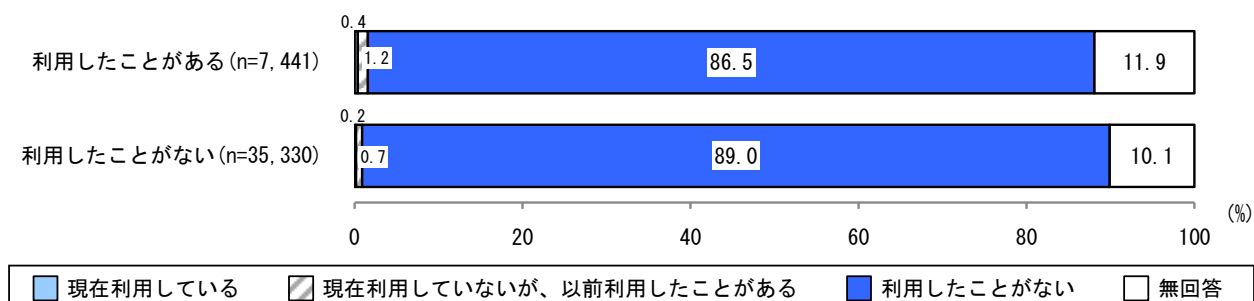


図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活保護の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<摂津市>

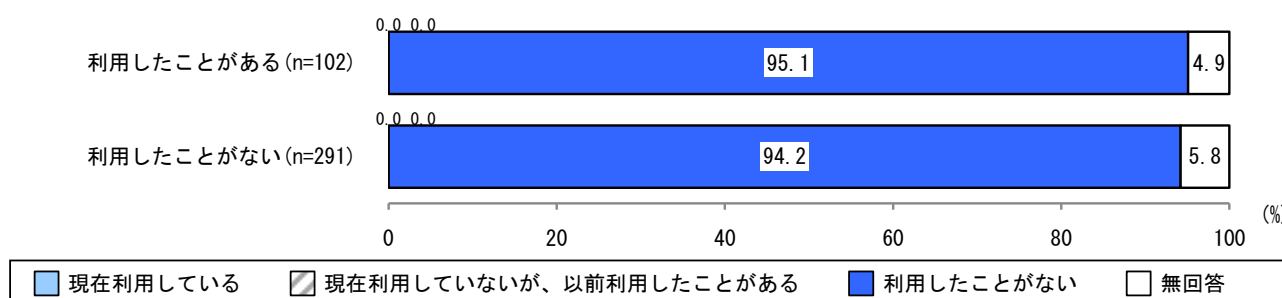
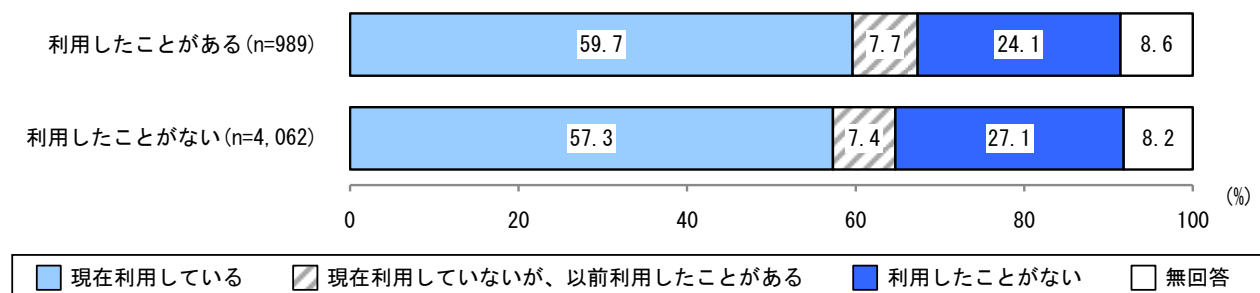


図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-d)

<大阪府内全体>



<摂津市>

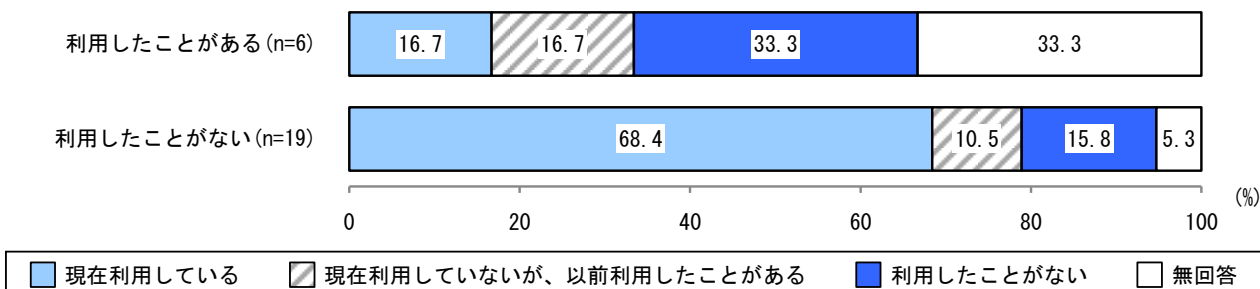
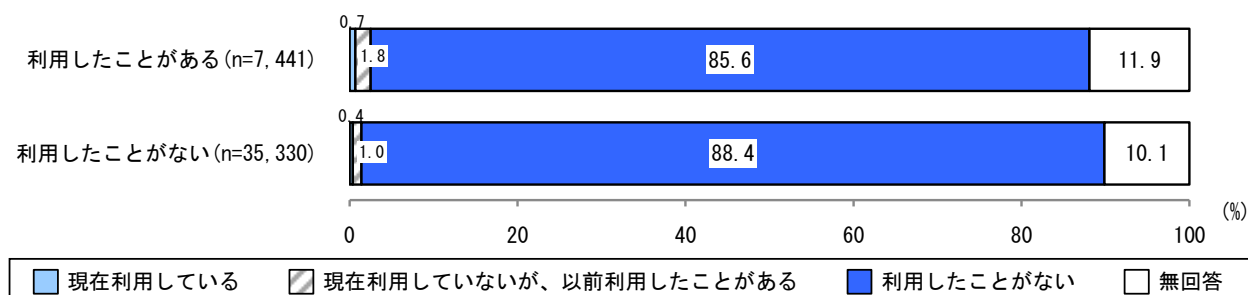


図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

子どもの居場所の利用経験別に児童扶養手当の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」で児童扶養手当を「現在利用している」と回答した割合が68.4%となっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<摂津市>

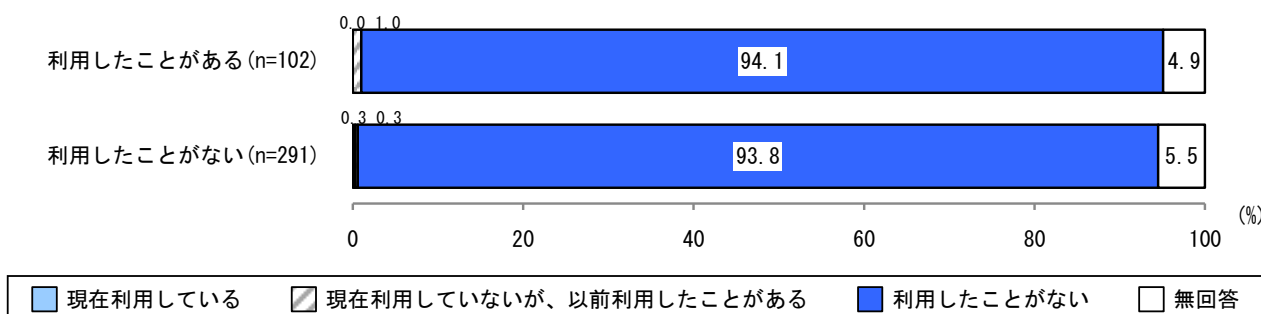
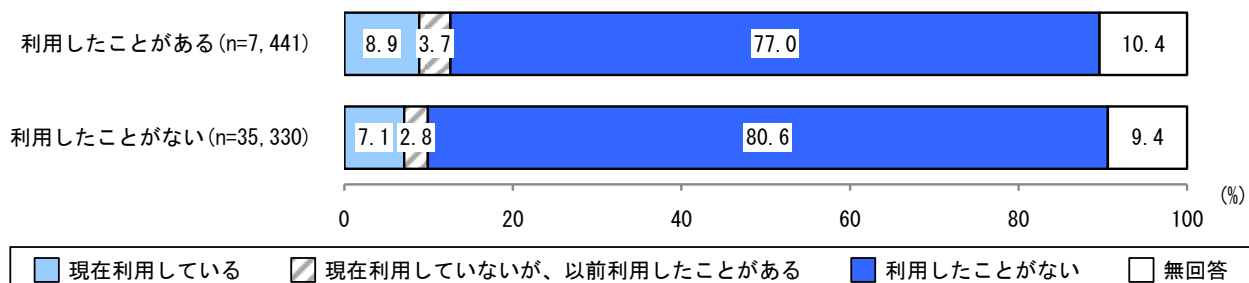


図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

子どもの居場所の利用経験別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ても、大きな差はみられない。

子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<摂津市>

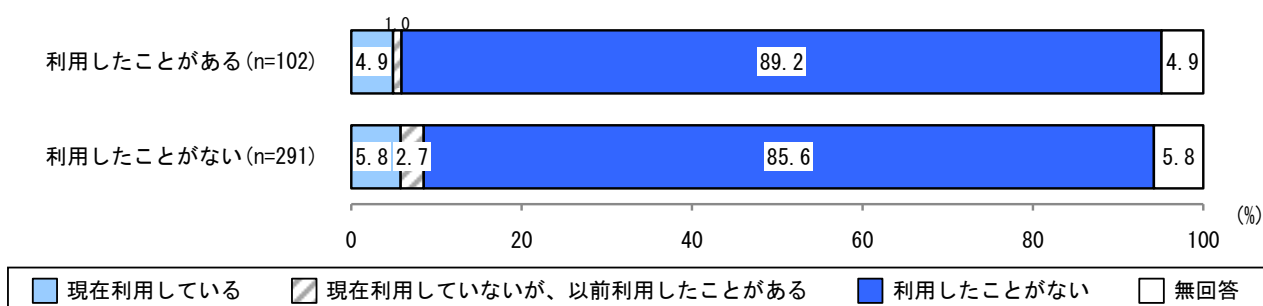
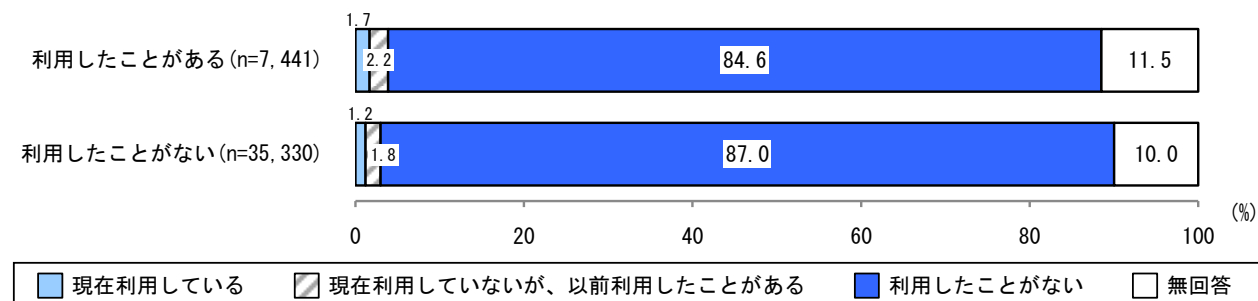


図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-g)

<大阪府内全体>



<摂津市>

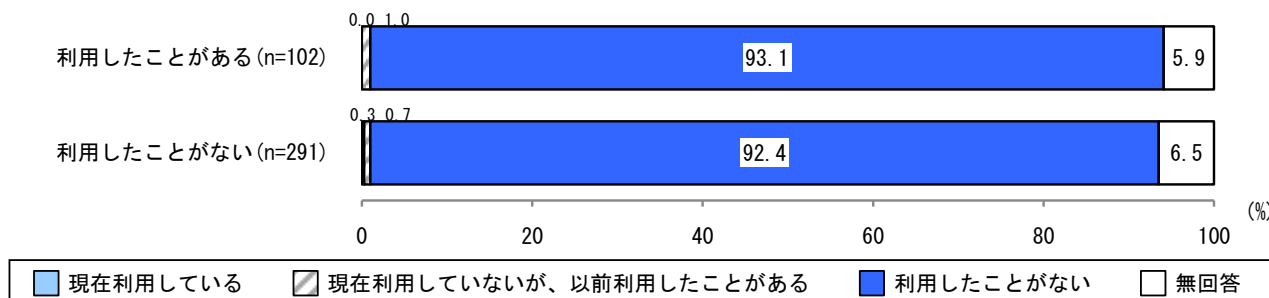
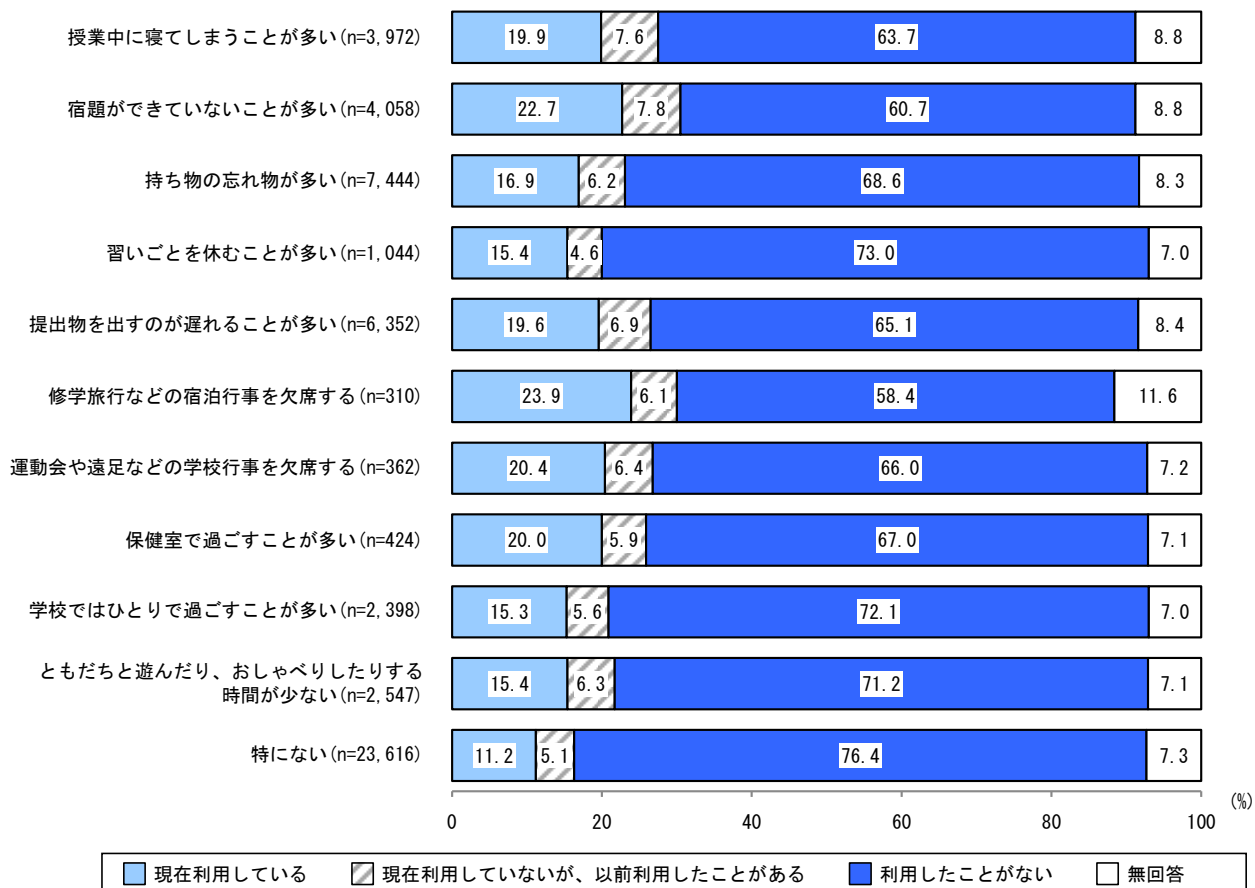


図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

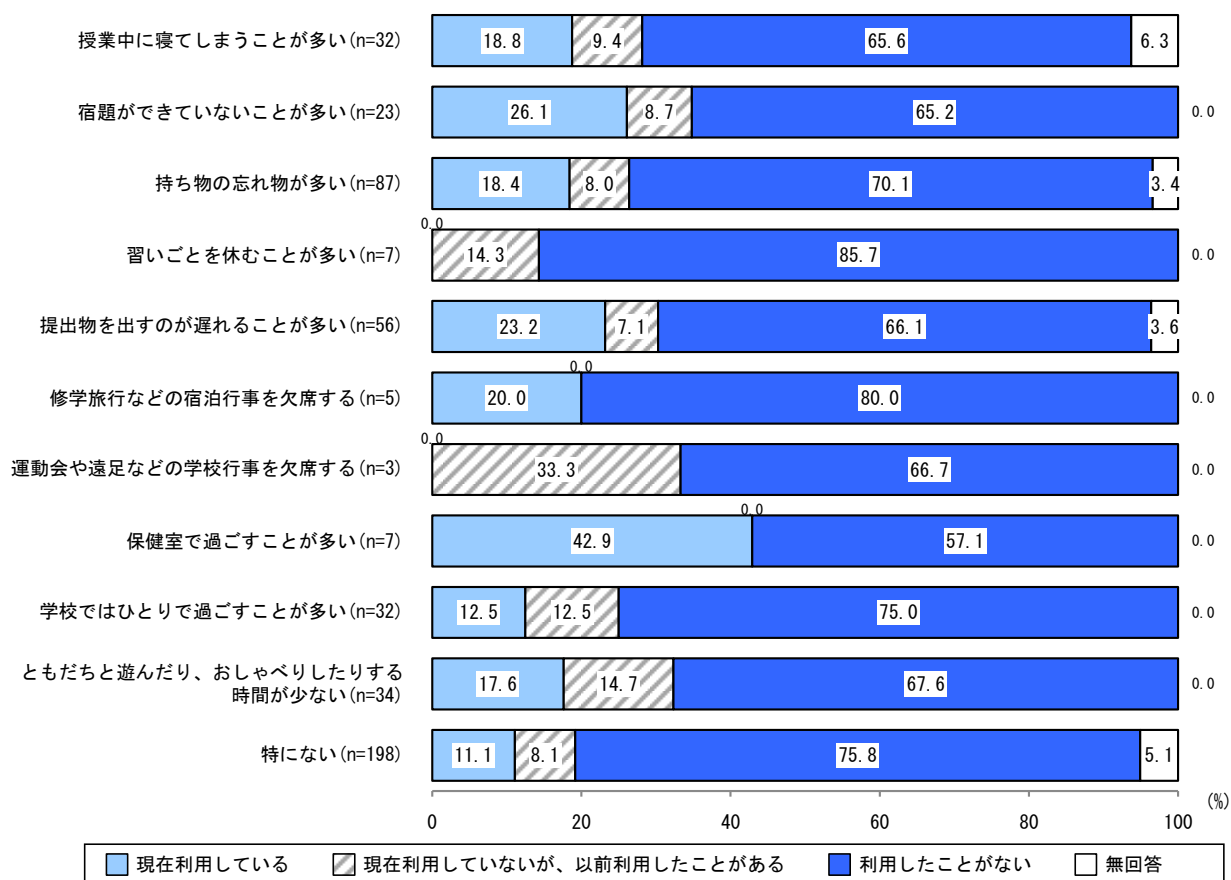
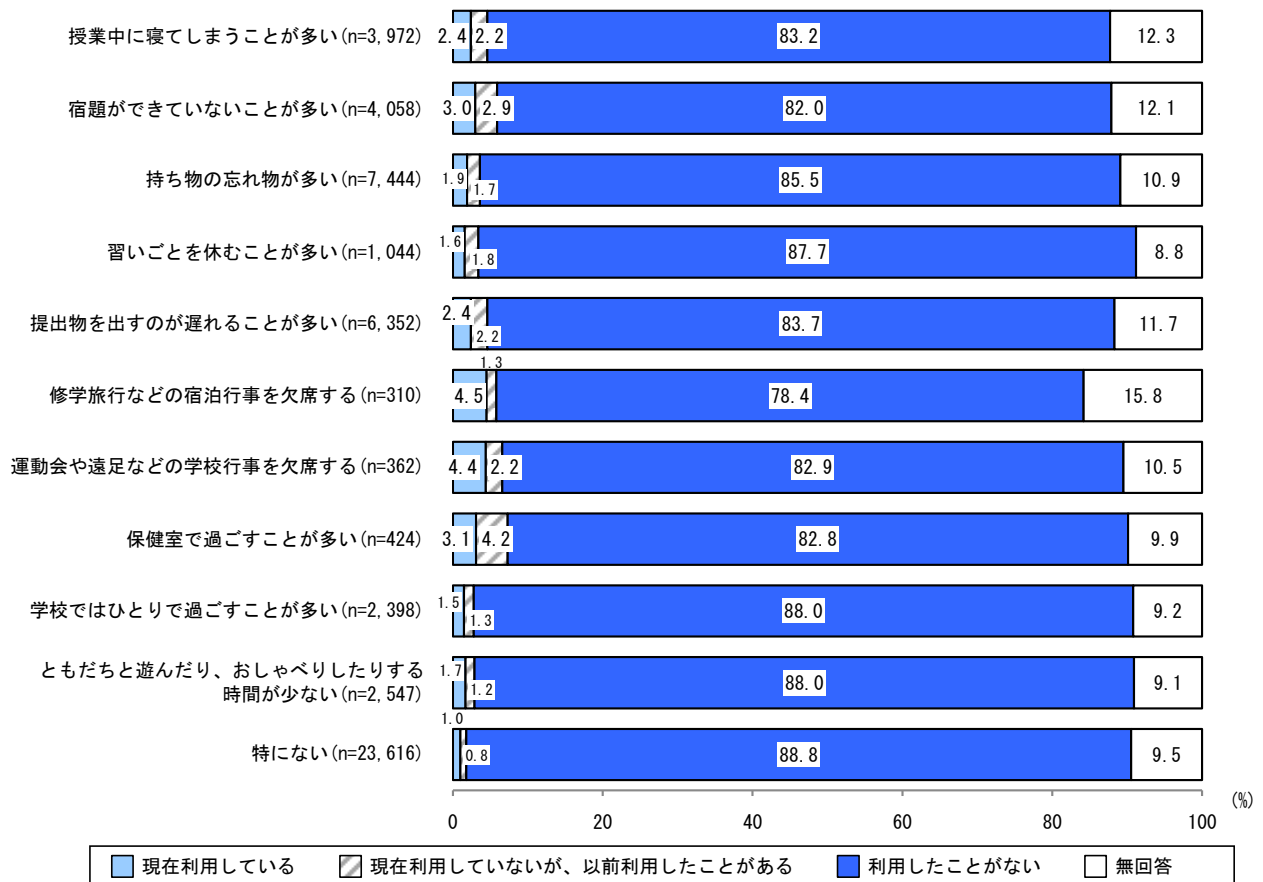


図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が42.9%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

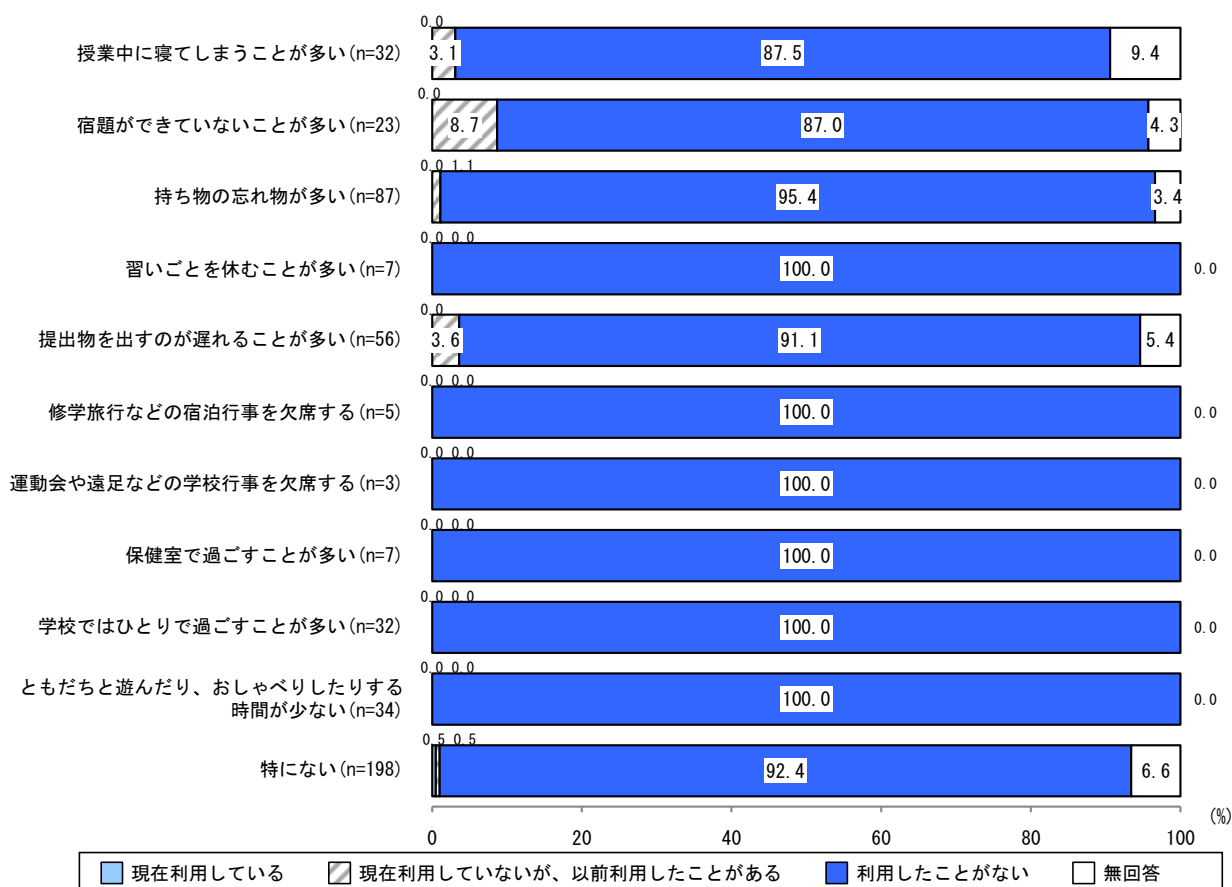
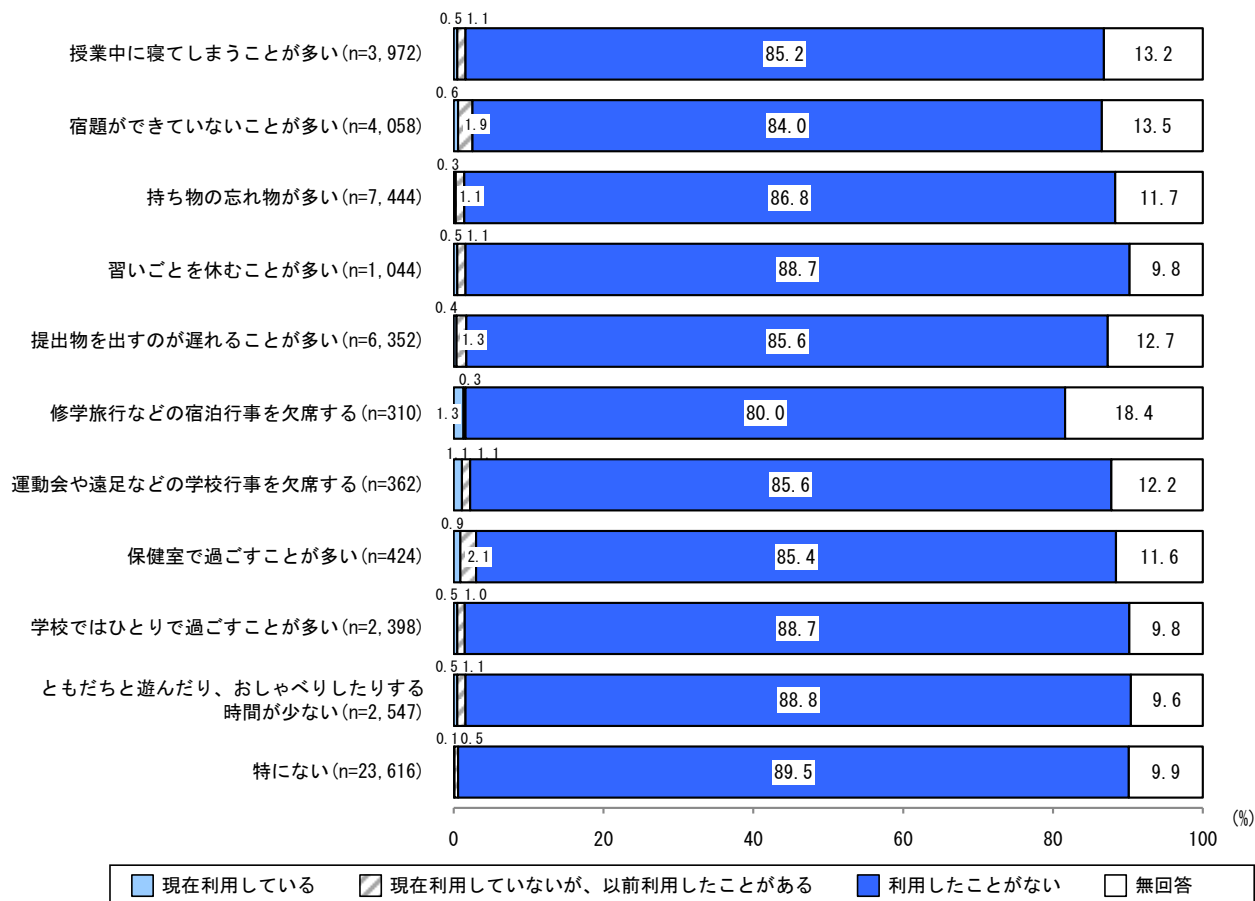


図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が8.7%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<摂津市>

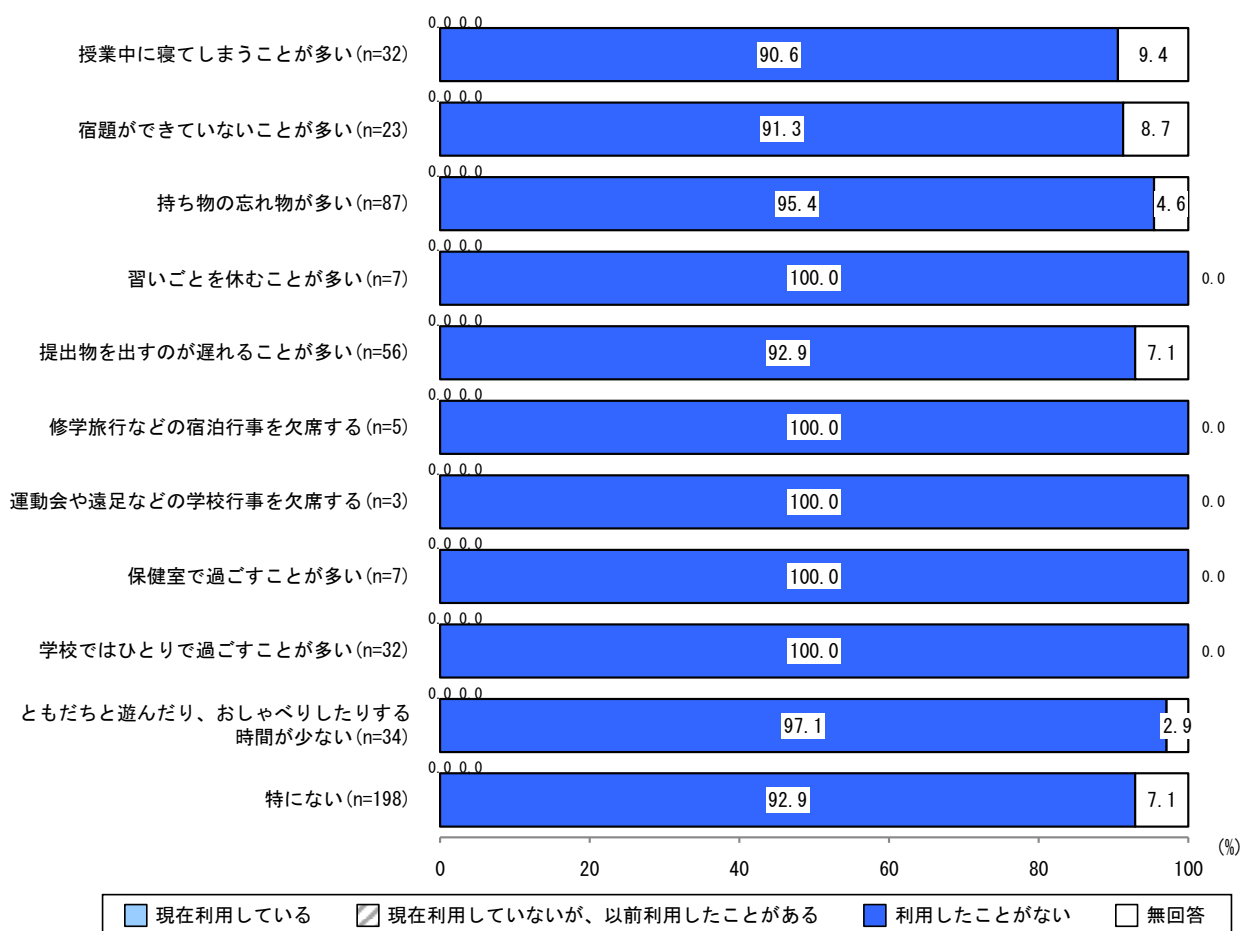
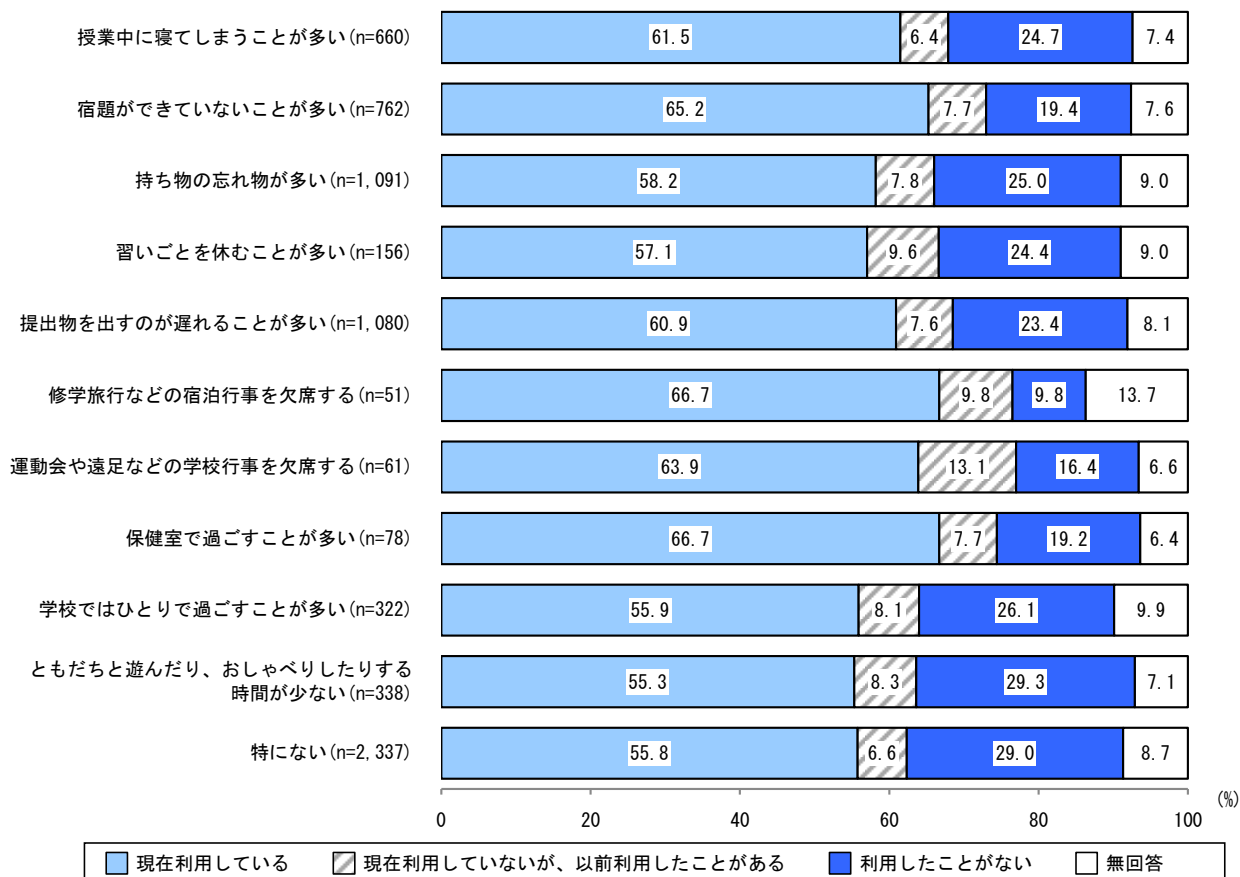


図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合はいずれもいなかった。

学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 16×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<摂津市>

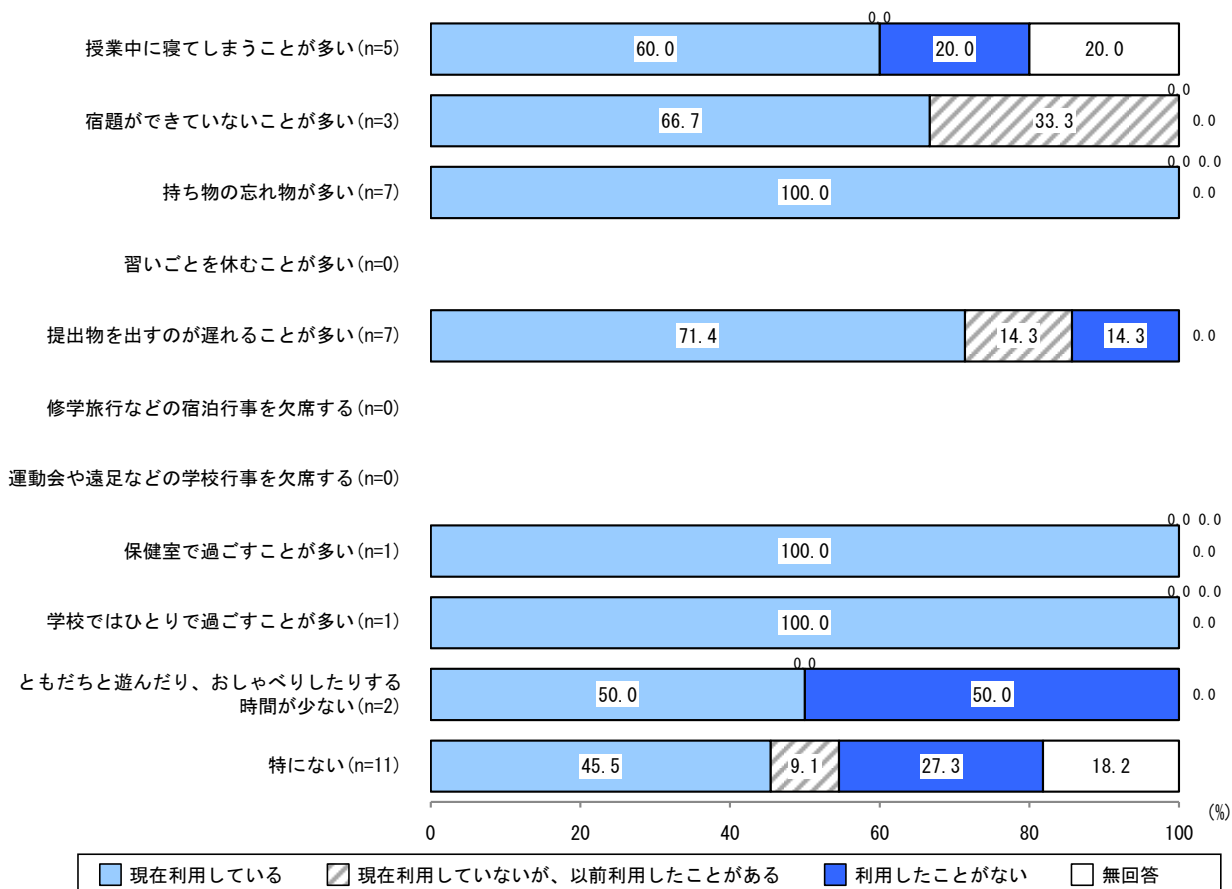
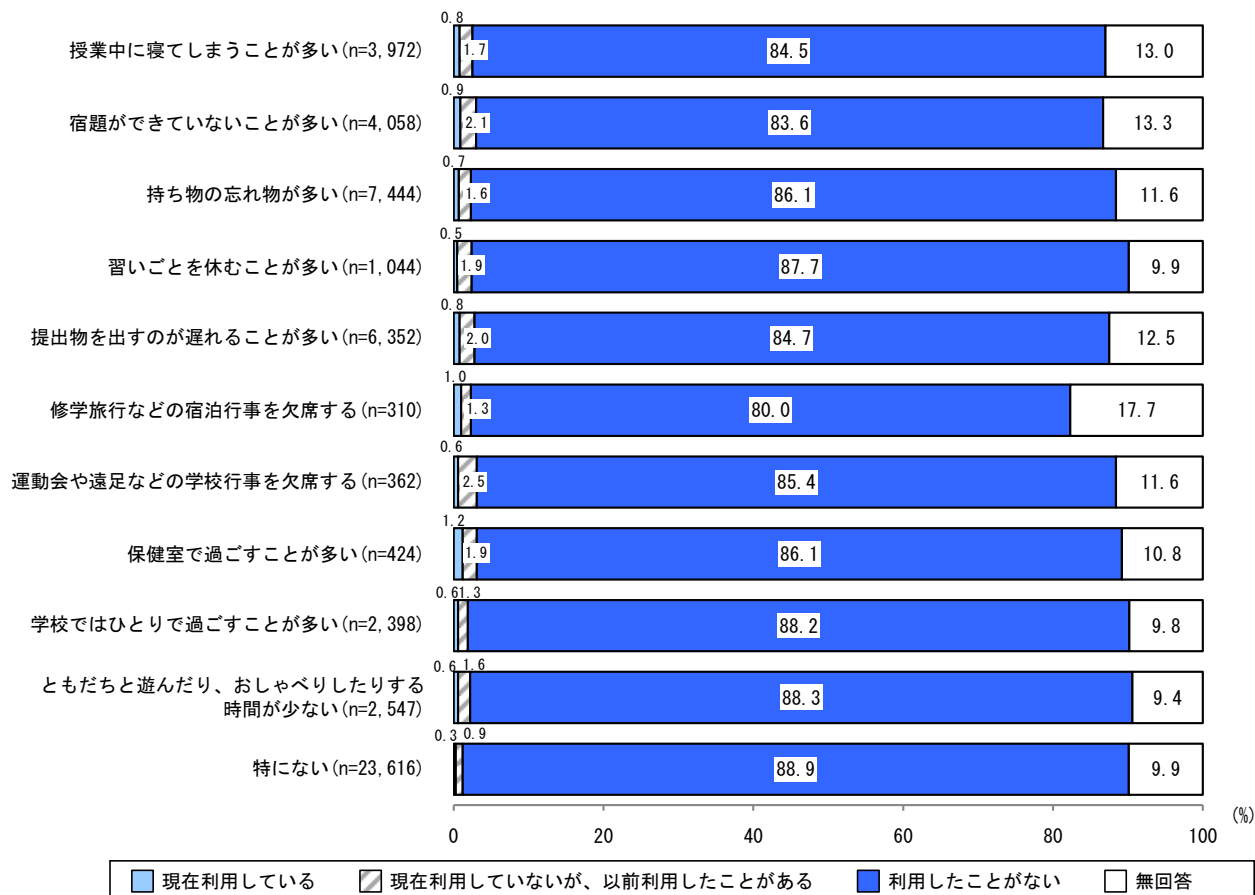


図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

学校や学校の行事等の状況別に児童扶養手当の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、特にないを除いて5割以上を占めている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

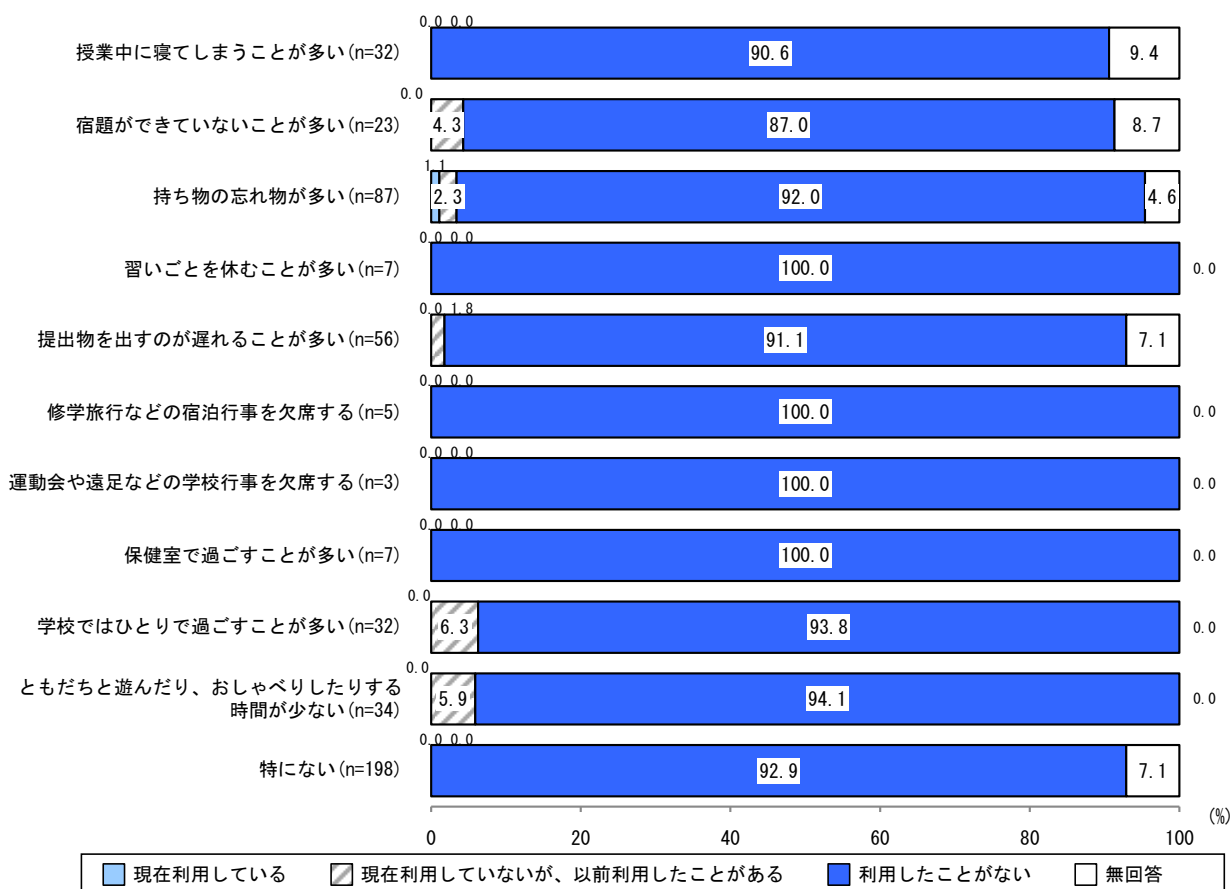
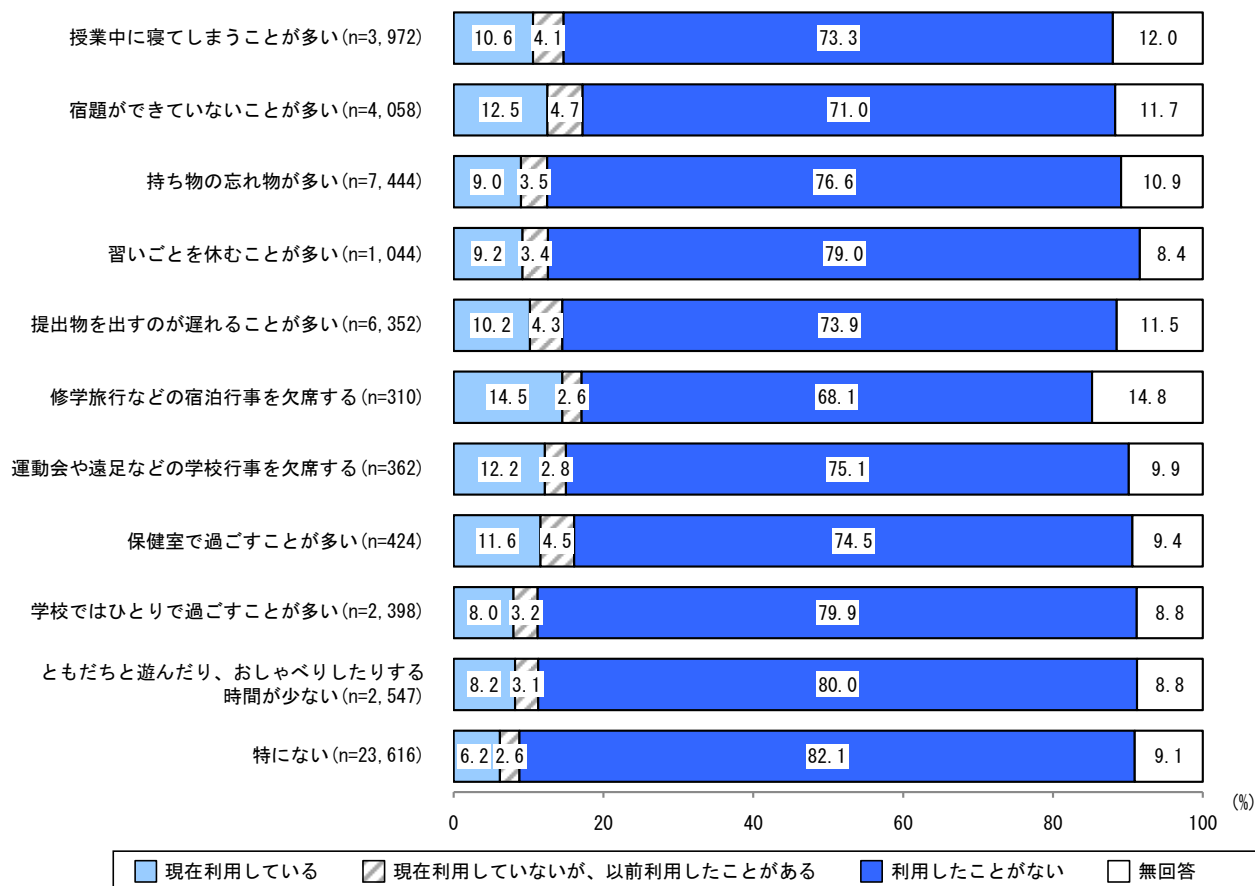


図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

学校や学校の行事等の状況別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「持ち物の忘れ物が多い」と回答した割合が1.1%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<摂津市>

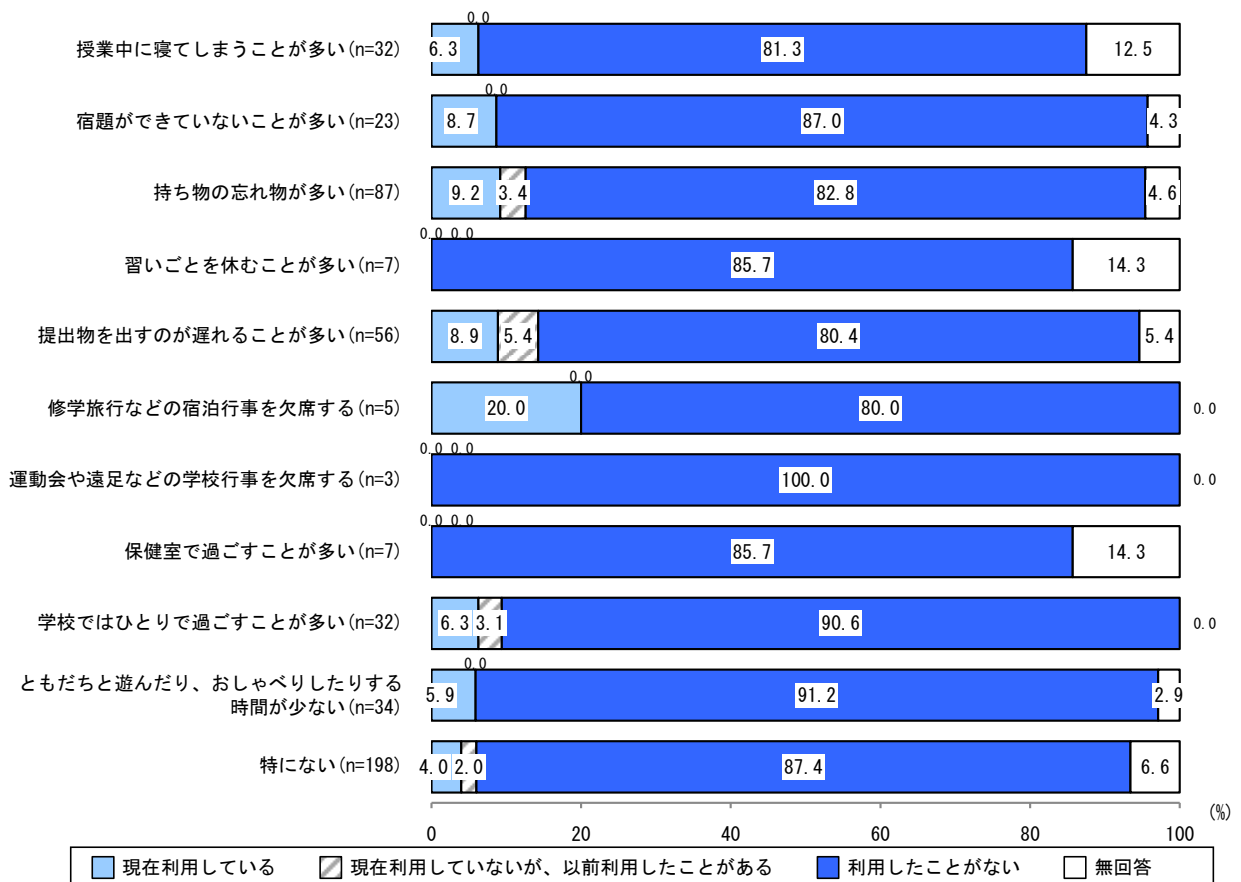
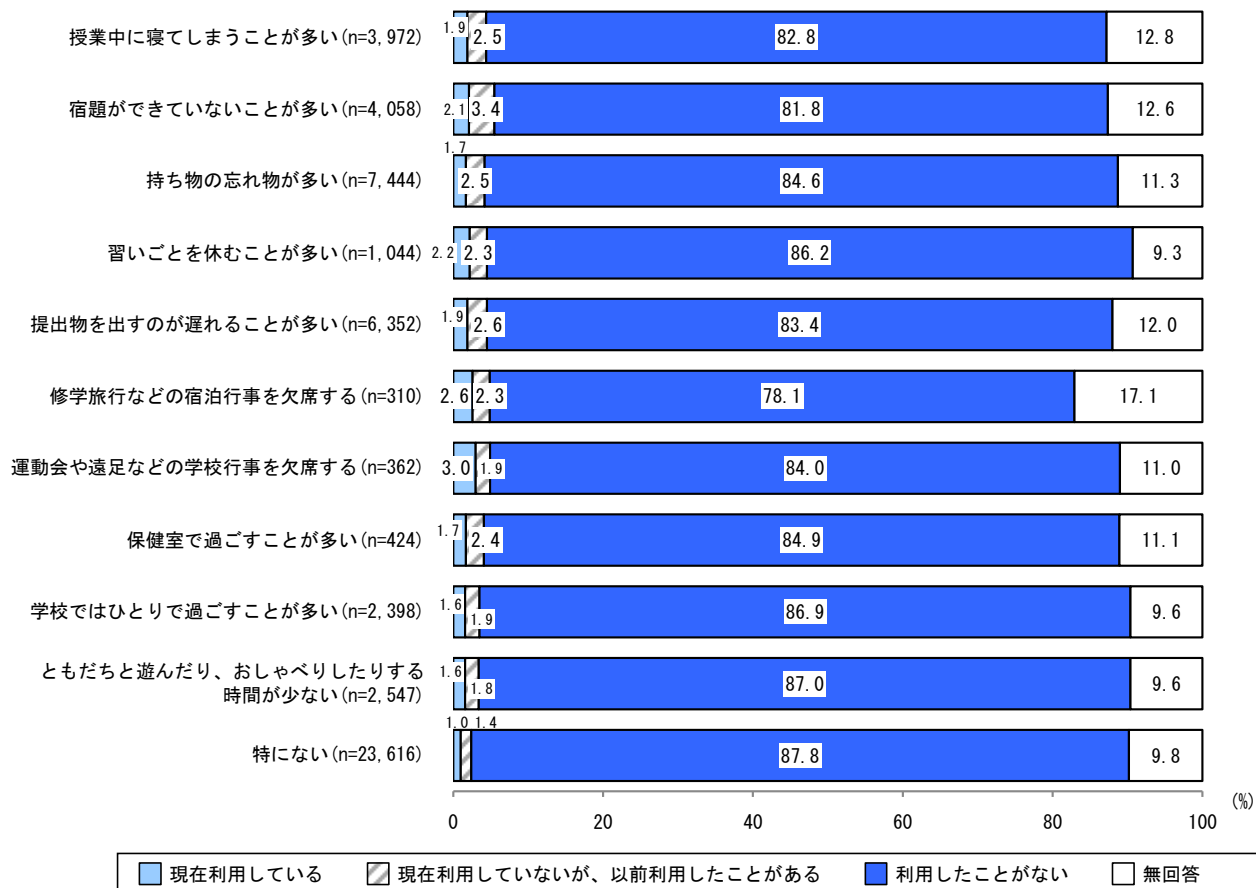


図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が20.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<摂津市>

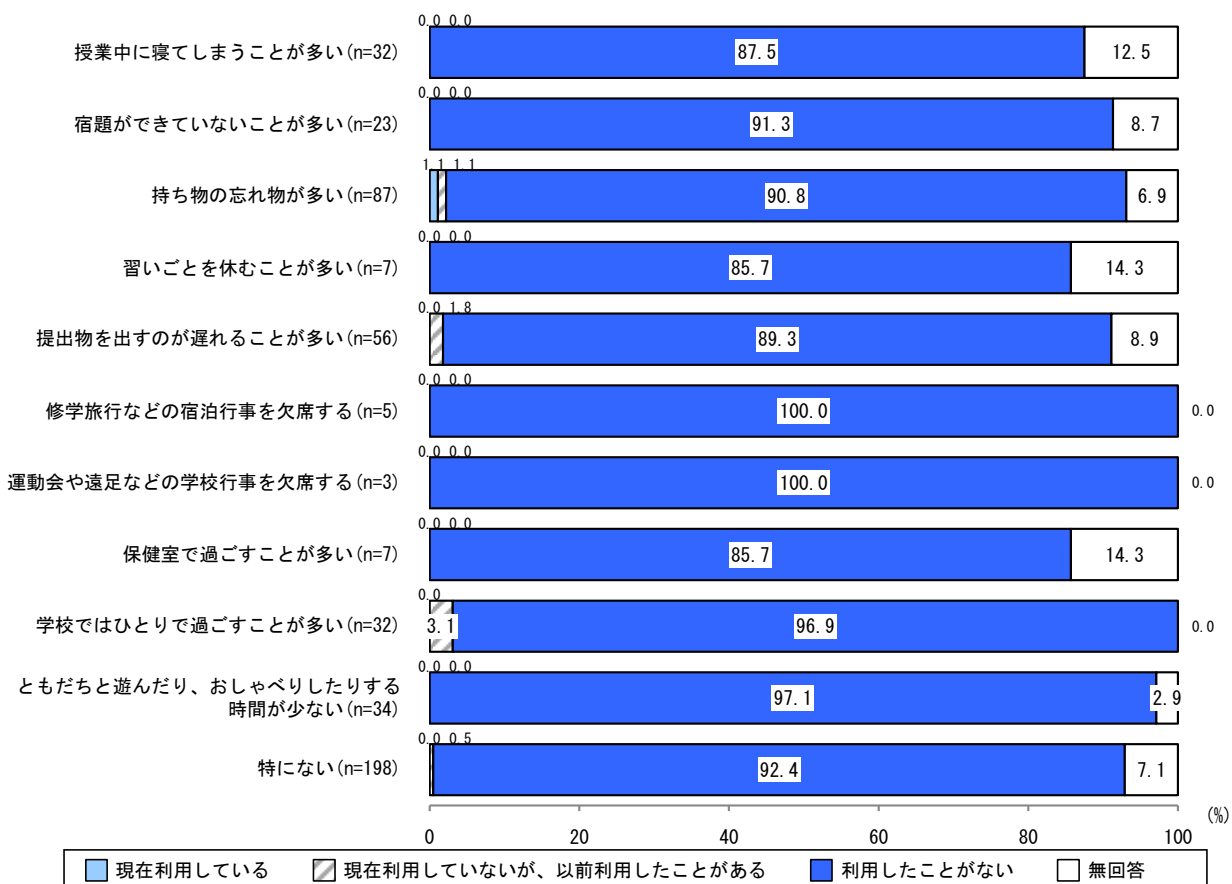
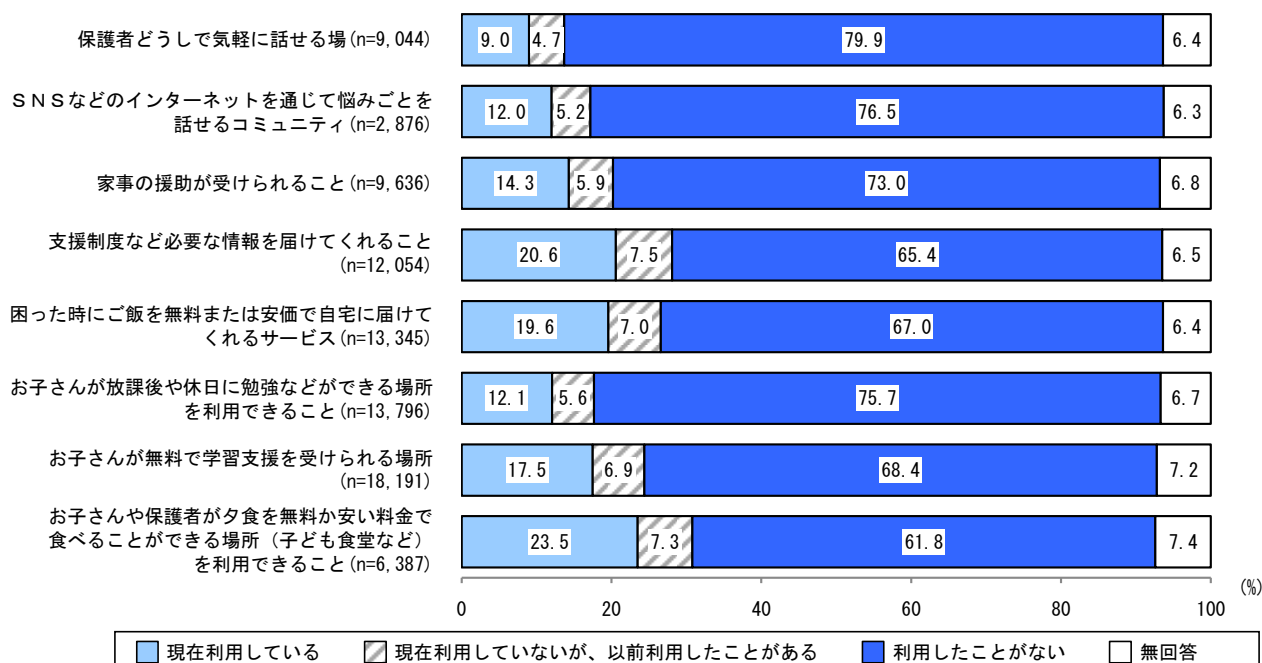


図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「持ち物の忘れ物が多い」と回答した割合が1.1%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<摂津市>

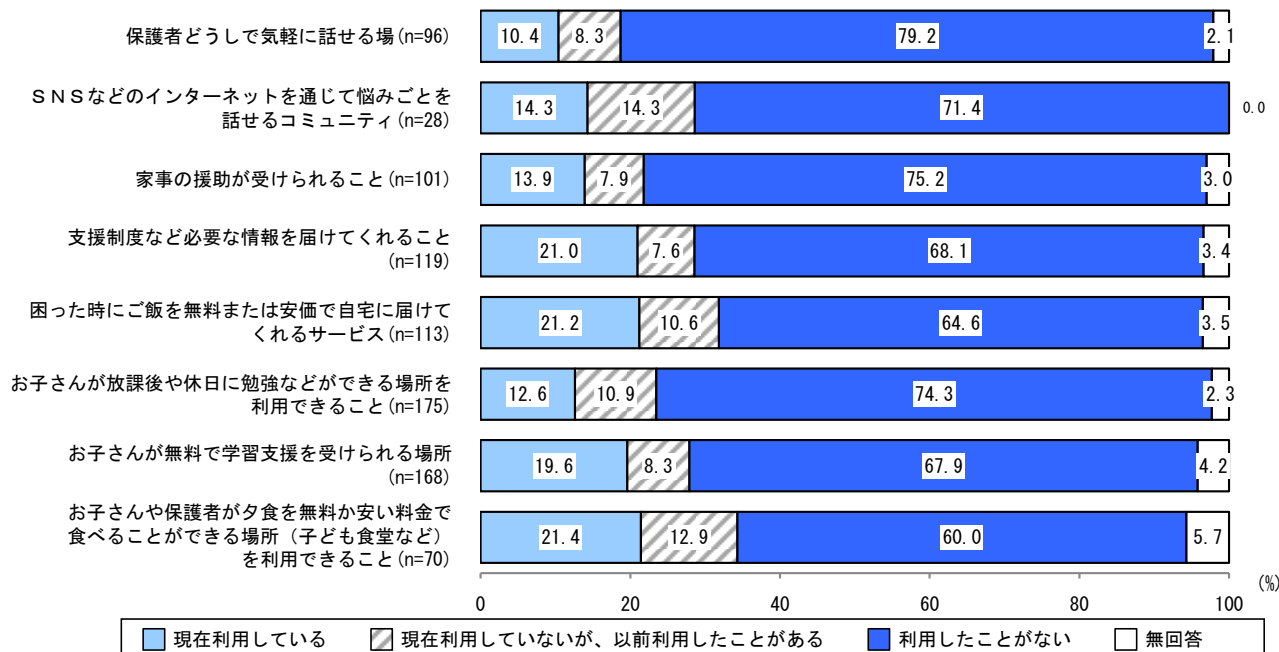
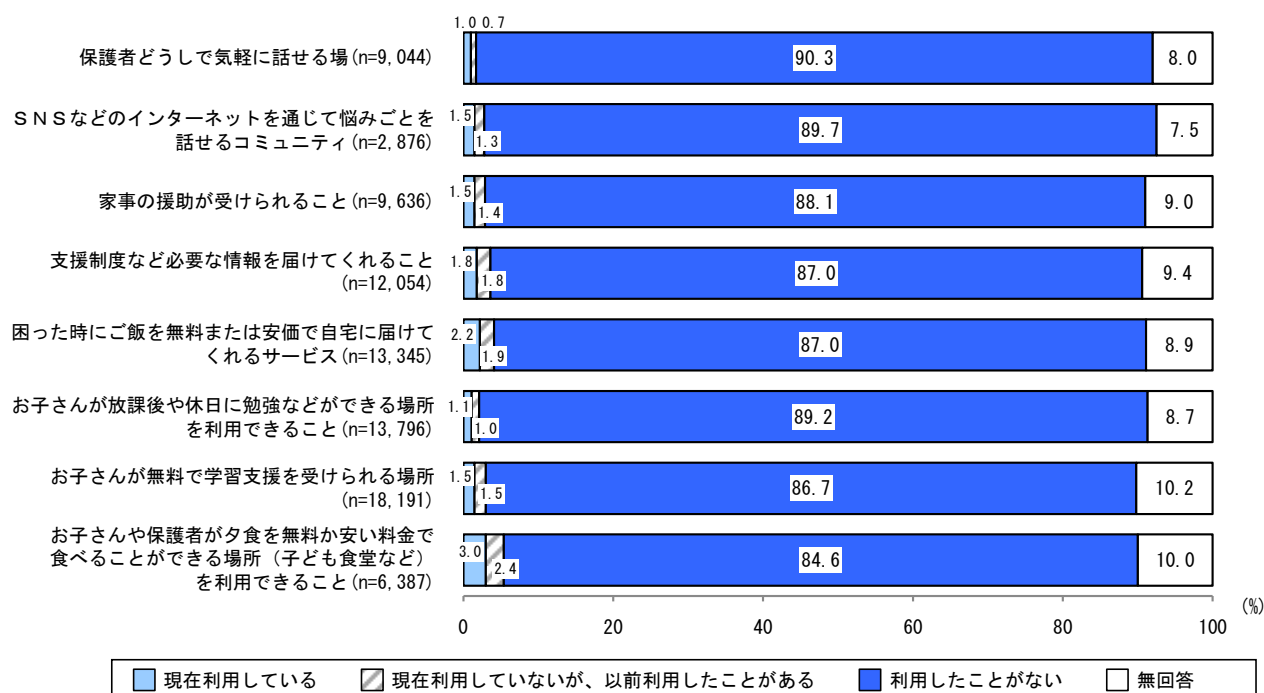


図 41. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者や夕食を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など) を利用できること」と回答した割合が21.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況
(保護者問 20×保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<摂津市>

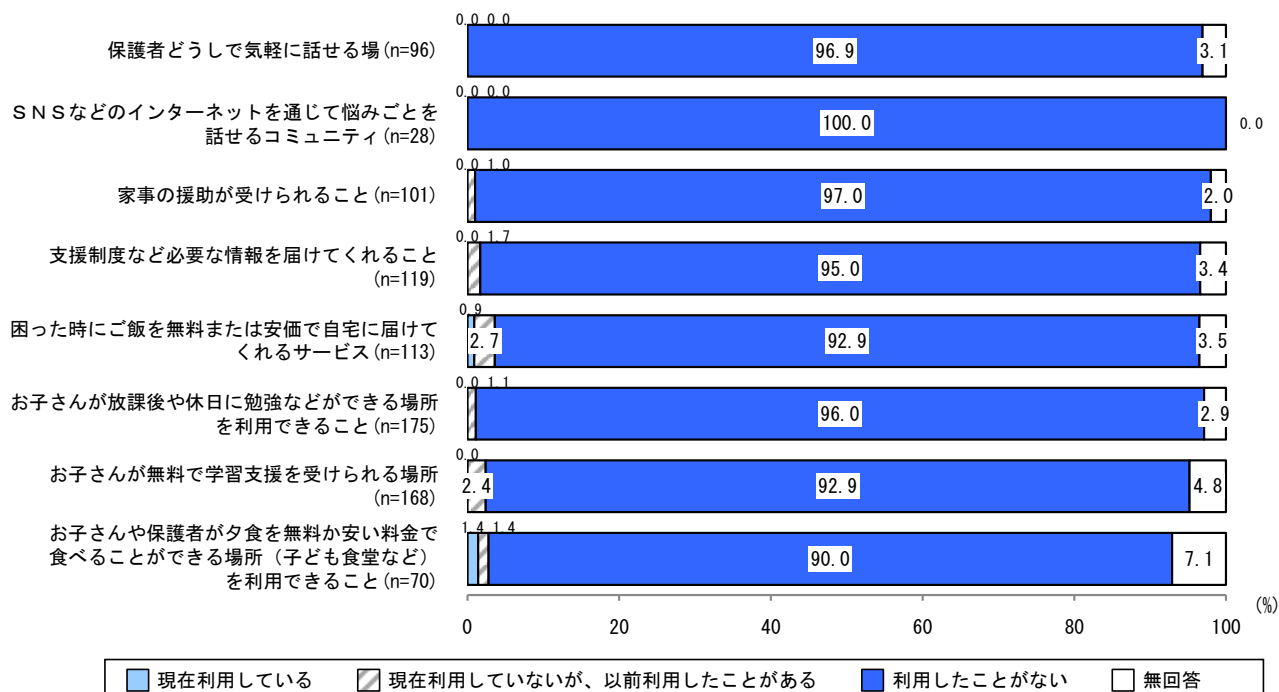
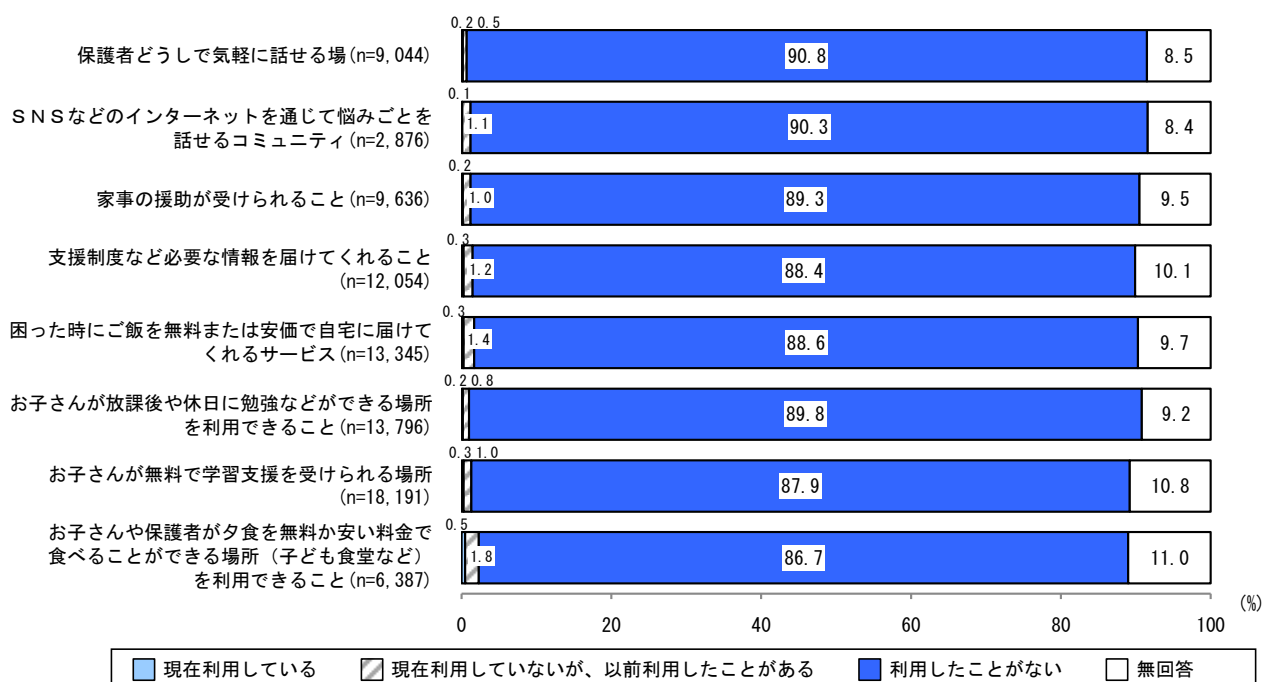


図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など) を利用できること」と回答した割合が1.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<摂津市>

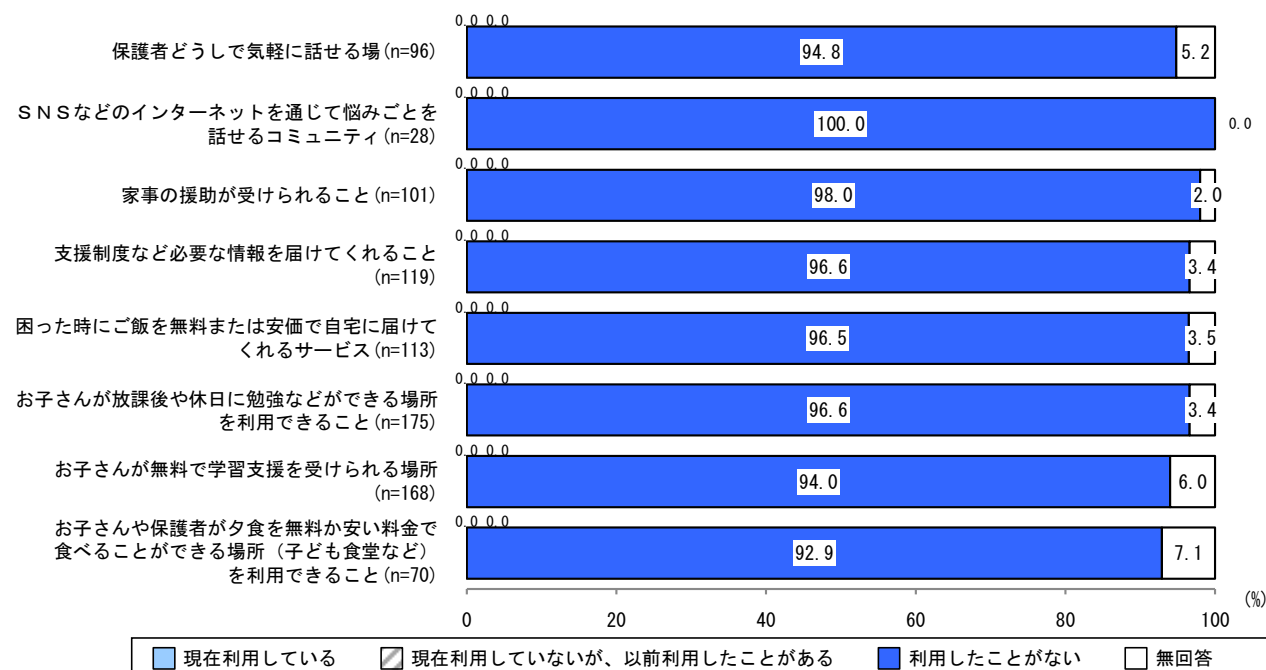
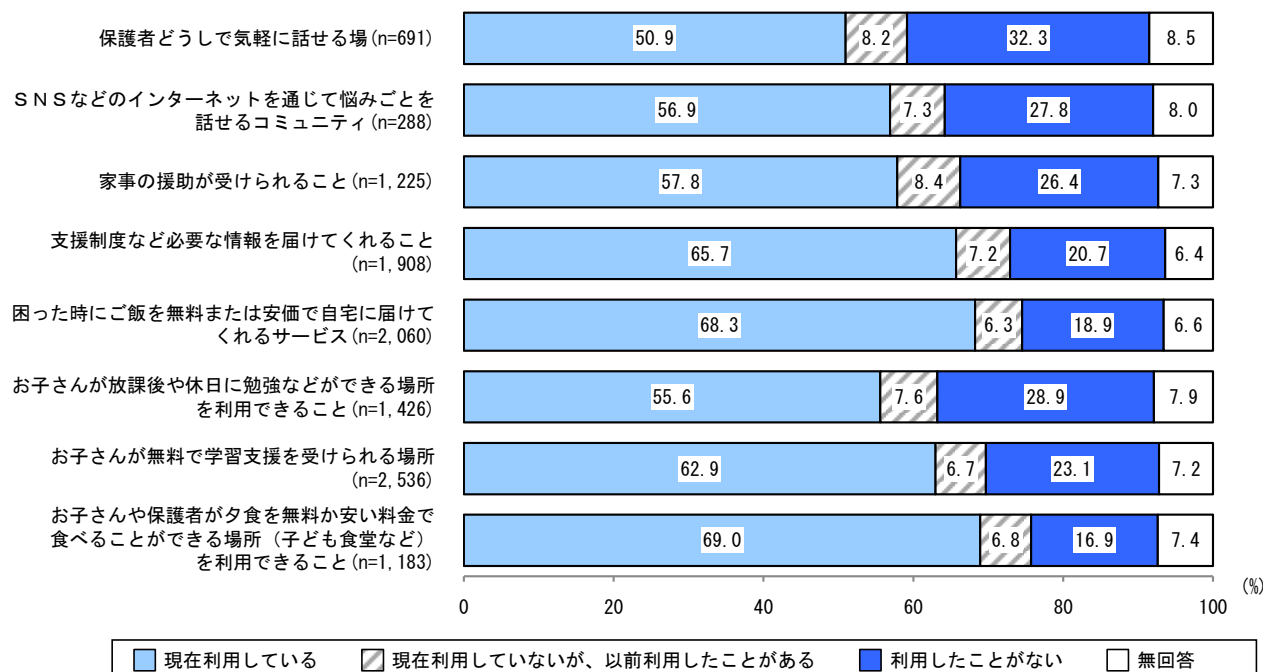


図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合はいずれもいなかった。

身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 20×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<摂津市>

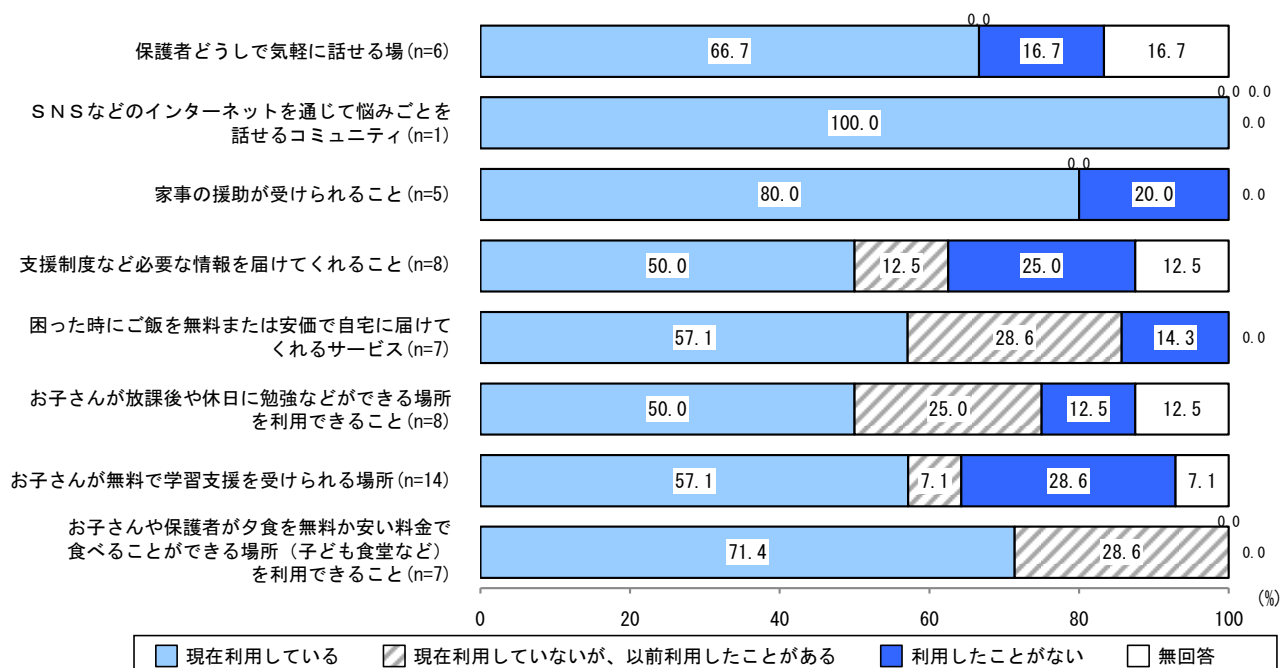
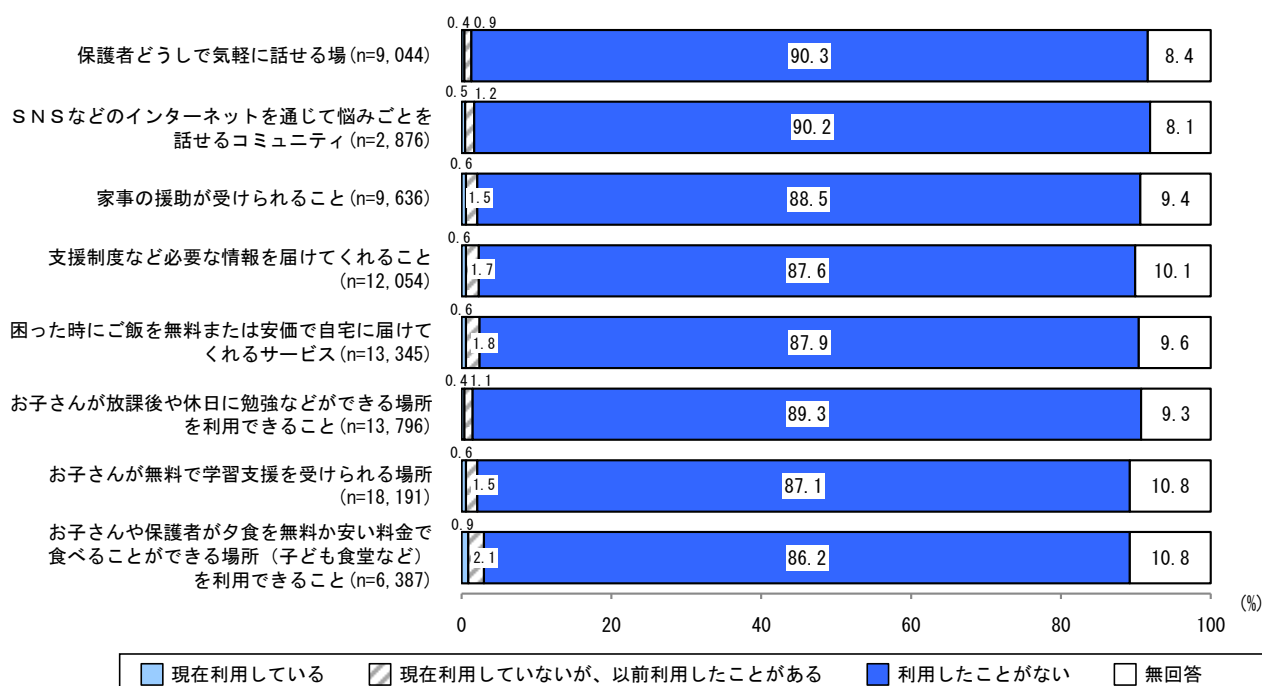


図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

身近にあるといいと思うこと別に児童扶養手当の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」と回答した割合が100.0%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<摂津市>

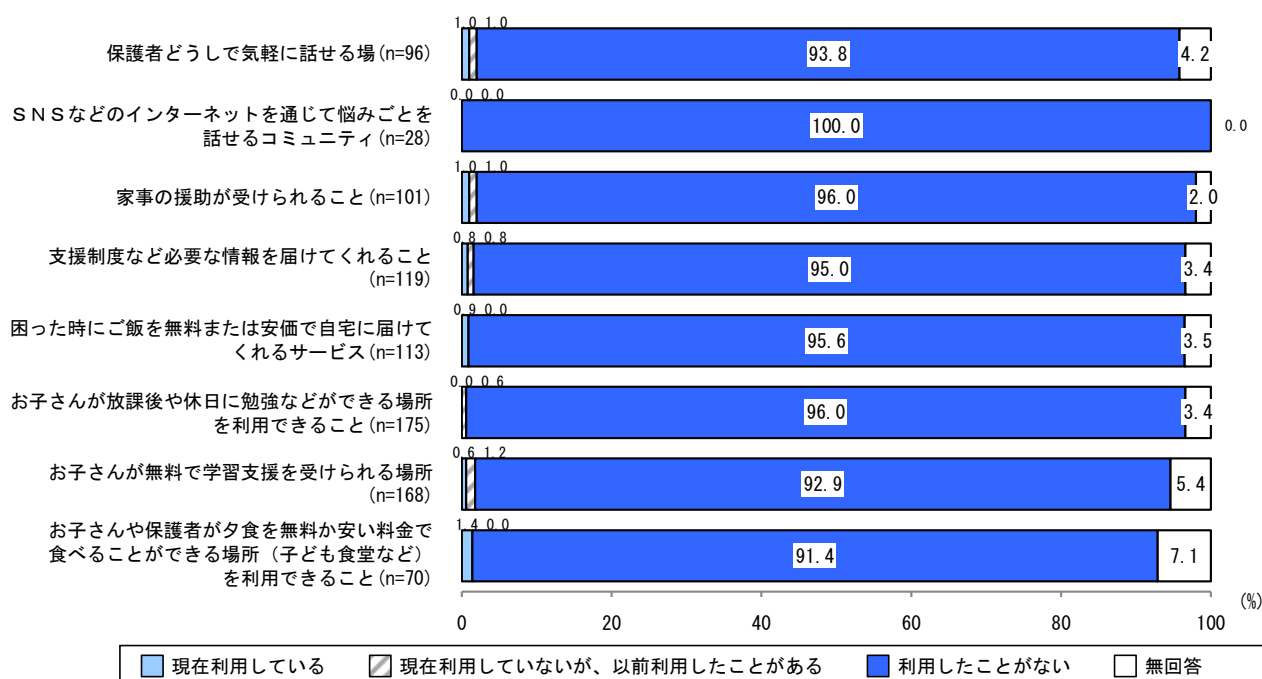
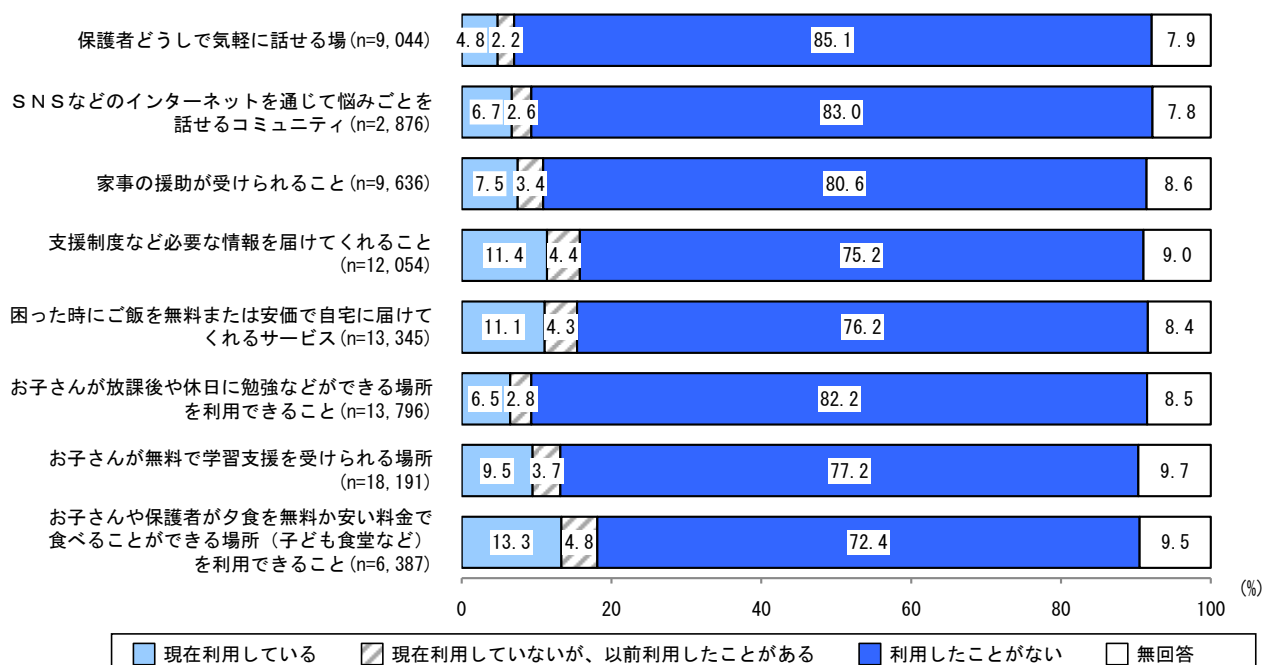


図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

身近にあるといいと思うこと別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が1.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<摂津市>

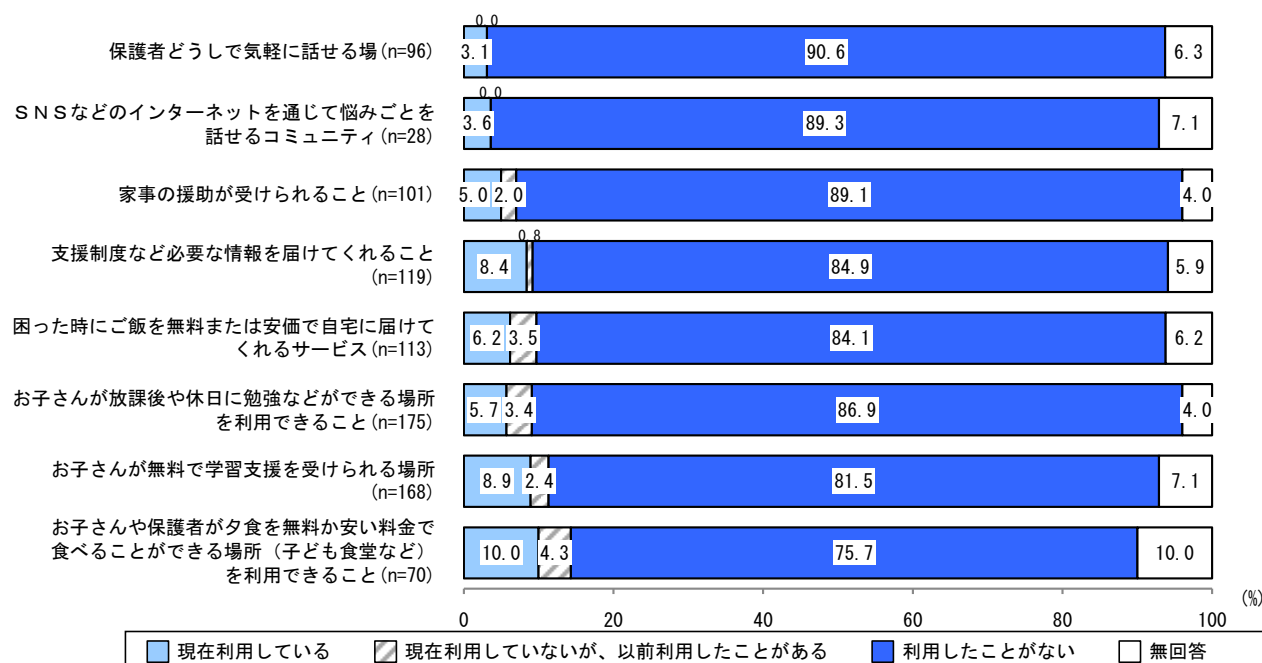
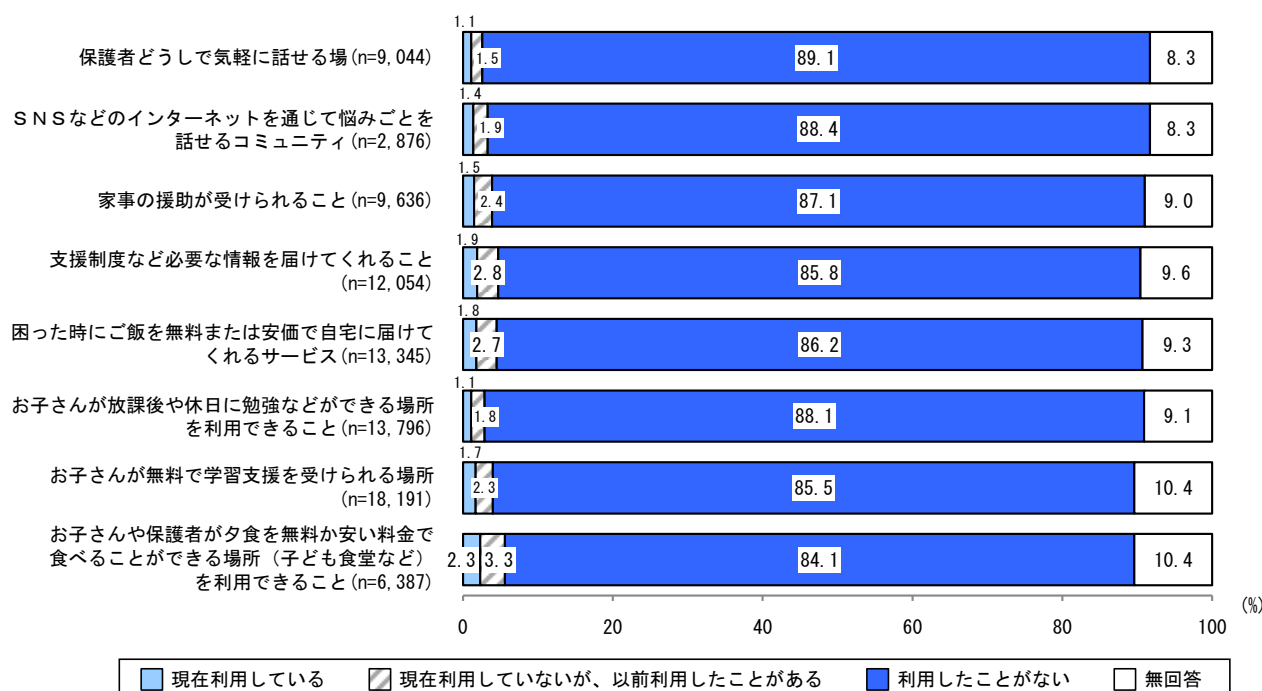


図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が10.0%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<摂津市>

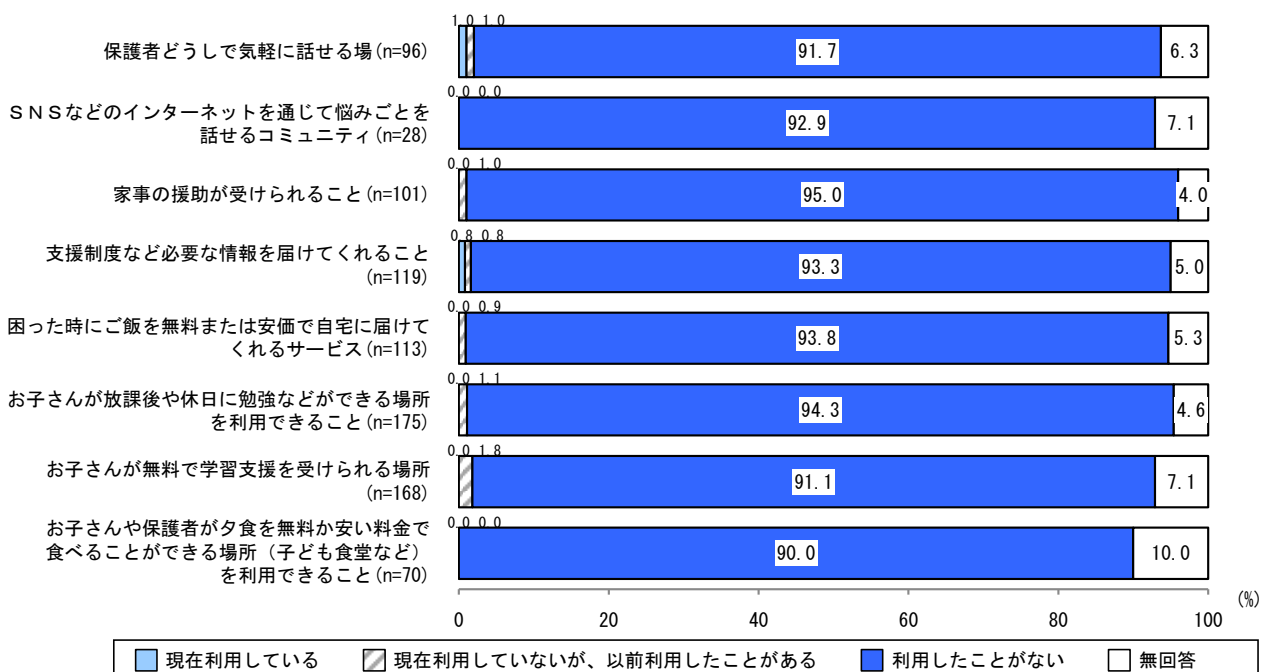


図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」と回答した割合が1.8%で最も高くなっている。

<家庭状況（制度等）に関する考察>

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が13.6%となっている。困窮度Ⅰ群では、62.5%、困窮度Ⅱ群では、38.9%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で56.0%、困窮度Ⅰ群で85.7%、困窮度Ⅱ群で50.0%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で0.3%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰ群では、2.5%、困窮度Ⅱ群では該当なしとなっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。いずれにしても、社会保障制度の捕捉率を上げるために、給付を必要な世帯が利用しやすいような各制度の要件緩和、手続きの簡素化等の施策が求められている。

ひとり親世帯について、養育費の「取り決めをしており、受け取っている」世帯は、全体で17.6%にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で50.0%、困窮度Ⅱ群で100.0%となっている。離別の場合、生活状況の激変のなか、ひとり親自身が養育費の取り決めを行うことは容易なことではないため、相談機関等の支援策の充実が求められる。

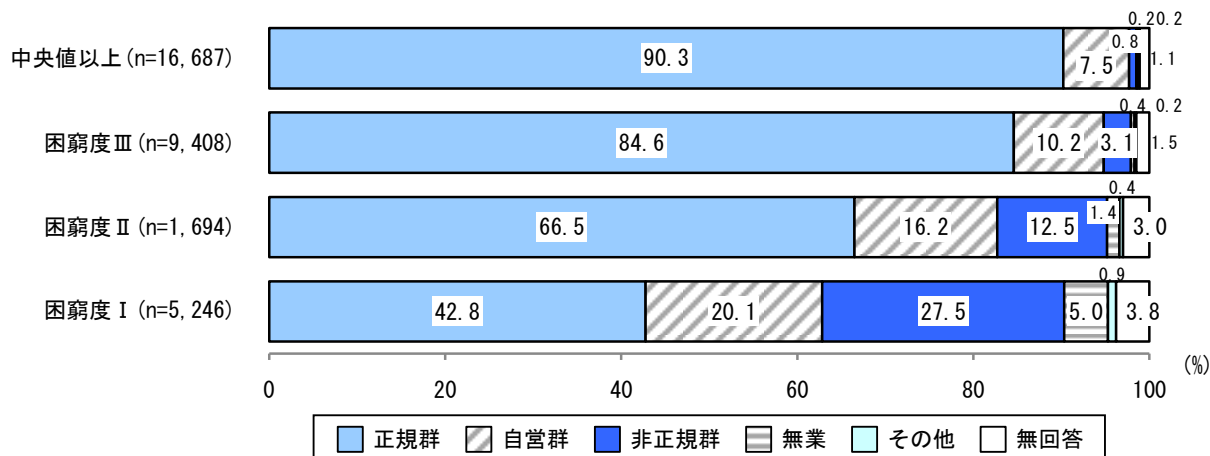
初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「20～23歳」で中学校卒業が3.0%、高等学校中途退学が9.1%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても学修を中断せず継続できるような学修面でのサポート体制、子育て支援が求められる。また学びを一時中断した者についても、あとからでも「学び直し」を可能にするような学修機会の提供等が求められる。

住宅形態別に家計の状況をみると、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が100.0%を占める。同様に、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」については、「子どもの将来のための貯蓄状況」についても「貯蓄をしたいが、できていない」が75.0%と経済的余裕のなさが示されている。家賃分の負担軽減に加えて、生活費部分の経済的支援の必要性が示されている。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全体>



<摂津市>

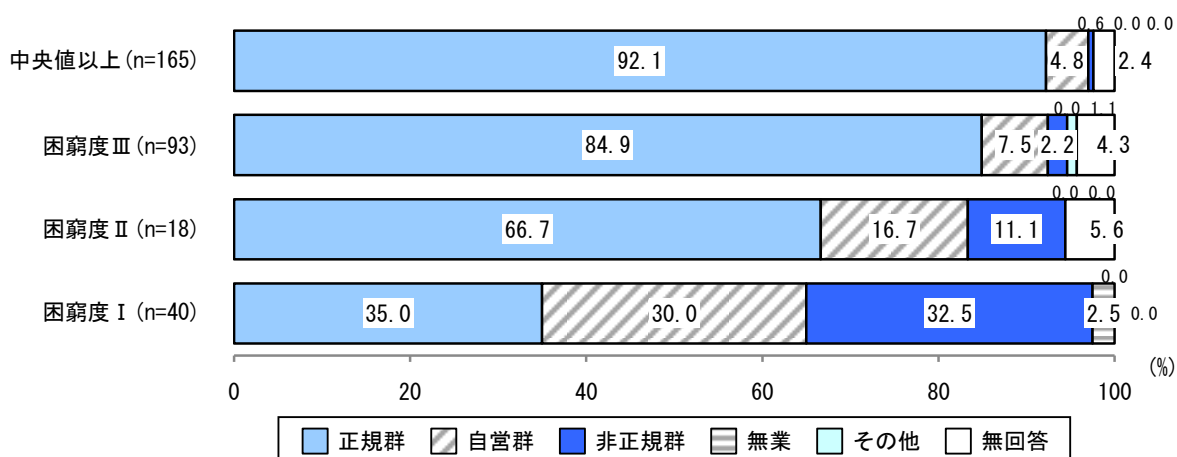


図 48. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」、「非正規群」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「非正規群」、「無業」の割合が高く、それぞれ32.5%、2.5%となっている。

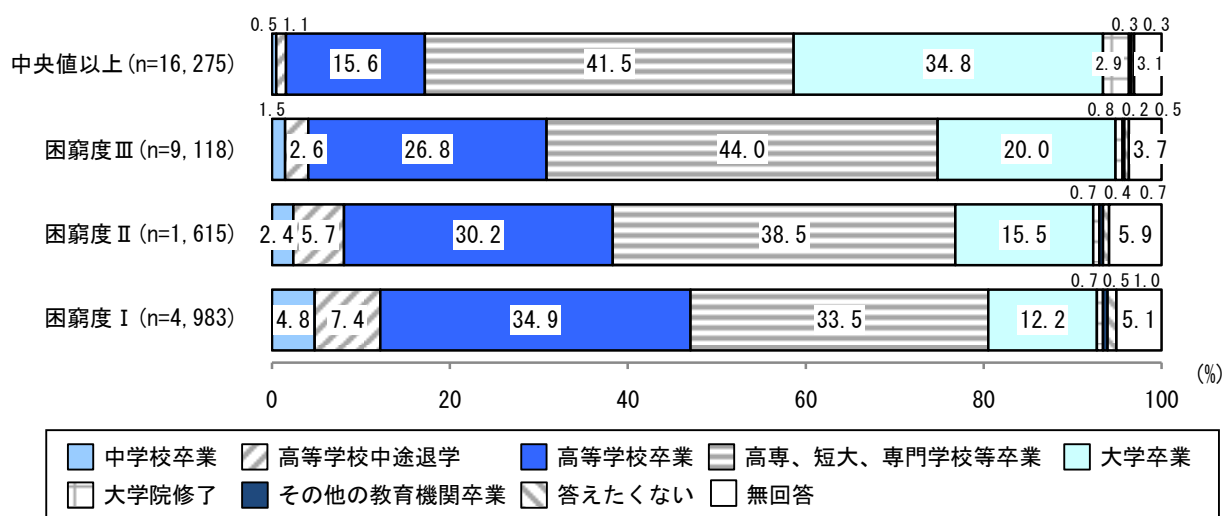
※分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
上記以外で、誰も働いていなければ「無業」（問9選択肢6、7）。
上記以外が「その他」となる。

ここでの無業とは、「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

困窮度別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 8）

<大阪府内全体>



<摂津市>

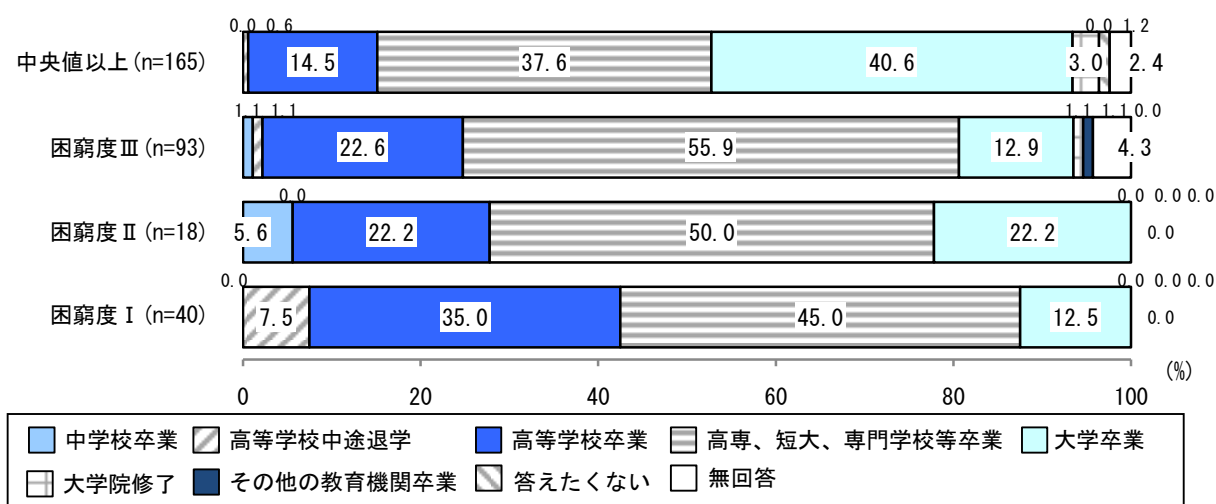
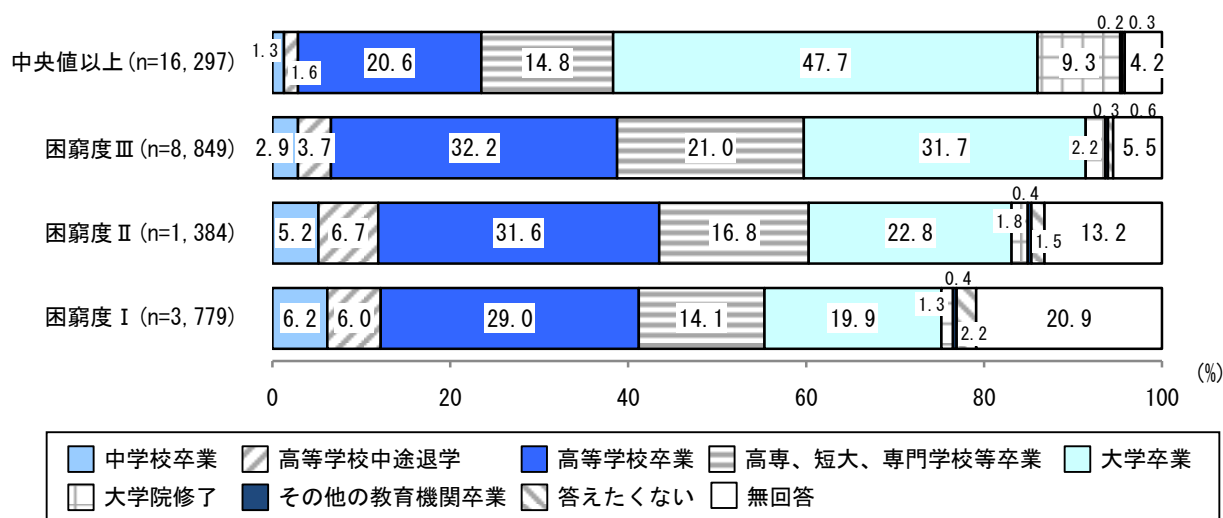


図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、「高等学校中途退学」の割合が困窮度Ⅰ群で最も高くなっている。困窮度Ⅰ～Ⅲ群では中央値以上群に比べ、「大学卒業」の割合が低い。

困窮度別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問8）

<大阪府内全体>



<摂津市>

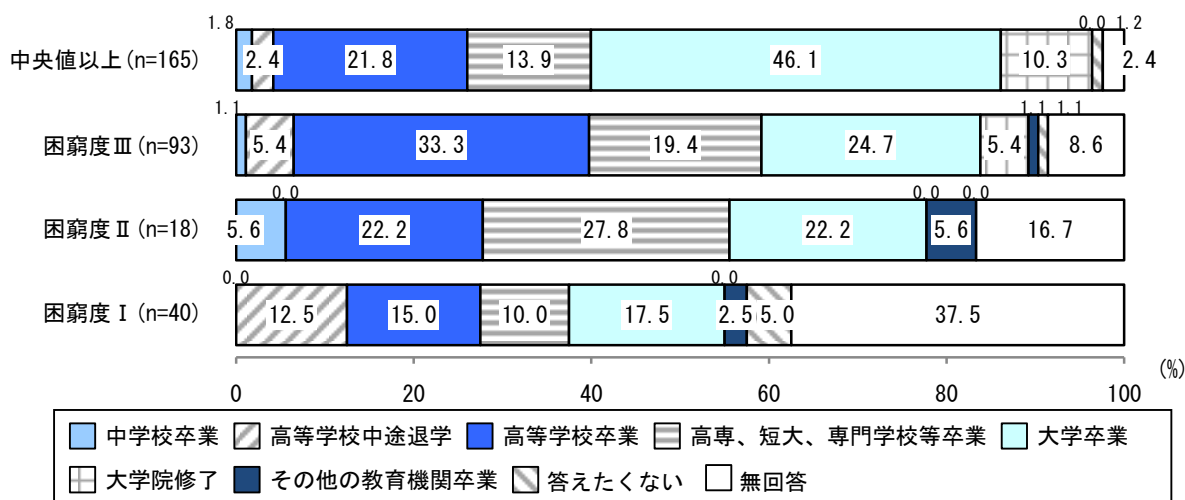
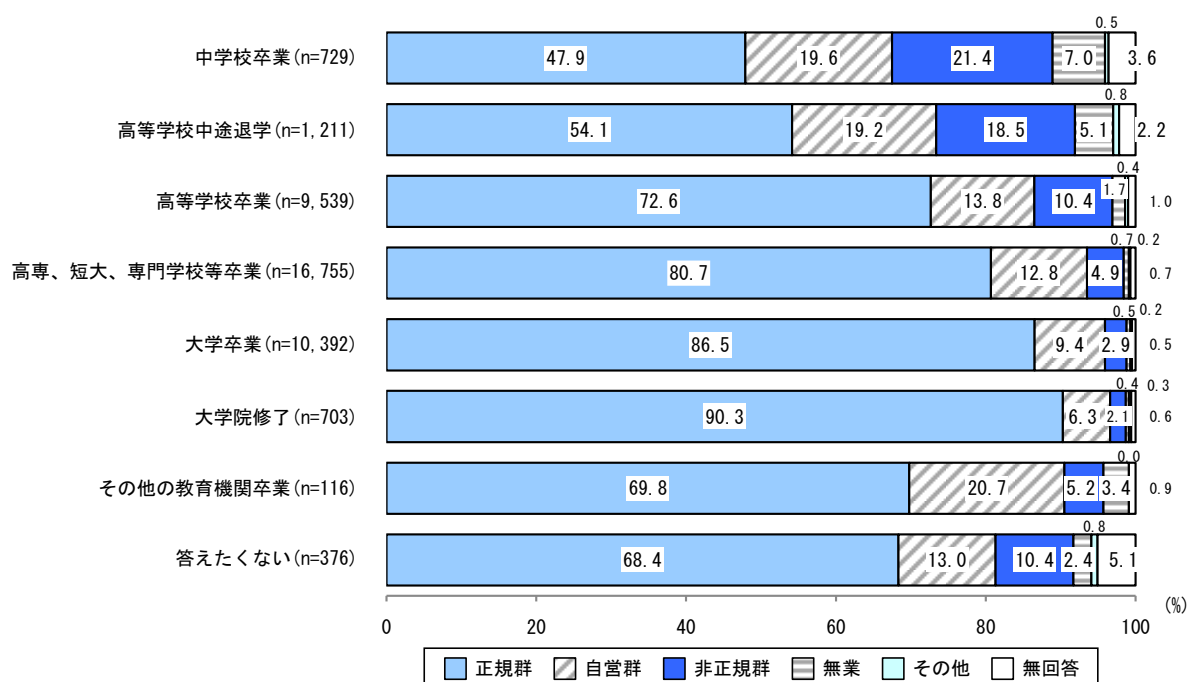


図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、「中学校卒業」の割合は困窮度Ⅱ群で最も高くなっている。困窮度Ⅰ群において、「高等学校中途退学」の割合は12.5%である。また、困窮度Ⅰ群では無回答（37.5%）の割合も高い。

お母さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問 8 × 保護者票問 9）

<大阪府内全体>



<摂津市>

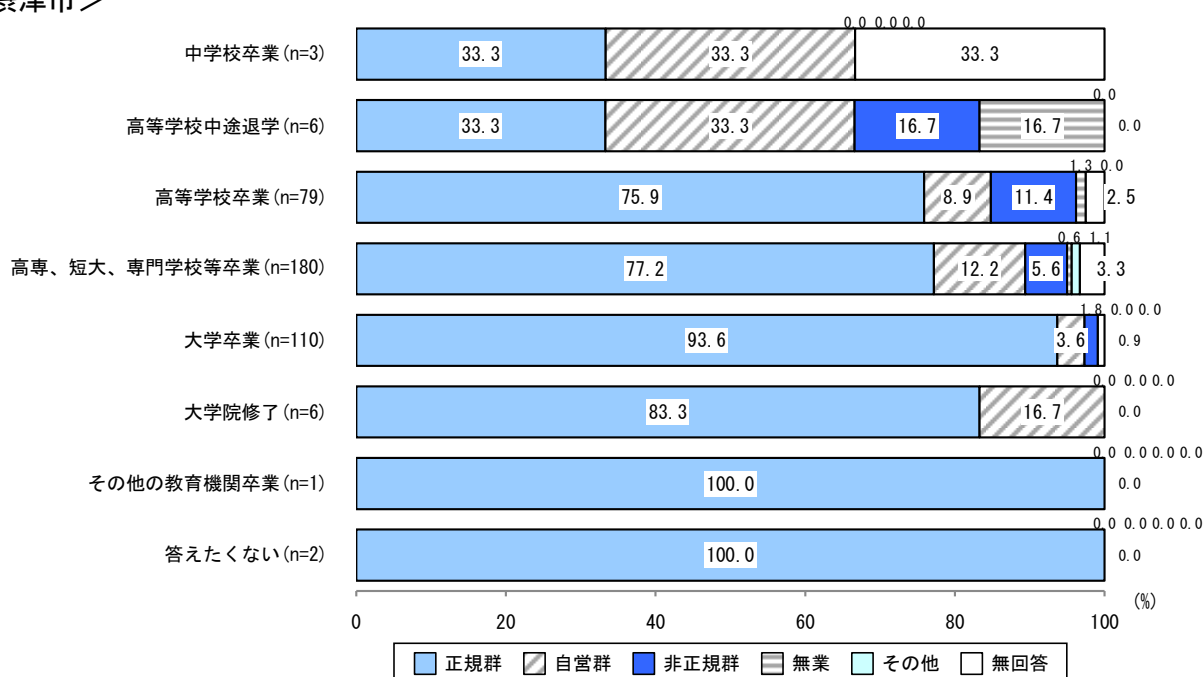
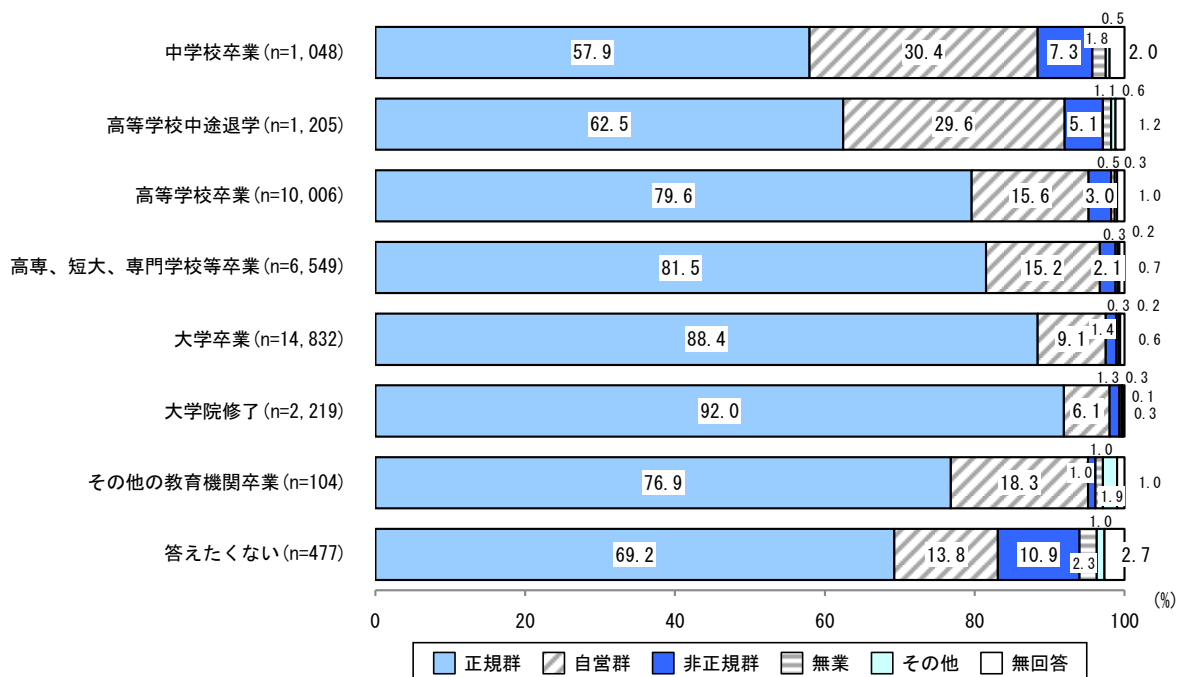


図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

お父さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問 8 × 保護者票問 9）

<大阪府内全体>



<摂津市>

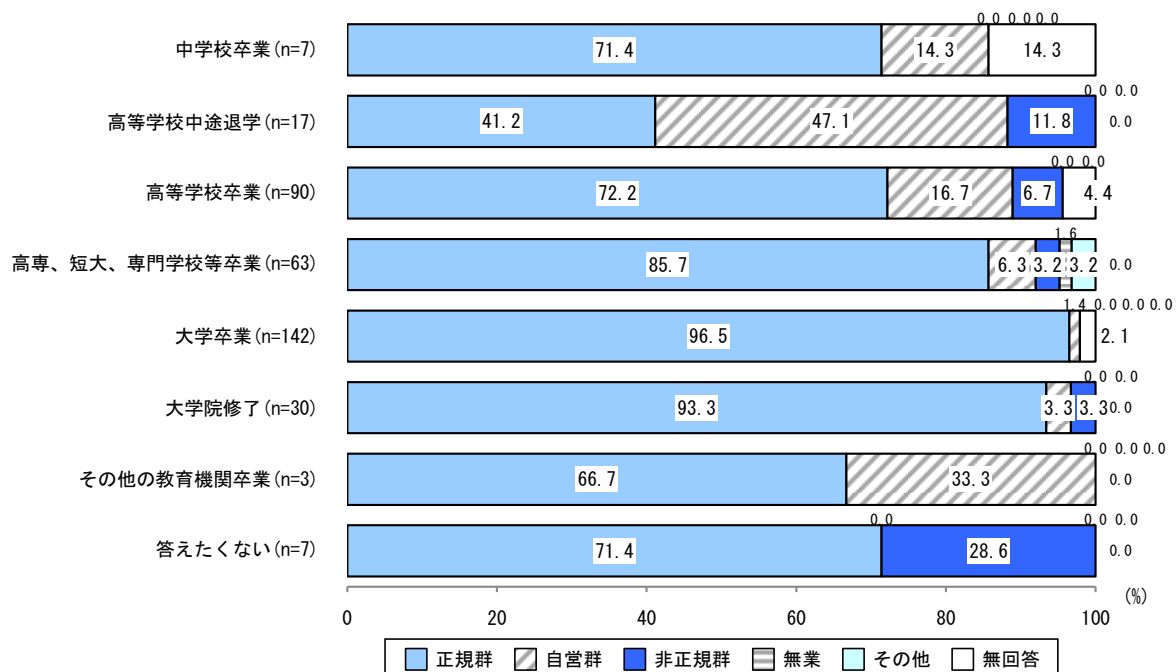
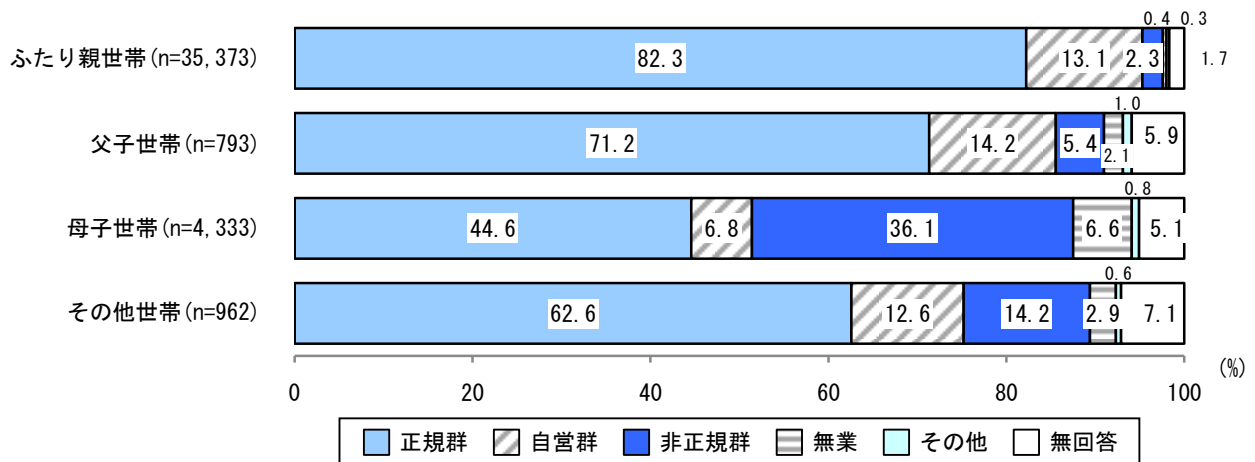


図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、父親の最終学歴が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（保護者票問2×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<摂津市>

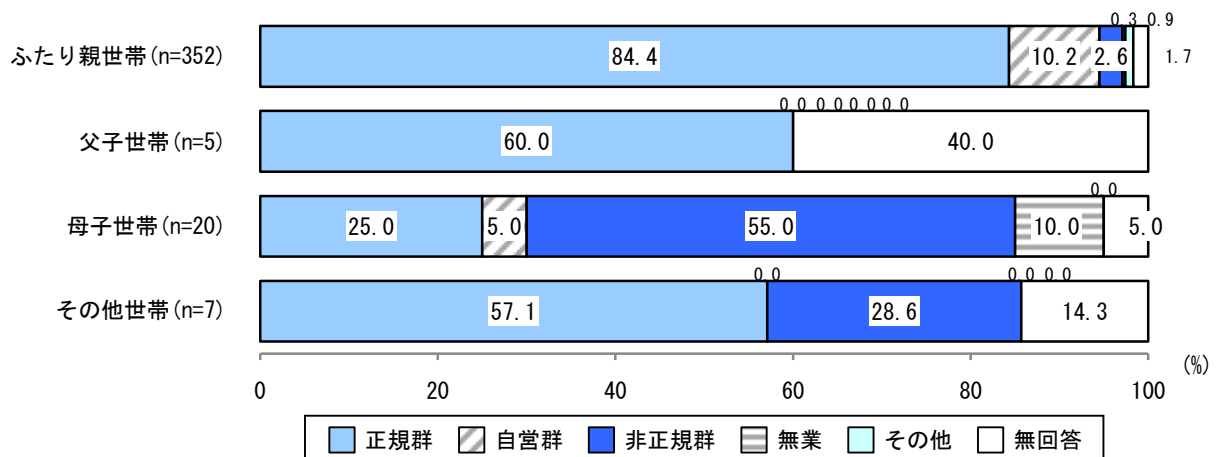
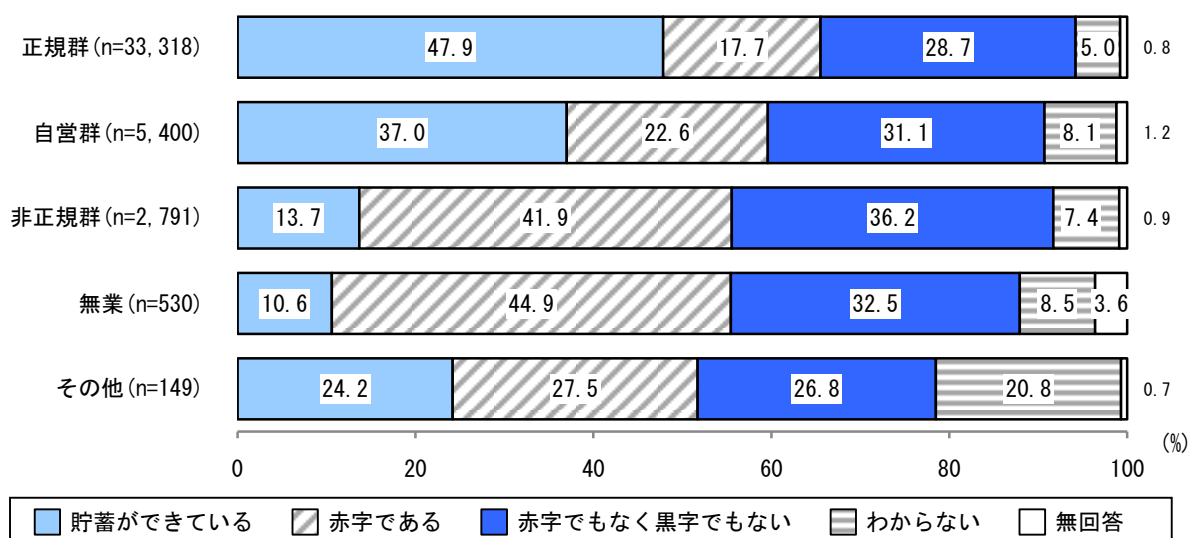


図 53. 世帯構成別に見た、就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が84.4%であるが、「母子世帯」では25.0%と低くなる。「非正規群」は、「母子世帯」では55.0%となっている。

就労状況別に見た、家計の状況（保護者票問9×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

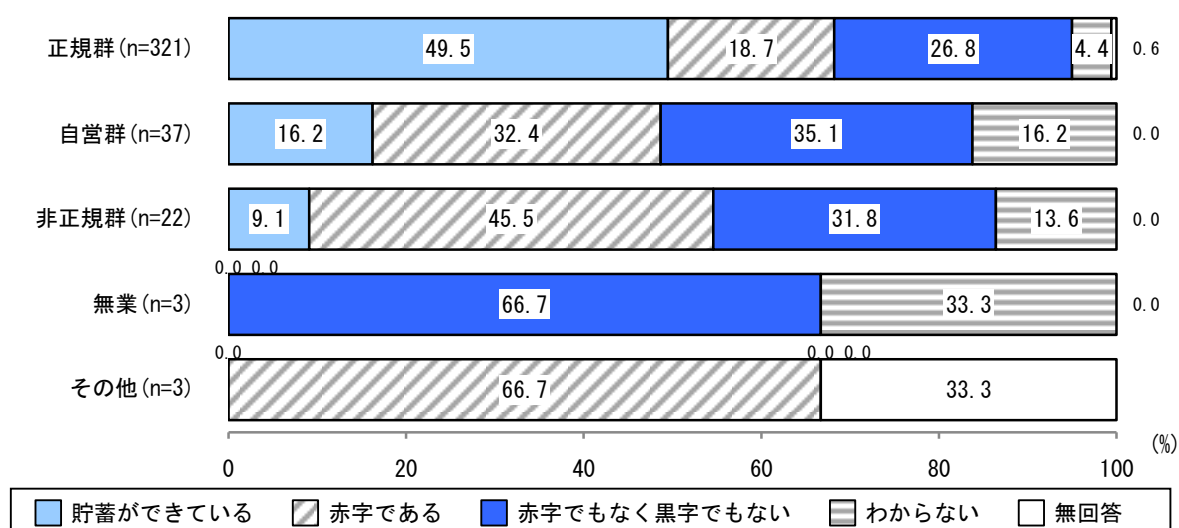


図 54. 就労状況別に見た、家計の状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」では「貯蓄ができています」割合が49.5%である。「非正規群」では「赤字である」と回答した人が45.5%にのぼっている。

<雇用に関する考察>

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間に差が大きい項目に着目して述べる。まず、親の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（92.1%対35.0%）が57ポイント以上高く、大きな開きがある。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（32.5%対0.6%）が約32ポイント高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（40.6%対12.5%）は約28ポイント高くなっている。困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（35.0%対14.5%）が20ポイント以上高くなっている。同様に、父親の最終学歴においても、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（46.1%対17.5%）が約29ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「中学校卒業」群および「高等学校中途退学」群と比べ、「正規」群（93.6%対33.3%、33.3%）は60ポイント以上高く、大きな開きがある。また、「高等学校中途退学」群は「大学卒業」群と比べ、「非正規」群（16.7%対1.8%）が約15ポイント高くなっている。一方、父親の最終学歴別では、「大学卒業」群は「高等学校中途退学」群と比べ、「正規」群（96.5%対41.2%）が55ポイント以上高くなっている。これらの結果から、学歴が上がるほど「正規」群における就業比率が上昇する傾向が表れている。

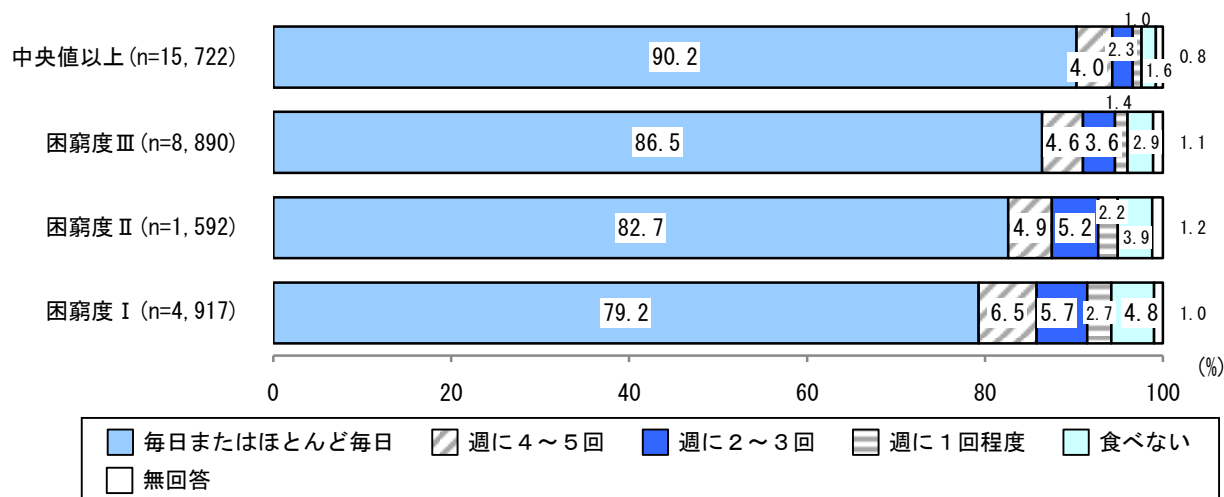
親の就労状況を世帯構成別に見ると、ふたり親世帯は母子世帯に比べ、「正規」群（84.4%対25.0%）は3倍以上であり、母子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。さらに、母子世帯は「非正規」群の割合が55.0%と、その他の世帯構成に比べ非常に高くなっており、不安定な就労状況にあることを示唆している。

最後に、保護者の就業状況別に家計状況に着目する。「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄ができている」（49.5%対9.1%）は5倍以上である。また、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（45.5%対18.7%）が26ポイント以上高いという対照的な状況が示された。この結果から、保護者の就業状況により貯蓄ができるか否かなど生活の安定に大きな影響を及ぼしていることが示唆されている。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

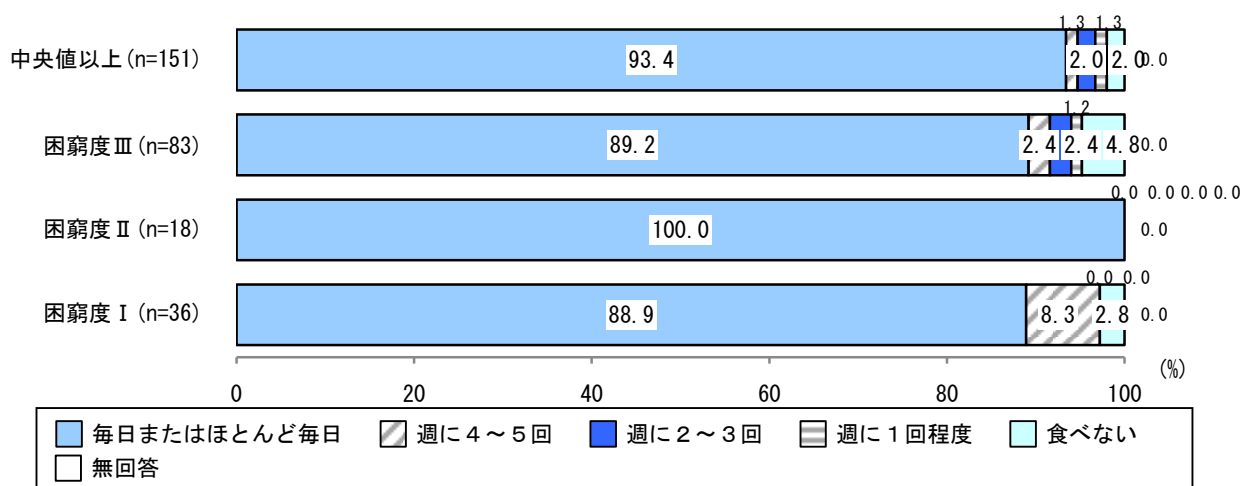
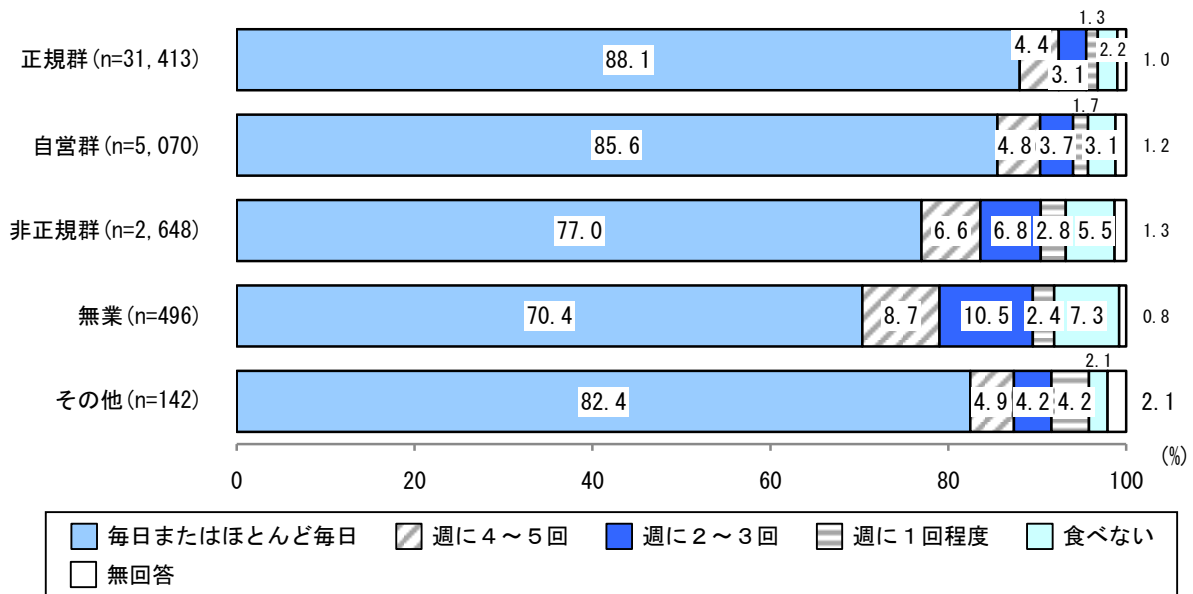


図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度Ⅰ群では、11.1%が朝食は「週に4～5回」、「食べない」と回答しており、朝食を毎日食べていない人の割合が最も高くなっている。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

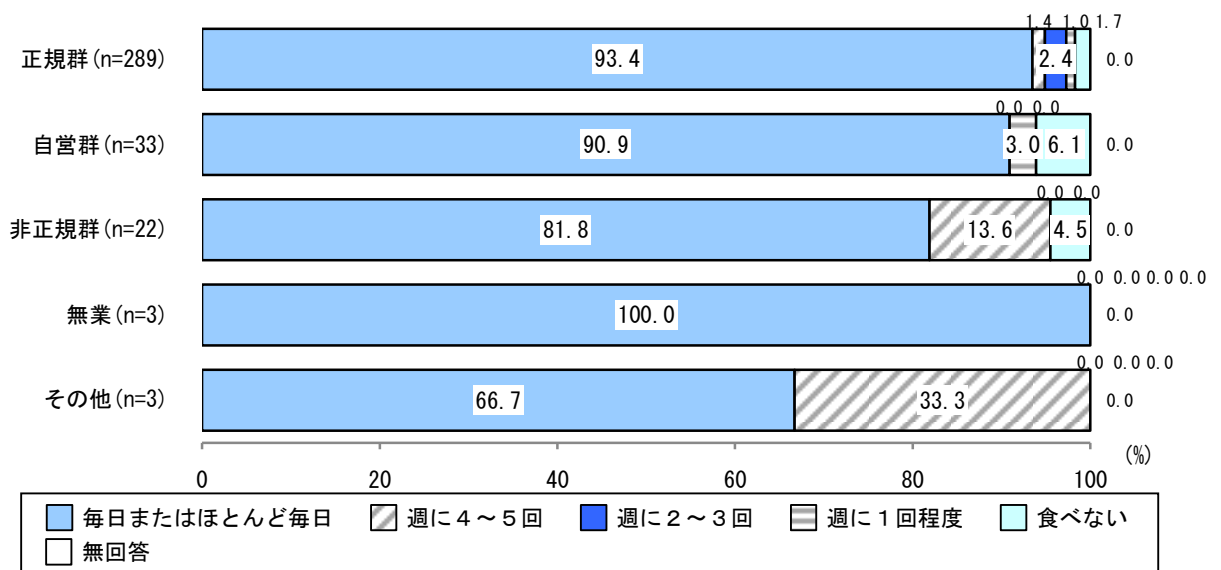
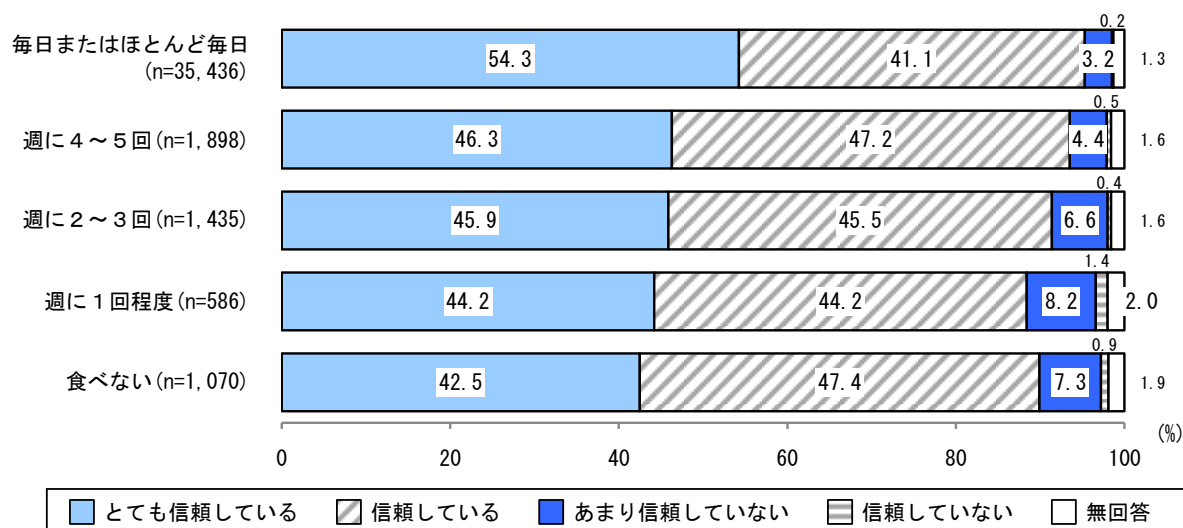


図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度

就労状況別に朝食の頻度を見ると、非正規群では、18.1%が朝食は「週に4～5回」、「食べない」と回答しており、朝食を毎日食べていない人の割合が高くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問4(1)×保護者票問13(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

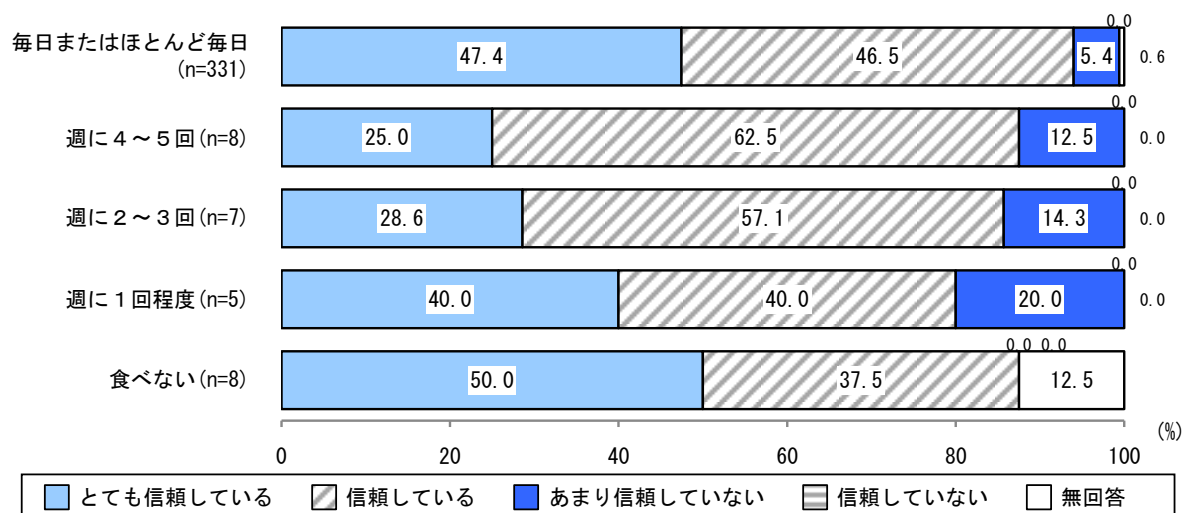
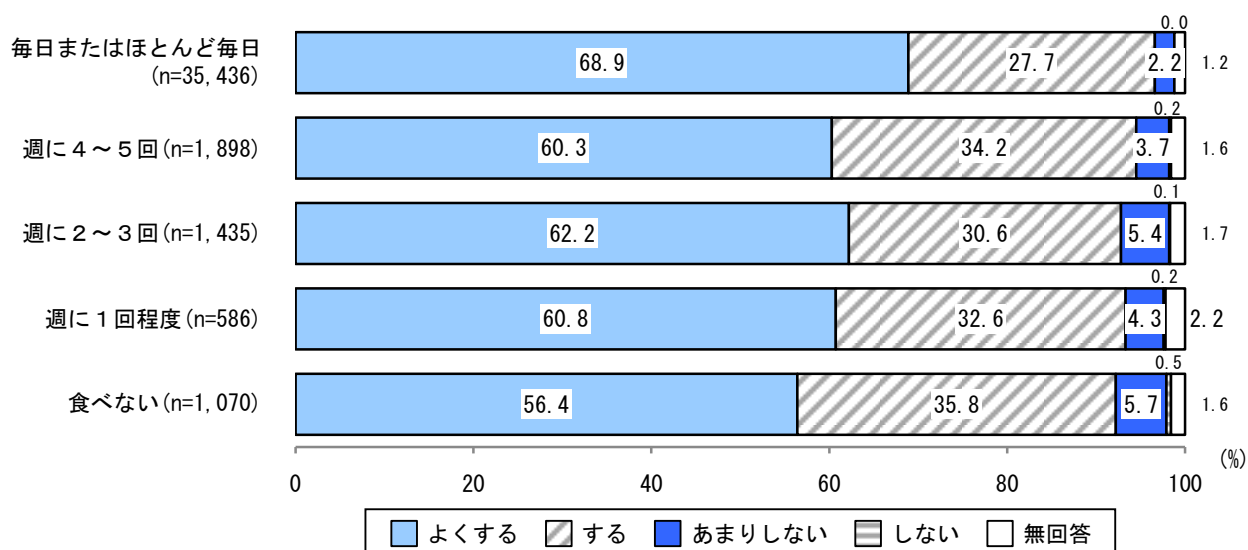


図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度

朝食の頻度別に子どもへの信頼度を見ると、「週4～5回」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とても信頼している」と回答した人が25.0%と低い。

朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (2)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

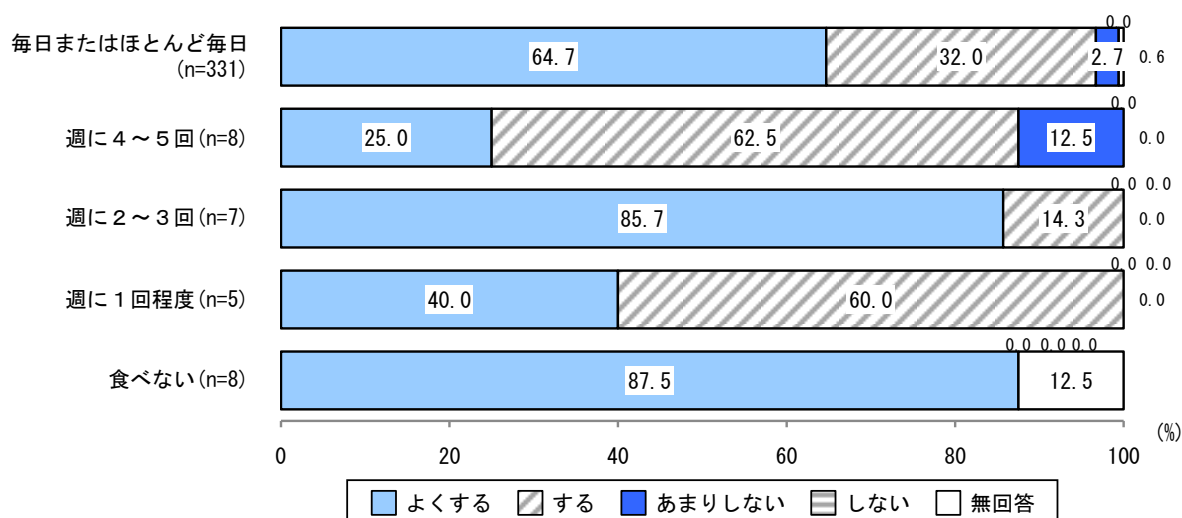
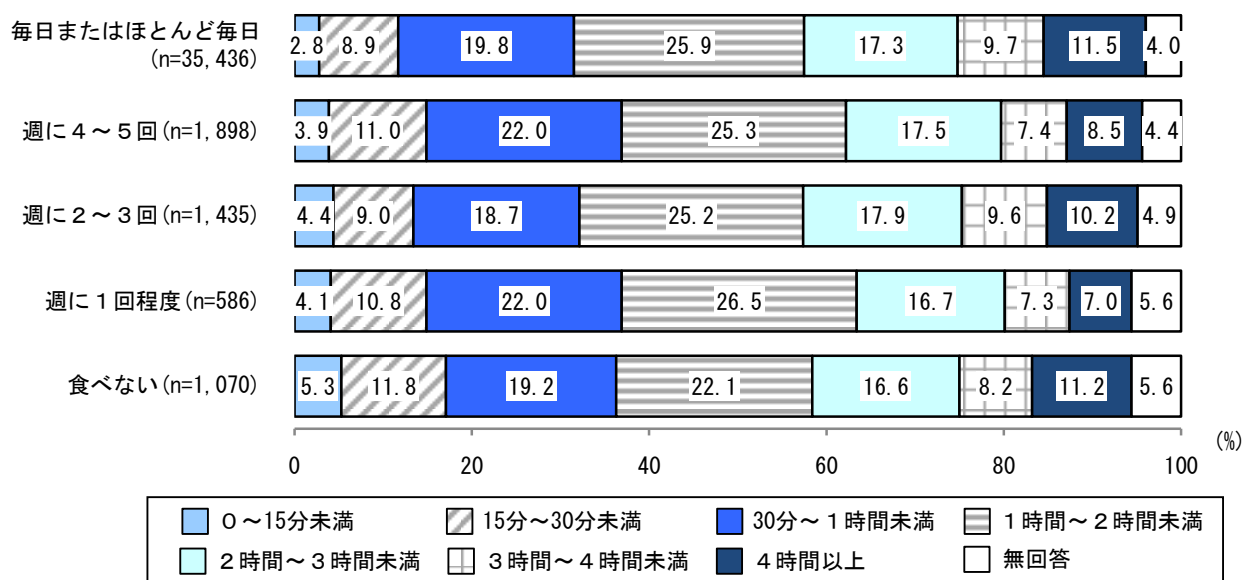


図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度

朝食の頻度別に子どもと会話頻度を見ると、「週に 4～5 回」朝食をとっていると回答した人では、会話を「よくする」と回答した人が 25.0%と低い。

朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

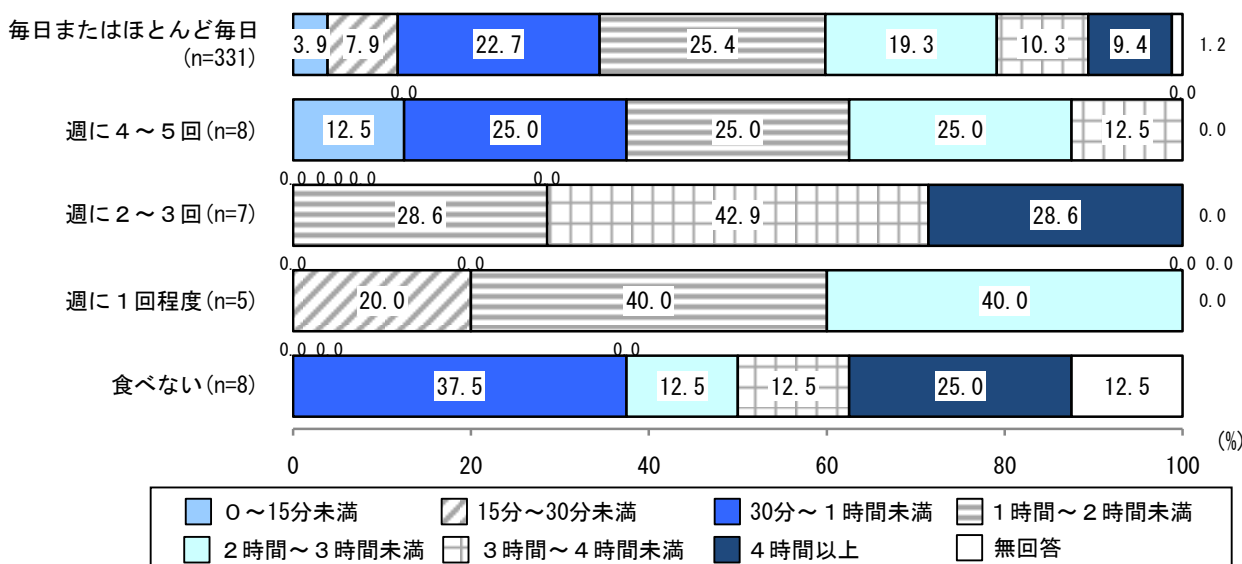
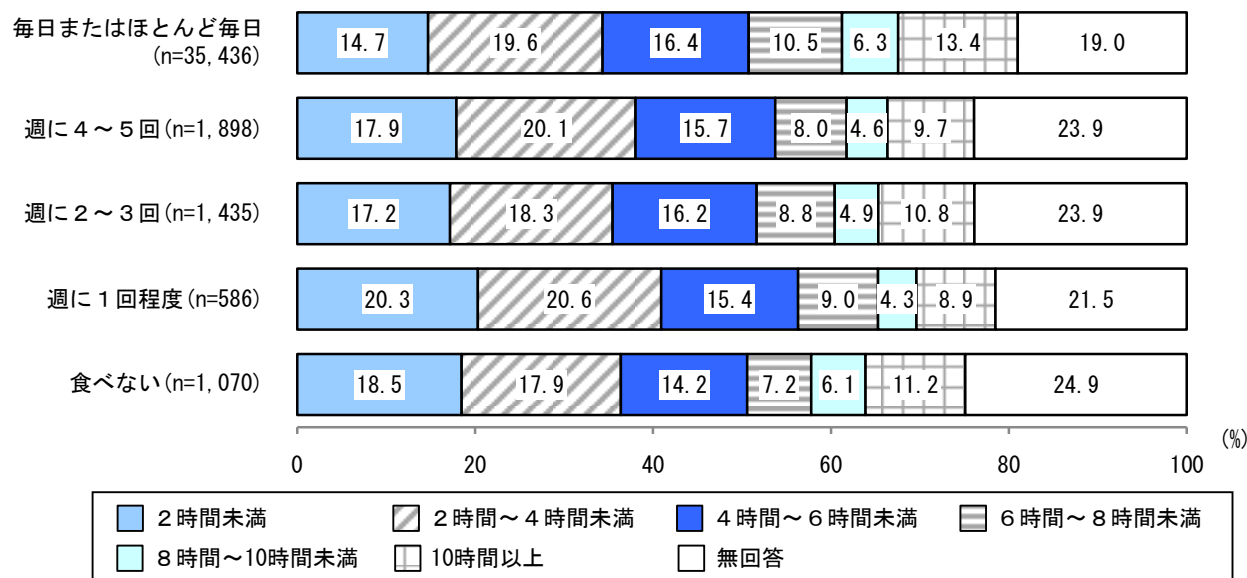


図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「週に4～5回」朝食をとっている人で平日に子どもと一緒にいる時間が「0～15分未満」の割合が12.5%となっている。

朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

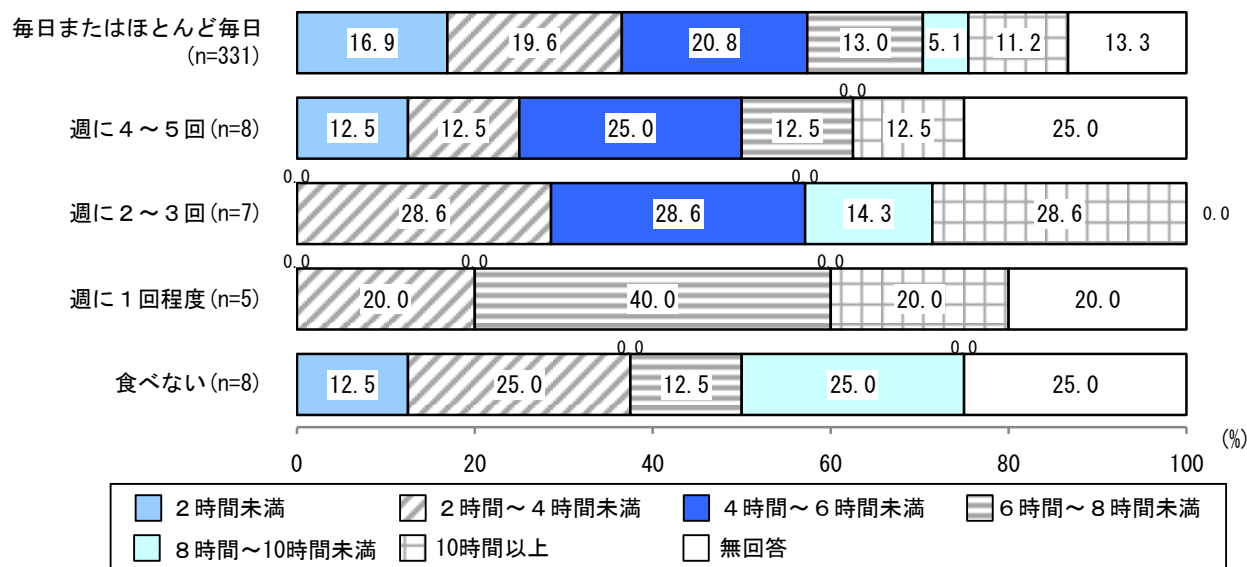
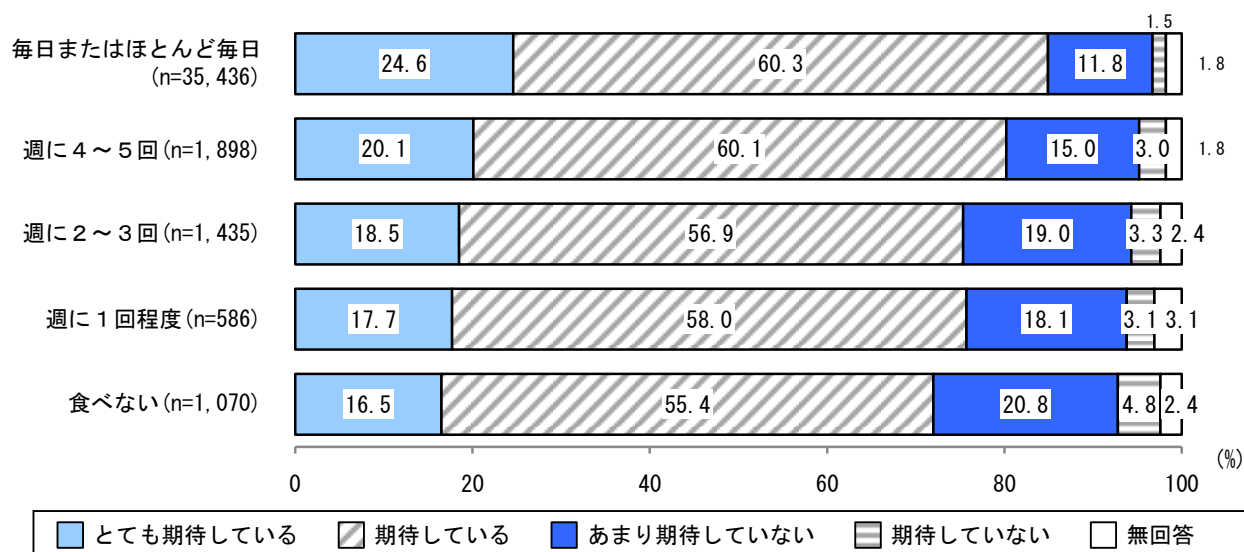


図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、朝食を「食べない」の人で休日に子どもと一緒にいる時間が「10時間以上」の割合が0.0%となっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (4)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

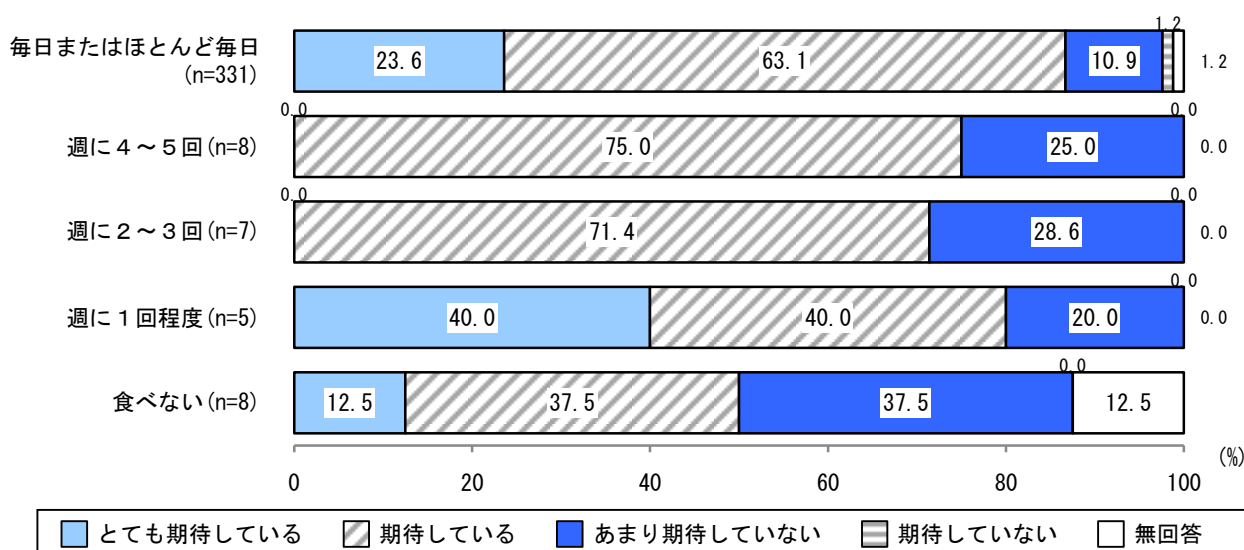


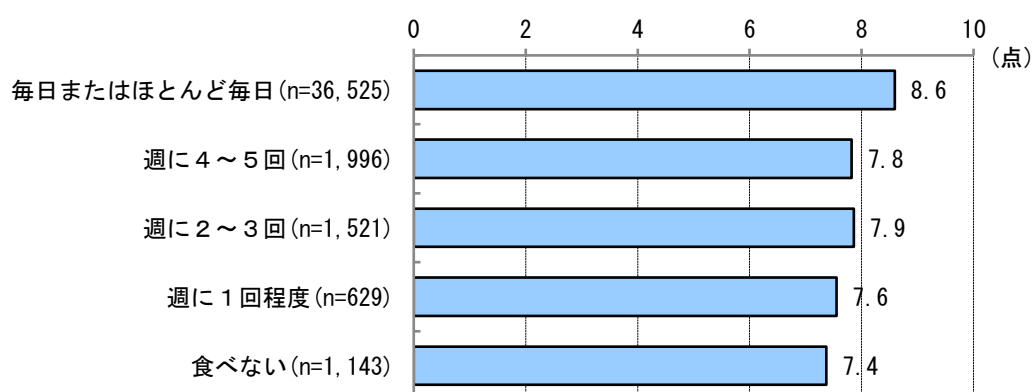
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度

朝食の頻度別に子どもの将来への期待度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、86.7%であるのに対して、「食べない」の人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて50.0%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが子どもの将来に対する期待が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問4（1）×子ども票問23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全体>



<摂津市>

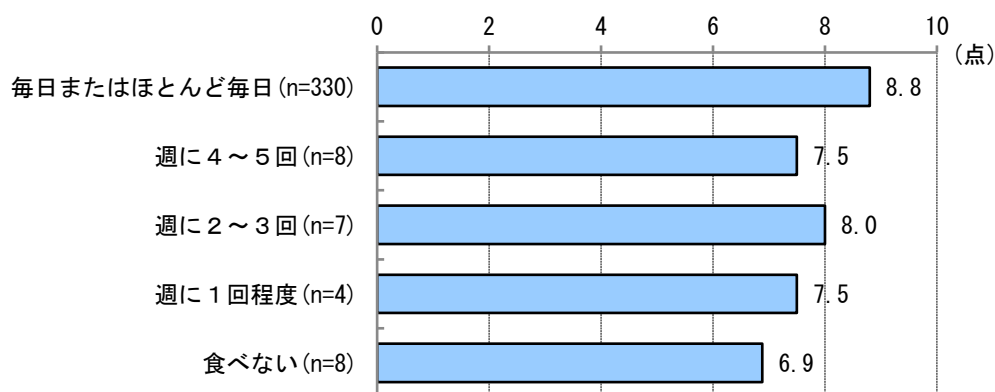
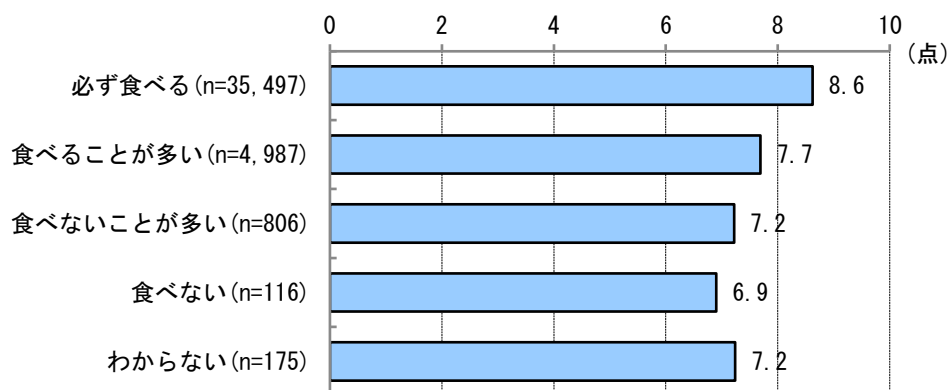


図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、8.8点であるのに対して、「食べない」では6.9点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問6(1)×子ども票問23）

<大阪府内全体>



<摂津市>

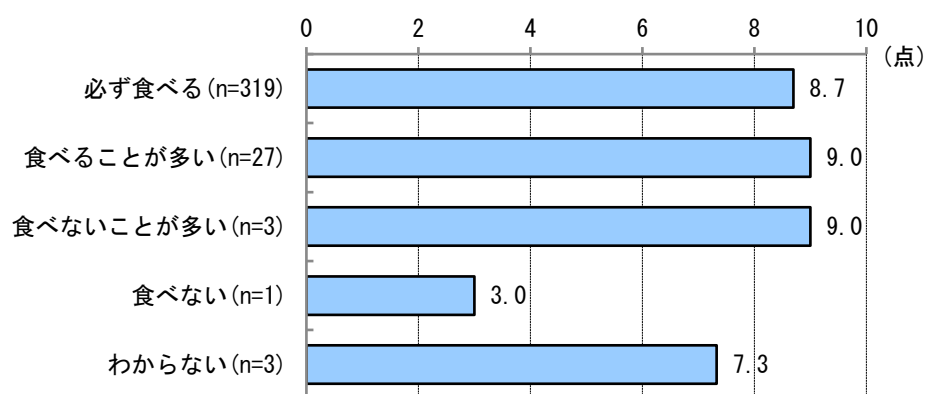
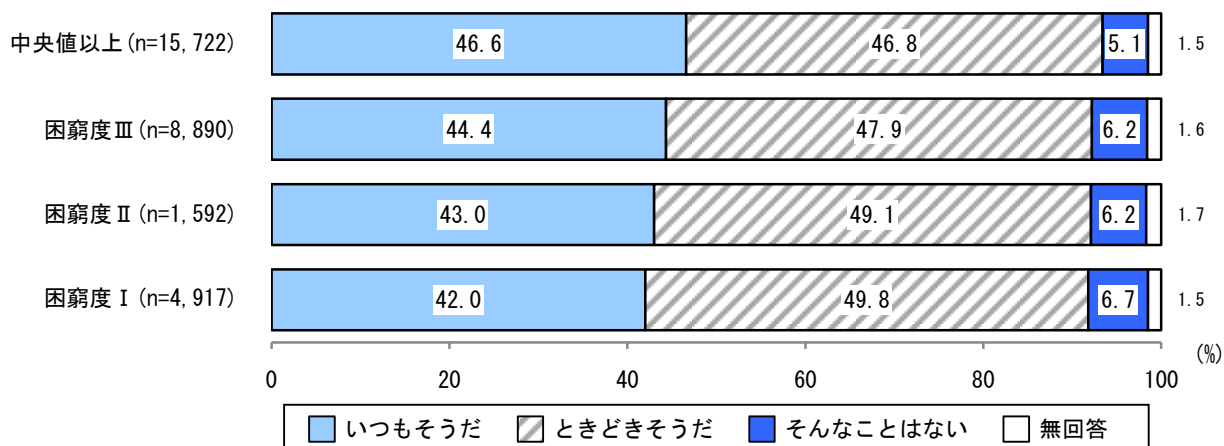


図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が8.7点であるのに対して、「食べない」と回答した人は3.0点と、昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある
(子ども票問 19①)

<大阪府内全体>



<摂津市>

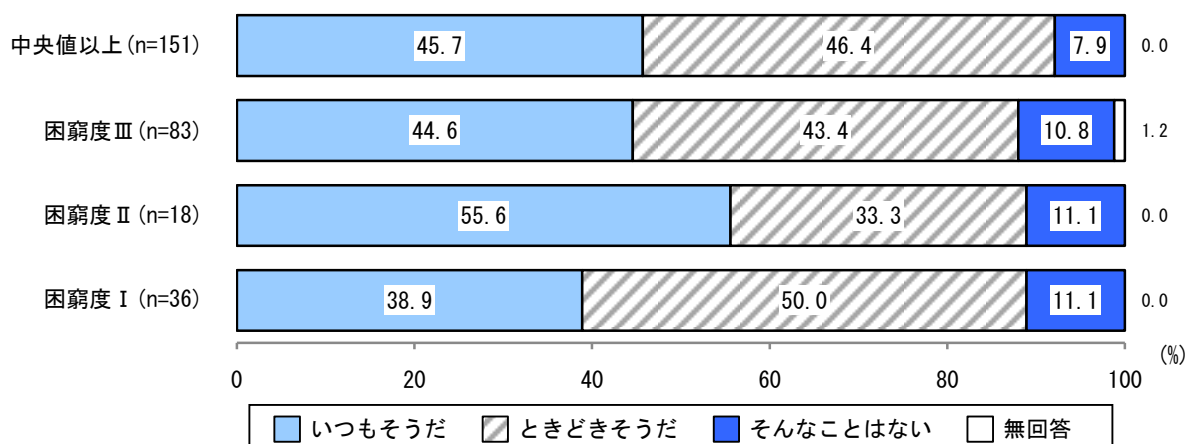
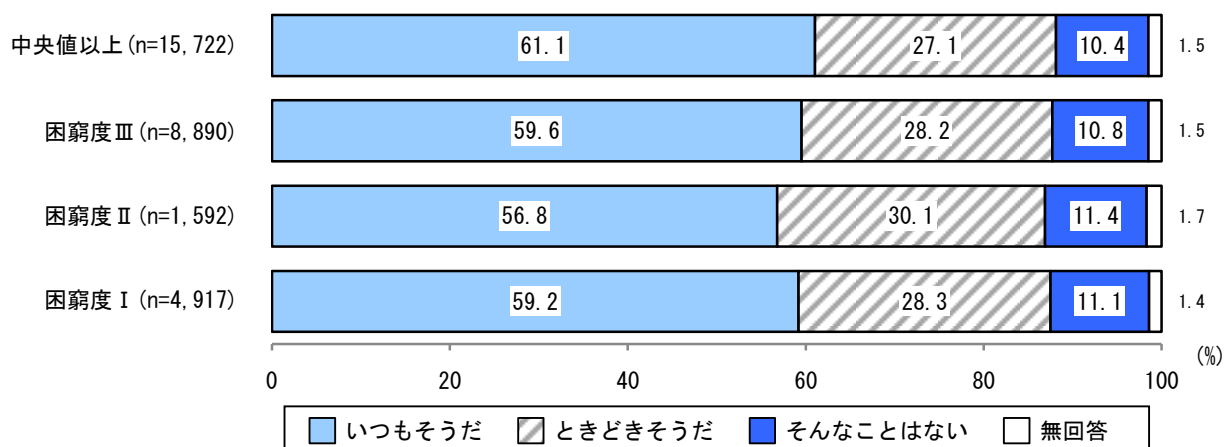


図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（38.9%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ(子ども票問 19②)

<大阪府内全体>



<摂津市>

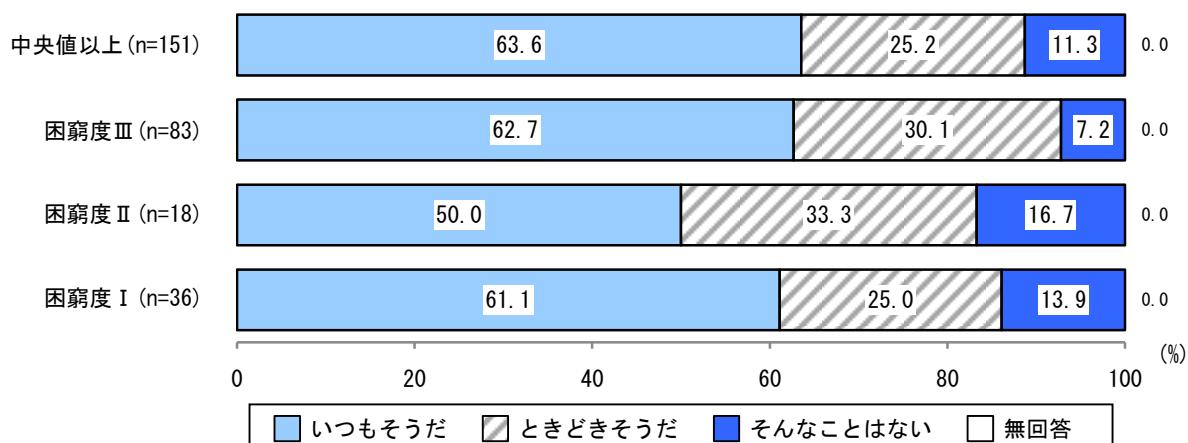
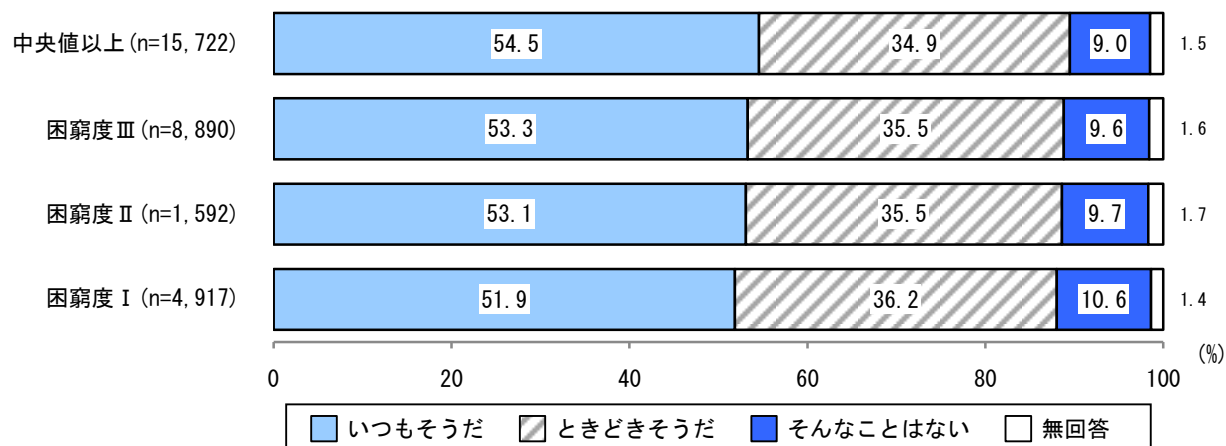


図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそう」で回答した人は困窮度Ⅱ群（50.0%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ（子ども票問 19③）

<大阪府内全体>



<摂津市>

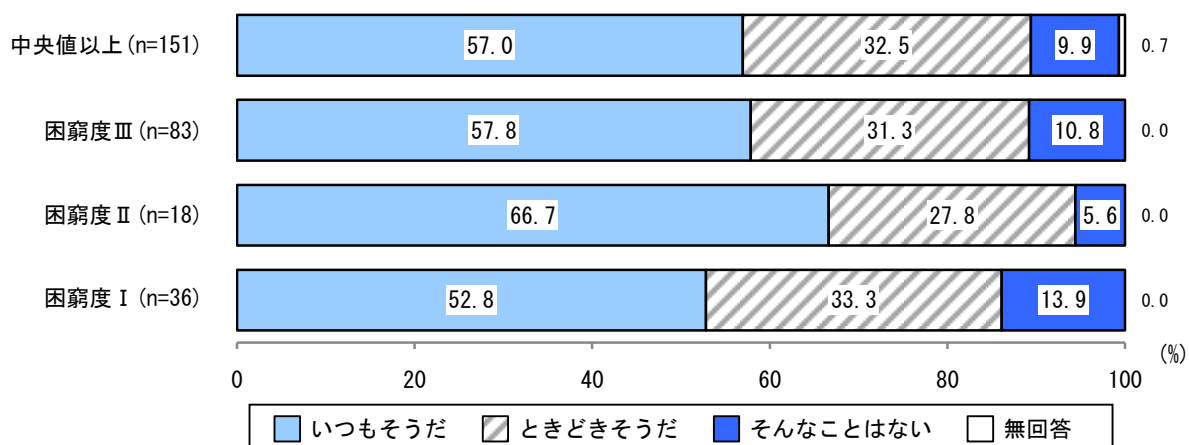
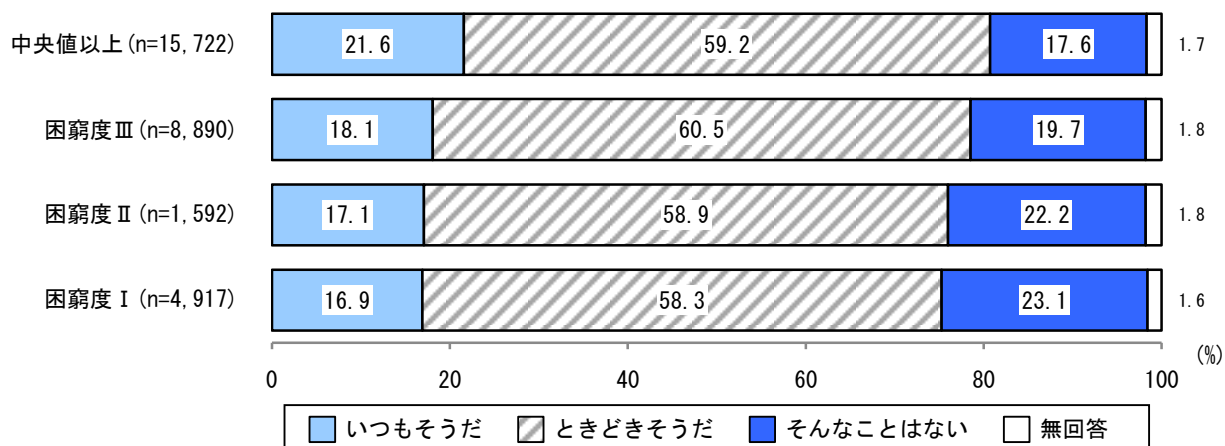


図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（52.8%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる
(子ども票問 19④)

<大阪府内全体>



<摂津市>

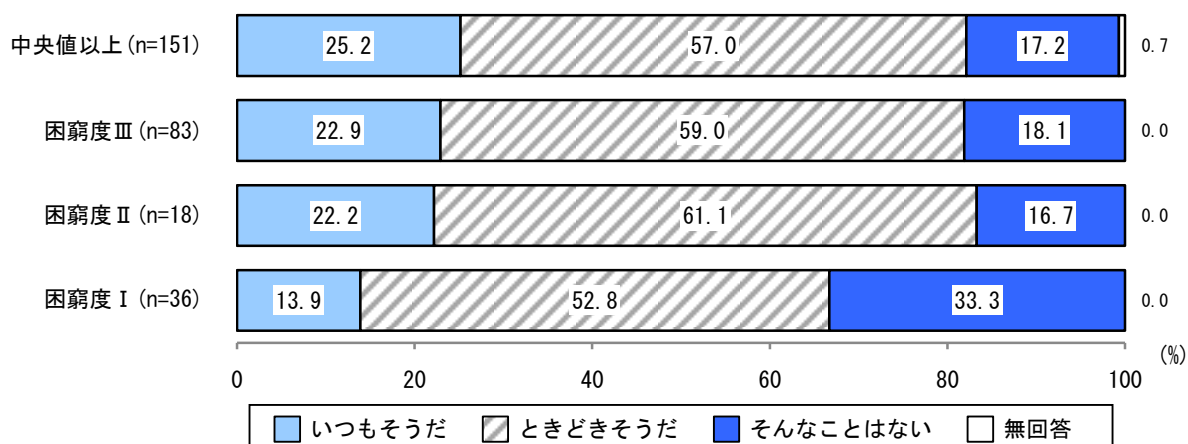
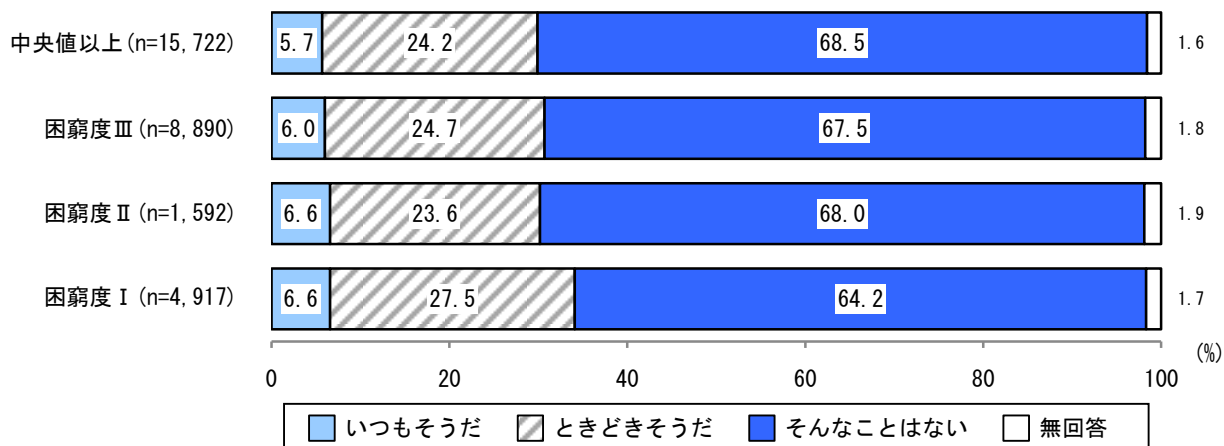


図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（13.9%）で最も低く、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする
(子ども票問 19⑤)

<大阪府内全体>



<摂津市>

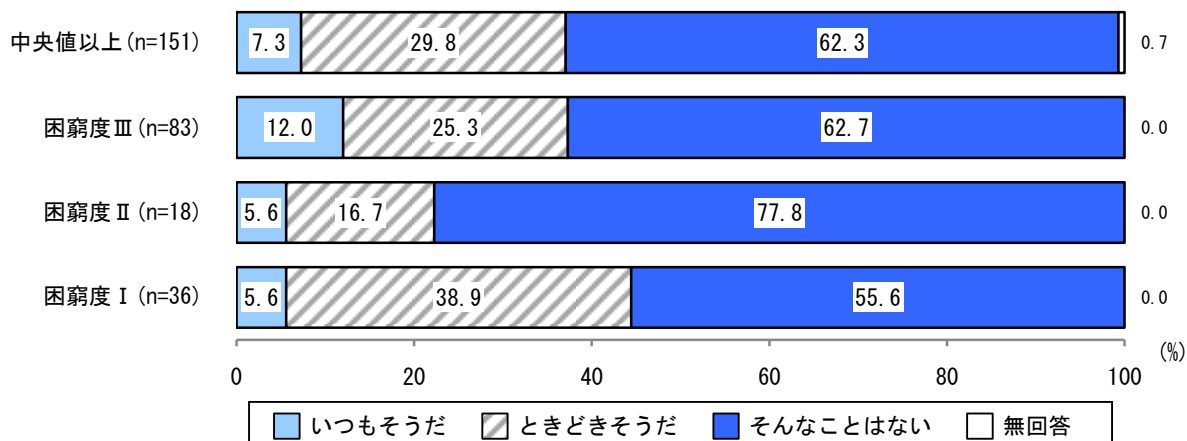
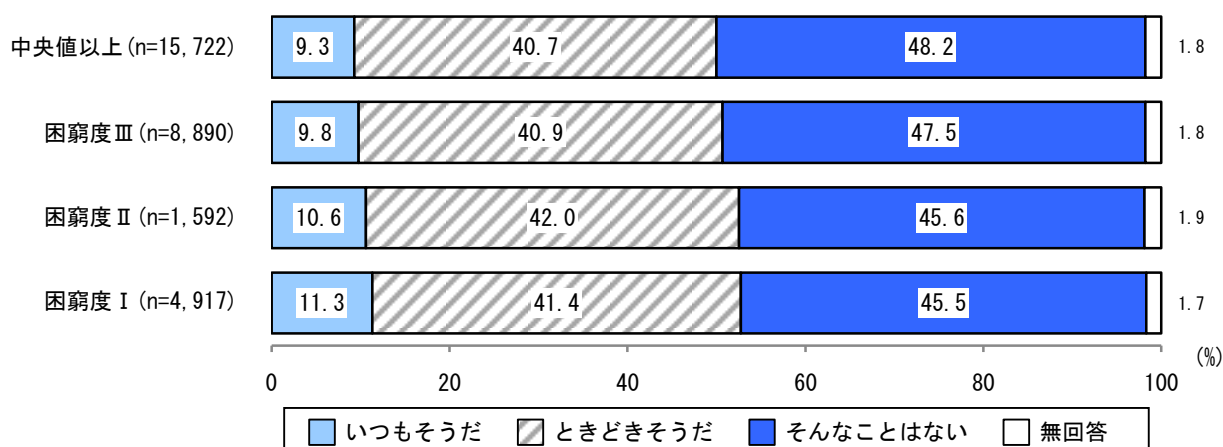


図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（12.0%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる（子ども票問 19⑥）

<大阪府内全体>



<摂津市>

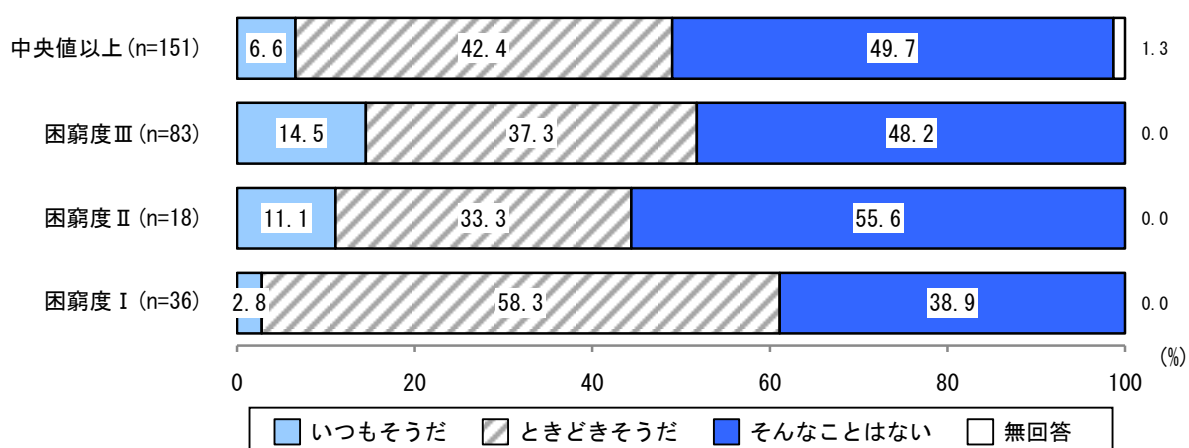
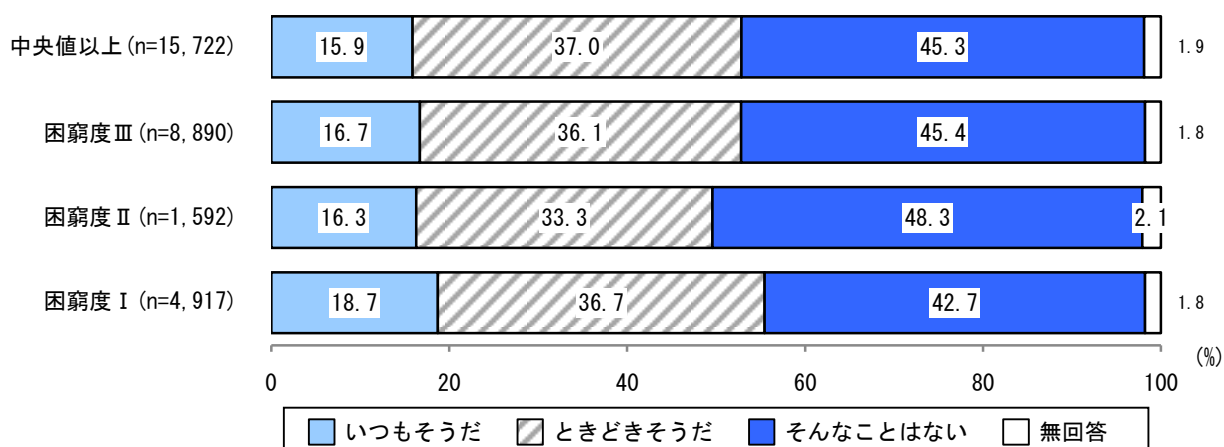


図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（14.5%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる（子ども票問 19⑦）

<大阪府内全体>



<摂津市>

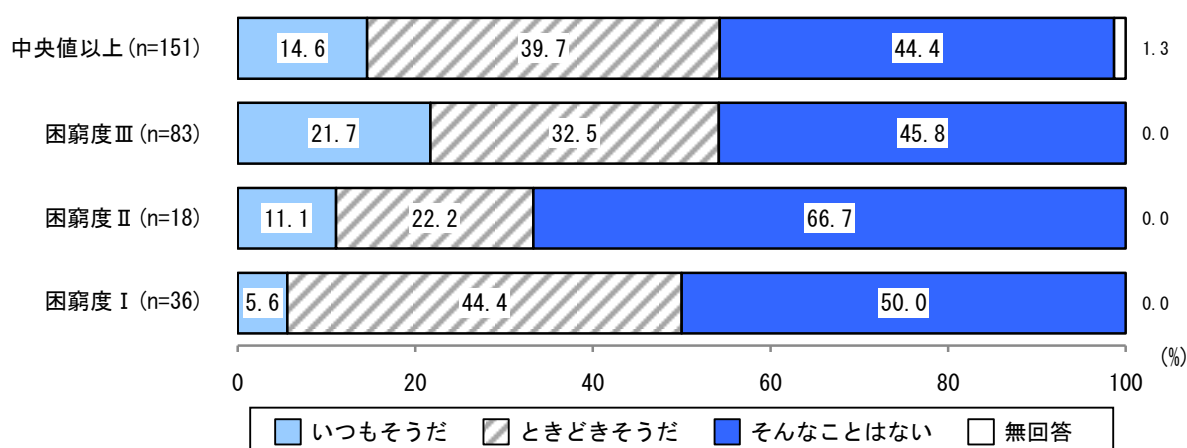
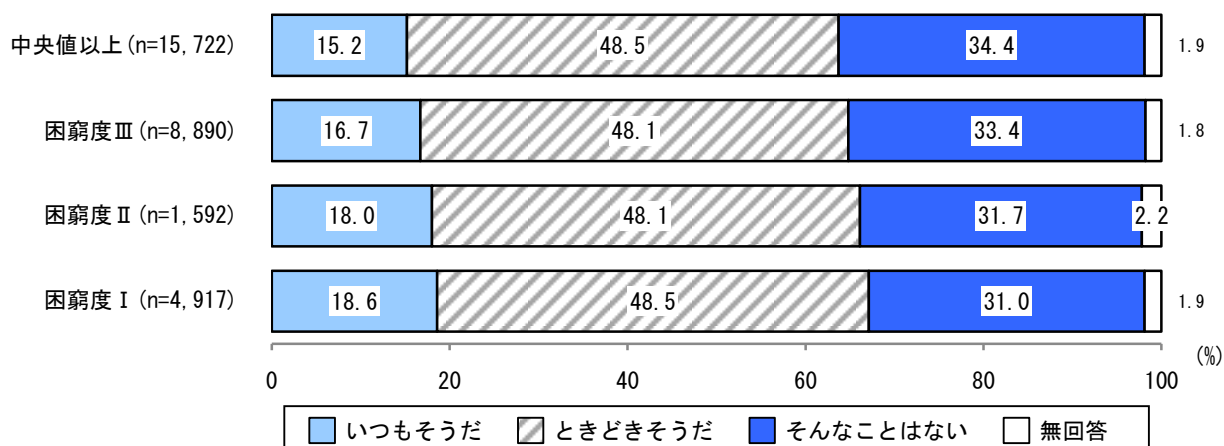


図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（21.7%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない（子ども票問 19⑧）

<大阪府内全体>



<摂津市>

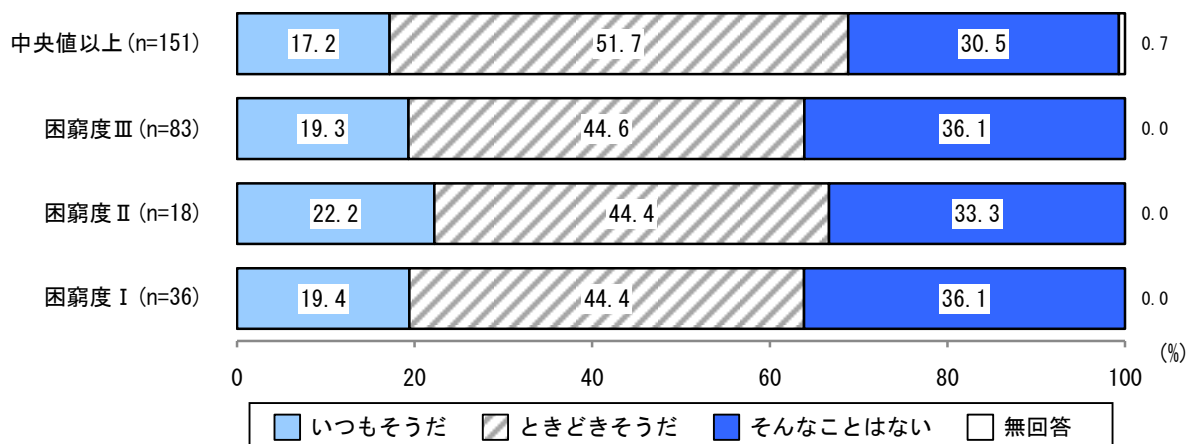
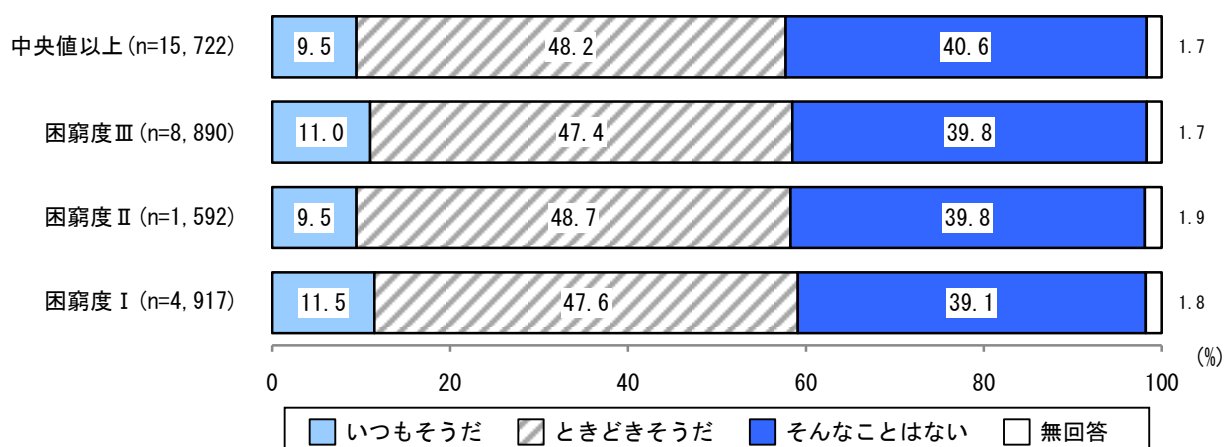


図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（22.2%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする（子ども票問 19⑨）

<大阪府内全体>



<摂津市>

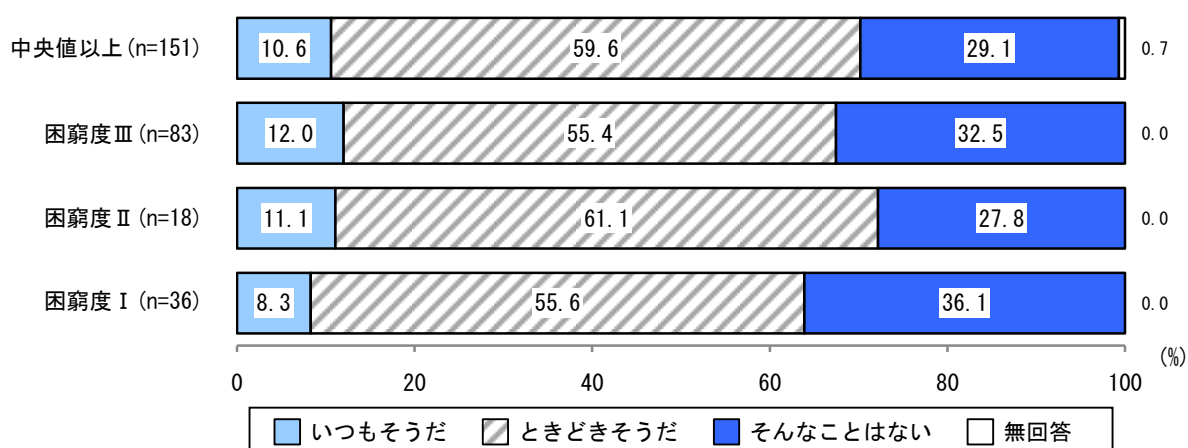
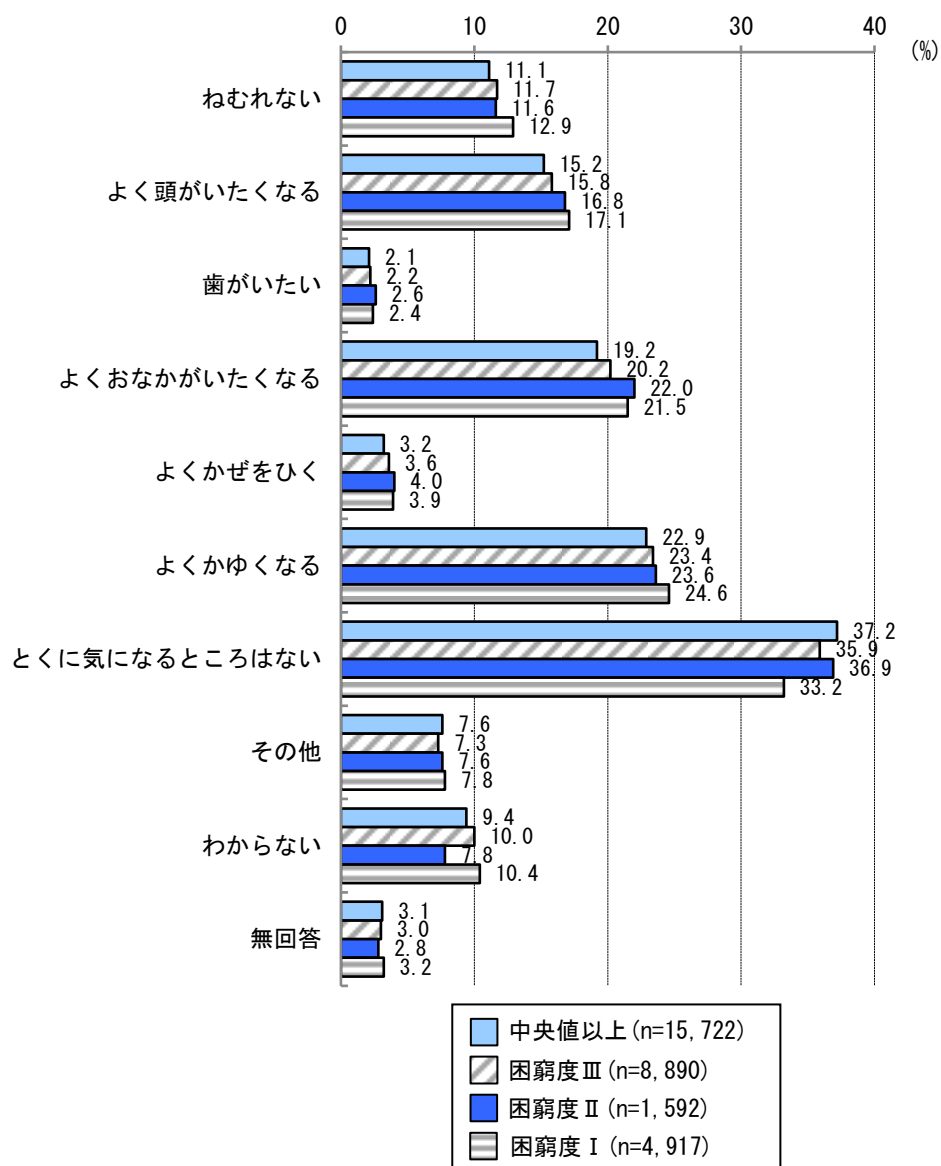


図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（12.0%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること（子ども票問 20）

<大阪府内全体>



<摂津市>

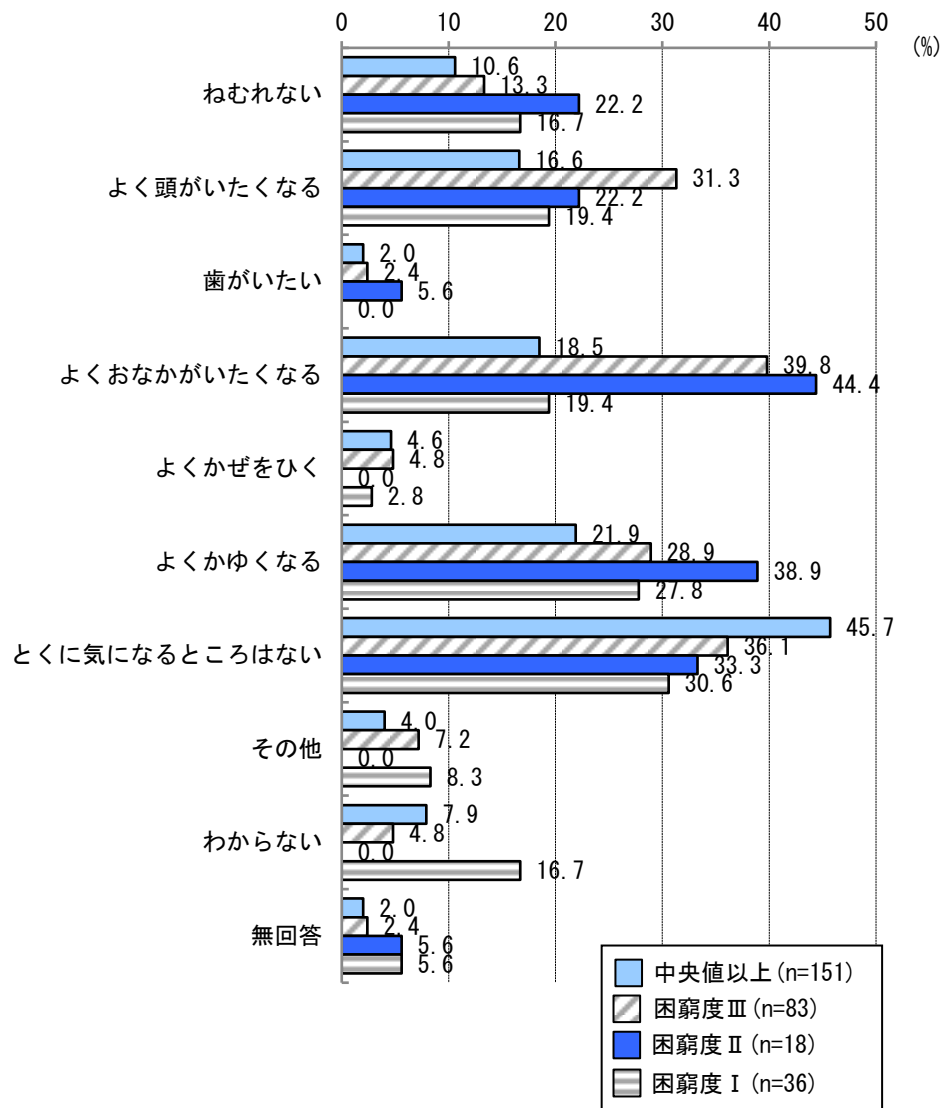
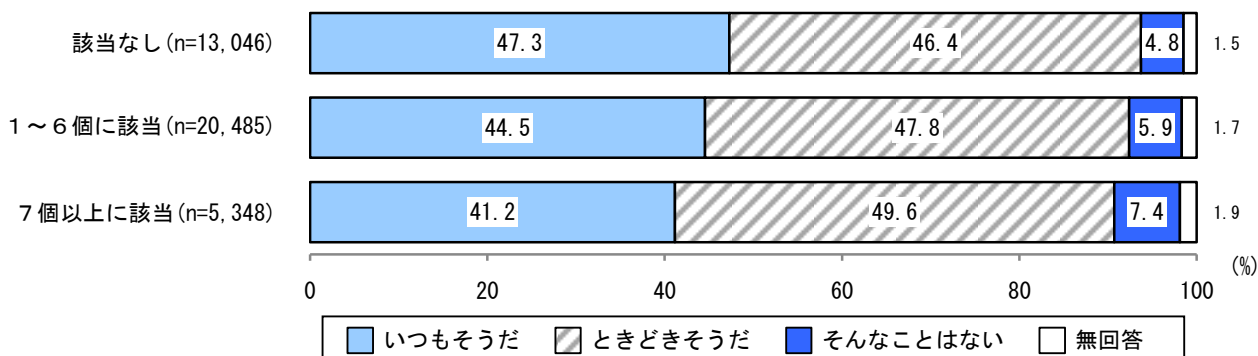


図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること

困窮度別に自分の体の状態で気になることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「ねむれない」が16.7%（中央値以上群に対して1.6倍）、「よく頭がいたくなる」が19.4%（同じく1.2倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある（保護者票問7×子ども票問19①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

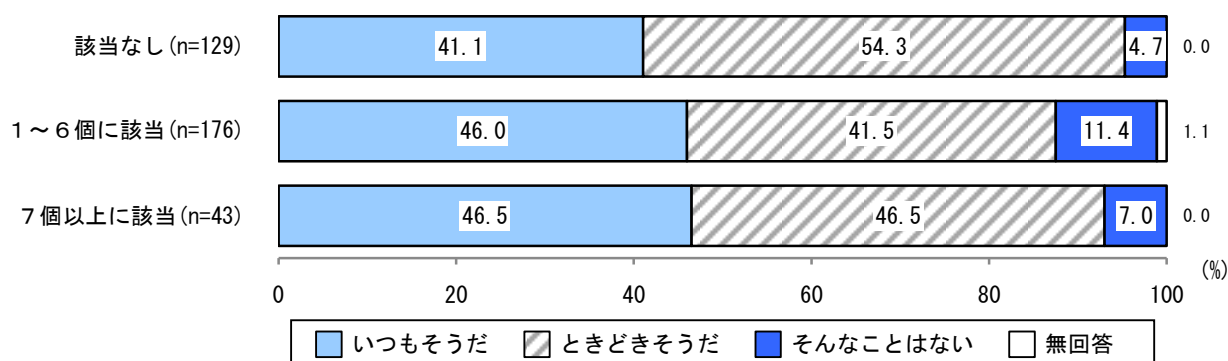
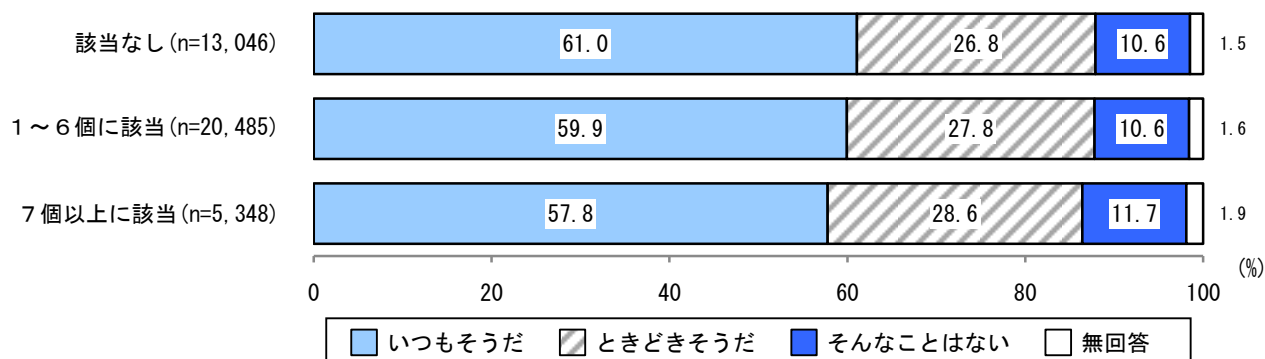


図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
①楽しみにしていることがたくさんある

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「該当なし」が41.1%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ（保護者票問7×子ども票問19②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

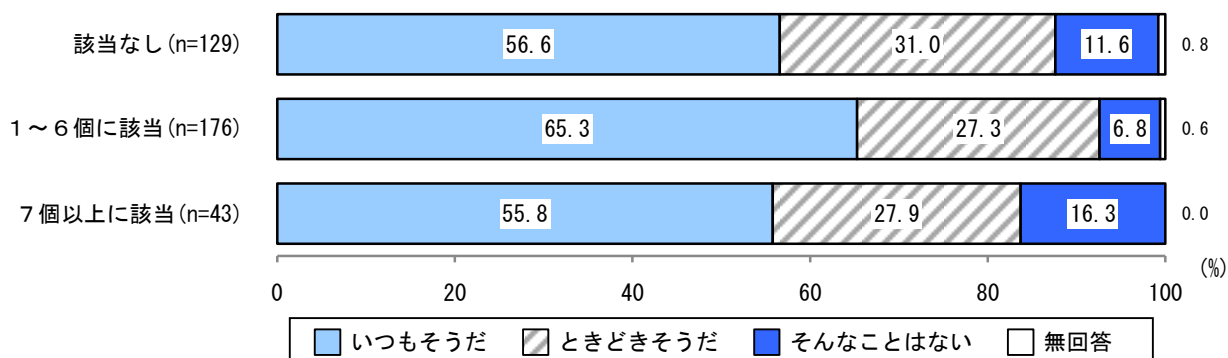
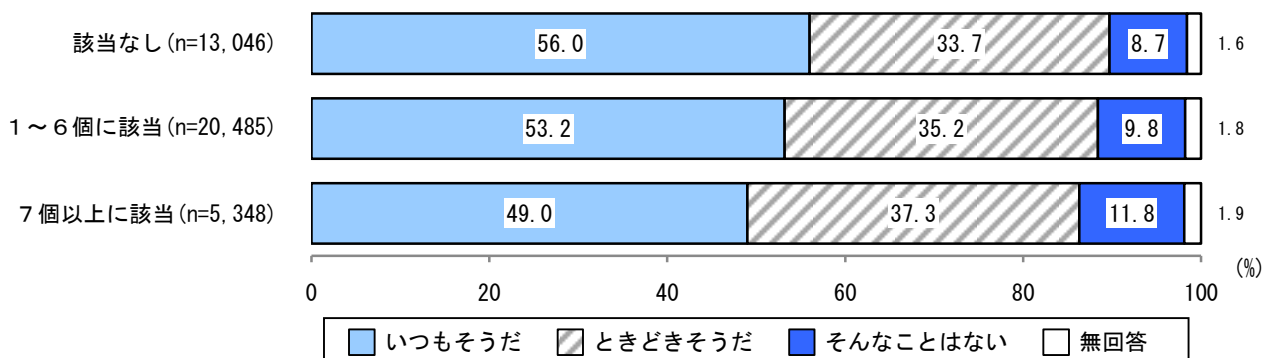


図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
②遊びにでかけるのが好きだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」が55.8%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい
(保護者票問7×子ども票問19③)

<大阪府内全体>



<摂津市>

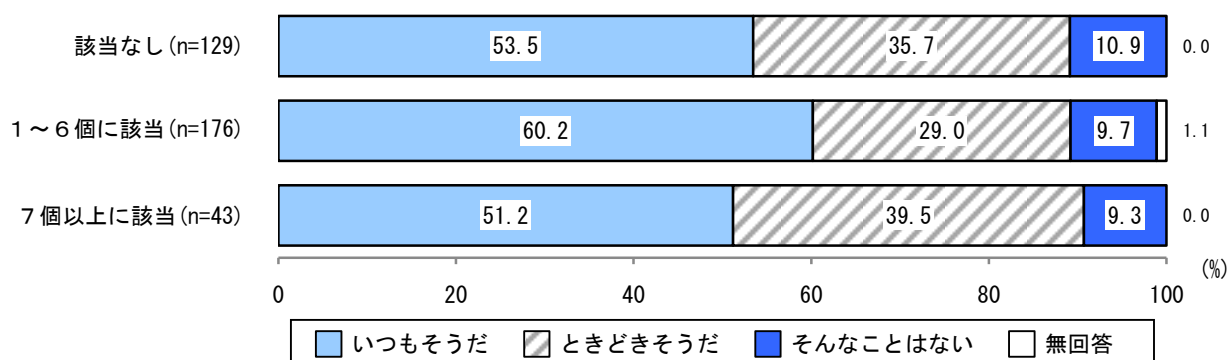
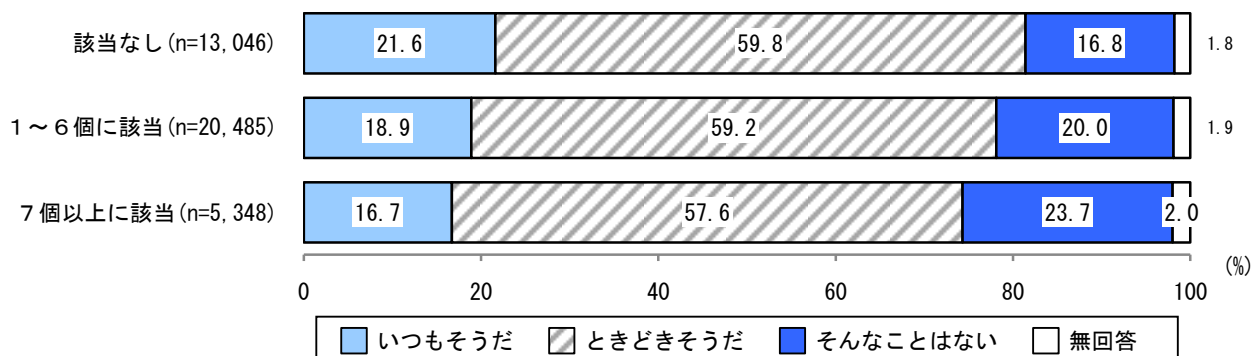


図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」が51.2%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる（保護者票問7×子ども票問19④）

<大阪府内全体>



<摂津市>

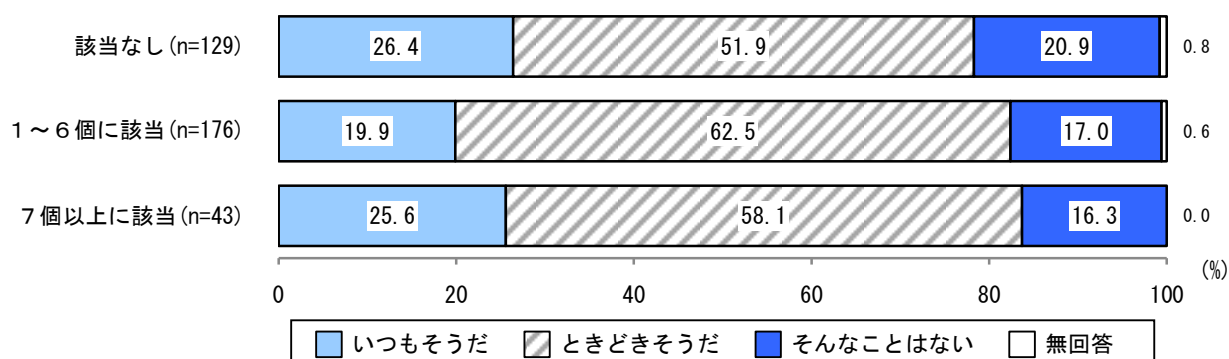
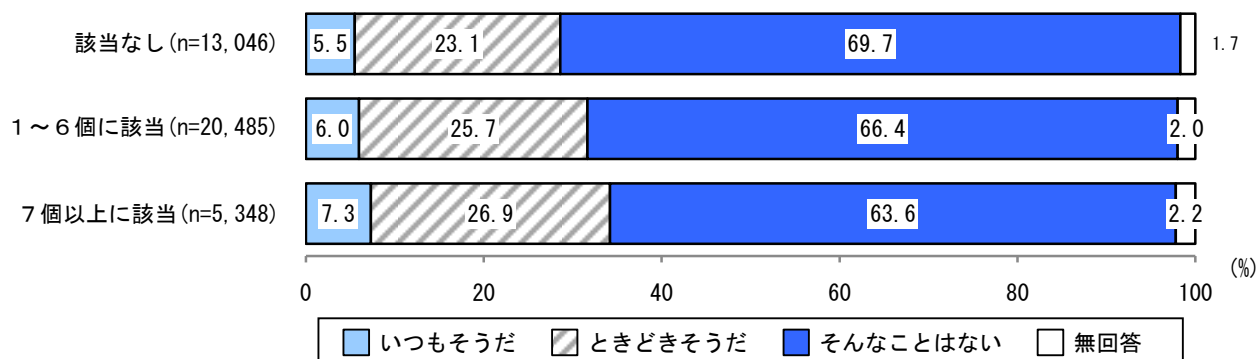


図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
④やろうと思ったことがうまくできる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」が19.9%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする（保護者票問7×子ども票問19⑤）

<大阪府内全体>



<摂津市>

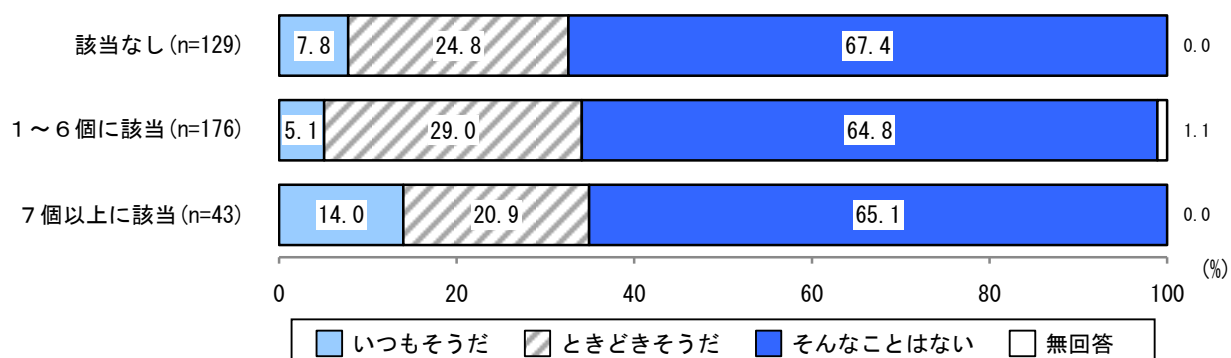
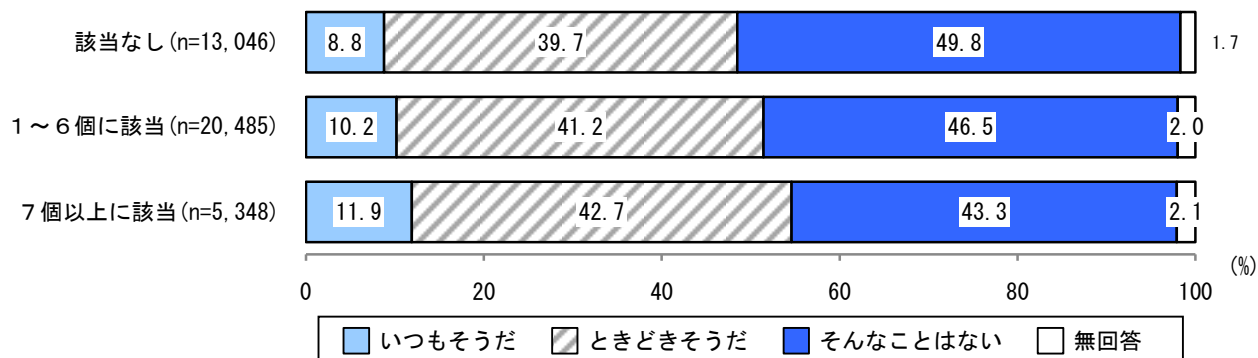


図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑤一人ぼっちのような気がする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」が14.0%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑥不安な気持ちになる（保護者票問7×子ども票問19⑥）

<大阪府内全体>



<摂津市>

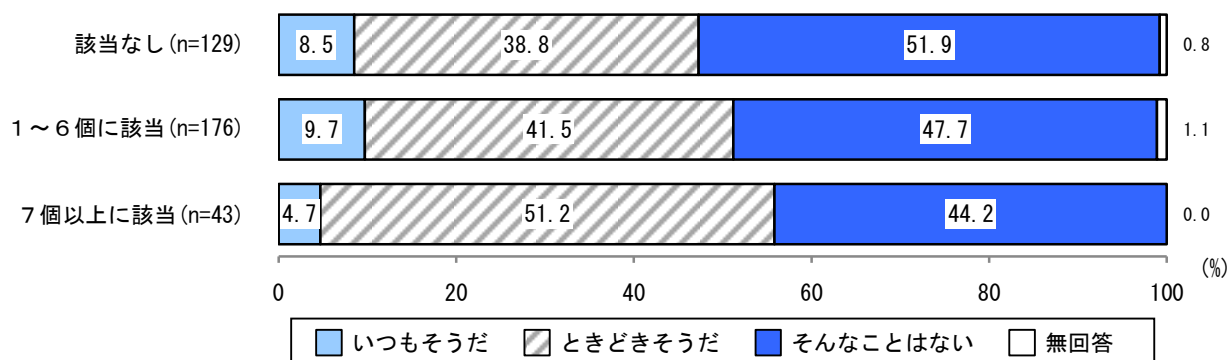
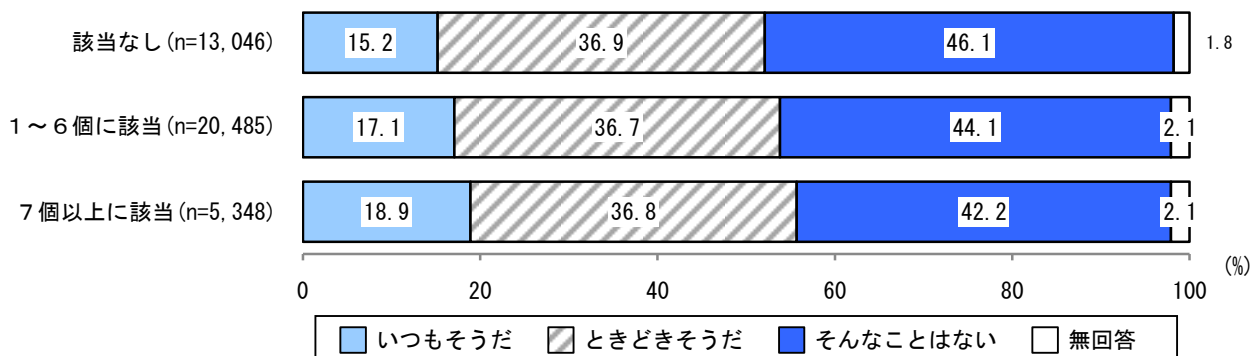


図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」(9.7%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる
(保護者票問7×子ども票問19⑦)

<大阪府内全体>



<摂津市>

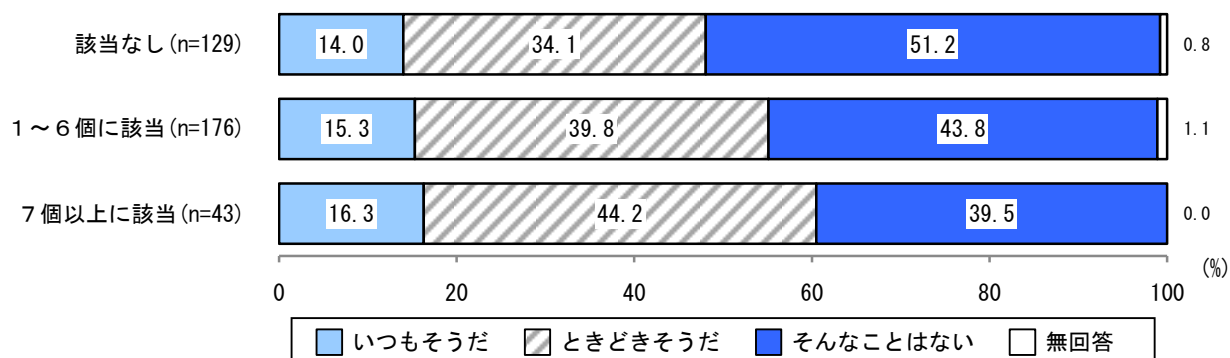
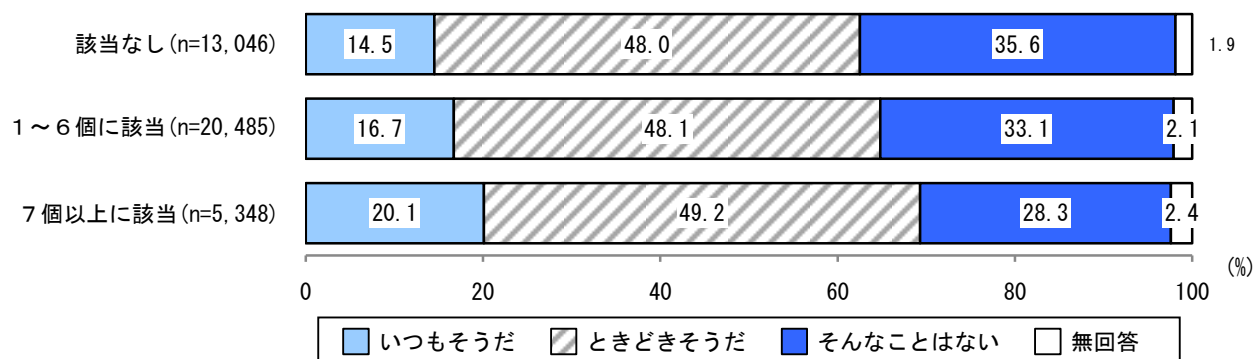


図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「そんなことはない」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」(39.5%)で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない
(保護者票問7×子ども票問19⑧)

<大阪府内全体>



<摂津市>

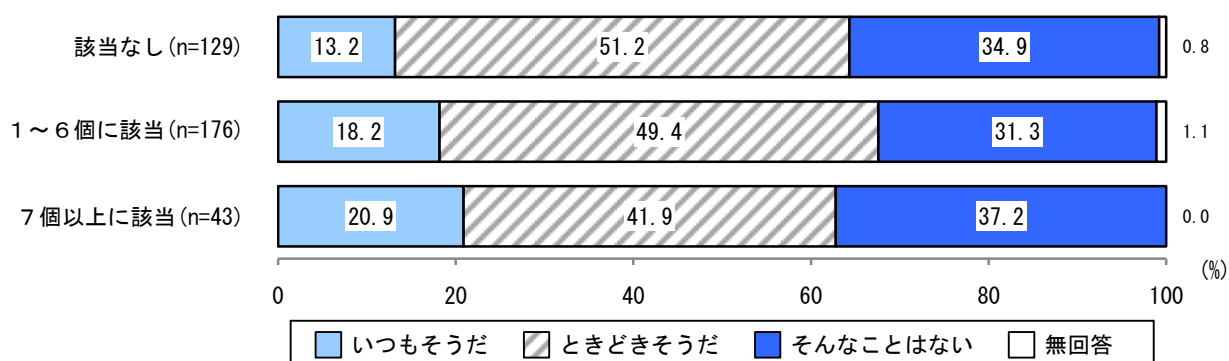
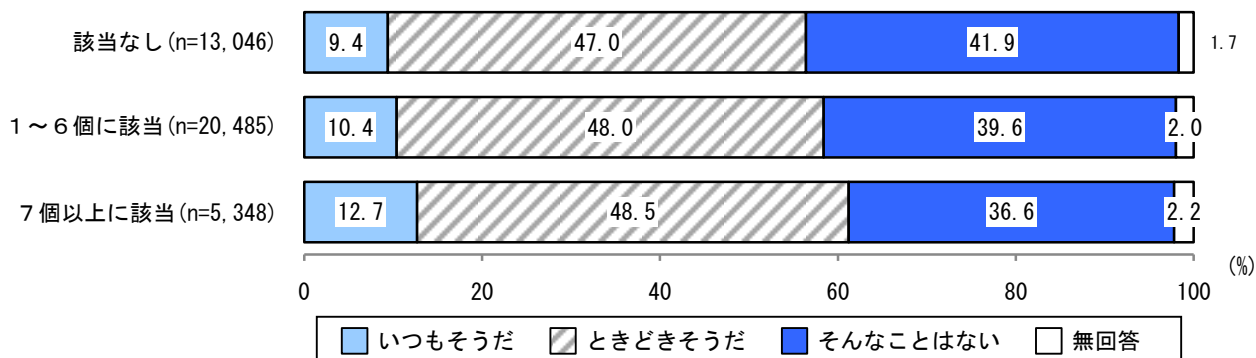


図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「7個以上に該当」が20.9%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする
(保護者票問7×子ども票問19⑨)

<大阪府内全体>



<摂津市>

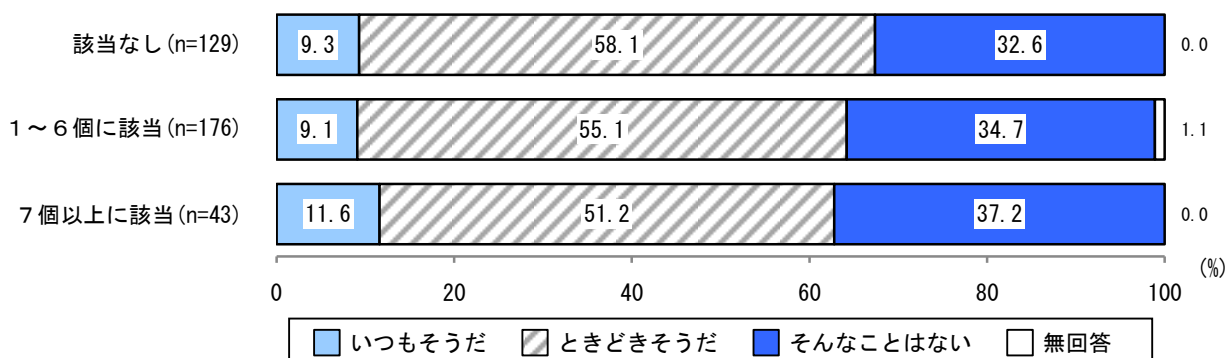
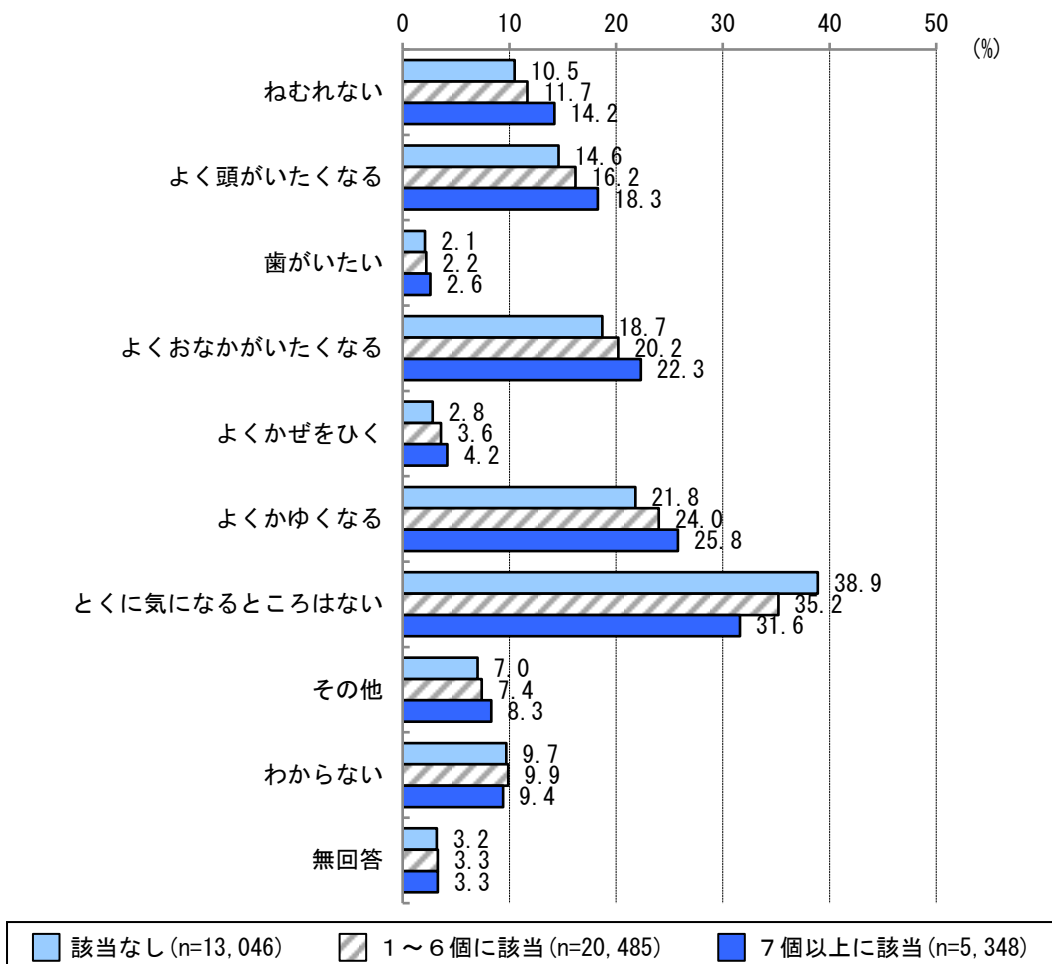


図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でいろいろするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」が11.6%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること
(保護者票問7×子ども票問20)

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

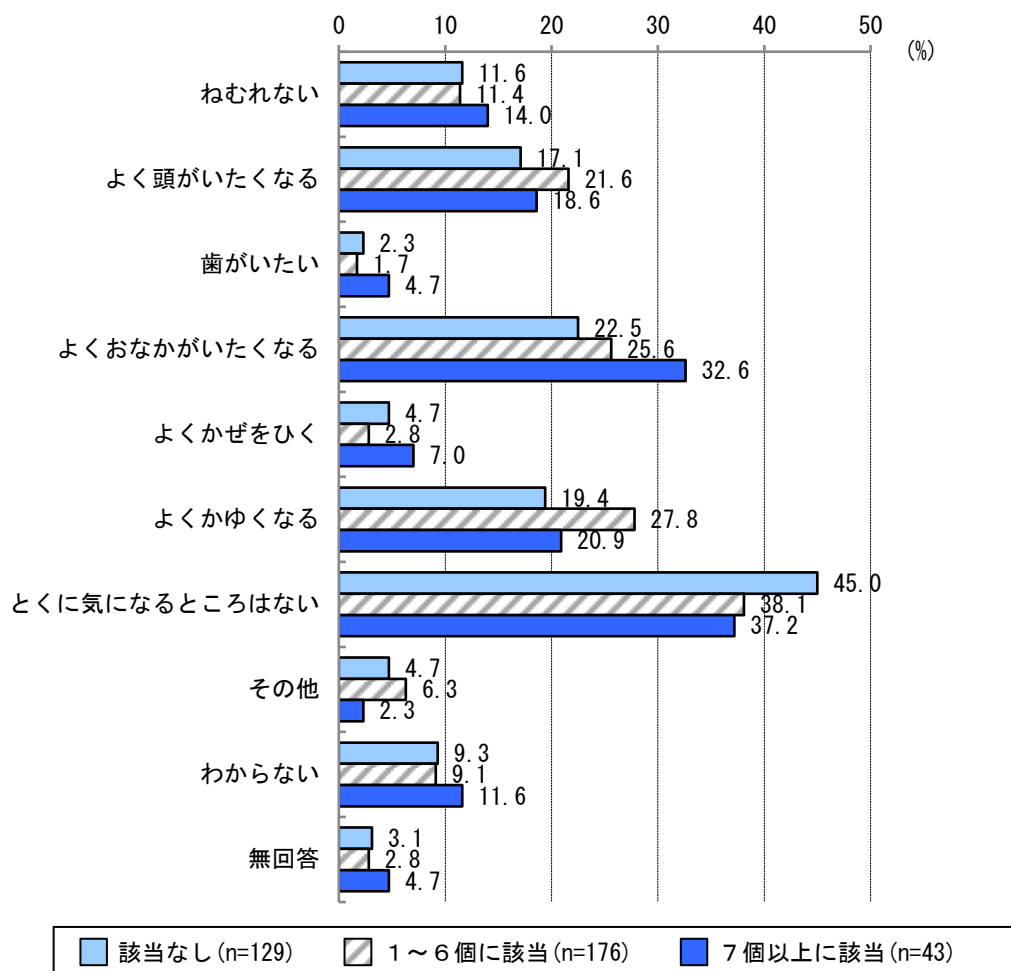
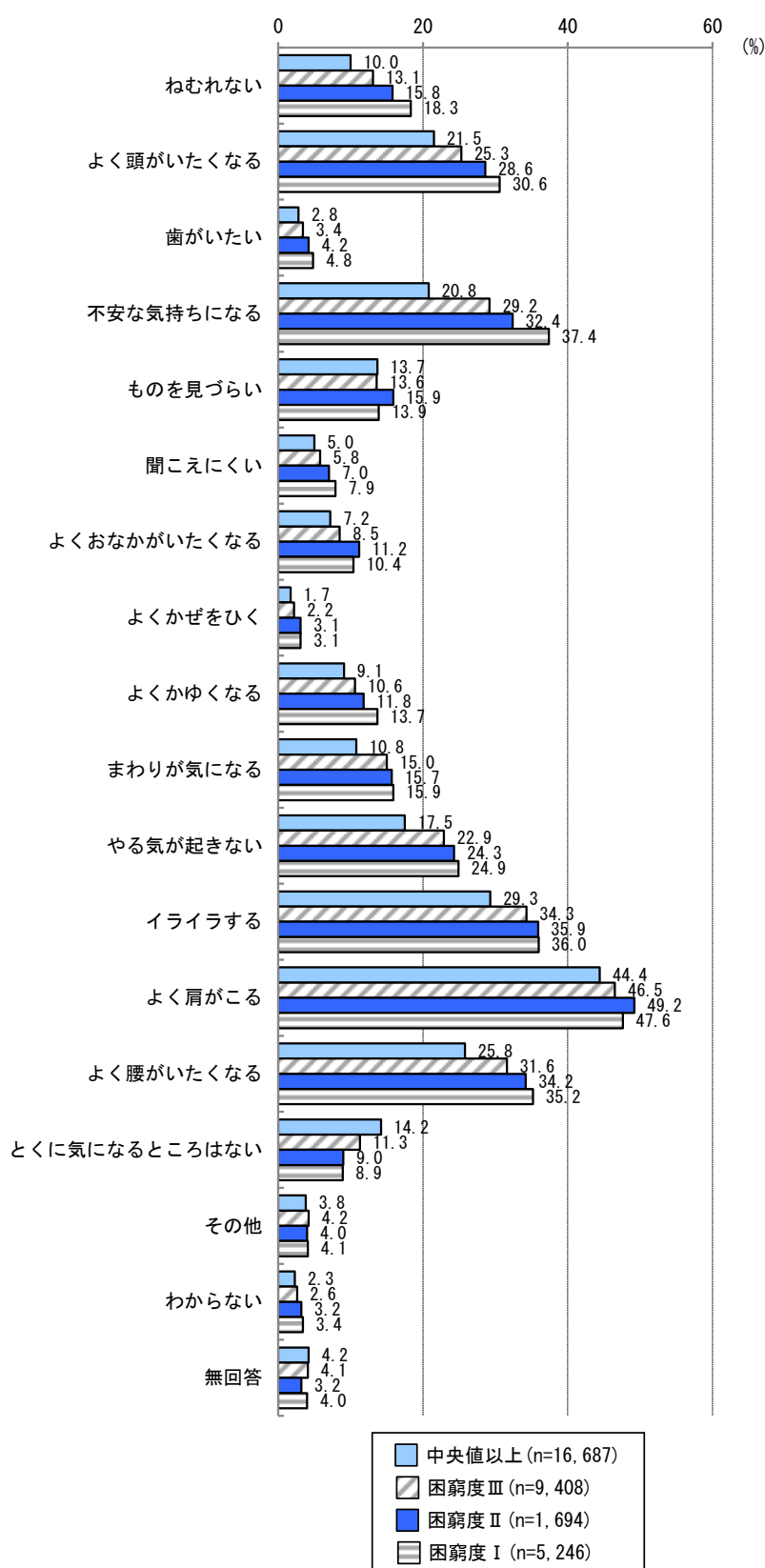


図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体の状態で気になることを見ると、「7個以上に該当」群と「該当なし」群間で差が大きい項目に着目しながら、「7個以上に該当」群の数値を挙げると、「歯がいたい」が4.7%（「該当なし」群に対して2.0倍）、「よくかぜをひく」が7.0%（同じく1.5倍）となっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

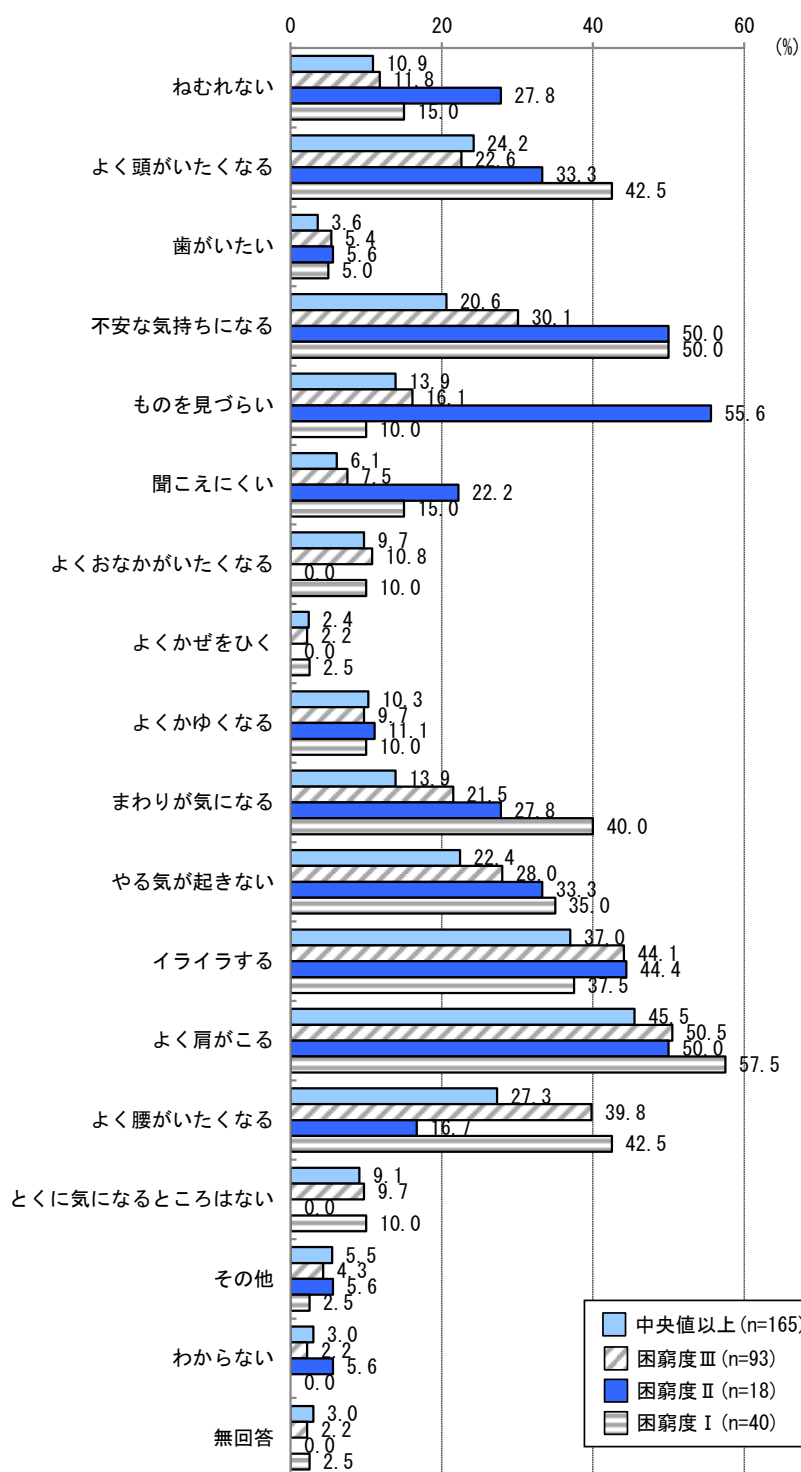
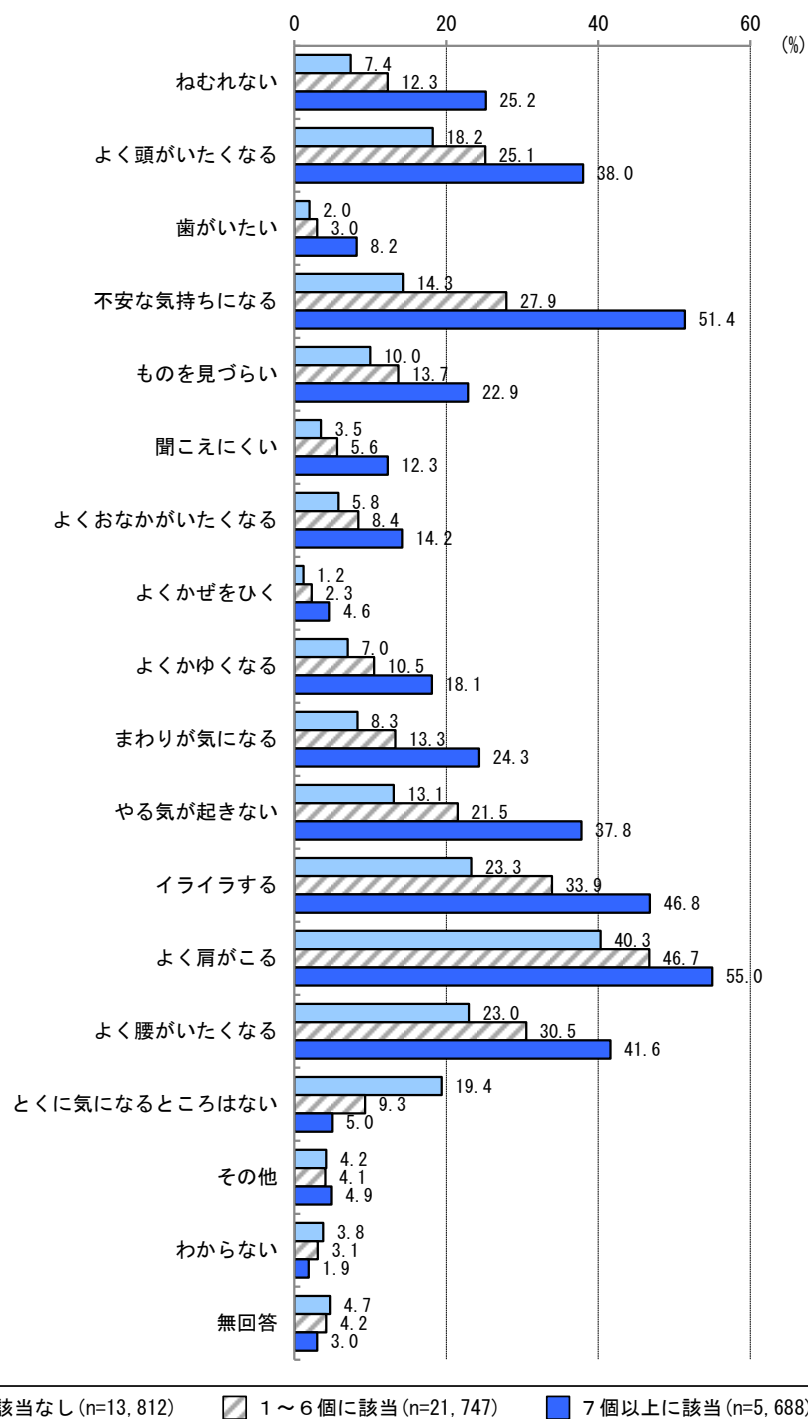


図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、「不安な気持ちになる」と「よく肩がこる」において、困窮度が高まるにつれ、割合が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「まわりが気になる」が40.0%（中央値以上群に対し、2.9倍）、「聞こえにくい」が15.0%（同じく2.5倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
(保護者票問7×保護者票問22)

<大阪府内全体>



<摂津市>

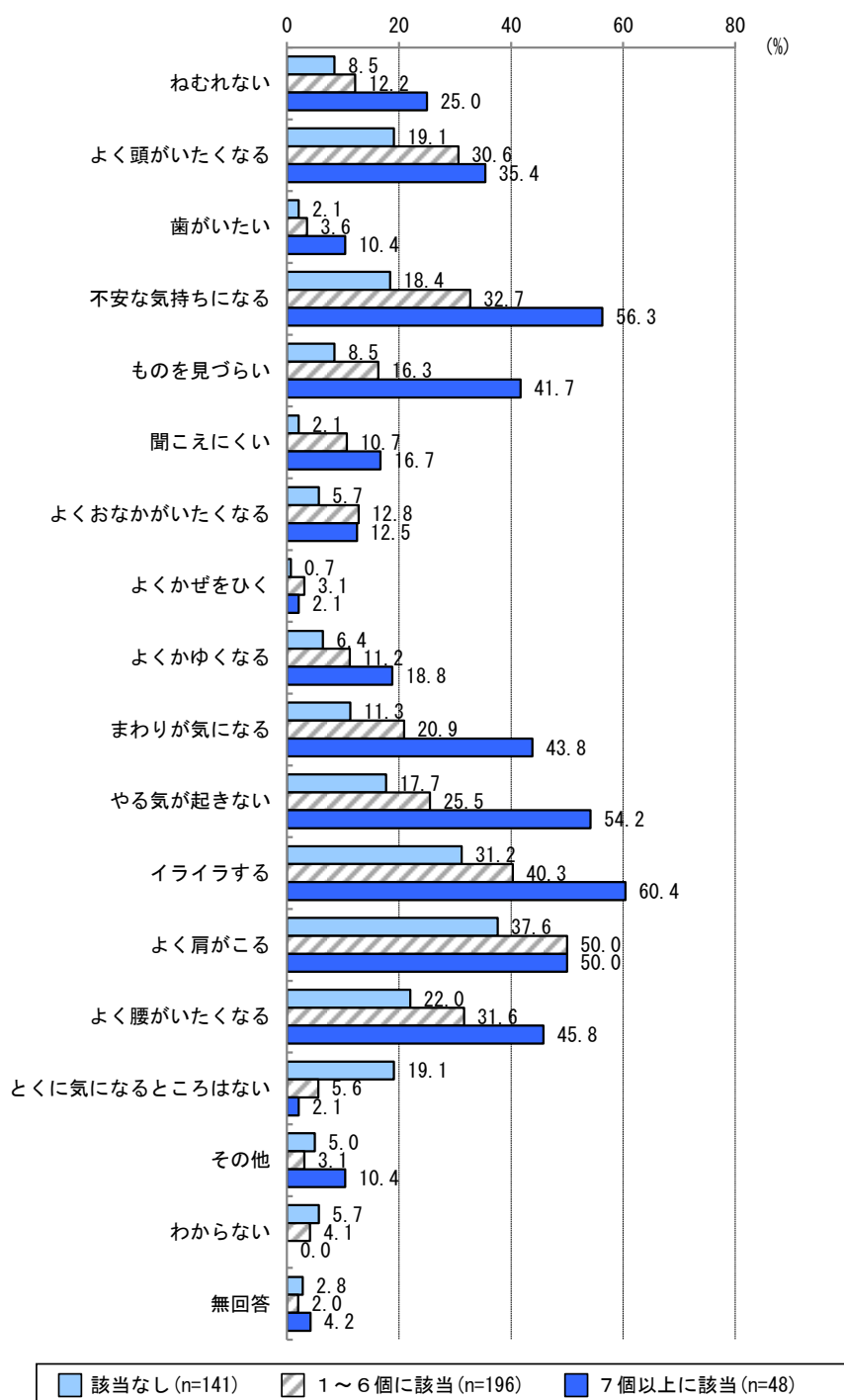
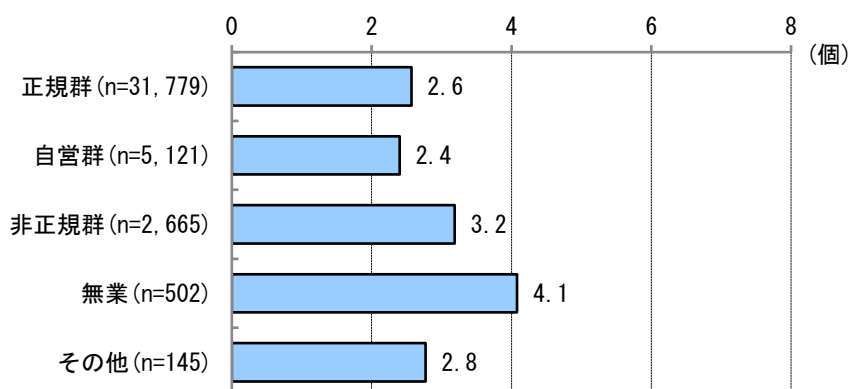


図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になること(保護者)を見ると、「よくかぜをひく」と「よく肩をこる」を除く項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「7個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「7個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「聞こえにくい」が16.7%（「該当なし」に対して8.0倍）、「歯がいたい」が10.4%（同じく5.0倍）となっている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<摂津市>

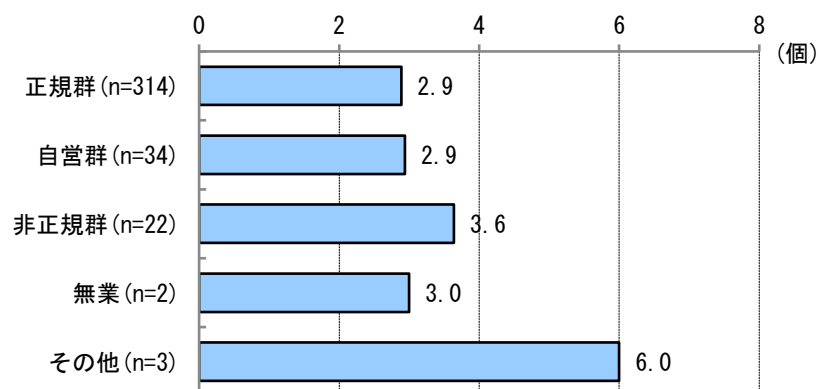


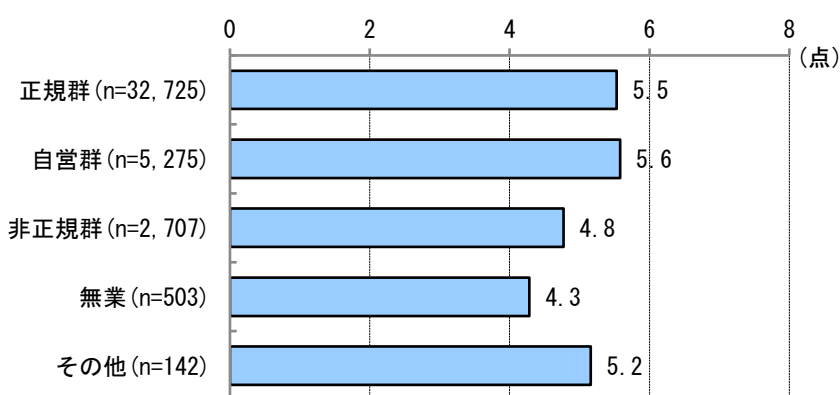
図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」、「自営業」に対して、「非正規群」、「無業」群において、自分の体や気持ちで気になることの該当個数が増える結果となった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問18）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいですか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪府内全体>



<摂津市>

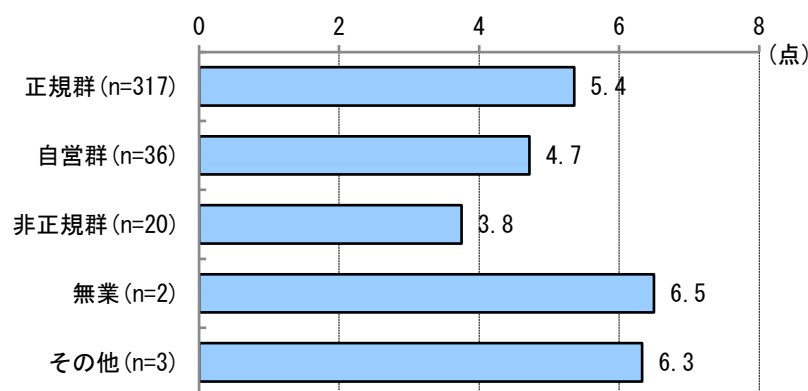
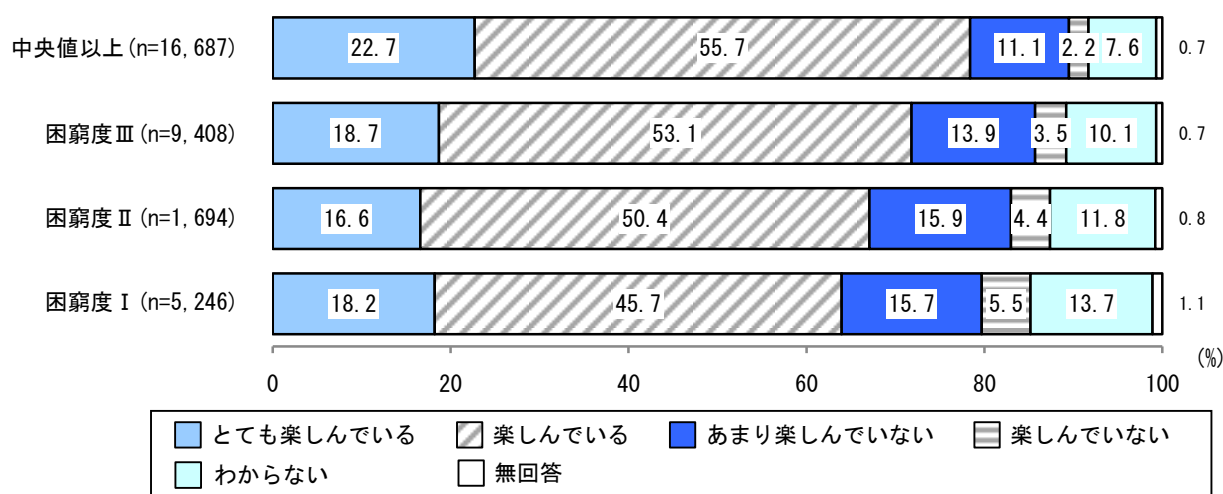


図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」(5.4点)、「無業」(6.5点)が高く、「自営群」で4.7点と低下し、「非正規群」で3.8点と最も低い結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 21(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

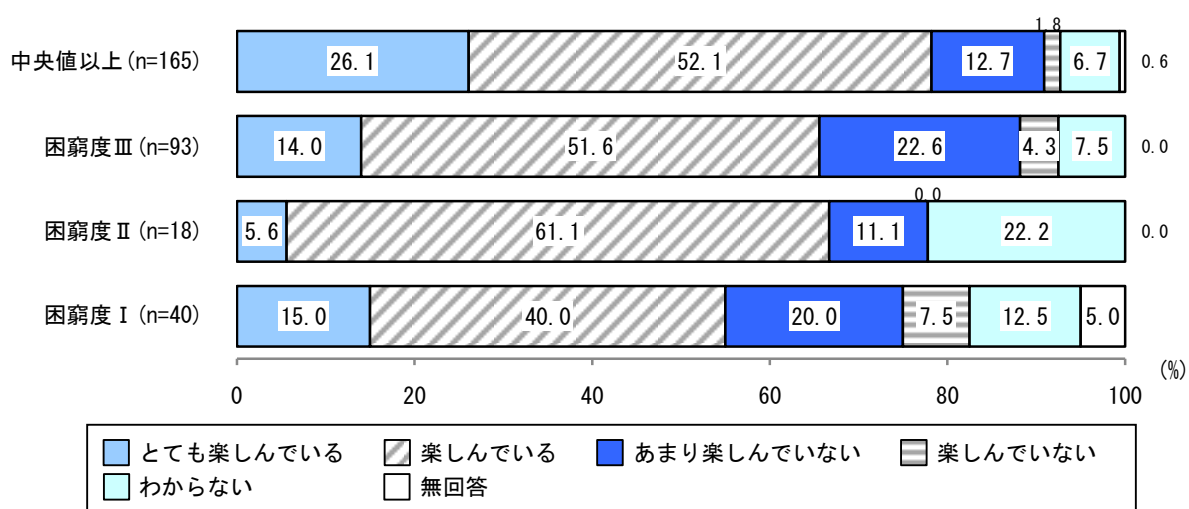
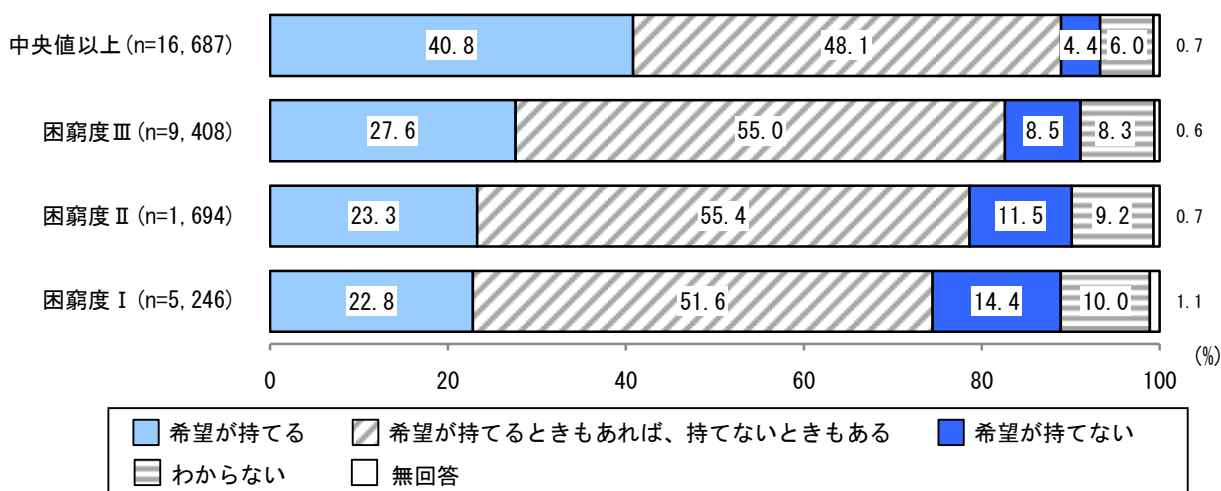


図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせたなんらか『楽しんでいる』割合では、中央値以上群で78.2%と最も高く、続いて、困窮度Ⅱ群で66.7%、困窮度Ⅲ群で65.6%、困窮度Ⅰ群において55.0%と最も低くなった。逆に、「楽しんでいる」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群で0.0%と最も低く、次いで、中央値以上群で1.8%、困窮度Ⅲ群で4.3%、困窮度Ⅰ群で7.5%となった。

困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）（保護者票問 21(2)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

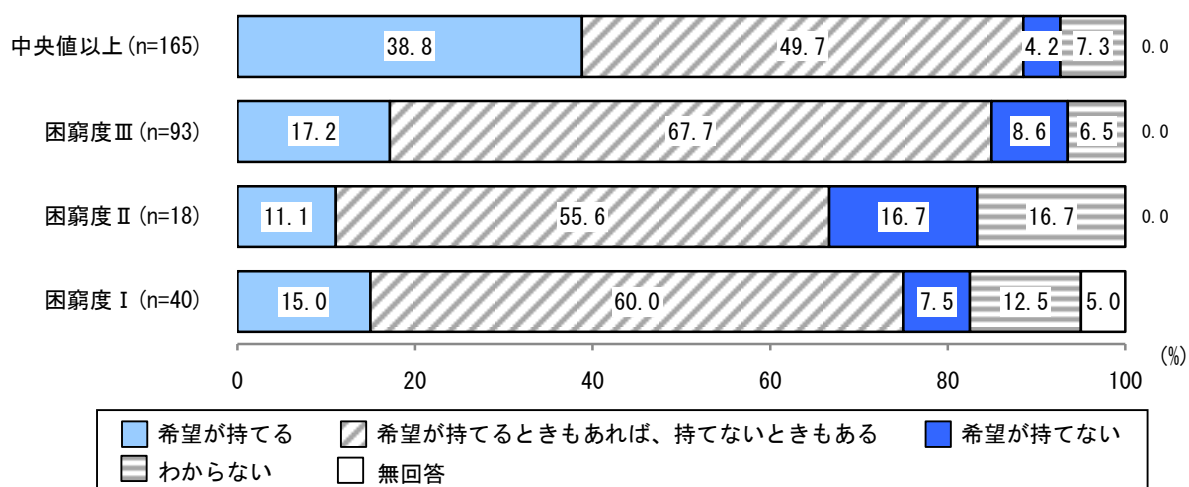
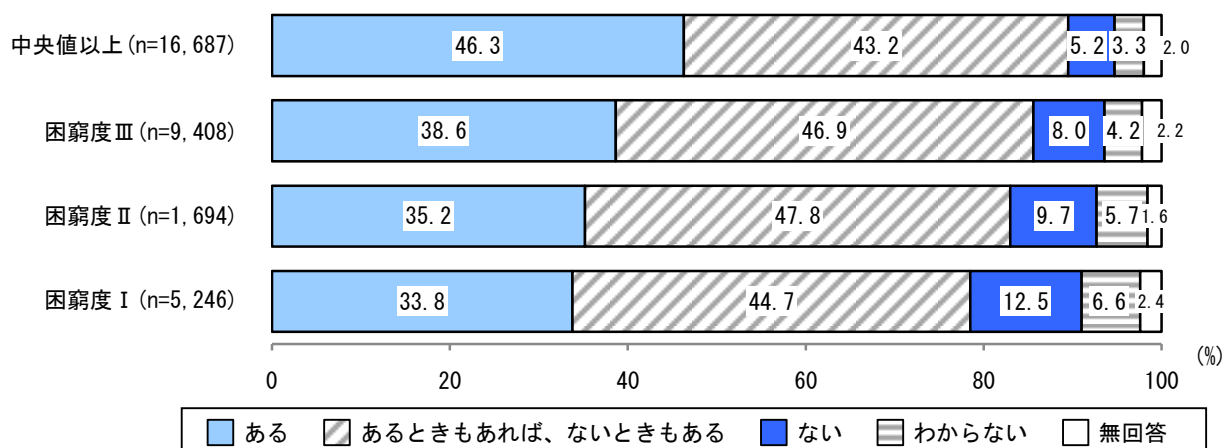


図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）

困窮度別に将来への希望を見ると「希望が持てる」と回答する割合は、中央値以上群では33.8%であるのに対し、困窮度Ⅲ群では17.2%、困窮度Ⅰ群が15.0%、困窮度Ⅱ群において11.1%と最も低くなった。

困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）（保護者票問 21(3)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

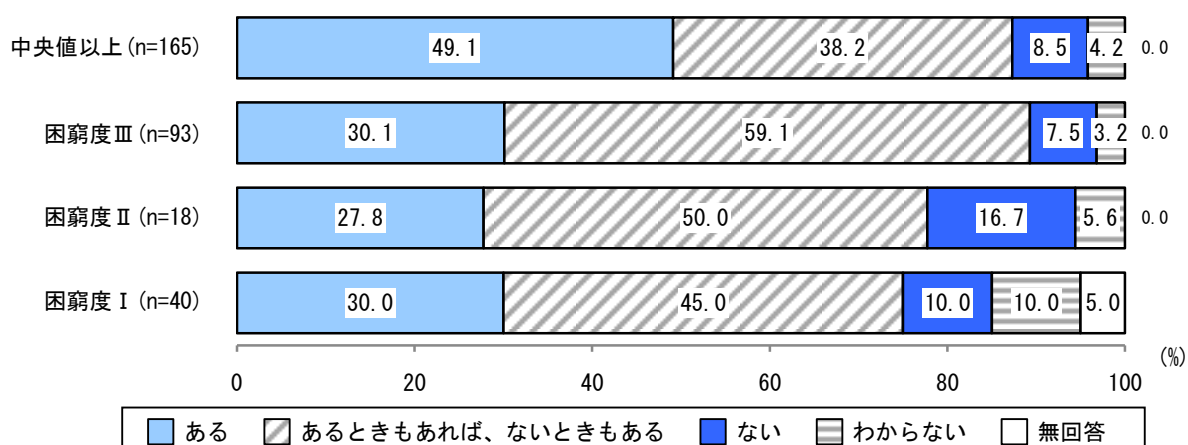
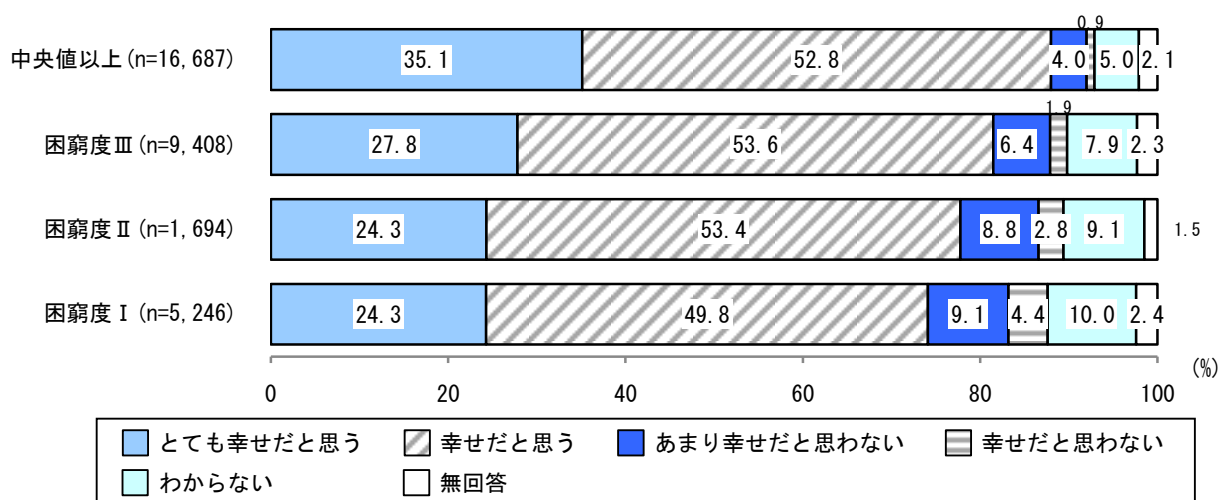


図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスが発散できるものが「ない」という回答に着目すると、困窮度Ⅱ群が16.7%と、「ない」と回答する割合が最も高くなっている。困窮度Ⅲ群では7.5%で最も低く、中央値以上群が8.5%、困窮度Ⅰ群が10.0%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）（保護者票問 21(4)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

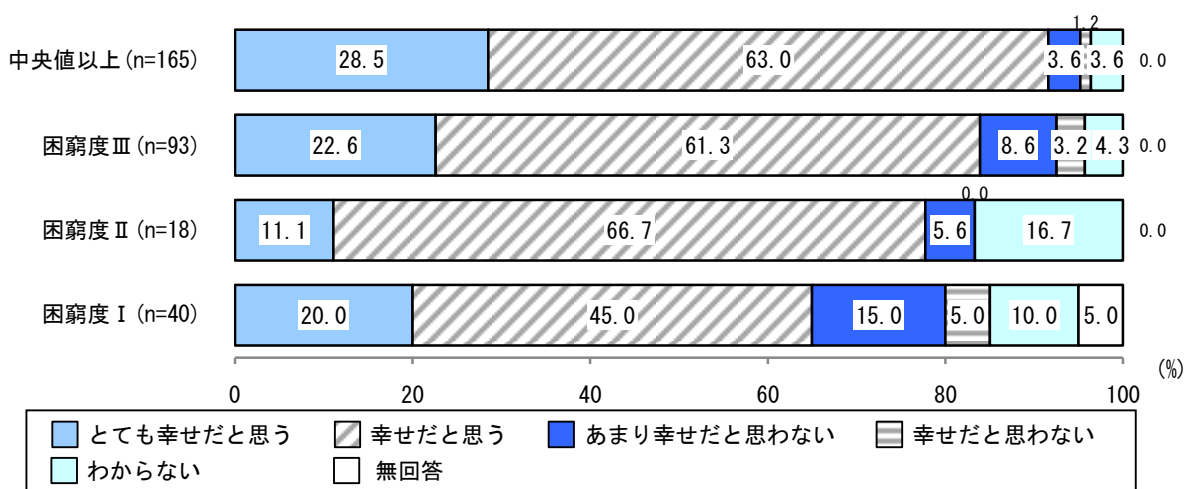


図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せだと思う」と「幸せだと思う」をあわせて、なんらか『幸せと思う』と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて低くなり、困窮度Ⅰ群（65.0%）で最も低くなっている。逆に、なんらか『幸せではない』（「あまり幸せだと思わない」と「幸せだと思わない」をあわせた割合）と回答する割合は、中央値以上群で4.8%にとどまるのに対して、困窮度Ⅲ群で11.8%、困窮度Ⅱ群で5.6%、困窮度Ⅰ群で20.0%となっている。

＜健康に関する考察＞

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。子どもの自覚症状では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「とくに気になるところはない」（45.7%対30.6%）が15ポイント以上高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「不安な気持ちになる」（50.0%対20.6%）、「まわりが気になる」（40.0%対13.9%）がいずれも20ポイント以上、「よく頭がいたくなる」（42.5%対24.2%）、「やる気が起きない」（35.0%対22.4%）、「よく肩がこる」（57.5%対45.5%）、「よく腰がいたくなる」（42.5%対27.3%）では10ポイント以上高くなっている。子どもの自信や意欲をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「やろうと思ったことがうまくできる」に対して「いつもそうだ」（25.2%対13.9%）では約11ポイント高くなっている。保護者の心の状態を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、将来に対して「希望が持てる」（38.8%対15.0%）が20ポイント以上、ストレスを発散できるものが「ある」（49.1%対30.0%）が15ポイント以上、生活を「とても楽しんでいる」（26.1%対15.0%）が10ポイント以上、自分が「とても幸せだと思う」（28.5%対20.0%）8ポイント以上高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「よくおなかがいたくなる」の割合が高くなる傾向にあり、保護者では「よく頭がいたくなる」「不安な気持ちになる」「ものを見づらい」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「イライラする」「よく肩がこる」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安やイライラなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、同時に肩こりや腰痛が多く、肉体労働に従事している可能性や、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。また、経済的に困難な世帯の子どもは腹痛を感じており、メンタルの不調が身体にも表れていることが懸念される。一方で経済的に困難のない世帯の保護者は、将来に対して希望をもち、ストレス発散ができており、日々の生活に楽しさや幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

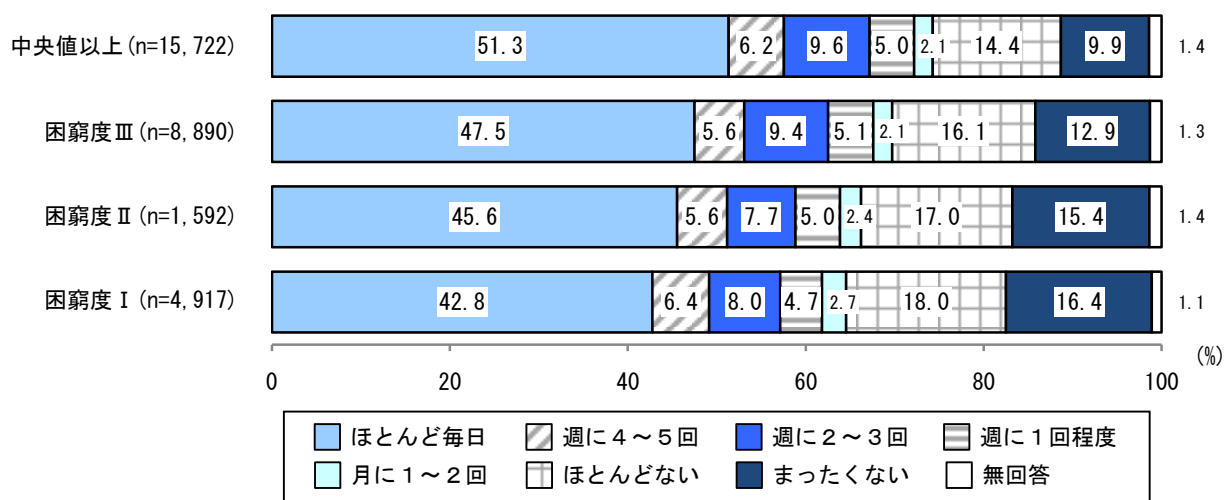
続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。親の就業状況別の朝食の頻度では、「非正規群」において、「毎日またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が81.8%と低く、その他の「正規群」「自営群」「無業」は90%以上となっている。この結果から、保護者が非正規雇用の世帯では、朝食準備の時間に余裕がないことがうかがえる。

最後に、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもの将来に「とても期待している」（23.6%対12.5%）が10ポイント以上高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群と学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では、「食べない」群と比べ、前者が約2点、後者が約6点高くなっている。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、子どもの自己効力感を高め、保護者も子どもの将来に期待を抱いていることが示唆される。

3-4. 家庭生活、学習

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか（子ども票問8①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

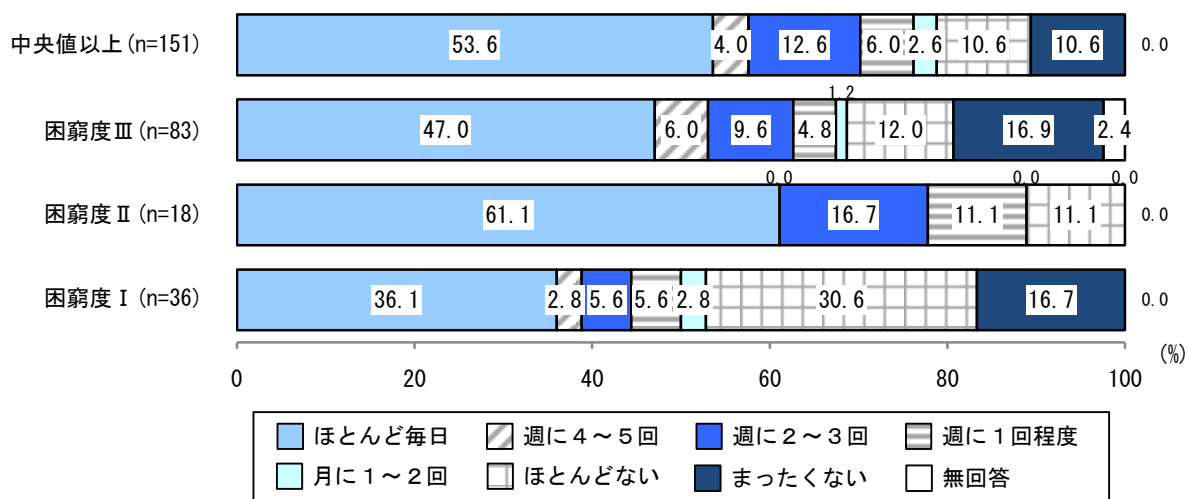
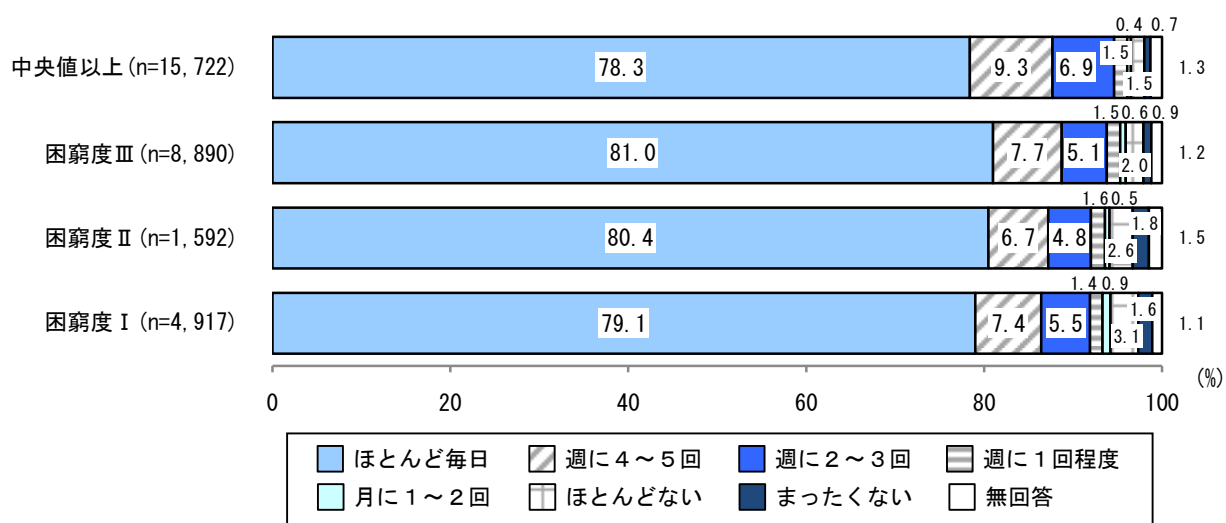


図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は困窮度Ⅱ群が61.1%で最も高く、次いで中央値以上群が53.6%となっている。一方、「まったくない」の割合は困窮度Ⅲ群が16.9%で最も高く、次いで困窮度Ⅰ群が16.7%となっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか（子ども票問8②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

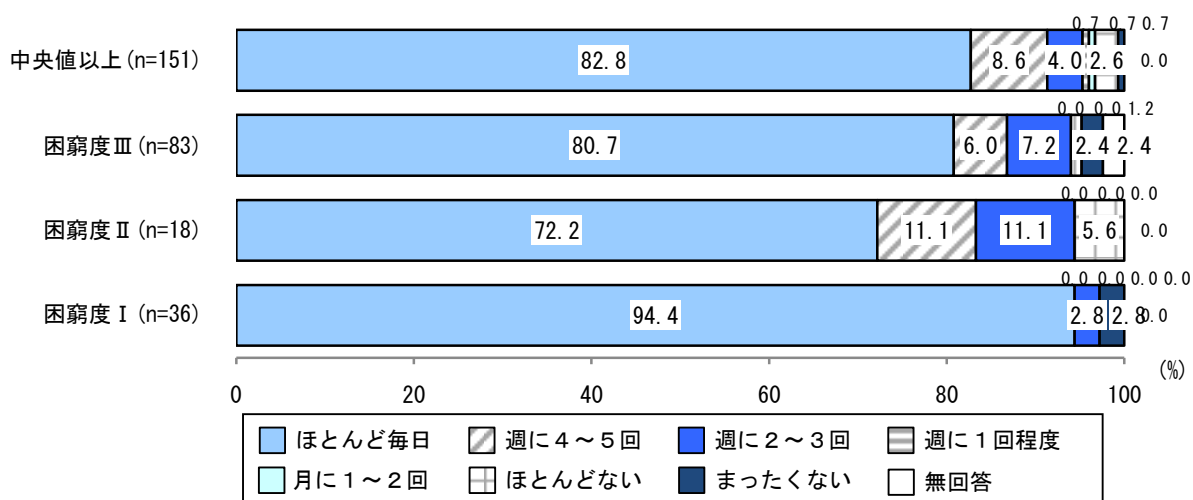
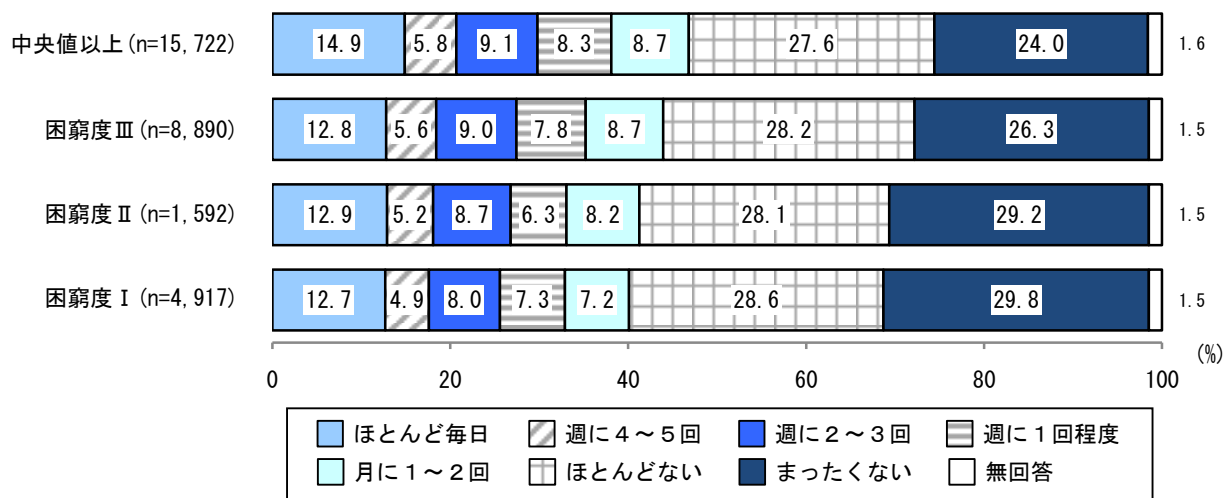


図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、困窮度Ⅱ群において、「ほとんど毎日」の割合が72.2%と最も低くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか（子ども票問8⑤）

<大阪府内全体>



<摂津市>

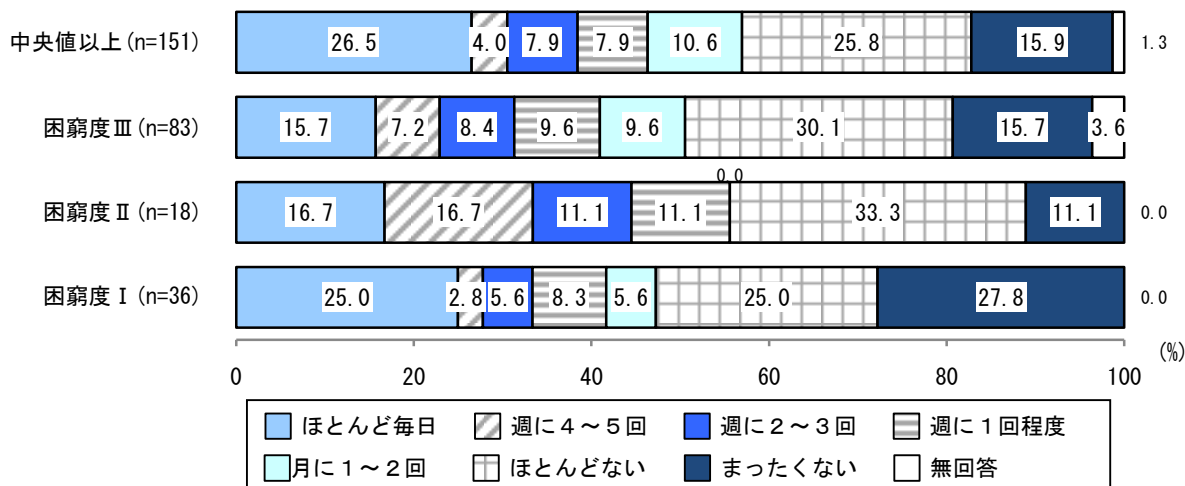
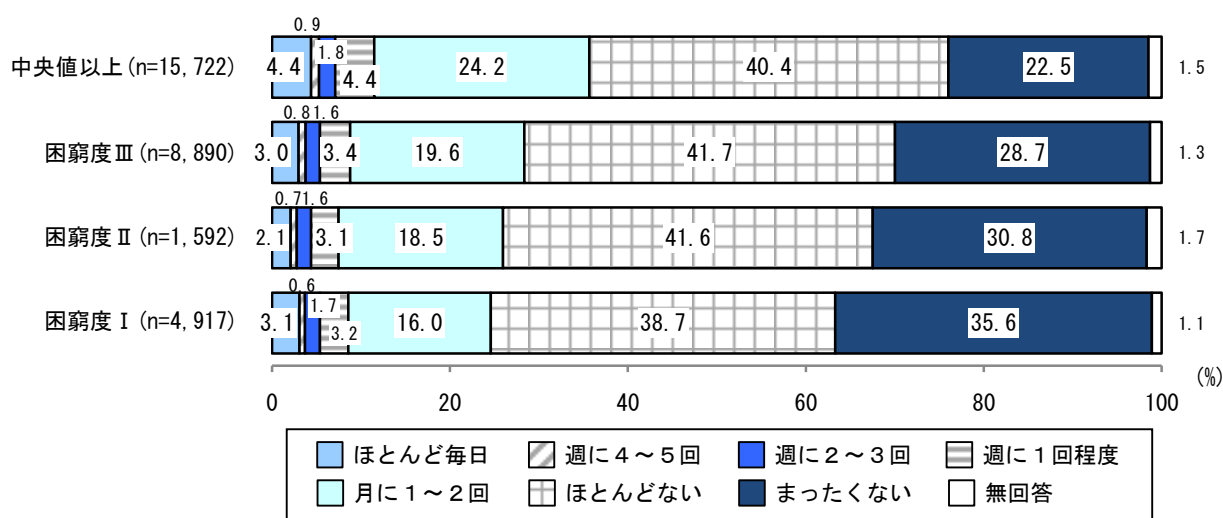


図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、困窮度Ⅰ群では、「まったくない」と回答した人は27.8%で最も高くなっている。一方、「ほとんど毎日」は中央値以上群が26.5%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか（子ども票問8⑨）

<大阪府内全体>



<摂津市>

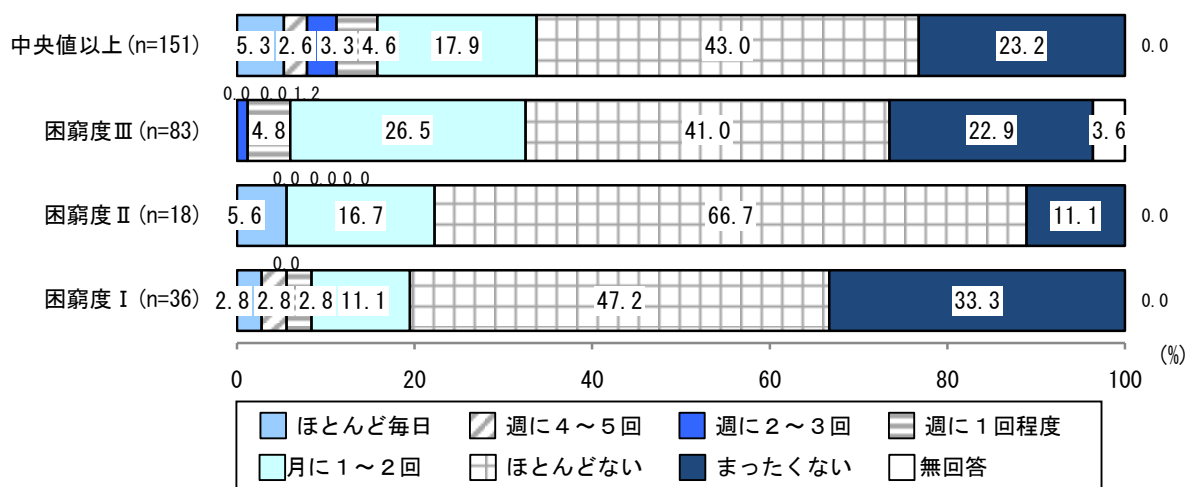
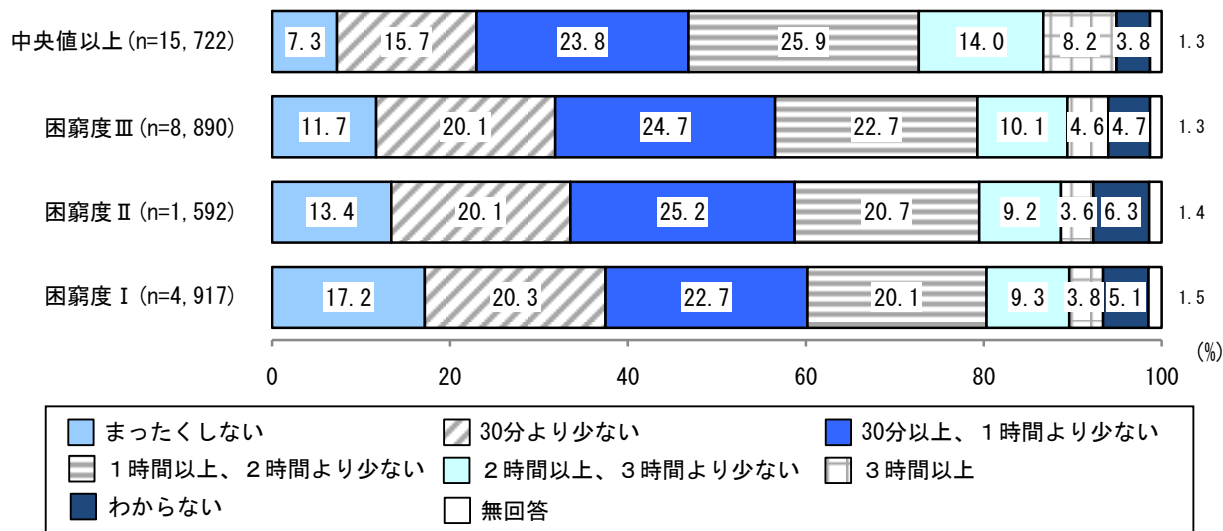


図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

困窮度別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「まったくない」と回答した人は困窮度Ⅰ群が33.3%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

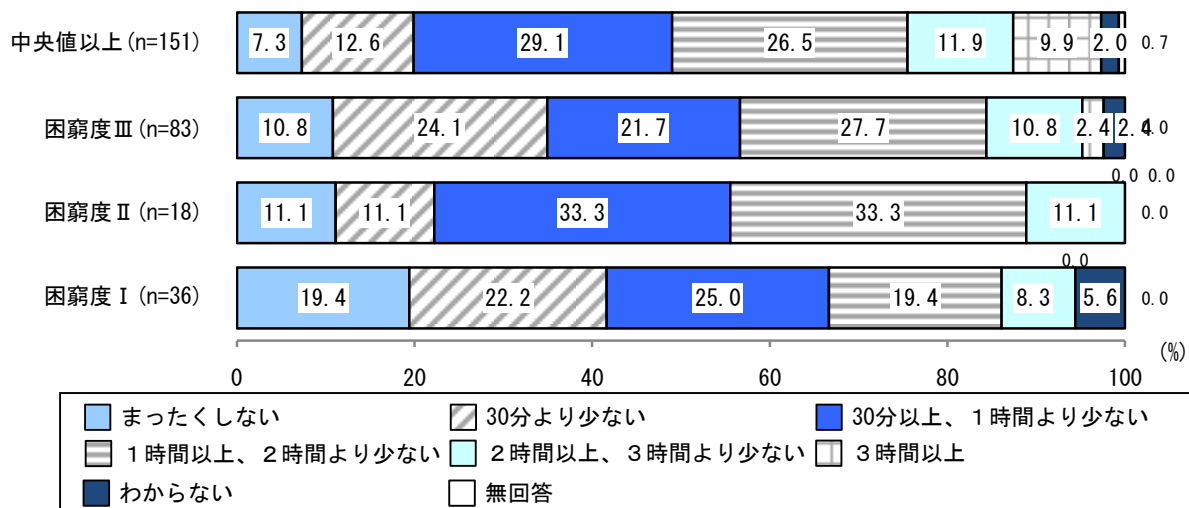
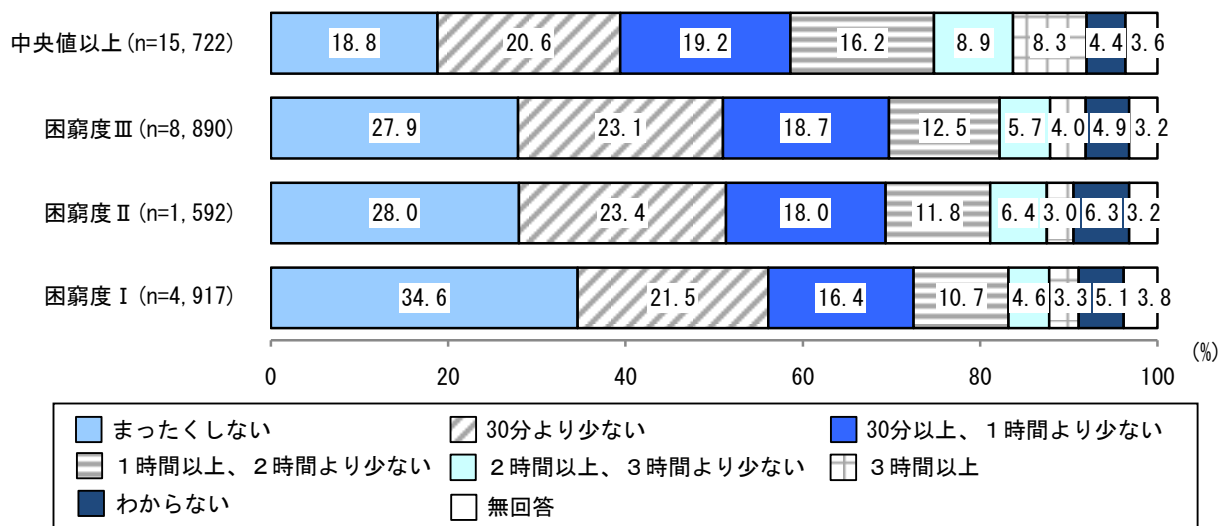


図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校のある日では、困窮度が高まるにつれて、「まったくしない」と回答する割合が高くなり、困窮度Ⅰ群では19.4%となっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）
（子ども票問 13②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

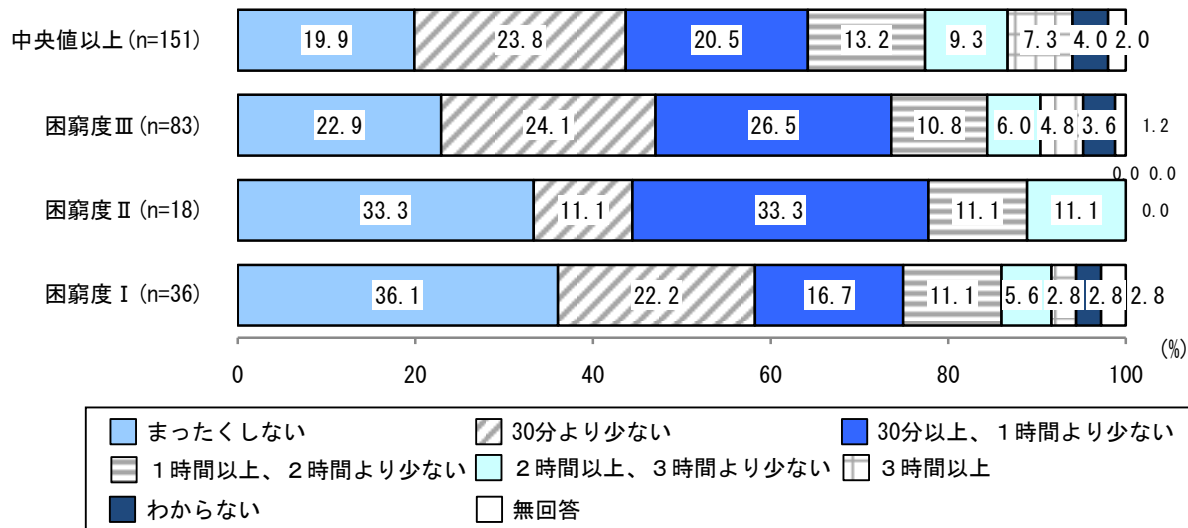
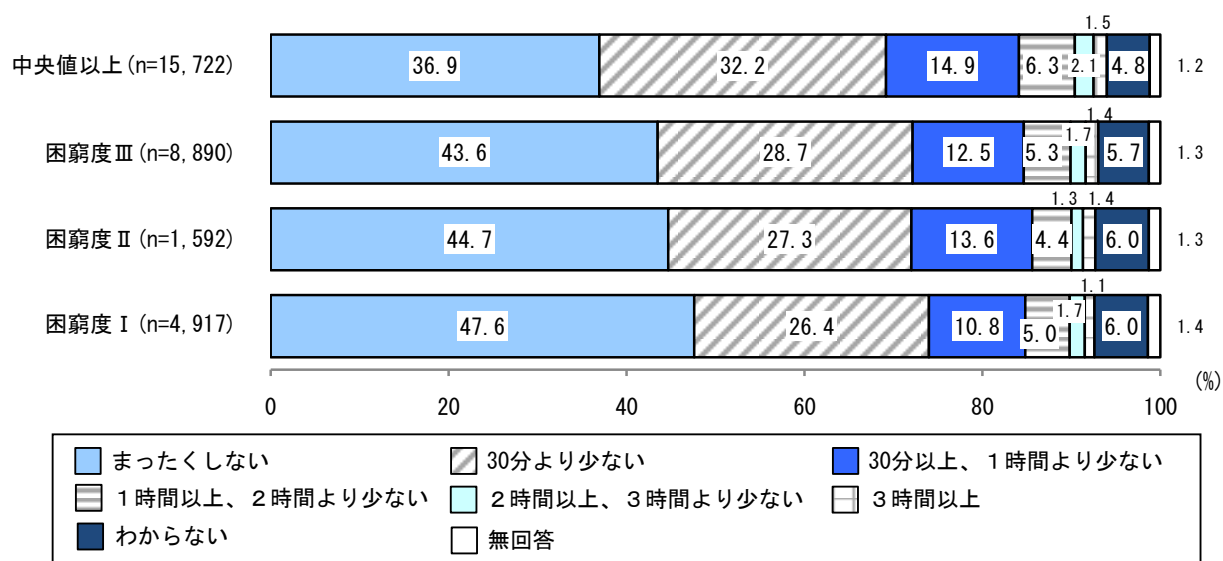


図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校がない日では、困窮度が高まるにつれて、「まったくしない」と回答する割合が高くなり、困窮度Ⅰ群では36.1%となっている。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 15）

<大阪府内全体>



<摂津市>

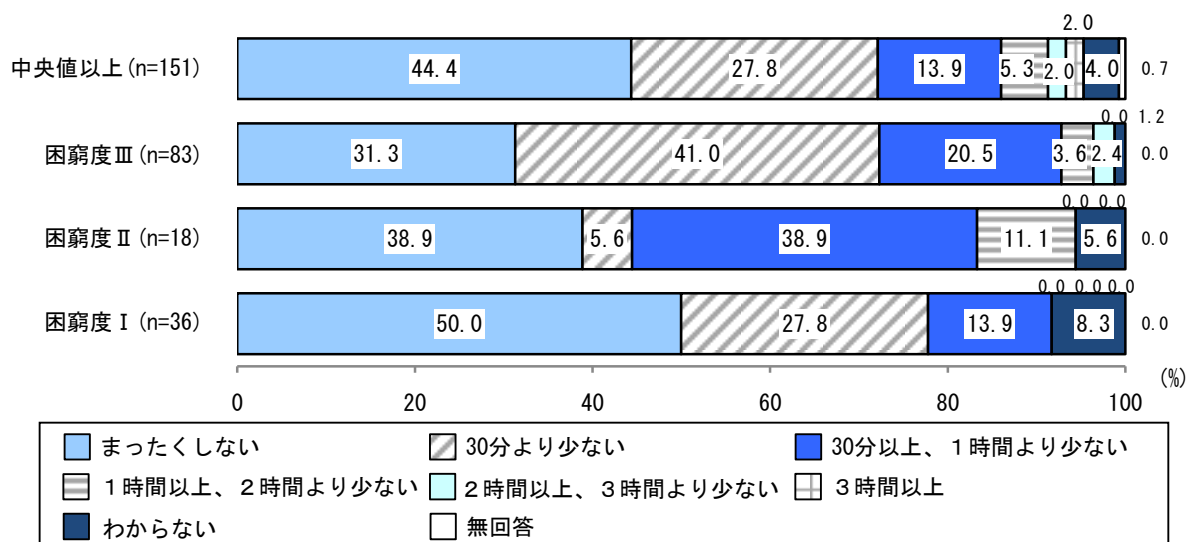
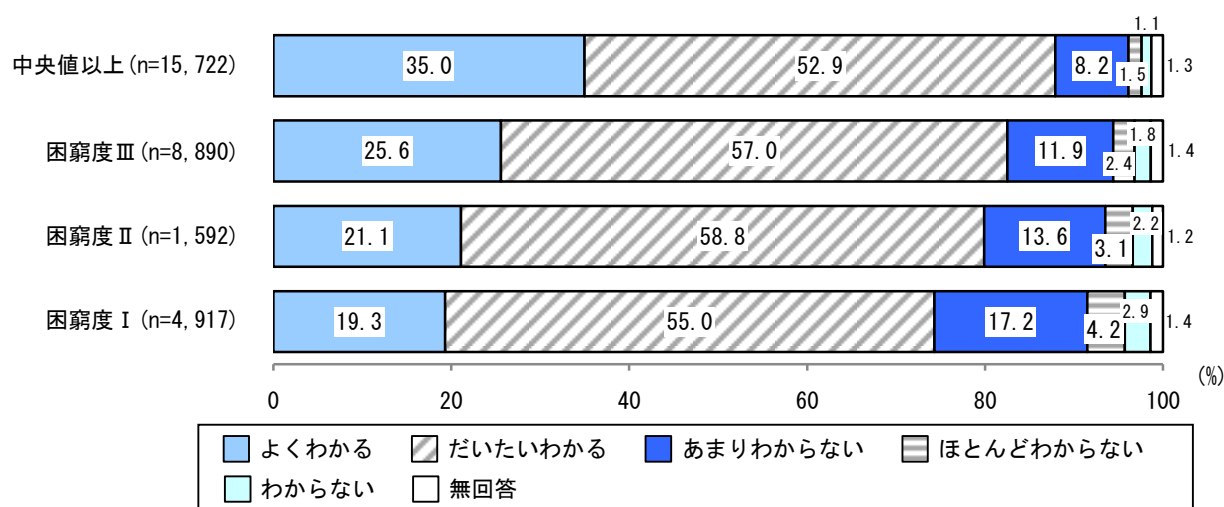


図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくしない」と回答した人は困窮度Ⅰ群が50.0%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問 14(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

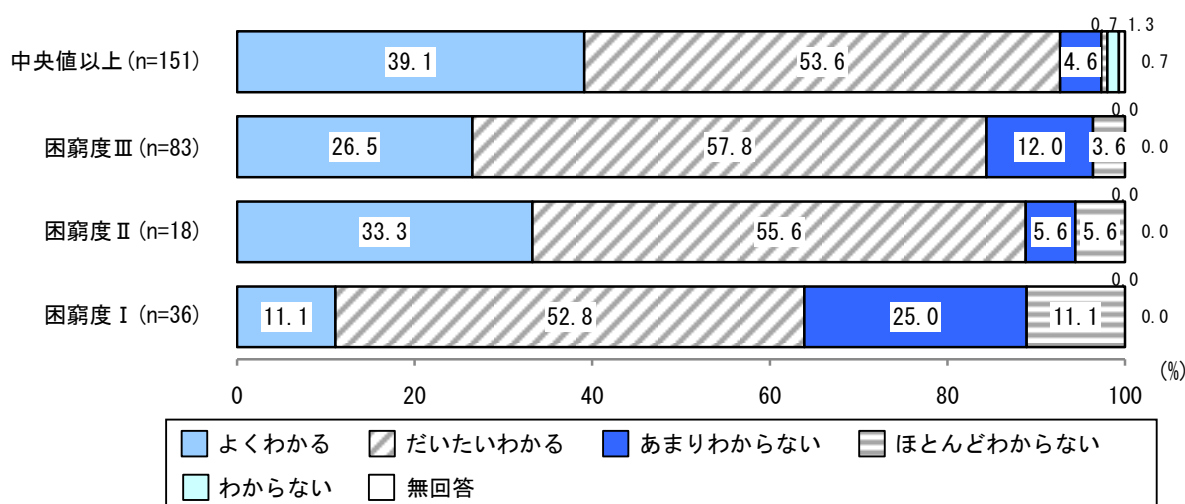


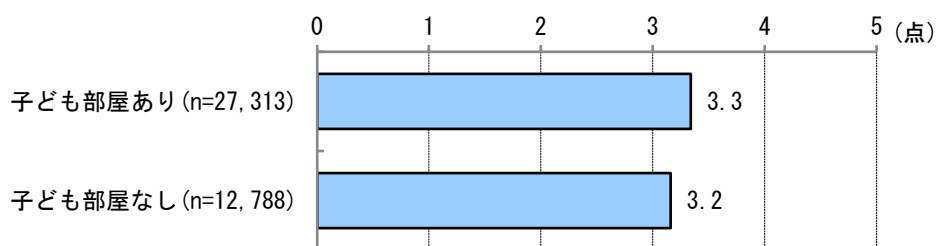
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

困窮度別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」と回答した人の割合は困窮度Ⅰ群が11.1%で最も低くなっている。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ①学校がある日
(月～金曜日)(子ども票問 21×子ども票問 13①)

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30分より少ない」「3. 30分以上、1時間より少ない」「4. 1時間以上、2時間より少ない」「5. 2時間以上、3時間より少ない」「6. 3時間以上」の6つの時間枠からひとつを選択させた(「7. わからない」は除く)。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪府内全体>



<摂津市>

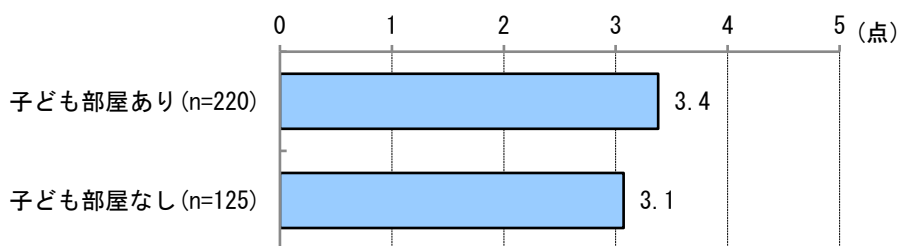
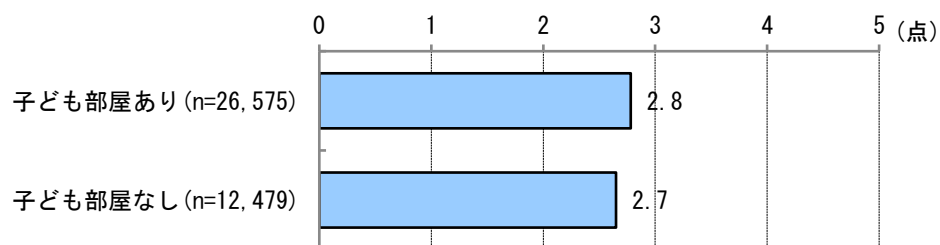


図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がある日)

子ども部屋の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ②学校がない日
(土・日曜日・祝日)(子ども票問21×子ども票問13②)

<大阪府内全体>



<摂津市>

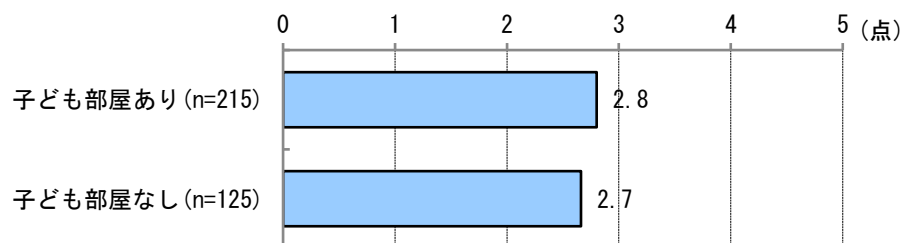
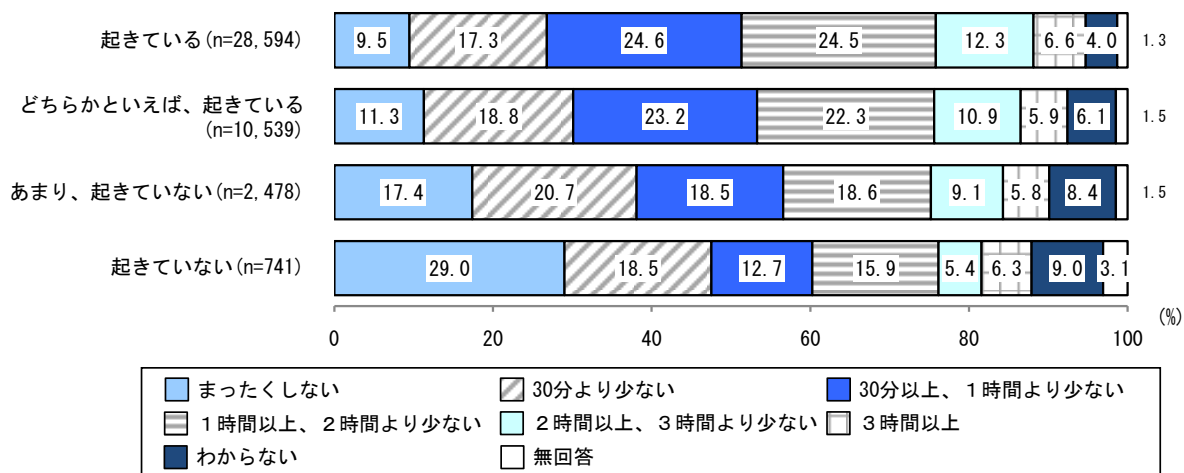


図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がない日)

子ども部屋の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問 2 × 子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

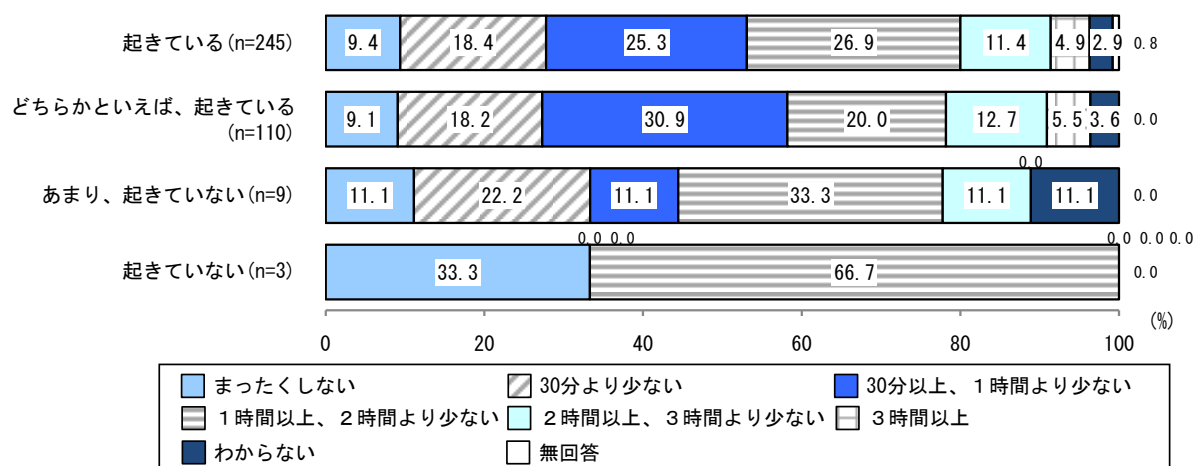
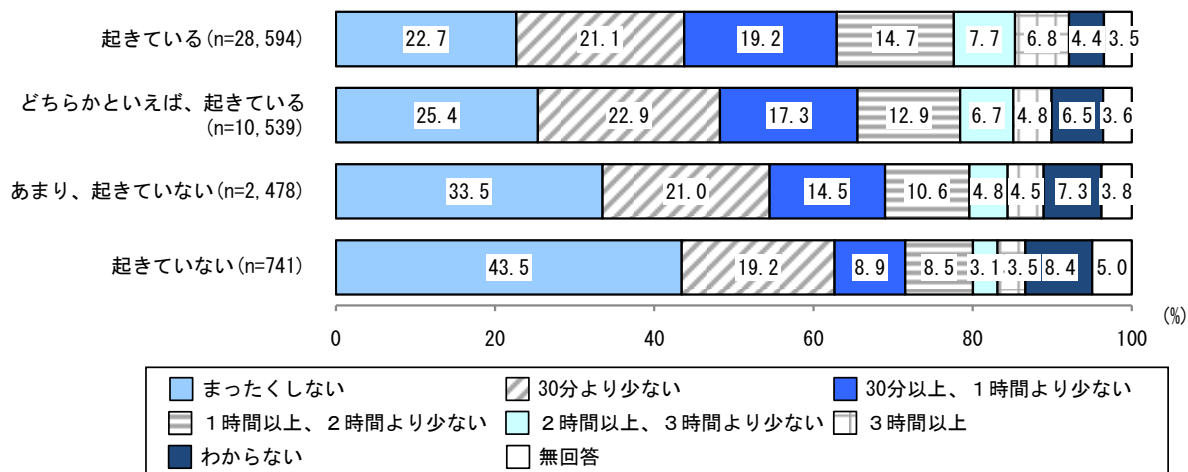


図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

起床時間の規則性別に学校がある日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高く、起きていない人が 33.3%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問2×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

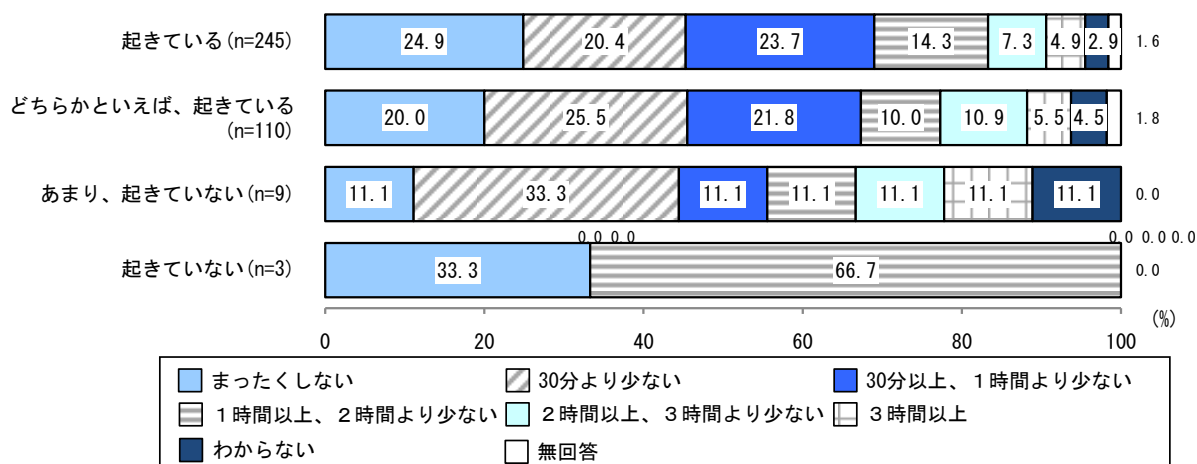
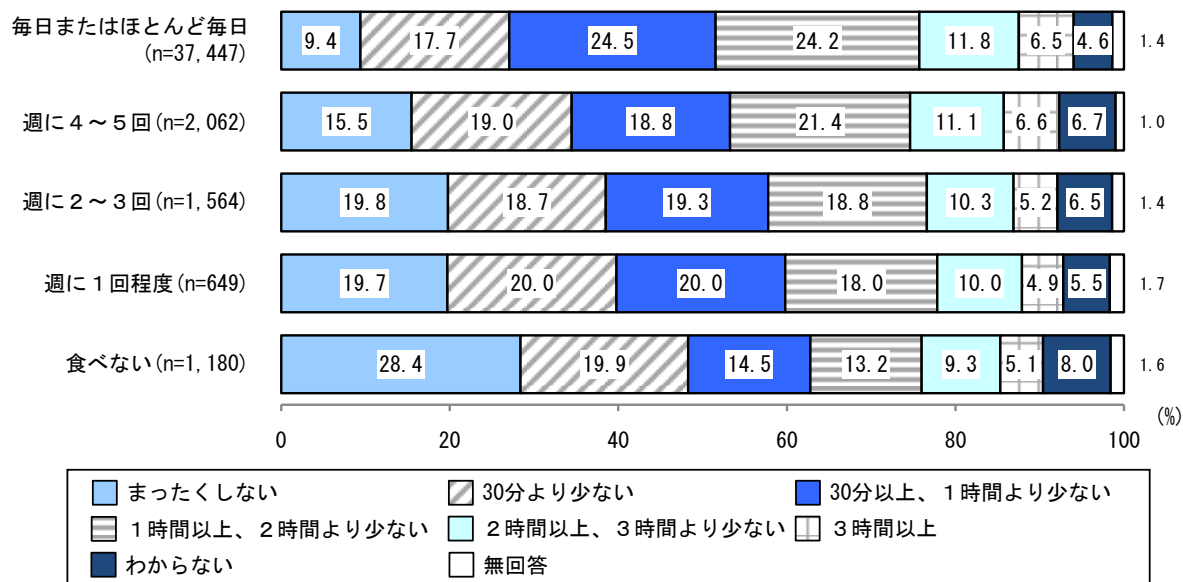


図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

起床時間の規則性別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人で「まったくしない」の回答の割合が33.3%と最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問４（１）×子ども票問１３①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

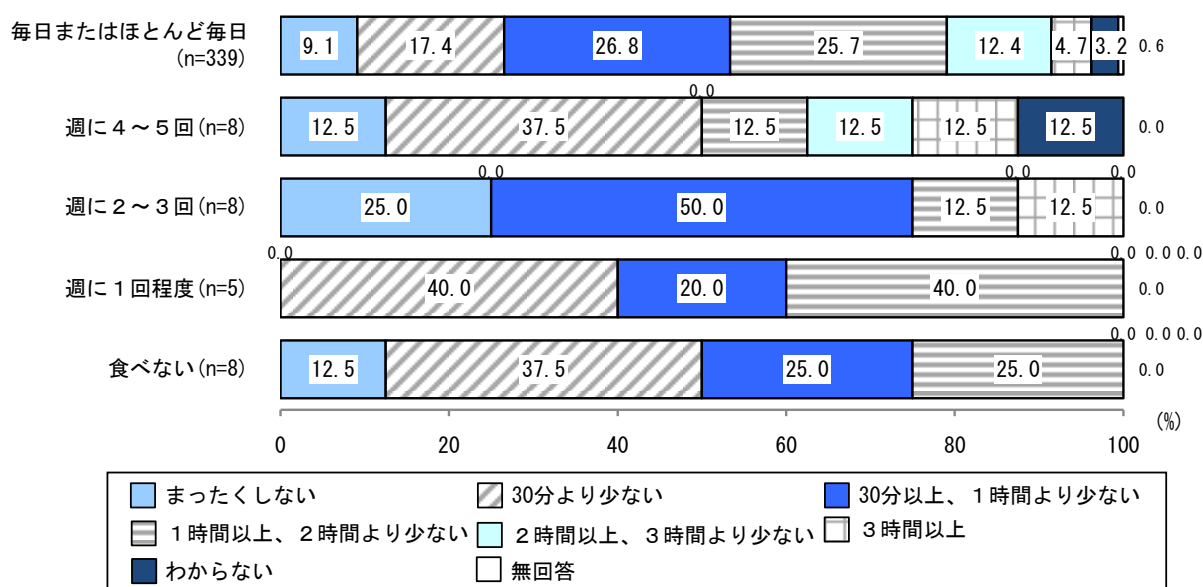
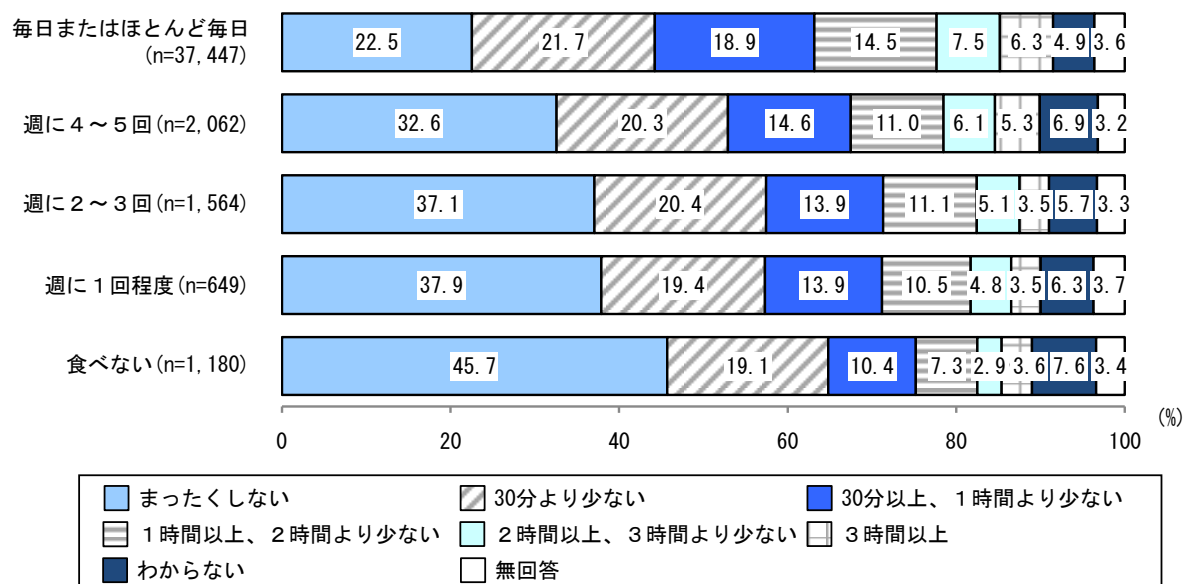


図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

朝食の頻度別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、毎日またはほとんど毎日食べる人は、「１時間以上、２時間より少ない」「２時間以上、３時間より少ない」「３時間以上」をあわせた『１時間以上』の割合が42.8%で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問4(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

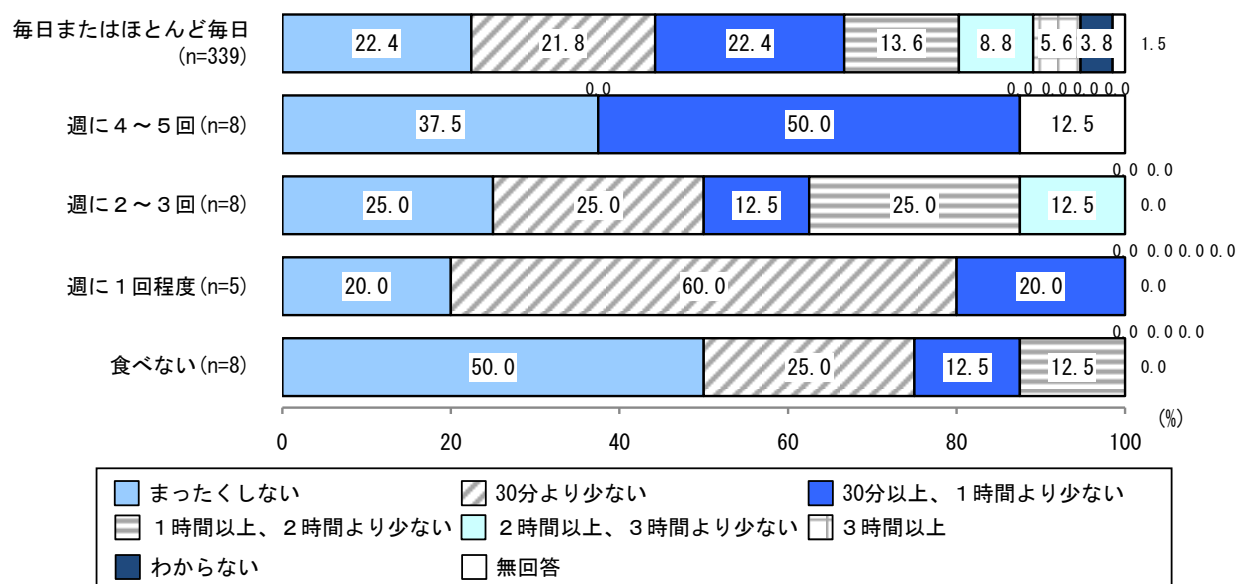
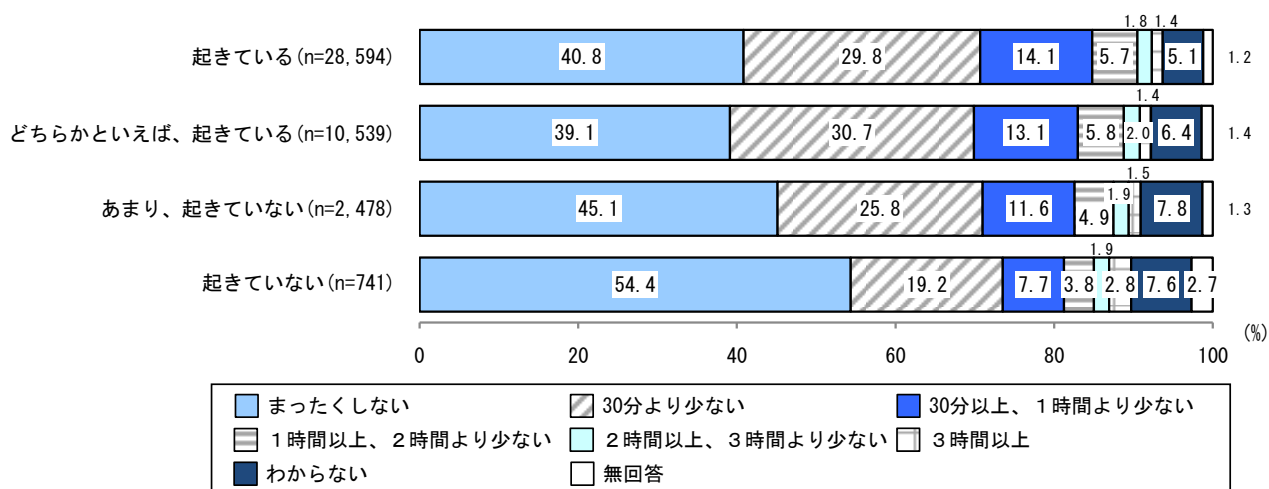


図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

朝食の頻度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、食べない人は、「まったくしない」と回答した割合が50.0%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問2×子ども票問15）

<大阪府内全体>



<摂津市>

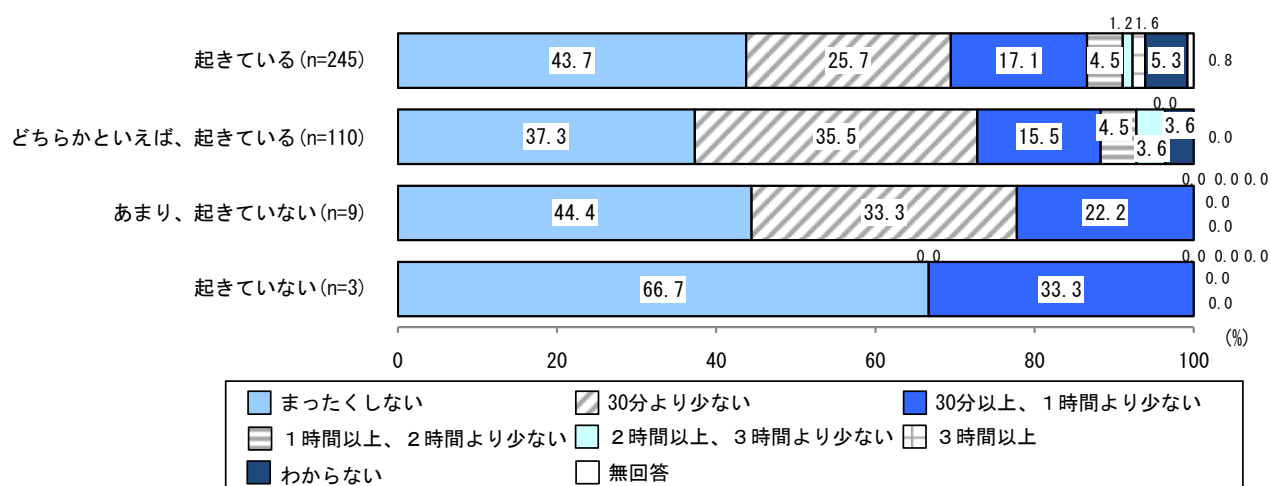
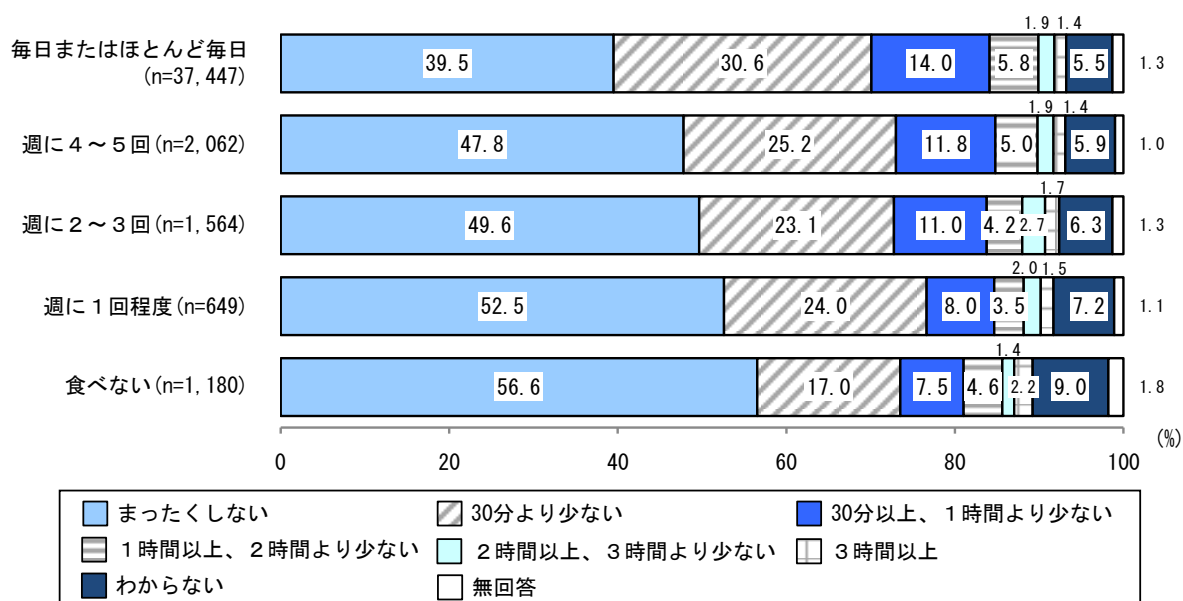


図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、起きていない人では、「まったくしない」と回答した人は66.7%となっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 4 (1) × 子ども票問 15)

<大阪府内全体>



<摂津市>

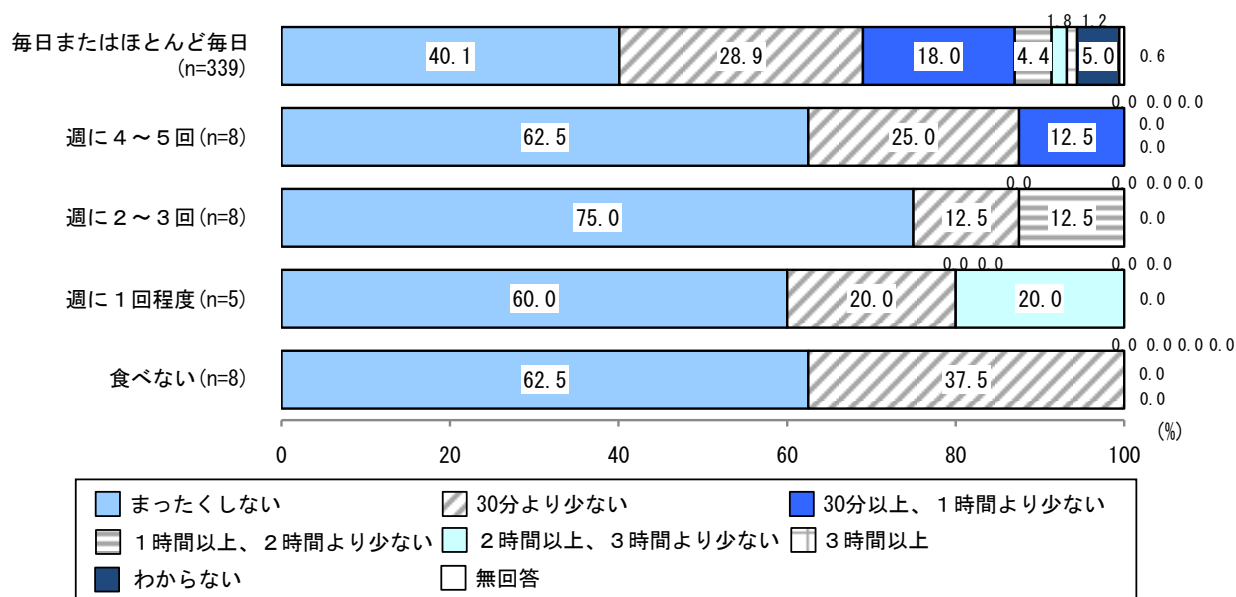
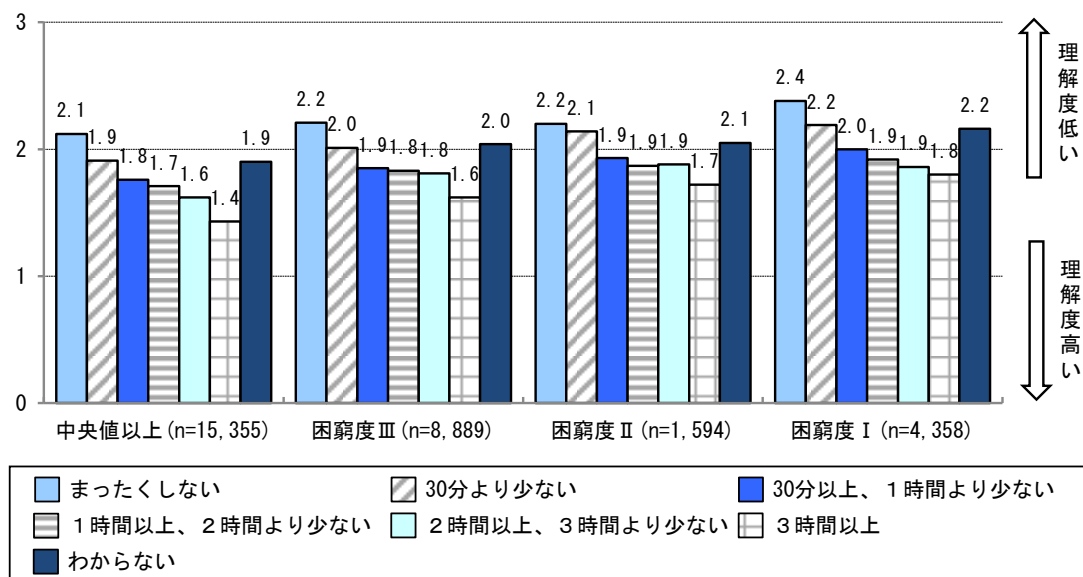


図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、毎日またはほとんど毎日食べる人は「まったくしない」と回答した割合が40.1%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

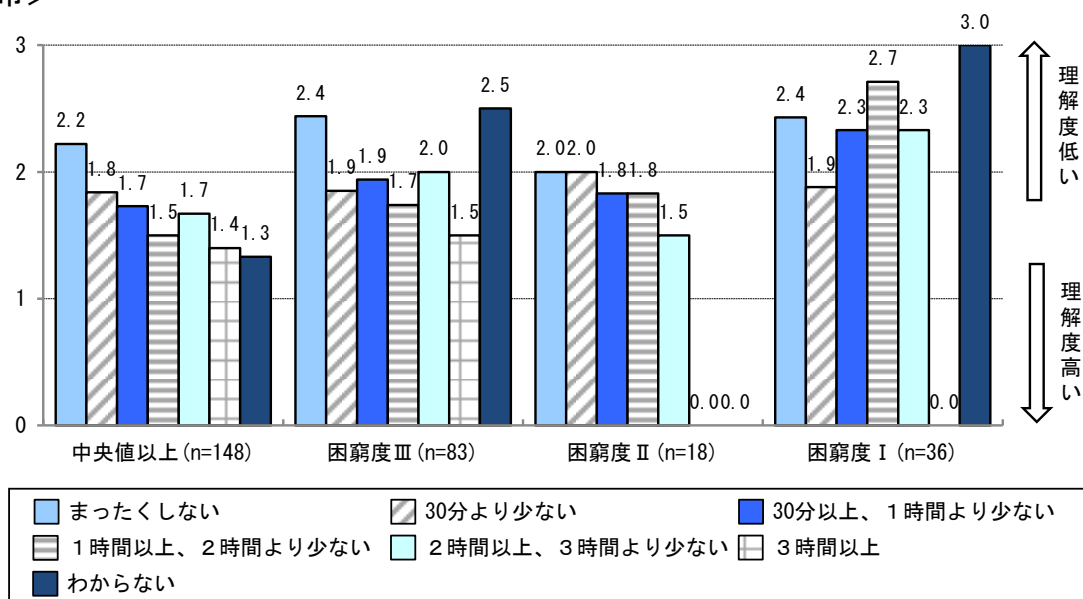
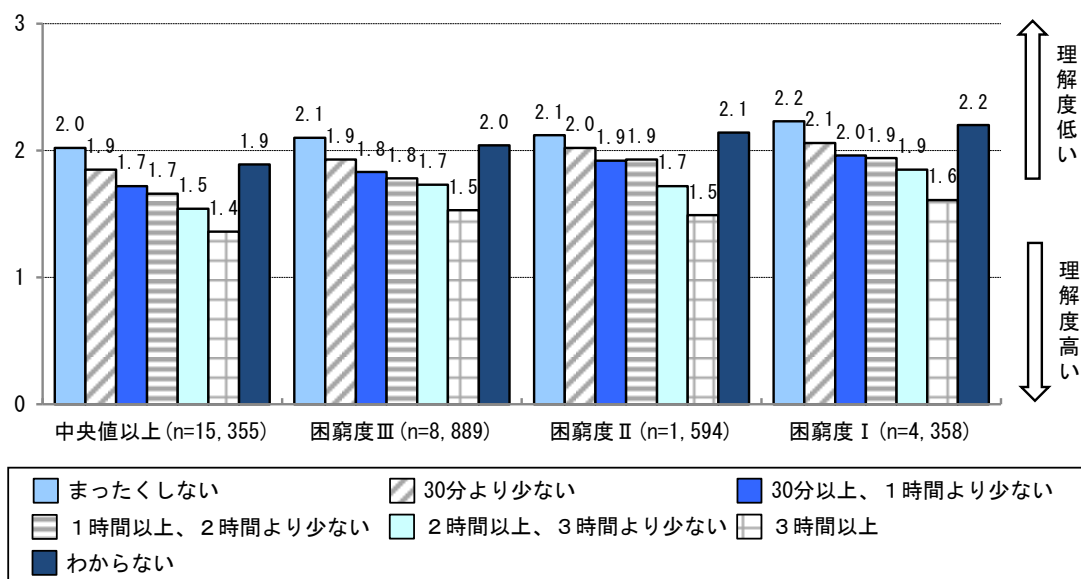


図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、概ね勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは、学習時間と学習理解度が関連しない。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

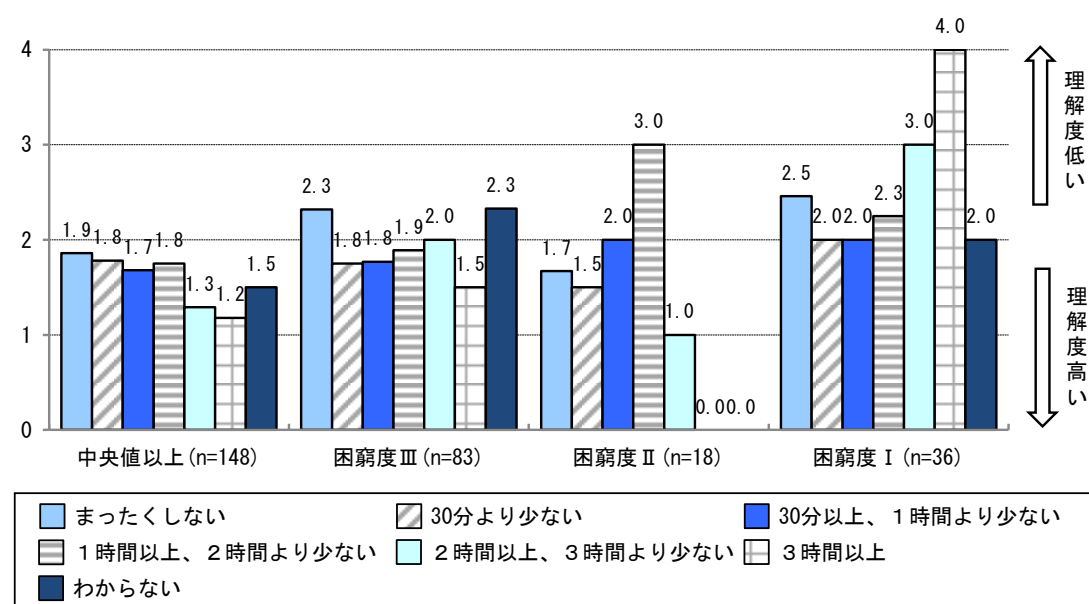
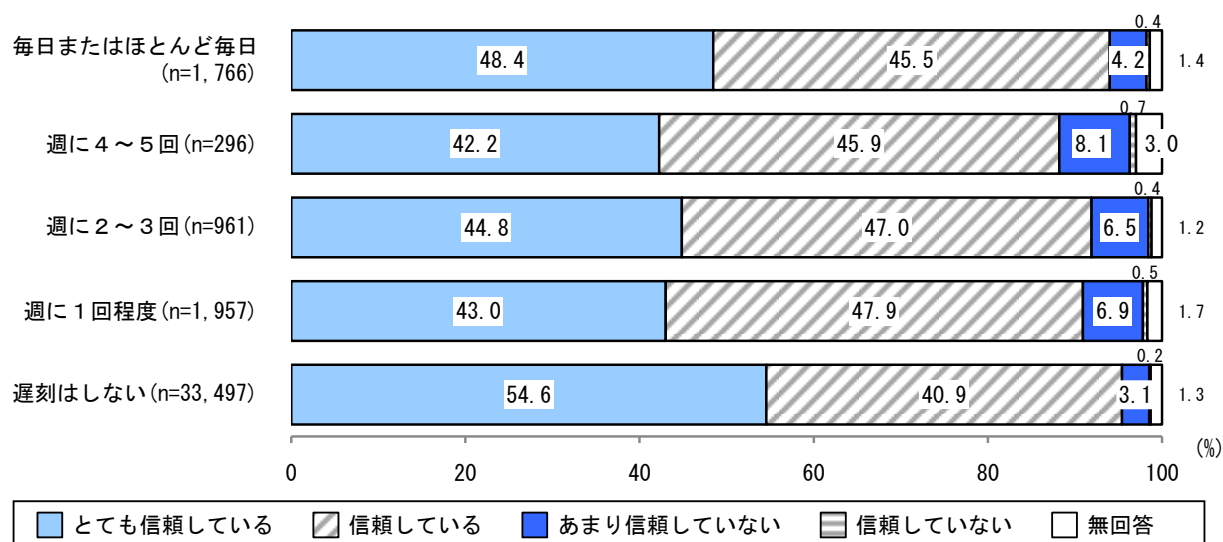


図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、概ね勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

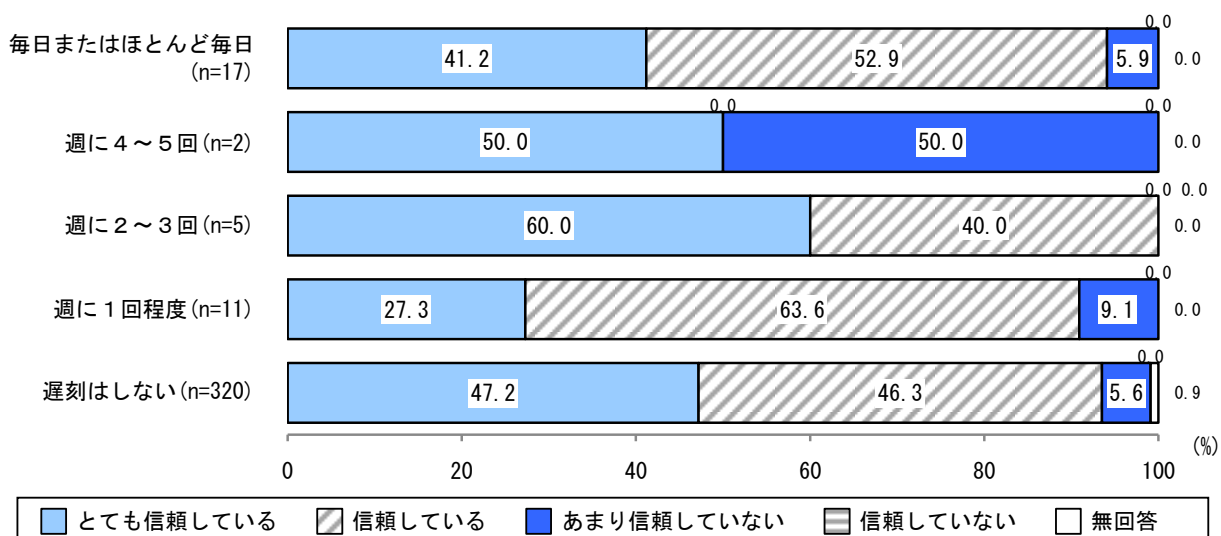
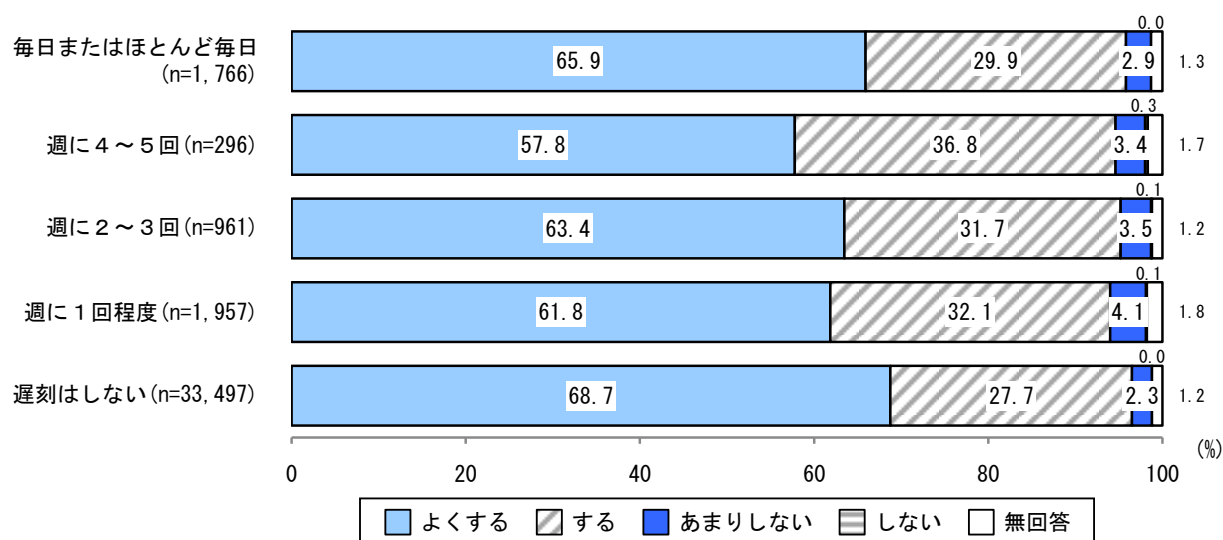


図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度

学校への遅刻別に子どもへの信頼度を見ると、「週に 4 ~ 5 回」の子どもにおいては、保護者は「あまり信頼していない」割合が 50.0%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

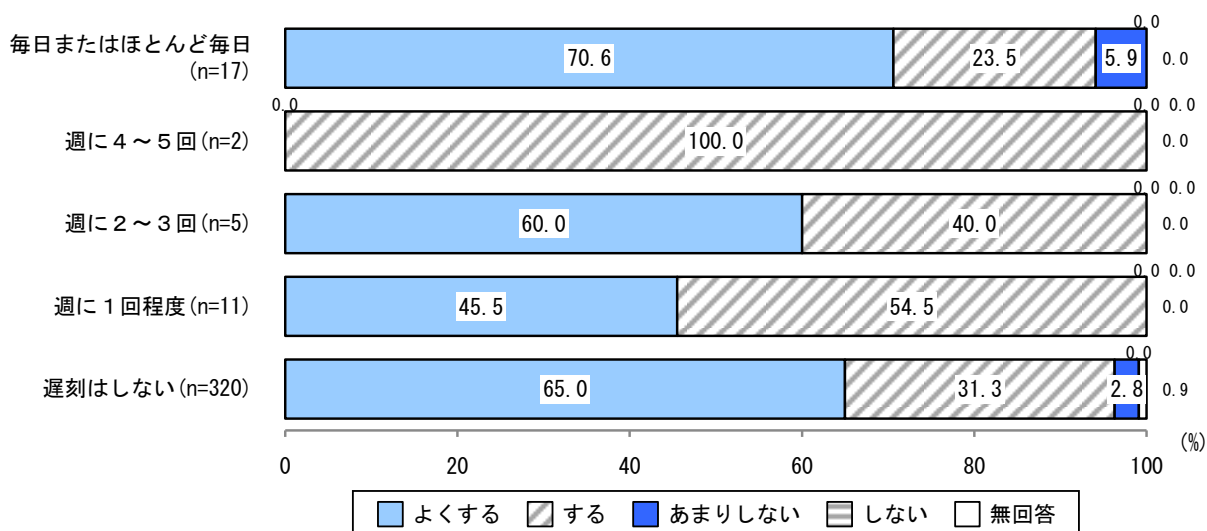
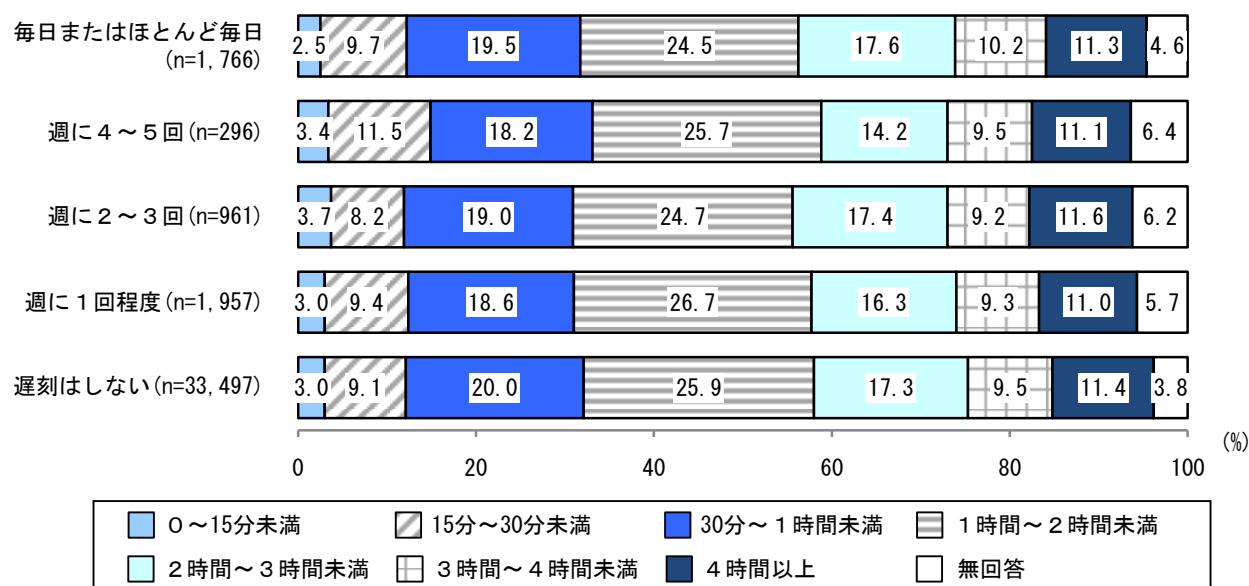


図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度

学校への遅刻別に子どもとの会話頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、会話を「よくする」割合が高く、70.6%である。

学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

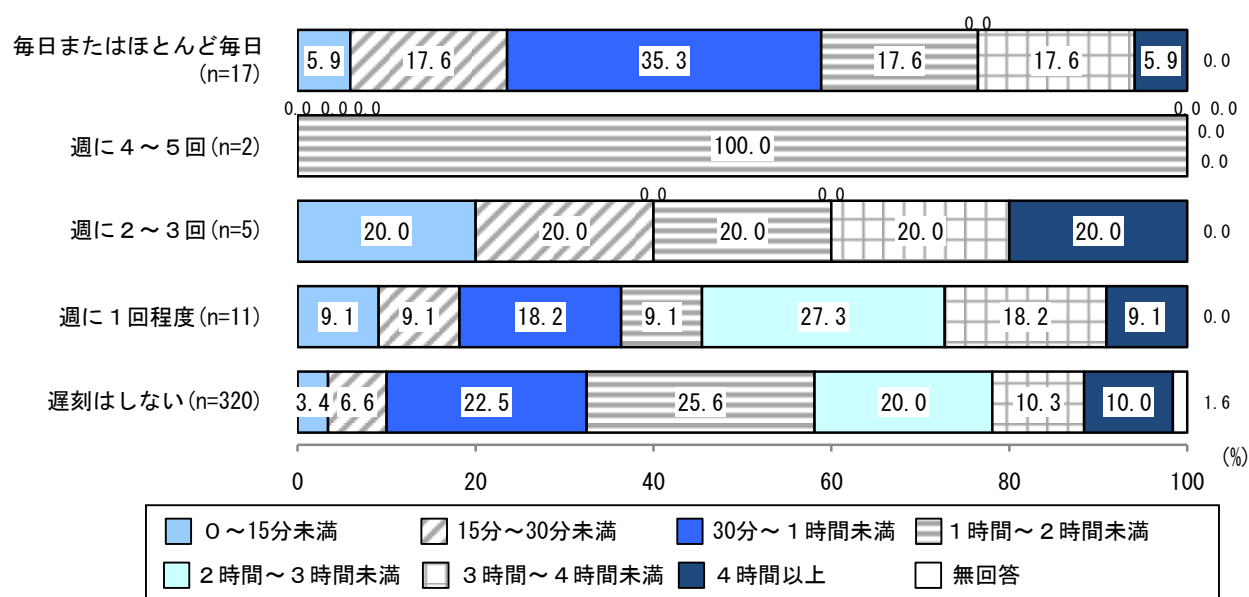
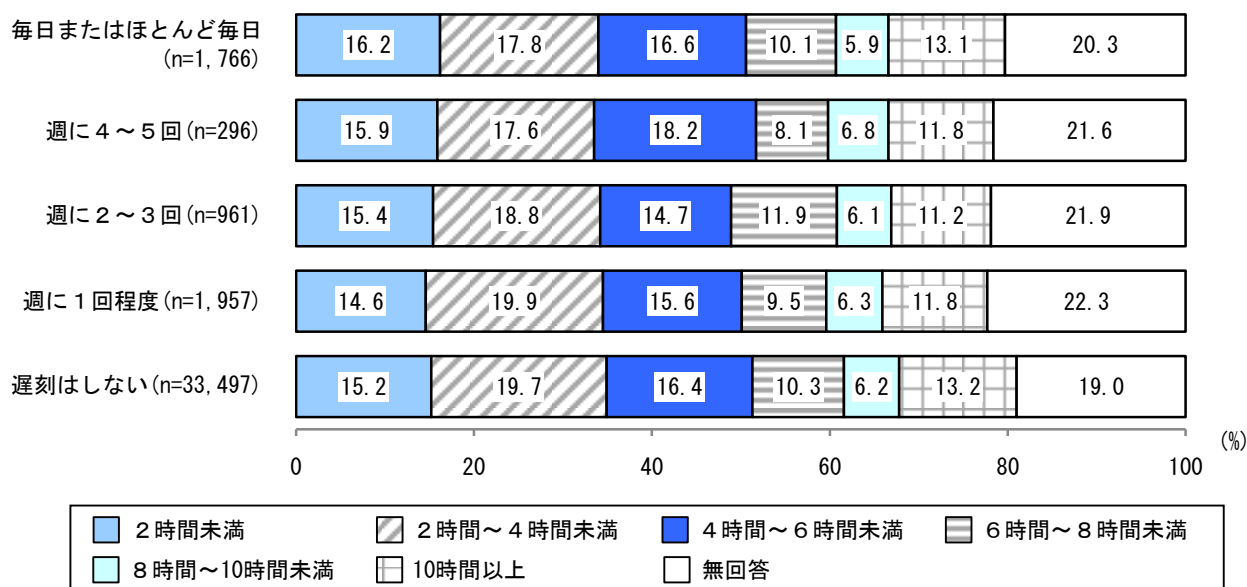


図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、「30分～1時間未満」と回答した人の割合が35.3%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

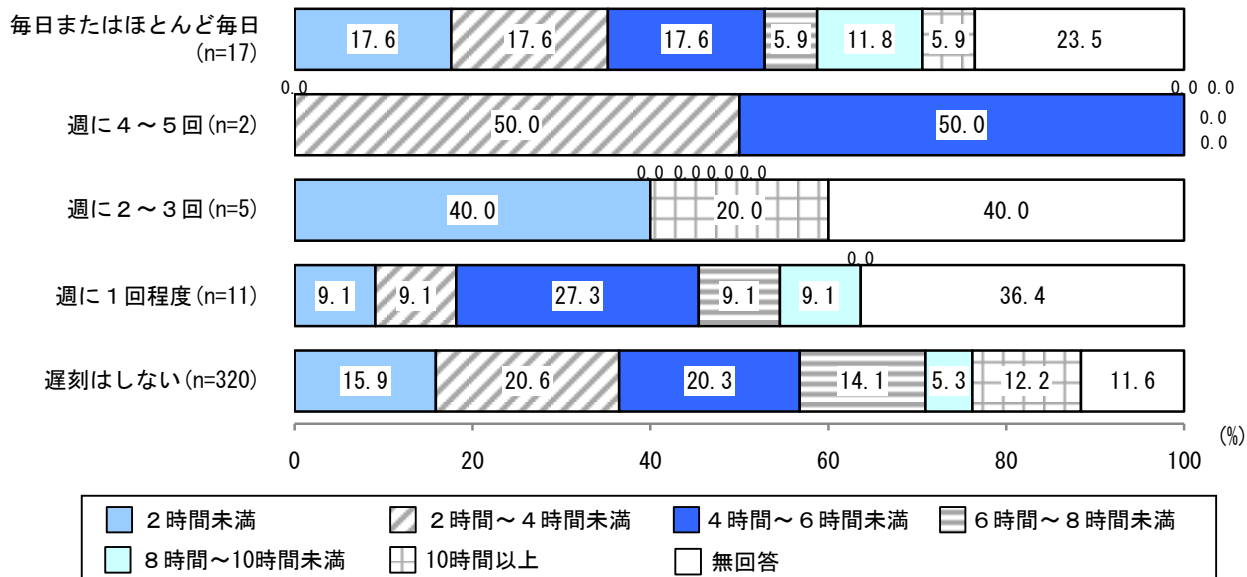
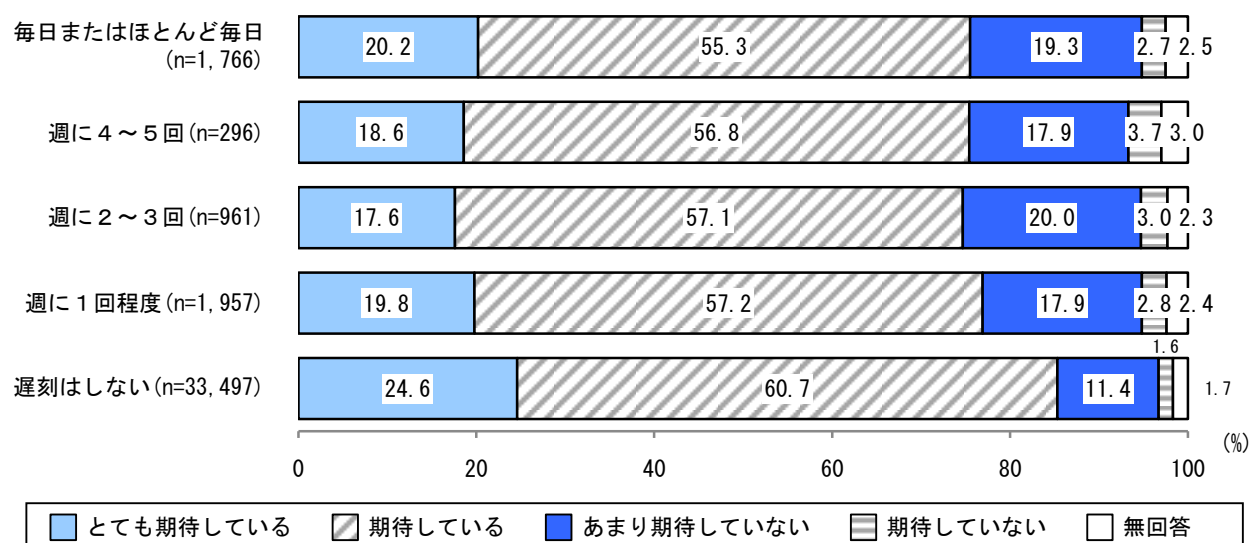


図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「週に2～3回」の子どもにおいては、「2時間未満」(40.0%)の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

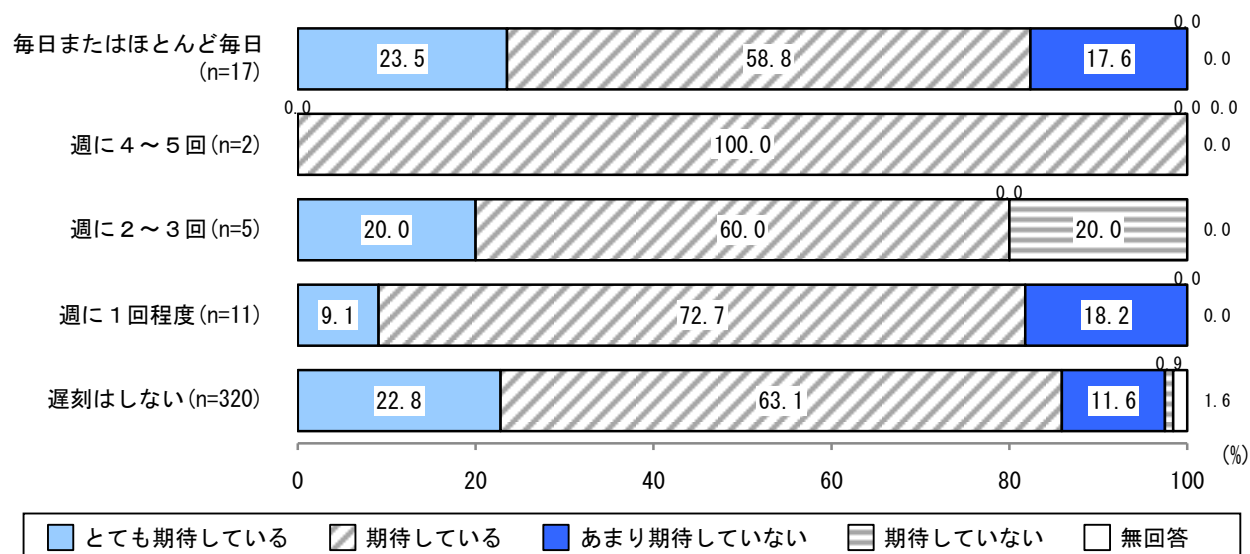
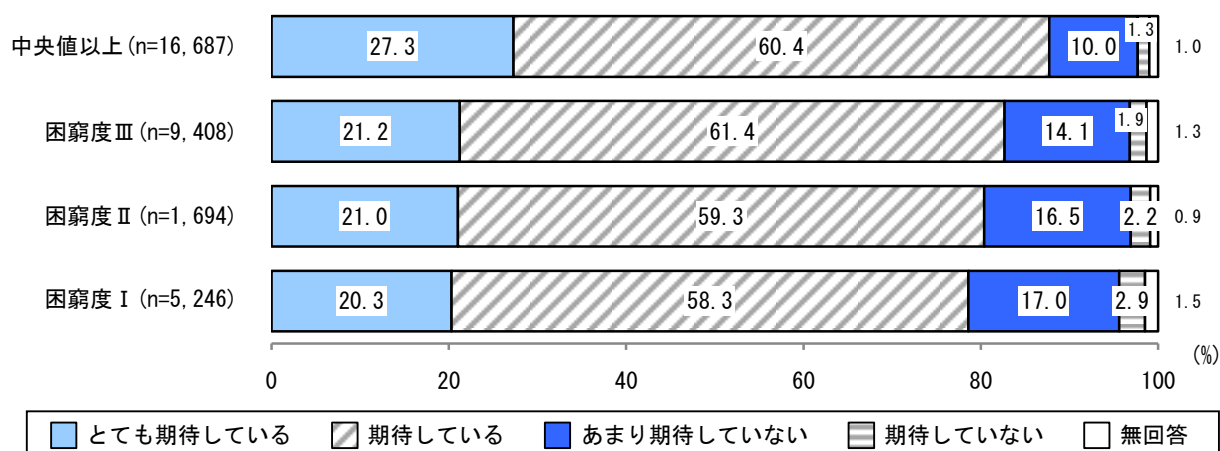


図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度

学校への遅刻別に子どもの将来への期待度を見ると、「とても期待している」の割合は、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいて23.5%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの将来への期待度（保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

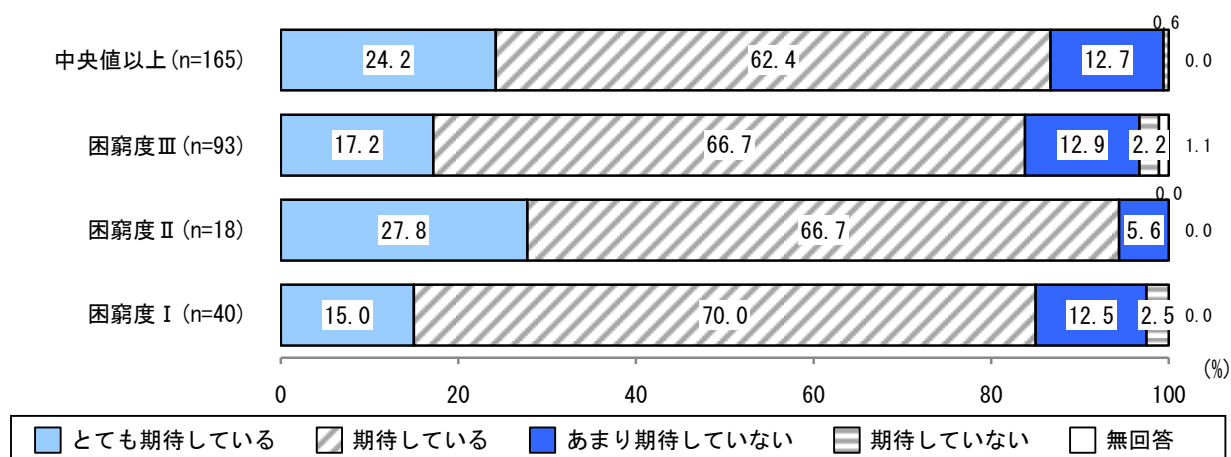
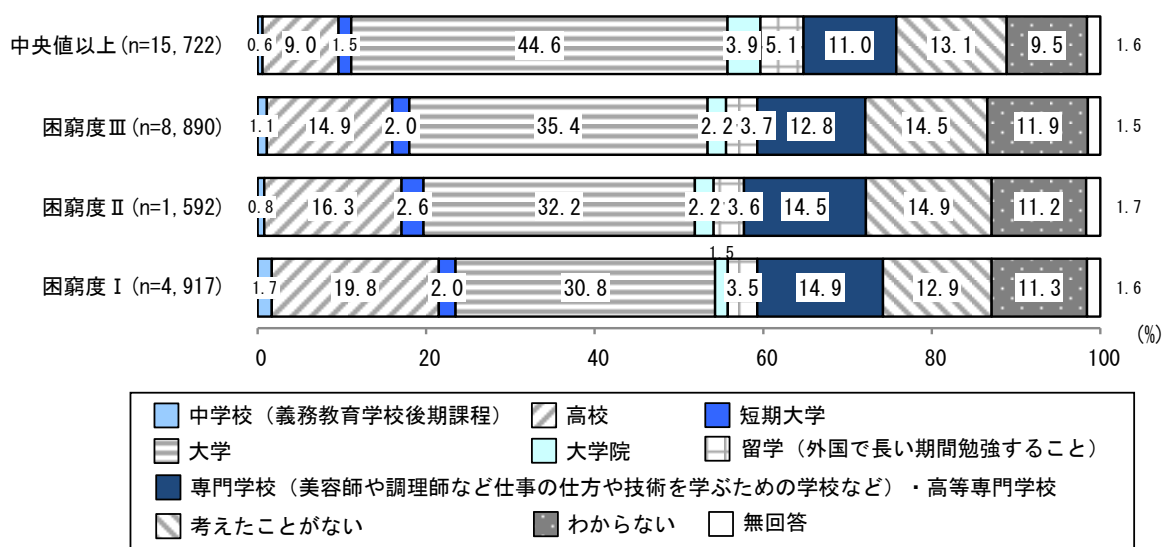


図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度

困窮度別に子どもの将来への期待度を見ると、「とても期待している」の割合は、困窮度Ⅱ群において27.8%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<摂津市>

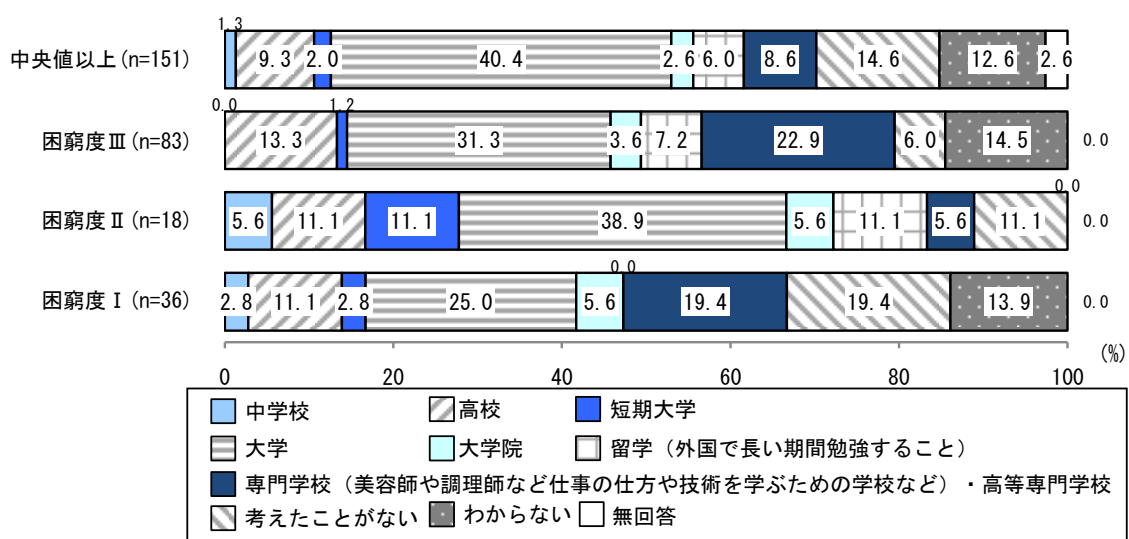
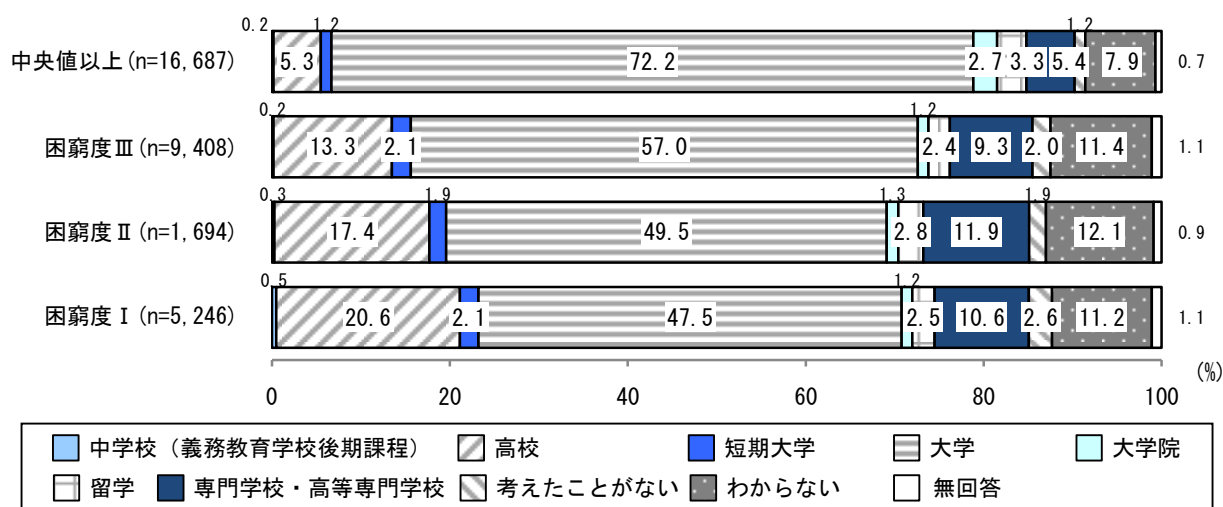


図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度Ⅱで高校卒業までの割合が16.7%と高くなっている。概ね困窮度が高まるにつれて、「大学」と回答する割合が低くなり、困窮度Ⅰ群では25.0%となっている。

困窮度別に見た、子どもに希望する進学（保護者票問 14）

<大阪府内全体>



<摂津市>

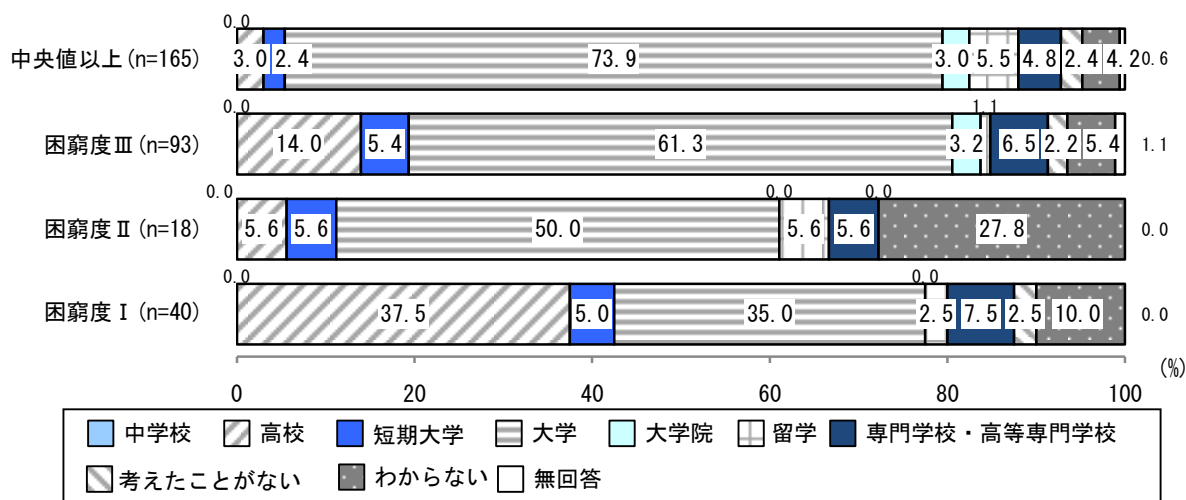
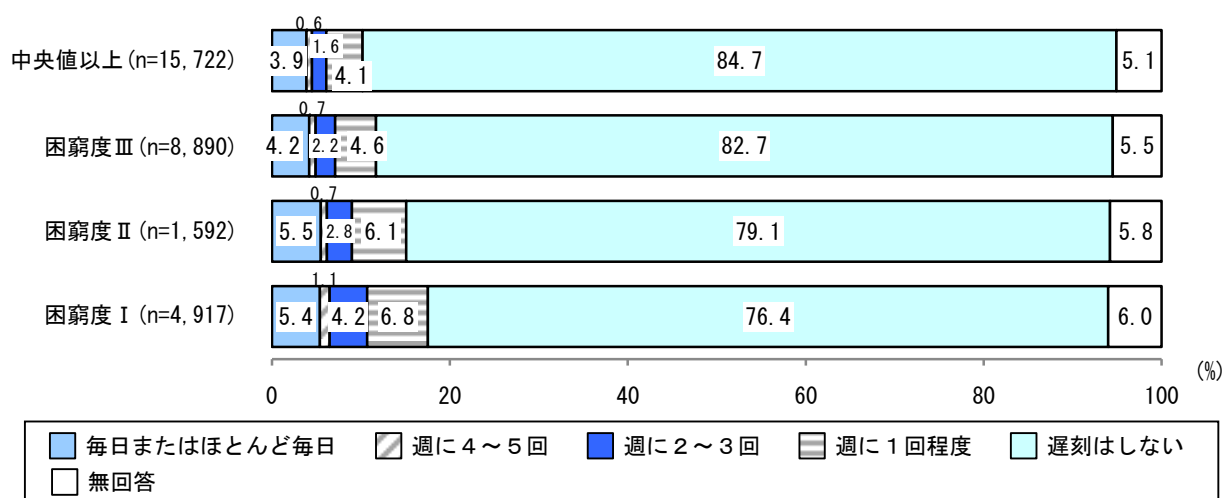


図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度Ⅰ群では、「高校」と回答した人は37.5%と最も高くなっている。中央値以上群において「大学」と回答した割合は高く、73.9%である。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問7）

<大阪府内全体>



<摂津市>

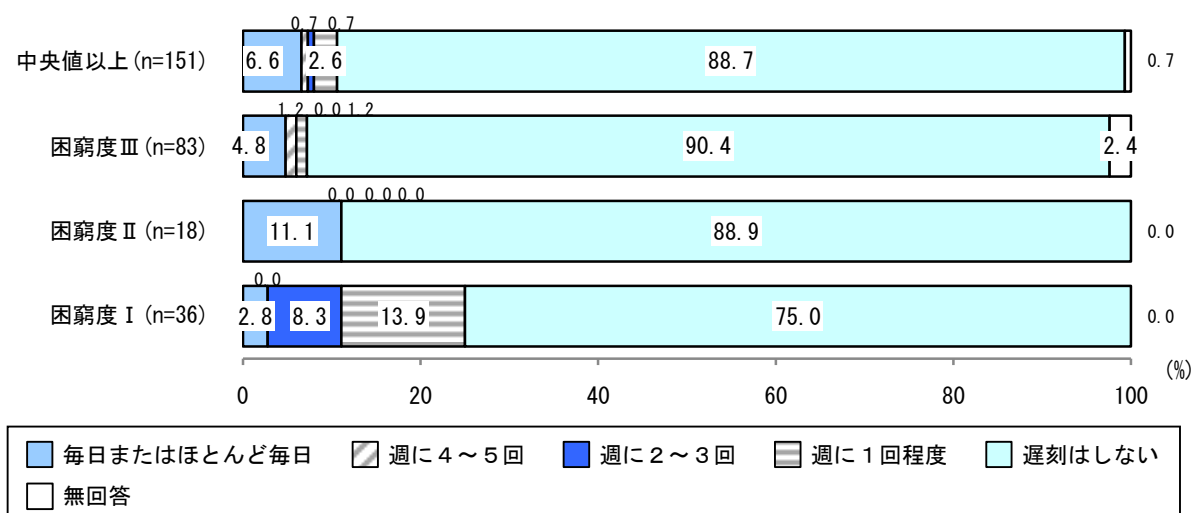
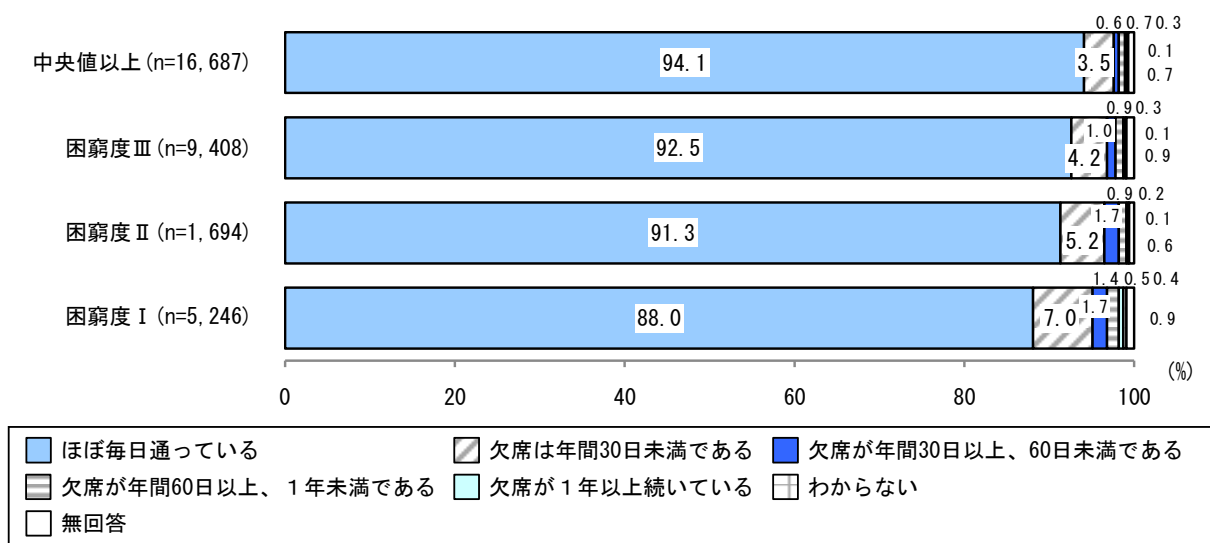


図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、「毎日またはほとんど毎日」は困窮度Ⅱ群が11.1%と最も高くなっている。「遅刻はしない」は困窮度Ⅰ群が75.0%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 15）

<大阪府内全体>



<摂津市>

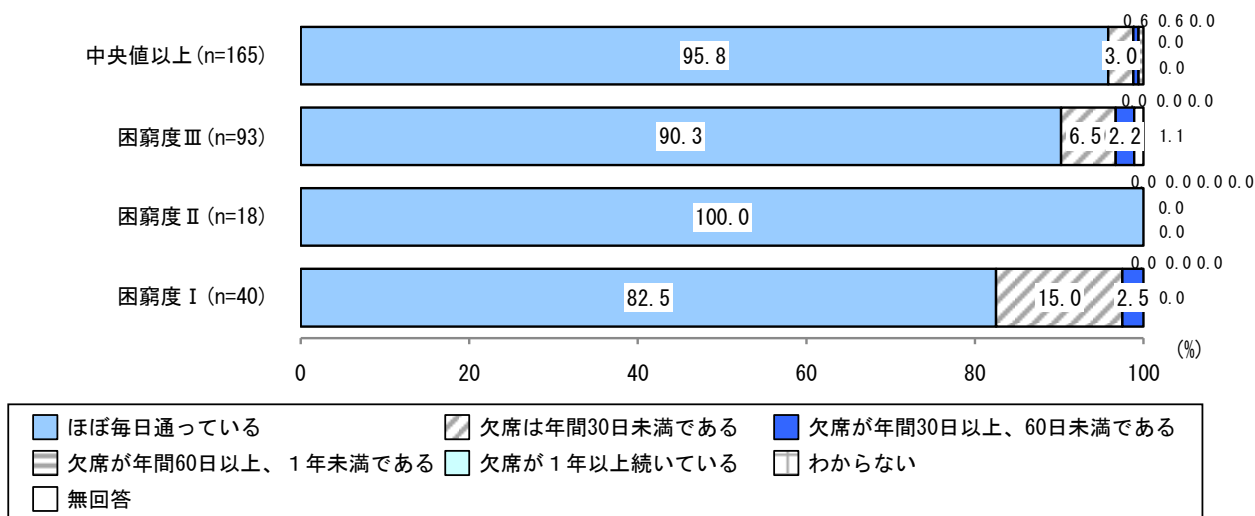
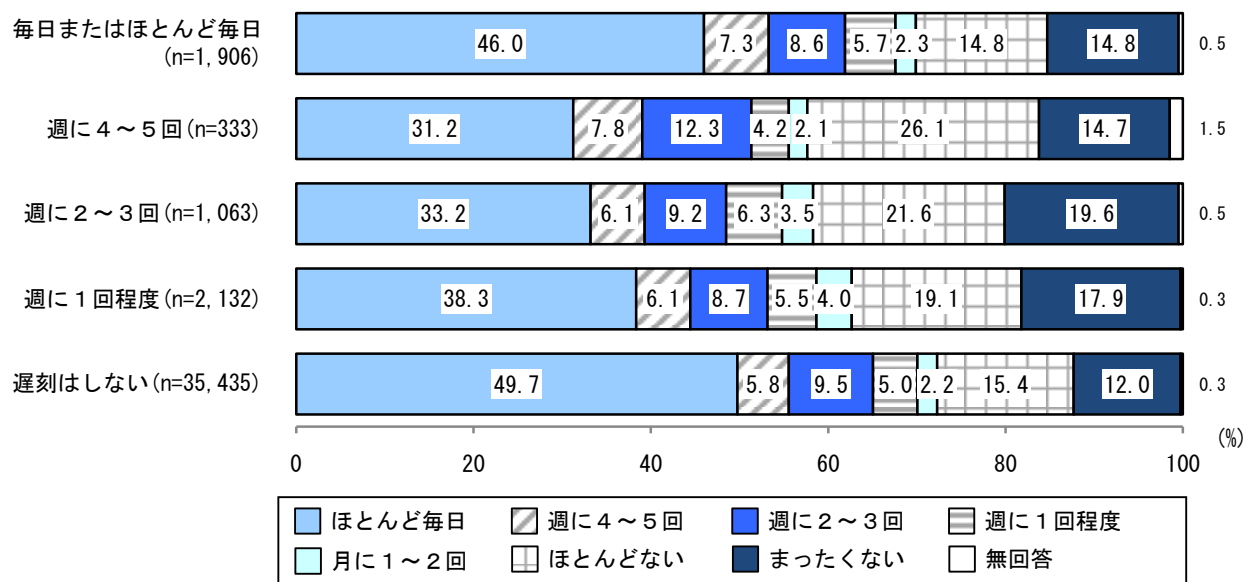


図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の割合は、困窮度Ⅰ群が82.5%と最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8①)

<大阪府内全体>



<摂津市>

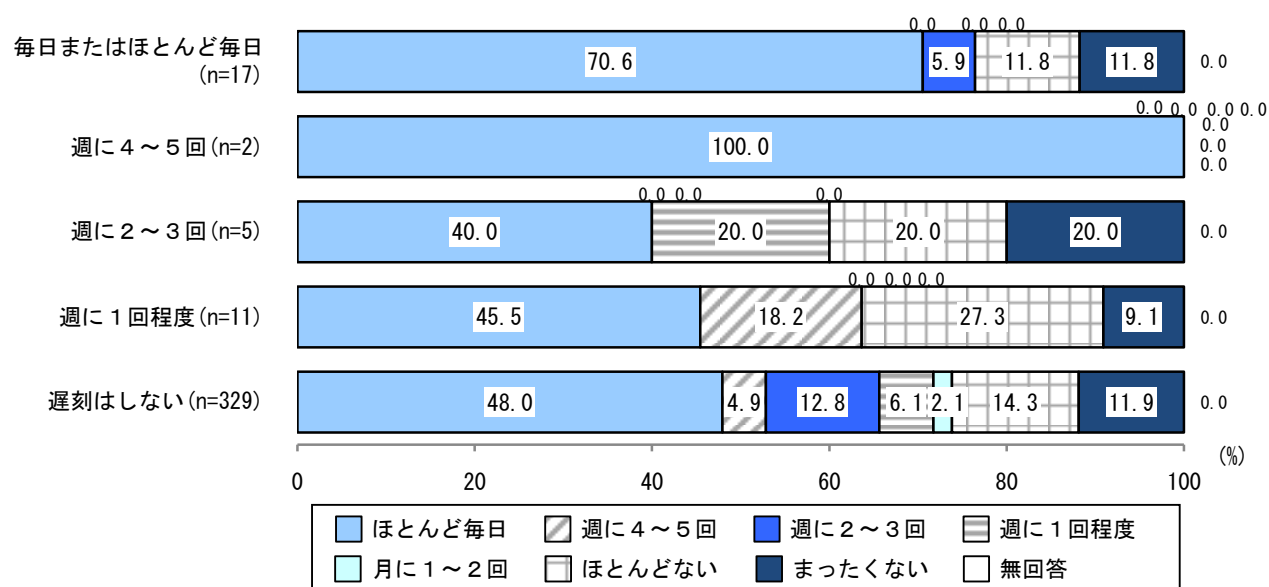
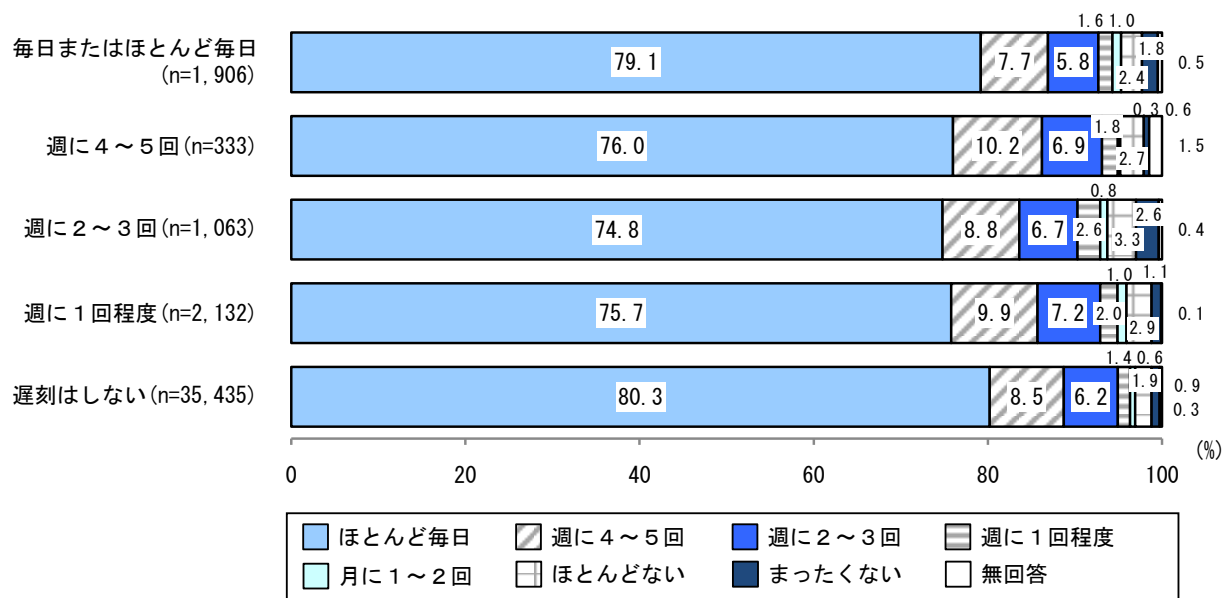


図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は、週に4～5日遅刻をしている子どもで100.0%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8②)

<大阪府内全体>



<摂津市>

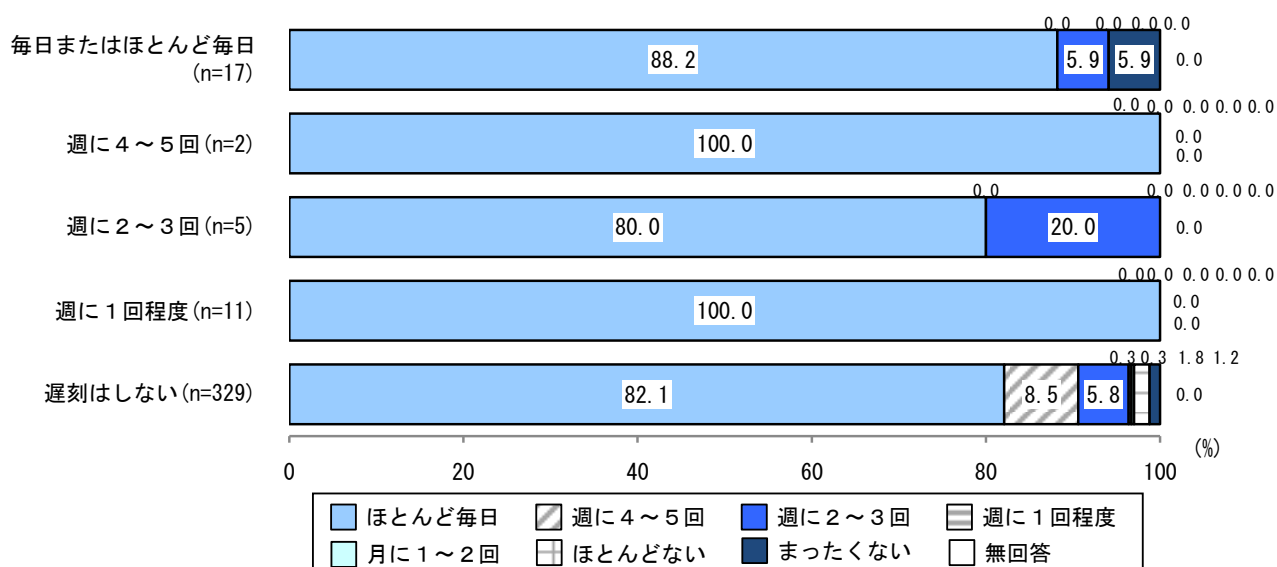
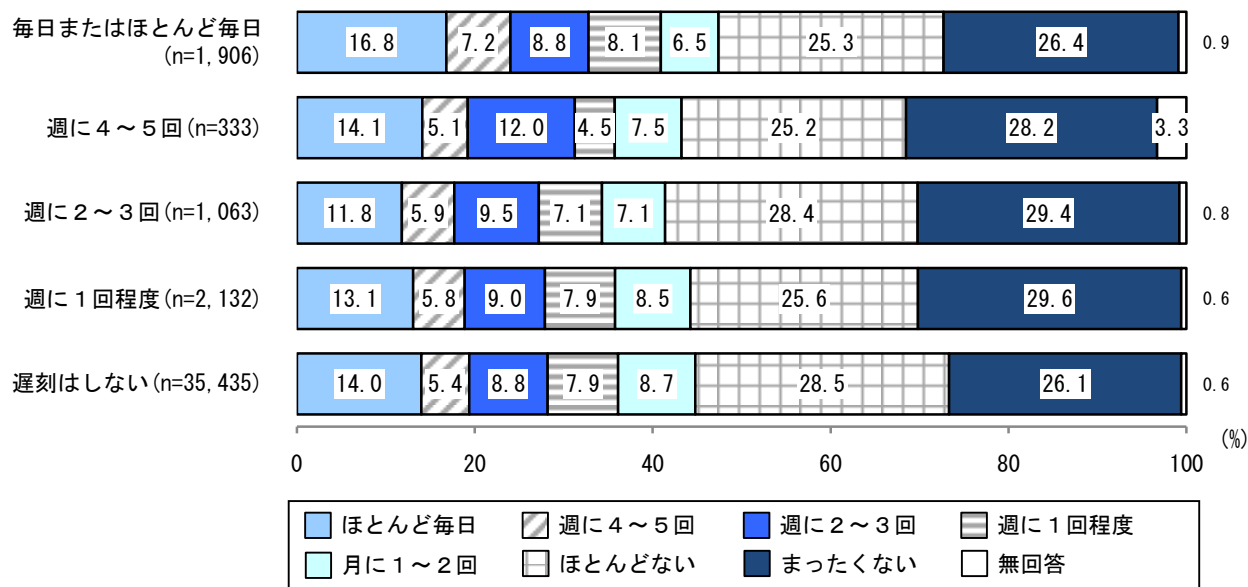


図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は、週に4～5回または週に1回程度遅刻をしている子どもで100.0%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（子ども票問7×保護者票問8⑤）

<大阪府内全体>



<摂津市>

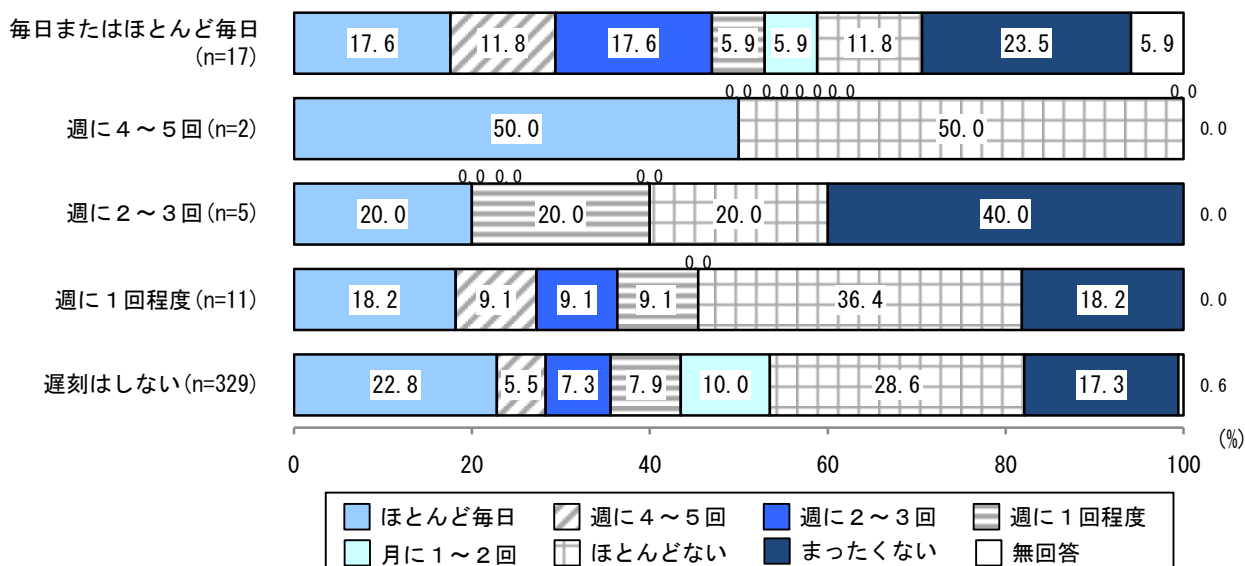
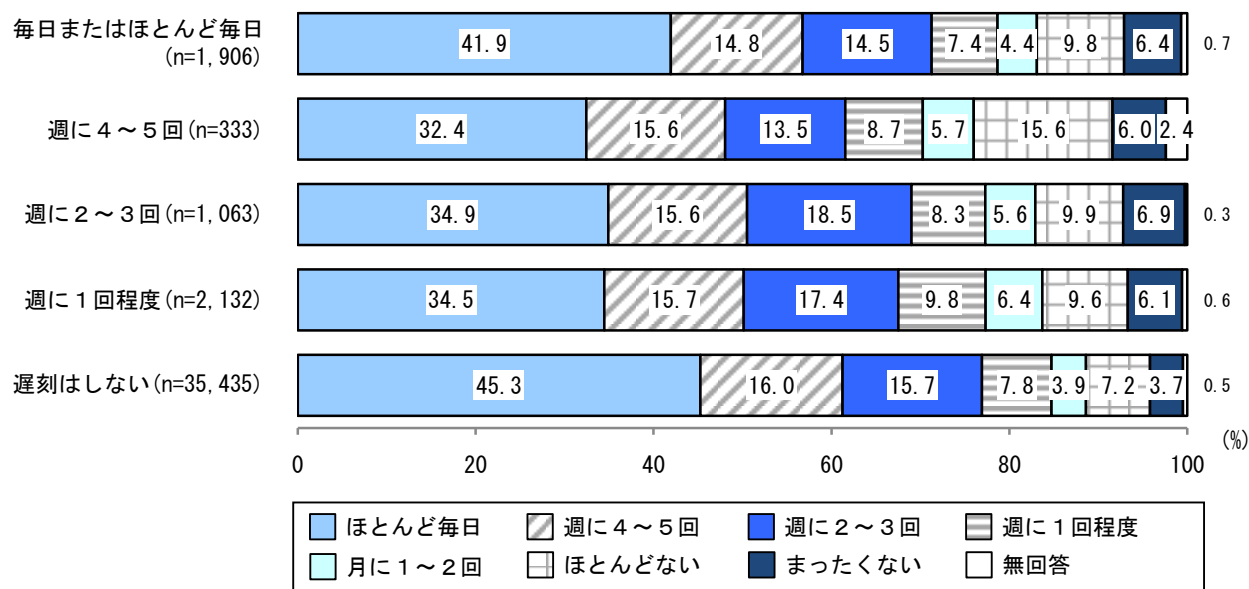


図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

学校への遅刻別におうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に4～5回遅刻をしている子どもで50.0%と最も高くなっている。。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑥)

<大阪府内全体>



<摂津市>

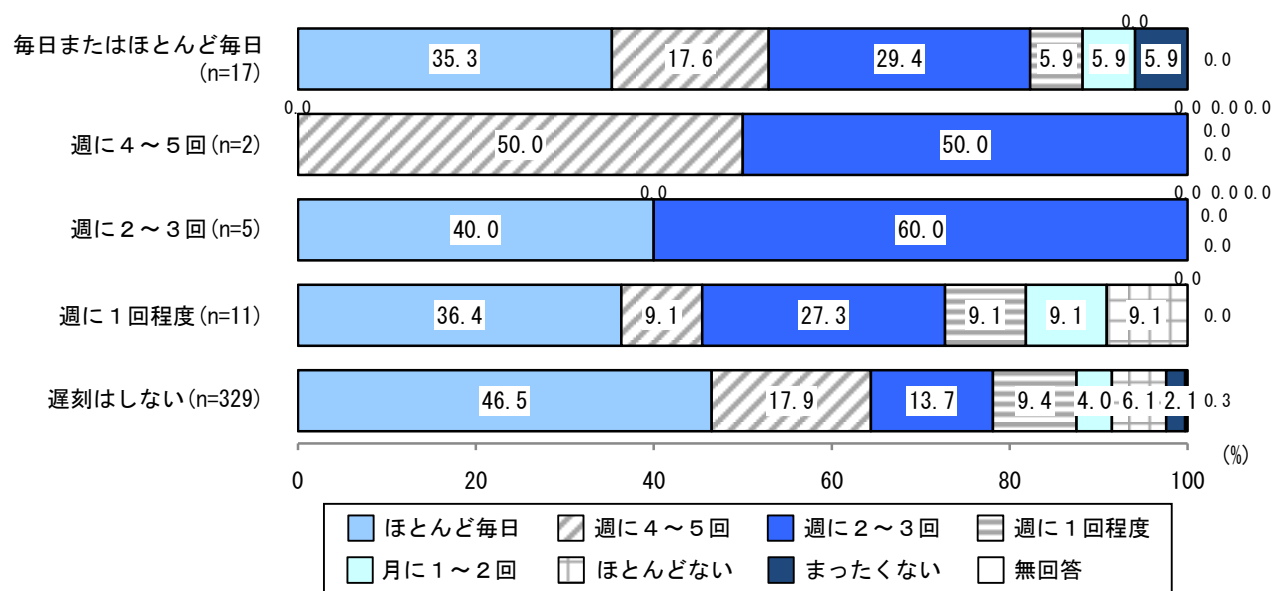
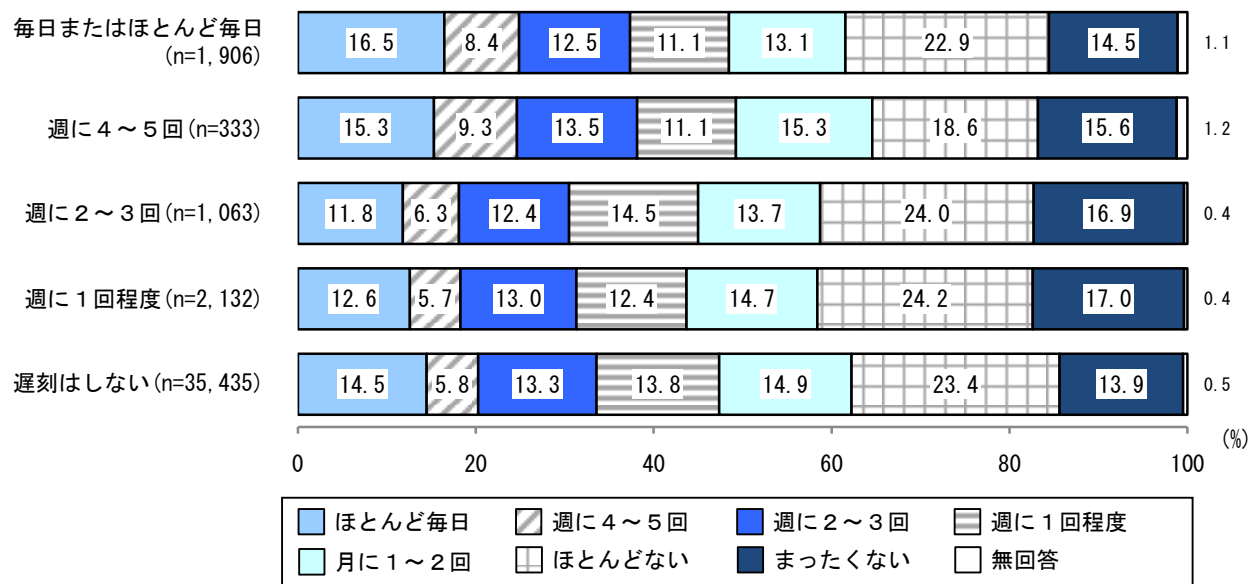


図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻をしない子どもで46.5%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(子ども票問7×保護者票問8⑦)

<大阪府内全体>



<摂津市>

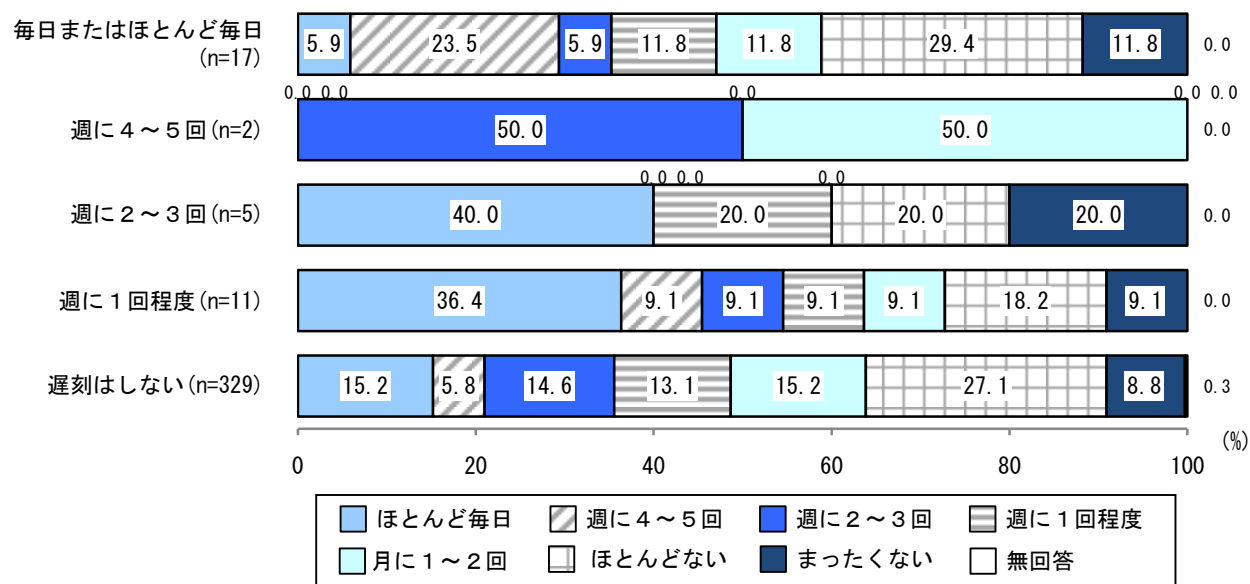
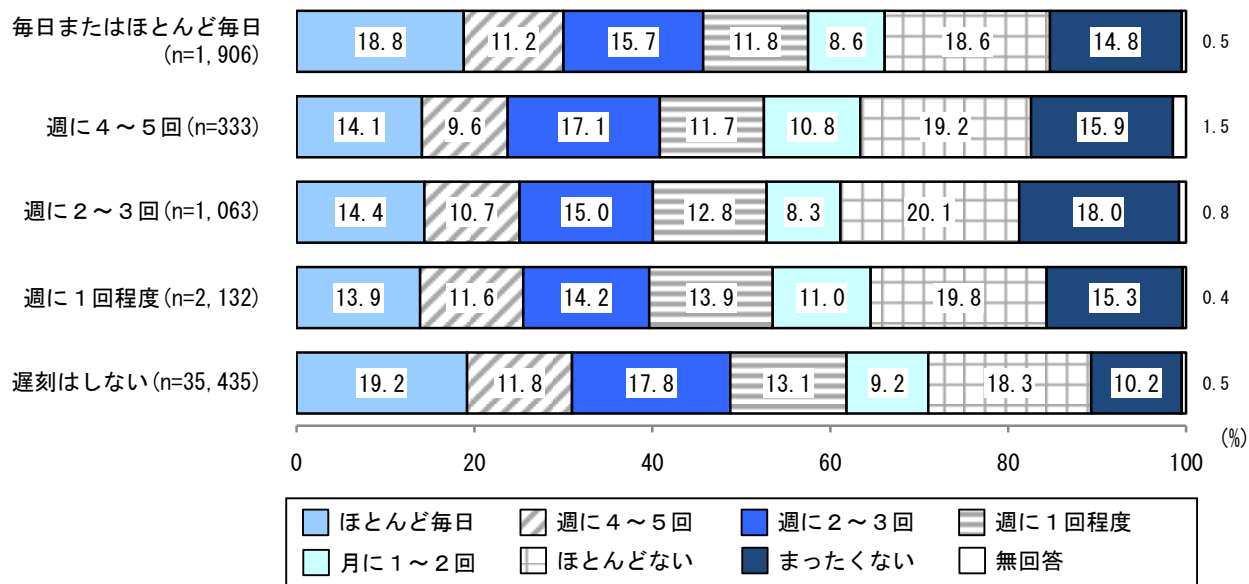


図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に2～3回遅刻をしている子どもが40.0%で割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑧)

<大阪府内全体>



<摂津市>

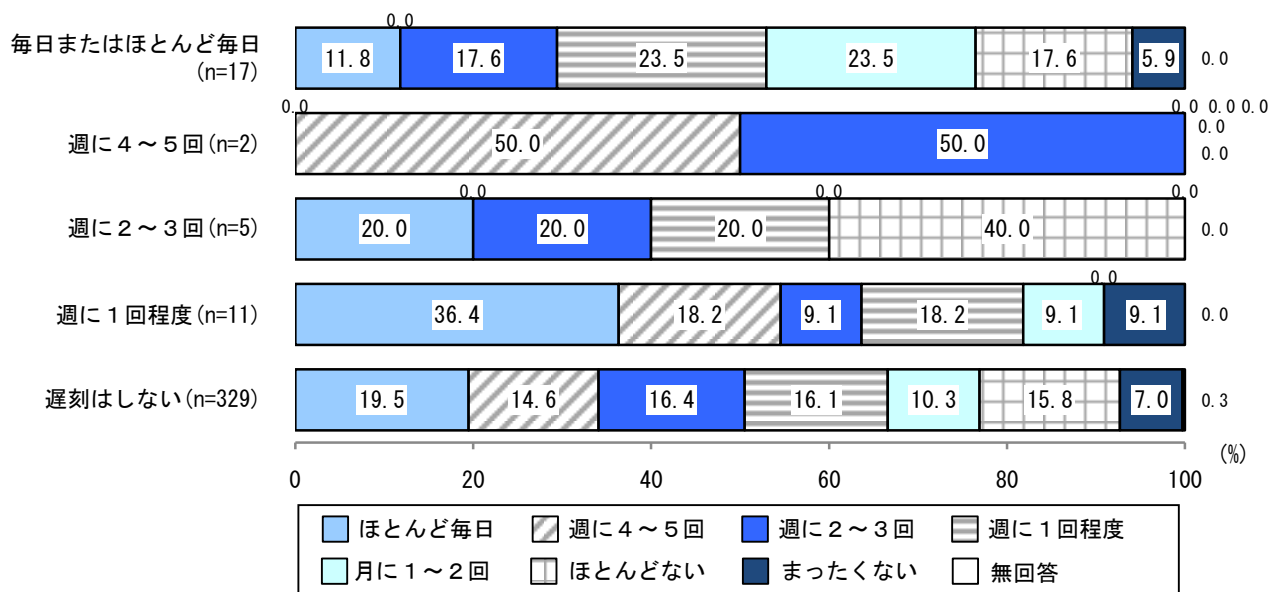
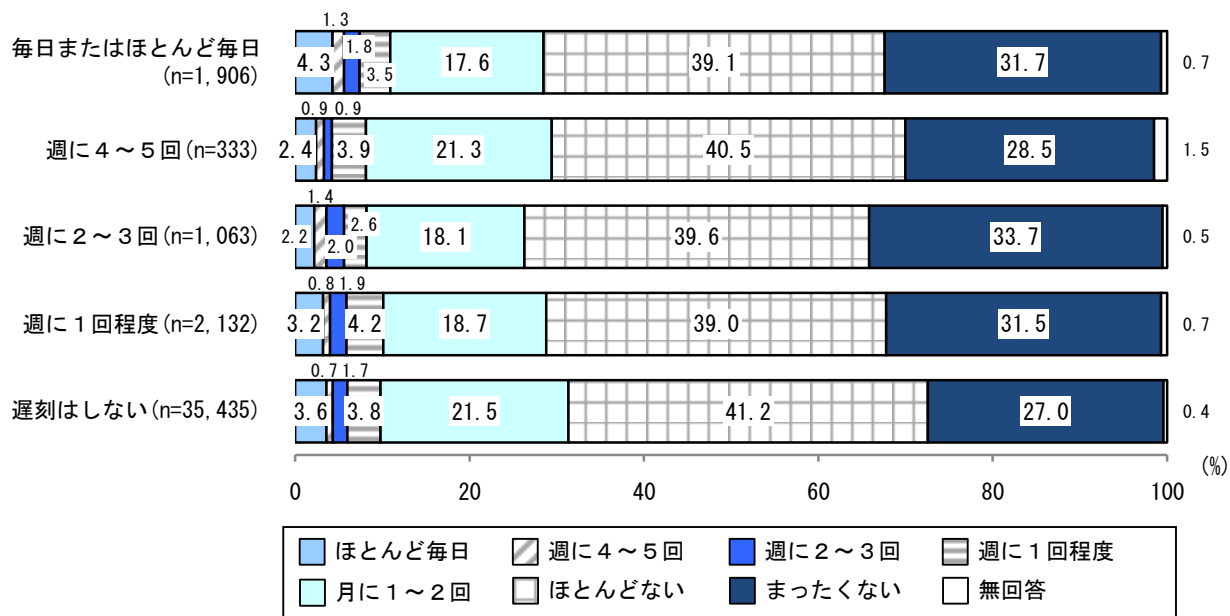


図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に1回程度遅刻をしている子どもで36.4%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか
(子ども票問7×保護者票問8⑨)

<大阪府内全体>



<摂津市>

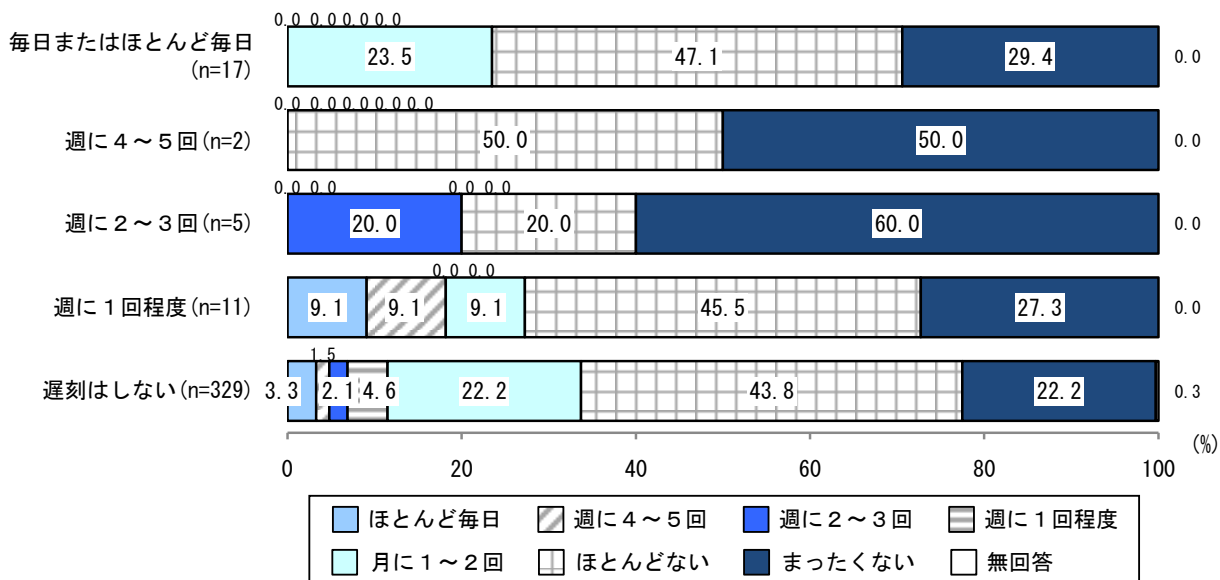
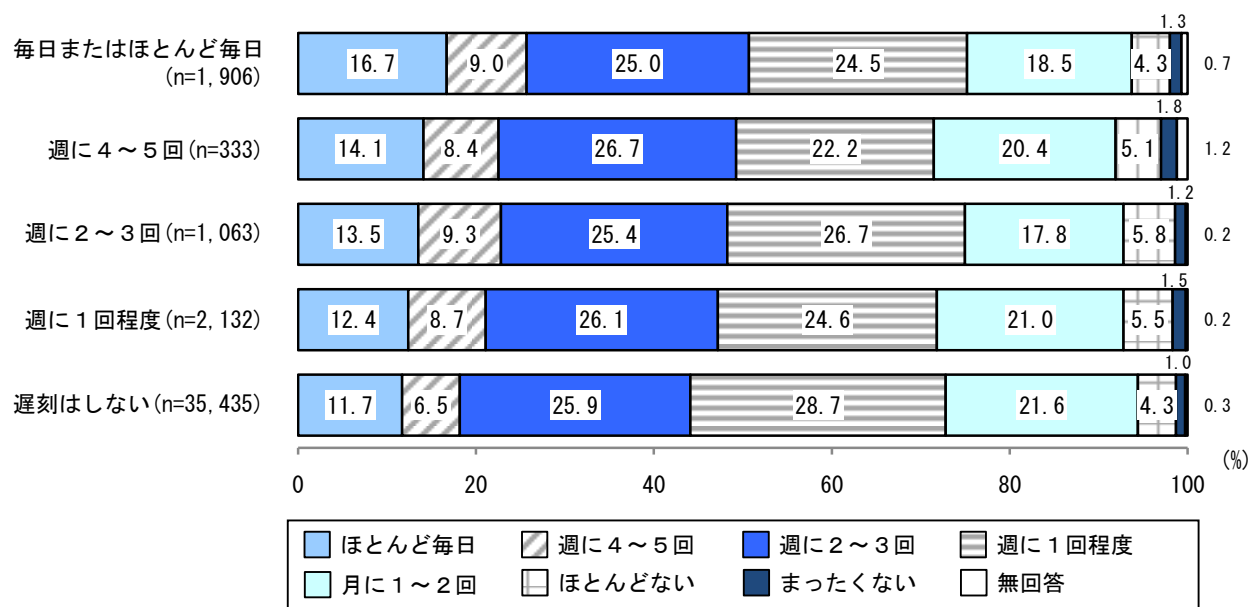


図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「まったくない」は週に2～3回遅刻をしている子どもで60.0%と最も高く、「ほとんど毎日」は週に1回程度遅刻をしている子どもで9.1%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(子ども票問7×保護者票問8⑩)

<大阪府内全体>



<摂津市>

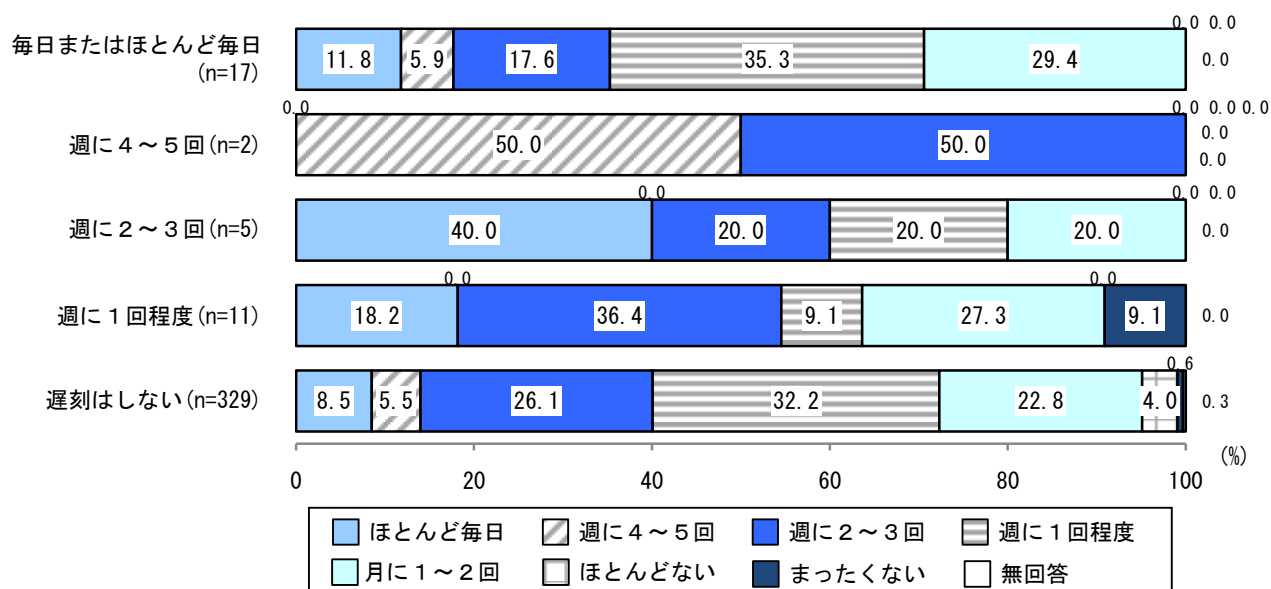
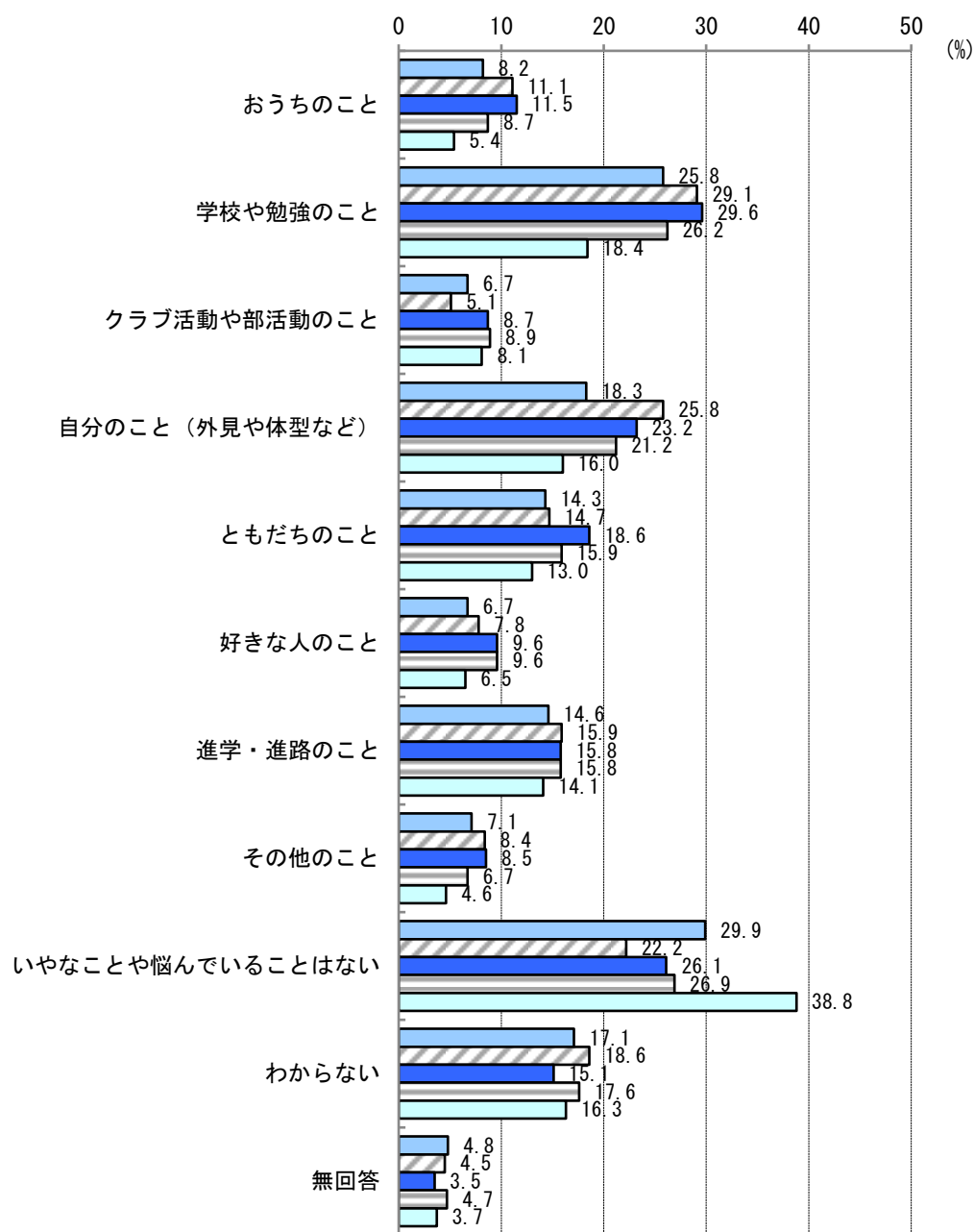


図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に2～3回遅刻をしている子どもで40.0%と最も高い一方で、「まったくない」は週1回程度遅刻をしている子どもで9.1%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問 7×子ども票問 17）

<大阪府内全体>



■ 毎日またはほとんど毎日 (n=1,906)
 ■ 週に4～5回 (n=333)
 ■ 週に2～3回 (n=1,063)
■ 週に1回程度 (n=2,132)
 ■ 遅刻はしない (n=35,435)

< 摂津市 >

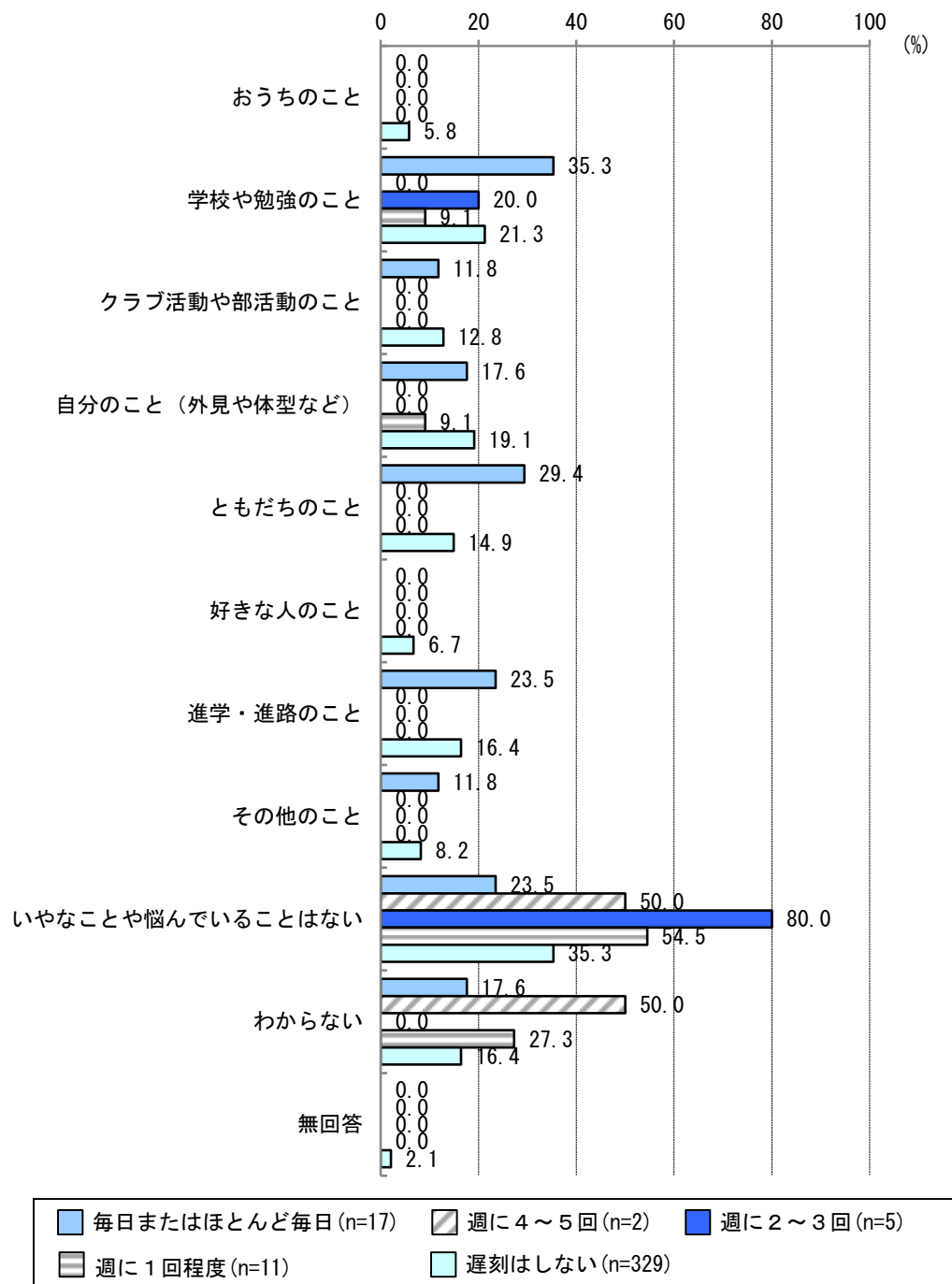
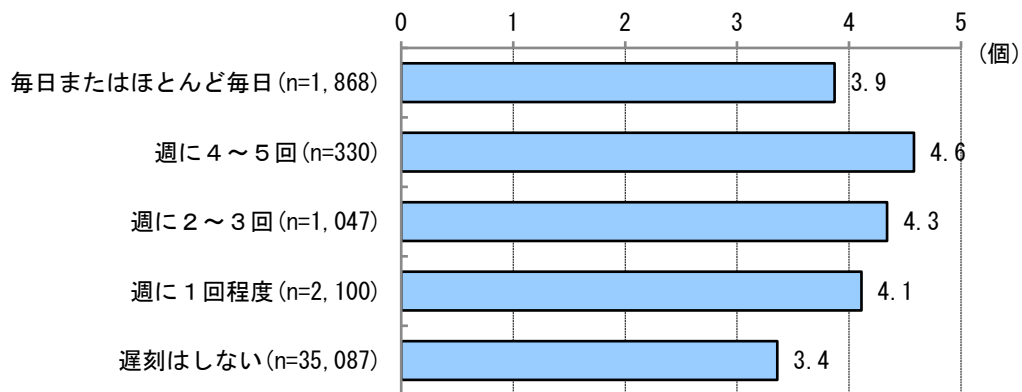


図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること

学校への遅刻別に嫌なことや悩んでいることを見ると、毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもで「学校や勉強のこと」「ともだちのこと」「進学・進路のこと」が最も高くなっている一方で、「いやなことや悩んでいることはない」は週に2～3回遅刻をしている子どもで80.0%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(子ども票問7×子ども票問19・20)

<大阪府内全体>



<摂津市>

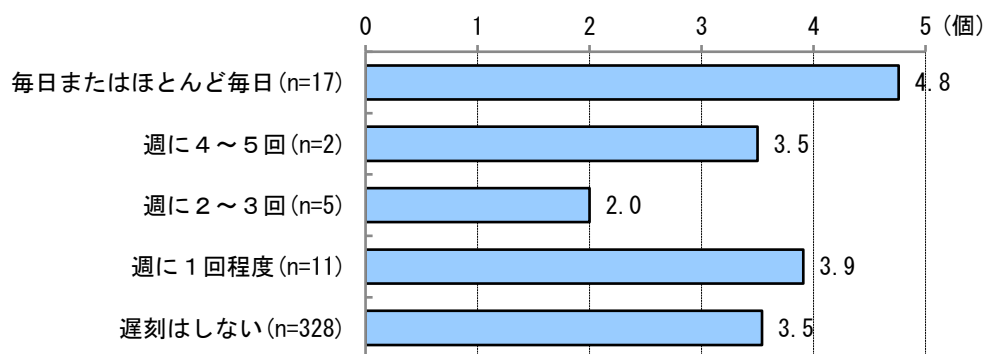
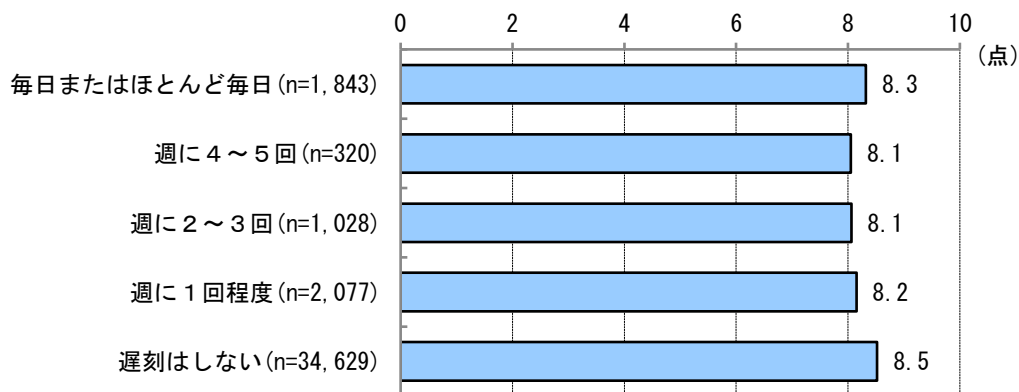


図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

学校への遅刻別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻をしている子どもが4.8個で最も多く、次いで「週に1回程度」遅刻をしている子どもが3.9個となっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問7×子ども票問23）

<大阪府内全体>



<摂津市>

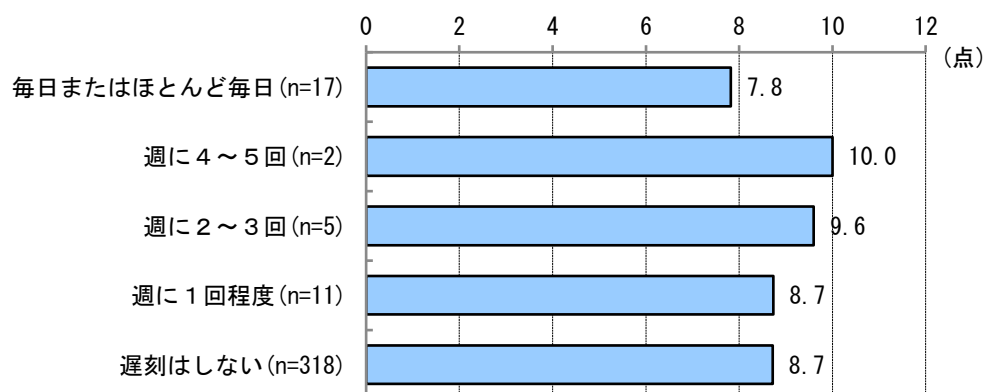
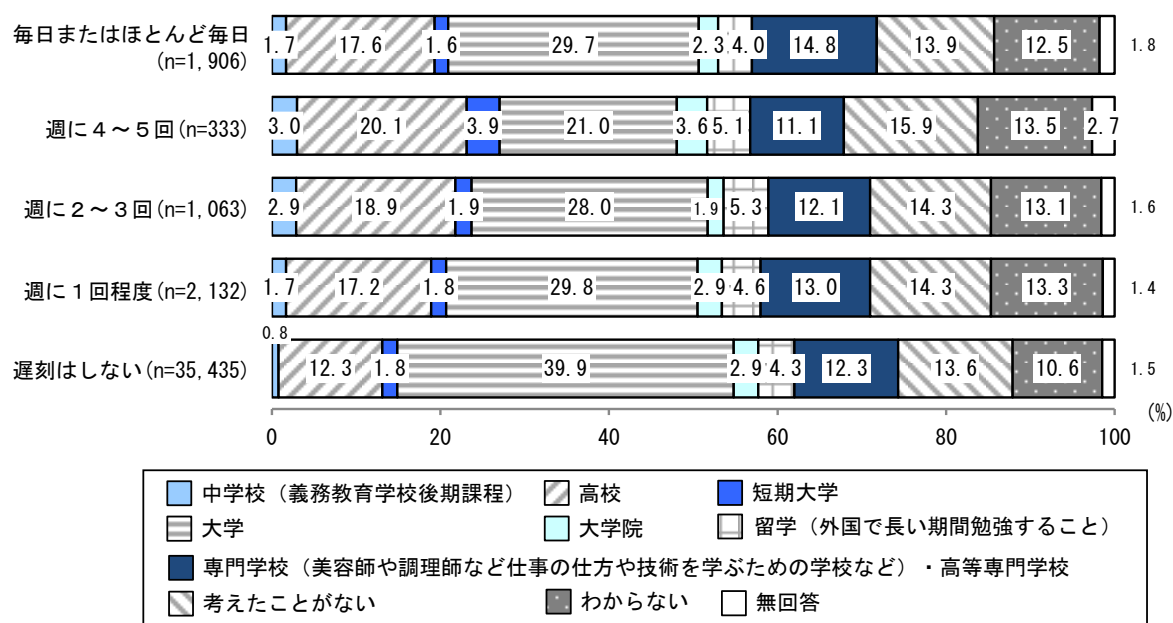


図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻している子どもは「遅刻はしない」子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）がやや低い。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問7×子ども票問24）

<大阪府内全体>



<摂津市>

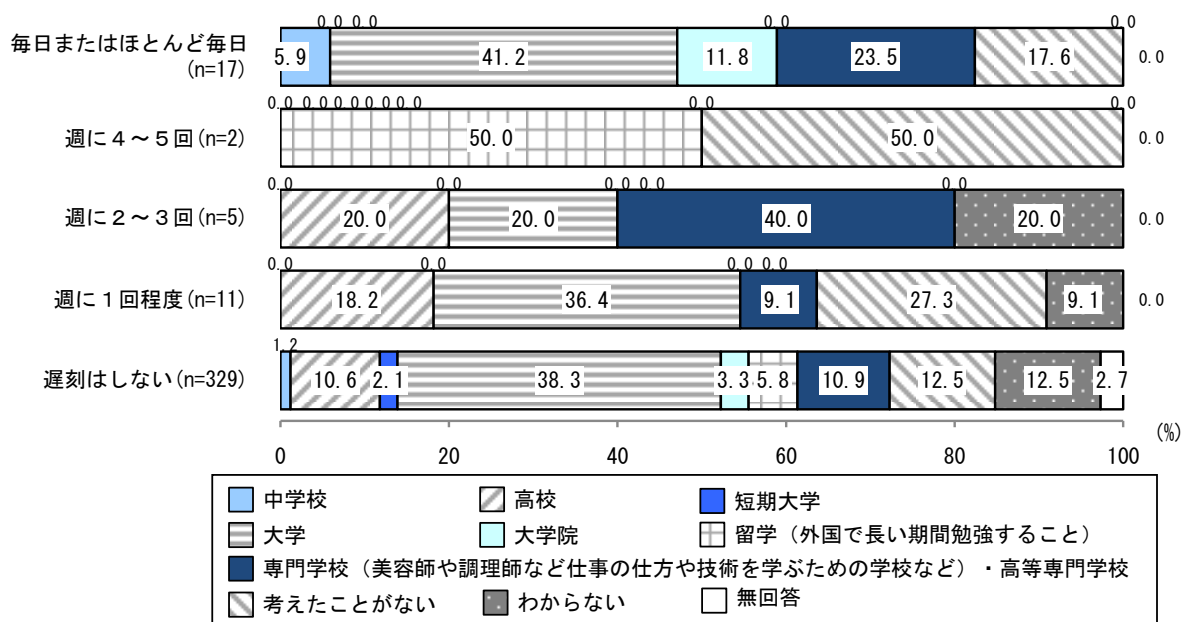
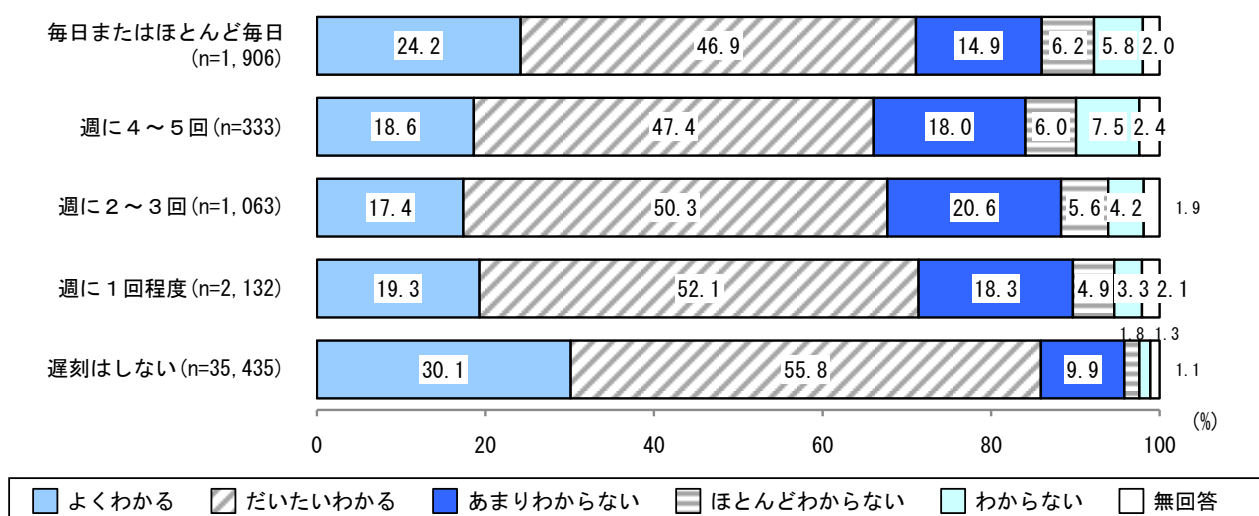


図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に希望する進学先を見ると、「大学」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が41.2%で最も高く、次いで遅刻はしない子どもの割合が38.3%となっている。

学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問7×子ども票問14(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

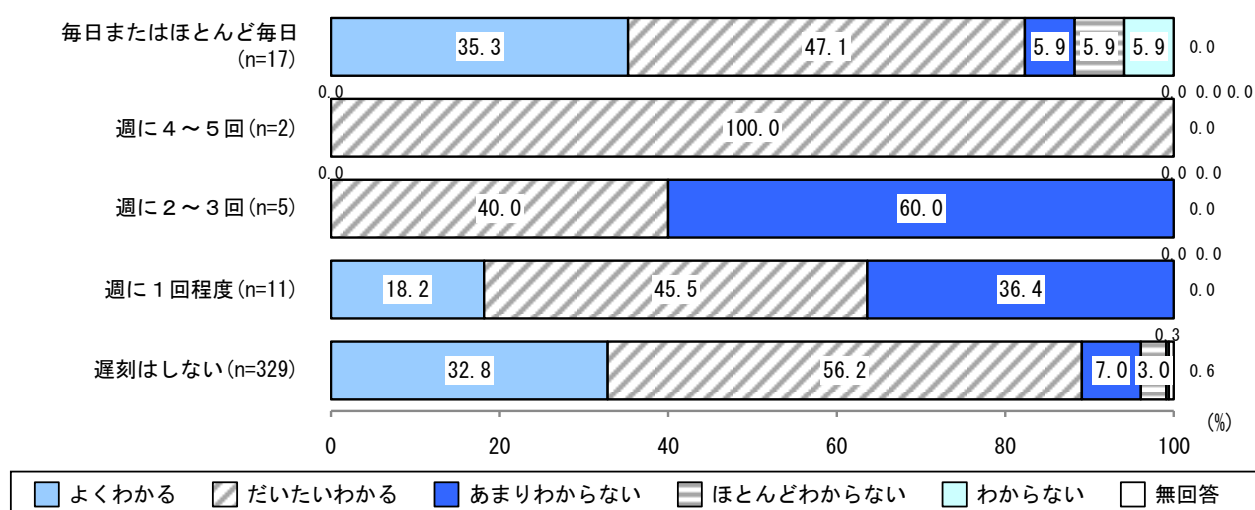
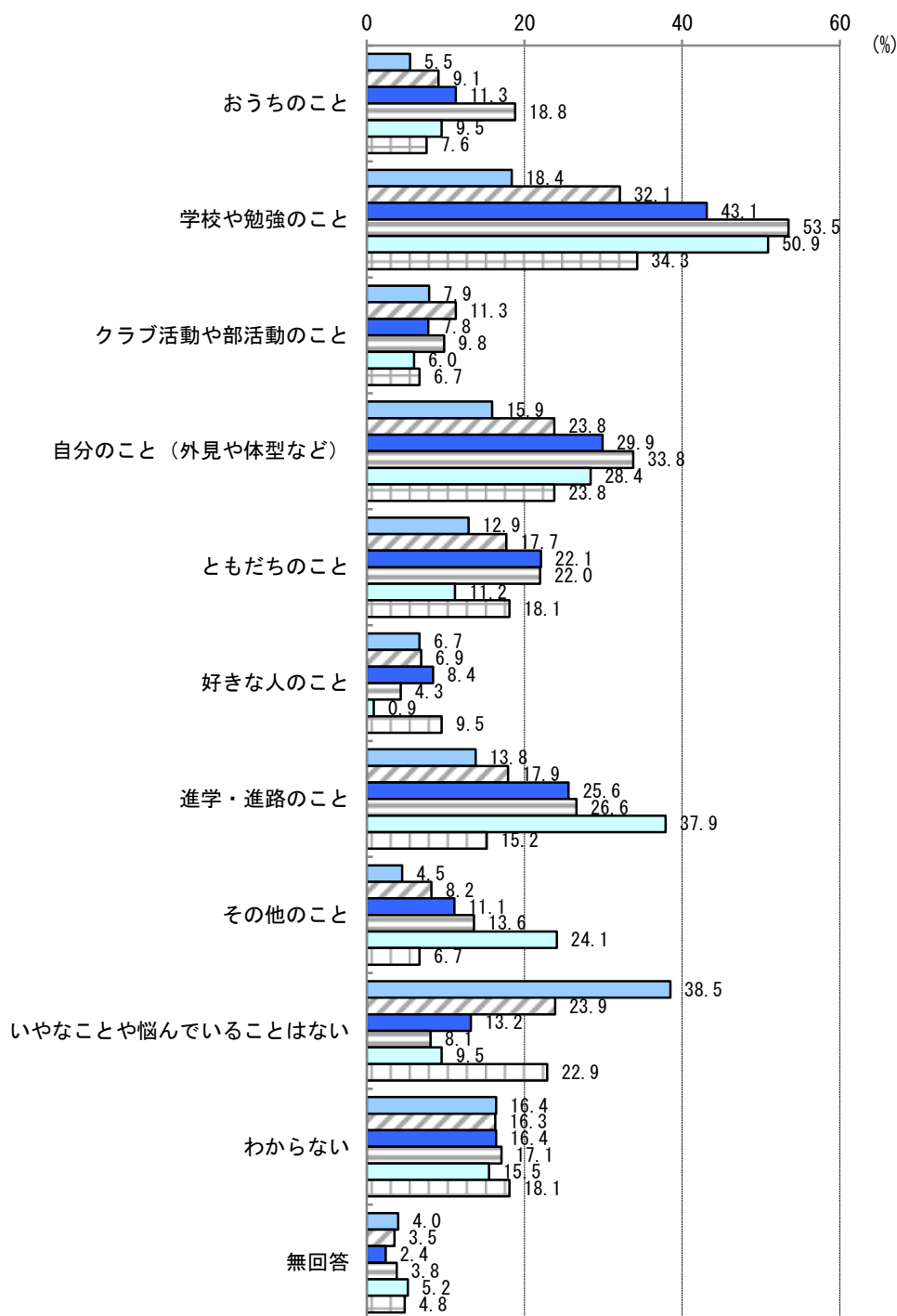


図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

学校への遅刻別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」は週に4～5回または週に2～3回遅刻をしている子どもの割合が0.0%で最も低くなっている。

子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること（保護者票問 15×子ども票問 17）

<大阪府内全体>



■ ほぼ毎日通っている (n=37,661) ■ 欠席は年間30日未満である (n=1,775)
 ■ 欠席が年間30日以上、60日未満である (n=371) ■ 欠席が年間60日以上、1年未満である (n=346)
 ■ 欠席が1年以上続いている (n=116) ■ わからない (n=105)

< 摂津市 >

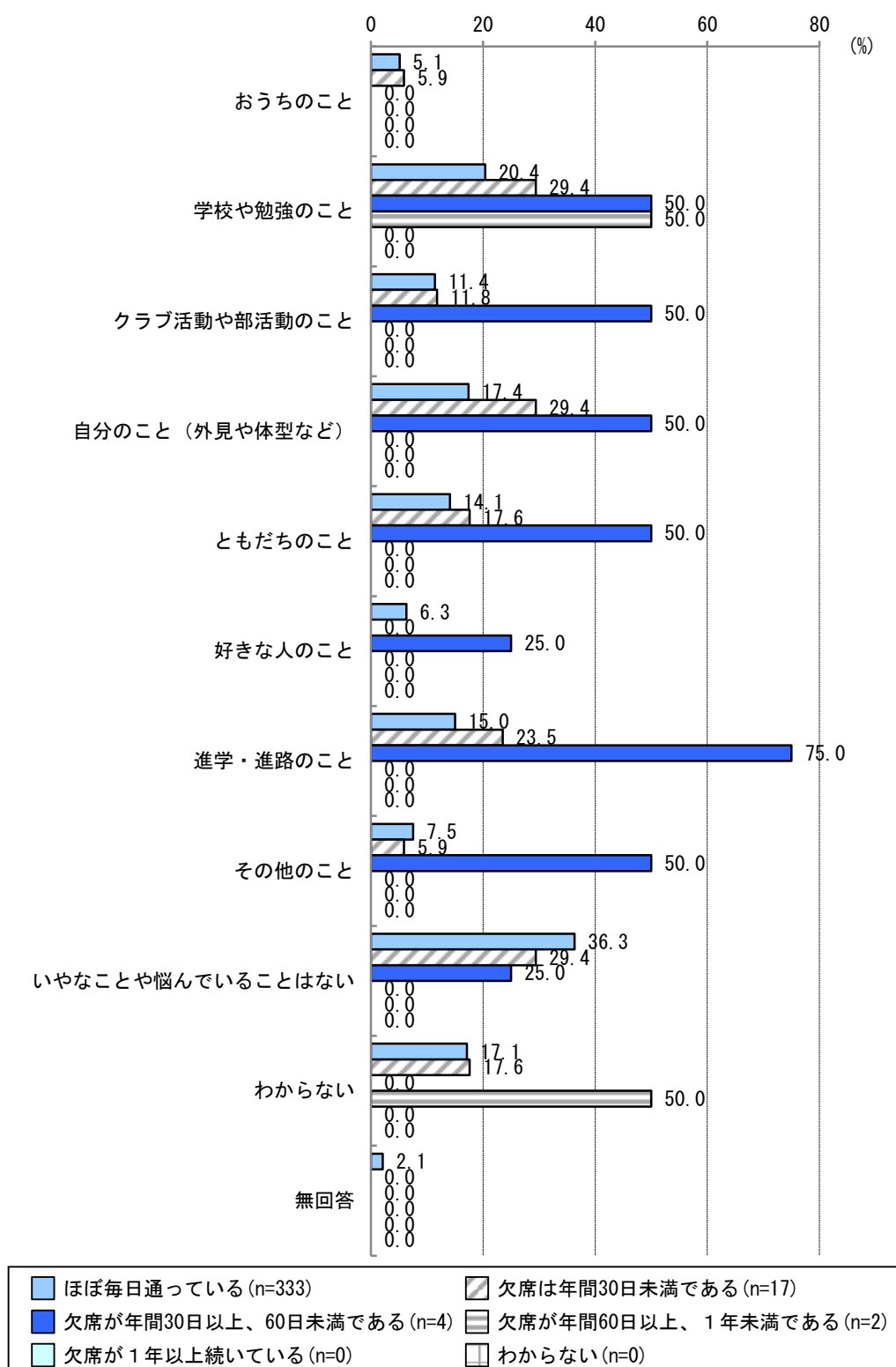
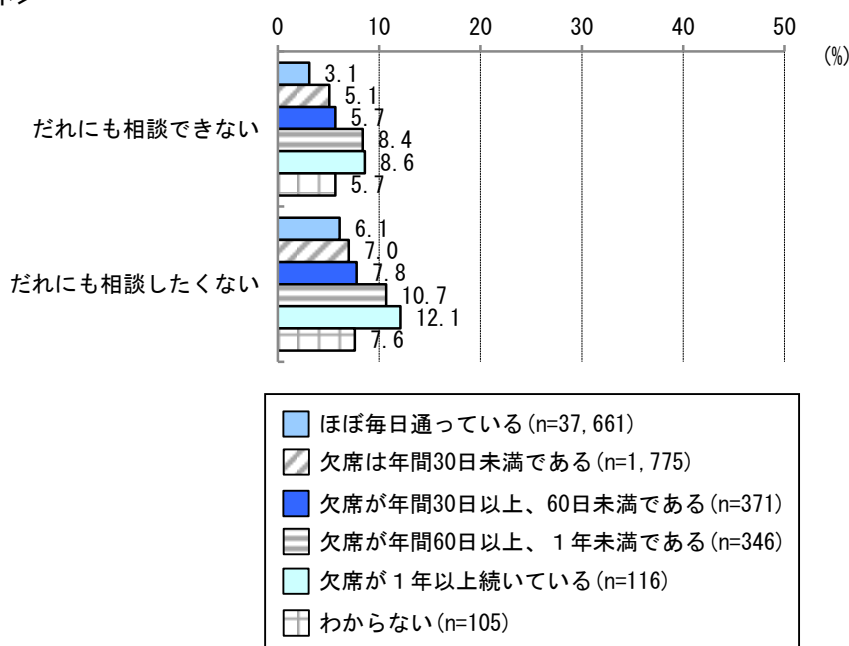


図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること

子どもの通学状況別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「学校や勉強のこと」は概ね子どもが欠席が多くなるほど割合が高くなっている一方で、「いやなことや悩んでいることはない」は子どもの欠席が多くなるほど割合が低くなっている。

子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合
(保護者票問 15×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<摂津市>

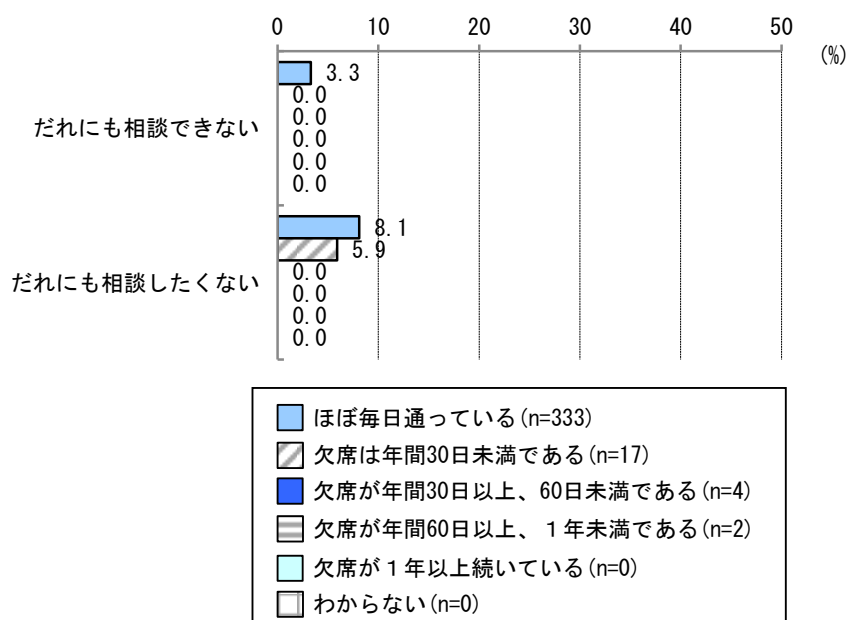
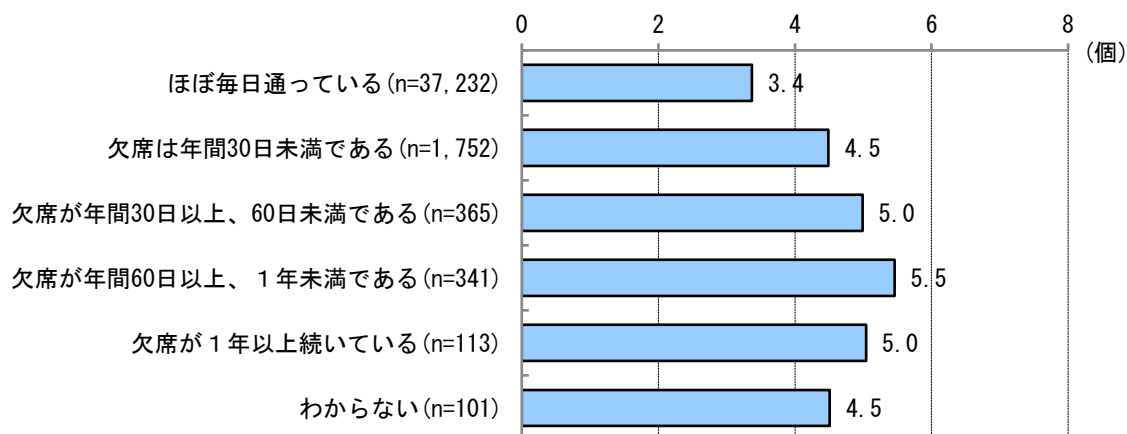


図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合

子どもの通学状況別に悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合を見ると、「だれにも相談できない」、「だれにも相談したくない」と回答した人の割合はほぼ毎日通っている人の割合が最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(保護者票問 15×子ども票問 19・20)

<大阪府内全体>



<摂津市>

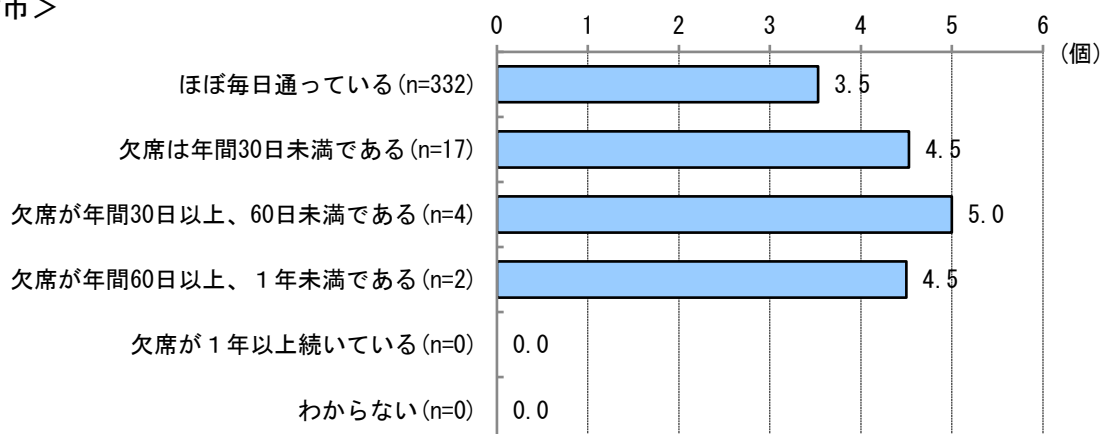
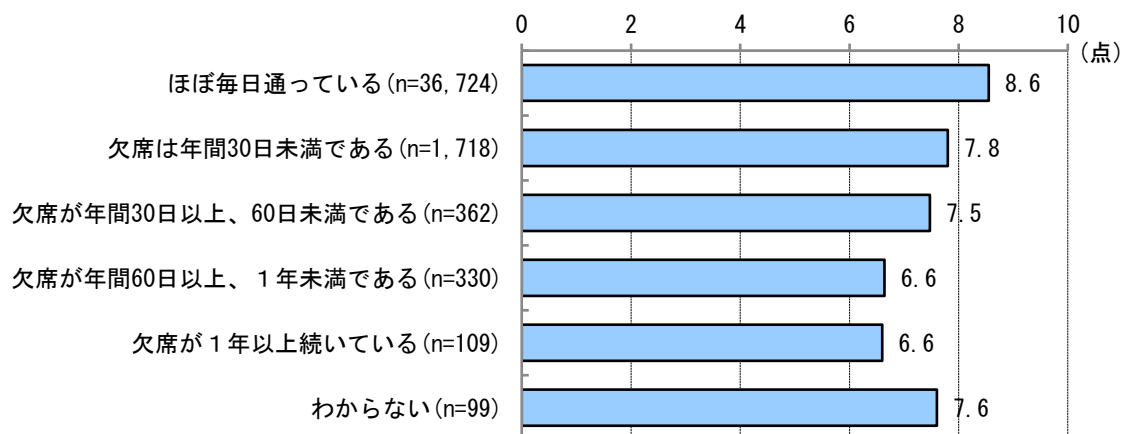


図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

子どもの通学状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、欠席が年間30日以上、60日未満であると回答した人が5.0個で最も多く、次いで欠席が30日未満、欠席が年間60日以上、1年未満であると回答した人がともに4.5個となっている。

子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（保護者票問 15×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<摂津市>

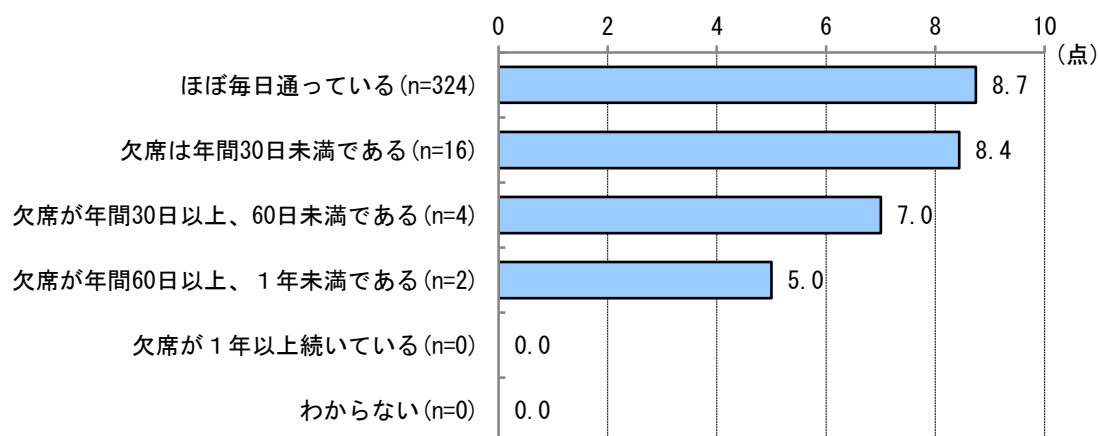
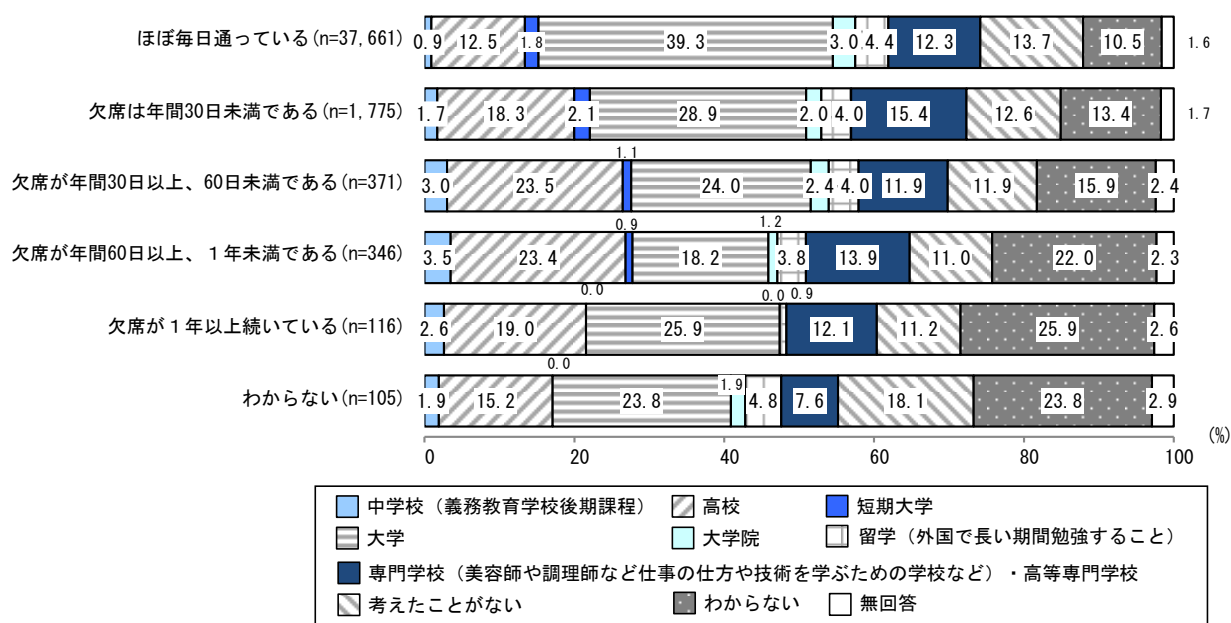


図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもの通学状況別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の得点が8.7点で、次いで「欠席は年間30日未満である」と回答した人は8.4点、「欠席が年間30日以上、60日未満である」と回答した人は7.0点、「欠席が年間60日以上、1年未満である」と回答した人は5.0点と、通学日数が少ない子どものほうがセルフ・エフィカシーが低い結果となった。

子どもの通学状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 15×子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<摂津市>

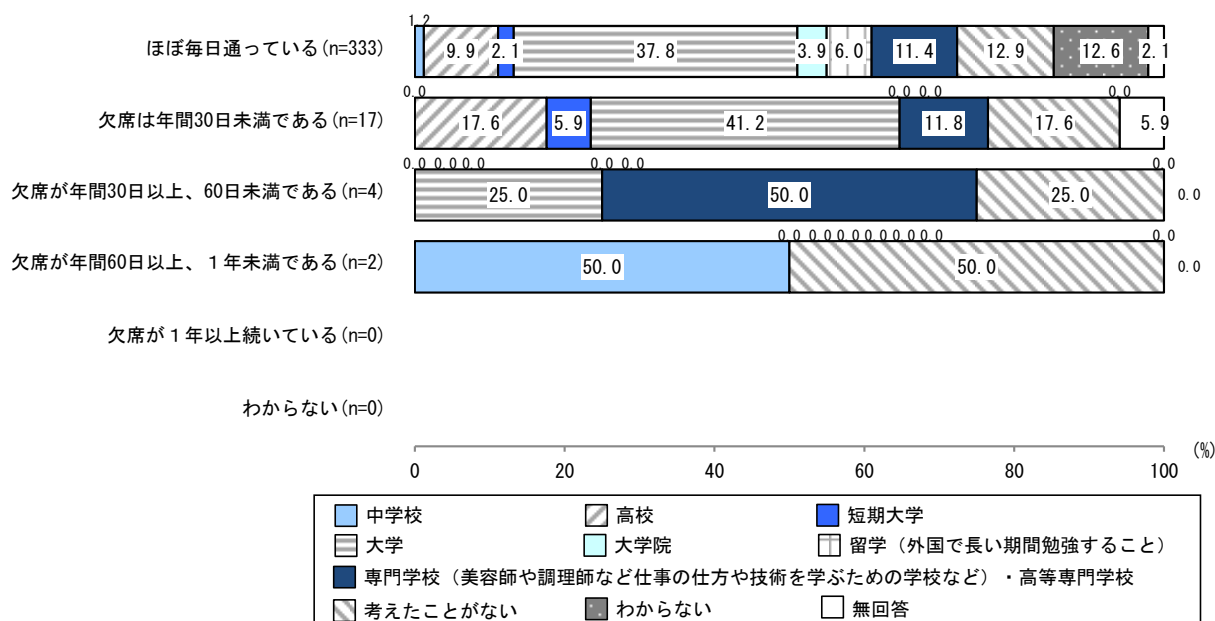
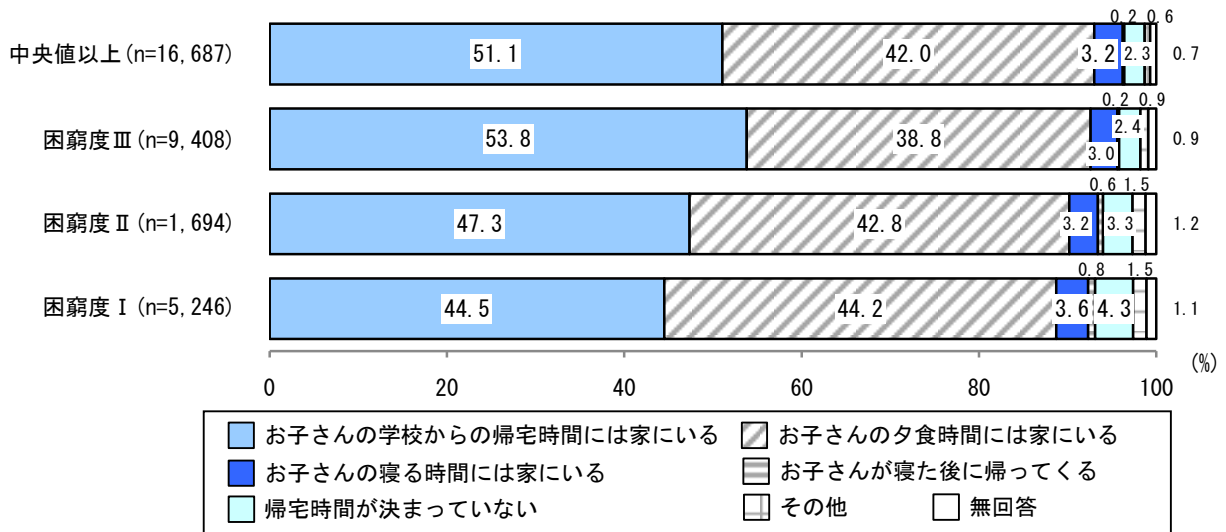


図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先

子どもの通学状況別に希望する進学先を見ると、「大学」は欠席は年間30日未満であると回答した人の割合が41.2%で最も高く、「高校」も欠席は年間30日未満であると回答した人の割合が17.6%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯（保護者票問 10）

<大阪府内全体>



<摂津市>

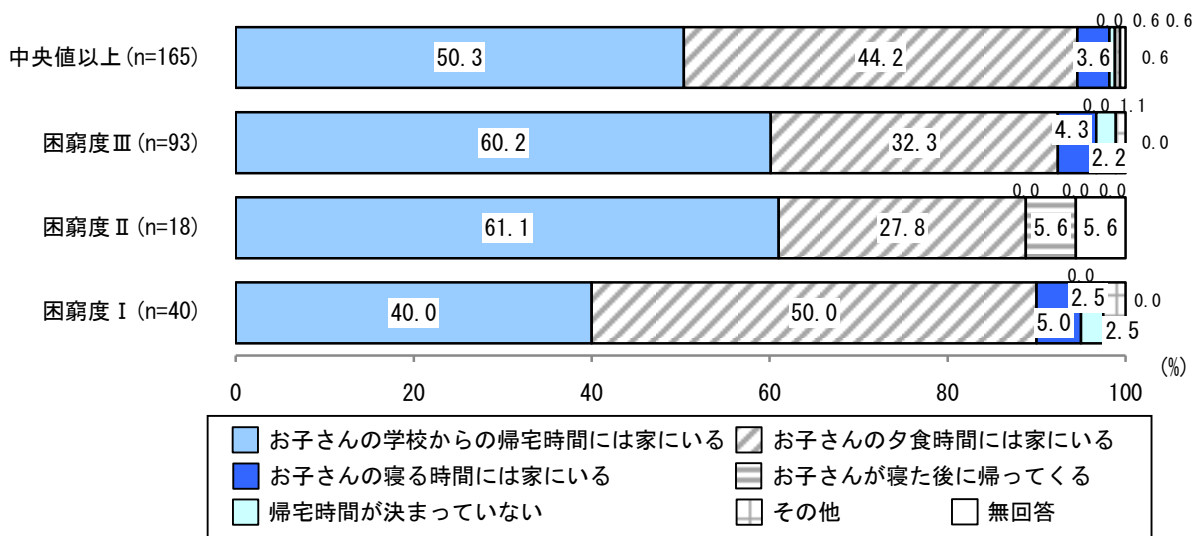
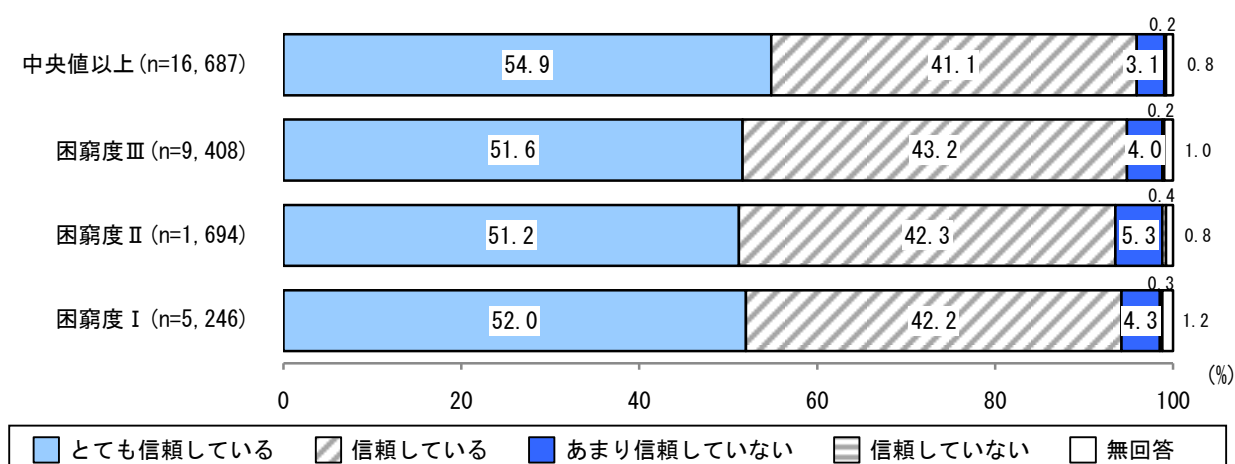


図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯

困窮度別に保護者が家にいる時間帯を見ると、困窮度Ⅲ群のほうが、困窮度Ⅰ群よりも、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」と回答した割合が高い。

困窮度別に見た、子どもへの信頼度（保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

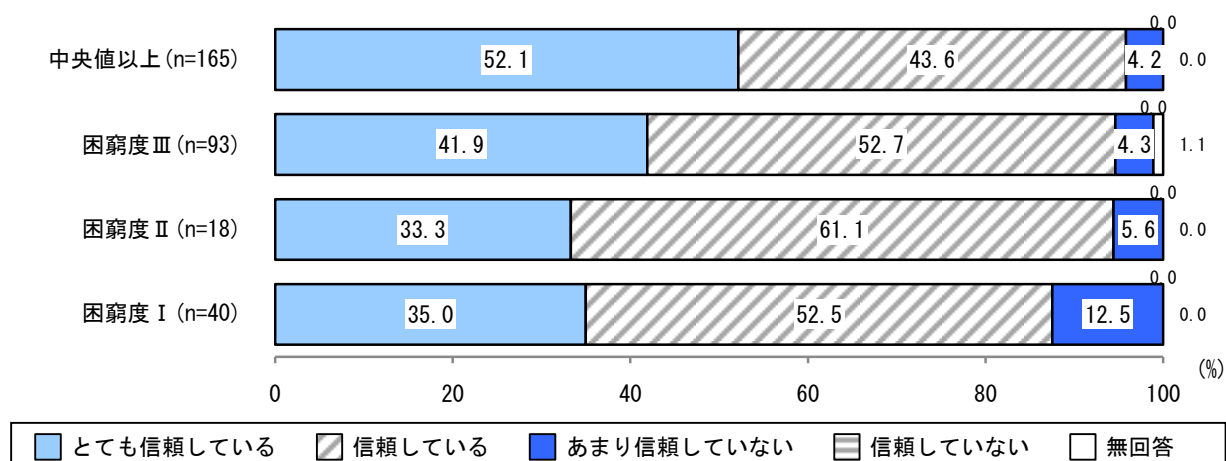
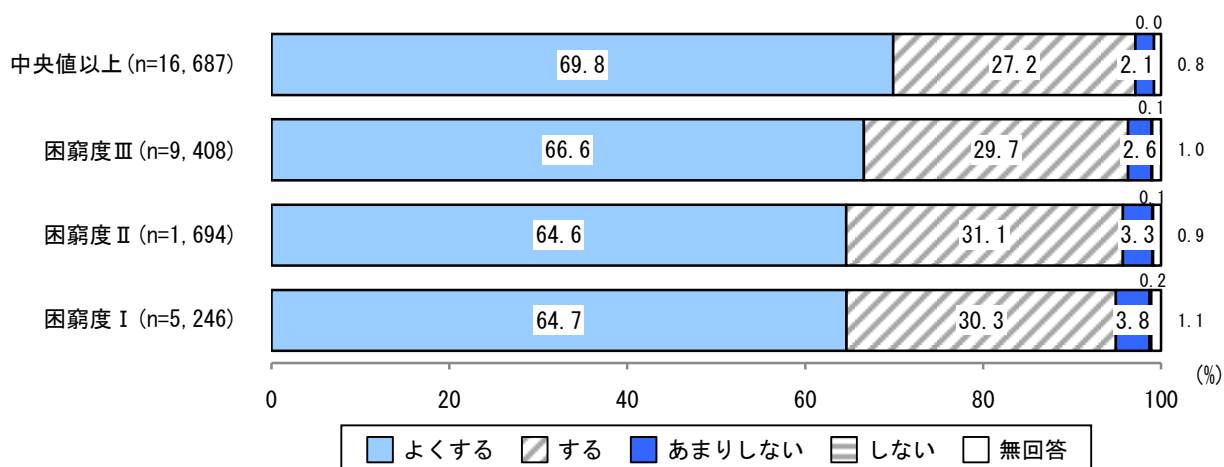


図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度

困窮度別に子どもへの信頼度を見ると、「とても信頼している」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が33.3%で最も低く、中央値以上群が52.1%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもとの会話頻度（保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

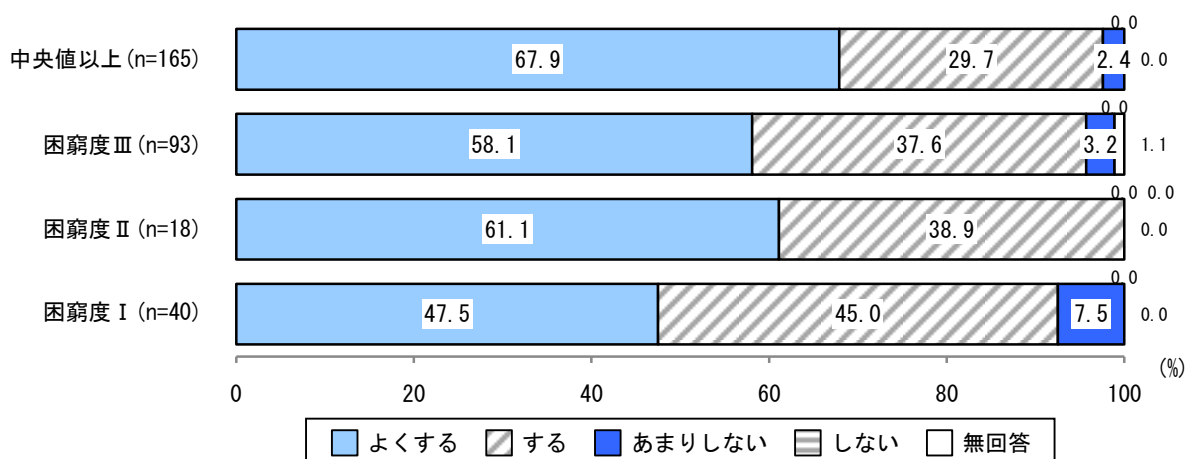
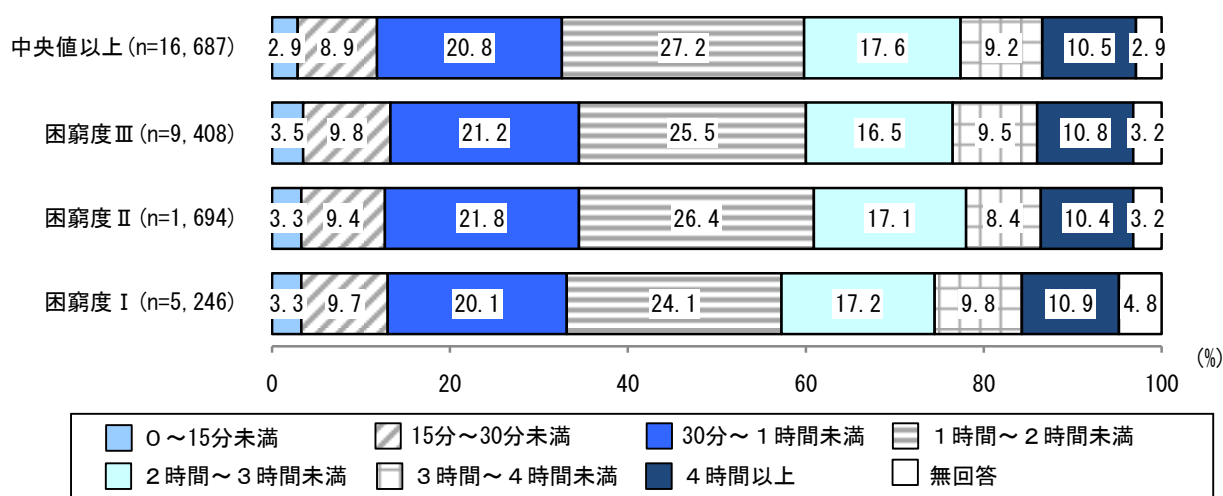


図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度

困窮度別に子どもとの会話頻度を見ると、困窮度Ⅰ群では「よくする」と回答した割合が最も低く、47.5%となっている。

困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

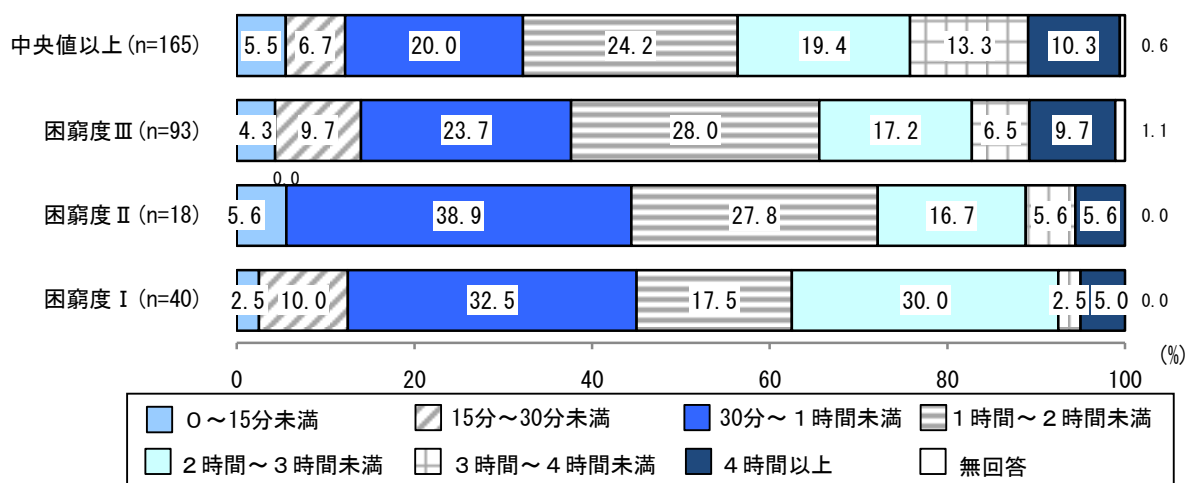
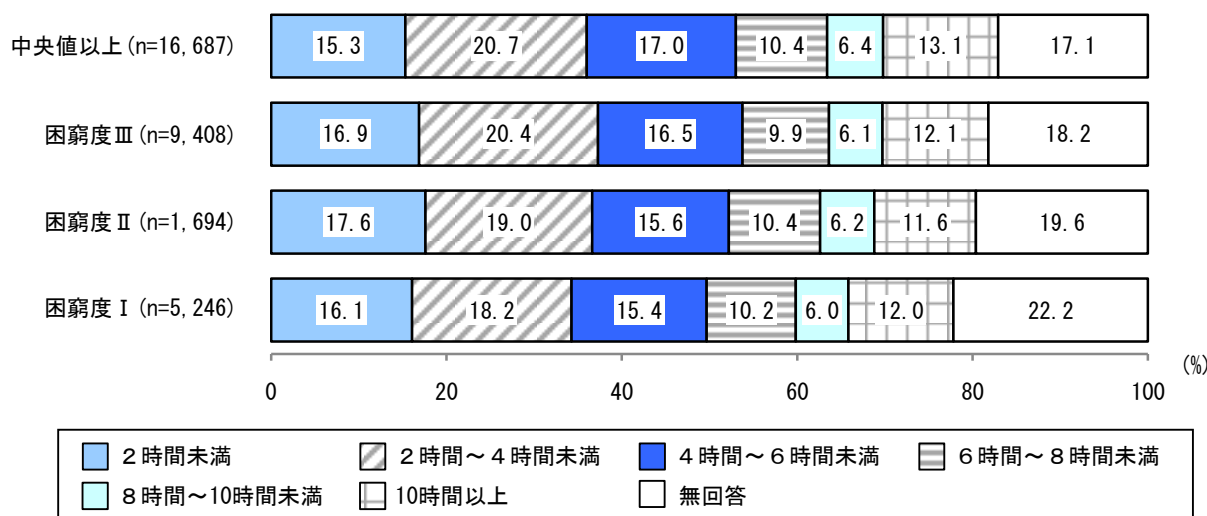


図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

困窮度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「4時間以上」と回答した割合が中央値以上群で最も高く、10.3%である。

困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

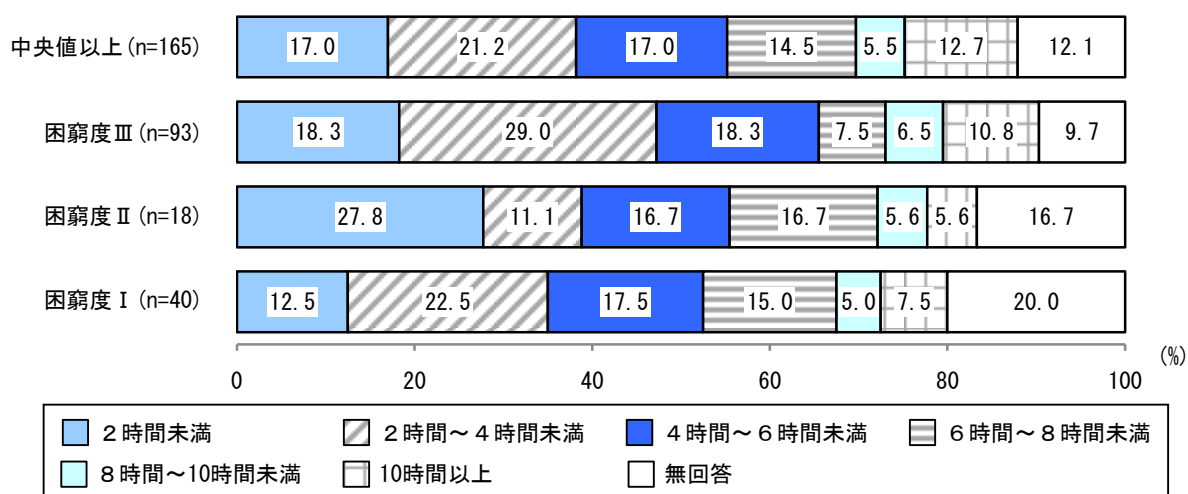
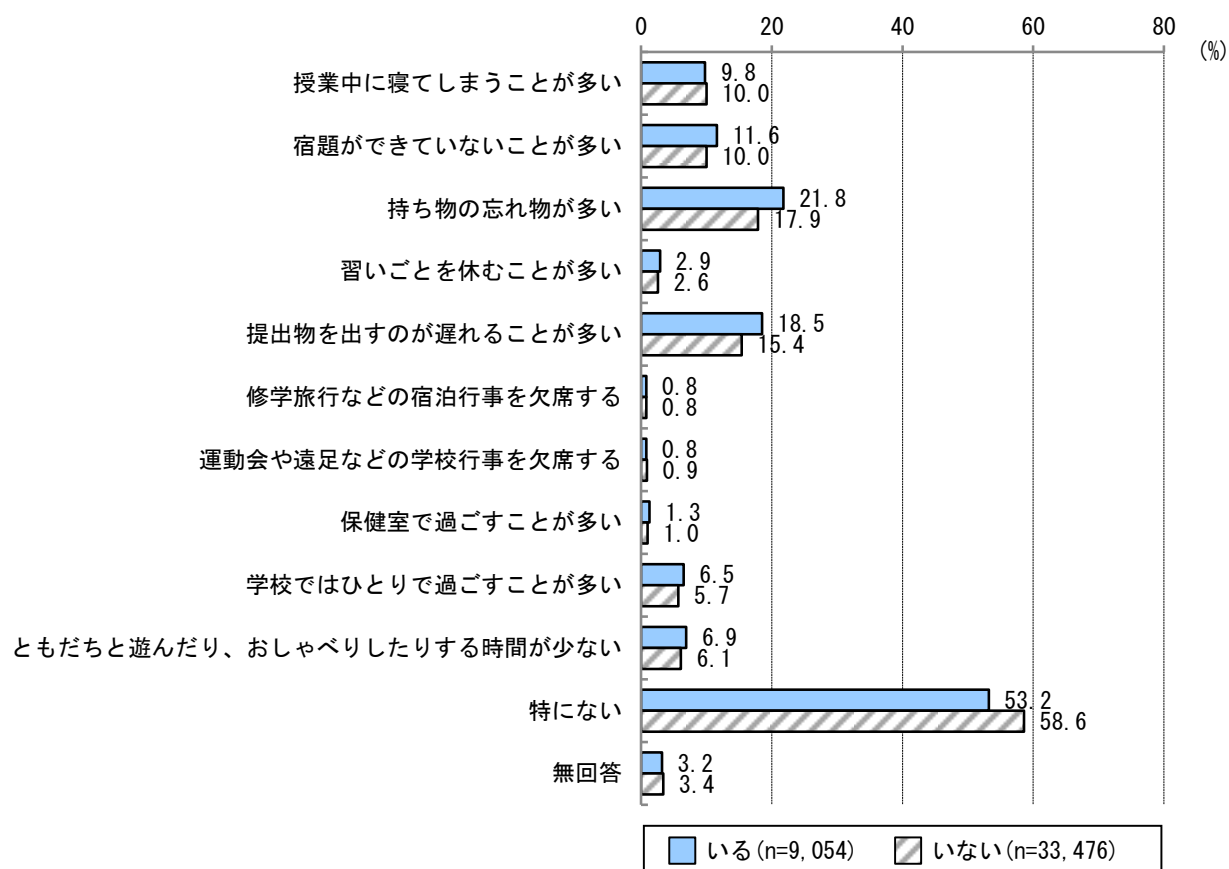


図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

困窮度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「2 時間未満」と回答した割合が困窮度Ⅱ群で最も高く、27.8%となっている。また、「10 時間以上」と回答した割合は中央値以上群で最も高く、12.7%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 16)

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

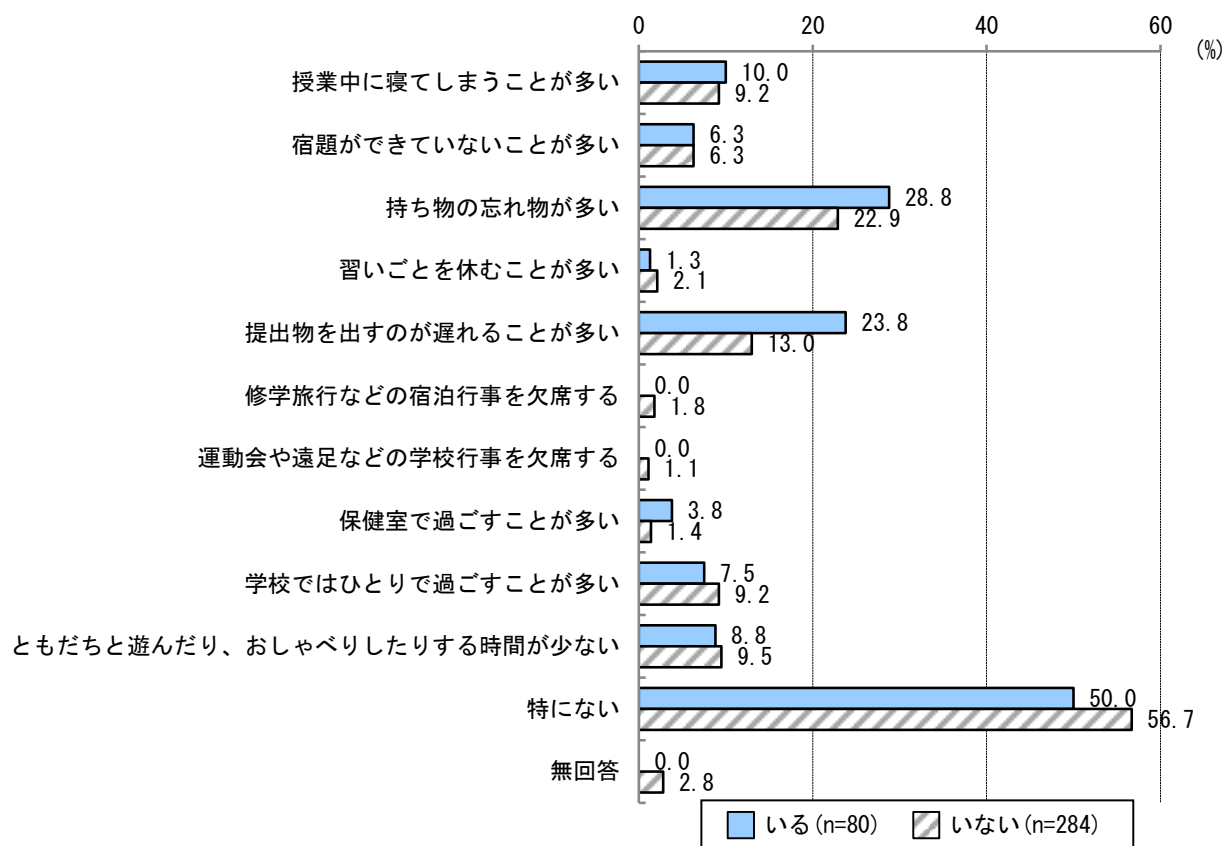
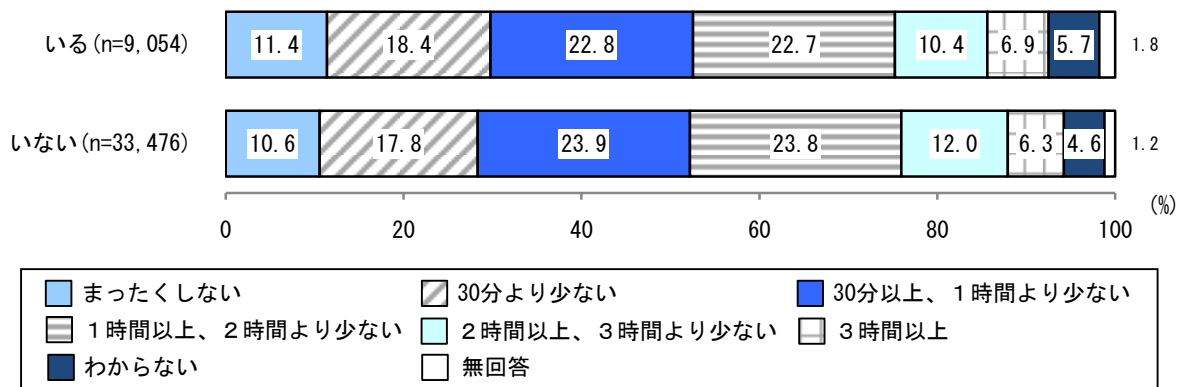


図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況

自分が世話をしている人の有無別に学校や学校の行事等の状況を見ると、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」割合より「いる」割合のほうが高く、差が大きくなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問26(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

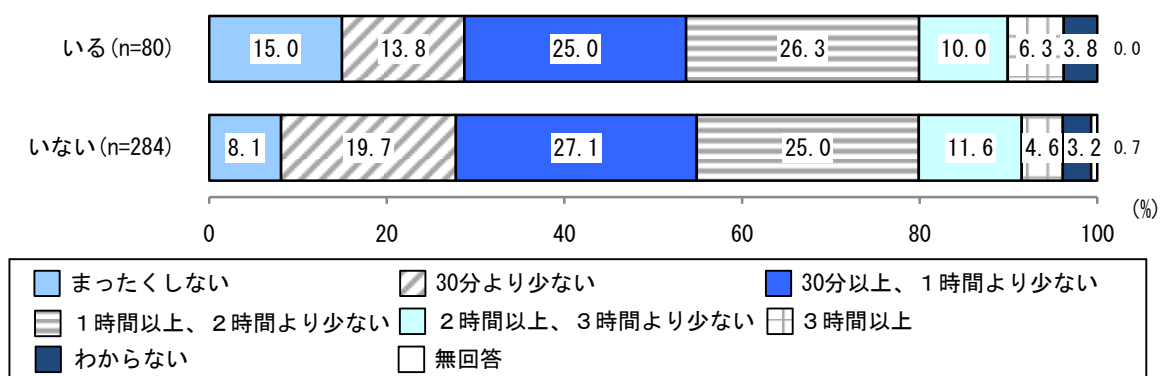
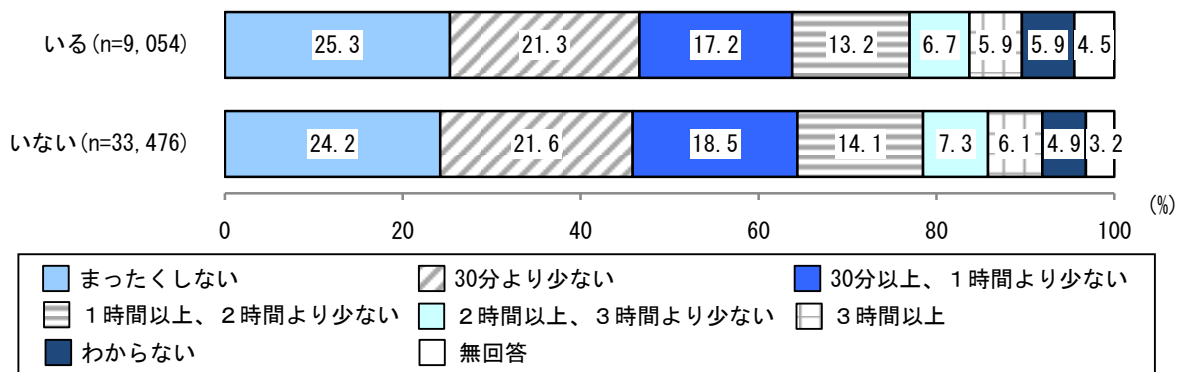


図 144. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問26(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

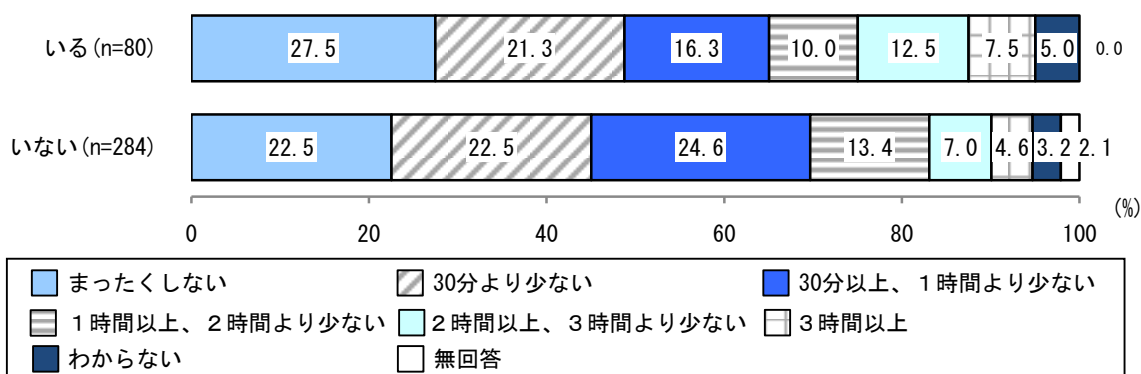


図 145. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合が高くなっている。

<家庭生活・学習に関する考察>

まず、経済状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目しながら確認する。おうちの大人の人と朝食をとる頻度を見ると、最も差が大きいものが「ほとんどない」(30.6%対10.6%)で困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ20.0ポイント高く、反対に、「ほとんど毎日」(53.6%対36.1%)で中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ17.5ポイント高くなっている。また、おうちの大人の人と夕食をとる頻度を見ると「ほとんど毎日」(94.4%対82.8%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ11.6ポイント高くなっている。また、保護者が家にいる時間帯を見ると、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」(50.3%対40.0%)と回答した割合が中央値以上群は困窮度Ⅰ群よりも10.3ポイント高い。ただし、「お子さんの夕食時間には家にいる」(50.0%対44.2%)が困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ5.8ポイント高くなっており、経済的に厳しい状況に置かれた家庭でも保護者が子どもとの団らんの時間を維持しようとする様子も伺える。保護者の子どもとの会話頻度を見ても、「よくする」(67.9%対47.5%)が中央値以上群は困窮度Ⅰ群より20.4ポイント高いものの、「する」(45.0%対29.7%)が困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ15.3ポイント高く、会話の機会を維持しようとする努力が窺える結果となっている。また、「平日の子どもとの関わりの時間」を見ると、「0～15分未満」(5.5%対2.5%)と「3時間～4時間未満」(13.3%対2.5%)、「4時間以上」(10.3%対5.0%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群より高くなっている。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「15分以上～30分未満」(10.0%対6.7%)、「30分以上～1時間未満」(32.5%対20.0%)、「2時間～3時間未満」(30.0%対19.4%)が高くなっており、限られた時間を子どもに割こうとしていることが示唆されている。しかしながら、「休日での子どもとの関わりの時間」を見ると、経済状況の影響からか、6時間以上子どもと関わると回答した割合(32.7%対27.5%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群より高くなっており、経済状況が保護者と子どものふれあう時間に影響していることが示唆されている。

次に、学校への遅刻状況と家庭生活状況との関連について確認する。まず、経済状況別の遅刻頻度を見ると、困窮度に関係なく総じて低いものの、「遅刻はしない」(88.7%対75.0%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群より13.7ポイント高い。一方、「週に1回程度」(13.9%対2.6%)、「週に2～3回」(8.3%対0.7%)が困窮度Ⅰ群は中央値以上群より高く、保護者が子どもの学校へ出掛ける時間に一緒にいられていないことの影響が示唆される。しかし、困窮度Ⅰ群では「毎日またはほとんど毎日」遅刻する子どもがほとんどいないのに対して、中央値以上群では6.6%の子どもが「毎日またはほとんど毎日」遅刻しており、遅刻が習慣化することにおいては経済状況と必ずしも因果関係が強いわけではないことがわかる。遅刻頻度が総じて低いため、おうちの大人との関係を見ても、朝食あるいは夕食と一緒に食べていることや、宿題(勉強)をみてもらうか、学校でのできごとについて話すか、のいずれについても関連があると断言することは難しい。また、悩みごと、保護者の子どもに対する将来への期待度等とも、その関係性はみられない。

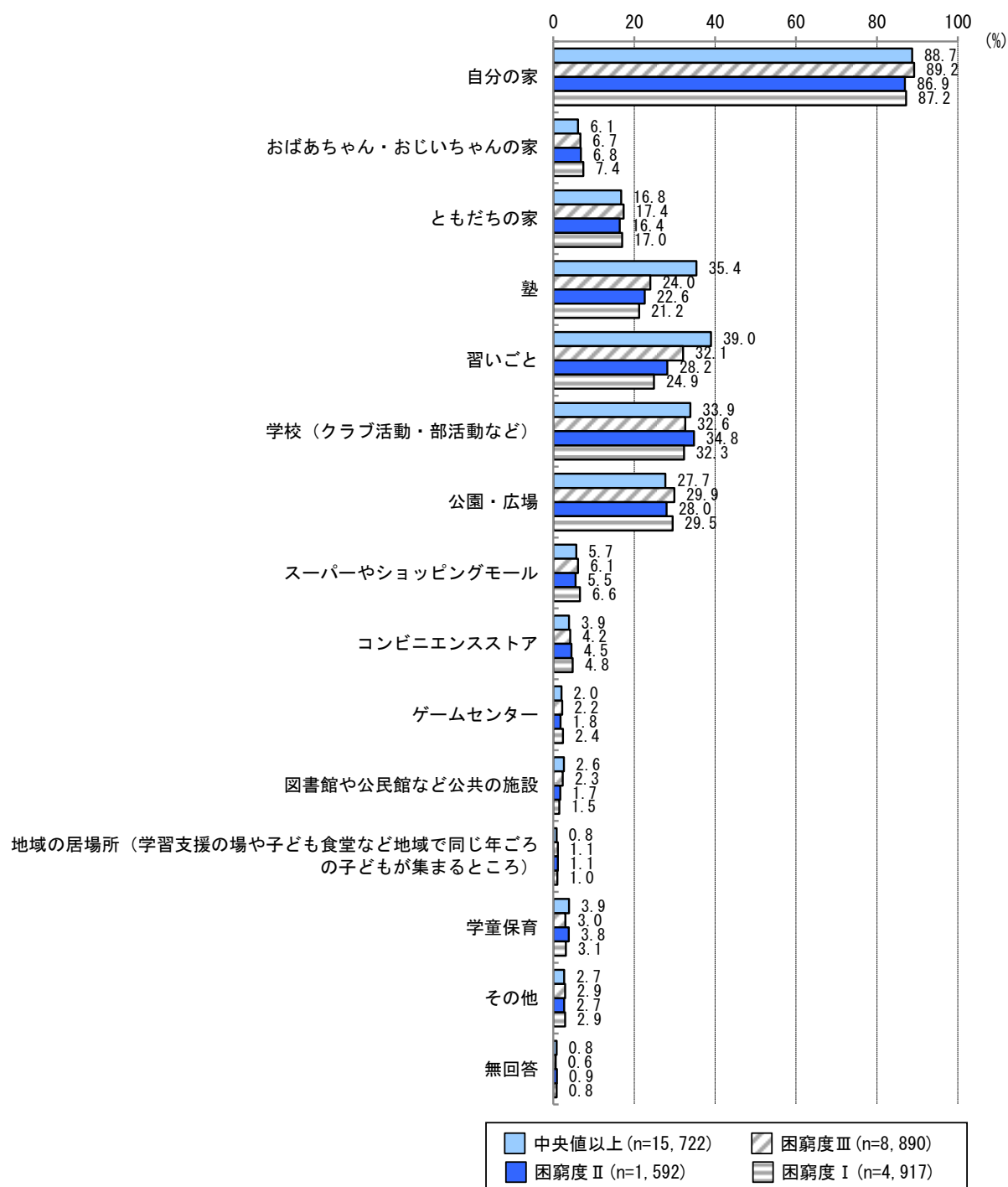
経済状況と子どもの学習にかかわる習慣や進学希望の関連について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目して述べる。通学状況を見ると、「ほぼ毎日通っている」(95.8%対82.5%)が、中央値以上群では困窮度Ⅰ群より13.3ポイント高くなっており、家計における経済状況の悪化は、子どもの就学環境に一定の影響を及ぼしている可能性はある。また、勉強時間についても、学校のある日(月～金曜日)を見ると、「まったくしない」(19.4%対7.3%)が困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ12.1ポイント高くなっているのに対して、30分以上の勉強時間になると中央値以上群が困窮度Ⅰ群よりも高くなっている。こうした傾向は、学校がない日(土・日曜日・祝日)でも見られ、「まったくしない」(36.1%対19.9%)が困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ16.2ポイント

高くなっている。この結果から、経済状況の悪化は、保護者が子どもの学習習慣への関与度を弱める可能性が示唆されている。また、経済状況は、子どもの学校における理解度にも少なからず影響しており、「よくわかる」(39.1%対11.1%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群より28.0ポイント高くなっている。一方、「あまりわからない」「ほとんどわからない」「わからない」の合計(36.1%対6.6%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群よりも29.5ポイント高くなっており、家庭における経済状況の悪化が、子どもの学校での学習理解度に影響していることが示唆される。さらに、希望する進学先を見ると、子どもの希望する進学先において「大学」(40.4%対25.0%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ15.4ポイント、保護者が子どもに希望する進学先において「大学」(73.9%対35.0%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ38.9ポイント高くなっている。一方、子どもの希望する進学先において「高校」(11.1%対9.3%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ1.8ポイント、保護者が子どもの希望する進学先において「高校」(37.5%対3.0%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ34.5ポイント高くなっている。子どもの希望する進学先と比較すると、保護者の期待値は高いものの、経済状況の悪化が子どもの進路希望先を下方修正させる可能性が示唆されている。

3-5. 対人関係

困窮度別に見た、放課後を過ごす場所（子ども票問11）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

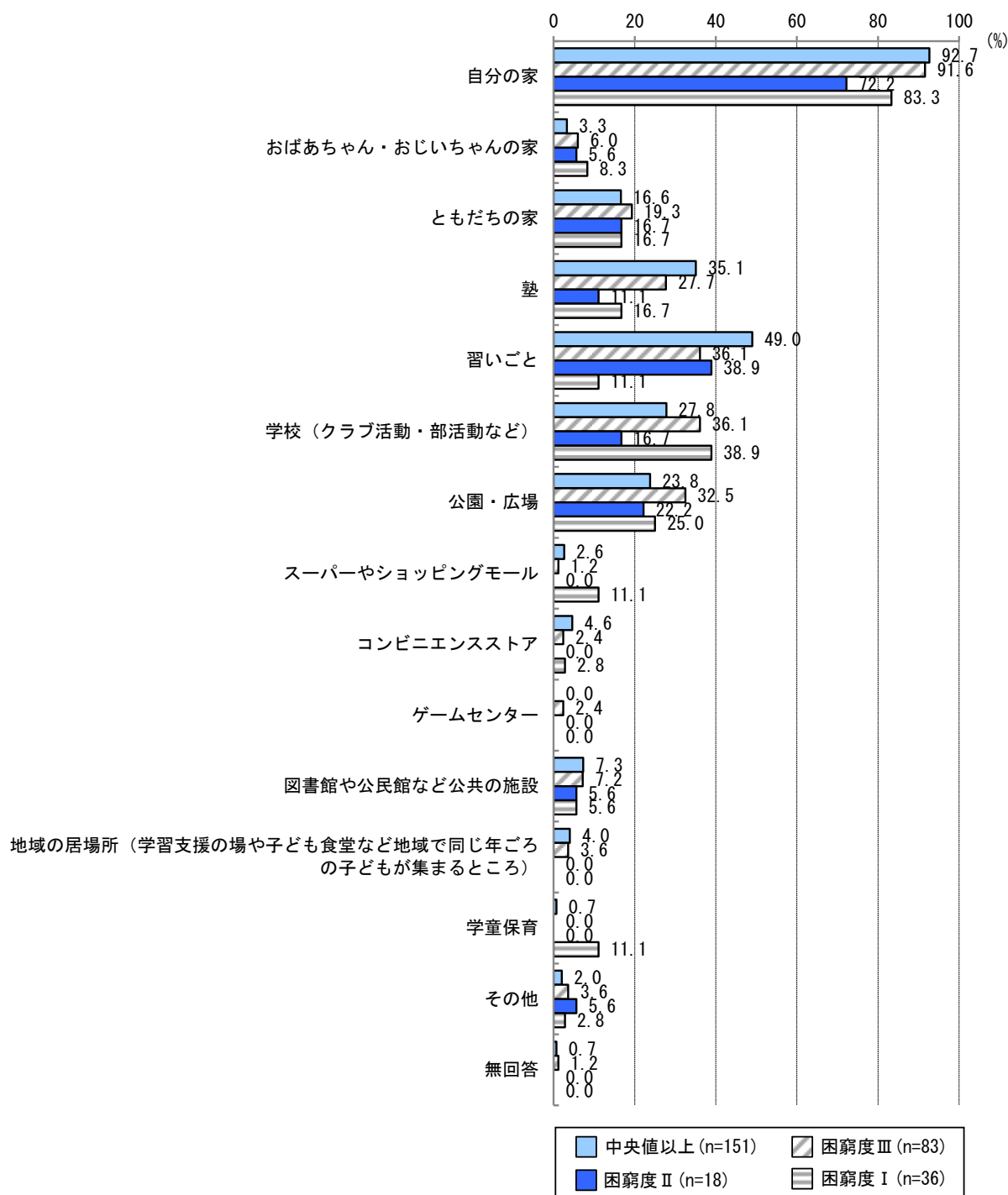
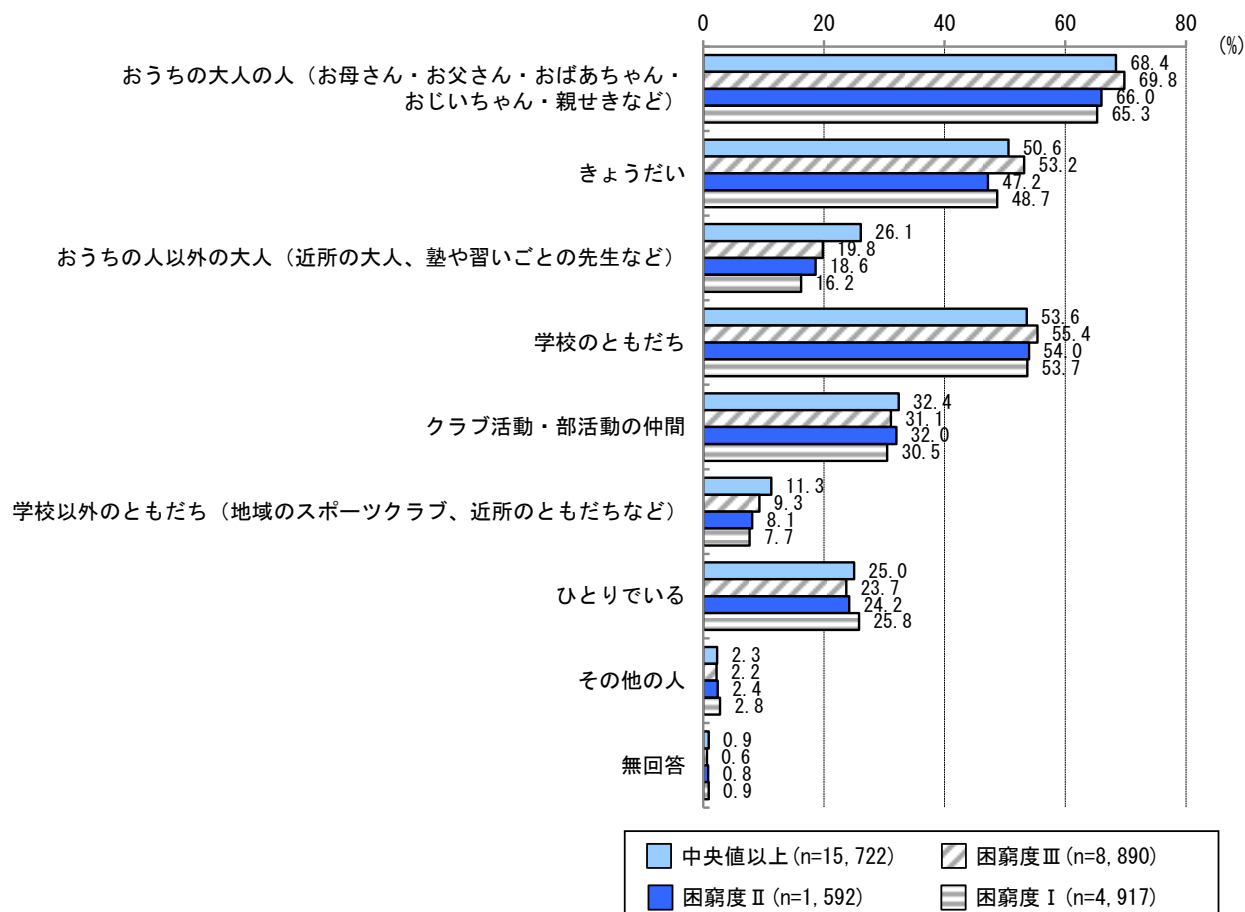


図 146. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「学童保育」11.1%（中央値以上群に対して15.9倍）、「スーパーやショッピングモール」11.1%（同じく4.3倍）、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」8.3%（同じく2.5倍）となっている。一方、中央値以上群では、「習いごと」49.0%（困窮度Ⅰ群に対して4.4倍）、「塾」35.1%（同じく2.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人（子ども票問 10）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

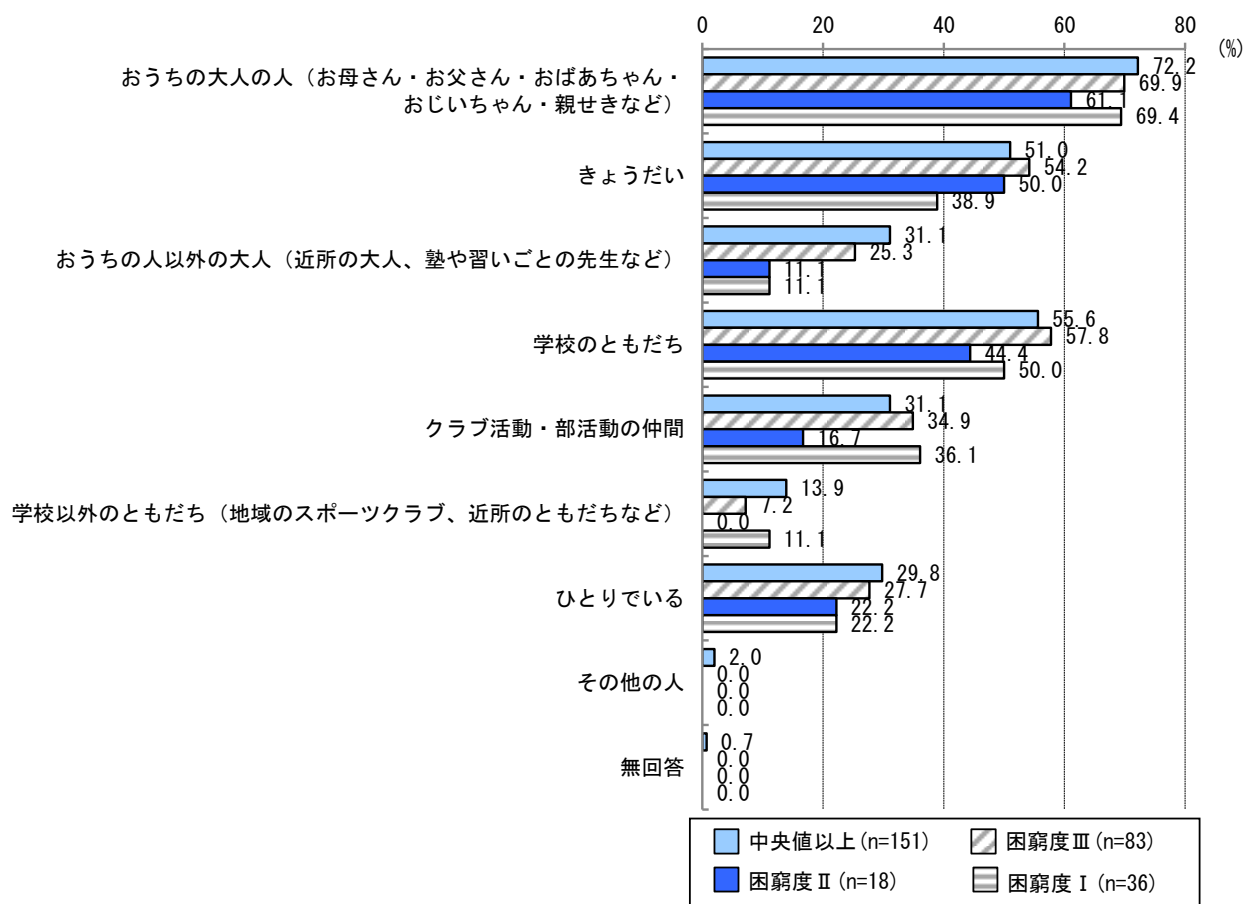
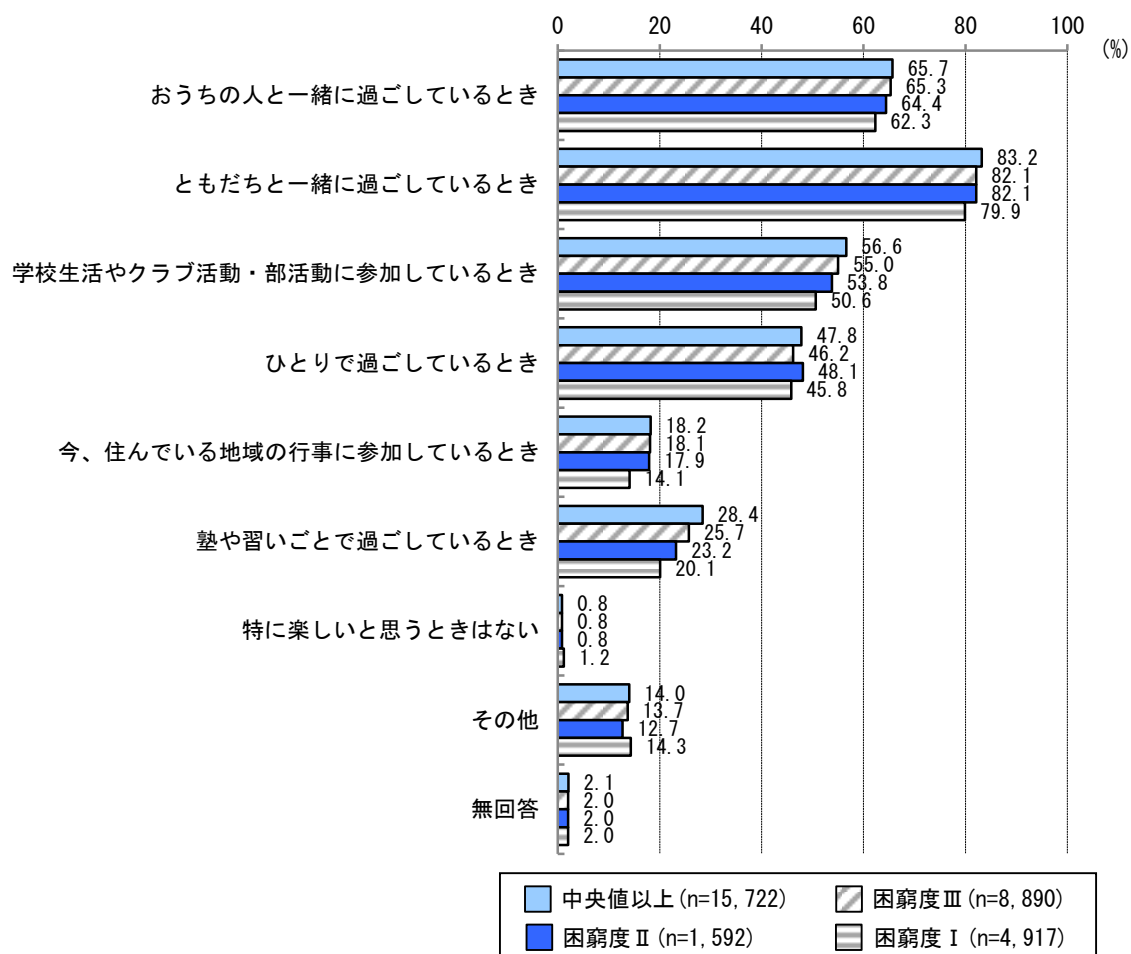


図 147. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目すると、中央値以上群では「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」31.1%（困窮度 I 群に対して2.8倍）が高かった。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問9）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

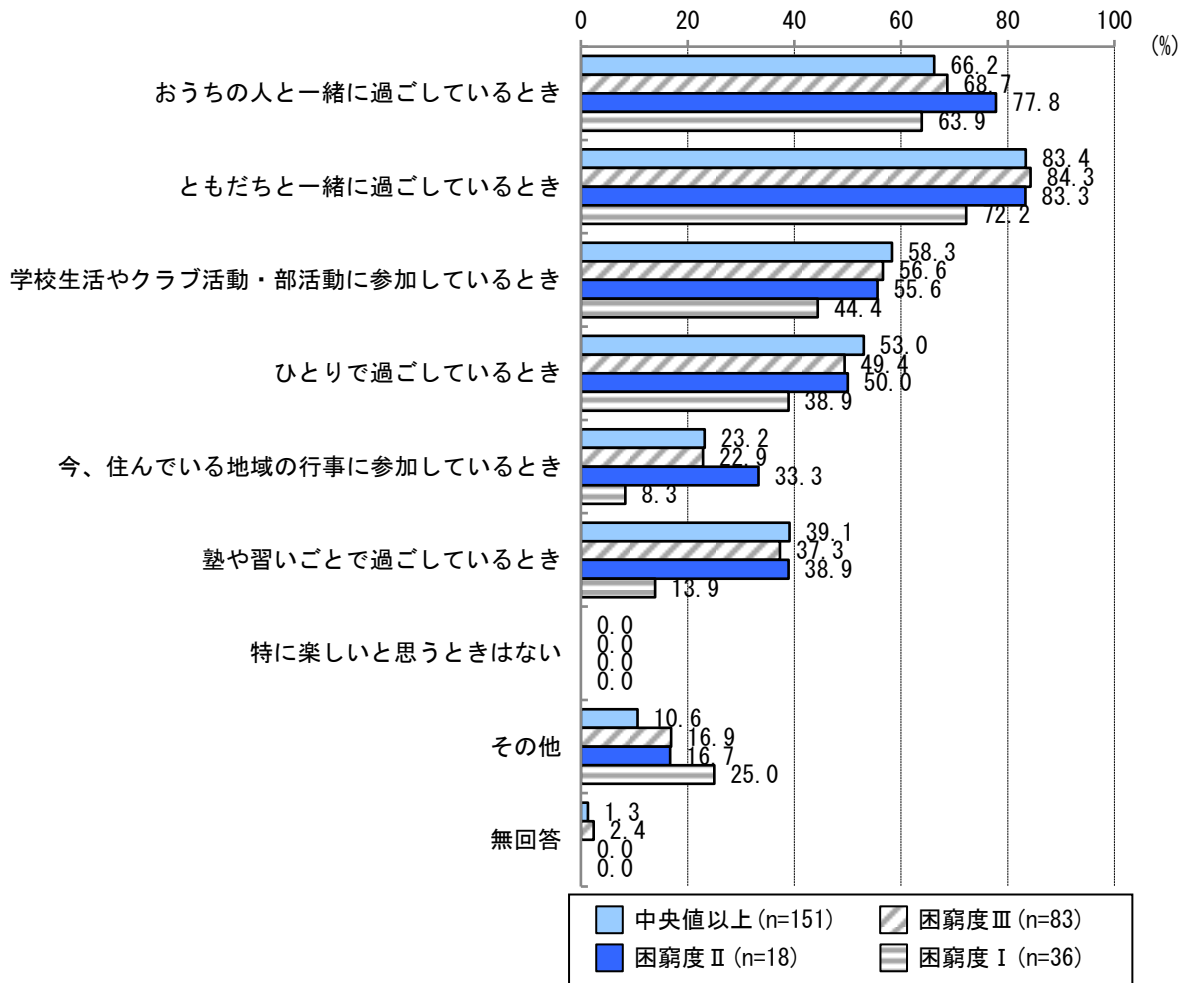
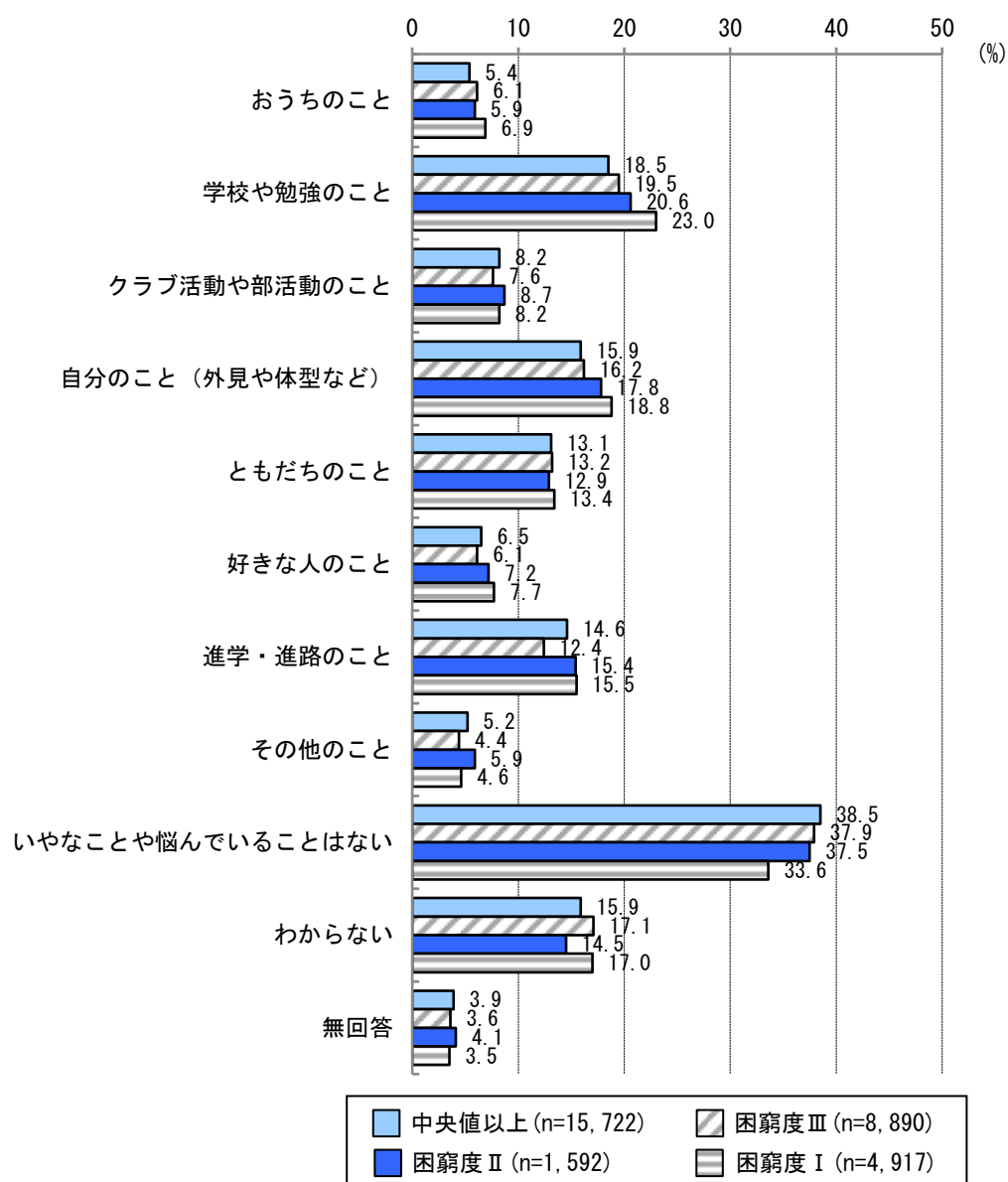


図 148. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」23.2%（困窮度Ⅰ群に対して2.8倍）、「塾や習いごとで過ごしているとき」39.1%（困窮度Ⅰ群に対して2.8倍）、「ひとりで過ごしているとき」53.0%（同じく1.4倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問17）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

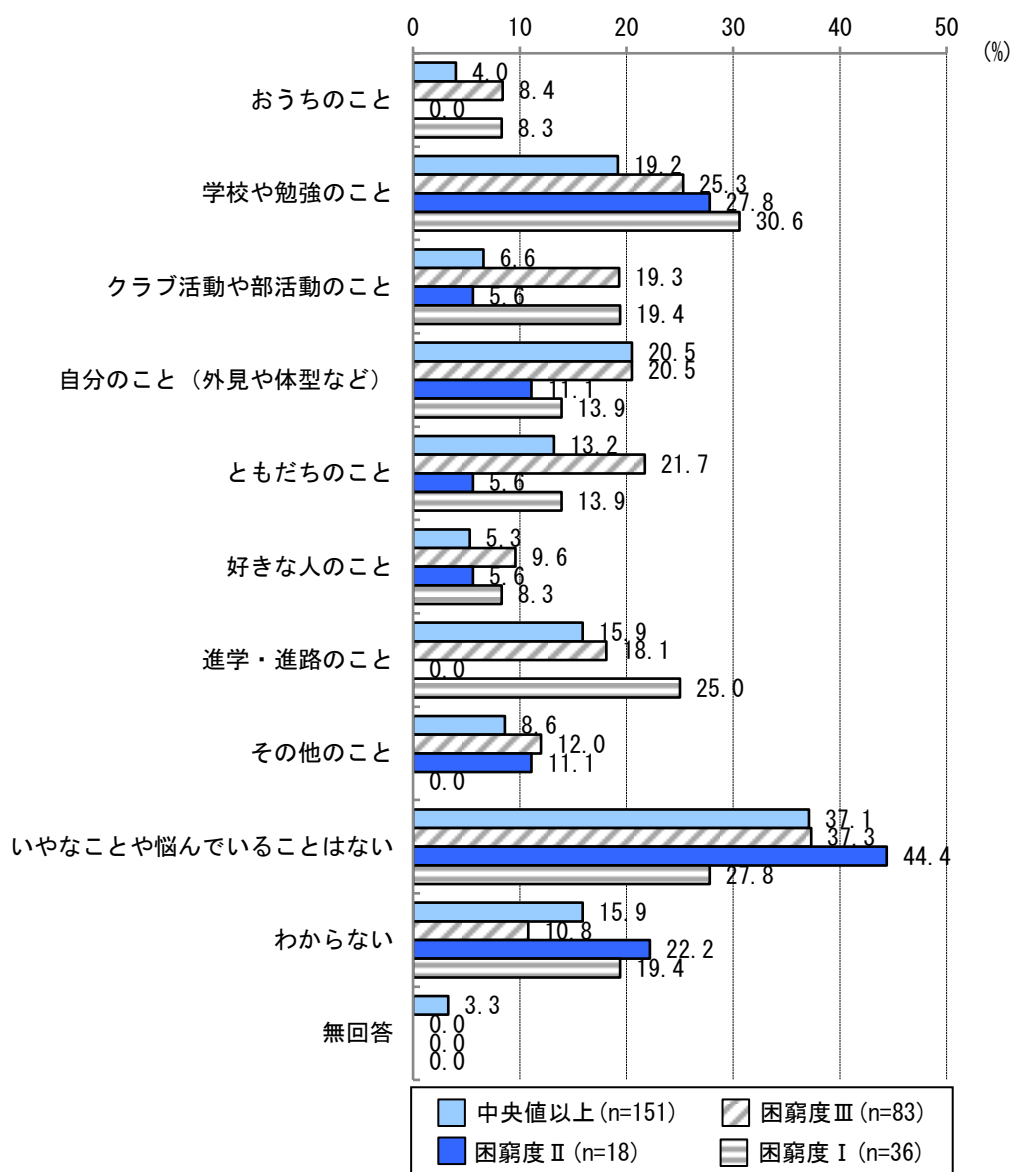
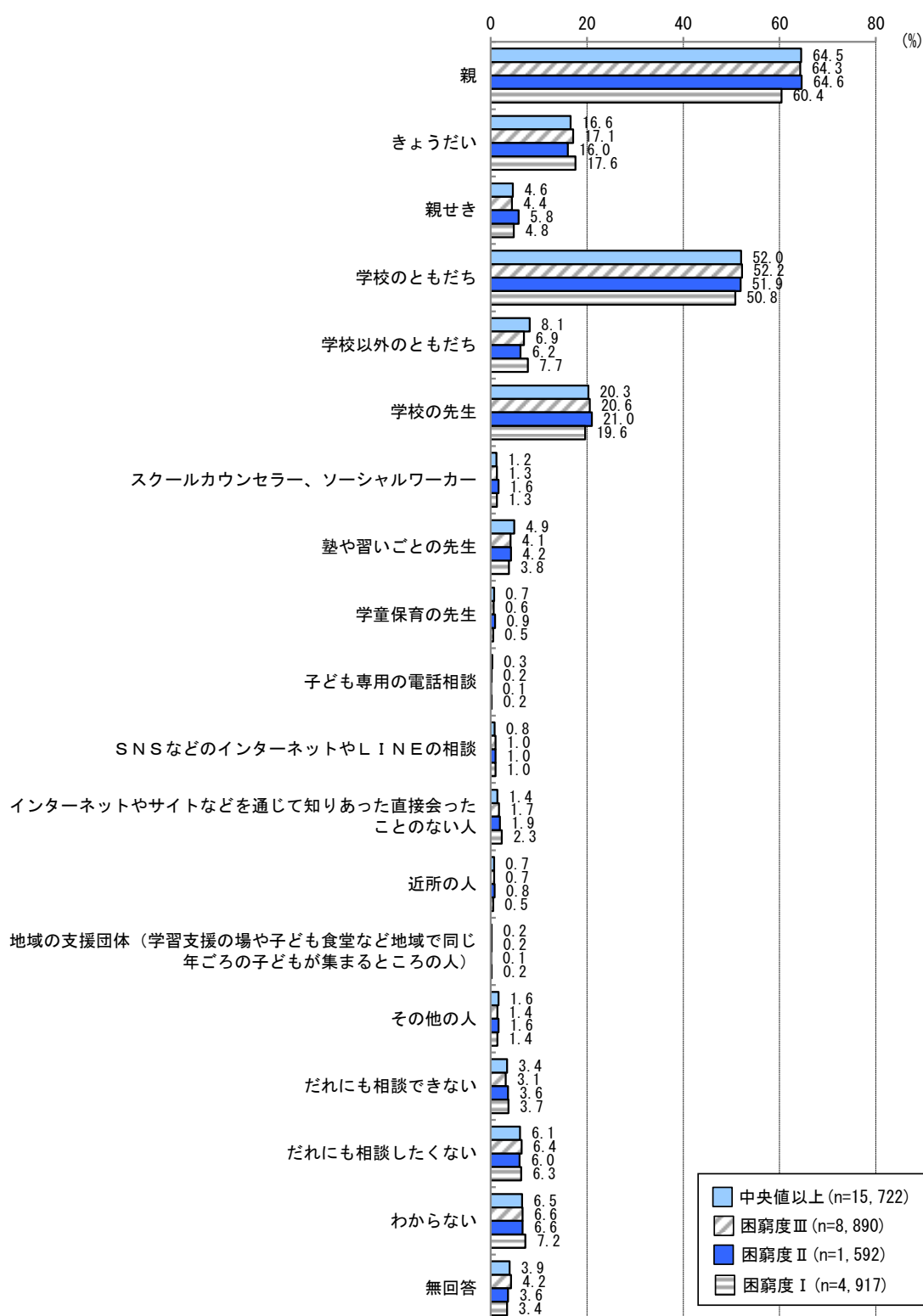


図 149. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度 I 群では、「クラブ活動や部活動のこと」19.4%（中央値以上群に対して2.9倍）、「おうちのこと」8.3%（同じく2.1倍）が高く、中央値以上群では「自分のこと（外見や体型など）」20.5%（困窮度 I 群に対して1.5倍）、「いやなことや悩んでいることはない」37.1%（同じく1.3倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問18）

<大阪府内全体>



<摂津市>

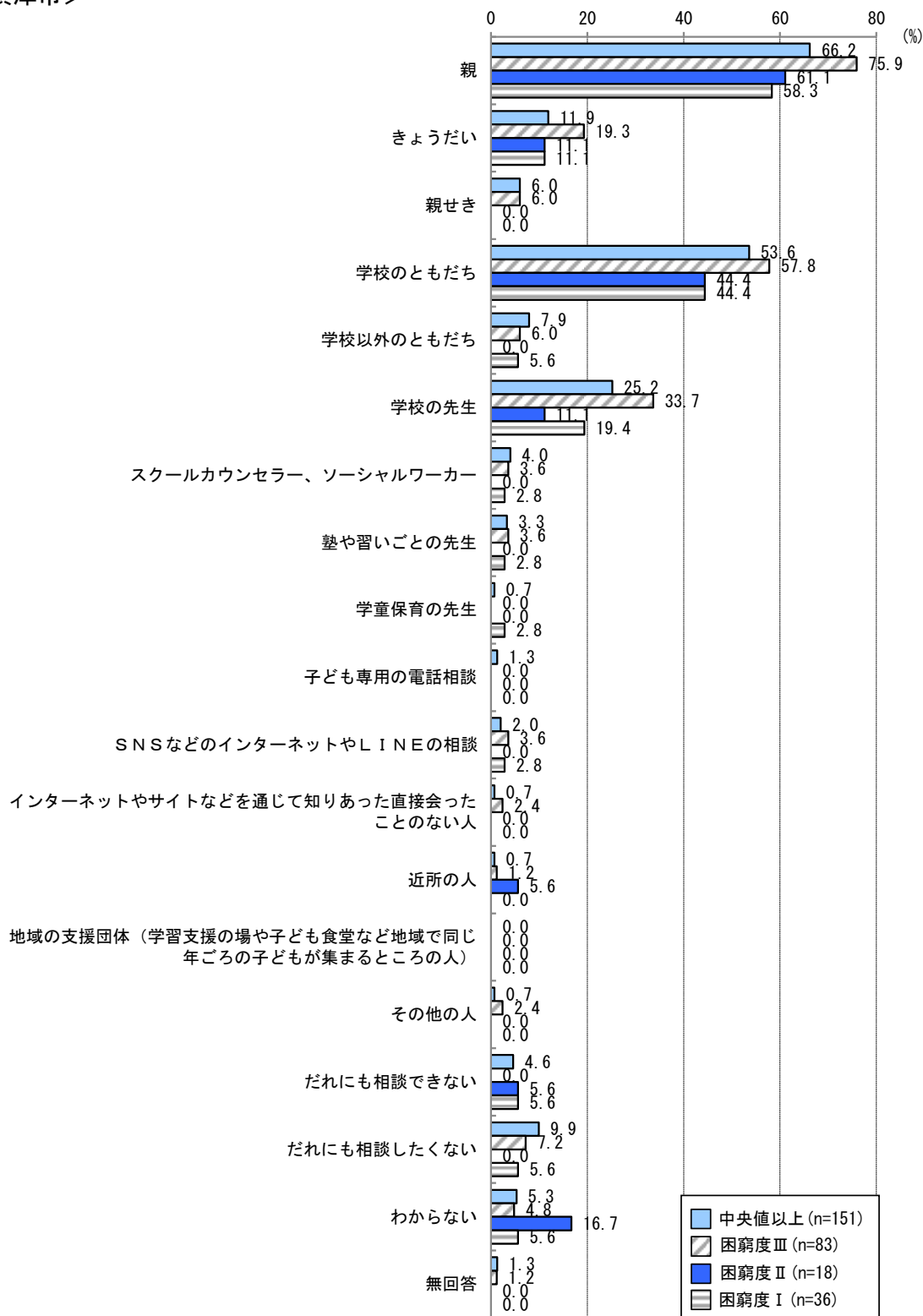
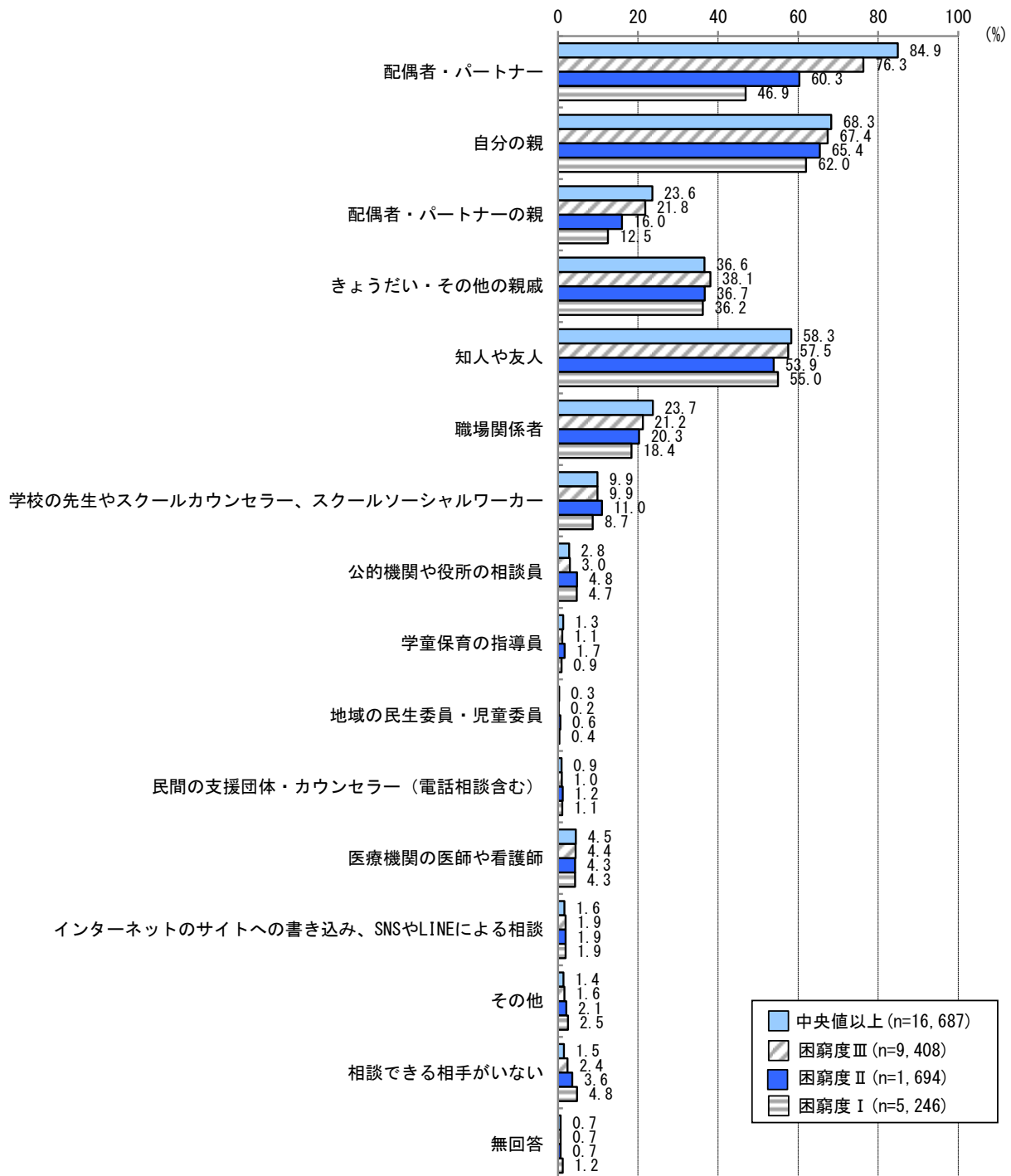


図 150. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「学童保育の先生」が2.8%（中央値以上群に対して4.0倍）、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」が2.8%（同様に1.4倍）となっている。

困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 19）

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

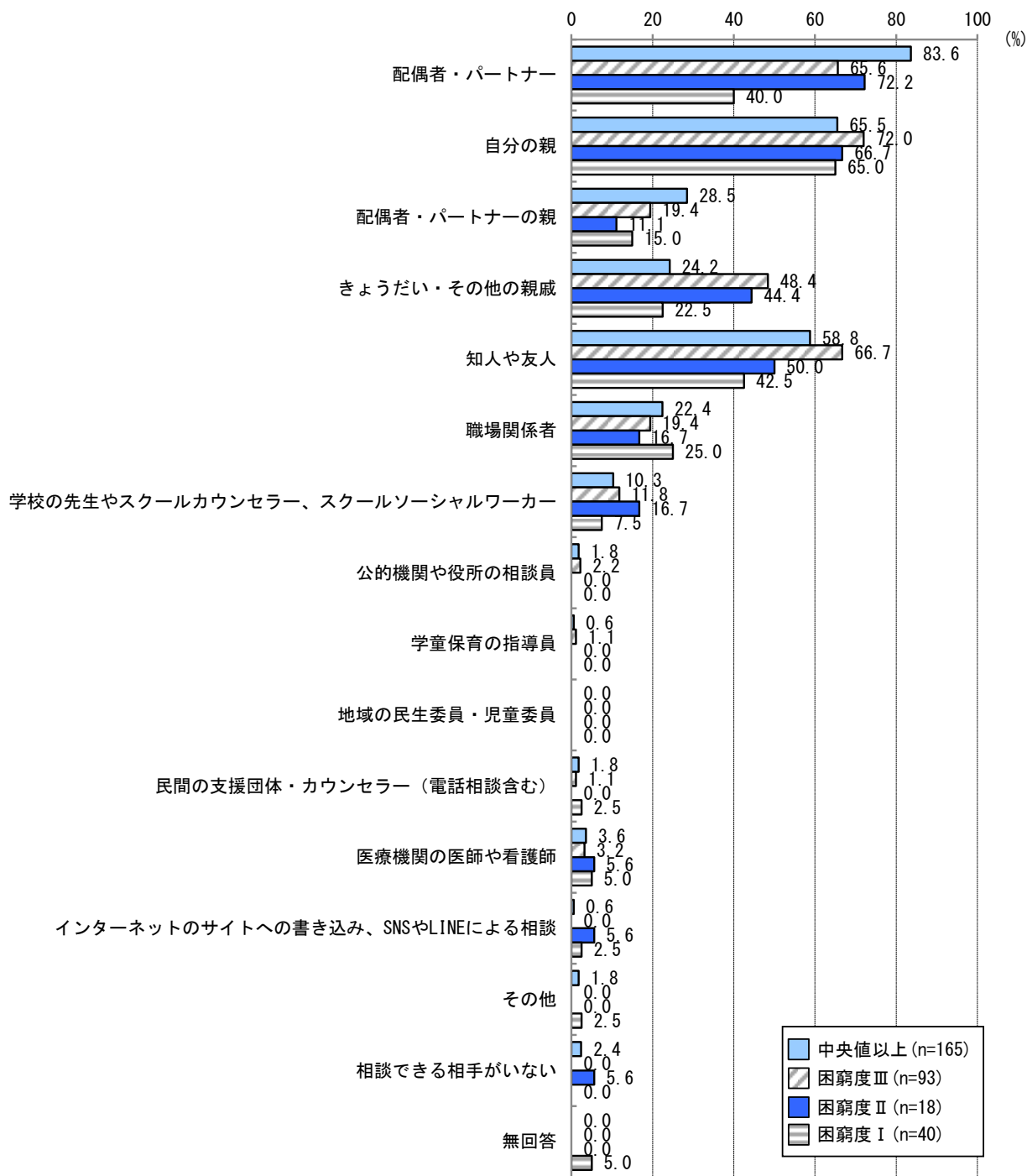
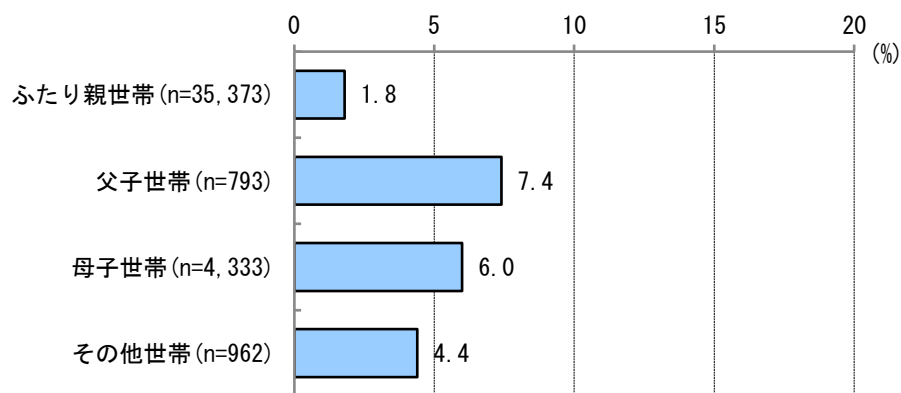


図 151. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

困窮度別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談」が2.5%（中央値以上群に対して4.2倍）、「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」が2.5%（同じく1.4倍）、「医療機関の医師や看護師」が5.0%（同じく1.4倍）となっている。中央値以上群の数値を挙げると、「配偶者・パートナー」が83.6%（困窮度Ⅰ群に対して2.1倍）、「配偶者・パートナーの親」が28.5%（同じく1.9倍）となっている。

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合
(保護者票問2×保護者票問19)

<大阪府内全体>



<摂津市>

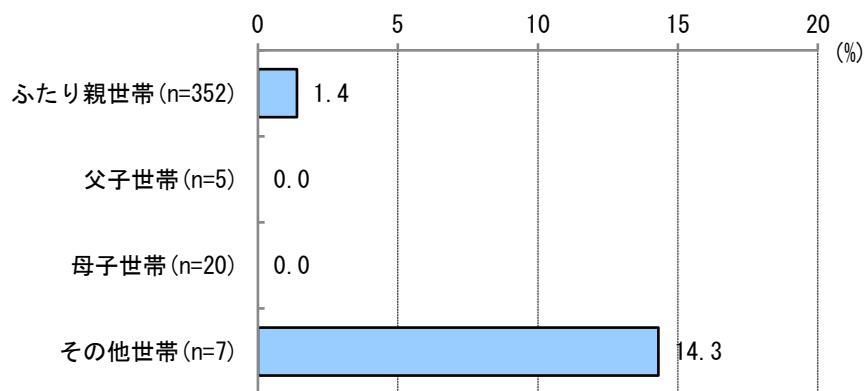
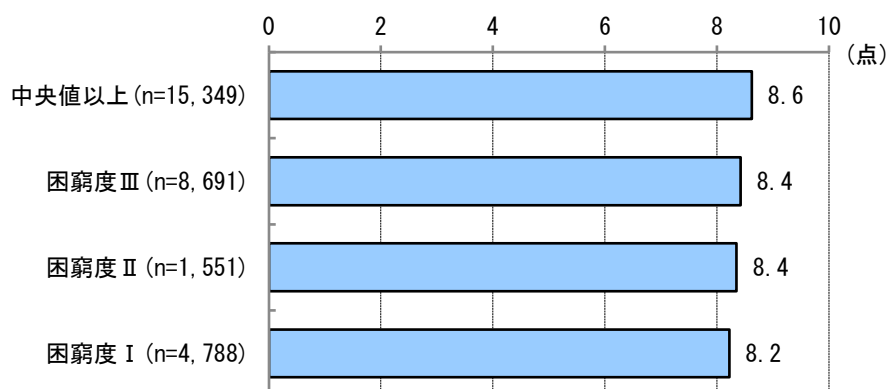


図 152. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合

世帯構成別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「相談できる相手がない」と回答した人は、ふたり親世帯で1.4%となっている。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<摂津市>

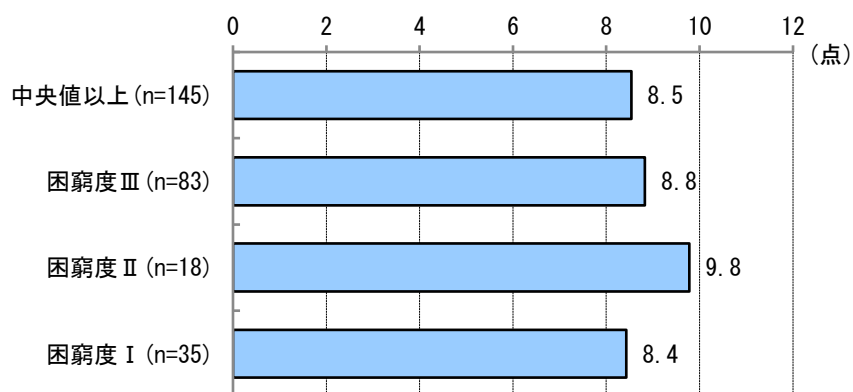
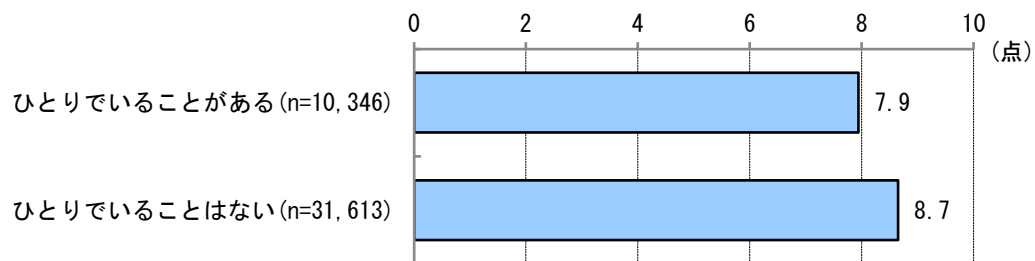


図 153. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度Ⅰ群で8.4点と最も低くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 10×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<摂津市>

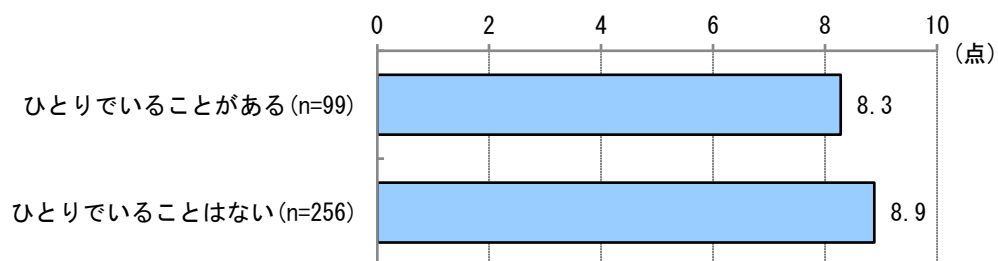


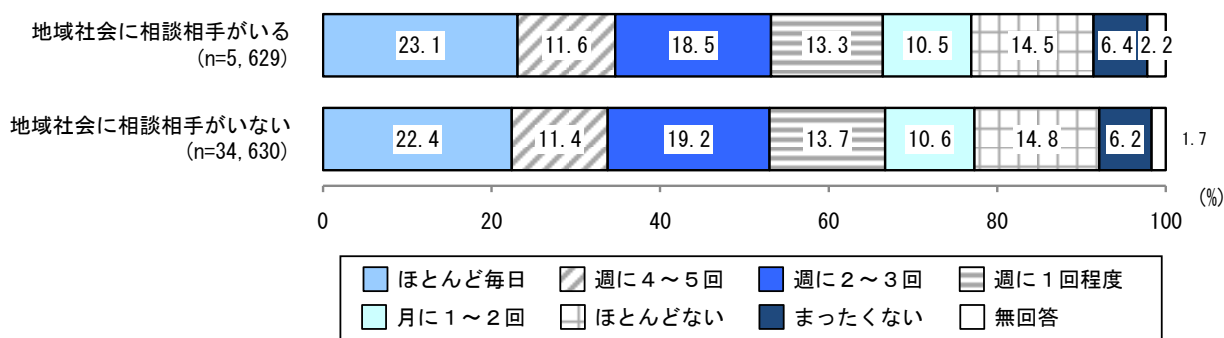
図 154. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそれでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか
(保護者票問 19×子ども票問 8④)

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも1つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

<大阪府内全体>



<摂津市>

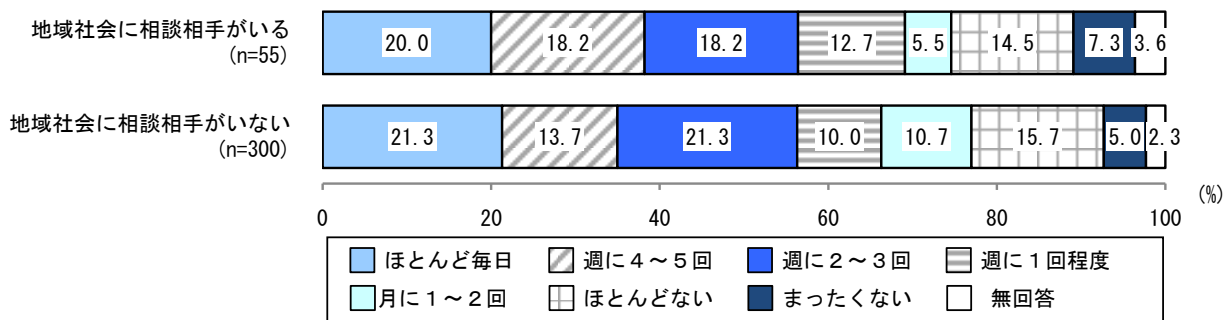
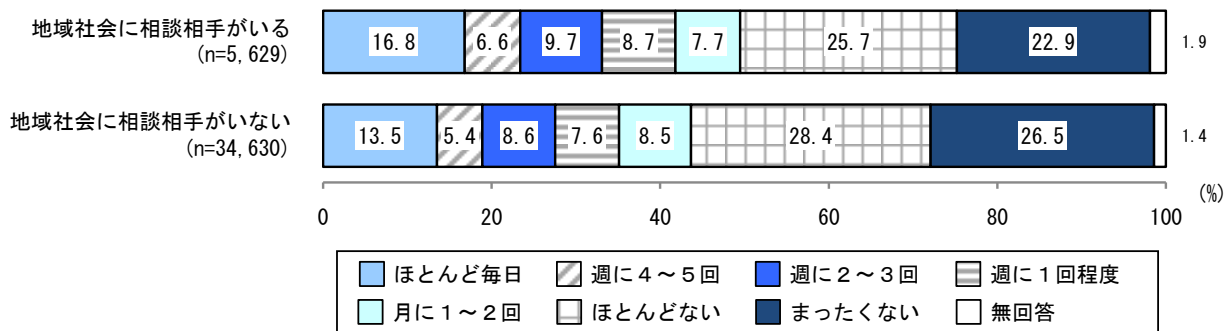


図 155. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、家の手伝いをしているかを見ても、大きな差はみられない。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（保護者票問 19×子ども票問 8⑤）

<大阪府内全体>



<摂津市>

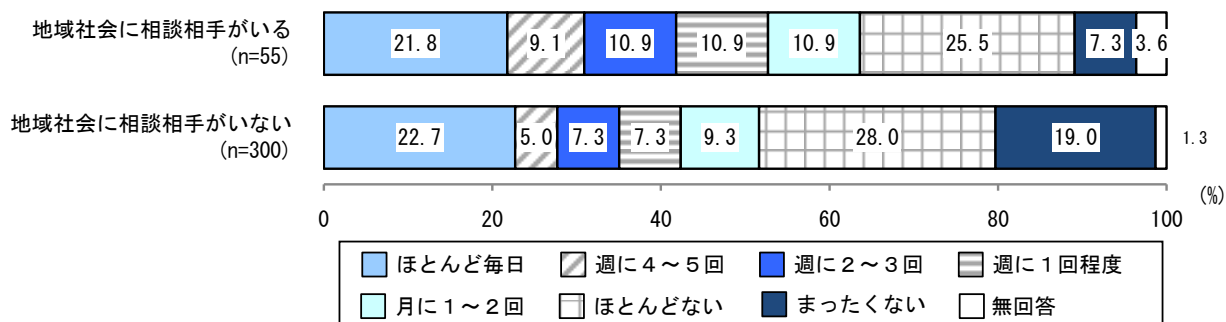
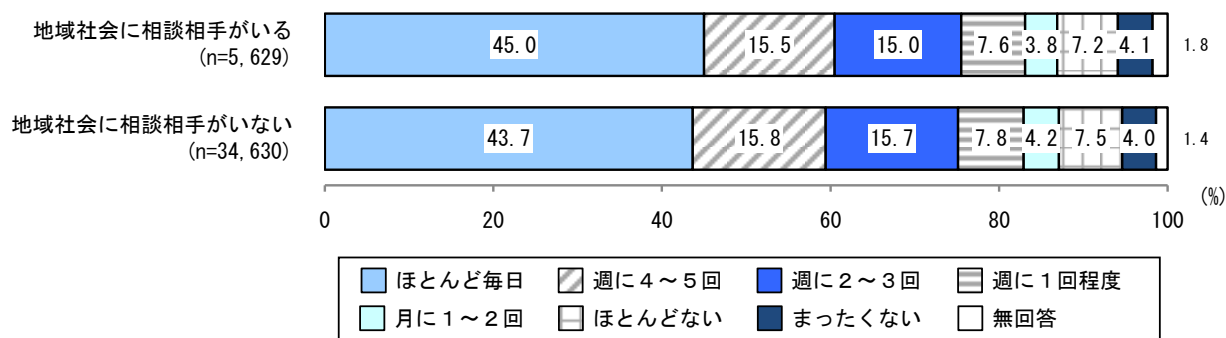


図 156. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりもおうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっているかに月に1回以上と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑥)

<大阪府内全体>



<摂津市>

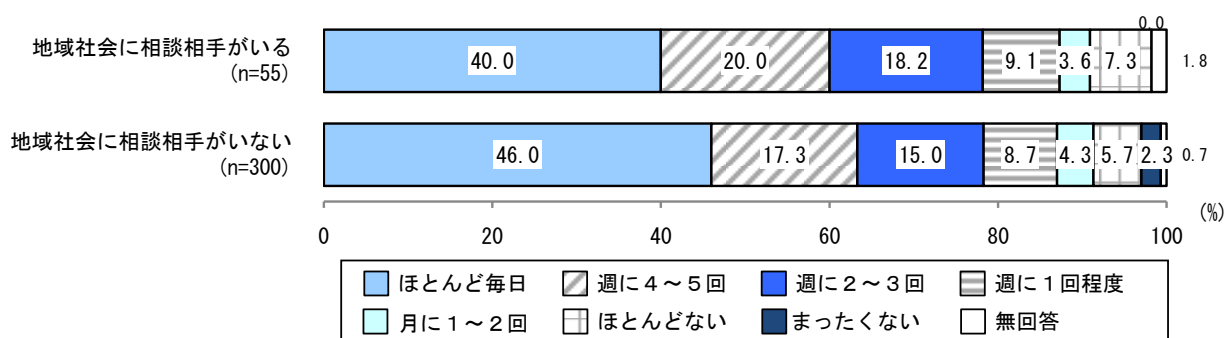
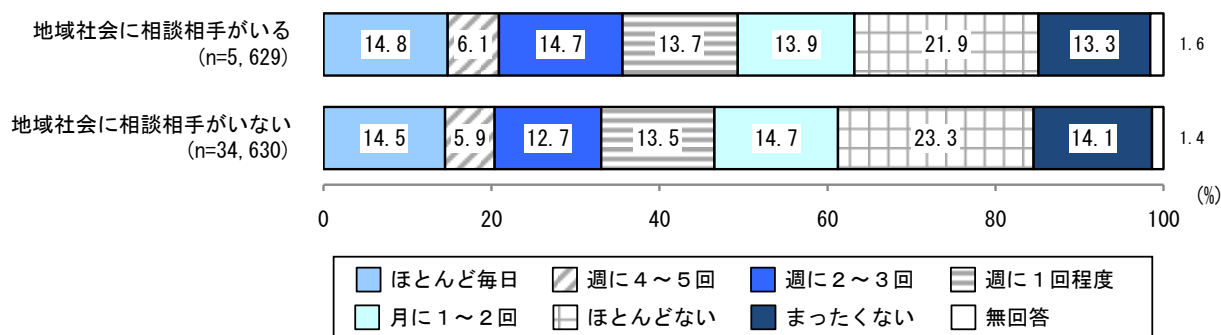


図 157. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がない」人の方が、「地域社会に相談相手がいる」人よりも、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑦)

<大阪府内全体>



<摂津市>

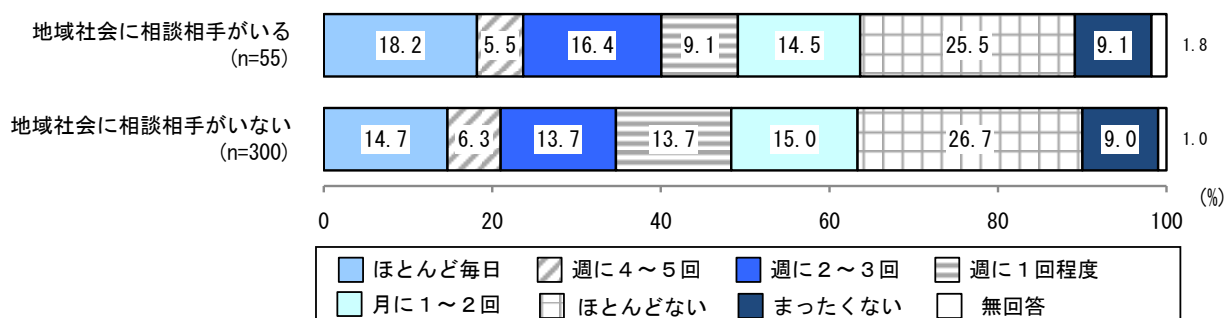
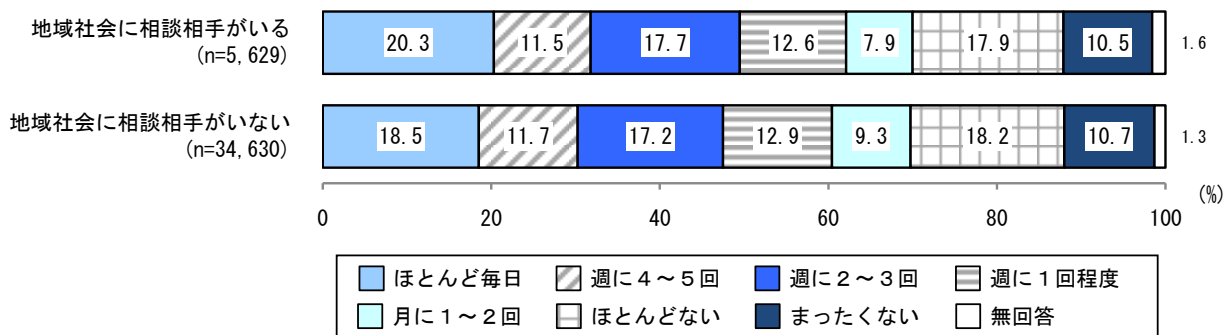


図 158. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりもおうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかに週に2回以上と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか（保護者票問 19×子ども票問 8⑧）

<大阪府内全体>



<摂津市>

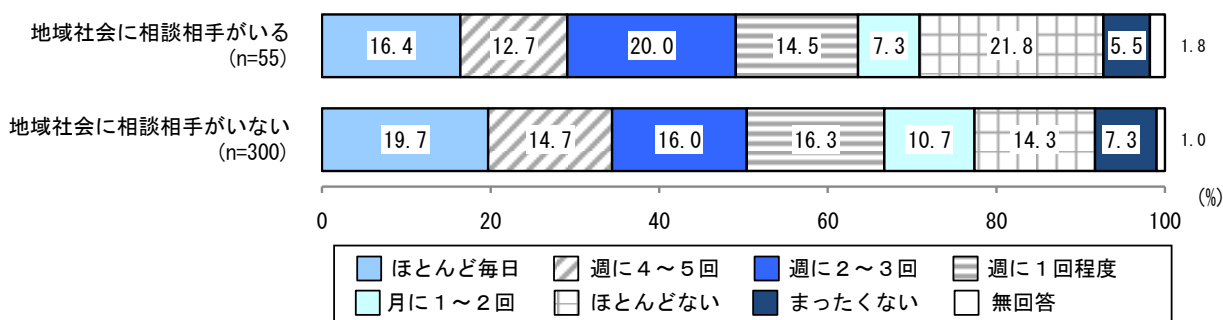
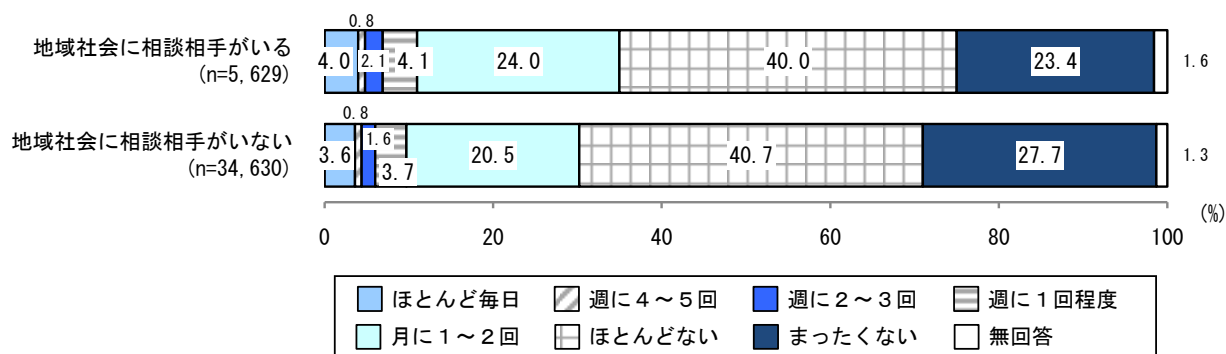


図 159. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がない」人の方が、「地域社会に相談相手がいる」人よりも、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑨)

<大阪府内全体>



<摂津市>

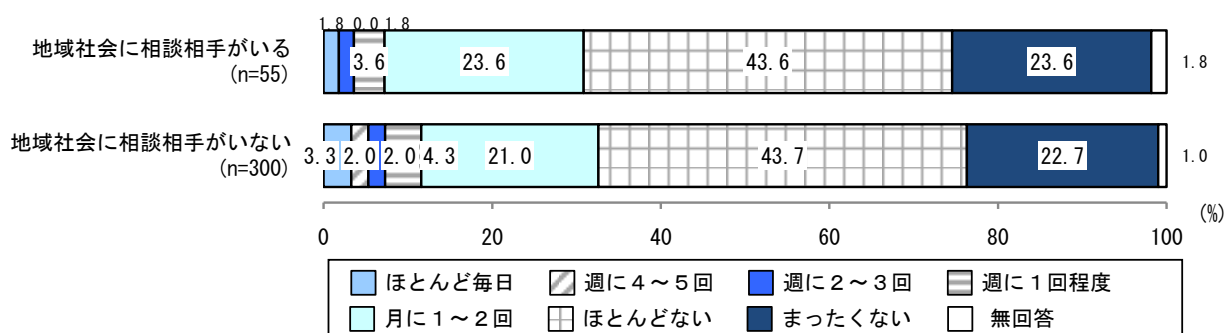
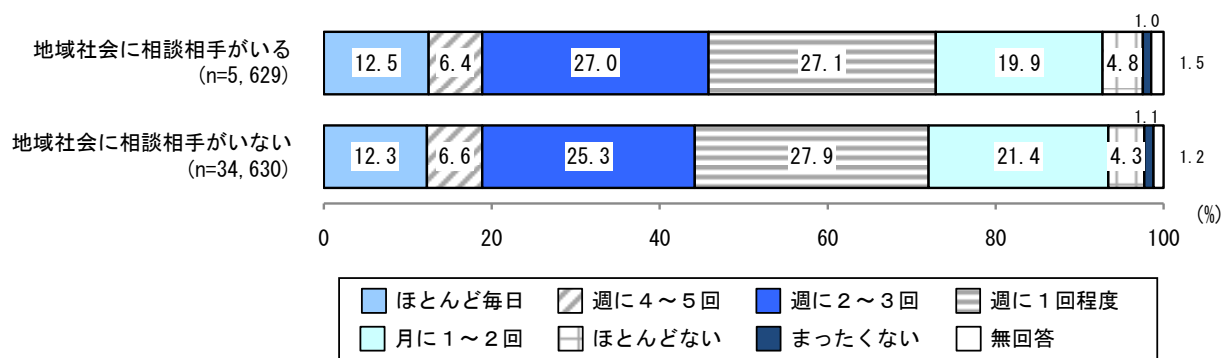


図 160. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするかを見ても、大きな差はみられない。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑩)

<大阪府内全体>



<摂津市>

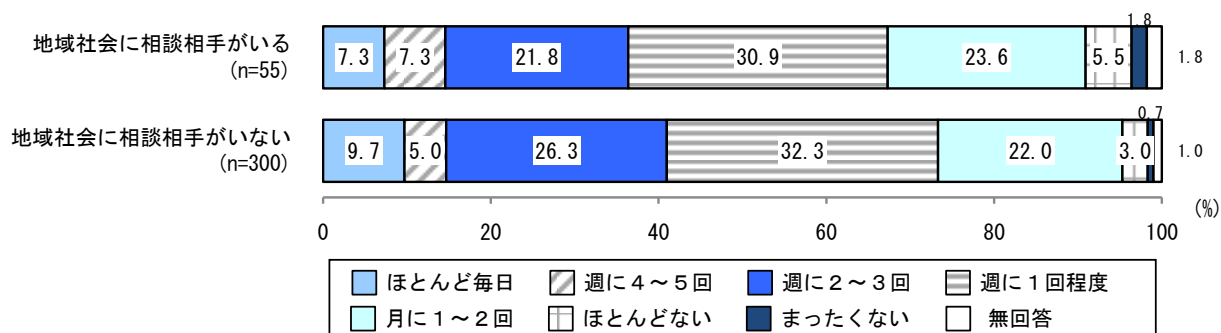
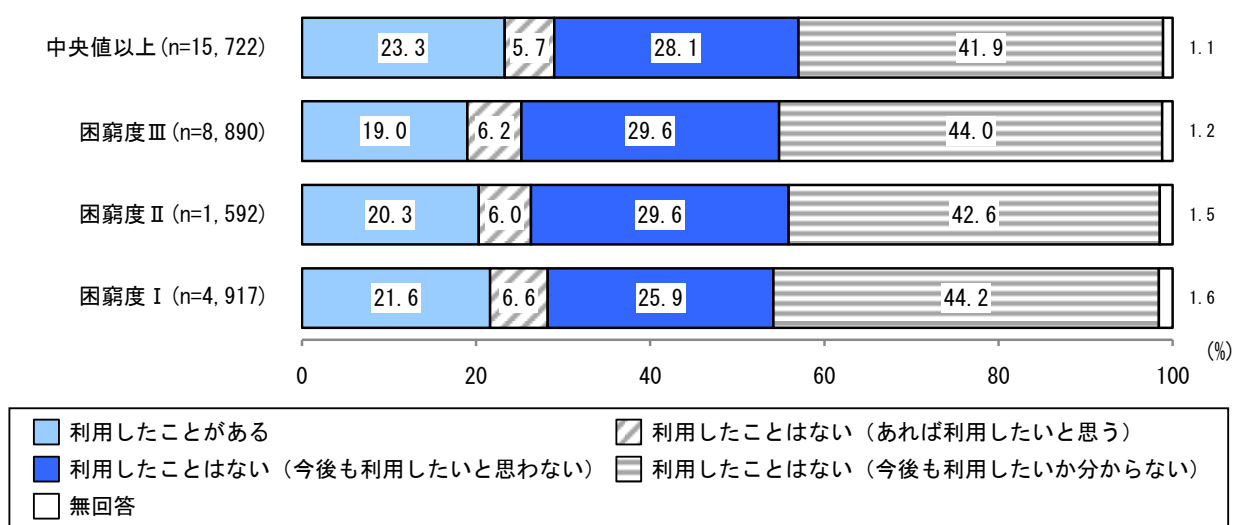


図 161. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「地域社会に相談相手がない」人の方が、「地域社会に相談相手がいる」人よりも、おうちの大人の人と一緒に外出するかに週に1回以上と回答する割合が高かった。

困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども票問 25(1)①）

<大阪府内全体>



<摂津市>

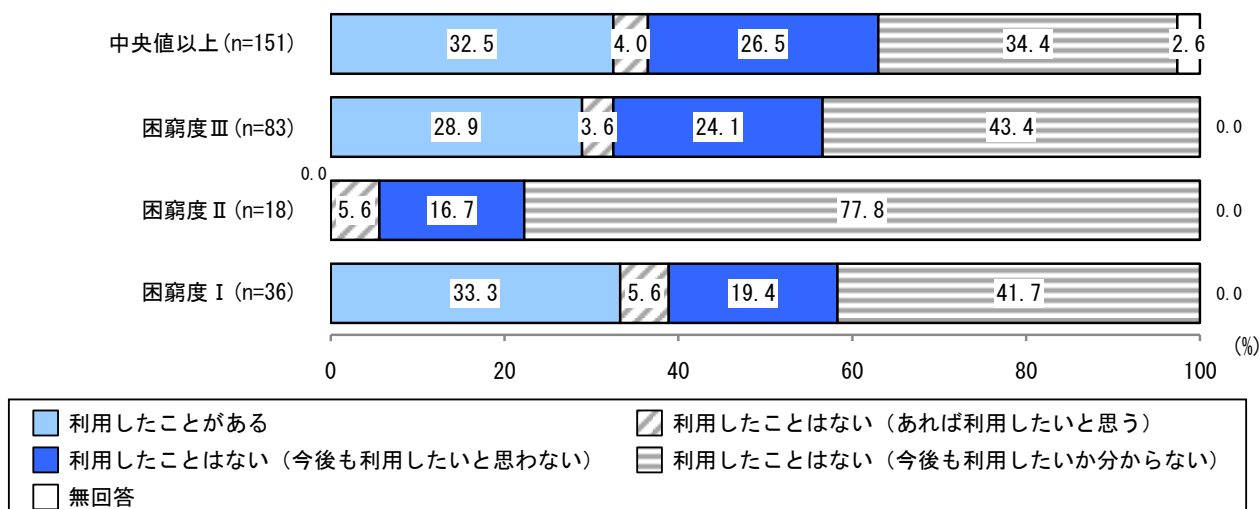
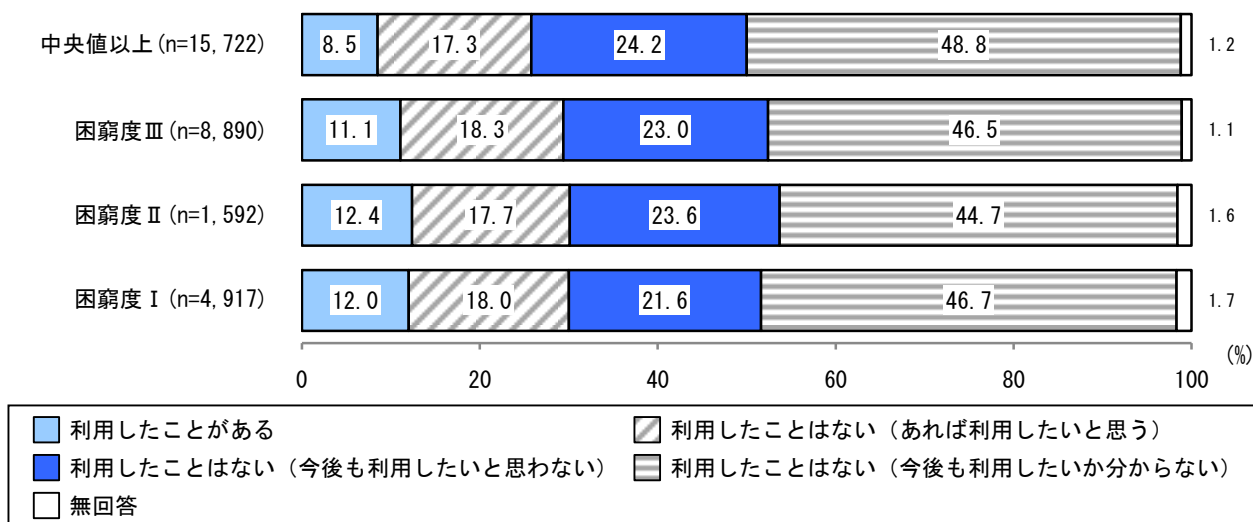


図 162. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

困窮度別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で33.3%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所
(子ども票問 25(1)②)

<大阪府内全体>



<摂津市>

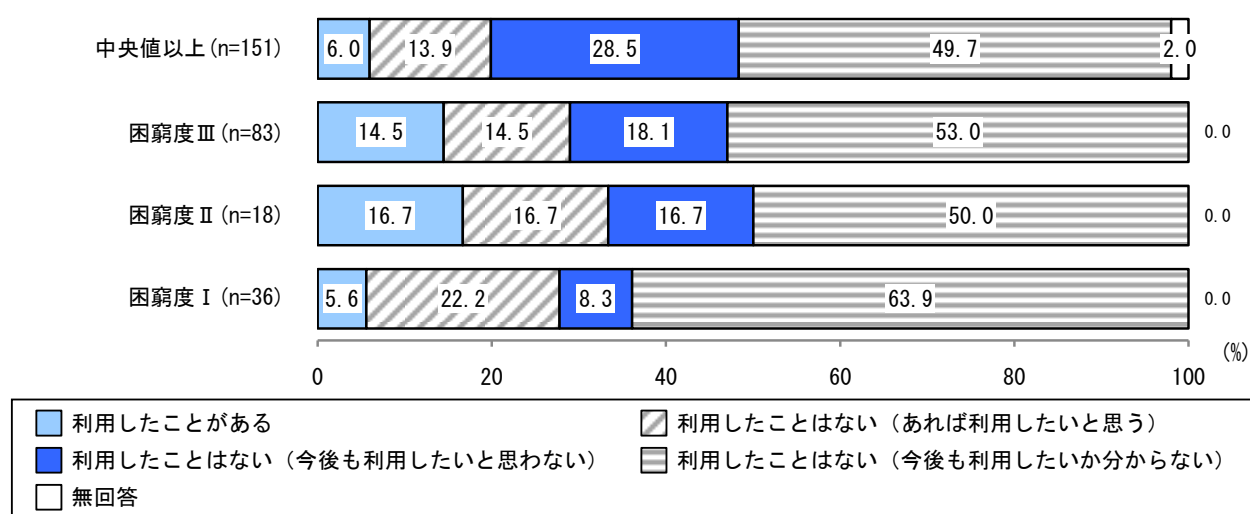
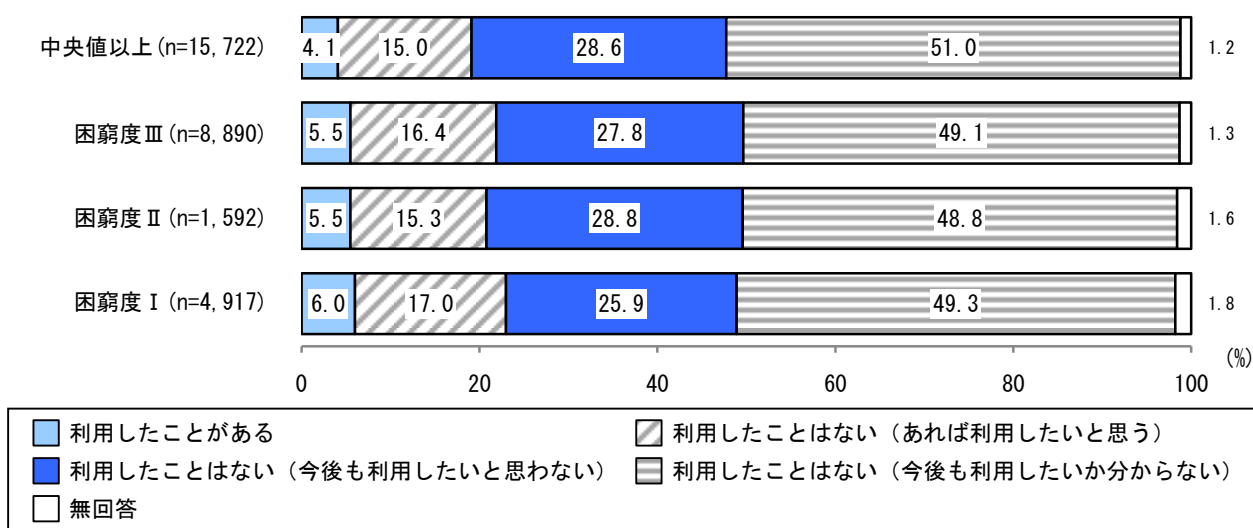


図 163. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

困窮度別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で63.9%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所（子ども票問 25(1)③）

<大阪府内全体>



<摂津市>

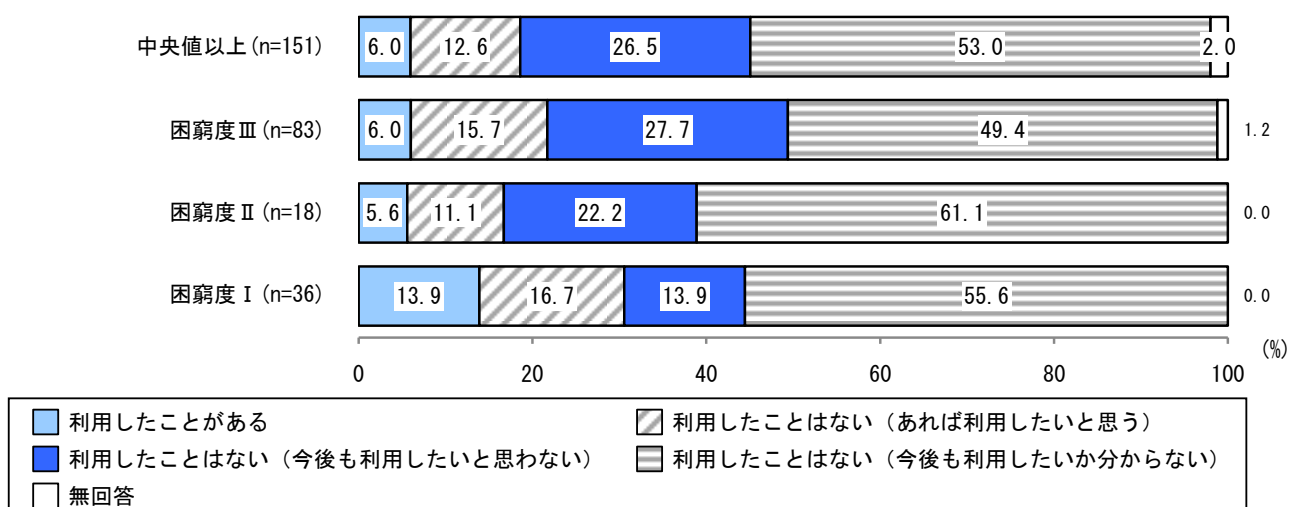
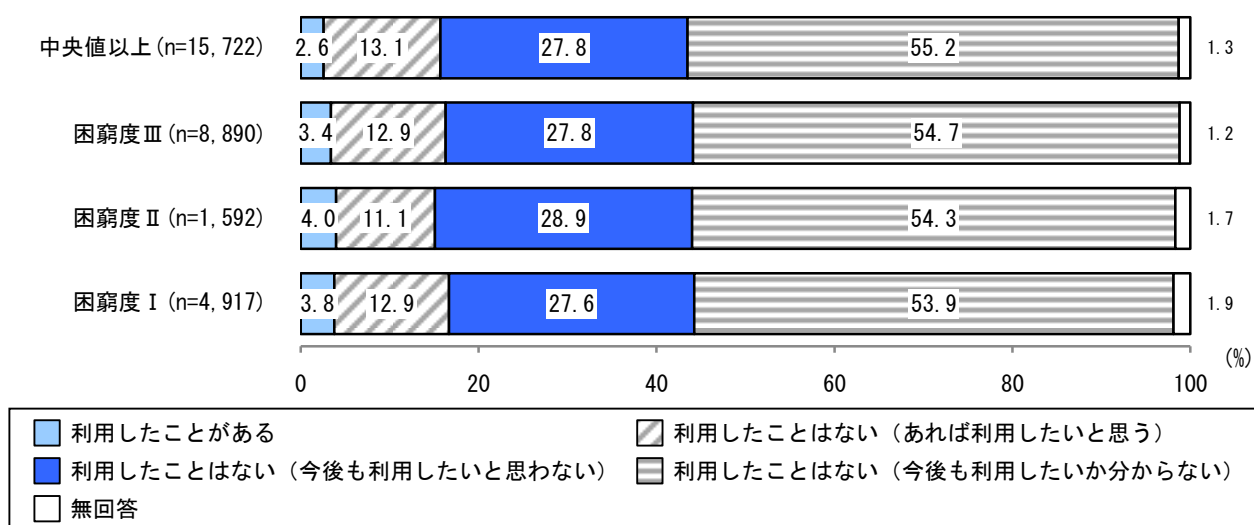


図 164. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所

困窮度別に勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で13.9%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、何でも相談できる場所（子ども票問 25(1)④）

<大阪府内全体>



<摂津市>

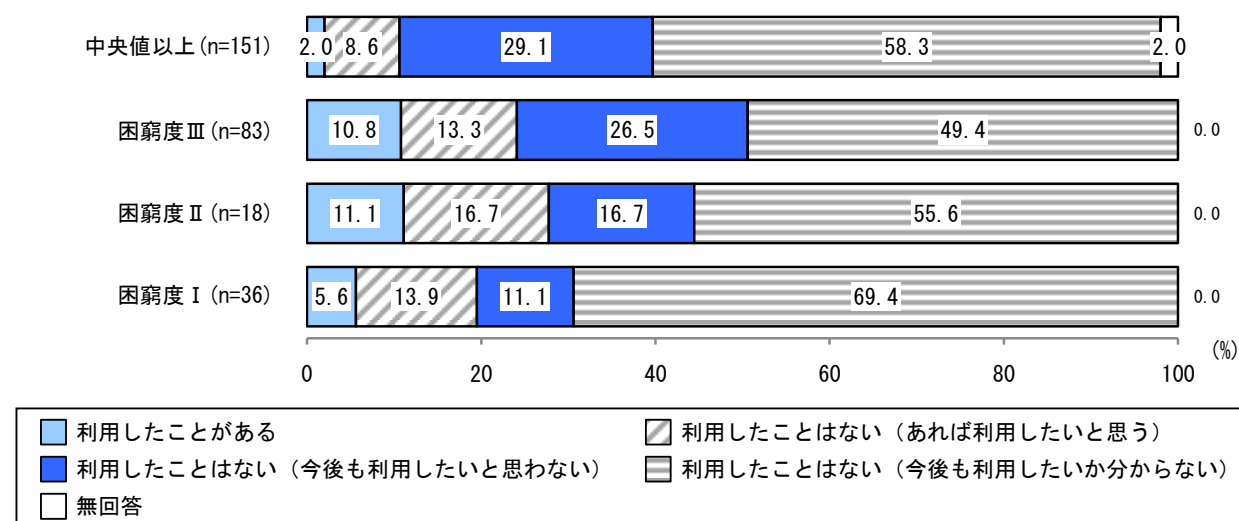
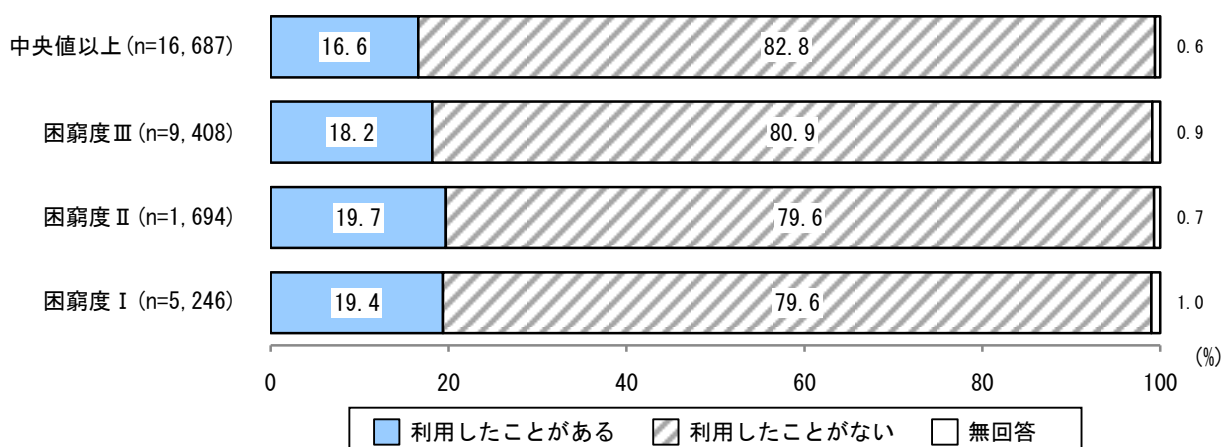


図 165. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所

困窮度別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群で11.1%と最も高くなっている。また、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」は困窮度Ⅰ群で69.4%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験（保護者票問 16(1)）

<大阪府内全体>



<摂津市>

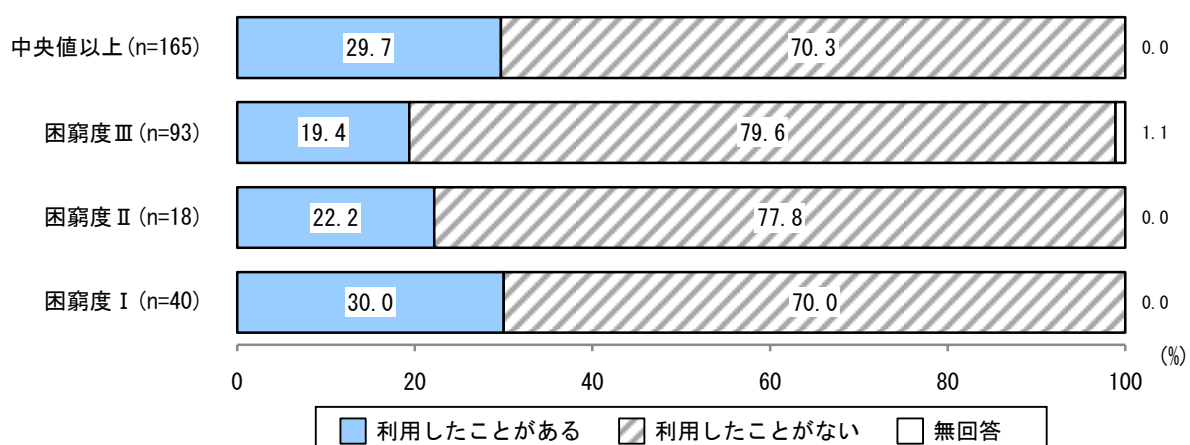
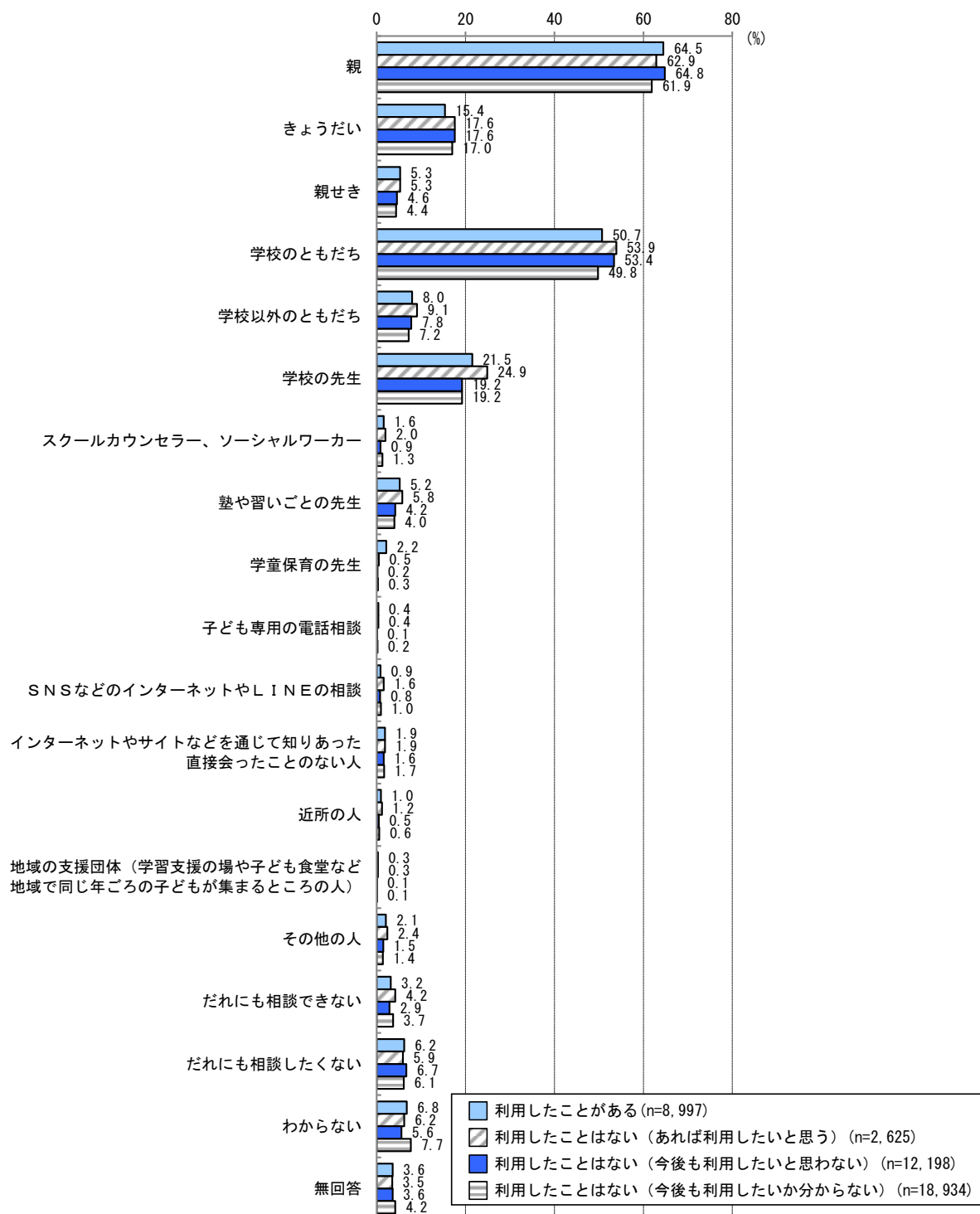


図 166. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験

困窮度別に子どもの居場所の利用経験を見ると、「利用したことがある」と回答する割合は困窮度Ⅰ群が30.0%で最も高く、困窮度Ⅲ群が19.4%で最も低くなっている。

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)①×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<摂津市>

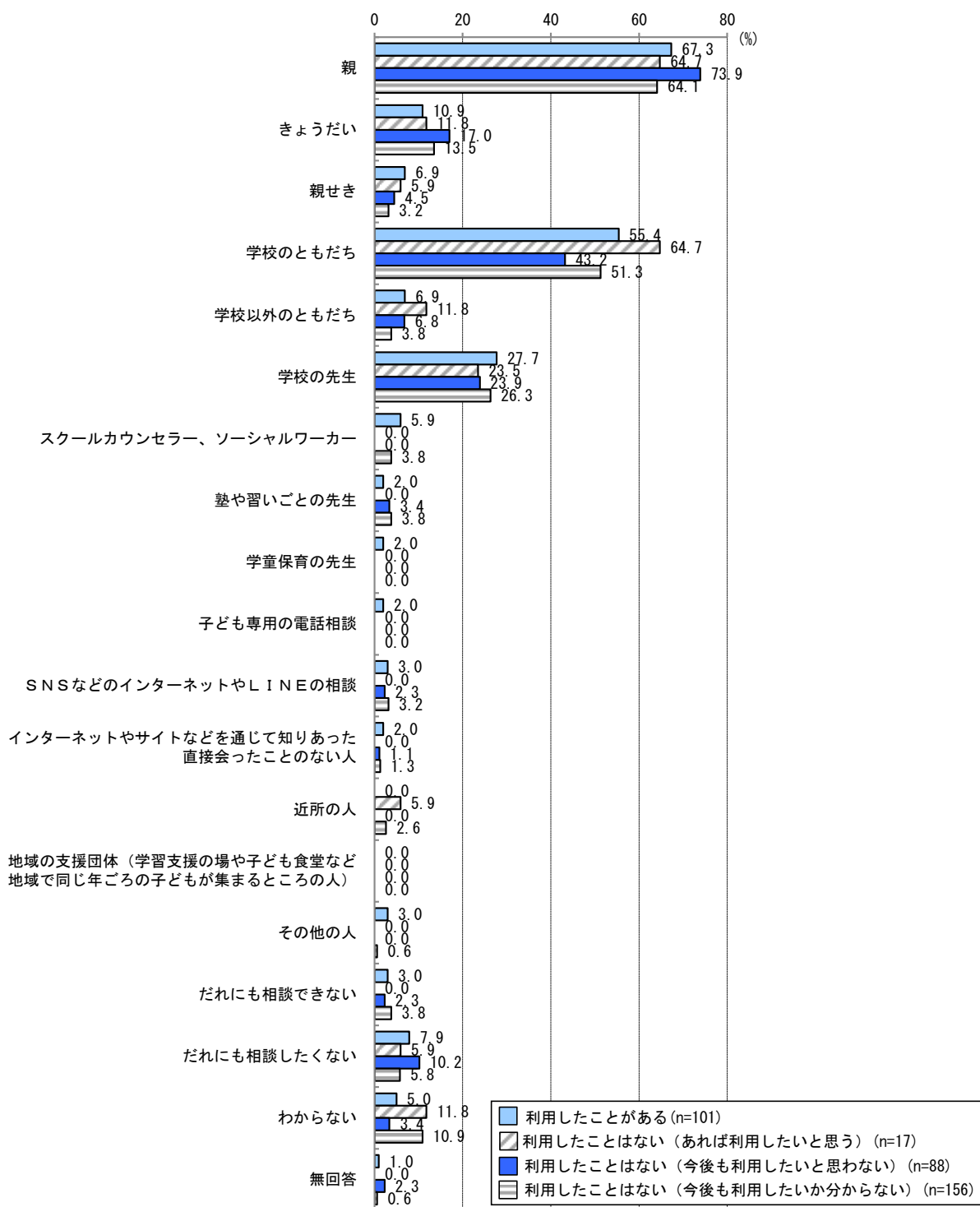
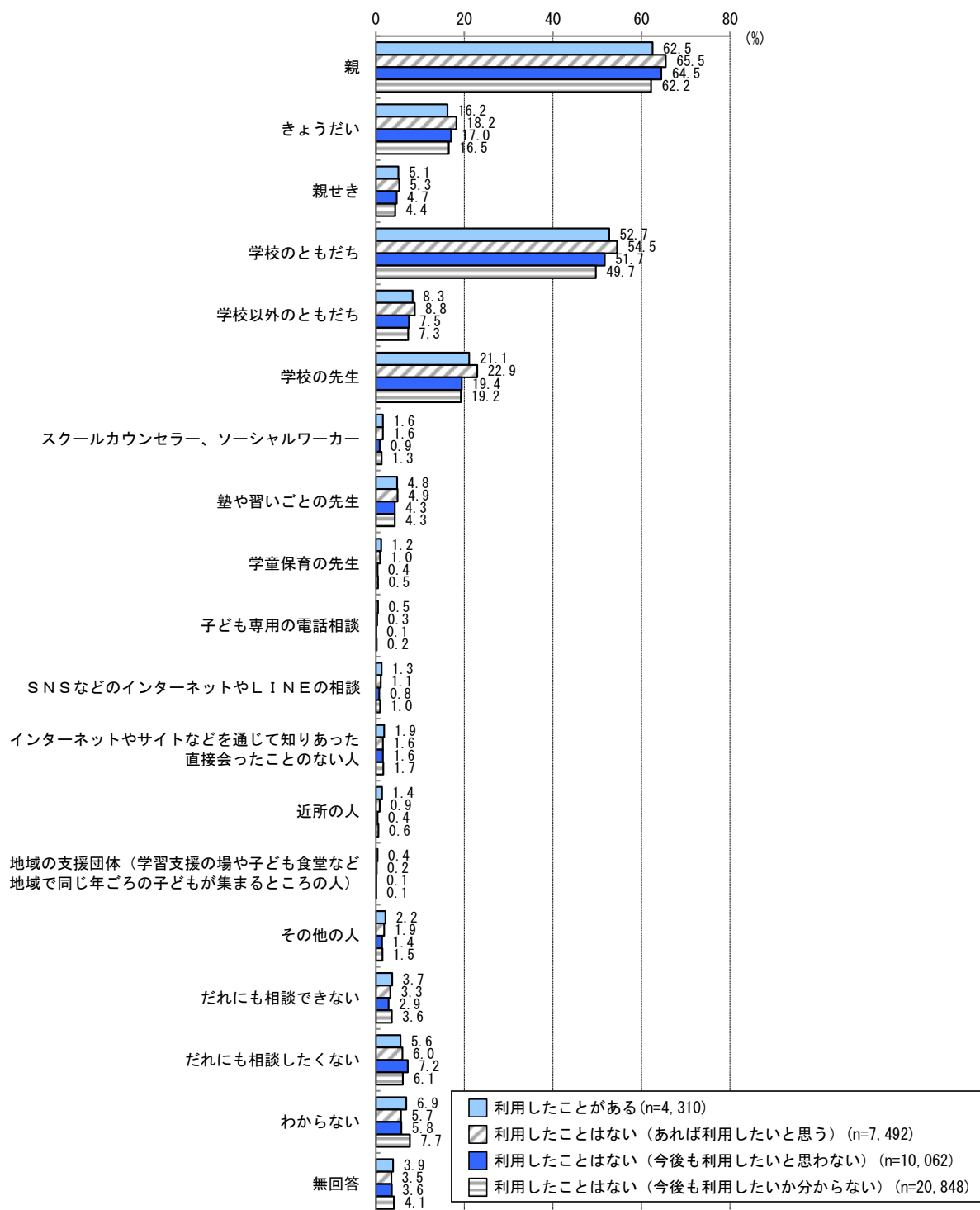


図 167. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」と回答した割合は、「利用したことはない(今後も利用したいと思わない)」と回答した人が73.9%と最も高くなっている。また、「学校のともだち」は「利用したことはない(あれば利用したいと思う)」と回答した人が64.7%と最も高くなっている。

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 25 (1)②×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<摂津市>

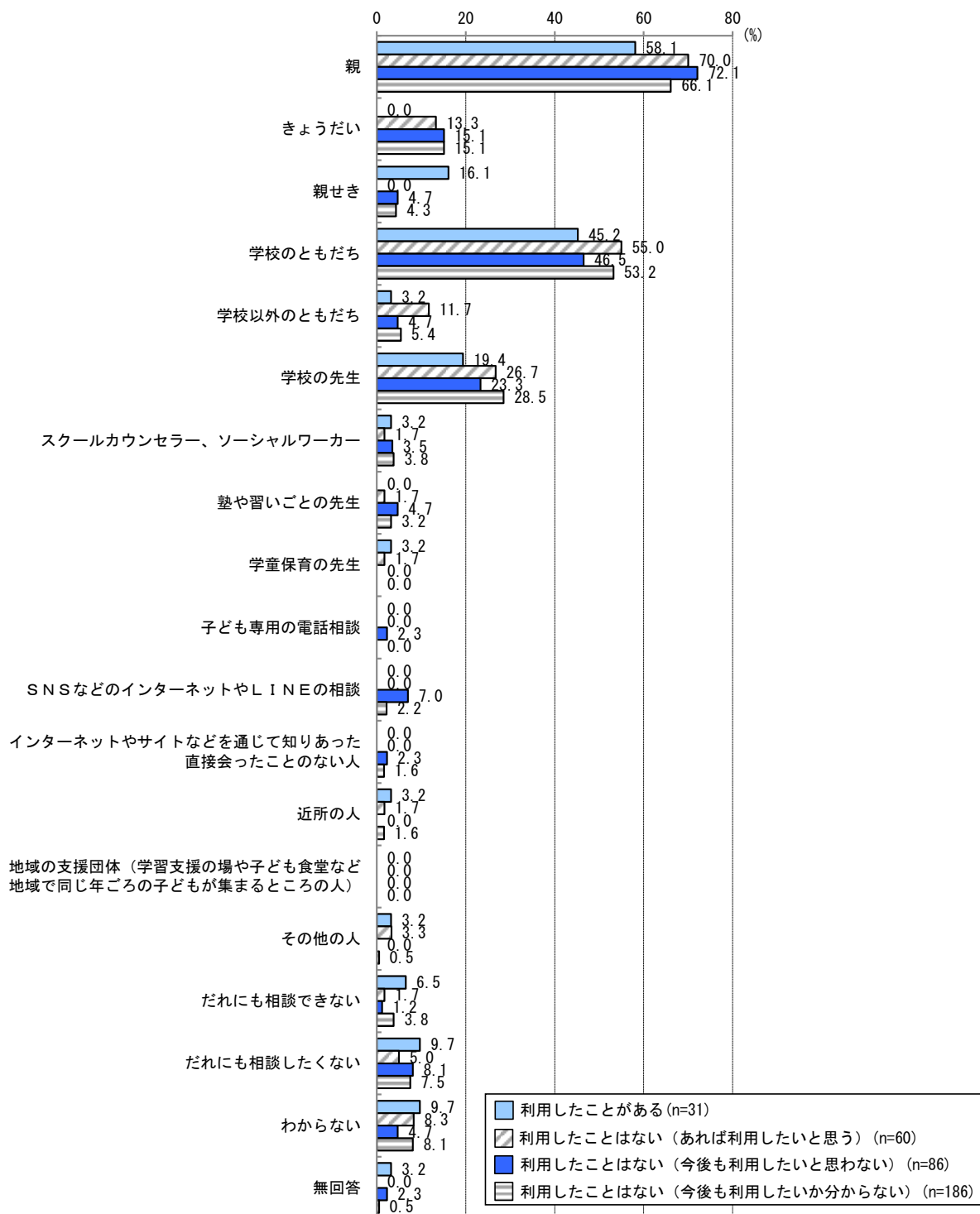
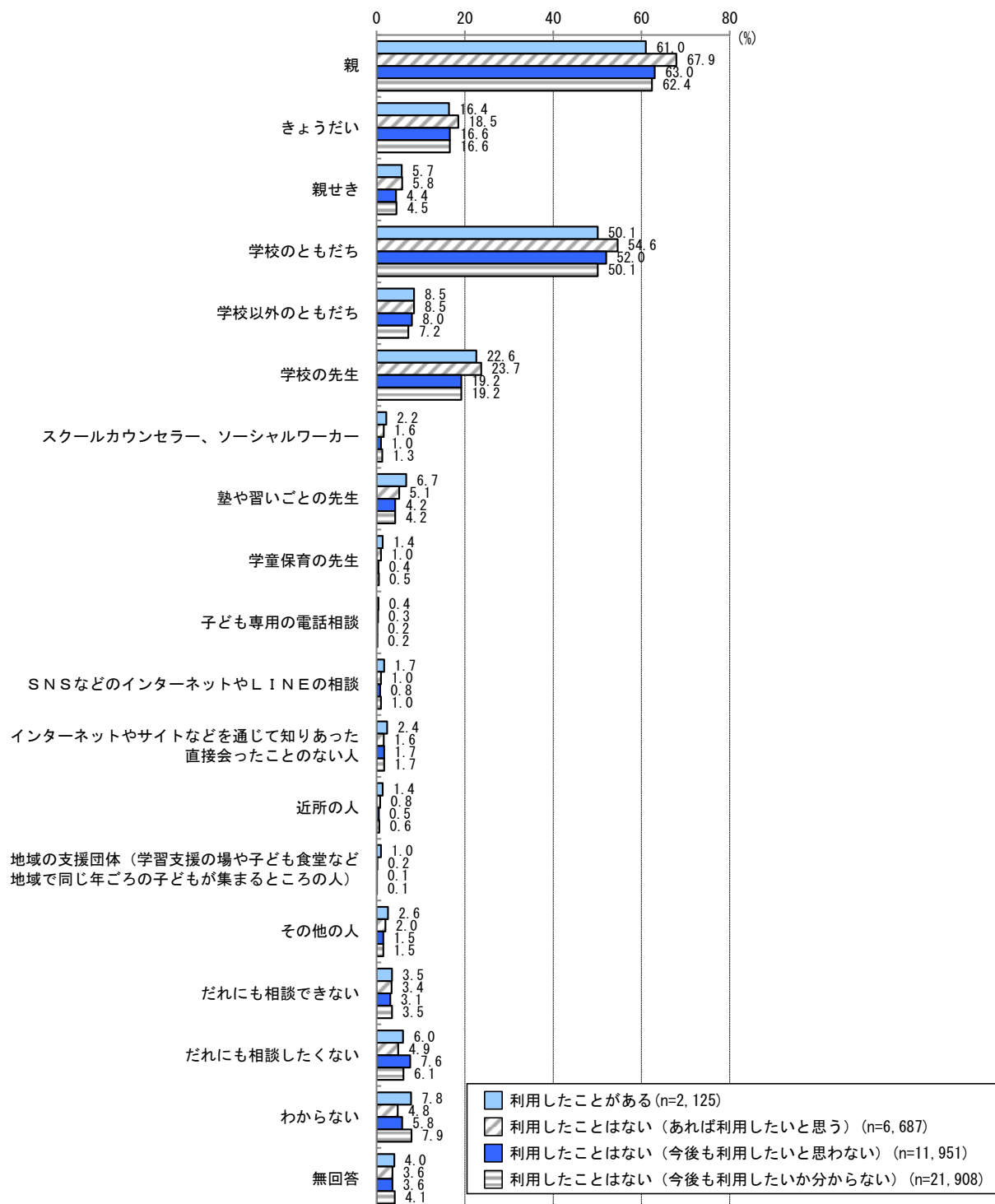


図 168. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)③×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<摂津市>

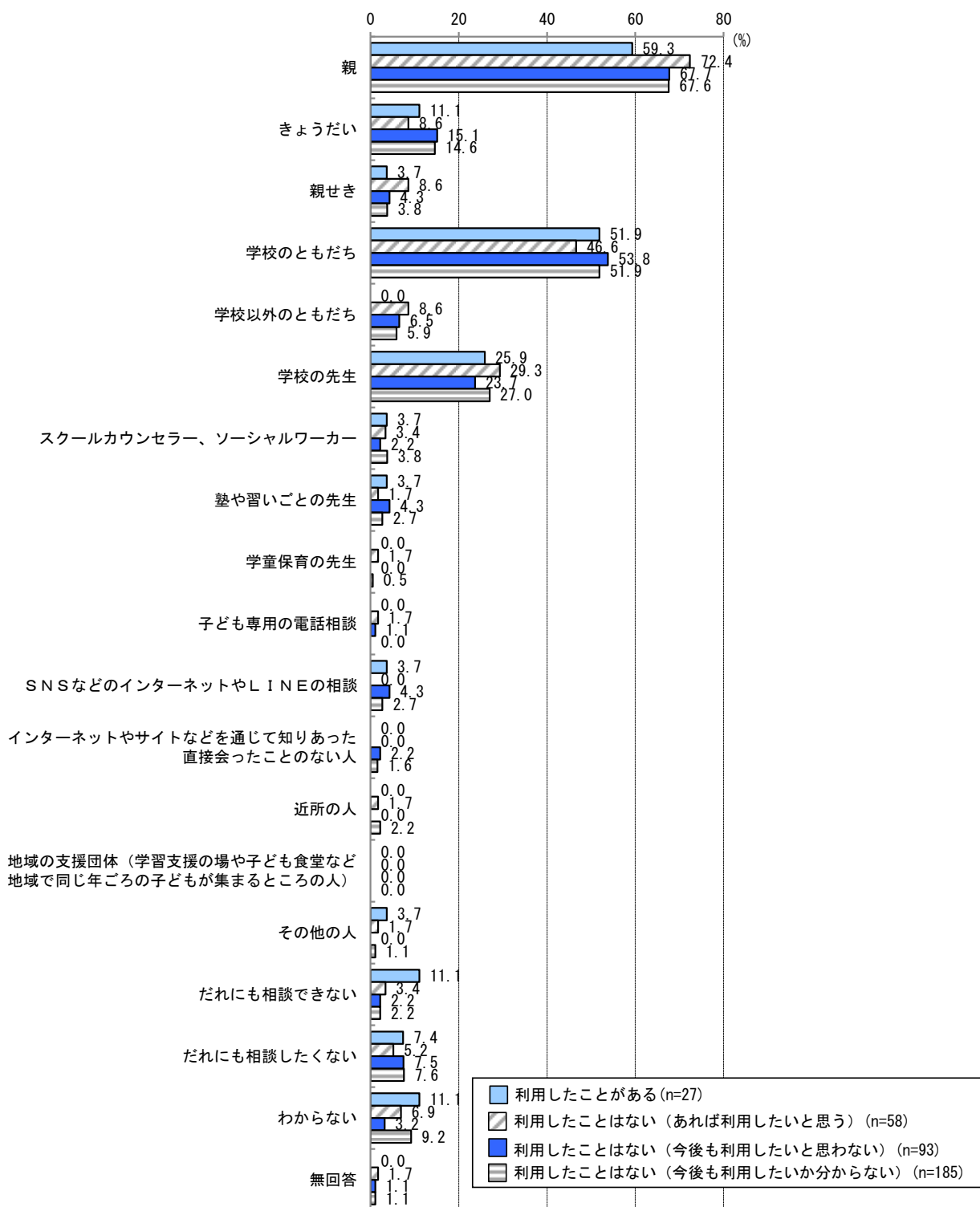
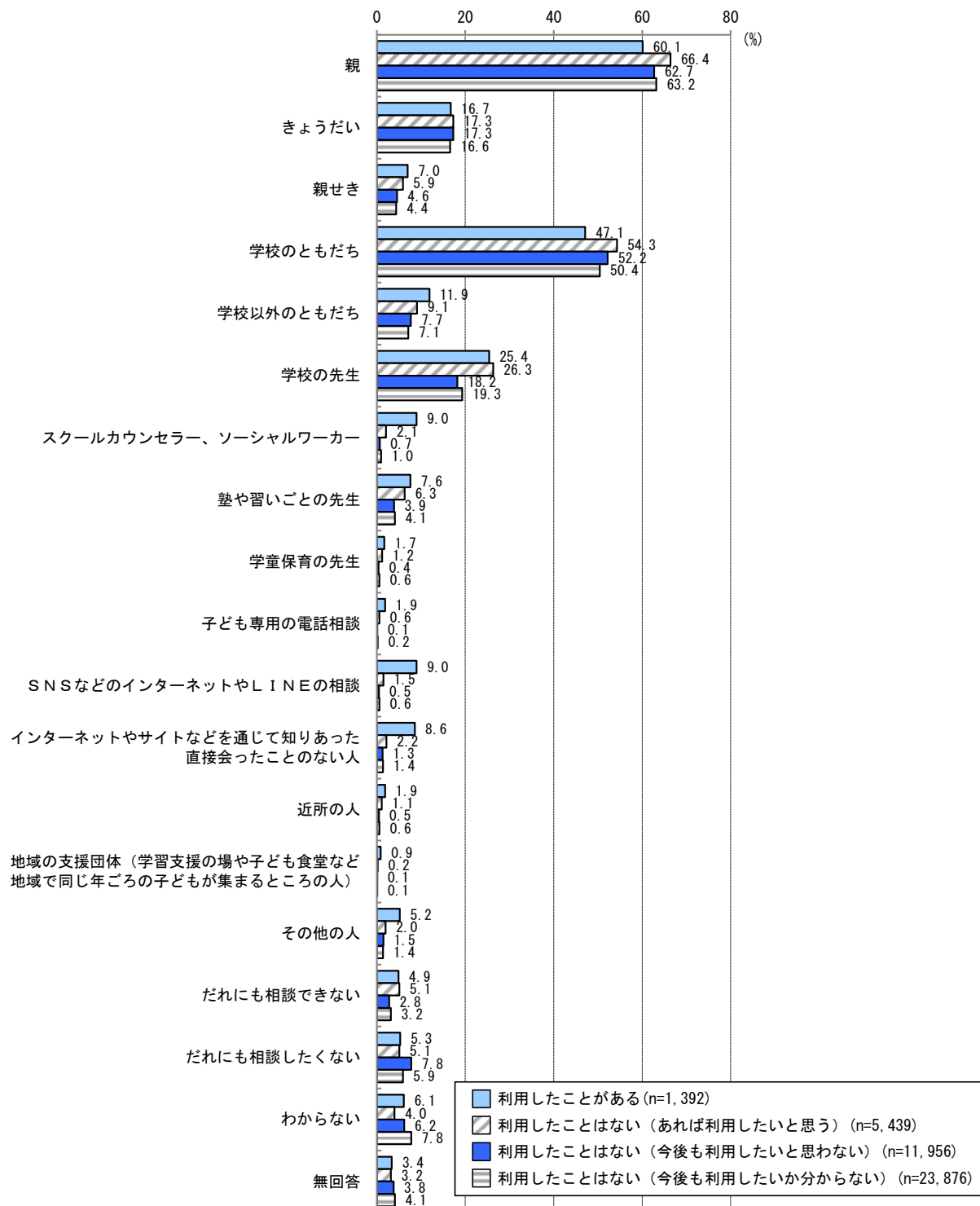


図 169. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手について「だれにも相談できない」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)④×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<摂津市>

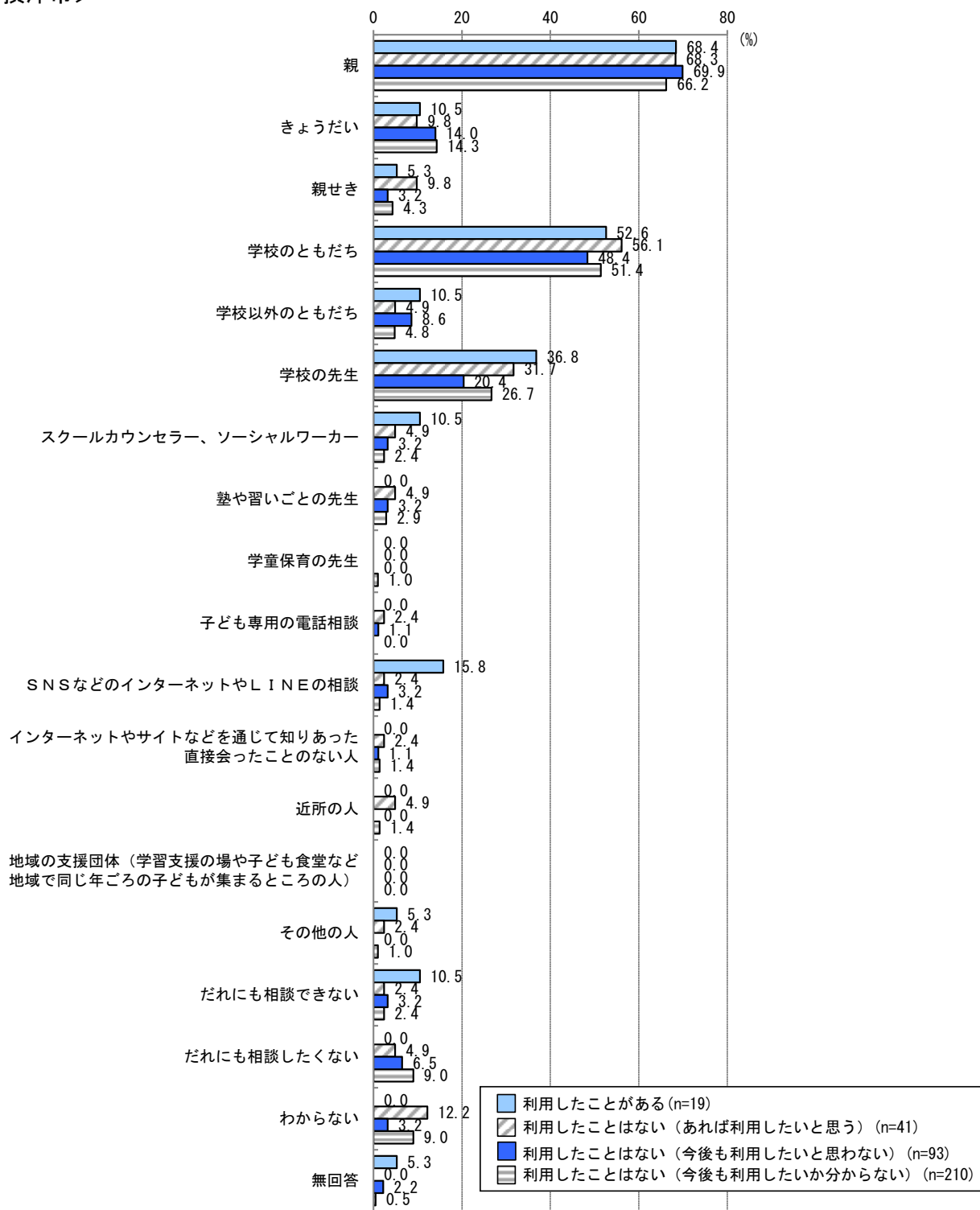
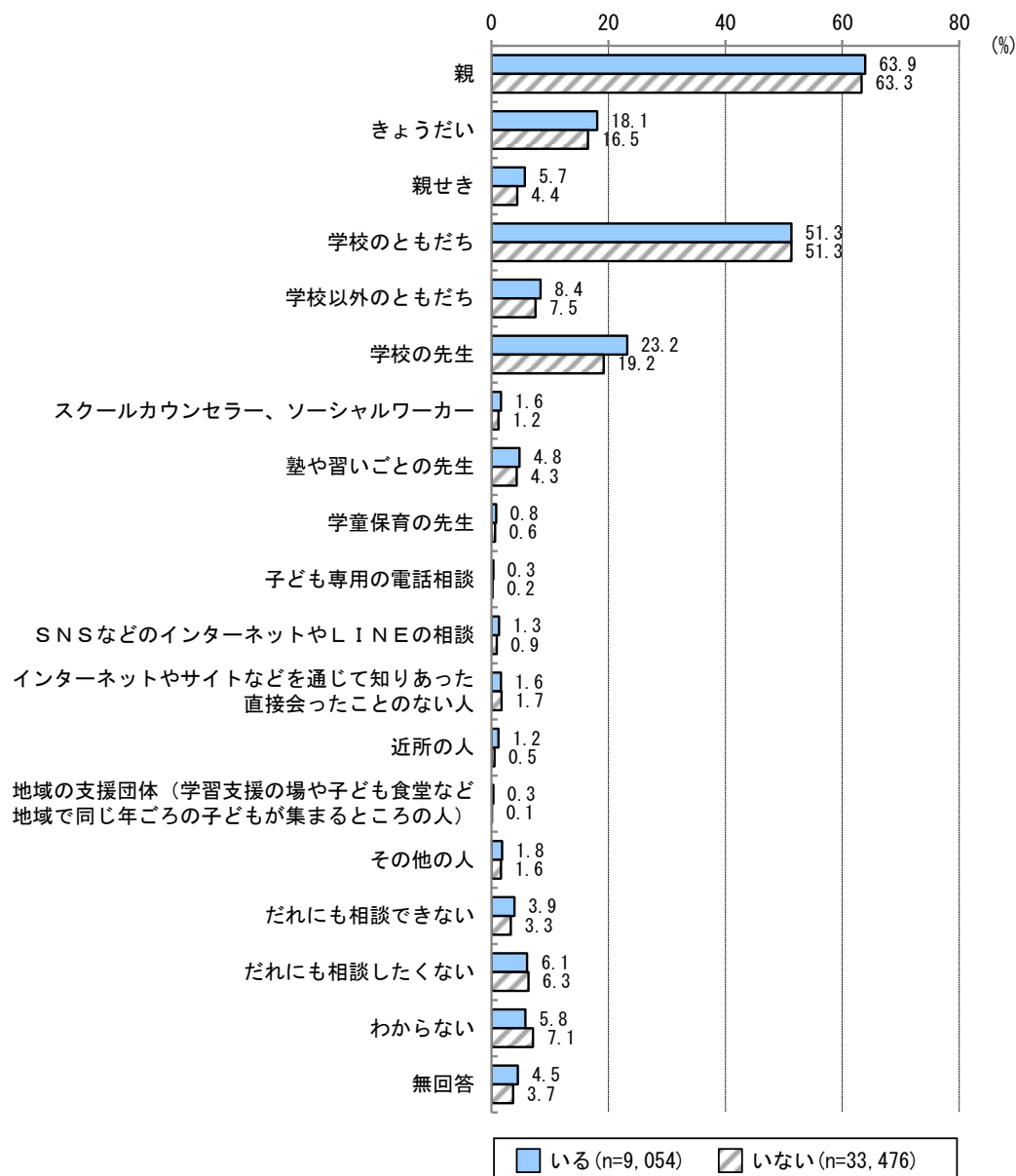


図 170. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

何でも相談できる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「学校以外のともだち」、「学校の先生」、「スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー」、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。一方で、「だれにも相談できない」と回答した割合も、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 18)

<大阪府内全体>



< 摂津市 >

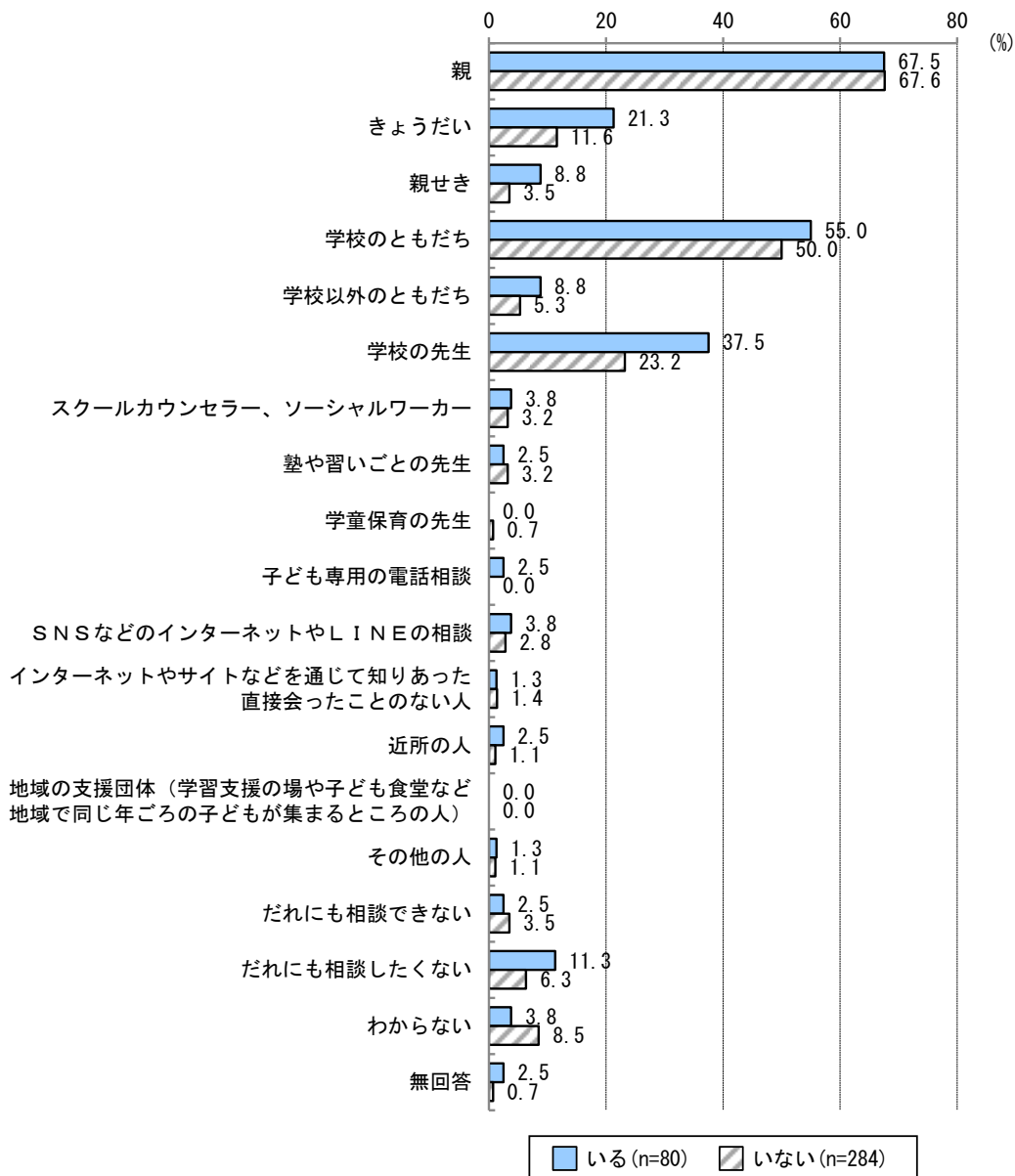
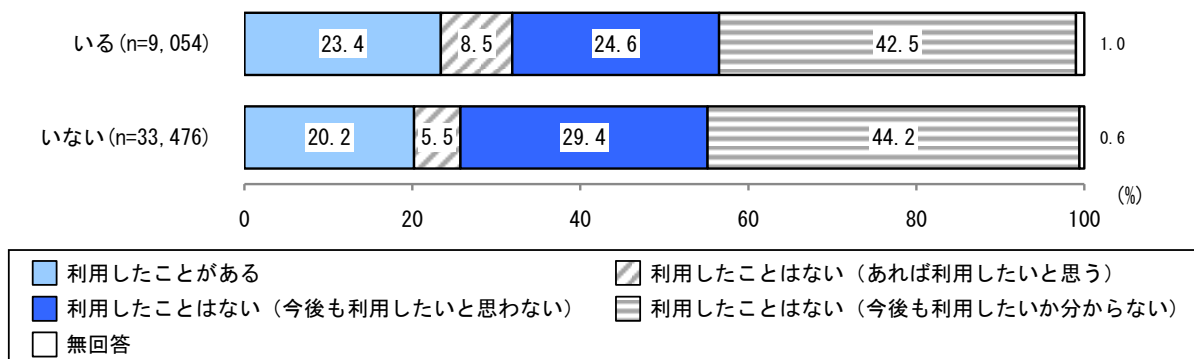


図 171. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

自分が世話をしている人の有無別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手をみると、相談相手が「きょうだい」、「学校のともだち」、「学校の先生」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。一方で、「だれにも相談したくない」と回答した人の割合も、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高く、世話をしている人では11.3%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<摂津市>

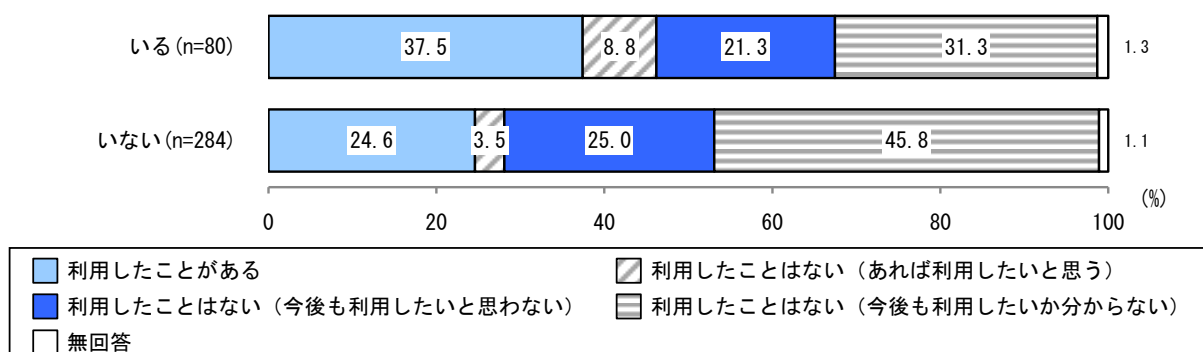
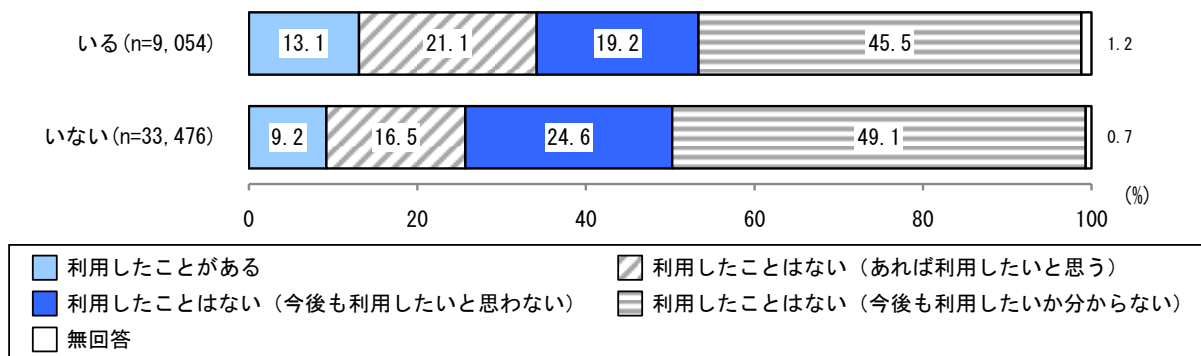


図 172. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

自分が世話をしている人の有無別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、平日の夜や休日を過ごすことができる場所を「利用したことがある」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

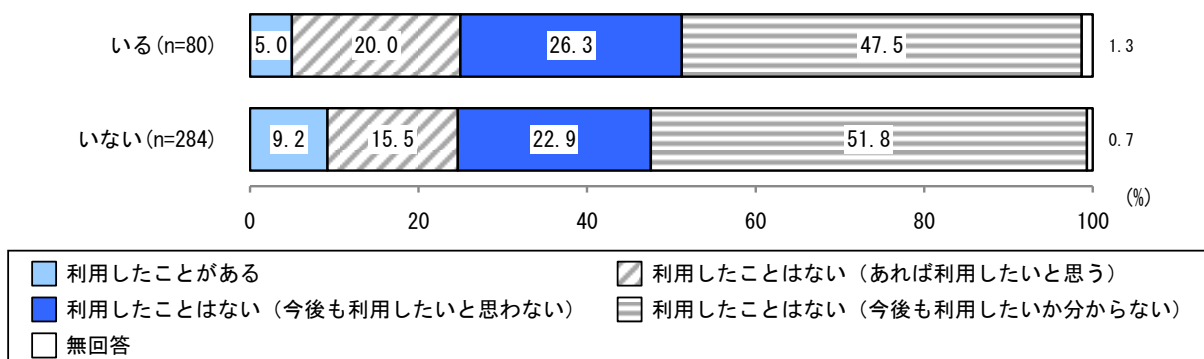
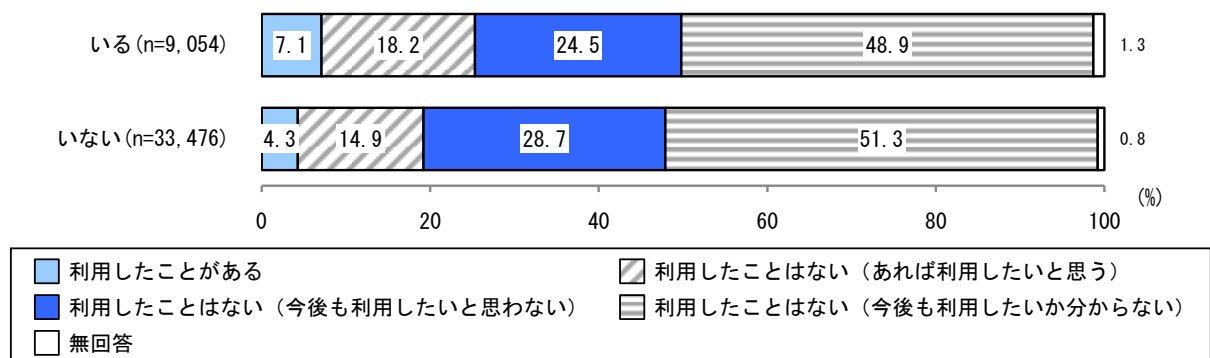


図 173. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

自分が世話をしている人の有無別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいる人よりいない人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<摂津市>

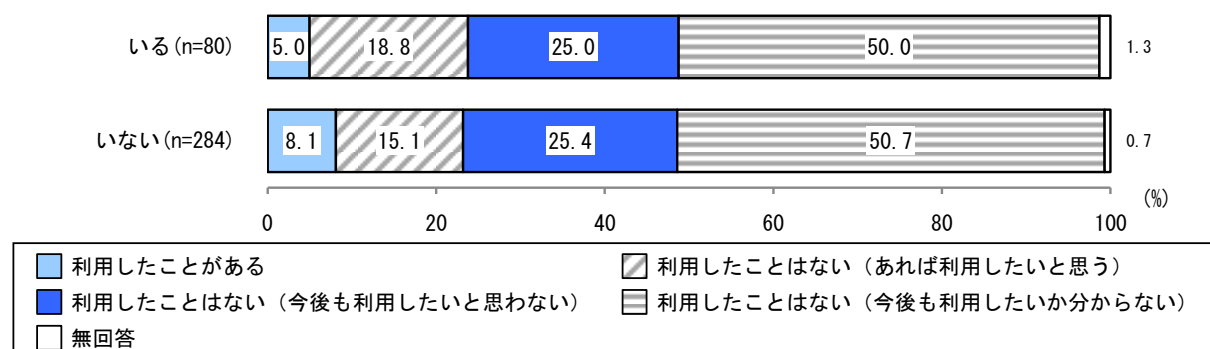
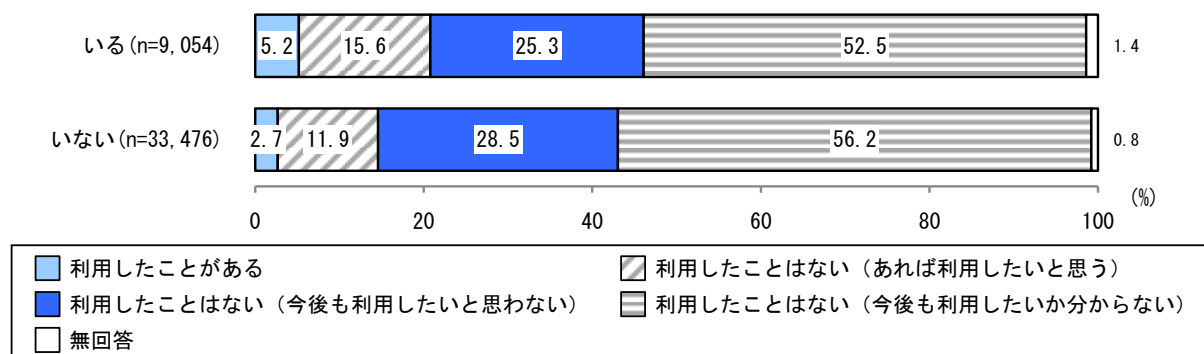


図 174. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所

自分が世話をしている人の有無別に勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所を見ても、大きな差はみられない。

自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<摂津市>

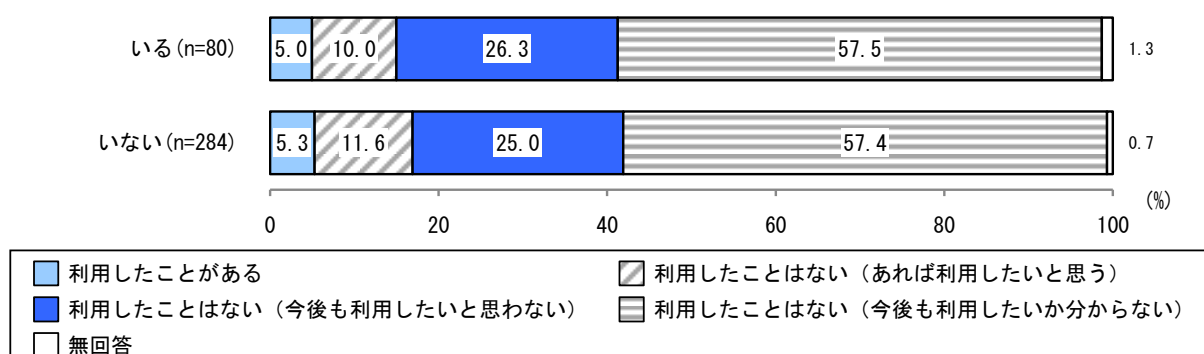
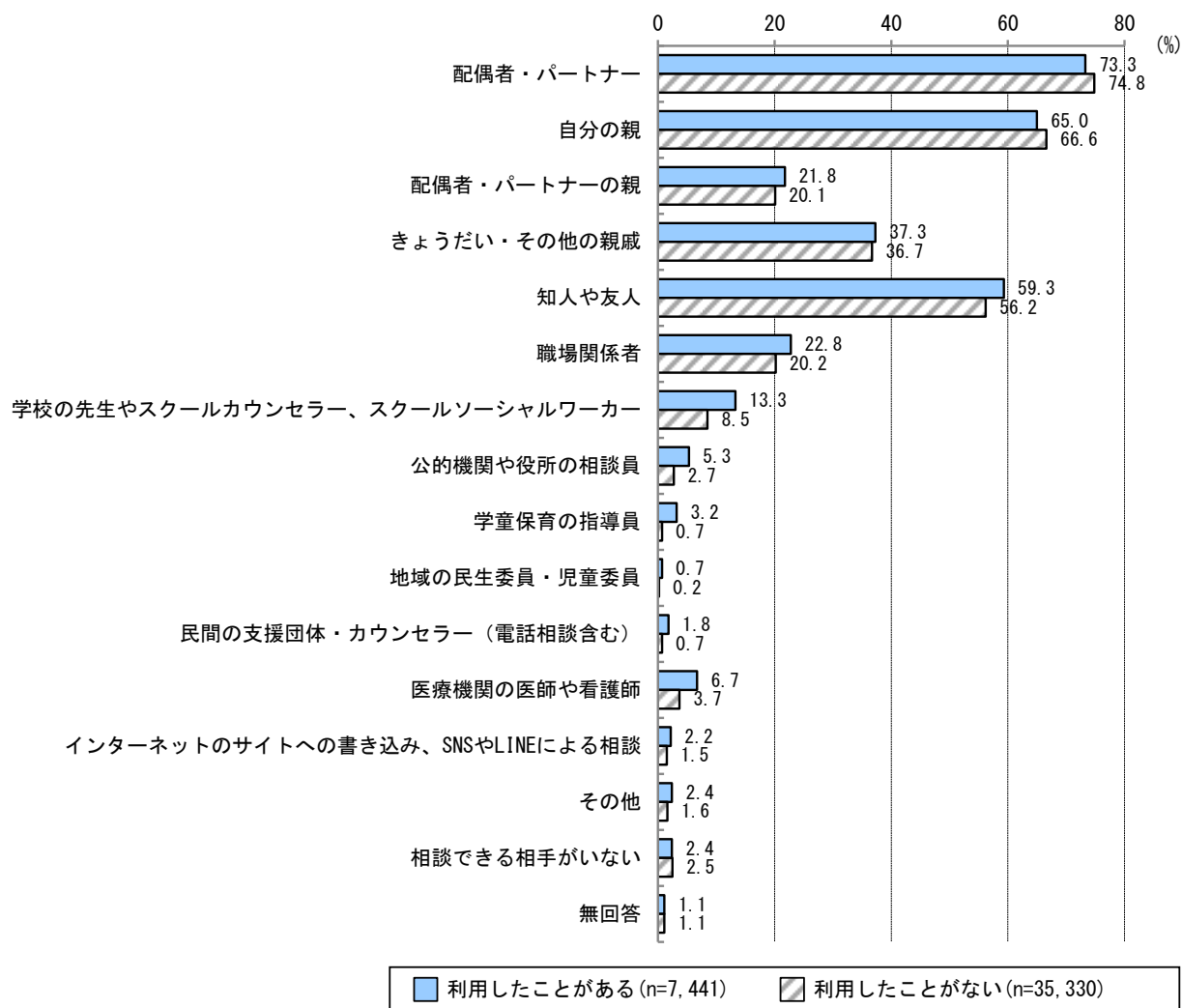


図 175. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所

自分が世話をしている人の有無別に何でも相談できる場所を見ても、大きな差はみられない。

子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 19)

<大阪府内全体>



<摂津市>

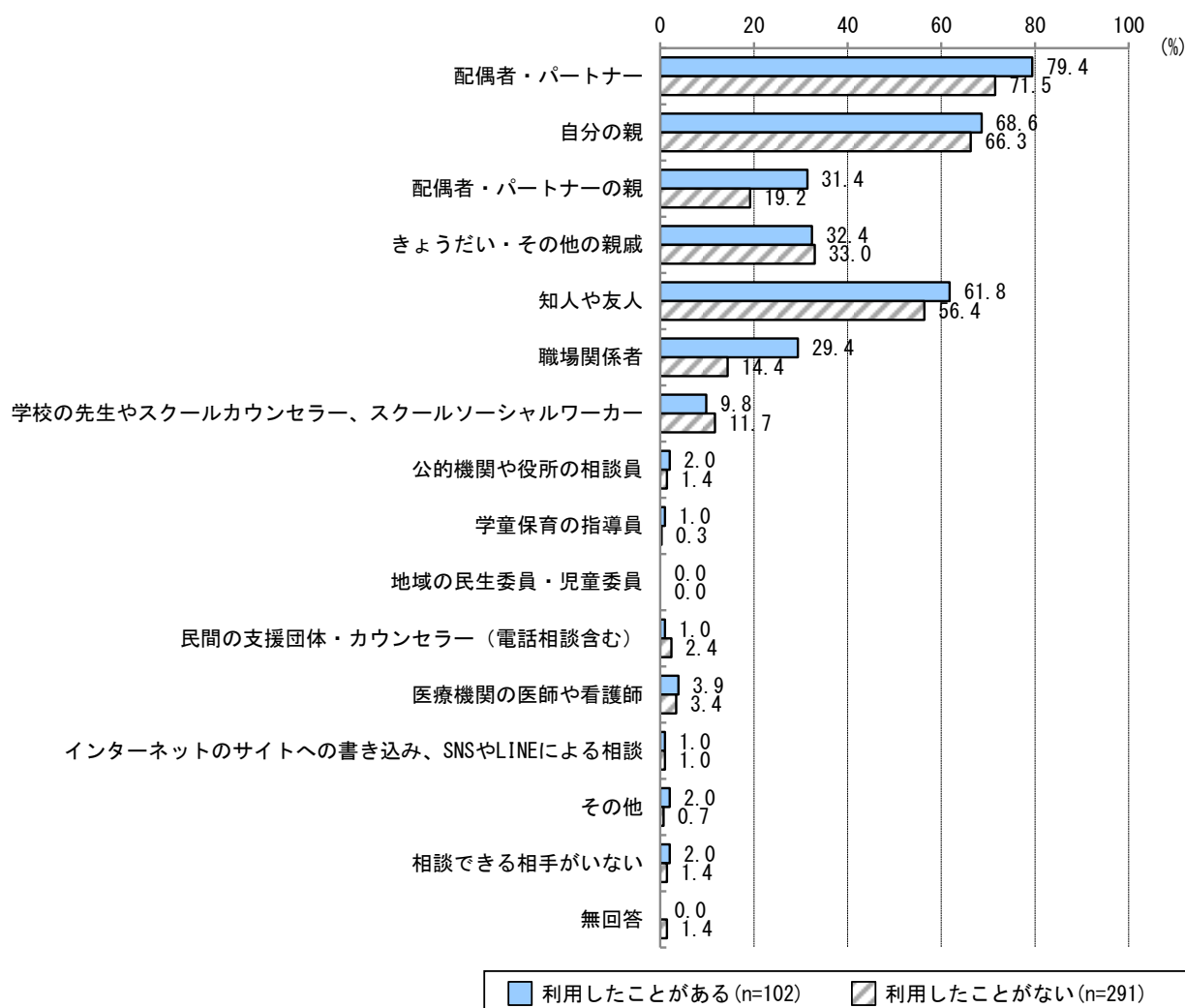
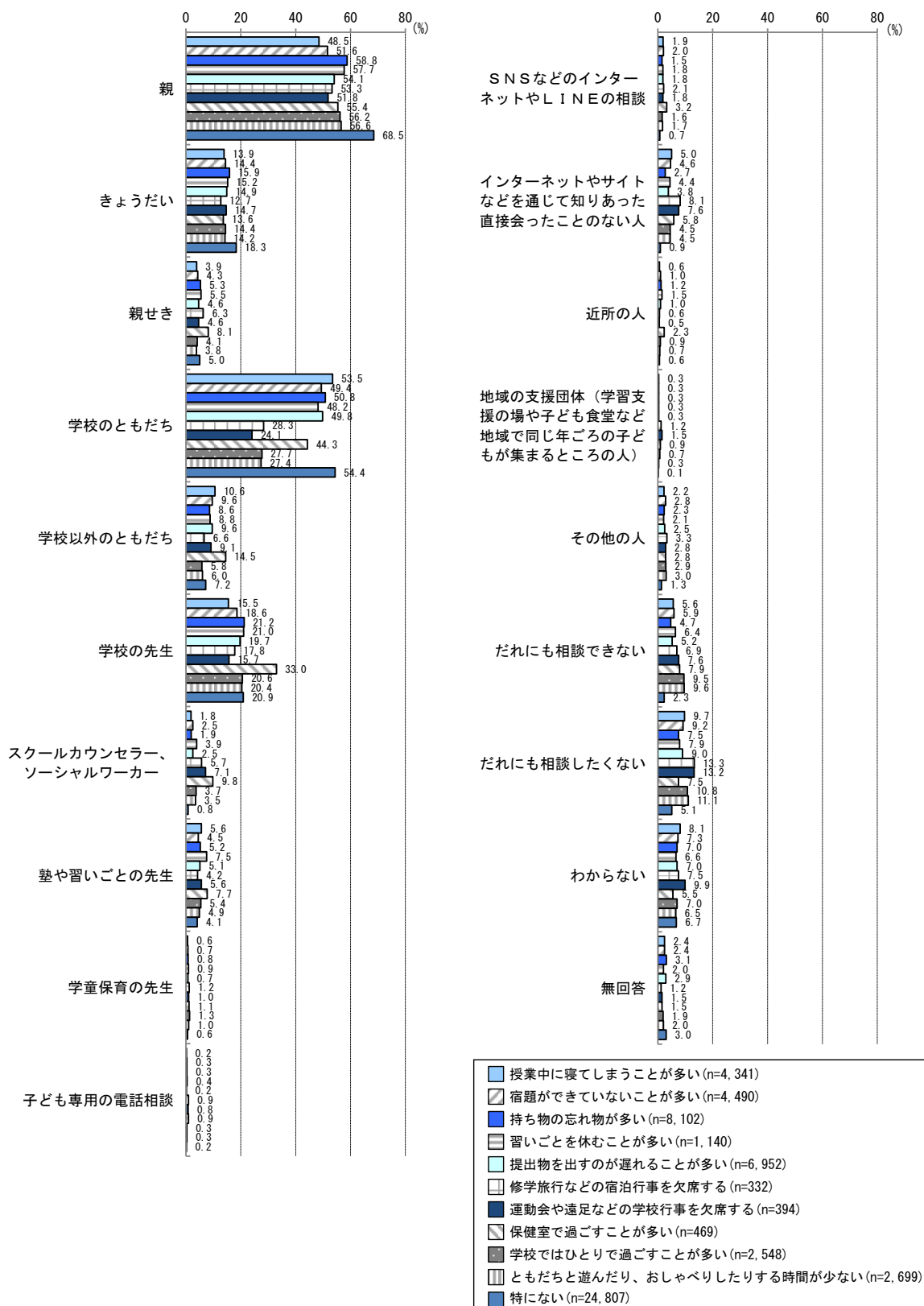


図 176. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

子どもの居場所の利用経験別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」、「配偶者・パートナーの親」、「知人や友人」、「職場関係者」と回答した人の割合は、子どもの居場所を利用したことがない人より利用したことがある人のほうが割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 16×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<摂津市>

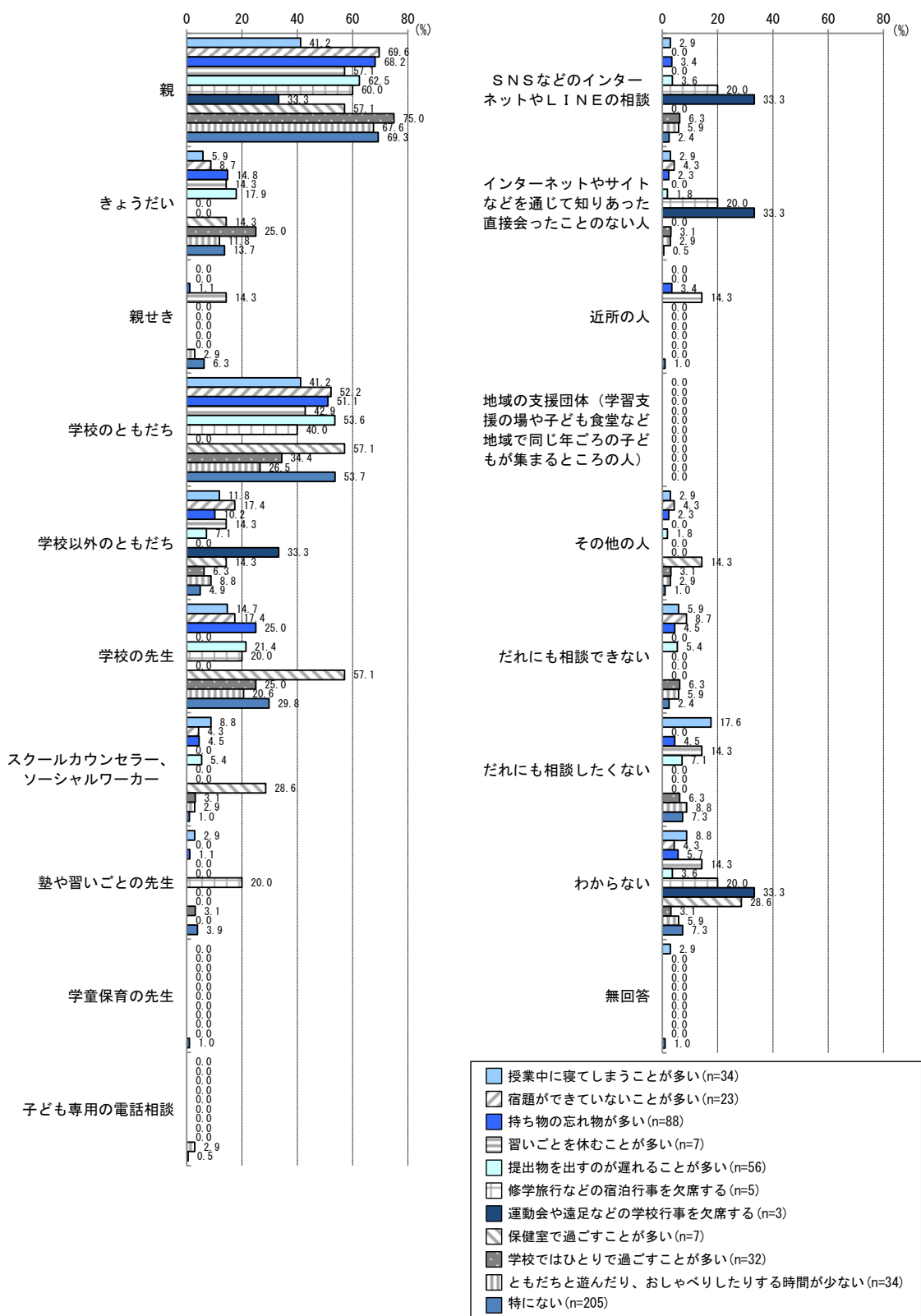
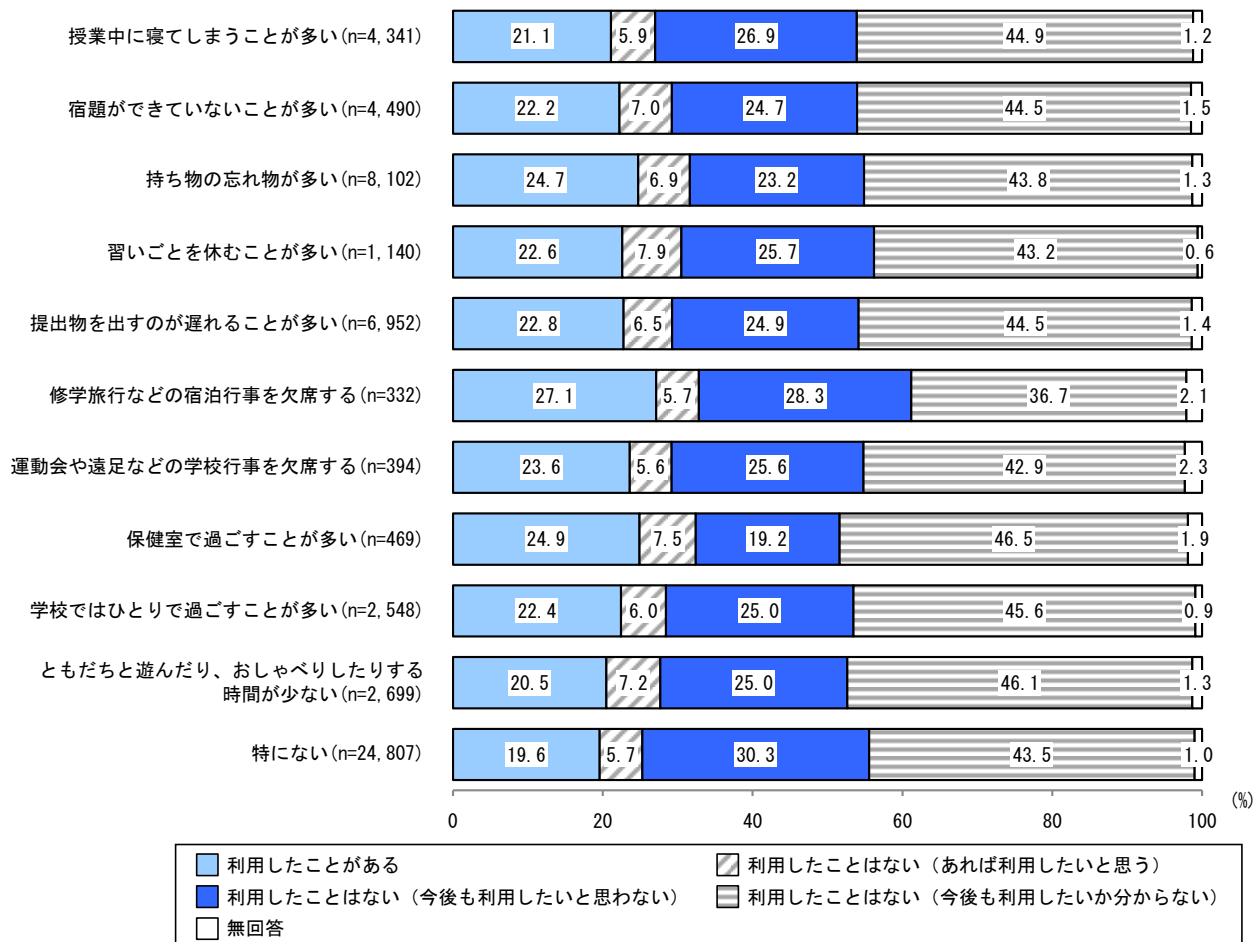


図 177. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

学校や学校の行事等の状況別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した人の割合は「学校ではひとりで過ごすことが多い」と回答した人の割合が75.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<摂津市>

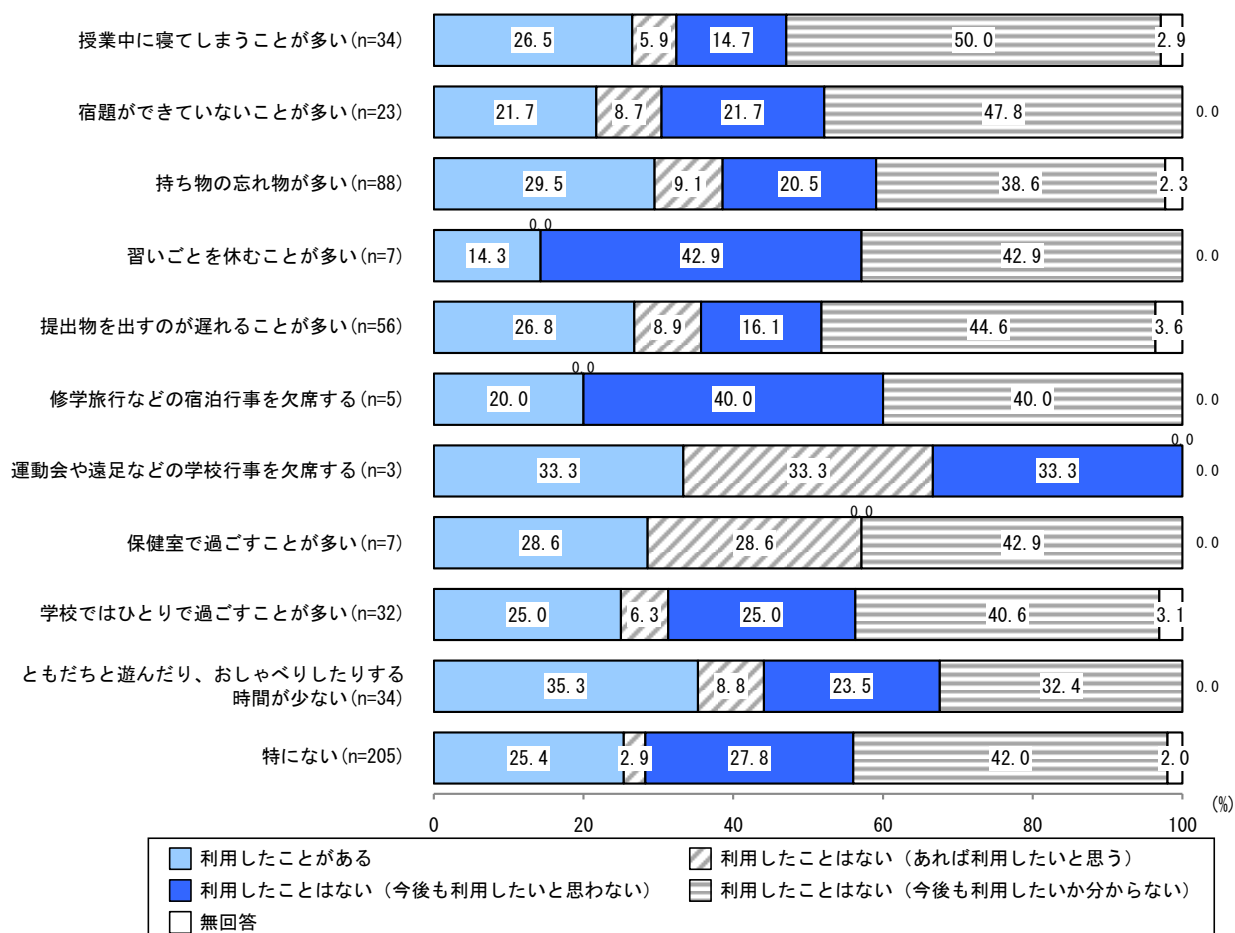
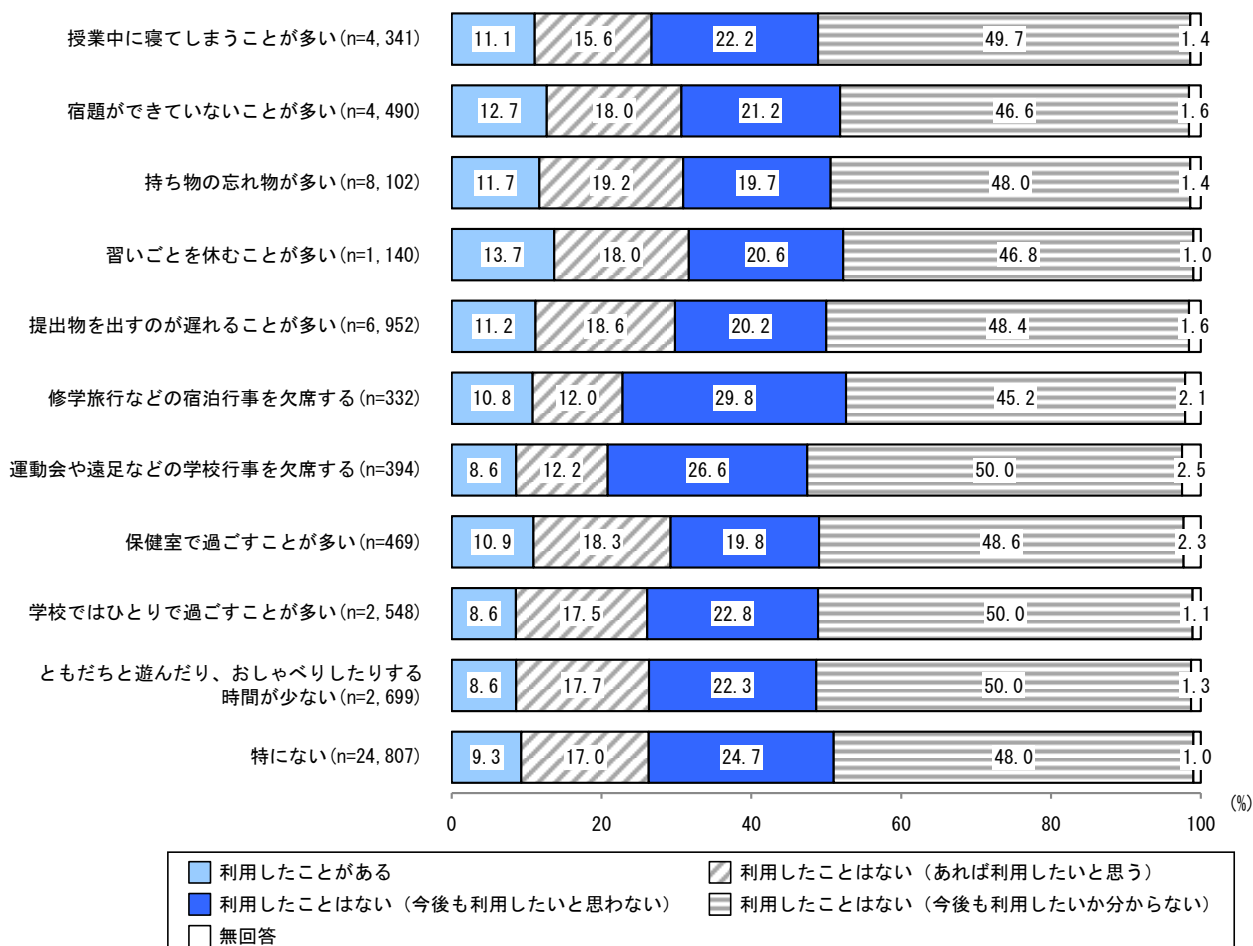


図 178. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

学校や学校の行事等の状況別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が14.3%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 16×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

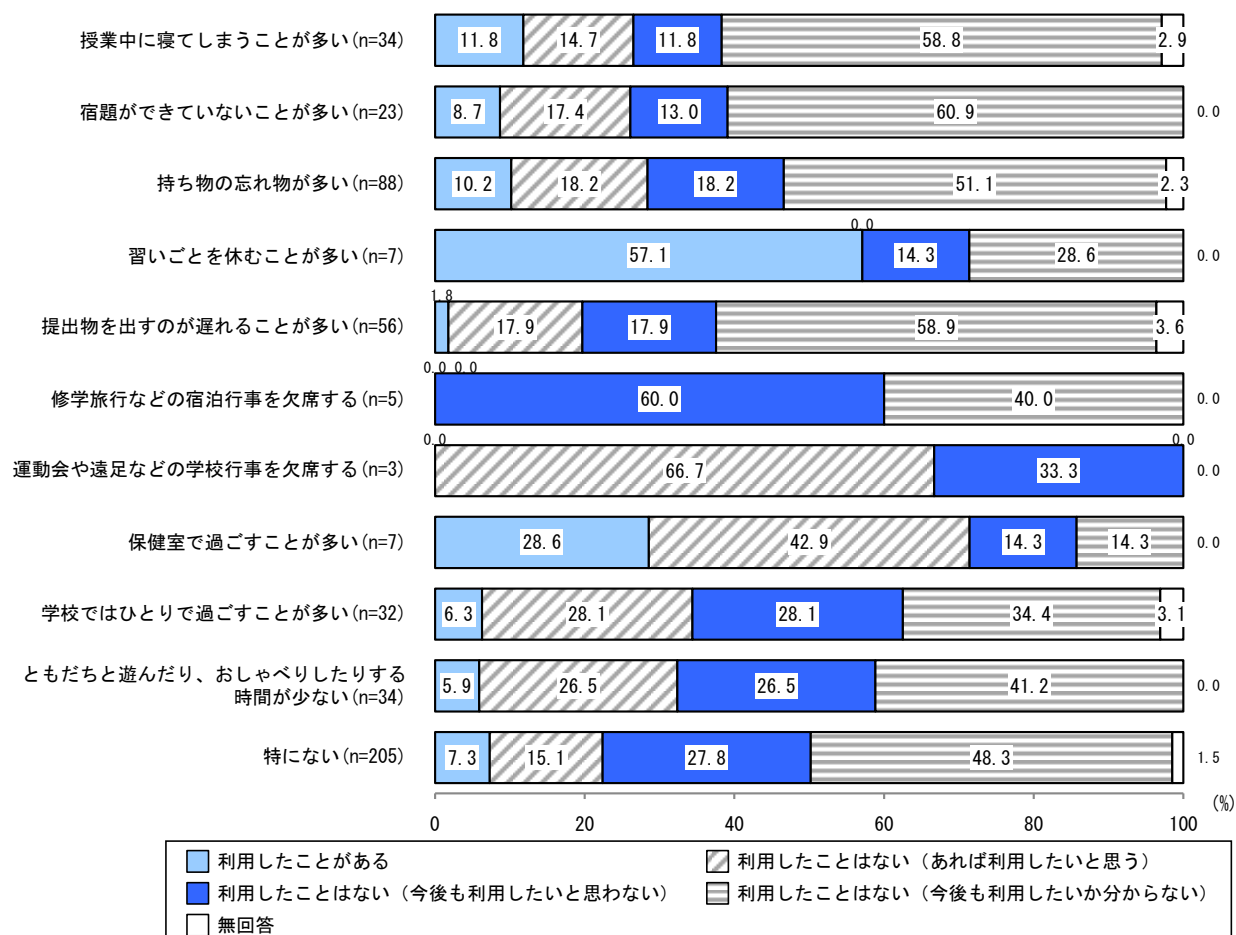
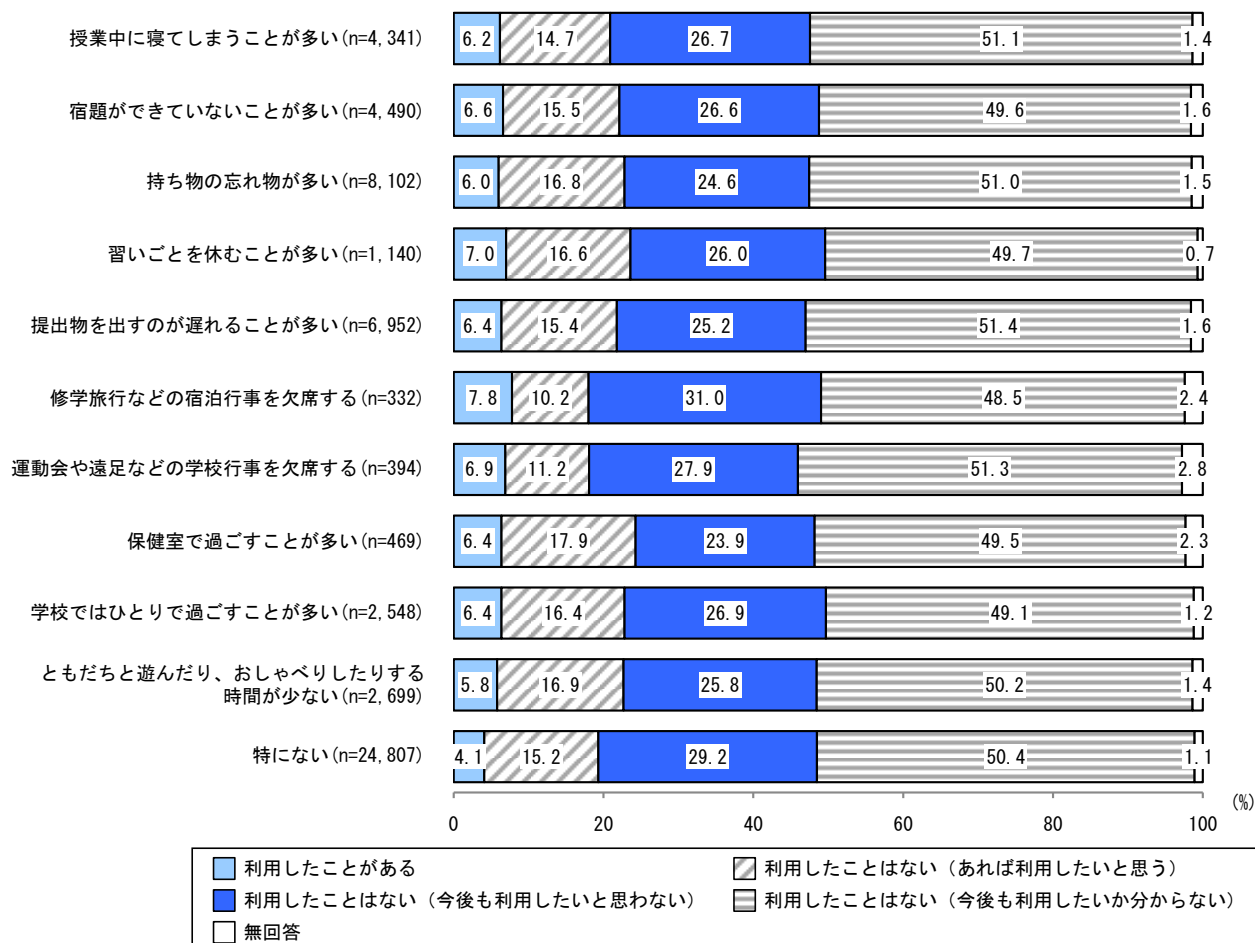


図 179. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

学校や学校の行事等の状況別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が57.1%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<摂津市>

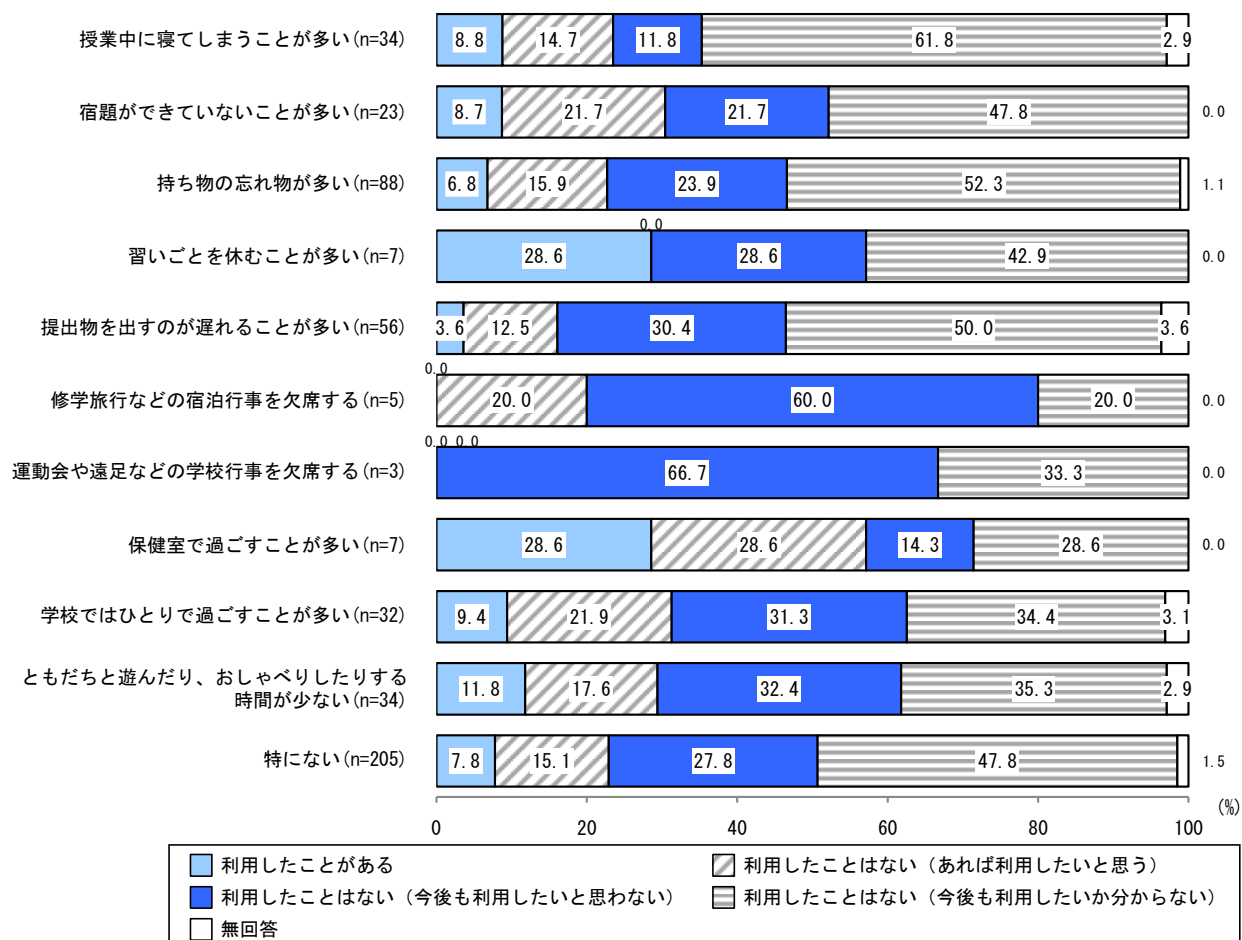
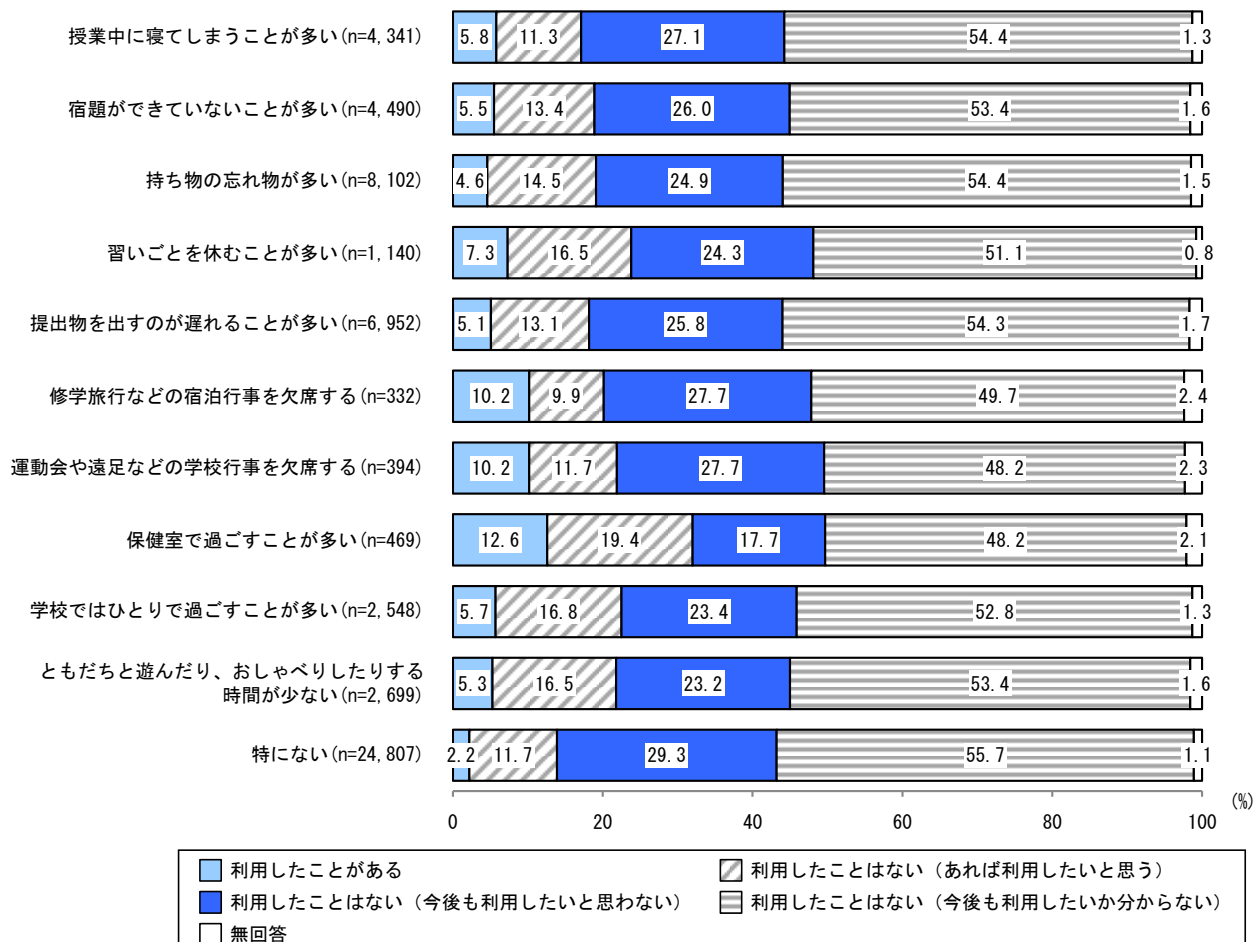


図 180. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

学校や学校の行事等の状況別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」、「保健室で過ごすことが多い」がともに28.6%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<摂津市>

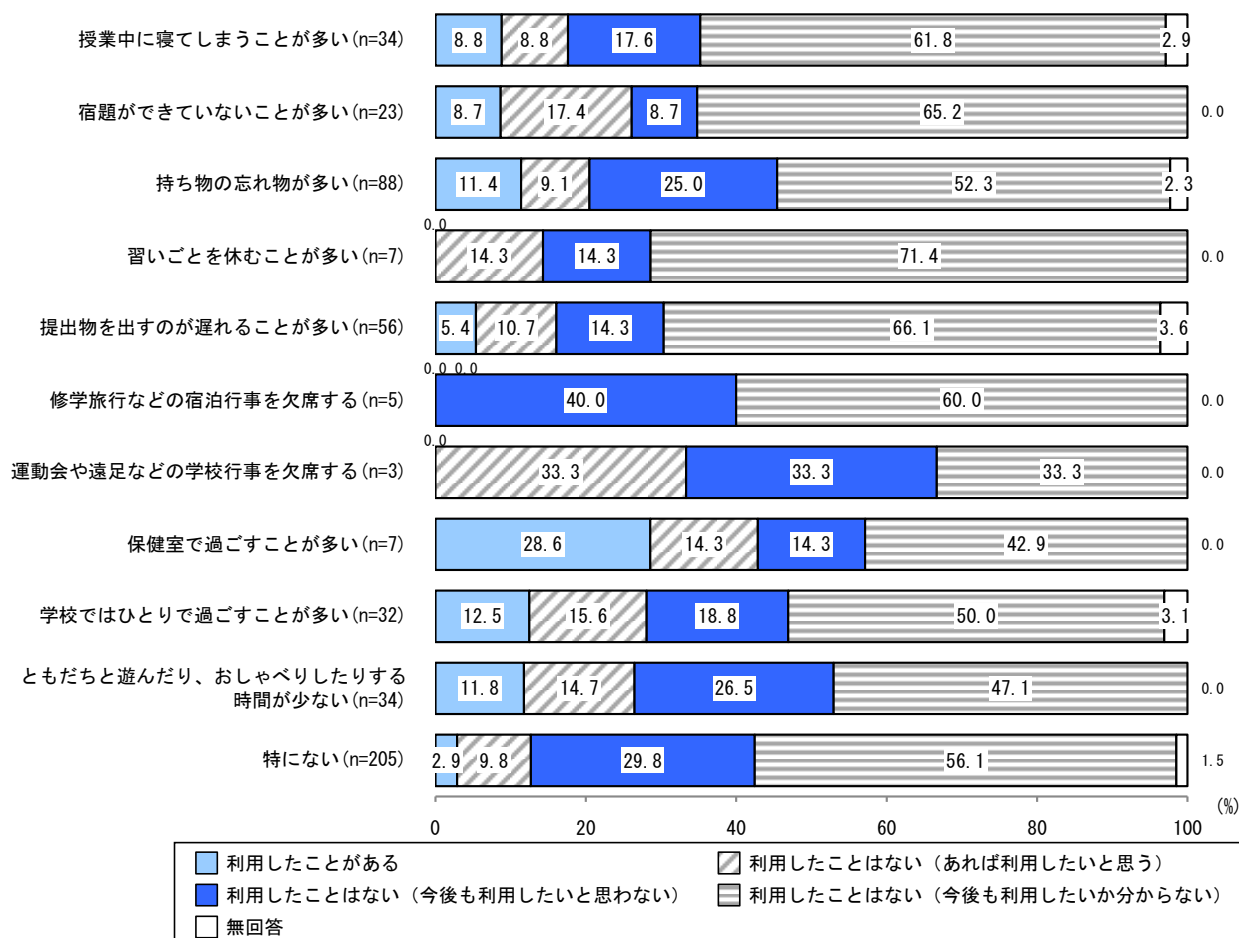
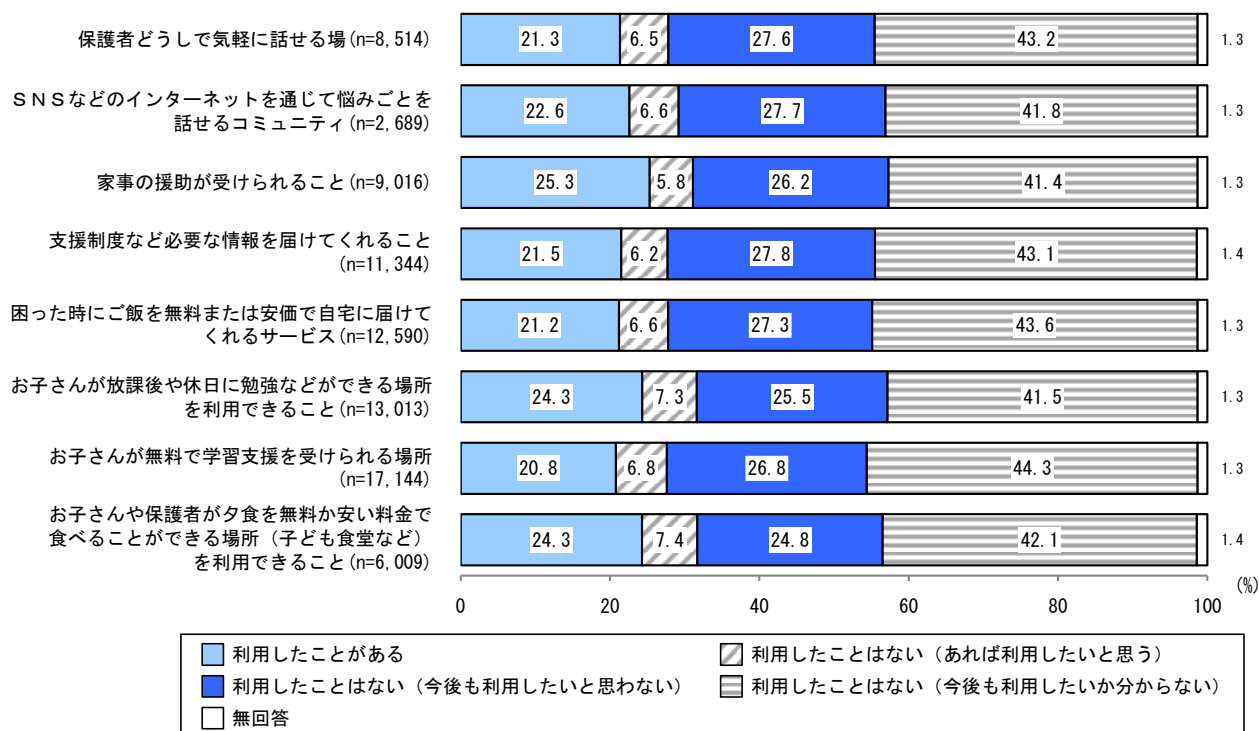


図 181. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所

学校や学校の行事等の状況別に何でも相談できる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「保健室で過ごすことが多い」が28.6%で最も高く、次いで「学校ではひとりで過ごすことが多い」が12.5%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<摂津市>

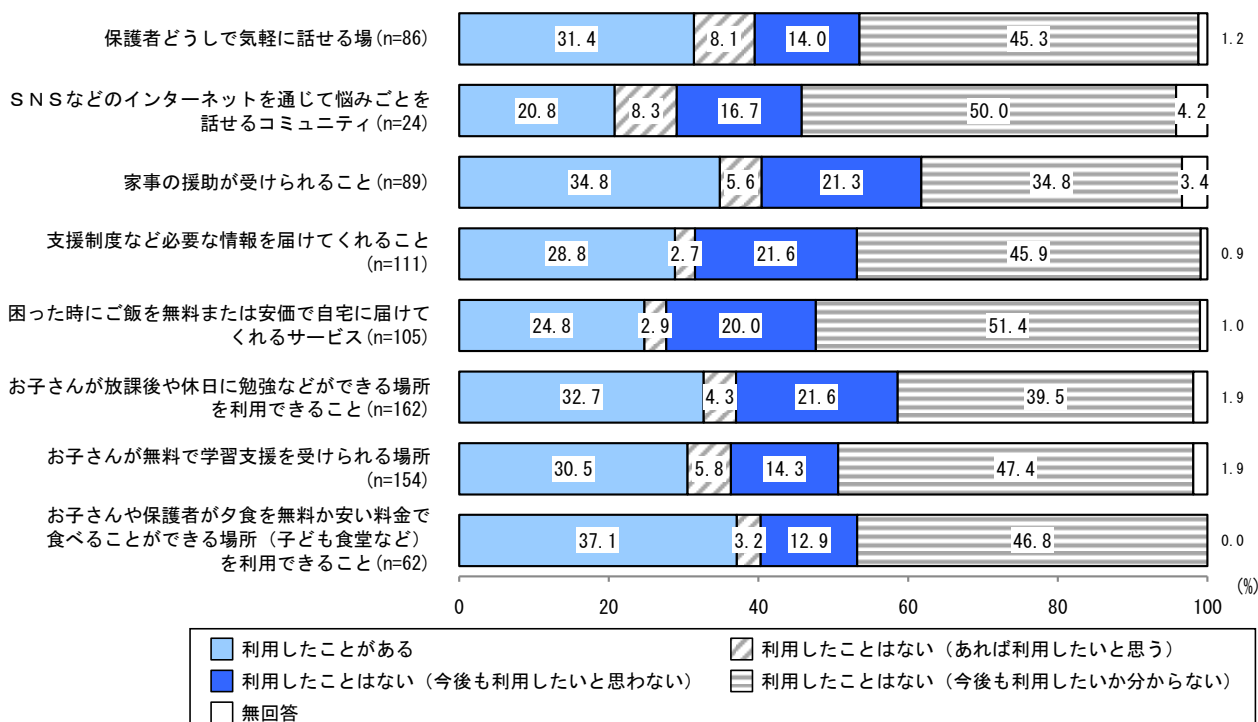
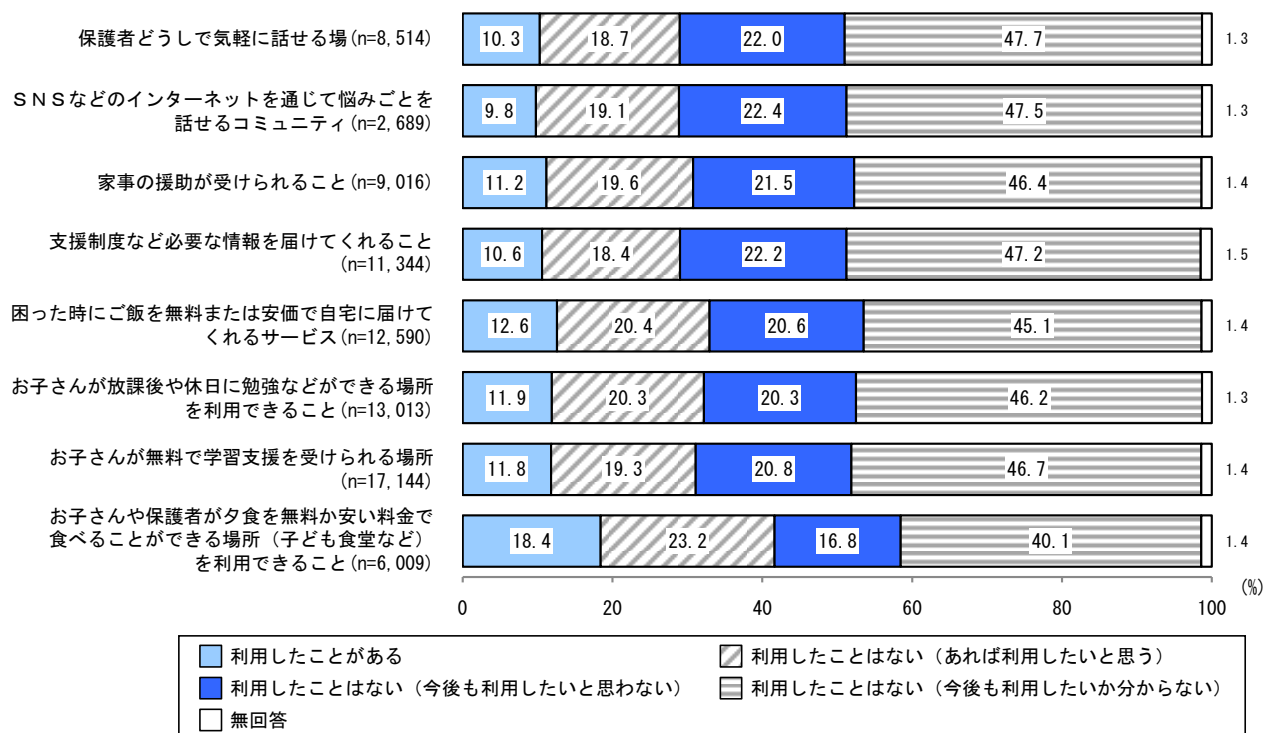


図 182. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

身近にあるといいと思うこと別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が37.1%で最も高く、次いで「家事の援助を受けられること」が34.8%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金を食べることができる場所（保護者票問 20×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<摂津市>

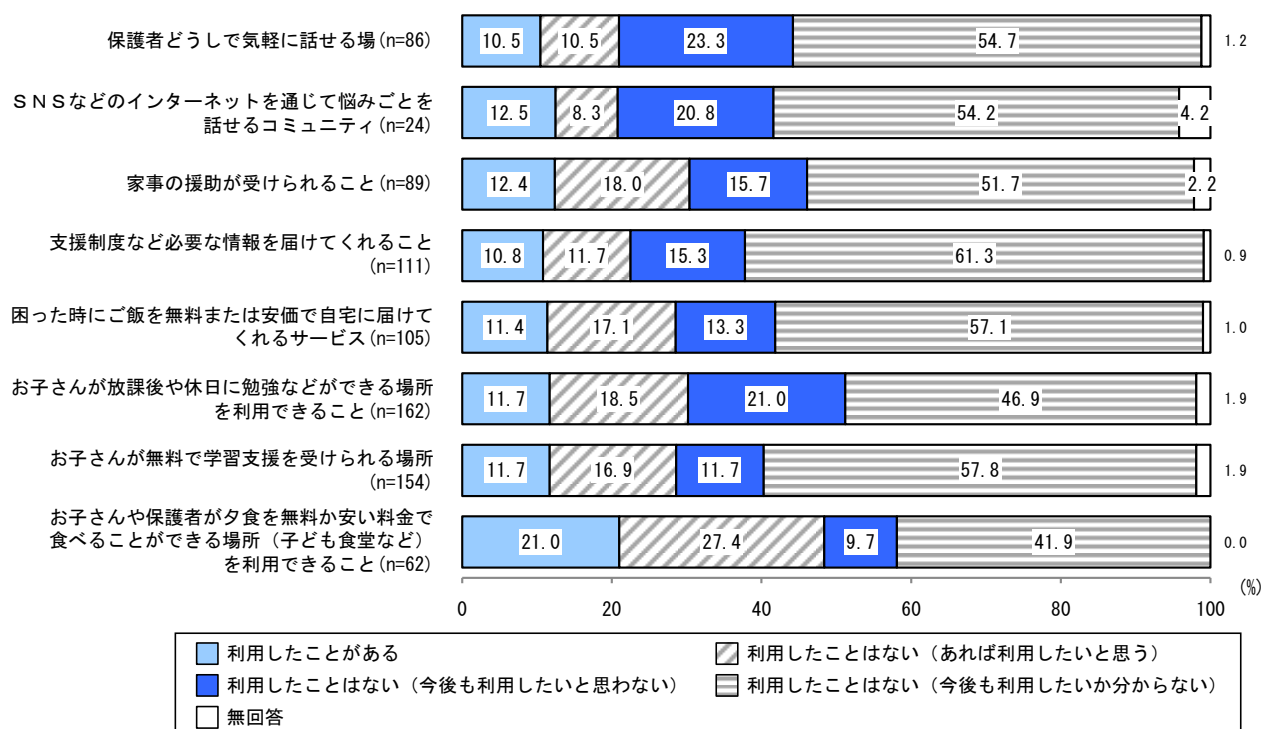
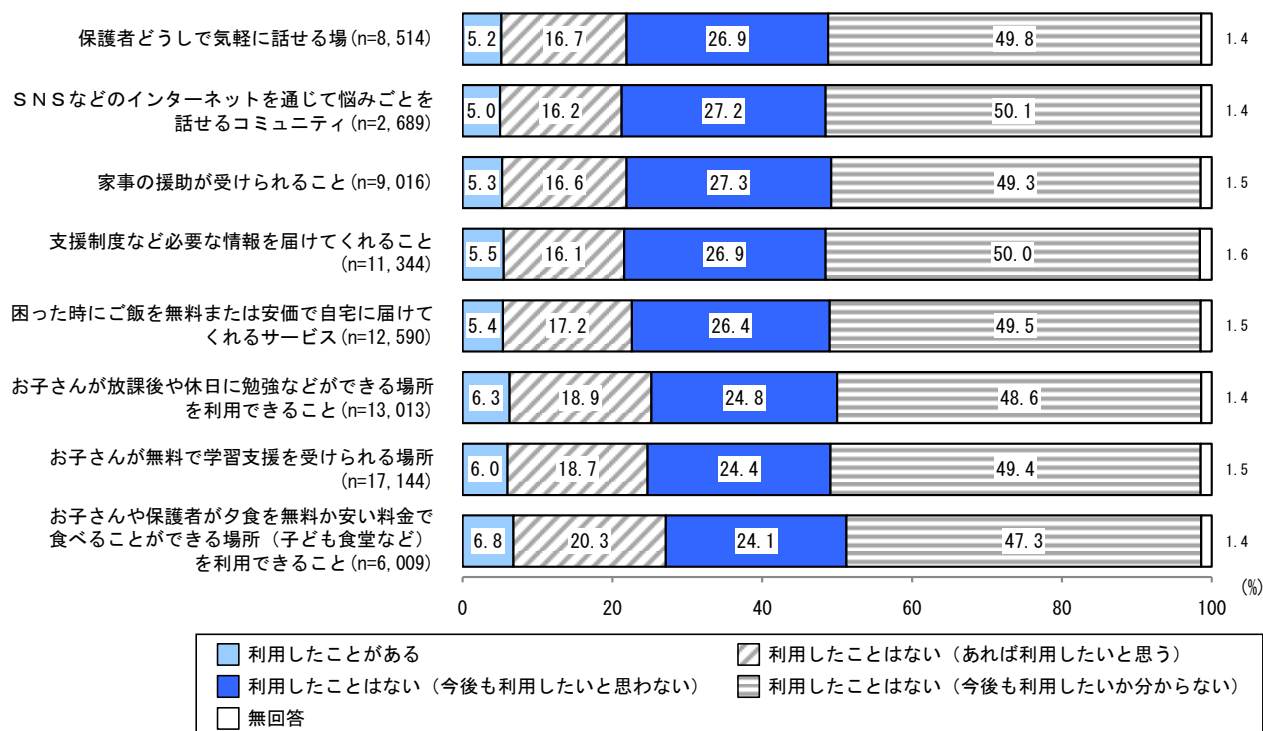


図 183. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

身近にあるといいと思うこと別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など) を利用できること」が21.0%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<摂津市>

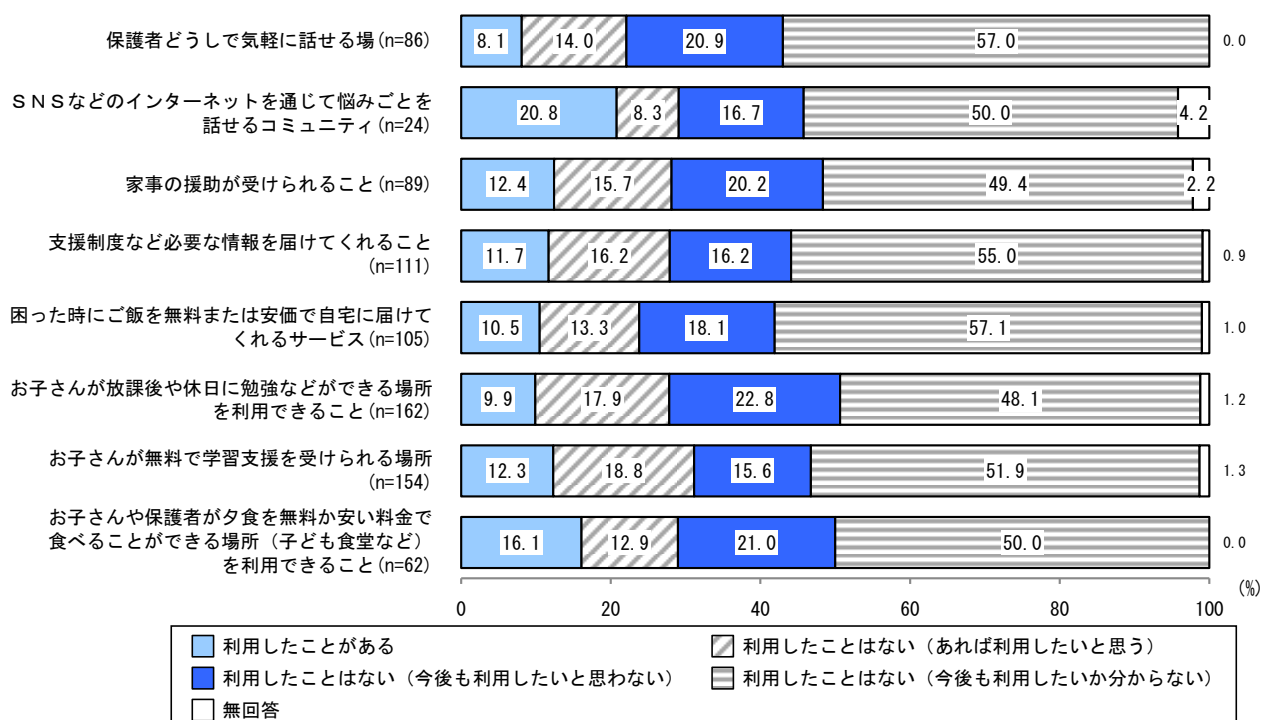
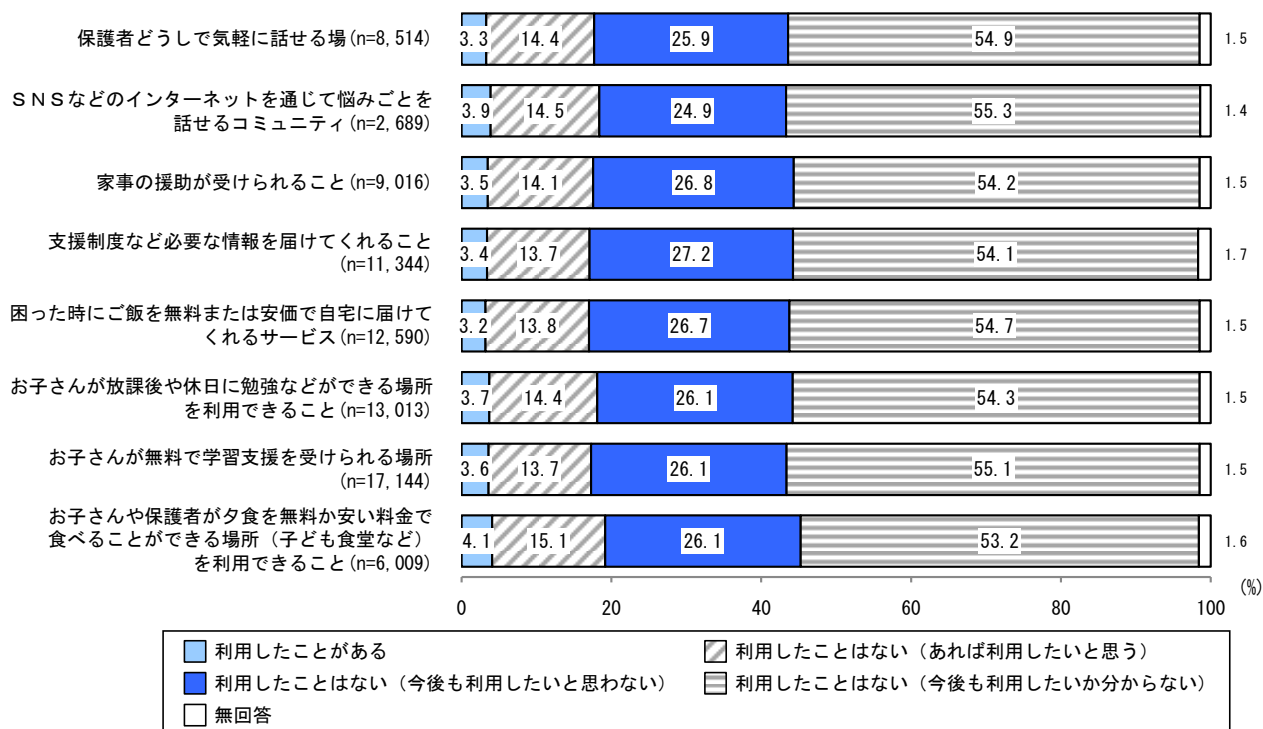


図 184. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

身近にあるといいと思うこと別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が20.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<摂津市>

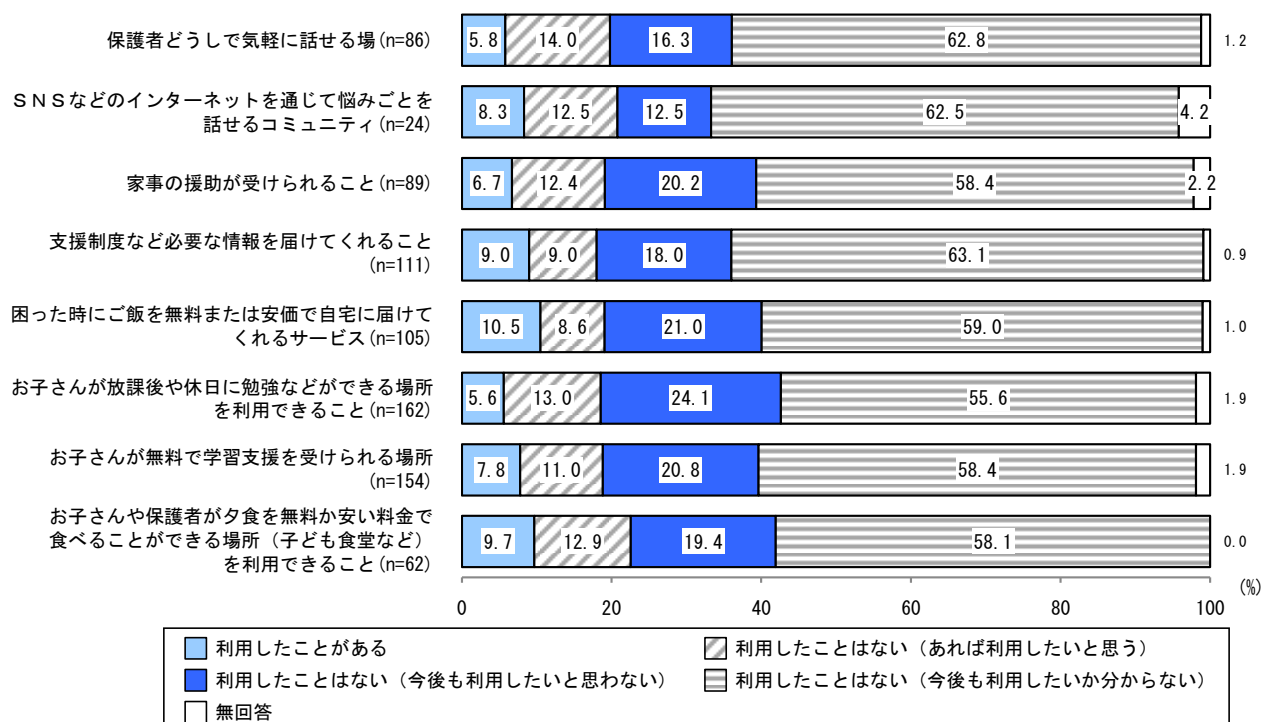
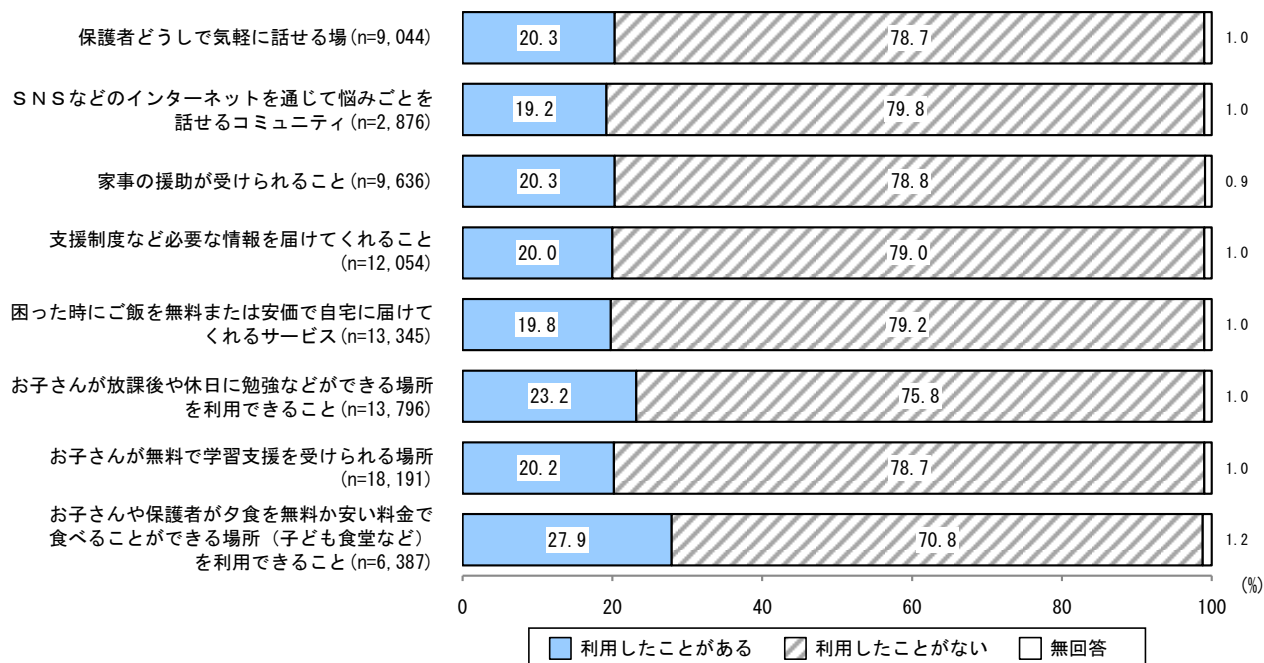


図 185. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所

身近にあるといいと思うこと別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が10.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無
(保護者票問 20×保護者票問 16(1))

<大阪府内全体>



<摂津市>

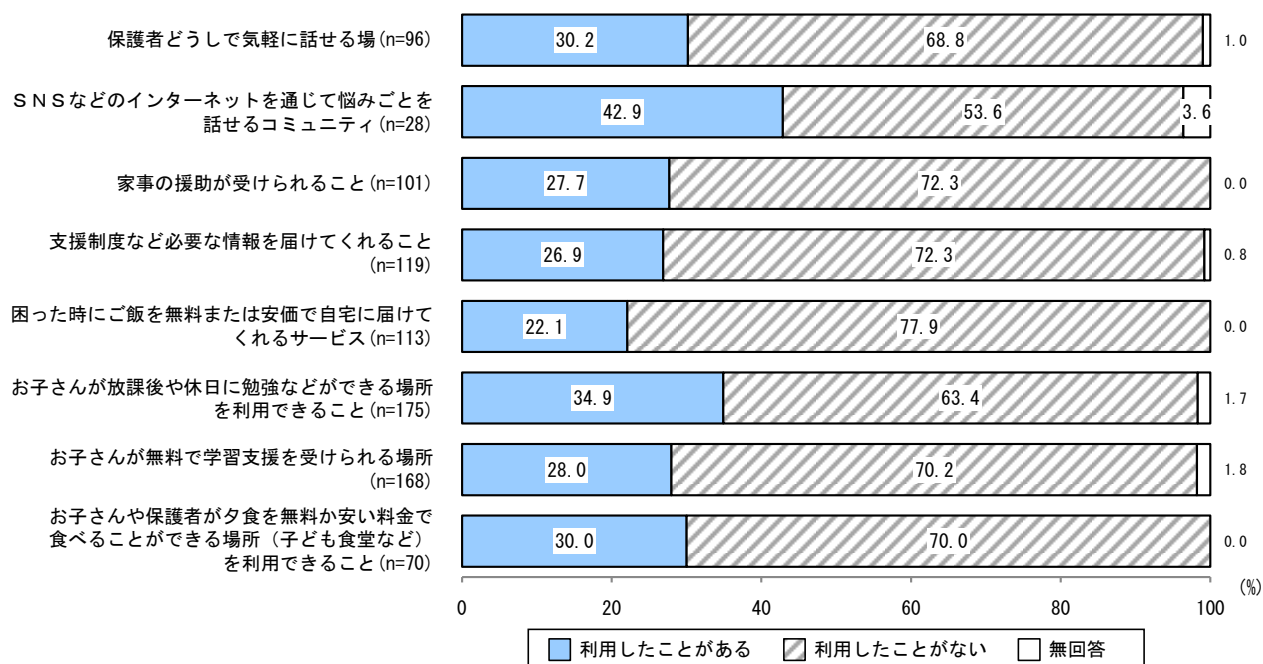
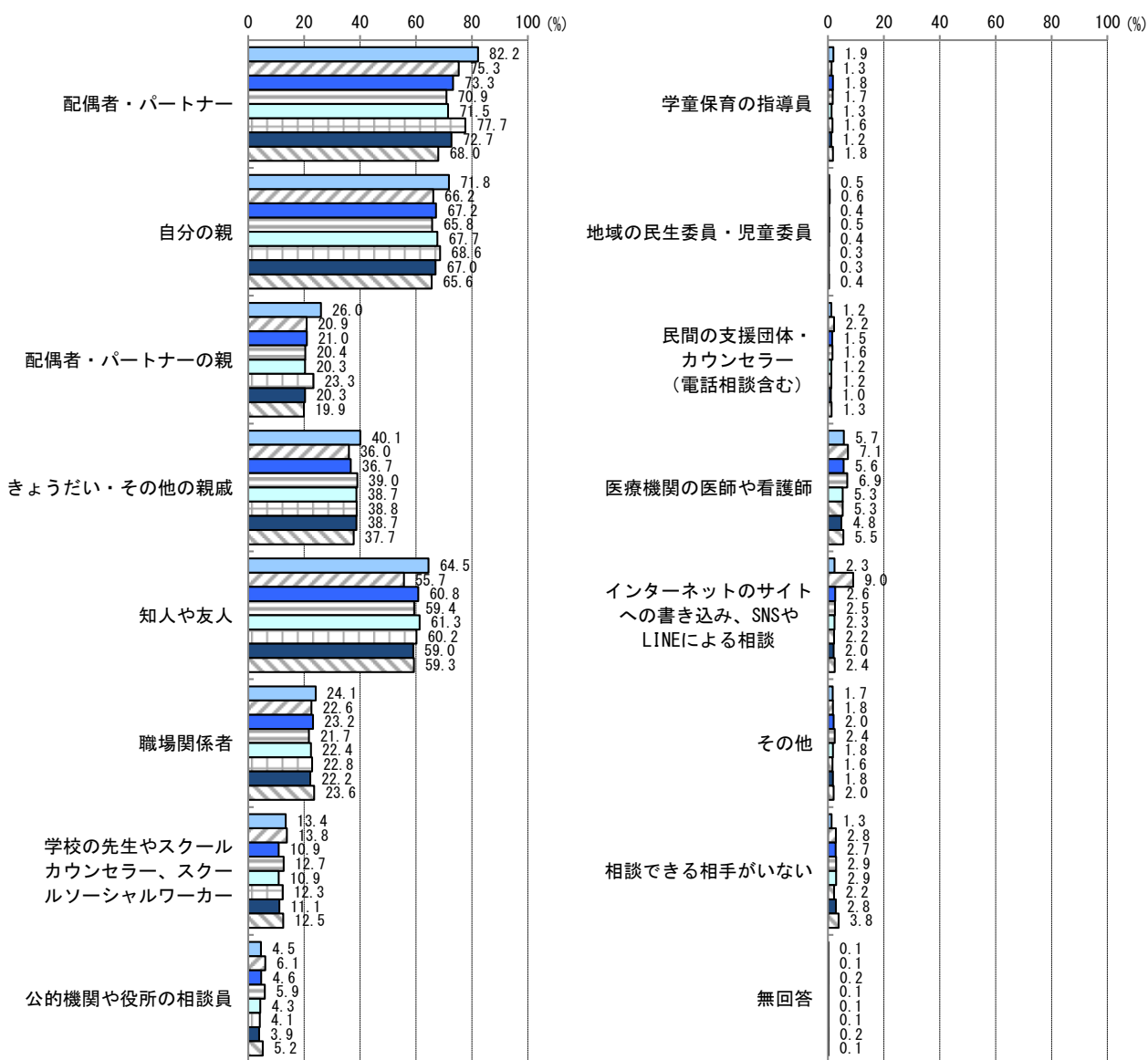


図 186. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無

身近にあるといいと思うこと別に子どもの居場所の利用有無を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が42.9%で最も高く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が34.9%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 20×保護者票問 19）

<大阪府内全体>



- 保護者どうして気軽に話せる場 (n=9, 044)
- SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ (n=2, 876)
- 家事の援助が受けられること (n=9, 636)
- 支援制度など必要な情報を届けてくれること (n=12, 054)
- 困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス (n=13, 345)
- お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること (n=13, 796)
- お子さんが無料で学習支援を受けられる場所 (n=18, 191)
- お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること (n=6, 387)

<摂津市>

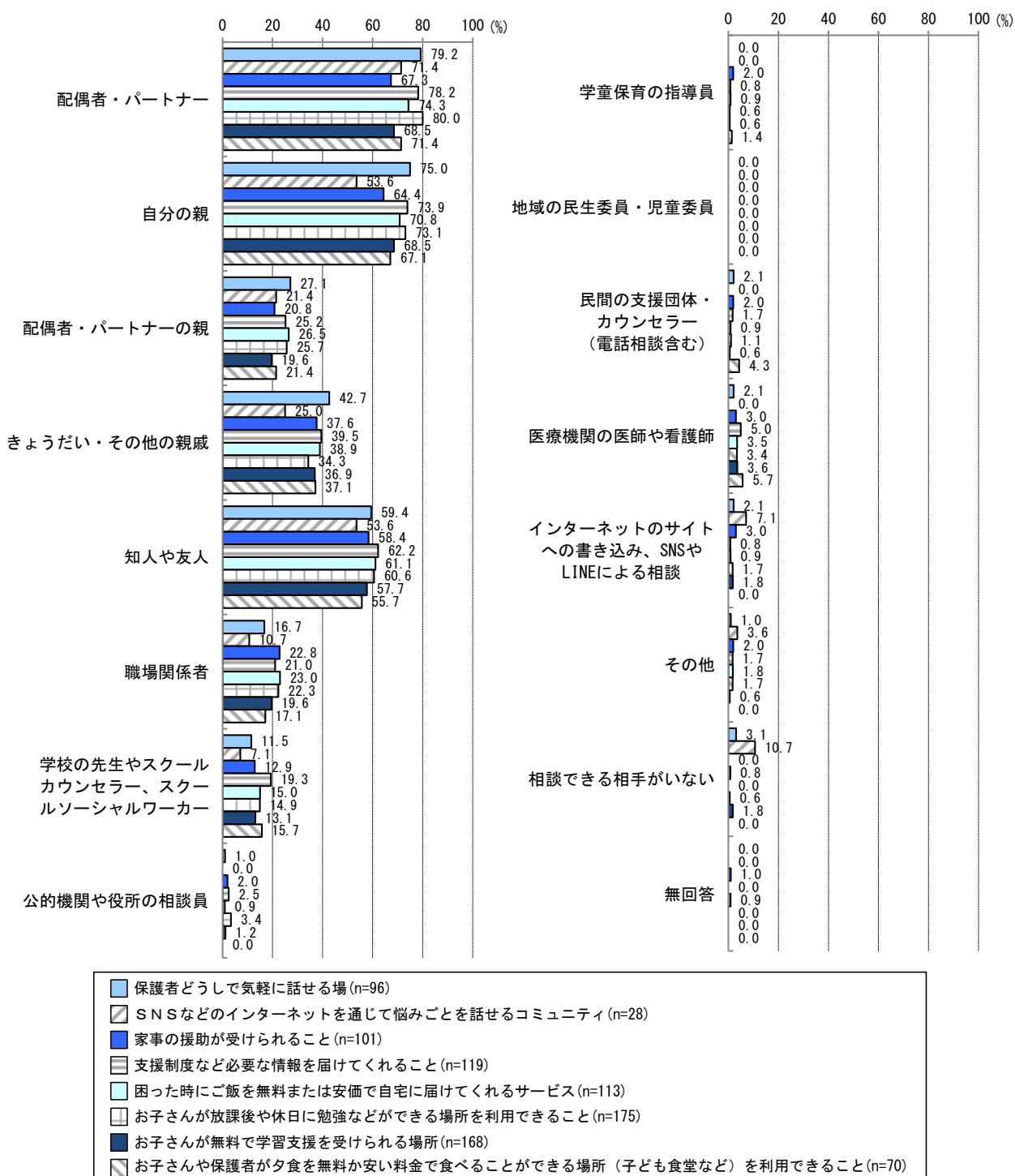


図 187. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

身近にあるといいと思うこと別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」と回答した人の割合は、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が80.0%で最も高く、次いで「保護者どうして気軽に話せる場」が79.2%となっている。

<対人関係に関する考察>

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果を以下にまとめる。子どもが放課後に過ごす場所では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾」(35.1%対16.7%)と「習いごと」(49.0%対11.1%)の利用率が4倍以上である。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「スーパーやショッピングモール」(11.1%対2.6%)の利用率が約4倍高くなっている。子どもが放課後に一緒に過ごしている人物では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「おうちの人以外の大人」(31.1%対11.1%)と一緒に過ごす割合が約3倍である。更に、「生活での楽しいこと」と「悩んでいること」では、中央値以上は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾や習いごとで過ごしているとき」(39.1%対13.9%)、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」(23.2%対8.3%)を「楽しいこと」として多くあげている。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「学校や勉強のこと」(30.6%対19.2%)、「クラブ活動や部活動のこと」(19.4%対6.6%)、「進学・進路のこと」(25.0%対15.9%)を「悩んでいること」として多くあげている。一方、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「自分のこと(外見や体型など)」(20.5%対13.9%)を「悩んでいること」として多くあげている。また、困窮度別に子どもの自己効力感をみると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群よりも低くなっている(平均値8.43対8.54)。一方、放課後ひとりでいることがある群は、そうでない群よりも自己効力感が低くなっている(平均値8.28対8.88)。これらの結果から、経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの将来に対する不安化を増長させる可能性があることが示唆された。一方、社会的交流や人間関係が広がることで、他者からの評価への不安を増長させている可能性があり、この点に関してもサポートが必要であると考えられる。

困窮度別に子どもが世話をしている人の有無をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、誰かの世話をしている割合が高くなっている(21.9%対13.9%)。また、子どもが世話をしている人の有無別に相談相手をみると、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて、「きょうだい」(21.3%対11.6%)、「学校の先生」(37.5%対23.2%)と相談する割合が高く、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」(37.5%対24.6%)を利用している割合が高くなっている。これらの結果から、家庭の経済状況にかかわらず、子どもが家族の世話を担っているケースが多くみられたが、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。

一方、困窮度別に保護者の相談相手は、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「配偶者・パートナー」(83.6%対40.0%)と相談する割合が40ポイント以上高くなっている。一方で困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)」(2.5%対1.8%)、「医療機関の医師や看護師」(5.0%対3.6%)と相談する割合が高くなっている。「相談できる相手がいない」と回答した割合が両群とも同程度であることも鑑みると、総合的に様々な施設や取り組み、団体によるサポートが行き届いている可能性が高いと考えられる。

Ⅲ 総合考察

本報告書における「子どもの貧困」概念の捉え方であるが、基本的に、2016年の調査で扱った貧困概念に基づいている。簡単に述べると、子どもの貧困を相対的貧困で捉えた上で、①所得や資産などの経済的資本、②健康や教育などのヒューマン・キャピタル、③つながりやネットワークなどのソーシャル・キャピタルの3つのキャピタルの欠如を枠組みとしている。この数年で、「子どもの貧困」「相対的貧困」概念も十分に知られるようになったことから、詳細な説明はここでは割愛するが、山野則子編著（2019）を参照されたい。

次に、総合考察においては、摂津市が実施した数値で検討を行う（大阪府は府が直接実施した25市町村分であり、前回比較は2016年度実施の30市町村分で行う）。各ページにはグラフコメントやクロス分析を考察したセクションコメント（経済状況、雇用、健康、家庭状況（制度等）、家庭生活・学習、対人関係）を記載している。総合考察において、同じことを書くのではなく、総合考察として、これらセクションコメントを踏まえ、まさに考察すべきものを中心に記載している（一部、要望により同傾向でも記載あり）。単純集計はセクションコメントに出てこないの、可能な限り数字を入れて説明する。そして、全体はこれらの結果から政策の評価を行うものである。

1）大阪府共同調査の意義

本調査では、摂津市の調査のみならず大阪府内43自治体で共同実施して把握したことは、その回答者数の多さにおいても都道府県レベルで域内すべての自治体の対象者が入っている点においても、意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として摂津市の調査結果を裏付けられるものであった。これは無作為抽出であっても全体と比較してすることで、傾向の把握が可能であり、信頼性があることを示すものとなった。

本報告では、すべての項目に大阪府内全自治体のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。本調査は、子どもの貧困対策の評価につながる基礎調査である。

2）単純集計

<経済面・家庭状況制度面>

摂津市全体での可処分所得の分布は、「500～550万円未満」が6.6%で最も高く、「450～500万円未満」が6.1%、「550～600万円未満」が5.6%、「800～850万円未満」が5.3%の順に高くなっている。

また、摂津市の等価処分所得の中央値は288万円であり、相対的貧困率は国の定める基準で算出すると12.7%であった。なお、前回調査（2016年）における大阪府内全自治体における相対的貧困率は14.9%であった。

摂津市では21.5%の世帯が赤字となっている。この数値は、中学2年生の世帯24.5%が小学5年生の世帯18.6%よりも高くなっている。中学2年生の世帯は、クラブや塾などの出費が増えるため、小学5年生の世帯より家計を圧迫していることが考えられる。また、子どものための貯蓄をしたいができない状態が、32.6%であった。この数値も、中学2年生の世帯は35.4%であり、小学5年生の世帯29.0%を上回っている。持ち家率は82.8%となっており、中学2年生の世帯83.0%と小学5年生の世帯81.4%に大きな差はなかった。

経済的な理由で経験できなかったこと（はく奪項目）について、「趣味やレジャーの出費を減

らした」が39.9%で最も高く、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が次いで35.9%、「どれもあてはまらない」が35.6%の順に高くなっている。

経済的理由による子どもに関する経験（子どものはく奪）に関しては、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」が0.5%となっているほか、以下の通りとなっている（「子どものための本や絵本が買えなかった」が2.3%、「子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった」0.3%、「子どもの誕生日を祝えなかった」1.0%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」9.6%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」18.4%など）。この結果は、医療面での子どものいる世帯での施策が摂津市において広く実施され、その成果が出ているものと思われる。

また、子どもが持っているものや使えるものを見ると、本は68.8%、子ども部屋61.7%、自転車89.7%となっているほか、スマートフォンやタブレットは76.1%となっており、これは学校からの配布の成果であろう。

以上から、家計の状況について、中学2年生の世帯、小学5年生の世帯ともに子どもに回す余裕がない世帯が少なからずあることが判明した。経済的理由による子どもにできなかった経験（上記に挙げたようなこと）がどの家庭でも経験できるような方策が非常に重要である。

養育費の取り決めについては、養育費の取り決めをしているのは41.7%であった。また、養育費を受け取っていないのは66.7%であった。2016年度全国ひとり親世帯等調査（厚生労働省2017）では、ひとり親家庭のうち養育費についての取り決めをしている割合が母子世帯で62.9%、父子世帯で20.8%、ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子どもの割合が、母子世帯69.8%、父子世帯90.2%という値であり、今回の結果は、摂津市において養育費関連の施策を考える基となるのではないだろうか。

<雇用・健康>

持ち家など居住形態等について明らかになった。また、学歴については、母親の学歴を取り上げると、高校卒業が19.9%、大学卒業が27.8%となっている。雇用状況では、何らかの仕事をしている母親は、85.2%となっている。そのなかで、正規職員が24.9%となっている。これらは、社会の認識の変化や政策による変化により子どもの貧困の世論が広まり、各所に出された政策の効果と考えられよう。

支援制度の利用状況は、就学援助は13.6%、児童扶養手当（ひとり親世帯のみ）が56.0%、生活保護が0.3%であった。就学援助制度について、「利用したことがない」との回答が73.5%であり、その理由は、「自身が該当しない」が93.8%でほぼ皆がそう思っていることがわかった。この数値は可処分所得の結果から考えてもより多くの世帯が受けることができると思われるが、受けていない。「あなたには受ける権利がある」というメッセージを必要な人にどう届けるのかが大きな課題であり、各制度を正しく知らせ、他人ごとにせず、そこでのスティグマを無くし受けやすくする工夫が必要である。

<健康・家庭生活・学習・対人関係>

まず、食事から確認する。「朝食を食べない」（週に1回も食べていない）子どもが2.2%となっている。食べない理由として、「用意されていないから」及び「食べる習慣がない」が3.4%であった。小学5年生のうち18名、中学2年生のうち11名が、毎日は朝食を食べていない。子どものうち8.0%が毎日は朝食を食べていないという事実は、改善すべき喫緊の課題である。また、おうちの人と一緒に朝食を食べていない子どもは、「ほとんどない」、「まったくない」を合計して96名で全体の26.1%であった。これについても警鐘をならすべきこととしてとらえるべきで

ある。

おうちの人と関わる設問のうち、放課後過ごす場所は、「友だちの家」が18.2%、「学校（クラブ活動など）」が34.0%となっており、コロナの影響による社会的交流が減ったことからの可能性が考えられる。友人との関係性が薄れることは、孤立や孤独へ向かう懸念も生じる。なお、同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数は平均2.1回であり、小学5年生の世帯で2.0回、中学2年生の世帯で2.1回であった。

勉強に関して、「授業がわからなくなった時期」が小学5年生の場合、小学3、4年生のころからで54.5%、中学2年生の場合、中学1年生のころ52.9%でつまづいていることがわかった。

嫌なことや悩んでいるときの相談相手では、「誰にも相談できない」、「相談したくない」と感じている子どもは、10.9%となっている。自分の体の状態（体調）で気になることについて、「とくに気になるところはない」が40.2%、この1週間の気持ちの状況の「やる気が起きない」の項目において「そんなことはない」が33.7%であった。

悩みについては、最も多いのが、「学校や勉強のこと」21.2%、ついで「自分のこと（外見や体型のこと）」18.2%、「進学・進路のこと」16.0%であった。また、「いやなことや悩んでいることはない」は、35.9%であった。

制度やサービスでいうと、子どもの居場所において、「平日の夜や休日過ごせる居場所」を利用したことがある子どもは、小学5年生で32.1%、中学2年生で20.8%であり、「食事提供の居場所」は小学5年生で9.0%、中学2年生で7.8%、「学習支援の居場所」は小学5年生で2.8%、中学2年生で13.0%、「何でも相談できる場所」は小学5年生で4.2%、中学2年生で5.8%の子どもが利用したことがあった。これらと併せて、居場所の効果として「友だちの増加」が小学5年生で43.5%、中学2年生で21.7%、「生活の中で楽しみなことが増えた」は小学5年生が23.5%、中学2年生が6.5%、「気軽に話せる大人が増えた」は小学5年生で20.0%、中学2年生で8.7%という結果であった。このことは今後の展開に大きな意味をなすであろう。ただし、中学2年生は、友達が増えたと回答する反面、同じくらい「特に変化なし」28.3%と回答している。そのため、早期に居場所に繋ぎ、居場所が誰にとっても当たり前の選択肢にする必要がある。「平日の夜や休日過ごせる居場所」以外は、利用頻度は「食事提供の居場所」8.4%、「学習支援の居場所」7.3%、「何でも相談できる場所」は5.2%と少なくなり、将来の利用に関する積極的な利用希望も「食事提供の居場所」が16.3%、「学習支援の居場所」が15.8%になる。子どもたちの希望があるととらえられ、放課後過ごす場所において、「友だちの家」や「学校（クラブ活動など）」と併せて、子どもたちに多くの選択肢を提供できる方がよいと考えられること、自分には関係ないと思う傾向があるかもしれないことなどから居場所の充実とより子どもに対し自然な提供が望まれる。

最後に、ヤングケアラーの項目である「家族に世話をしている人」がいるかどうかについては、厚生労働省の研究事業として実施された調査結果と比べると、小学生6.5%（日本総研2022）、中学生5.7%（MURC2021）という数値よりはるかに高い、小学5年生が25.0%、中学2年生が17.5%であり、内容もきょうだいの世話が最も多く、小学5年生は69.8%（小学6年生28.5%：日本総研2022）、中学2年生が51.9%（中学生79.8%：MURC2021）である。きょうだいの世話において、国に比べ摂津市の割合ははるかに高い。「家事」は、本調査では複数の質問にまたがっていることや複数回答可にしていることから単純に比較できないが、先述した厚生労働省の研究事業では、小学6年生で世話の内容を家事と答えたのが35.2%（日本総研2022）できょうだいの世話28.5%（日本総研2022）より高いが、本調査では逆であった。時間をみると1時間未満57.5%が最も多く、定義のあいまいさが子どもに答えにくくさせている可能性もあるであろう。今後、イギリスのように定義を明確にしていくことも検討を行う必要がある。

今回の調査で保護者が身近にあるといいと思うことは、上位3つが「放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」44.2%、「無料で学習支援が受けられる場所」42.4%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」30.1%であった。学習に関して最も気にしていることがわかり、これらのサービスを利用している率の低さから、身近に届けられるような工夫が必要である。

3) クロス集計

経済面から確認する。経済状況は、家庭生活上の困難、子どもの教育機会、貯蓄状況、そしてヤングケアラーの存在にまで影響を及ぼしていることが明らかになった。家計の厳しさとその影響が示されたと言える。

特に経済的に困窮している家庭では、生活インフラの支払滞納や将来への不安、教育機会の制限、貯蓄の困難さが顕著である。同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の経験率が低く、子どものヒューマン・キャピタルの形成に影響を与えることが予想される（体験格差）。また、摂津市ではヤングケアラーの割合が全国平均を上回っている。これらの課題に対する包括的な社会的支援が求められている。これは、コロナ禍となったこともあり、経済的リスクのしわ寄せが子どもに向かったと考えられる。しかし、これは絶対に避けなければならないことであり、警鐘を鳴らす必要性とともに対策を講ずべきである。

生活上の困難

- **インフラ支払いの滞納**：「電気・ガス・水道が止められた」が困窮度Ⅰ群では7.5%で（中央値以上群該当なし）、「家賃や住宅ローンの支払い滞納」が困窮度Ⅰ群では12.5%（中央値以上群1.2%）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払い滞納」が困窮度Ⅰ群では7.5%（中央値以上群0.6%）。
- **国民年金支払い滞納**：困窮度Ⅰ群では10.0%（中央値以上群0.6%）、将来の生活困窮を示唆。
- **生活の見通し**：「不安になったことがある」が困窮度Ⅰ群では37.5%（中央値以上群4.8%）。

子どもの教育

- **進路変更**：「変更した」が困窮度Ⅰ群では2.5%（中央値以上群0.6%）。
- **習い事・学習塾**：「習い事に通わせることができなかった」が困窮度Ⅰ群では22.5%（中央値以上群1.8%）、「学習塾に通わせることができなかった」が困窮度Ⅰ群では22.5%（中央値以上群4.8%）。

子どもの将来のための貯蓄状況

- **貯蓄をしている**：困窮度Ⅰ群では42.5%（中央値以上群80.6%）。
- **貯蓄したいができない**：困窮度Ⅰ群では55.0%（中央値以上群18.2%）。

体験格差

- **体験の機会の格差**：「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が困窮度Ⅰ群では32.5%（中央値以上群8.5%）、「どれにもあてはまらない」が困窮度Ⅰ群では60.0%（中央値以上群80.6%）。

ヤングケアラー

- ・ 「自分が世話をしている人がいる」と答えた子どもの割合が全体で 21.7%となっており、全国平均 6.5% (小学 6 年生) (日本総研 2022)、5.7% (中学 2 年生) (MURC 2021) を上回っている。

支援制度に関しては、経済的困窮度が高い家庭ほど社会保障制度の利用率が高いが、就学支援制度など申請すれば利用できるはずである困窮度Ⅰ群であっても制度を利用したことがない人がいるなど、制度へのアクセス性や利用しやすさに課題がある。つまり、経済的に厳しい家庭にとって、制度利用は決して進んでおらず、さらに厳しい状況となったとも推察できる。特にひとり親世帯では養育費の取り決めや受け取りが低く、支援策の強化が必要である。住宅形態によっても経済的余裕に大きな差があり、生活支援の必要性が示されている。

社会保障制度の利用実態

- ・ **就学援助利用状況**： 全体で 13.6%が利用中。困窮度に応じて利用率が高まり、困窮度Ⅰ群では 62.5%、困窮度Ⅱ群では 38.9%。
- ・ **児童扶養手当利用状況**： ひとり親世帯全体で 56.0%が利用中。
- ・ **生活保護利用状況**： 全体での利用率は 0.3%と低く、困窮度Ⅰ群で 2.5%、それ以外の困窮度では 0%。

養育費

- ・ **取り決め状況**： 取り決めをしており養育費を受け取っているのは、ひとり親世帯全体で 17.6%、母子世帯で 21.4%、父子世帯では対象者なし。

親と住宅形態、家計の状況

- ・ **初めての親年齢と学歴**： 若年層の母親で中途退学率が高いことが示され、学修継続のサポートが必要。
- ・ **住宅形態と家計状況**： UR 賃貸住宅・公社賃貸住宅居住者は 100%が家計赤字と回答。

子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況は、本調査において全体で 5.8%、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金は 0.3%である。全国レベルのデータを見ると、2020 年コロナ発生後の 10 月の調査（厚生労働科学特別研究）において、収入 200 万未満の世帯で 35.6%（山野研究室 2021）である。これらの数値を直接比較することはできないが、いずれにおいても割合の低さから、2016 年以降子どもの貧困が周知されるようになり、コロナ禍となって、さらに支援制度の広がりや周知が今まで以上になされたが、大阪においてもその活用が広がり切れなかったと言わざるを得ない。これら最も厳しい世帯における利用が減少した要因を探る必要がある。

10 代で親になった世帯の厳しさは、たとえば母親の最終学歴について初めて親となった年齢別では、中卒が半数となっており、他の年齢群に比べて高い割合を示している。出産などによって学業を中断せざるを得なかった 10 代への教育支援や就業支援もさることながら、そもそもの予防的支援として、自分を大切にすることや将来を見据えるような教育的支援が必要である。例えば、小学生から高校生まで、性教育含む生きる教育（西澤・西岡ほか 2022）の積極的な導入を進めるべきである。またスウェーデンで行われる、実際の社会問題と向き合い、制度を知り選択できる力を養う社会科授業の実施など、思い切った根本的な教育改革が必要である。

雇用に関しては、経済状況が保護者の就業形態、最終学歴、世帯構成と関連があり、家計状況に顕著な影響を及ぼしている。特に困窮度が高い家庭では正規雇用が少なく非正規雇用が多いこ

と、最終学歴が低いこと、家計状況が不安定であることが示された。また、母子世帯では正規雇用の割合が特に低く、貯蓄ができる家庭も少ないことから、経済的困難さが顕著であった。

これらより、貯蓄ができない家庭の割合が高いことから、家計状況の改善に向けた政策や支援が求められる。経済的困難を抱える家庭に対し、保護者の安定した雇用の確保と教育水準の向上が必要であり、特に母子世帯の支援が重要である。

保護者の就労状況と最終学歴

- **就労状況：** 中央値以上群では正規雇用が 92.1%に対して、困窮度Ⅰ群では 35.0%。一方で、非正規雇用は困窮度Ⅰ群で 32.5%、中央値以上群で 0.6%。
- **母親の最終学歴：**「大学卒業」中央値以上群 40.6%に対し困窮度Ⅰ群 12.5%、「高等学校卒業」困窮度Ⅰ群 35.0%に対し中央値以上群 14.5%。

学歴と就労形態の関係

- **学歴による就労形態：**「大学卒業」の母親の正規雇用率は 93.6%、「中学校卒業」及び「高等学校中途退学」では 33.3%。父親の場合、「大学卒業」の正規雇用率は 96.5%、「高等学校中途退学」では 41.2%。

世帯構成と就労状況

- **世帯構成の影響：**ふたり親世帯の正規雇用率 84.4%に対して、母子世帯では正規雇用率 25.0%と低く、非正規雇用が 55.0%となっており割合が高くなっている。

家計状況と就業形態

- **家計状況：** 正規雇用の保護者は貯蓄ができている割合が 49.5%と高く、非正規雇用では家計が赤字である割合が 45.5%と高くなっている。

健康に関しても経済状況が、生活習慣や健康状態、そして自己効力感や将来への期待に顕著な影響を与えている。特に、困窮度が高い家庭では、保護者と子どもの健康に関する自覚症状が多く、心身の不調が顕著であった。保護者の就業状況や食事習慣も健康状態や親子関係に影響を及ぼしており、経済的に困難な状況は家庭内の多方面に悪影響を与えていることが示唆される。また、就業状況や食事習慣がこれらの健康状態や親子関係に重要な役割を果たしていた。健康格差の解消に向けた社会的支援が必要である。

生活習慣と健康状態

- **自覚症状：** 困窮度Ⅰ群の保護者は、頭痛、不安、注意散漫、聴覚障害、やる気の欠如、肩こり、腰痛などの自覚症状が中央値以上群と比べて顕著に高い。
- **子どもの自信と意欲：** 困窮度Ⅰ群の子どもは、「やろうと思ったことがうまくできる」13.9%が中央値以上群 25.2%に比べて低い。

経済的理由による健康への影響

- **経験の該当数と健康状態：** 経済的理由による経験の該当数が多いほど、「よくお腹が痛くなる」等の自覚症状が顕著。

保護者の就業状況と生活習慣

- **朝食の頻度：** 非正規群の世帯では、朝食を摂る頻度が低い。

食事習慣と親子関係、健康状態

- **朝食と昼食の摂取：** 規則正しく朝食と昼食を摂る家庭では、子どもの自己効力感が高く、保護者の子どもの将来への期待も高い。

セクションコメントで述べてきたように、毎日の規則正しい朝食・昼食習慣が、保護者と子どもがよりよい関係となって、子どもの自己効力感を高める可能性があり、自己肯定感や将来の夢や目標があるほど、日常生活の中で元気に過ごしているという傾向があることから、基本的な生活習慣を維持できるような取り組み、将来の夢や目標が持てるような取り組みの工夫が必要である。

家庭生活や学習に関する傾向も経済状況は家庭生活の質、子どもの学習態度、進学希望に大きく影響している。困窮家庭では朝食の共食頻度が低く、保護者の在宅時間が短いことが示された。また、経済的困窮は子どもの学習時間の減少、遅刻の増加、進学希望に負の影響を与えている。特に、子どもと保護者間のコミュニケーションや学業理解度における経済状況の影響は深刻であり、教育機会に課題がある。

家庭生活に関連する課題

- **共食の頻度：**おうちの大人のひとと一緒に朝食をとる頻度が「ほとんどない」が困窮度Ⅰ群では、30.6%と中央値以上群の家庭の10.6%に比べて高い。一方で、夕食の「ほとんど毎日」については、困窮度Ⅰ群94.4%で中央値以上群の82.8%より高くなっている。
- **保護者の在宅時間：**「学校からの帰宅時間」に家にいる保護者の割合が困窮度Ⅰ群では40.0%、中央値以上群では50.3%と差があり、困窮度が高いほど保護者の在宅率が低い。
- **子どもとの会話：**困窮度Ⅰ群では「よくする」が47.5%、中央値以上群67.9%となっている。

学習に関連する課題

- **学校への遅刻：**経済状況による遅刻の有無に差があり、「遅刻はしない」の割合が困窮度Ⅰ群では75.0%、中央値以上群では88.7%となっている。
- **通学状況：**「ほぼ毎日通っている」の割合が困窮度Ⅰ群では82.5%、中央値以上群で95.8%と、経済状況が子どもの就学環境に影響を及ぼしている可能性がある。
- **勉強時間：**困窮度Ⅰ群では「まったくしない」の割合が学校のある日で19.4%、中央値以上群では7.3%。休日の場合、困窮度Ⅰ群で36.1%、中央値以上群では19.9%と、経済状況が子どもの学習習慣に影響している。

進学希望に関連する課題

- **進学先の希望：**困窮度Ⅰ群の家庭の子どもの「大学」希望が25.0%、中央値以上群では40.4%と差があり、保護者の希望する「大学」への進学も困窮度Ⅰ群で35.0%、中央値以上群で73.9%と大きな差がある。

経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しうる。経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。子どもの将来に関して、困窮度Ⅰ群と中央値以上群の差がある。つまり、経済的に困難な世帯の子どもは、将来への希望を持ちづらい。

加えて、経済状況が生活習慣や学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、生活習慣が身についていないと遅刻につながり、学習理解に影響が出ている可能性がある。こうした学習習慣と家庭状況は大きく関係するため、横断的に判断できて支援に繋ぐよう

な、例えば家庭学習を補完するためにも、学習支援や学校での少し先輩である就学前児童なら小学生、小学生なら中学生、中学生なら高校生、など年齢の近い年上の子ども・若者を各所で導入する仕組みを作ったり、校内でサポートを展開するメンターの導入を行ったりすることが望まれる。(イギリスやアメリカで活用されるメンター制度など)

対人関係においても経済的な困窮度の高い家庭の子どもは塾や習い事の参加が少なく、スーパーやショッピングモールでの時間を過ごすことが多く、家族以外の大人との交流が限られている。一方で、そうでない家庭の子どもは学校や勉強、進路に関する楽しい体験が多い。また、困窮家庭の子どもは進学や進路に関する悩みが多いが、社会的交流が少ないことで他者からの評価への不安も増大していることが示された。こうした格差は子どもたちの将来に対する不安を増大させ、自己効力感にも影響する可能性があるため、教育活動への平等なアクセスの提供、社会的交流の機会の拡大、家庭内役割のサポート、及び相談機会の充実など適切な社会的サポートの提供が不可欠である。

放課後の過ごし方と社会的交流

- **教育活動へのアクセス**：中央値以上群は困窮度Ⅰ群に比べ、「塾」(35.1%対16.7%)と「習い事」(49.0%対11.1%)の利用率が高い。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「スーパーやショッピングモール」(11.1%対2.6%)の利用率が約4倍高くなっている。
- **社会的交流の機会**：中央値以上群は「おうちの人以外の大人」と過ごす割合が困窮度Ⅰ群に比べて31.1%対11.1%と約3倍である。

子どもの楽しみと悩みの内容の違い

- **楽しいことに関する認識**：中央値以上群は困窮度Ⅰ群に比べ、「塾や習いごとで過ごしているとき」(39.1%対13.9%)、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」(23.2%対8.3%)を楽しんでいると感じている。
- **悩んでいることの内容**：困窮度Ⅰ群は中央値以上群に比べ、「学校や勉強のこと」(30.6%対19.2%)、「クラブ活動や部活動のこと」(19.4%対6.6%)、「進学・進路のこと」(25.0%対15.9%)に悩んでいる。

自己効力感とその影響

- **自己効力感**：放課後ひとりでいる子どもはひとりでいることはない子どもに比べ、自己効力感が低い(平均値8.28対8.88)。

家庭内の役割と社会的サポート

- **子どもの家庭内での役割**：中央値以上群は困窮度Ⅰ群に比べ、誰かの世話をする割合が21.9%対13.9%と高い。
- **社会的サポートへのアクセス**：困窮度Ⅰ群は中央値以上群に比べ、「民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)」(2.5%対1.8%)、「医療機関の医師や看護師」(5.0%対3.6%)と相談する割合が高い。

経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性があることが示唆された。また、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。

子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

最後に、子どもが保護者以外と話せる機会が必要である。しかし、家庭と学校しかソーシャル・キャピタルを持たない子どもたちにとって、今回の調査において、「おうちの人に関する悩み」は「おうちの人」と「学校の友だち」に話しにくいという結果であった。これは、ますます経済的に厳しい子どもたちを孤立させ、ソーシャル・キャピタルを欠如させてしまう。おうちの人や学校の友だちに相談すること自体難しいと考えられるが、おうちの人や友だちに話せないという今回の結果から、自然と話せるような場や人材を確保し、すべての子どもが自然に通う、学校から自然に構えずに参加できる、流れるような仕組みを創設または充実させる必要がある。

まとめ

今回の調査結果から、子どもの貧困に関する対策の基礎情報として、親の就労や学歴、所得状況が明らかになった。これは、2021年度の厚生労働省の国民生活基礎調査の結果と同様の傾向と考えられる。

しかし、その分が子どもに回っておらず、物価高の影響等々考えられる。肝心の困窮度Ⅰ群の世帯あるいは子どもの状況はよい状況とは言えない。このことは子どもの貧困を考える立場にとっては厳しい結果である。この解決には、国が縦割りを解消しようとこども家庭庁を設立し、データ連携等々新たな動きをしているなか、同様に教育や福祉という既存の枠組みを越えて、子どもをまんやかに実行できる体制や制度設計を早急に考えるべきである。

摂津市シティプロモーション戦略では、人口減少や少子高齢化を背景として、2017年から2052年(高齢者数が最大となる年)にかけて総人口が約1.1万人減少すると推計されている。また、この35年間に3小学校区(千里丘、味舌、摂津)で人口が増加する一方、他の小学校区では人口が減少し、鳥飼東は人口が半減、鳥飼北、鳥飼は4割前後の人口が減少すると推計されており、すなわち相対的貧困が拡大することが予測されている。そのため施策や支援を充実させるとともに、市内外への魅力発信の柱として、①健康・医療 ②産業 ③水辺・風景・公園 ④利便性・暮らしやすさが掲げられており、より摂津市の強みを生かした「子ども中心」の対策が可能であると考えられる。

そこで、以下のような覚悟ある対策をとる必要がある。

- ① 経済面：母子世帯への支援や収入アップを企業側が実行できるような施策が必要である。
- ② 学習面：学校だけでなく、しかしすべての子どもが通う学校と連携した学びの保障を検討する。方策として、コミュニティスクールや学習支援、無料塾の創設などの活用である。保護者のニーズのある無料塾は、例えば沖縄で導入している。貧困調査の結果から支援員を大々的に投入し、訪問による給付や支援の申請書記入のサポートなどの人的支援方策を実施した。そのような方法を検討する必要がある。あるいはそれをクラウドデータで行えるようなデータから社会資源を選択できるよう可視化と自治体内でどこかの部署でも所持するような共有化が必要である。
- ③ 無償化の対象にならない部活の費用などの補助を行う。塾代助成のような方策を検討し、かつ申請をしなくても必要な人には利用できるよう、塾側に措置費のような形で配分する枠組みの提示や方策の提案を行う。
- ④ 価値の創造：教育の力はすべての子どもに影響することが出来る。年齢に応じて子どもの人権や生きる価値など人間尊重の理念から獲得できるような学びとその方法を導入する。小学1年生から体験的に教育を受ける生きる教育(西澤・西岡 2022)やブレインストーミングのように子どもたちとの対話で進めるフィンランドの教育(北川 2005)、実際的な生活課題か

ら制度やサービス、権利に関して体験的に学ぶスウェーデンの社会科（リンドクウィスト・ウエステル 1997）のように、その年齢に合わせて体験型であり、自身の意見を出し、周りの意見を聞きながら進めるレクチャー型ではない教育の進め方を根本から検討すべきである。そのことによって、10 代の妊娠やいじめ、ヤングケアラーなど家庭状況を抱えるようになっても早期に SOS を出すことが可能となり、自身で支援を選択できる力を養うことができる。

- ⑤ 地域資源：支援の場所を周知することである。子ども食堂に限らず、様々な機能（駄菓子屋や公園などほっと寄れるような場を使ったりたまり場など）を持つ居場所や体験交流できる場かつ子どもが自力で行ける小学校区に必要である。学校が場所を開放するのがベストであり、学校を拠点とした学校プラットフォーム（山野 2018）構想を引き続き検討すべきである。その意味は、2016 年以降政策展開されてきたように、その場所が子どもにとっても親にとってもわかりやすく、行きやすい場所であるからであり、選択肢が増え、可視化し利用しやすくなる必要がある。相談機関を増やしても子どもや親からの相談の数値は決して上がらず、居場所などの場の方が有効である。
- ⑥ 連携の考え方：連携とは個人情報共有をしなければできないわけではない。個人情報は把握しないまま連携することが重要である。これが社会資源を知らない教師と個人情報を持ってない地域の居場所の新しい連携の方法であり、これらのちょっとした手法を周知徹底させることである。
- ⑦ すべての子どもを視野に入れ、そこから自然につながる仕組みなど、今までの縦割りとは次元の違う支援の仕組みが必要である。
- ⑧ 社会福祉協議会など居場所の中間支援を行う機関の役割を明確化し、機能的に促進させる。社会教育分野が持つ公民館や図書館、博物館なども場であり、さらなる協働を明確にする。（子ども食堂等居場所の活動団体が無料で入れる、利用できるなど）
- ⑨ 全数からの仕組み：必要な子どもが確実に発見され自然につながるためには、スクリーニングから繋ぐ機能まで持った、例えば文部科学省推奨（2020）の YOSS スクリーニング（山野研究室 2021）の仕組みが必要である。相談ではなく、自然に伴走する支援を厳しい家庭の保護者や子どもたちは求めていることがわかる。必要な子どもを早期に発見し、伴走しながら、必要な制度や仕組みを紹介し、利用を増やすことで生活の改善をはかることと、伴走することで子どもや保護者本人の力をアップさせ、資源を活用できるようにする機能が必要である。
- ⑩ システム化：洩れなく持続可能に巡回させるためには、人に頼るだけでなく、福祉と学校のデータ連携を推奨し、地域資源の可視化のためにクラウド化することも考慮すべき点である。クラウドによっていち早く支援場所や居場所が学校にもすぐにわかり、地域活動と支援の必要な子どもを結び、支援提供を展開する必要がある。
- ⑪ 人材：これら学校においてすべての子どもの検討、発見から支援に繋ぐ校内の体制作りができる人材養成に力を入れる必要がある。スキルを取得する講座の予算化や新たな認定制度になることも家庭ソーシャルワーカー養成制度の活用などである。
- ⑫ その専門職の 1 つがスクールソーシャルワーカーである。先述した個人情報を交換しない連携のあり方がわかるソーシャルワーカーの職種は鍵であり、各校に 1 名配置できるよう、正規職化への働きかけ、あるいは正職化計画を立てる必要がある。
- ⑬ 法制化：これらは連携ではなく仕組み作りであり、制度化である。要項や規定を作成し、自治体や機関として動きやすいように作成すべきである。
- ⑭ 制度設計：デジタル化のために補助金や助成金を検討することも必要である。なぜなら、どこに必要な子どもが存在するのかがわからない。まずは校務系内のデータ連携、学習系と校務系のデータ連携、それから福祉と教育のデータ連携を検討することでどこに必要な子どもが

存在し、様々な制度を活用してどうだったかを検証できるように作りこむことである。知らないまま恐れるより、まずはすべての子どものために個人情報だけでなくシステムの理解を進めること、そしてデジタル庁やこども家庭庁において策定しているガイドライン等も活用しつつ一歩でも進める覚悟が必要である。これらのシステム費用がベンダーロックにより莫大な金額がかかる課題がある。企業を巻き込むと同時に、自治体や政府からクラウド化に向けた助成制度を創設する必要がある。

引用・参考文献

- アーネ・リンドクウィスト&ヤン・ウェステル、川上 邦夫（翻訳）（1997）『あなた自身の社会：スウェーデンの中学教科書』新評論。
- 大阪府（2023）「大阪府子ども（子育て世帯）に対する食費支援事業（第2弾）」
(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/20980/00457638/2-9.pdf>)
- 大阪府立大学（2017）「大阪府子どもの生活実態調査」
- 北川達夫（2005）「図解フィンランド・メソッド入門」経済界。
- 厚生労働省（2004）「ワークシェアリング導入促進に関する秘訣集及びリーフレットについて」
(<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/06/h0630-2.html>)
- 厚生労働省（2017）「平成28年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告」
(<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000190325.pdf>)
- 厚生労働省（2022）「2022（令和4）年国民生活基礎調査の概況」
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html>)
- 柴田悠（2016）『子育て支援が日本を救う—政策効果の統計分析』勁草書房。
- 内閣府（2010）「平成21年度インターネットによる子育て費用に関する調査」
(https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyousa21/net_hiyo/mokuji_pdf.html)
- 西澤哲・西岡加名恵ほか（2022）『『生きる』教育：自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする方法を学ぶ』日本標準。
- 日本総研（2022）「令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省。
- 三菱UFJリサーチコンサルティング（株）（2021）「令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省。
- 文部科学省（2023）「令和5年度就学援助の実施状況」
(https://www.mext.go.jp/content/20210324-mxt_shuugaku-000013450_27.pdf)
- 文部科学省・山野研究室（2020）「スクリーニング活用ガイド」
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf)
- 山野則子編著（2019）『子どもの貧困調査—子どもの生活に関する実態調査から見てきたもの』明石書店。
- 山野則子（2018）『学校プラットフォーム』有斐閣。
- 山野則子研究室（2021）「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査報告書」厚生労働省
- 山野則子研究室（2021）「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向け

た調査研究」文部科学省.

柳澤靖明・福島尚子 (2019)『隠れ教育費：公立小中学校でかかるお金を徹底検証』太郎次郎社エディタス.

UNESCO(2020) ‘International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach (jpn)’ (<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167>)

図表目次

図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験	164
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験	166
図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの.....	168
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均.....	169
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均.....	170
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均.....	171
図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成	172
図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況	173
図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数	174
図 10. 困窮度別に見た、住居形態	175
図 11. 困窮度別に見た、家計の状況	176
図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	177
図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無	178
図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況	181
図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	182
図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況	183
図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）	184
図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢	185
図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）	186
図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	187
図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	188
図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）	189
図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）	191
図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ） ...	193
図 25. 住居形態別に見た、家計の状況	194
図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	195
図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況.....	196
図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況.....	197
図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	198
図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	199
図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	200
図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ...	201
図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況	202
図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況.....	204
図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況.....	206
図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	208
図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	210
図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	212
図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ...	214
図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況.....	216
図 41. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況.....	217
図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況.....	218

図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	219
図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	220
図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	221
図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況	222
図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況 ...	223
図 48. 困窮度別に見た、就労状況	225
図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴	226
図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴	227
図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況	228
図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況	229
図 53. 世帯構成別に見た、就労状況	230
図 54. 就労状況別に見た、家計の状況	231
図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度	233
図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度	234
図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度	235
図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度	236
図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	237
図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	238
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度	239
図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	240
図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	241
図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある	242
図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ	243
図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	244
図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる	245
図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	246
図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	247
図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	248
図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	249
図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	250
図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること	252
図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがた くさんある	253
図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ ..	254
図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	255
図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうま くできる	256
図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	257
図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	258
図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	259
図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	260
図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	261
図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること	263

図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	265
図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	267
図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	268
図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点	269
図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）	270
図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）	271
図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）	272
図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）	273
図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか	275
図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか	276
図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか	277
図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか	278
図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	279
図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	280
図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間	281
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの	282
図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日）	283
図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日）	284
図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	285
図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	286
図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	287
図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	288
図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間	289
図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間	290
図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連	291
図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連	292
図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度	293
図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度	294
図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間	295
図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間	296
図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度	297
図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度	298
図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先	299
図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学	300
図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻	301
図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況	302
図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか	303
図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか	304
図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか	305
図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校のできごとについて話すか	306
図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか	307
図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか	308
図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか	309

図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか.....	310
図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること	312
図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数.....	313
図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	314
図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先	315
図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの.....	316
図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること.....	318
図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合	319
図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数.....	320
図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	321
図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先	322
図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯	323
図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度	324
図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度	325
図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	326
図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	327
図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況.....	329
図 144. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日） ..	330
図 145. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日） ..	331
図 146. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所	335
図 147. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人	337
図 148. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと	339
図 149. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること	341
図 150. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	343
図 151. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先.....	345
図 152. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合	346
図 153. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	347
図 154. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	348
図 155. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか.....	349
図 156. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか.....	350
図 157. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校のできごとについて話すか	351
図 158. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか	352
図 159. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか.....	353
図 160. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか.....	354
図 161. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか.....	355
図 162. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	356
図 163. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所.....	357
図 164. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所.....	358
図 165. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所	359
図 166. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験	360
図 167. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	362
図 168. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	364
図 169. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	366

図 170. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	368
図 171. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	370
図 172. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	371
図 173. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所....	372
図 174. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所.....	373
図 175. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所.....	374
図 176. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先.....	376
図 177. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	378
図 178. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	380
図 179. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所.....	382
図 180. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所.....	384
図 181. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所.....	386
図 182. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	388
図 183. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所.....	390
図 184. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所.....	392
図 185. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所.....	394
図 186. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無.....	396
図 187. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先....	398

IV 資料編

おおさかふ こ せいかつ かん じったいちようさ
大阪府子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせい ちゅうがく せい む ちょうさ ちょうさひょう せ っ つ し
小学生・中学生向け調査 調査票【摂津市】

ちょうさ きょうりょく ねが
< 調査へのご協力をお願い >

- ◆この調査は、大阪府内および摂津市内の小中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で答えてください。
- ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- ◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◆あなたが答えた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- ◆大阪府および摂津市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月31日までに回答してください。

う え ぶ かいたう
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをざらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

かみ ちょうさ ひょう かいたう
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、おうちの人に渡してください。

きげん れいわ ねん がつ にち げつようび ◆
◆期限： 令和5年7月31日（月曜日）◆

ちょうさ かん といあわ さき
【調査に関するお問合せ先】

せ っ つ し じ せだい いく せいぶ こそだ し えん か
摂津市 次世代育成部 子育て支援課

でんわ 06-6383-1980 (直通) ※9:00~17:00 土・日曜日・祝日を除く

ふあくしり 06-6319-1930
ファクシミリ

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしたがってください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 起きている	3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている	4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 午後9時より前	4. 午後11時台	7. きまっていない
2. 午後9時台	5. 午前0時台	
3. 午後10時台	6. 午前1時以後	

問4 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問5 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に 2 ～ 3 回	5. 食べない
2. 週に 4 ～ 5 回	4. 週に 1 回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問6 お休みの日の昼食についておたずねします。

(1) あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。)(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

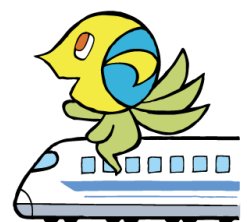
1. 必ず食べる	3. 食べないことが多い	5. わからない
2. 食べることが多い	4. 食べない	

(2) 前の質問で「1. 必ず食べる」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが、学校がお休みの日に昼食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問7 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に 2 ～ 3 回	5. 遅刻はしない
2. 週に 4 ～ 5 回	4. 週に 1 回程度	



とい 問8 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩それぞれについて、あてはまる番号ばんごう
ひと まる
1つに○をつけてください）

	ほとんど毎日 まいにち	週に4～5回 しゅう かい	週に2～3回 しゅう かい	週に1回程度 しゅう かい いど	月に1～2回 つき かい	ほとんどない	まったくない
① おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
② おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③ おうちの大人のひとに朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④ おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤ おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥ おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦ おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧ おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨ おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩ おうちの大人のひとと一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

とい 問9 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいとおもいますか。

（あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください）

1. おうちのひとと一緒に過ごしているとき	5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
2. ともだちと一緒に過ごしているとき	6. 塾や習いごとで過ごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	7. 特に楽しいと思うときはない
4. ひとりで過ごしているとき	8. その他

とい
問10 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4. 学校のともだち
5. クラブ活動・部活動の仲間
6. 学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
7. ひとりでいる
8. その他の人

とい
問11 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 自分の家	9. コンビニエンスストア
2. おばあちゃん・おじいちゃんの家	10. ゲームセンター
3. ともだちの家	11. 図書館や公民館など公共の施設
4. 塾	12. 地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所）
5. 習いごと	13. 学童保育（※）
6. 学校（クラブ活動・部活動など）	14. その他
7. 公園・広場	
8. スーパーやショッピングモール	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

とい
問12 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 自分で勉強する	6. おうちの人に教えてもらう
2. 塾で勉強する	7. ともだちと勉強する
3. 学校の補習を受ける	8. その他
4. 家庭教師に教えてもらう	9. 学校の授業以外で勉強はしない
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

とい 問13 あなたは、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
 (塾などの時間もふくみます。)(①、②それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない
① 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	7
② 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	7

はんぶん
あと半分だよ。
がんばってね！

とい 問14 学校の勉強についておたずねします。
 (1) 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. わからない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

(2) 前の質問で「3. あまりわからない」「4. ほとんどわからない」「5. わからない」に○をつけた方に
 おたずねします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小学1・2年生のころ	3. 小学5年生になってから	5. 中学1年生のころ
2. 小学3・4年生のころ	4. 小学6年生のころ	6. 中学2年生になってから

とい 問15 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
 (教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

とい 問16 あなたは、^{がっこう}学校や^{がっこう}学校の^{ぎょうじ}行事などで次のようなことがありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{じゅぎょうちゅう} 授業中に ^ね 寝てしまうことが多い	7. ^{うんどうかい} 運動会や ^{えんそく} 遠足などの ^{がっこうぎょうじ} 学校行事を ^{けっせき} 欠席する
2. ^{しゅくだい} 宿題ができていないことが多い	8. ^{ほけんしつ} 保健室で ^す 過ごすことが多い
3. ^も 持ち物の ^{わす} 忘れ物が ^{おほ} 多い	9. ^{がっこう} 学校では ^{ひとり} ひとりで ^す 過ごすことが多い
4. ^{なら} 新しいことを ^{やす} 休むことが ^{おほ} 多い	10. ^{ともだち} ともだちと ^{あそ} 遊んだり、 ^{おしゃべり} おしゃべりしたりする ^{じかん} 時間が
5. ^{ていしゅつぶつ} 提出物を出すのが ^だ 遅れることが ^{おほ} 多い	^{すく} 少ない
6. ^{しゅうがくりょこう} 修学旅行などの ^{しゅくはくぎょうじ} 宿泊行事を ^{けっせき} 欠席する	11. ^{とく} 特にない

とい 問17 今、あなたは、いやなことや^{なや}悩んでいることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{おうち} のこと	6. ^す 好きな ^{ひと} 人のこと
2. ^{がっこう} 学校や ^{べんきょう} 勉強のこと	7. ^{しんがく} 進学・ ^{しんろ} 進路のこと
3. ^{くらぶ} クラブ活動や ^{ぶかつどう} 部活動のこと	8. ^た その他のこと
4. ^{じぶん} 自分のこと(外見や ^{がいけん} 体型など)	9. いやなことや ^{なや} 悩んでいることはない
5. ^{ともだち} のこと	10. ^{わから} ない

とい 問18 あなたは、いやなことや^{なや}悩んでいることがあるとき、だれかに^{そうだん}相談しますか。(だれに^{はな}話しますか。)

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{おや} 親	12. ^{いんたーねっと} インターネットや ^{さいと} サイトなどを ^{つうし} 通じて ^し 知りあった
2. ^{きょうだい} きょうだい	^{ちよくせつ} 直接 ^あ 会ったことのない ^{ひと} 人
3. ^{しん} 親せき	13. ^{きんじょ} 近所の ^{ひと} 人
4. ^{がっこう} 学校の ^{ともだち} ともだち	14. ^{ちいき} 地域の ^{しえんだんたい} 支援団体
5. ^{がっこう} 学校以外の ^い ともだち	^{がくしゅうしえん} (学習支援の ^ば 場や ^こ 子ども ^{しょくどう} 食堂など ^{ちいき} 地域で
6. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生	^{おなとし} 同じ ^こ 年ごろの ^{あつ} 子どもが ^{ひと} 集まるところの ^{ひと} 人)
7. ^{すくー} スクール ^{かうんせらー} カウンセラー、 ^{そーしゃるわーかー} ソーシャルワーカー	15. ^た その他の ^{ひと} 人
8. ^{じゅく} 塾や ^{なら} 習いごとの ^{せんせい} 先生	16. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談できない
9. ^{がくどうほいく} 学童保育の ^{せんせい} 先生(※)	17. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談したくない
10. ^こ 子ども ^{せんよう} 専用の ^{でんわ} 電話 ^{そうだん} 相談	18. ^{わから} ない
11. ^{えすえぬえす} SNSなどの ^{いんたーねっと} インターネットや ^{らいん} LINEの ^{そうだん} 相談	

※「学童保育」とは、「^{がくどうほいく}放課後児童クラブ」、「^{ほしかぎ}いきいき放課後児童クラブ」、「^{るす}留守家庭児童会(室)」、「^{がくどうくらぶ}学童クラブ」、「^{なかよ}仲良し^{くらぶ}クラブ」もふくみます。

問19 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。

(①～⑨それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	そう うっ だも	とき どき そう だ	そ ん な い こ と
① 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
② 遊びにでかけるのが好きだ	1	2	3
③ 元気いっぱいだ	1	2	3
④ やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑤ 一人ぼっちのような気がする	1	2	3
⑥ 不安な気持ちになる	1	2	3
⑦ まわりが気になる	1	2	3
⑧ やる気が起きない	1	2	3
⑨ いらいらする	1	2	3

問20 あなたは、自分の体の状態で気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	6. よくかゆくなる
2. よく頭がいたくなる	7. とくに気になるところはない
3. 歯がいたい	8. その他
4. よくおなかがいたくなる	9. わからない
5. よくかぜをひく	



答えたくない質問は答える必要はないよ。

答えに迷うときは、あなたの気持ちや考えに

できるだけ近いものを選んでね。

とい 問21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 本 (学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく)	8. テレビ
2. マンガ・雑誌	9. けいたい電話
3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだいと 一緒に使っている部屋など)	10. スマートフォン・タブレット機器
4. インターネットにつながるパソコン (学校のパソコンはのぞく)	11. 化粧品・アクセサリ
5. 運動用具 (ボール・ラケットなど)	12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
6. ゲーム機	13. 自分で選んだ服
7. 自転車	14. キャラクターグッズ
	15. その他
	16. あてはまるものはない

あなたが、ふだん 考 えていることについておたずねします。

とい 問22 あなたは、つらいことがあってもすぐ立ち直ることができますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというそう思わない
2. どちらかというそう思う	4. そう思わない

とい 問23 あなたがふだん 考 えていることについて、次の (1) ~ (3) について教えてください。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

(1) 自分に自信がある

1. ある	3. どちらかというたない
2. どちらかというとある	4. ない

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる	3. どちらかというとできない
2. どちらかというとできる	4. できない

(3) 自分の将来の夢や目標を持っている

1. 持っている	3. どちらかというと持っていない
2. どちらかというと持っている	4. 持っていない

問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	6. 留学 (外国で長い期間勉強すること)
2. 高校	7. 専門学校 (美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など) ・高等
3. 短期大学	せんもんがっこう 専門学校
4. 大学	8. 考えたことがない
5. 大学院	9. わからない

あともう少しだよ！

がんばってね！



あなたのことについて、おたずねします。

問25 自分やともだちの家以外の場所についておたずねします。

- (1) あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

(①～④それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	利用したことがある	利用したことはない (あれば利用したい と思う)	利用したことはない (今後利用したい と思わない)	利用したことはない (今後利用したい から分らない)
① 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育など)	1	2	3	4
② 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
③ 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 (一般的な学習塾とはちがう学習支援など)	1	2	3	4
④ 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4

- (2) 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方におたずねします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ともだちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

(3) 問25(1)の質問で、「利用したことがある」に○をつけた方以外におたずねします。利用したことがないのはなぜですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. どこにあるか知らないから	7. Wi-fi (インターネット通信環境) がないから
2. 家の近く(ひとりでいける場所)にないから	8. 行きたいと思わないから
3. 家で過ごしたいと思うから	9. 何をしているかわからないから
4. 楽しくなさそうだから	10. 利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから
5. 「行っはいいけない」と親などの大人に言われるから	11. その他
6. 行きたい日・時間に開いていないから	

問26 あなたがおうちでしているお世話の様子についておたずねします。

(1) おうちの人のなかあなたが世話をしている人はいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. いる	2. いない

(2) 前の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。誰のお世話をしていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじいちゃん
2. お父さん	5. きょうだい
3. おばあちゃん	6. その他

(3) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。あなたがやっているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 料理や買い物、食器洗いなど	5. 病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など
2. 洗濯など	6. その他
3. そうじやゴミ捨てなど	
4. きょうだいのめんどろを見ることや保育所のおむかえなど	

(4) 問26(2)の質問で「6. その他」に○をつけた方は、具体的な内容を書いてください。

(5) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をするのはどれくらいありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほぼ毎日	3. 週に1日または2日
2. 週に3日～5日	4. 1か月に数日

(6) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。学校がある日に、お世話を1日のうちどれくらいしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1時間より少ない	4. 3時間以上、5時間より少ない
2. 1時間以上、2時間より少ない	5. 5時間以上、7時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない	6. 7時間より多い

(7) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をしていることによつて次のようなことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの人と話したり遊んだりすることが ふ 増える	8. とても疲れることがある
2. 時間の使い方を工夫できる	9. いろいろしやすい
3. 家の中で気持ちよく過ごすことができる	10. 気持ちが落ち込む
4. おうちの人健康に過ごすことができる	11. 学校を欠席や遅刻、早退することがある
5. 「お世話」にやりがいを感じる	12. その他
6. おうちの人以外と話す時間が減る	13. 特にない
7. 自分のことをする時間がない	

問27 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子	3. その他
2. 女子	4. 答えたくない

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、保護者の方に渡してください。

相談窓口のご案内

○親子やきょうだいのことなど家庭での悩みについては

＜子どもの悩み相談フリーダイヤル＞

電話：0120-7285-25

24時間 365日

LINE <https://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/sodanliner3/index.html>

＜親子のための相談LINE＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

○友人関係など学校での悩みについては

＜すこやかホットライン＞

電話：06-6607-7361

※9:00～17:30 土・日曜日・祝日・年末年始を除く

Eメール sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp



@2014 大阪府もずやん

【ひとりで悩まないで、相談してね。】



パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700082>

- ◆ 最初の画面がでてきたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

おおさか ふ こ せいかつ かん じったい ちようさ
大阪府子どもの生活に関する実態調査
ほ ご し や む ちようさ ちようさひよう せ っ っ し
保護者向け調査 調査票 【摂津市】

ちようさ きようりよく ねが
< 調査へのご協力のお願い >

- ◆この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪府および摂津市の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願いします。
- ◆調査の対象は、摂津市立の小中学校に通う小学5年生と中学2年生およびその保護者です。
- ◆お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。
- ◆この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
- ◆ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙（またはWebフォーム）に回答してください。
- ◆回答するときには、お子さんと別々に、お互いの回答を見ないように記入してください。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月31日までに回答してください。

う え ぶ かいたう
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをごらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

かみ ちよう さ ひよう かいたう
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封をしてください。お子さんの回答のいった「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を返信用封筒にまとめて入れ、期限までに返信してください。切手は不要です。

きげん れいわ ねん がつ にち げつようび
◆期限： 令和5年7月31日（月曜日）◆

ちようさ かん といあわ さき
【調査に関するお問合せ先】

せ っ っ し じ せだい いくせいぶ こそだ し えん か
摂津市 次世代育成部 子育て支援課

てんわ ちようつう ど にちようび しゅくじつ のぞ
電話 06-6383-1980（直通） ※9:00～17:00 土・日曜日・祝日を除く
ふあくし みるい
ファクシミリ 06-6319-1930

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしたがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おじいさん・おばあさん	6. その他の人

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、令和5年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問2 あなたの世帯の構成と人数をお答えください。（①～⑧それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）（⑧は、あなたや対象のお子さんを含んだ人数をお答えください。）

①おばあさん	②おじいさん	③お母さん	④お父さん	⑧合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人	0. いない 1. 1人	1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上
⑤姉・兄	対象のお子さん (本人) (※)	⑥妹・弟	⑦その他	
0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	1人	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	

※「対象のお子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問3 お子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む。）	4. 未婚
2. 離婚	5. わからない
3. 死別	6. いない

問4 前の質問で「2. 離婚」に○をつけた方におたずねします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。

また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 取り決めをしており、受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3. 取り決めをしているが、受け取っていない
4. 取り決めをしておらず、受け取っていない

問5 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

（1）前年（2022年）の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

（2）お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 食費を切りつめた	13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした
2. 電気・ガス・水道などが止められた	14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある
3. 医療機関を受診できなかった	15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある
4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	16. 趣味やレジャーの出費を減らした
5. 国民年金の支払いが滞ったことがある	17. 冷暖房の使用を控えた
6. 金融機関などに借金をしたことがある	18. 友人・知人との外食を控えた
7. クレジットカードの利用が停止になったことがある	19. 敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した
8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた	20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした
9. 新聞や雑誌を買うのを控えた	21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった
10. スマートフォンへの切替・利用を断念した	22. 1～21の項目には、どれもあてはまらない
11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた	
12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）（現在、ひとりでお子さんを育てている場合（ひとり親の場合）はあてはまる方だけに○をつけてください。）

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。（複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください）

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ① 家事や育児に専念したため ② 学生のため ③ おうちの人の介護や介助のため ④ 病気療養のため ⑤ 年金収入があるため ⑥ 家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦ その他

とう お父さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方（おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など）	
1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚を含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	4. お子さんが寝た後に帰ってくる
2. お子さんの夕食時間には家にいる	5. 帰宅時間が決まっていない
3. お子さんの寝る時間には家にいる	6. その他

問11 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

お子さんに関することについておたずねします。

問12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（おおむね1年の間で考えてください。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. お子さんを医療機関に受診させることができなかった	9. お子さんを学習塾に通わせることができなかった
2. お子さんの進路を変更した	10. お子さんの誕生日を祝えなかった
3. お子さんのための本や絵本が買えなかった	11. お子さんにお年玉をあげることができなかった
4. お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	12. お子さんの学校行事などに参加することができなかった
5. お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	13. 子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
6. お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14. 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
7. お子さんを習い事に通わすことができなかった	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない
8. お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	

とい 問13 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1 日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

平日	休日
1. 0～15 分未満	1. 2 時間未満
2. 15 分～30 分未満	2. 2 時間～4 時間未満
3. 30 分～1 時間未満	3. 4 時間～6 時間未満
4. 1 時間～2 時間未満	4. 6 時間～8 時間未満
5. 2 時間～3 時間未満	5. 8 時間～10 時間未満
6. 3 時間～4 時間未満	6. 10 時間以上
7. 4 時間以上	

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても期待している	3. あまり期待していない
2. 期待している	4. 期待していない

(5) お子さんの授業参観や運動会などの学校行事に参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よく参加している	3. あまり参加していない
2. ととき参加している	4. まったく参加していない

とい 問14 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	4. 大学	7. 専門学校・高等専門学校
2. 高校	5. 大学院	8. 考えたことがない
3. 短期大学	6. 留学	9. わからない

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間30日未満である
3. 欠席が年間30日以上、60日未満である
4. 欠席が年間60日以上、1年未満である
5. 欠席が1年以上続いている
6. わからない

問16 子どもの居場所について、おたずねします。

(1) あなたのお子さんは、次のような「子どもの居場所」を利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- ・自宅や学校以外の場所で、子どもたちが本を読んだり、みんなで遊んだりできるような場所
- ・子どもが無料又は低額で食事ができる場所（子ども食堂）
- ・自宅や学校、塾以外の場所で、無料でボランティアの方などが勉強を教える学習支援の場

1. 利用したことがある	2. 利用したことがない

(2) 前の質問で「1. 利用したことがある」と答えた方におたずねします。

お子さんが子どもの居場所を利用することで良いと思うことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 地域の人とつながれるから 2. お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから 3. 栄養バランスのとれた食事がとれるから 4. 運営者が相談に乗ってくれるから 5. 低額（または無料）でご飯が食べられるから	6. 宿題など勉強を見てくれるから 7. お子さんが楽しんでいるから 8. 特になし 9. その他

(3) 問16(1)の質問で「2. 利用したことがない」と答えた方におたずねします。

子どもの居場所を利用しないのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. どこにあるかわからないから 2. 家の近く（小学校区内）にないから 3. 家で過ごしてほしいと思うから 4. 居場所のイメージがよくないから 5. お子さんが「行きたくない」と言っているから	6. 行きたい日・時間に開いていないから 7. 利用したいと思わないから 8. 何をしているかわからないから 9. その他

あなたのことについておたずねします。

問17 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問18 次の①～⑦について、おうちの方を含め（お子さんは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ お子さんとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ お子さんの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ お子さんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問19 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー	9. 学童保育の指導員(※)
2. 自分の親	10. 地域の民生委員・児童委員
3. 配偶者・パートナーの親	11. 民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)
4. きょうだい・その他の親戚	12. 医療機関の医師や看護師
5. 知人や友人	13. インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談
6. 職場関係者	14. その他
7. 学校の先生やスクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー	15. 相談できる相手がいない
8. 公的機関や役所の相談員	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会(室)」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」も含みます。

とい づき み ぢ か おも なん ばんごう まる
問20 次のうち、身近にあるといいと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 保護者^{ほごしや}どうして気軽に^{きがる}話せる^{はな}場^ば 2. SNS^{えすえぬえす}などのインターネット^{いんたーねっと}を通じて^{つう}悩み^{なや}ごとを話せる^{はな}コミュニティ^{こみゆにてい} 3. 家事^{かじ}の援助^{えんじよ}が受けられる^うこと 4. 支援^{しえん}制度^{せいど}など必要な^{ひつよう}情報^{じょうほう}を届^{とど}けてくれる^くこと 5. 困^{こま}った時^{とき}にご飯^{はん}を無料^{むりよう}または安価^{あんか}で自宅^{じたく}に届^{とど}けてくれる^くサービス^{さーびす}	6. お子^こさんが放課後^{ほうかご}や休日^{きゅうじつ}に勉強^{べんきよう}などができる^{できる}場所^{ばしょ}を利用^{りよう}できる^{できる}こと 7. お子^こさんが無料^{むりよう}で学習^{がくしゅう}支援^{しえん}を受けられる^う場所^{ばしょ} 8. お子^こさんや保護者^{ほごしや}が夕食^{ゆうしよく}を無料^{むりよう}か安い^{やす}料金^{りょうきん}で食べる^たこととができる^{できる}場所^{ばしょ}（子ども食堂^{こどもしきどう}など）を利用^{りよう}できる^{できる}こと

とい ころ じょうたい
問21 あなたの心の状態^{こころのじょうたい}についておたずねします。

（1）生活^{せいかつ}を楽し^{たの}んでいますか（仕事^{しごと}や家事^{かじ}、育児^{いくじ}など）。

（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても楽し ^{たの} んでいる	3. あまり楽し ^{たの} んでいない	5. わからない
2. 楽し ^{たの} んでいる	4. 楽し ^{たの} んでいない	

（2）将来^{しょうらい}に対して希望^{たい}を持^{きぼう}っていますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てる	3. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てない
2. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てるときもあれば、持 ^も てないときもある	4. わからない

（3）ストレス^{すとれす}を発散^{はつさん}できるものがありますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

（4）あなたは、ご自分^{じぶん}が幸^{しあわ}せだと思^{おも}いますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	4. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない
2. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	5. わからない
3. あまり幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない	

とい
問22 あなたは、自分の^{じぶん}体^{からだ}や^き気^も持^きちで^き気^きになることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番^{まる}号^{ごう}すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが ^き 気 ^き になる
2. よく ^{あたま} 頭 ^{あたま} がいたくなる	11. やる ^き 気 ^き が ^お 起 ^お きない
3. ^は 歯 ^は がいたい	12. ^{いら} イ ^{いら} ラ ^{いら} する
4. 不安 ^{ふあん} な ^き 気 ^も 持 ^き ちになる	13. よく ^{かた} 肩 ^{かた} がこる
5. ものを見 ^み づらい	14. よく ^{こし} 腰 ^{こし} がいたくなる
6. ^き 聞 ^き こえにくい	15. とくに ^き 気 ^き になるところはない
7. よくおなかがいたくなる	16. その他 ^た
8. よくかぜをひく	17. わからない
9. よくかゆくなる	

^{こた}答^{こた}え^{しつもん}た^{こた}く^{ひつよう}ない^{ひつよう}質^{ひつよう}問^{ひつよう}に^{ひつよう}答^{ひつよう}え^{ひつよう}る^{ひつよう}必^{ひつよう}要^{ひつよう}は^{ひつよう}あ^{ひつよう}り^{ひつよう}ま^{ひつよう}せ^{ひつよう}ん。

^{こた}答^{こた}え^{まよ}に^{まよ}迷^{まよ}う^{まよ}場^{まよ}合^{まよ}い^{まよ}には、あ^{まよ}な^{まよ}た^{まよ}の^{まよ}気^{まよ}持^{まよ}ち^{まよ}や^{まよ}考^{まよ}え^{まよ}に^{まよ}で^{まよ}き^{まよ}る^{まよ}だ^{まよ}け^{まよ}近^{まよ}い^{まよ}も^{まよ}の^{まよ}を^{まよ}選^{まよ}ぶ^{まよ}よ^{まよ}う^{まよ}に^{まよ}し^{まよ}て^{まよ}く^{まよ}だ^{まよ}さ^{まよ}い。

問23 あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～gそれぞれについて、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまる番号1つに○をつけてください)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター ※5	f 低所得 の子育て世帯に対する子育て 世帯生活支援特別給付金 ※6	g 新型コロナウイルス感染症に伴う 生活福祉資金(貸付金) ※7
現在利用している	1	1	1	1	1	1	1
現在利用していないが、 以前利用したことがある	2	2	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3	3	3
制度の対象外 (収入などの条件を 満たさない) だと思う から	①	①	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に 利用したいと思わな かったから	②	②	②	②	②	②	②
利用したいが、今まで この支援制度を知ら なかったから	③	③	③	③	③	③	③
利用したいが、手続が わからなかったり、 利用しにくいから	④	④	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

3に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○をつけてください

(参考)

※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度。

- ※ 2 生活保護：病気や失業などにより生活費などに困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※ 3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※ 4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※ 5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けることができる。
- ※ 6 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金：新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者など）に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給する制度。
- ※ 7 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）：新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業などにより、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における生活支援費などを支給する制度。

世帯の経済状況についておたずねします。

問24 前年（2022年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1,000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない

新型コロナウイルスの感染状況についておたずねします。

問25 この1年間でお子さんを含め、同居家族が新型コロナウイルスに感染したのべ回数を教えてください。
（例：母 1回、長男 1回 ⇒ 2回とお答えください。）

かい
回

問26 あなたの住居環境についておたずねします。

（1）あなたがお住まいの住居の間取りは、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号1つに
まる
○をつけてください）

1. ワンルーム	3. 居室2部屋（2K、2DK、2LDK）
2. 居室1部屋（1K、1DK、1LDK）	4. 居室3部屋（3K、3DK、3LDK）以上

（2）その住居には、何人でお住まいですか。（□に数字をお書きください。）

にん
人

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

○生活困窮者自立支援相談窓口

https://www.pref.osaka.lg.jp/shakaiengo/seikon_gaiyou/index.html#jiritu

○大阪府立母子・父子福祉センター（大阪市、堺市、豊中市は各市の窓口）

<https://osakafu-boshiren.jp/>

○子育てや親子関係の悩みについては

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

- WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。
- 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700081>

- ◆ 最初の画面が表示されたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

摂津市子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

摂津市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学